

積算基準及び歩掛表

【土木工事編】

令和 8 年 10 月 改定

愛知県 建設局

※文書内の青色文字はリンクを設定。
※文書内の緑色文字は愛知県独自内容。

愛知県建設局及び都市・交通局の土木工事を請負施工に付する場合における工事費の積算には、愛知県建設局独自の積算基準及び歩掛表（以下「県版」という。）と市販されている国土交通省大臣官房技術調査課監修の積算基準書（以下「国版」という。）を適用する。

1. 使用する主な積算基準書

「県版」及び以下の市販図書を使用する。

- ・国土交通省 土木工事標準積算基準書（共通編）〔一般財団法人建設物価調査会〕
- ・国土交通省 土木工事標準積算基準書（河川・道路編）〔一般財団法人建設物価調査会〕
- ・国土交通省 土木工事標準積算基準書（電気通信編）〔一般財団法人建設物価調査会〕
- ・国土交通省 機械設備工事標準積算基準書〔一般財団法人建設物価調査会〕

2. 適用年月日

10月1日以降適用とする。

3. 「県版」と「国版」の利用について

「県版」に記載のあるものは、「県版」を使用して積算し、
「県版」に記載のないものは、「国版」を使用して積算する。

4. 「県版」基準の出典根拠等

【出典根拠】

建 地	国土交通省地方整備局共通の「土木工事標準積算基準書」で「建官」「建機」を含む。
建 官	国土交通省大臣官房
建 機	国土交通省建設経済局建設機械課
建 災	国土交通省河川局防災課「災害査定設計標準歩掛表」
建 災 要	国土交通省防災研究会「災害復旧工事の設計要領」
建 都	国土交通省都市局公園緑地・景観課
運 工	国土交通省港湾局・航空局「港湾・空港請負工事積算基準（赤本）」
運 災	国土交通省「災害査定用積算参考資料（白本）」
県	愛知県建設局及び都市・交通局

【担当課】

D	道	路	維	持	課
E	道	路	建	設	課
C	上	下	水	道	課
F	河		川		課
H	砂		防		課
B	都	市	整	備	課
K	公	園	緑	地	課
G	港		湾		課
I	建	設	企	画	課

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第Ⅰ編 総 則				
第 1 章 総 則	県	P. 1	I -1-①-1	I
① 適用範囲等	県	P. 1	I -1-①-1	I
② 請負工事の工事費構成	県	P. 2	I -1-②-1	I
第 2 章 工事費の積算	県	P. 5	I -2-①-1	I
① 直接工事費	県	P. 5	I -2-①-1	I
② 間接工事費	県	P. 9	I -2-②-1	I
③ 現場発生品及び支給品運搬	県	P. 40	I -2-③-1	I
第 3 章 一般管理費等及び消費税相当額	県	P. 44	I -3-①-1	I
① 一般管理費等	県	P. 44	I -3-①-1	I
② 消費税相当額	県	P. 47	I -3-②-1	I
第 4 章 設計積算上の注意	県	P. 48	-	I
① 潮待作業における仮締切方法別による歩増	県	P. 48	-	I
② 設計変更の取り扱い	県	P. 50	-	I
③ 資材単価にかかわる愛知県ブロック細分図	県	P. 53	-	I
第 5 章 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	I -4-①-1	I
① 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	I -4-①-1	I
② 旧基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を追加する場合等の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について	県	P. 58	I -4-②-1	I
第 6 章 数値基準等	県	P. 59	I -5-①-1	I
① 数値基準等	県	P. 59	I -5-①-1	I
第 7 章 建設機械運転労務等	県	P. 80	I -6-①-1	I
① 建設機械運転労務	県	P. 80	I -6-①-1	I
② 原動機燃料消費量	県	P. 80	I -6-②-1	I
③ 機械運転単価表	県	P. 81	I -6-③-1	I
④ 一般事項	県	P. 81	I -6-④-1	I
第 8 章 土木請負工事の特許使用料の積算	県	P. 86	I -7-①-1	I
① 土木請負工事の特許使用料の積算について	県	P. 86	I -7-①-1	I
第 9 章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	県	P. 87	I -8-①-1	I
① 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	県	P. 87	I -8-①-1	I
第 10 章 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	I -9-①-1	I
① 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	I -9-①-1	I
② 熱中症対策・防寒対策における積算	県	P. 90	-	I

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第 1 1 章 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 91	I-10-①-1	I
① 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 91	I-10-①-1	I
第 1 2 章 施工箇所が点在する工事の積算	県	P. 98	I-11-①-1	I
① 施工箇所が点在する工事の積算について	県	P. 98	I-11-①-1	I
第 1 3 章 1 日未満で完了する作業の積算	県	P. 100	I-12-①-1	I
① 1 日未満で完了する作業の積算	県	P. 100	I-12-①-1	I
第 1 4 章 その他	県	P. 107	I-14-①-1	I
① 作業日当り標準作業量	県	P. 107	I-14-④-1	I
② 市場単価の 1 日当り標準施工量	県	P. 242	I-14-⑤-1	I
第Ⅱ編 共通工				
第 1 章 土 工			Ⅱ-1-①-1	I
① 土量変化率等	国		Ⅱ-1-①-1	I
積算上の土質の区分	補	P. 262	-	I
積算上の床掘り勾配及び余裕幅(数量算出要領)	補	P. 263	-	I
建設副産物の取扱	補	P. 264	-	I
② 土工	国	-	Ⅱ-1-②-1	I
②-1 土工	国	-	Ⅱ-1-②-1	I
②-2 土工 (ICT)	国	-	Ⅱ-1-②-39	I
③ 作業土工	国	-	Ⅱ-1-③-1	I
③-1 床掘工	国	-	Ⅱ-1-③-1	I
③-2 床掘工 (ICT)	国	-	Ⅱ-1-③-10	I
③-3 埋戻工	国	-	Ⅱ-1-③-14	I
④ 人力運搬工	国	-	Ⅱ-1-④-1	I
⑤ 安定処理工	国	-	Ⅱ-1-⑤-1	I
⑤-1 安定処理工	国	-	Ⅱ-1-⑤-1	I
⑤-2 安定処理工 (自走式土質改良工)	国	-	Ⅱ-1-⑤-5	I
⑥ 土砂運搬工 (不整地運搬車による運搬)	国	-	Ⅱ-1-⑥-1	I
○ 伐採工 (参考歩掛)	県	P. 266	-	I
第 2 章 共通工			Ⅱ-2-①-1	I
① 法面工	国	-	Ⅱ-2-①-1	
①-1 法面整形工	国	-	Ⅱ-2-①-1	I
①-2 法面整形工 (ICT)	国	-	Ⅱ-2-①-7	I
①-3 芝付工	国	-	Ⅱ-2-①-11	I
①-4 コンクリート法枠工	国	-	Ⅱ-2-①-13	I
①-5 吹付法面とりこわし工	国	-	Ⅱ-2-①-28	D
①-6 プレキャストコンクリート板設置工	国	-	Ⅱ-2-①-33	D

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-7 人工張芝工	国	-	Ⅱ-2-①-38	I
② 基礎・裏込砕石工	国	-	Ⅱ-2-②-1	F
③ コンクリートブロック積（張）工	国	-	Ⅱ-2-③-1	F
④ 石積（張）工	国	-	Ⅱ-2-④-1	
④-1 石積（張）工	国	-	Ⅱ-2-④-1	F
④-2 平石張工	国	-	Ⅱ-2-④-14	K
⑤ 場所打擁壁工	国	-	Ⅱ-2-⑤-1	I
⑤-1 場所打擁壁工（1）	国	-	Ⅱ-2-⑤-1	I
⑤-2 場所打擁壁工（2）	国	-	Ⅱ-2-⑤-22	I
⑥ プレキャスト擁壁工	国	-	Ⅱ-2-⑥-1	E
⑦ 補強土壁工（帯鋼補強土壁，アンカー補強土壁， ジオテキスタイル補強土壁）	国	-	Ⅱ-2-⑦-1	E
⑧ 補強盛土工	国	-	Ⅱ-2-⑧-1	E
⑨ 構造物補修工	国	-	Ⅱ-2-⑨-1	D
⑨-1 構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））	国	-	Ⅱ-2-⑨-1	D
⑨-2 構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	国	-	Ⅱ-2-⑨-4	D
⑨-3 構造物補修工（断面修復工（左官工法））	国	-	Ⅱ-2-⑨-8	D
⑩ 排水構造物工	国	-	Ⅱ-2-⑩-1	
⑩-1 排水構造物工	国	-	Ⅱ-2-⑩-1	I, B, C
⑩-2 排水構造物工 現場打ち水路（本体）	国	-	Ⅱ-2-⑩-35	B
⑩-3 排水構造物工（現場打ち集水枡・街渠枡（本体））	国	-	Ⅱ-2-⑩-42	B
⑪ 軟弱地盤処理工	国	-	Ⅱ-2-⑪-1	
⑪-1 サンドマット工	国	-	Ⅱ-2-⑪-1	B
⑪-2 スラリー攪拌工	国	-	Ⅱ-2-⑪-4	B
⑪-3 高圧噴射攪拌工	国	-	Ⅱ-2-⑪-16	B
⑪-4 PVD工（プレファブリケートド バーチカルドレン工）	国	-	Ⅱ-2-⑪-35	I
⑪-5 中層混合処理工	国	-	Ⅱ-2-⑪-39	I
⑪-6 中層混合処理工（ICT）	国	-	Ⅱ-2-⑪-46	I
⑫ 薬液注入工	国	-	Ⅱ-2-⑫-1	B
⑬ アンカー工（ロータリーパーカッション式）	国	-	Ⅱ-2-⑬-1	H
⑭ 構造物とりこわし工	国	-	Ⅱ-2-⑭-1	I
⑮ コンクリート削孔工	国	-	Ⅱ-2-⑮-1	D
⑯ ガス切断工	国	-	Ⅱ-2-⑯-1	E
⑰ 吸出し防止材設置工	国	-	Ⅱ-2-⑰-1	I
⑱ 目地・止水板設置工	国	-	Ⅱ-2-⑱-1	I
⑲ 旧橋撤去工	国	-	Ⅱ-2-⑲-1	E

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
②⑩ かご工	国	-	Ⅱ-2-②⑩-1	F
②⑪ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	国	-	Ⅱ-2-②⑪-1	E
②⑫ 現場取卸工	国	-	Ⅱ-2-②⑫-1	I
②⑬ 骨材再生工（自走式）	国	-	Ⅱ-2-②⑬-1	I
②⑭ 函渠工	国	-	Ⅱ-2-②⑭-1	I
②⑭-1 函渠工（1）	国	-	Ⅱ-2-②⑭-1	I
②⑭-2 函渠工（2）	国	-	Ⅱ-2-②⑭-8	I
②⑭-3 函渠工（3）大型プレキャストボックスカルバート工	国	-	Ⅱ-2-②⑭-12	I
②⑮ 殻運搬	国	-	Ⅱ-2-②⑮-1	I
②⑯ 排水材設置工	国	-	Ⅱ-2-②⑯-1	I
第3章 基礎工			Ⅱ-3-①-1	
① 鋼管・既製コンクリート杭打ち	国	-	Ⅱ-3-①-1	E
①-1 パイルハンマ工	国	-	Ⅱ-3-①-1	E
①-2 中掘工	国	-	Ⅱ-3-①-10	E
①-3 鋼管ソイルセメント杭工	国	-	Ⅱ-3-①-19	E
①-4 回転杭工	国	-	Ⅱ-3-①-32	E
①-5 杭頭処理工	国	-	Ⅱ-3-①-39	E
② 場所打杭工	国	-	Ⅱ-3-②-1	E
②-1 全回転式オールケーシング工	国	-	Ⅱ-3-②-1	E
②-2 大口径ボーリングマシン工	国	-	Ⅱ-3-②-10	E
②-3 ダウンザホールハンマ工	国	-	Ⅱ-3-②-21	E
③ 深礎工	国	-	Ⅱ-3-③-1	E
③-1 深礎工	国	-	Ⅱ-3-③-1	E
③-2 コンクリート工（深礎工）	国	-	Ⅱ-3-③-10	E
④ ニューマチックケーソン工	国	-	Ⅱ-3-④-1	E
⑤ 基礎工（鋼管矢板基礎工）	国	-	Ⅱ-3-⑤-1	E
⑤-1 打撃工法	国	-	Ⅱ-3-⑤-1	E
⑤-2 中掘工法	国	-	Ⅱ-3-⑤-23	E
⑥ 泥水運搬工	国	-	Ⅱ-3-⑥-1	E
第4章 コンクリート工			Ⅱ-4-①-1	
① コンクリート工	国		Ⅱ-4-①-1	I
レディーミクストコンクリート	補	P. 269	-	I
② 型枠工	国	-	Ⅱ-4-②-1	I
②-1 型枠工	国	-	Ⅱ-4-②-1	I
②-2 型枠工（省力化構造）	国	-	Ⅱ-4-②-6	I
③ 張りコンクリート工	国	-	Ⅱ-4-③-1	I

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第5章 仮設工			Ⅱ-5-①-1	
① 仮設工	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	I
(1) 仮設工項目	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	I
(2) 仮設工の積算	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	I
3) 仮設工事の取扱いについて	県	P. 273	-	I
4) 設計図書の作成	県	P. 274	-	I
5) 注意事項	県	P. 274	-	I
6) 指定仮設の例	県	P. 275	-	I
(3) 仮設材の損料率	県	P. 276	Ⅱ-5-①-2	I
(4) 鋼矢板の賃料期間の算定	県	P. 276	Ⅱ-5-①-2	I
(5) 適用区分による賃料の補正について	県	P. 277	Ⅱ-5-①-2	I
(参考) 賃料の補正の考え方	県	P. 277	-	I
(6) 工事前仮設材(鋼矢板、H形鋼等)の計上	県	P. 278	Ⅱ-5-①-3	I
(7) 仮設材賃料に係る修理費及び損耗費の取扱い	県	P. 281	Ⅱ-5-①-5	I
(8) 賃料の補正	県	P. 281	-	I
(9) 矢板打込・引抜	県	P. 282	-	I
(10) その他	県	P. 282	-	I
(11) 仮設道路	県	P. 283	-	I
(12) 電力施設の積算基準	県	P. 286	-	C
(13) 階段擦付の考え方	県	P. 291	-	I
② 鋼矢板（H形鋼）工	国	-	Ⅱ-5-②-1	I
②-1 バイプロハンマ工	国	-	Ⅱ-5-②-1	I
②-2 バイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）	国	-	Ⅱ-5-②-33	I
②-3 油圧圧入引抜工	国	-	Ⅱ-5-②-39	I
②-4 プレボーリング	国	-	Ⅱ-5-②-63	I
③ 鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）	国	-	Ⅱ-5-③-1	I
④ 鋼矢板施工法選定（参考）	国	-	Ⅱ-5-④-1	I
④-1 鋼矢板打込み施工法選定表（参考）	国	-	Ⅱ-5-④-1	I
④-2 鋼矢板・H形鋼引抜き施工法選定フロー（参考）	国	-	Ⅱ-5-④-5	I
⑤ 仮設材設置・撤去	国	-	Ⅱ-5-⑤-1	I, C
⑥ 足場支保工	国	-	Ⅱ-5-⑥-1	I
参考（計算例）	補	P. 292	-	I
⑥-1 足場工	国	-	Ⅱ-5-⑥-1	I
⑥-2 支保工	国	-	Ⅱ-5-⑥-5	I
⑦ 締切排水工	国	-	Ⅱ-5-⑦-1	I

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑧ ウェルポイント工	国	-	Ⅱ-5-⑧-1	C
⑨ 土のう工	国	-	Ⅱ-5-⑨-1	F
⑨-1 土のう工	国	-	Ⅱ-5-⑨-1	F
⑨-2 大型土のう工	国	-	Ⅱ-5-⑨-5	F
⑩ 仮橋・仮栈橋工	国	-	Ⅱ-5-⑩-1	E
⑪ 汚濁防止フェンス工	国	-	Ⅱ-5-⑪-1	I
⑫ 仮囲い設置・撤去工	国	-	Ⅱ-5-⑫-1	E
⑫-1 仮囲い設置・撤去工	国	-	Ⅱ-5-⑫-1	E
⑫-2 雪寒仮囲い工	国	-	Ⅱ-5-⑫-4	E
⑬ 仮設防護柵工（切土及び発破防護柵工）	国	-	Ⅱ-5-⑬-1	E
⑭ 濁水処理工（一般土木工事）	国	-	Ⅱ-5-⑭-1	I
⑮ 敷鉄板設置・撤去工	国	-	Ⅱ-5-⑮-1	I
⑯ 防塵処理工	国	-	Ⅱ-5-⑯-1	I
⑰ 仮設電力設備工	国	-	Ⅱ-5-⑰-1	I
⑱ グラフによる標準的な仮設電力設備の積算	国	-	Ⅱ-5-⑱-1	I
⑲ 法面工（仮設用モルタル吹付工）	国	-	Ⅱ-5-⑲-1	E
⑳ 交通誘導警備員	国	-	Ⅱ-5-⑳-1	I
第Ⅲ編 河 川				
第 1 章 河川海岸			Ⅲ-1-①-1	
① 消波根固めブロック工	国	-	Ⅲ-1-①-1	F
①-1 消波根固めブロック工	国	-	Ⅲ-1-①-1	F
①-2 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）	国	-	Ⅲ-1-①-24	F
② 捨石工	国	-	Ⅲ-1-②-1	F
③ 消波工	国	-	Ⅲ-1-③-1	F
④ 浚渫工	国	-	Ⅲ-1-④-1	F
④-1 バックホウ浚渫船	国	-	Ⅲ-1-④-1	F
④-2 バックホウ浚渫船（ICT）	国	-	Ⅲ-1-④-8	F
⑤ 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工	国	-	Ⅲ-1-⑤-1	F
第 2 章 河川維持工			Ⅲ-2-①-1	
① 堤防除草工	国	-	Ⅲ-2-①-1	F
② 堤防芝養生工	国	-	Ⅲ-2-②-1	F
③ 伐木除根工	国	-	Ⅲ-2-③-1	F
④ 塵芥処理工	国	-	Ⅲ-2-④-1	F
⑤ 粗朶沈床工	国	-	Ⅲ-2-⑤-1	F

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑥ 機械土工（河床等掘削）	国	-	Ⅲ-2-⑥-1	F
⑥-1 機械土工（河床等掘削）	国	-	Ⅲ-2-⑥-1	F
⑥-2 機械土工（河床等掘削）（ICT）	国	-	Ⅲ-2-⑥-5	F
⑦ 多自然護岸工	国	-	Ⅲ-2-⑦-1	F
⑦-1 巨石積（張）工	国	-	Ⅲ-2-⑦-1	F
⑦-2 木杭打工	国	-	Ⅲ-2-⑦-12	F
⑦-3 巨石据付工	国	-	Ⅲ-2-⑦-14	F
⑧ 護岸基礎ブロック工	国	-	Ⅲ-2-⑧-1	F
⑨ かごマット工	国	-	Ⅲ-2-⑨-1	F
⑨-1 かごマット工（スロープ型）	国	-	Ⅲ-2-⑨-1	F
⑨-2 かごマット工（多段積型）	国	-	Ⅲ-2-⑨-4	F
⑩ ブロックマット工	国	-	Ⅲ-2-⑩-1	F
⑪ 袋詰玉石工	国	-	Ⅲ-2-⑪-1	F
⑫ 笠コンクリートブロック据付工	国	-	Ⅲ-2-⑫-1	F
⑬ グラウトホール工	国	-	Ⅲ-2-⑬-1	F
⑭ 光ケーブル配管工	国	-	Ⅲ-2-⑭-1	F
第3章 砂防工			Ⅲ-3-①-1	
① 土工	国	-	Ⅲ-3-①-1	H
①-1 土工	国	-	Ⅲ-3-①-1	H
①-2 土工（ICT）	国	-	Ⅲ-3-①-12	H
② コンクリート工	国	-	Ⅲ-3-②-1	H
②-1 コンクリート工	国	-	Ⅲ-3-②-1	H
②-2 コンクリート工（ケーブルクレーン打設）	国	-	Ⅲ-3-②-13	H
②-3 残存型砕工	国	-	Ⅲ-3-②-21	H
③ 養生工（練炭）	国	-	Ⅲ-3-③-1	H
④ 仮締切工	国	-	Ⅲ-3-④-1	H
④-1 砂防土砂仮締切・砂防土砂土のう仮締切	国	-	Ⅲ-3-④-1	H
④-2 砂防コンクリート仮締切	国	-	Ⅲ-3-④-8	H
⑤ 鋼製砂防工	国	-	Ⅲ-3-⑤-1	H
⑥ 砂防ソイルセメント工	国	-	Ⅲ-3-⑥-1	H
第4章 地すべり防止工			Ⅲ-4-①-1	
① 地すべり防止工	国	-	Ⅲ-4-①-1	H
①-1 集水井工（ライナープレート土留工法）	国	-	Ⅲ-4-①-1	H
①-2 地すべり防止工（集排水ボーリング工）	国	-	Ⅲ-4-①-10	H
①-3 地すべり防止工（山腹水路工）	国	-	Ⅲ-4-①-18	H

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-4 地すべり防止工（ふとんかご工）	国	-	Ⅲ-4-①-35	H
①-5 集排水ボーリング孔洗浄工	国	-	Ⅲ-4-①-40	H
第Ⅳ編 道 路				
第 1 章 舗装工			Ⅳ-1-①-1	
① 路盤工	国	-	Ⅳ-1-①-1	
①-1 路盤工	国	-	Ⅳ-1-①-1	D, E
鉄鋼スラグ路盤	補	P. 299	-	D, E
①-2 路盤工（ICT）	国	-	Ⅳ-1-①-17	D, E
② アスファルト舗装工	国	-	Ⅳ-1-②-1	
②-1 アスファルト舗装工	国	-	Ⅳ-1-②-1	D, E
アスカーブの形状	補	P. 300	-	D, E
②-2 半たわみ性（コンポジット）舗装工	国	-	Ⅳ-1-②-16	E
③ 排水性舗装工	国	-	Ⅳ-1-③-1	E
③-1 排水性アスファルト舗装工	国	-	Ⅳ-1-③-1	E
③-2 透水性アスファルト舗装工	国	-	Ⅳ-1-③-5	E
④ グースアスファルト舗装工	国	-	Ⅳ-1-④-1	E
⑤ コンクリート舗装工	国	-	Ⅳ-1-⑤-1	
⑤-1 コンクリート舗装工	国	-	Ⅳ-1-⑤-1	B
⑤-2 連続鉄筋コンクリート舗装工	国	-	Ⅳ-1-⑤-9	D
⑥ 踏掛版設置工	国	-	Ⅳ-1-⑥-1	B
○ 夜間施工	県	P. 301	-	D
第 2 章 付属施設			Ⅳ-2-①-1	
① 防護柵設置工	国	-	Ⅳ-2-①-1	D
①-1 ガードケーブル設置工	国	-	Ⅳ-2-①-1	D
①-2 ワイヤロープ設置工	国	-	Ⅳ-2-①-9	D
①-3 立入り防止柵工	国	-	Ⅳ-2-①-17	D
①-4 車止めポスト設置工	国	-	Ⅳ-2-①-28	D
①-5 防雪柵設置及び撤去工	国	-	Ⅳ-2-①-30	D
①-6 防雪柵現地張出し・収納工	国	-	Ⅳ-2-①-35	D
①-7 雪崩予防柵設置工	国	-	Ⅳ-2-①-38	D
①-8 落下物等防止柵設置工	国	-	Ⅳ-2-①-45	D
② しゃ音壁設置工	国	-	Ⅳ-2-②-1	D
③ 路側工	国	-	Ⅳ-2-③-1	B
③-1 路側工（据付け）	国	-	Ⅳ-2-③-1	B
③-2 路側工（取外し）	国	-	Ⅳ-2-③-8	B

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
④ 特殊ブロック設置工	国	-	IV-2-④-1	D
⑤ 橋梁付属施設設置工	国	-	IV-2-⑤-1	D
⑥ 道路付属物設置工	国	-	IV-2-⑥-1	E
⑦ スノーポール設置・撤去工	国	-	IV-2-⑦-1	I
○ 道路照明設備設置工	県	P. 302	-	D
○ 照明灯基礎設置工	県	P. 305	-	D
○ 照明灯プレキャスト基礎設置工	県	P. 307	-	D
第3章 道路維持修繕工			IV-3-①-1	
① 路面切削工	国	-	IV-3-①-1	D
①-1 路面切削工	国	-	IV-3-①-1	D
①-2 切削オーバーレイ工	国	-	IV-3-①-7	D
①-3 切削オーバーレイ工（ICT）	国	-	IV-3-①-13	D
② 舗装版破碎工	国	-	IV-3-②-1	D
③ 舗装版切断工	国	-	IV-3-③-1	D
濁水処理	県	P. 308	-	I
④ 道路打換え工	国	-	IV-3-④-1	D
舗装面の亀裂充填工	県	P. 309	-	D
路面補修工	県	P. 310	-	D
⑤ 路上路盤再生工	国	-	IV-3-⑤-1	D
⑥ 舗装板クラック補修工	国	-	IV-3-⑥-1	D
⑦ 道路付属構造物塗替工	国	-	IV-3-⑦-1	D
⑧ 張紙防止塗装工	国	-	IV-3-⑧-1	D
⑨ 床版補強工	国	-	IV-3-⑨-1	D
⑩ 橋梁補強工	国	-	IV-3-⑩-1	D
⑩-1 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）	国	-	IV-3-⑩-1	D
⑩-2 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）	国	-	IV-3-⑩-15	D
⑩-3 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）	国	-	IV-3-⑩-19	D
⑩-4 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）	国	-	IV-3-⑩-28	D
⑪ 橋梁補修工	国	-	IV-3-⑪-1	D
⑪-1 橋梁地覆補修工	国	-	IV-3-⑪-1	D
⑪-2 橋梁補修工（支承取替工）	国	-	IV-3-⑪-9	D
⑪-3 橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）	国	-	IV-3-⑪-20	D
⑪-4 橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））	国	-	IV-3-⑪-22	D
⑪-5 塗装塗替足場工	国	-	IV-3-⑪-28	D
⑪-6 橋梁補修工（高力ボルト当て板鋼桁補強工）	国	-	IV-3-⑪-34	D
⑫ 落橋防止装置工	国	-	IV-3-⑫-1	D

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑬ 道路除草工	国	-	IV-3-⑬-1	D
⑭ 道路清掃工	国	-	IV-3-⑭-1	D
⑭-1 路面清掃工（機械清掃）	国	-	IV-3-⑭-1	D
⑭-2 路面清掃工（人力清掃工）	国	-	IV-3-⑭-9	D
⑮ 排水構造物清掃工	国	-	IV-3-⑮-1	D
⑮-1 管渠清掃工、側溝清掃工及び集水桝清掃工（組合せ作業）	国	-	IV-3-⑮-1	D
⑮-2 側溝清掃工（単独作業）	国	-	IV-3-⑮-13	D
⑮-3 側溝清掃工（人力清掃工）	国	-	IV-3-⑮-17	D
⑮-4 集水桝清掃工（単独作業）	国	-	IV-3-⑮-19	D
⑮-5 集水桝清掃工（人力清掃工）	国	-	IV-3-⑮-23	D
⑯ トンネル清掃工	国	-	IV-3-⑯-1	D
⑰ トンネル照明器具清掃工	国	-	IV-3-⑰-1	D
⑱ トンネル漏水対策工	国	-	IV-3-⑱-1	D
⑲ トンネル補修工	国	-	IV-3-⑲-1	D
⑲-1 トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	国	-	IV-3-⑲-1	D
⑲-2 トンネル補修工（断面修復工（左官工法））	国	-	IV-3-⑲-5	D
⑲-3 トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））	国	-	IV-3-⑲-11	D
⑳ 沓座拡張工	国	-	IV-3-⑳-1	D
㉑ 欠損部補修工	国	-	IV-3-㉑-1	D
㉒ 舗装版削孔工（アスファルト舗装版）	国	-	IV-3-㉒-1	D
㉓ 横断歩道橋補修工	国	-	IV-3-㉓-1	D
○ 道路植栽管理工	県	P. 312	-	D
第4章 共同溝工			IV-4-①-1	
① 電線共同溝工（C・C・BOX）	国	-	IV-4-①-1	D
② 情報ボックス工	国	-	IV-4-②-1	I
第5章 トンネル工			IV-5-①-1	
① トンネル工（NATM）	国	-	IV-5-①-1	E
①-1 トンネル工（NATM）〔発破工法〕	国	-	IV-5-①-1	E
①-2 トンネル工（NATM）〔機械掘削工法〕	国	-	IV-5-①-78	E
①-3 トンネル濁水処理工	国	-	IV-5-①-144	E
①-4 トンネル工（NATM）仮設備工（防音扉工）	国	-	IV-5-①-150	E
② 小断面トンネル工（NATM）	国	-	IV-5-②-1	E
③ トンネル裏込注入工	国	-	IV-5-③-1	E
第6章 道路除雪工			IV-6-①-1	
① 道路除雪工	国	-	IV-6-①-1	D

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第7章 橋梁工			IV-7-①-1	
① 鋼橋製作工	国	-	IV-7-①-1	E
桁輸送費-5.1 運搬距離	補	P. 322	-	E
② 橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）	国	-	IV-7-②-1	E
③ 鋼橋架設工	国	-	IV-7-③-1	E
④ プレベーム桁架設工	国	-	IV-7-④-1	E
⑤ 鋼橋床版工	国	-	IV-7-⑤-1	E
⑥ グレーチング床版架設工及び足場工	国	-	IV-7-⑥-1	E
⑦ ポストテンション桁製作工	国	-	IV-7-⑦-1	E
⑧ プレキャストセグメント主桁組立工	国	-	IV-7-⑧-1	E
⑨ PC橋架設工	国	-	IV-7-⑨-1	E
⑩ PC橋片持架設工	国	-	IV-7-⑩-1	E
⑪ ポストテンション場所打ホロースラブ橋工	国	-	IV-7-⑪-1	E
⑫ ポストテンション場所打箱桁橋工	国	-	IV-7-⑫-1	E
⑬ RC場所打ホロースラブ橋工	国	-	IV-7-⑬-1	E
⑭ 架設支保工	国	-	IV-7-⑭-1	E
⑮ 伸縮装置工（鋼製）	国	-	IV-7-⑮-1	E
⑯ 橋梁排水管設置工	国	-	IV-7-⑯-1	E
⑰ 歩道橋（側道橋）架設工	国	-	IV-7-⑰-1	D
⑱ 鋼製橋脚設置工	国	-	IV-7-⑱-1	E
⑲ 橋台・橋脚工	国	-	IV-7-⑲-1	E
⑲-1 橋台・橋脚工（1）（構造物単位）	国	-	IV-7-⑲-1	E
⑲-2 橋台・橋脚工（2）	国	-	IV-7-⑲-17	E
⑳ 橋梁検査路架設工	国	-	IV-7-㉔-1	E
第V編 都市計画				
第1章 公園緑地				
○ 機械土工	県	P. 323	-	K
○ 基礎工	県	P. 325	-	K
○ 左官工	県	P. 325	-	K
○ コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工	県	P. 330	-	K
○ 園路広場整備工	県	P. 330	-	K
○ 擁壁工	県	P. 335	-	K
○ 縁石工	県	P. 346	-	K
○ 給排水構造物工	県	P. 349	-	K
○ 公園植栽工	国	-	V-1-①-1	K
○ サービス施設整備工	県	P. 356	-	K

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

目 次

【土木工事編】	運用 種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
○ フェンス工	県	P. 356	-	K
○ 修景施設整備工	県	P. 357	-	K
○ 公園除草工	国	-	V-1-②-1	K
○ 公園工	国	-	V-1-③-1	K
第VI編 土木工事標準単価及び市場単価				
第1章 土木工事標準単価				
① 区画線工	国	-	VI-1-①-1	I
② 高視認性区画線工	国	-	VI-1-②-1	I
③ 橋梁塗装工	国	-	VI-1-③-1	I
④ 構造物とりこわし工	国	-	VI-1-④-1	I
⑤ コンクリートブロック積工	国	-	VI-1-⑤-1	I
⑥ 排水構造物工	国	-	VI-1-⑥-1	I
第2章 市場単価				
① インターロッキングブロック工	国	-	VI-2-①-1	I
② 防護柵設置工	国	-	VI-2-②-1	I
②-1 防護柵設置工（ガードレール）	国	-	VI-2-②-1	I
②-2 防護柵設置工（ガードパイプ）	国	-	VI-2-②-16	I
②-3 防護柵設置工（横断・転落防止柵）	国	-	VI-2-②-24	I
②-4 防護柵設置工（落石防護柵）	国	-	VI-2-②-32	I
②-5 防護柵設置工（落石防止網）	国	-	VI-2-②-41	I
③ 法面工	国	-	VI-2-③-1	I
③-1 法面工	国	-	VI-2-③-1	I
③-2 吹付砕工	国	-	VI-2-③-14	I
④ 道路植栽工	国	-	VI-2-④-1	I
⑤ 橋梁付属物工	国	-	VI-2-⑤-1	I
⑤-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	国	-	VI-2-⑤-1	I
⑤-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	国	-	VI-2-⑤-11	I
⑥ 薄層カラー舗装工	国	-	VI-2-⑥-1	I
⑦ 道路標識設置工	国	-	VI-2-⑦-1	I
⑧ 道路付属物設置工	国	-	VI-2-⑧-1	I
⑨ 公園植栽工	国	-	VI-2-⑨-1	I
⑩ 橋面防水工	国	-	VI-2-⑩-1	I
⑪ グルーピング工	国	-	VI-2-⑪-1	I
⑫ 鉄筋挿入工（ロックボルト）	国	-	VI-2-⑫-1	I
⑬ コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）	国	-	VI-2-⑬-1	I

【運用種別】

県：県版と国版で記載内容が異なり、県版を優先するもの。または、県版のみに定めのあるもの。

補：県版で国版を補うもの。

第1章 総 則

① 適用範囲等（**建地—I**）、（**県**）

1. 適用範囲

この積算基準及び歩掛表（以下、「**県版**」という。）は、愛知県建設局及び都市・交通局の土木工事を請負施工に付する場合における工事費の積算に適用する。

「**県版**」に記載がない場合は、一般財団法人建設物価調査会が発行する国土交通省土木工事標準積算基準書（以下、「**国版**」という。）を適用し、「**県版**」に記載がある場合は、「**県版**」を適用する。

ただし、「**県版**」及び「**国版**」によることが著しく不適当又は困難であると認められるものについては、適用除外とすることができる。

2. 基準の適用

工事費の積算における基準は、原則として、**単価適用日**における最新の基準を適用する。

3. 設計書の作成

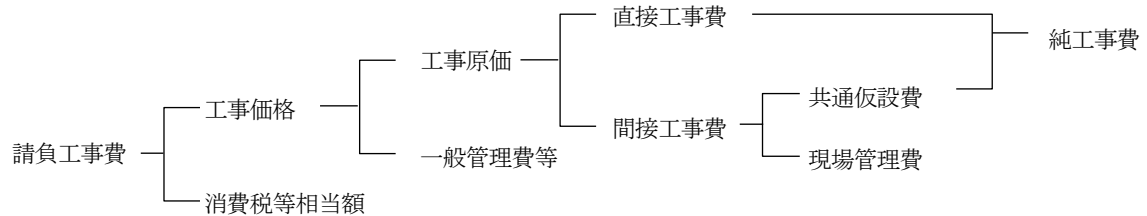
設計書の作成にあたっては、目的とする工事を最も合理的に施工及び監督できるよう施工条件、施工管理、安全施工等に十分留意し、工法歩掛及び単価等について調査研究をおこない、明確に作成しなければならない。

② 請負工事の工事費構成（**建地—I**）

1. 工事費の基本構成

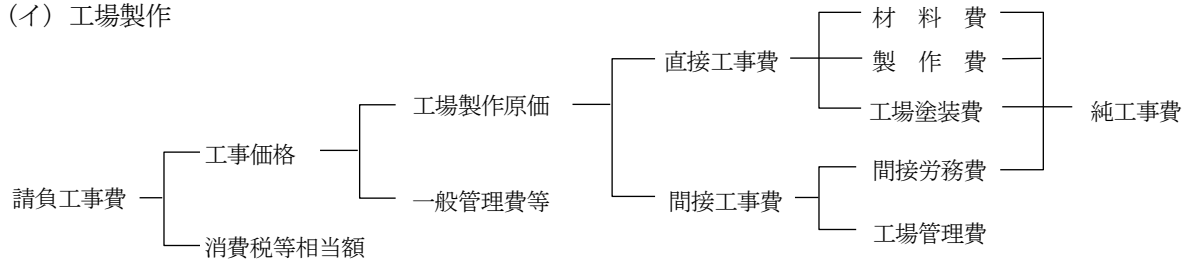
1-1 請負工事費の構成は、次のとおりとする。

(1) 一般土木

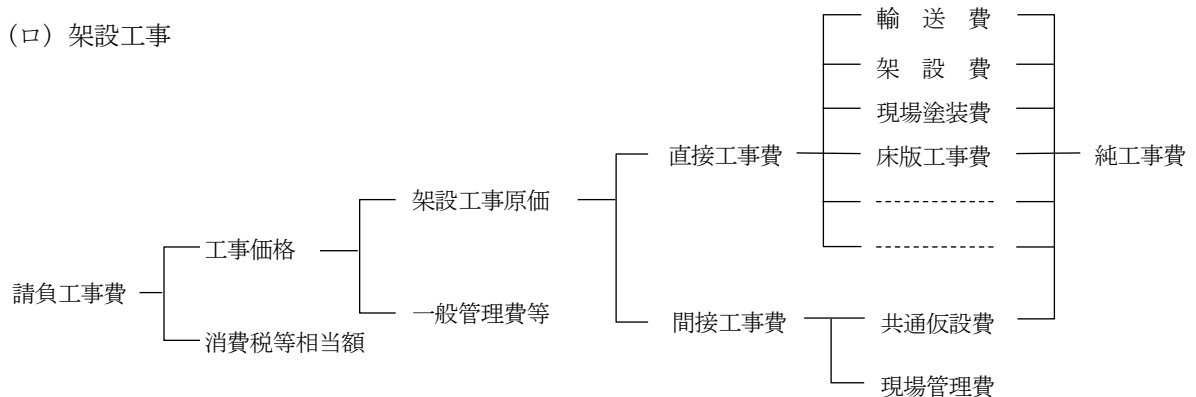


(2) 鋼橋製作

(イ) 工場製作

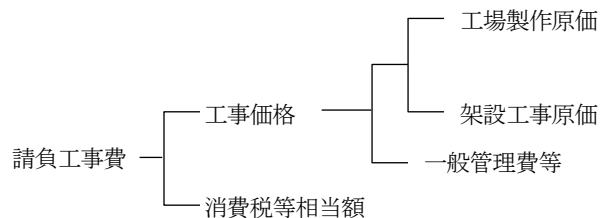


(ロ) 架設工事



(ハ) 一括請負の場合

工場製作から現場架設まで、一括請負とする場合には次のとおりとする。



工種別工事費内訳分類表

基準価格算定等に用いる、工種毎の工事費内訳（機器単体費、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費）は下表のとおりとする。

工事費内訳	①土木工事 積算基準 一般土木	②鋼橋積算基準 工場製作 架設工事	③機械設備 工事積算基準 製作 据付工事	④電気通信 工事積算基準 機器単体費・工事費	⑤公共建築 工事費積算基準 一般建築・設備	⑥下水道用 機械・電気設備 工事積算基準 機器費・工事費
機器 単体費	↑	機器単体費	機器単体費	機器単体費	機器費	機器費
直接 工事費	↑	材料費 製作費 工場塗装費 直接工事費	材料費 労務費 塗装費 直接経費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費 仮設費	直接工事費	直接工事費
共通 仮設費	↑	材料費 製作費 工場塗装費 床版工事費	輸送費 架設費 現場塗装費	材料費 労務費 塗装費 直接経費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費 仮設費	共通仮設費
現場 管理費	↑	材料費 製作費 工場塗装費	材料費 製作費 工場塗装費	輸送費 架設費 現場塗装費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費
一般管理費	↑	材料費 製作費 工場塗装費	材料費 製作費 工場塗装費	輸送費 架設費 現場塗装費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費	輸送費 材料費 労務費 塗装費 直接経費

1-2 請負工事費の費目は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 直接工事費

直接工事費は、箇所又は工事種類により各工事部門を工種、種別、細別及び名称に区分し、それぞれの区分毎に材料費、労務費及び直接経費の3要素について積算するものとし、「第2章 工事費の積算 ① 直接工事費」による。

(2) 間接工事費

1) 間接工事費は、各工事部門共通の前号以外の工事費及び経費とし、共通仮設費及び現場管理費に分類し、それぞれの構成する費目について積算するものとする。

2) 共通仮設費は、工事施工にあたって、工事目的物の施工に間接的に係る費用とし、「第2章 工事費の積算 ② 間接工事費」の「2. 共通仮設費」による。

(イ) 運搬費

(ロ) 準備費

(ハ) 事業損失防止施設費

(ニ) 安全費

(ホ) 役務費

(ヘ) 技術管理費

(ト) 営繕費

3) 現場管理費は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費とし、「第2章 工事費の積算 ② 間接工事費」の「3. 現場管理費」による。

$$\text{現場管理費率} = \frac{\text{現場管理費}}{\text{純工事費}}$$

ただし、純工事費＝直接工事費＋共通仮設費

(3) 一般管理費等

一般管理費等は、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなり、次の一般管理費等率を用いて積算するものとし、「第3章 一般管理費等及び消費税等相当額 ① 一般管理費等」による。

$$\text{一般管理費等率} = \frac{\text{一般管理費等}}{\text{工事原価}}$$

(4) 消費税等相当額

消費税等相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとし、「第3章 一般管理費等及び消費税等相当額 ② 消費税等相当額」による。

第2章 工事費の積算

① 直接工事費（建地－Ⅰ）、（県）

1. 材料費

材料費は、工事を施工するために必要な材料の費用とし、その算定は次の(1)及び(2)によるものとする。

(1) 数 量

数量は、標準使用量に運搬、貯蔵及び施工中の損失量を実状に即して加算するものとする。

(2) 価 格

価格は、原則として、単価適用日における市場価格とし、消費税等相当分は含まないものとする。設計書に計上する材料の単位あたりの価格を設計単価といい、設計単価は、物価資料等を参考とし、買入価格、買入に要する費用及び購入場所から現場までの運賃の合計額とするものとする。

当初の支給品の価格決定については、官側において購入した資材を支給する場合、現場発生資材を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、単価適用日における市場価格または類似品価格とする。

なお、設計単価は、物価資料（「Web 建設物価」、「積算資料電子版」をいう）、個別特別調査又は見積等をもとに、原則として以下により決定するものとする。

1) 「設計単価表」による。

設計単価表に単価が設定されている場合は、これを積算に用いる単価とする。

2) 1) の方法により難しい場合、「物価資料」による。

(イ) 単価の決定は、物価資料（「Web 建設物価」、「積算資料電子版」）に掲載されている実勢価格を平均し、単価の有効桁の大きい方の桁を決定額の有効桁とする。ただし、大きい方の有効桁が3桁未満のときは、決定額の有効桁は3桁とする。また、一方の資料にしか掲載のないものについては、その価格とする。

〈例〉1) 単価の有効桁数の大きい方を有効桁とする場合

建設物価	33,500 円（有効桁 3 桁）	積算資料	34,000 円（有効桁 2 桁）
平均額	33,750 円		
決定額	33,700 円（有効桁 3 桁、4 桁以降切り捨て）		

〈例〉2) 単価の有効桁数が3桁未満のために3桁を有効桁とする場合

建設物価	560 円（有効桁 2 桁）	積算資料	570 円（有効桁 2 桁）
平均額	565 円		
決定額	565 円（最小有効桁 3 桁、4 桁以降切り捨て）		

(ロ) 公表価格として掲載されている資材価格は、メーカー等が一般に公表している販売希望価格であり、実勢価格と異なるため、積算に用いる単価としない。

ただし、公表価格で、割引率（額）の表示がある資材は、その割引率（額）を乗じた（減じた）価格を積算に用いる単価とする。

3) 1) 及び 2) の方法により難しい場合は、個別特別調査によって決定することを原則とする。

4) 1)、2) 及び 3) の方法により難しい場合は、見積りによって決定するものとする。

(イ) 見積りを徴収する場合は、形状寸法、品質、規格、数量及び納入場所、見積り有効期限等の条件を必ず提示し、見積り依頼を行う。

なお、見積価格は実勢取引価格であることを確認する。

(ロ) 見積りは、原則として3社以上から徴収する。

(ハ) 積算に用いる材料単価の決定方法は、異常値を除いた価格の平均価格とする。

ただし、見積書の数が多い場合は、最頻度価格を採用する。

2. 歩 掛

歩掛は、工事を施工するために必要な機械・労務・材料に係る費用とし、その算定は「**県版**」及び「**国版**」、物価資料によるものとする。

「**県版**」や「**国版**」にない歩掛や物価資料にない単価については、特別調査又は見積りの取得により歩掛の構成を決定する。

見積りの場合は、原則として 3 社以上から徴収し、歩掛の決定方法は、**最頻度又は平均直下位**の歩掛を採用する。

ただし、変更積算時は施工者より見積りを徴収し、妥当性を確認した上で採用する。

なお、単価等については、「1. 材料費」、「3. 労務費」及び「4. 直接経費」によるものとする。

3. 労務費

労務費は、工事を施工するために必要な労務の費用とし、その算定は次の(1)から(4)によるものとする。

(1) 所要人員

所要人員は、原則として、現場条件及び工事規模を考慮して工事ごとに査定するが、一般に過去の実績及び検討により得られた標準的な歩掛りを使用するものとする。

(2) 労務賃金

労務賃金は、労働者に支払われる賃金であって、直接作業に従事した時間の労務費の基本給といい、基本給は、「**設計単価表**」の**労務単価**等を使用するものとする。

基準作業時間外の作業及び特殊条件により作業に従事して支払われる賃金を割増賃金といい、割増賃金は、従事した時間及び条件によって加算するものとする。

(3) 夜間工事の労務単価

次に掲げる場合は、以下のとおり労務単価の割増しを行うものとする。

1) 通常勤務すべき時間帯（8 時～17 時）を越えて、作業を計画する場合は以下とする。

(イ) 深夜時間（22 時～5 時）については、深夜時間外割増し（基準額×割増対象賃金比×1.50）とする。

(ロ) 上記（イ）以外の通常勤務すべき時間帯（8 時～17 時）を超えた時間帯は、時間外割増し（基準額×割増対象賃金比×1.25）とする。

なお、休憩は超過勤務 4 時間を超えるごとに 30 分の休憩を与えるものとする。

2) 2 交替、3 交替を計画する場合、所定労働時間（8 時間）＋休息时间（1 時間）内は、基準額とする。その内、深夜部分（22 時～5 時）にかかる時間帯は、深夜割増し（基準額×割増対象賃金比×0.25）を加算するものとする。

ただし、2 交替の場合にあつて、所定労働時間を越える場合は、時間外割増し（基準額×割増対象賃金比×1.25）、及び深夜時間外割増し（基準額×割増対象賃金比×1.50）を加算する。〔例－1〕、〔例－2〕

3) 現場条件により、やむを得ず、通常勤務すべき時間帯（8 時～17 時）を外して作業を計画する場合は、次による。〔例－3〕

(イ) 所定労働時間内で 17 時～20 時及び、6 時～8 時にかかる時間帯は、基準額とする。

(ロ) 所定労働時間内で 20 時～6 時にかかる時間帯は基準額に 1.5 を乗ずる。

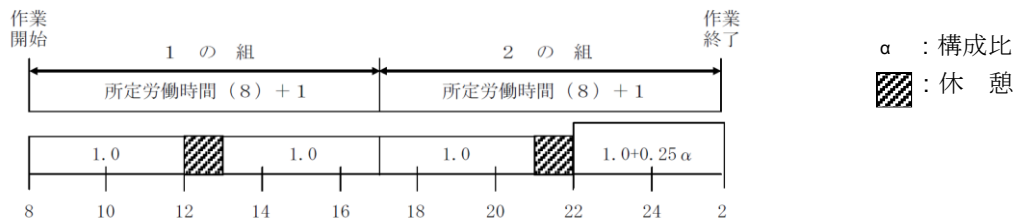
ただし、作業開始から所定労働時間内までとし、所定労働時間を越えた時間帯については、前の 1) 項による。

(4) 休日作業の労働単価

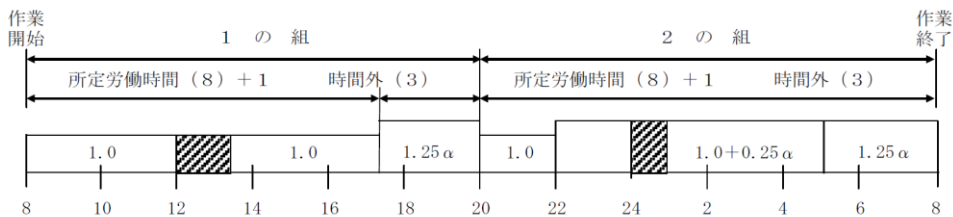
緊急時等、やむを得ず法定休日に作業を行う場合には、休日割増し（基準額×割増対象賃金比×1.35）を計上するものとする。その内、深夜部分（22 時～5 時）にかかる時間帯は、深夜割増し（基準額×割増対象賃金比×0.25）を加算するものとする。

法定休日とは、使用者の定める週 1 回、もしくは 4 週間のうち 4 日の休日とする。

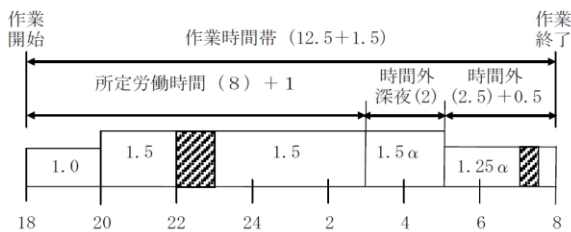
〔例－１〕



〔例－２〕



〔例－３〕



※構成比（職種別割増対象賃金比）は「設計単価表」を参照。

4. 直接経費

直接経費は、工事を施工するために直接必要とするに経費とし、その算定は次の(1)～(3)までによるものとする。

(1) 特許使用料

特許使用料は、契約に基づき使用する特許の使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とするものとする。

(2) 水道光熱電力料

水道光熱電力料は、工事を施工するために必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。

(3) 機械経費

機械経費は、工事を施工するために必要な機械の使用に要する経費（材料費、労務費を除く。）で、その算定は請負工事機械経費積算要領に基づいて積算するものとする。

5. 諸雑費及び端数処理

(1) 諸雑費

1) 諸雑費の定義

当該作業に必要な労務、機械損料及び材料等でその金額が全体の費用に比べて著しく小さい場合に、積算の合理化及び端数処理を兼ねて一括計上する。

2) 単価表

(イ) 単価表（歩掛表に諸雑費率があるもの）

単位数量当りの単価表の合計金額が、有効数字4桁になるように原則として所定の諸雑費率以内で端数を計上する。

(ロ) 単価表（歩掛表に諸雑費率がなく、端数処理のみの場合）

単位数量当りの単価表の合計金額が、有効数字4桁になるように原則として端数を計上する。

(ハ) 金額は「諸雑費」の名称で計上する。

3) 内訳書

諸雑費は計上しない。

(2) 端数処理

1) 単価表の各構成要素の数量×単価＝金額は 1 円未満を切り捨てし、1 円までとする。

また、内訳書の各構成要素の数量×単価＝金額は 1 円未満を切り捨てし、1 円までとする。

2) 歩掛における計算結果の端数処理については、各々に定めのある場合を除き、小数第 4 位を四捨五入し、第 3 位とする。

3) 土木工事標準単価は、同工種が物価資料（「建設物価（土木コスト情報）」、「積算資料（土木施工単価）」の両方に掲載されている場合は、その平均価格とし、片方の資料のみに掲載されている場合は、当該単価とする。

4) 共通仮設費の率計上の金額は、1,000 円未満を切り捨てし、1,000 円単位とする。

5) 現場管理費の金額は、1,000 円未満を切り捨てし、1,000 円単位とする。

6) 工事価格は、1,000 円単位とする。工事価格の 1,000 円単位での調整は、一般管理費等で行うものとし、「第 3 章 一般管理費等及び消費税相当額」で算出された一般管理費等の計算額より、端数処理前の工事価格の 1,000 円未満の金額を除いた額を計上する。

6. 注意事項

(1) 歩掛の中で率計上となっている諸雑費について

諸雑費は、雑材料、小器材の費用等について、積算の繁雑さを避けるため率計上するとともに、単価表作成にあたっての端数処理を兼ねたものである。

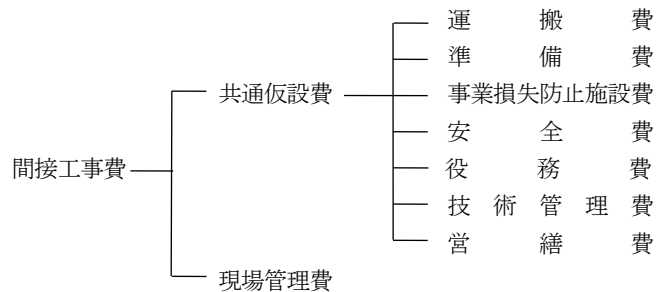
計上にあたっては、所定の諸雑費率を乗じた額を上限とし、当該金額を越えない範囲で端数処理を行うものである。

(2) 常設作業帯の設置が困難な地域での路上工事において、現場条件により資機材等の日々回送が発生することで作業時間に影響を及ぼす恐れがある場合の積算については、別途考慮すること。

② 間接工事費（**建地－Ⅰ**）、（**運Ⅰ**）、（**県**）

1. 総 則

この算定基準は、間接工事費の算定に係る必要な事項を定めたものである。間接工事費の構成は、以下のとおりとする。



2. 共通仮設費

(1) 工種区分

共通仮設費は、**表－1**に掲げる区分ごとに算定するものとする。

- 1) 工種区分は、工事名にとらわれることなく、工種内容によって適切に選定するものとする。
- 2) 2 種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分を適用するものとする。
ただし、判断しがたい場合は直接工事費で判断してよい。
- 3) 変更設計時に数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。

(2) 算定方法

共通仮設費の算定は、**別表第 1** の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算しておこなうものとする。

1) 率計算による部分

下記に定める対象額ごとに求めた率に、当該対象額を乗じて得た額の範囲内とする。

対象額（P）＝直接工事費＋（支給品費＋無償貸付機械等評価額）＋事業損失防止施設費
＋準備費に含まれる処分費

（イ）下記に掲げる費用は対象額に含めない。

- a. 簡易組立式橋梁、プレキャスト PC 桁、プレキャスト PC 床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具
- b. 上記 a を支給する場合の支給品費
- c. 鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうちの工場原価（工場製作品を含む）
- d. 大型橋識柱〔オーバーハング式（F 型、T 型、逆 L 型、WF 型）、オーバーヘッド式〕、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等の材料費（製作費を含む。）

（ロ）支給品費及び無償貸付機械等評価額は「直接工事費＋事業損失防止施設費」に含まれるものに限るものとする。

ただし、コンクリートダム工事・フィルダム工事については、支給電力料を対象額に含めないものとする。

また、別途製作工事等で製作し、架設及び据付工事等を分離して発注する場合は、当該製作費は対象額に含めない。

（ハ）無償貸付機械等評価額の算定は次式によりおこなうものとする。

$$\left[\begin{array}{c} \text{無償貸付機械} \\ \text{等評価額} \end{array} \right] = \left[\begin{array}{c} \text{無償貸付機械と同機種、} \\ \text{同型式の建設機械等損料額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{c} \text{当該建設機械等の設計書に} \\ \text{計上された経費} \end{array} \right]$$

（貸付にかかる損料額） （業者持込の損料額） （無償貸付機械等損料額）

(二) 鋼橋桁等の輸送に係る間接費（対象額に対する率計算の場合）の積算は、発注形態別に次表によるものとする。

工 種 形 態	共通仮設費	現場管理費	一般管理費等
製作＋輸送＋架設等	○	○	○
製作＋輸送	×	○	○
輸送＋架設等	○	○	○
輸 送	×	○	○
架 設 等	○	○	○

○対象とする ×対象としない

(注) 購入桁については、製作を購入と読み替える。

2) 積上げ計算による部分

現場条件等を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

3) 条件明示

安全対策上、重要な仮設物等については設計図書に条件明示し、極力指定仮設とするものとする。

4) 適用除外

この算定基準によることが困難又は不適當であると認められるものについては、適用除外とすることができる。

5) 間接工事費等の項目別対象表

間 接 工 事 費 等		共 通 仮 設 費	現 場 管 理 費	一 般 管 理 費 等
対 象 額		対 象 額	直接工事費＋共通 仮設費＝純工事費	純工事費＋現 場 管理費＝工事原価
項 目				
桁 等 購 入 費		×	○	○
処 分 費 等		処分費等（投棄料・上下水道料金・有料道路利用料 の取扱いは、(注) (へ) 参照）		
支 給 品 費 等	桁 等 購 入 費	×	○	×
	一 般 材 料 費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電 力	○	○	×
無償貸付機械等評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現 場 発 生 品		×	×	×
ダ ム 工 事	支 給 電 力 料 （基本料金含む）	×	×	×
	無償貸付機械等評価額	○	×	×

○対象とする ×対象としない

(注) スクラップの間接工事費は、現場発生品と同等とする。

- (注) (イ) 桁等購入費とは、簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具（※a、b）をいう。
- a. 大型遊具の定義は、「施工現場の状況に合わせて工事製作される大型遊具（実施設計等でコンサルタント等に設計させた①オリジナル製品、及び②カタログ製品を複数直接組み合わせたもの）」とし、カタログ製品単体のものは含まない。
- b. 大型遊具の現場での加工・組立・設置等の工事費用については、共通仮設費の対象とする。
- (ロ) 無償貸付機械評価額とは、無償貸付機械と同機種同型式の建設機械等損料額から当該建設機械等の設計書に計上された額を控除した額をいう。
- (ハ) 別途製作する標識柱（オーバーハング式（F型、T型、逆L型、WF型）、オーバーヘッド式）、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等、工場製作品単価の場合の扱いは、鋼橋・門扉等工場原価の取扱いに準ずるものとする。（t 当り製作単価として取扱う場合）
- (ニ) 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいう。
- (ホ) 別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作の製作費（材料費含む）と同じ扱いとする。
- (ヘ) 「処分費等」の取扱い
- 「処分費等」とは、下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は、次表のとおりとする。
- a. 処分費（再資源化施設の受入費を含む）
- b. 上下水道料金
- c. 有料道路利用料

区 分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%以下かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共 通 仮 設 費	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現 場 管 理 費	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一 般 管理費等	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

- (注) 1. 上表の処分費等は、準備費に含まれる処分費を含む。
- なお、準備費に含まれる処分費は伐開、除根等に伴うものである。
2. 処分費を計上する場合は、「第Ⅰ編第2章 ②間接工事費 2. 共通仮設費 2-3 準備費」により単価登録すること。
3. 上表により難しい場合は別途考慮するものとする。

表-1 工 種 区 分

工種区分	工 種 内 容
河川工事	河川工事にあつて、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする
河川・道路構造物工事	河川における構造物工事及び道路における構造物工事にあつて、次に掲げる工事 1. 樋門（管）工、水（閘）門工、サイフォン工、床止（固）工、堰、揚排水機場、ロックシェッド（ＲＣ構造）、スノーシェッド（ＲＣ構造）、防音（吸音・遮音）壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮栈橋、ＰＣ橋（プレキャストセグメントを除く工場製作桁の場合）等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門（管）工、水（閘）門工については「海岸工事」とする 2. 橋梁下部工（ＲＣ構造）、床版工（ＲＣ構造及びプレキャストＰＣ構造） 3. ゴム伸縮継手、落橋防止工（ＲＣ構造）、コンクリート橋の支承、高欄設置工（コンクリート、石材等）、旧橋撤去工（コンクリート橋上下部）、トンネル内装工（新設トンネル） 4. 1・2及び3に類する工事 ただし、工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。また、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く
海岸工事	海岸工事にあつて、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸護壁工、護岸工、樋門（管）工、河口浚渫、水（閘）門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 海岸高潮対策区間の河川工事にあつて、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、樋門（管）工、水（閘）門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
道路改良工事	道路改良工事にあつて、次に掲げる工事 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事
鋼橋架設工事	鋼橋等の運搬架設に関する工事にあつて、次に掲げる工事 1. 鋼橋架設工、鋼橋塗装工、鋼橋塗替工、橋梁検査路設置工、高欄設置工（鋼製・アルミ等）、スノーシェッド（鋼構造）、ロックシェッド（鋼構造）、道路付属物を除く鋼構造物塗替工（水門、樋門、樋管、排水機場等）、床版工（ＲＣ構造及びプレキャストＰＣ構造を除く）、橋梁下部工（鋼製） 2. 簡易組立橋の塗装工事及びこれらに類する工事 3. 鋼橋撤去工（鋼橋に伴う床版撤去含む） ただし、工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。
ＰＣ橋工事	ＰＣ橋に関する工事にあつて、次に掲げる工事 1. 工事現場におけるＰＣ桁の製作（工場製作桁は除く）、架設及び製作架設に関する工事 2. プレキャストセグメント構造のＰＣ橋工事
舗装工事	舗装の新設、修繕工事にあつて、次に掲げる工事 セメントコンクリート舗装工、アルファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事、 ただし、小規模（パッチング等）な工事で施工箇所が点在する工事は除く
橋梁保全工事	橋梁（上部工、下部工）に関するすべての保全、補修、補強工事及び既設橋梁の橋梁付属物工の修繕工事（塗装、舗装打換え等は除く）

工種区分		工 種 内 容
共同溝等工事	(1)	共同溝及び地下立体交差工事（地下駐車場、地下横断歩道等）にあつて、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事
	(2)	共同溝及び地下立体交差工事（地下駐車場、地下横断歩道等）にあつて、次に掲げる工事 施工方法が開削工法による工事
トンネル工事		トンネルに関する工事にあつて、次に掲げる工事 1. トンネル工事 2. 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事 ただし、本体工を完成後別件で照明設備、舗装、側溝等を発注する場合、又は供用開始後の照明設備、吹付け、舗装、修繕工事等は除く
砂防・地すべり等工事		砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事にあつて、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石雪崩防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
道路維持工事		道路にあつて、次に掲げる工事 1. 管理を目的とした維持的工事 2. 道路付属物塗替工、防雪柵設置撤去工 ^{※1} 、トンネル漏水防止工、トンネル内装工（供用トンネル）、路面切削工、路面工、法面工等の維持・補修 ^{※2} に関する工事 3. 道路標識 ^{※1} 、道路情報施設、電気通信設備、防護柵 ^{※1} 、樹木等及び区画線等の設置 4. 除草、除雪、清掃及び植栽等の緑地管理に関する作業 5. 1、2、3 及び 4 に類する工事 ※1：局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※2：法面工の補修については局部的な場合に適用
河川維持工事		河川維持工事（河川高潮対策区間の工事を含む）にあつて、次に掲げる工事 1. 管理を目的とした維持的工事 2. 堤防天端・法面等の補修工事 3. 標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置 4. 道路における電気通信設備以外の当該設備工事 5. 河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 6. 1、2、3、4 及び 5 に類する工事
下水道工事	(1)	下水道に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による管渠工事
	(2)	下水道に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事
	(3)	下水道に関する工事にあつて、次に掲げる工事 ポンプ場工事、処理工事及びこれらに類する工事
	(4)	下水道に関する工事にあつて、次に掲げる工事 下水道の更生工法工事
公園工事		公園及び緑地の造成整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 敷地造成工、園路広場工、植樹工、除草工、芝付工、花壇工、日陰棚工、ベンチ工、池工、遊戯施設工、運動施設工、標識工及びこれらに類する工事
コンクリートダム工事		コンクリートダム本体を主体とする工事
フィルダム工事		フィルタイプでダム本体を主体とする工事
電線共同溝工事		電線共同溝に関する工事
情報ボックス工事		情報ボックスに関する工事（耐火防護も含む）

2-1 共通仮設費の率分

(1) 共通仮設費の率分の積算

- 1) 共通仮設費の率分の算定は、別表第1(第1表～第5表)の工種区分に従って対象額毎に求めた共通仮設費率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。
- 2) 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分」及び「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

(2) 共通仮設費率の補正

1) 施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算

- イ) 表-2 の適用条件に該当する場合、別表第1(第1表～第5表)の共通仮設費率に次表の補正係数を乗じるものとする。

表-2 地域補正の適用

適用条件			補正係数	適用優先
施工地域区分	工種区分	対 象		
大都市 (2)	鋼橋架設工事	名古屋市の市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.5	1
	舗装工事			
	電線共同溝工事			
	道路維持工事			
	下水道工事 (1)、(2)、(4)			
市街地 (DID 補正)	電線共同溝工事	市街地部が施工場所に含まれる場合。		
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事	2車線以上(片側1車線以上)かつ交通量(上下合計)が5,000台/日以上(車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。)	1.4	2
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変更を促す規制を伴う場合。(常時全面通行止めの場合を含む。)		
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
市街地 (DID 補正)	鋼橋架設工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.3	3
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	2車線以上(片側1車線以上)かつ交通量(上下合計)が5,000台/日以上(車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。)	1.3	4
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。(常時全面通行止めの場合を含む。)	1.2	5
市街地 (DID 補正)	鋼橋架設工事、電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.2	6
山間僻地及び離島	全ての工種 ^(※)	人事院規則における特勤手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区の場合。	1.3	7

※コンクリートダム及びフィルダム工事は適用しない。

(注) 1. 市街地とは、施工地域が人口集中地区（DID 地区）及びこれに準ずる地区をいう。

なお、DID 地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が 4,000 人/km² 以上でその全体が 5,000 人以上となっている地域をいう。

2. 山間僻地及び離島：施工地域が人事委員会規則における特地勤務手当・へき地手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。（県）

＜山間僻地該当地区＞

- ・西三河建設事務所管内：岡崎市のうち旧額田町
- ・豊田加茂建設事務所管内：豊田市のうち 旧旭町、旧足助町、旧稲武町、旧小原村、旧下山村
- ・新城設楽建設事務所管内：設楽町、東栄町、豊根村、新城市のうち旧鳳来町、旧作手村

3. 適用条件の複数に該当する場合は、適用優先順に従い決定するものとする。

ロ) 共通仮設費（率分）の計算

共通仮設費（率分）＝対象額（P）×共通仮設費率（K_r）×施工地域を考慮した補正係数

ただし、共通仮設費率は別表第 1（第 1 表～第 5 表）による。

なお、補正係数を乗じる場合は、共通仮設費率（K_r）の端数処理後に係数を乗じて、小数第 3 位を四捨五入して第 2 位とする。

2) その他

イ) 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記 1) の他、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設定することができるものとする。

ロ) 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正值に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。

別表第 1

共 通 仮 設 費 率

第 1 表

工種区分 対象額 適用区分	600 万円 以 下	600 万円を超え 10 億円 以 下		10 億円を 超えるもの
	下記の率とする	3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
		A	b	
河川工事	12.53	238.6	－0.1888	4.77
河川・道路構造物工事	20.77	1,228.3	－0.2614	5.45
海岸工事	13.08	407.9	－0.2204	4.24
道路改良工事	12.78	57.0	－0.0958	7.83
鋼橋架設工事	38.36	10,668.4	－0.3606	6.06
P・C橋工事	27.04	1,636.8	－0.2629	7.05
舗装工事	17.09	435.1	－0.2074	5.92
砂防・地すべり等工事	15.19	624.5	－0.2381	4.49
公園工事	10.80	48.0	－0.0956	6.62
電線共同溝工事	9.96	40.0	－0.0891	6.31
情報ボックス工事	18.93	494.9	－0.2091	6.50
下水道（4）工事	10.24	330.0	－0.2225	3.28

第2表

工種区分	対象額	600 万円 以 下	600 万円を超え 3 億円 以 下		3 億円を 超えるもの
	適用区分	下記の率とする	3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
			A	b	
橋梁保全工事		27.32	7,050.2	－0.3558	6.79

第3表

工種区分	対象額	200 万円 以 下	200 万円を超え 1 億円 以 下		1 億円を 超えるもの
	適用区分	下記の率とする	3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
			A	b	
道路維持工事		23.94	4,118.1	－0.3548	5.97
河川維持工事		9.05	26.8	－0.0748	6.76

第4表

工種区分	対象額	1,000 万円 以 下	1,000 万円を超え 20 億円 以 下		20 億円を 超えるもの
	適用区分	下記の率とする	3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
			A	b	
共同溝等工事	(1)	8.86	68.3	－0.1267	4.53
	(2)	13.79	92.5	－0.1181	7.37
トンネル工事		28.71	4,164.9	－0.3088	5.59
下水道工事	(1)	12.85	422.4	－0.2167	4.08
	(2)	13.32	485.4	－0.2231	4.08
	(3)	7.64	13.5	－0.0353	6.34

第5表

工種区分	対象額	3 億円 以 下	3 億円を超え 50 億円 以 下		50 億円を 超えるもの
	適用区分	下記の率とする	3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
			A	b	
コンクリートダム		13.77	3,064.8	－0.2769	6.32
フィルダム		7.57	43.7	－0.0898	5.88

3) 算定式

$$K_r = A \cdot P^b$$

ただし K_r : 共通仮設費率 (%)

P : 対象額 (円)

A・b : 変数値

注) 1. K_r の値は、小数第 3 位を四捨五入して第 2 位とする。

2. 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分」及び「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

2-2 運搬費（(1)、(2)は港湾浚渫工事・港湾構造物工事を除く）

(1) 運搬費の積算

運搬費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 建設機械器具の運搬等に要する費用
 - (イ) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬
 - (ロ) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬
 - (ハ) 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用
 - (ニ) 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬
 - (ホ) 器材等の搬入、搬出及び現場内小運搬
ただし、支給品及び現場発生品については、積上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。
 - (ヘ) 建設機械の自走による運搬
 - (ト) 建設機械等の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用
 - (チ) 質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬
- 2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬（直接工事費に計上）
- 3) 1) ～2) に掲げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用
- 4) 建設機械等の運搬基地
運搬基地は、建設機械等の所在場所等を勘案のうえ決定するものとする。（表 2.2 参照）

(2) 積算方法

1) 共通仮設費に計上される運搬費

(イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費

- a. 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬（分解・組立を含む）
- b. 器材等（型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板、（敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く）、作業車（P C 橋片持ち架設工）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライドセントル等）の搬入、搬出並びに現場内小運搬
- c. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 吊以上は、積上げるものとする。）
- d. 建設機械等（重建設機械を含む）の日々回送（分解・組立・輸送）に要する費用
- e. 質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬
ただし、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とする場合は別途加算できるものとする。
- f. 上記(1)、1)、(ハ) の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊）の分解・組立及び輸送に要する費用

(ロ) 積上げ項目による運搬費

- a. 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬
なお、運搬される建設機械の運搬中の賃料又は損料についても積上げるものとする。
建設機械の日々回送の場合は、共通仮設費率に含む。
- b. 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬
ただし、敷鉄板については敷鉄板設置・撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。
- c. 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用
（運搬中の本体賃料・損料および分解・組立時の本体賃料を含む。）
- d. 上記（イ）及び（ロ） a ～ c における自動車航送船使用料に要する費用
（運搬中の本体賃料・損料を含む）

2) 直接工事費に計上される運搬費

- a. 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬
- b. 支給品及び現場発生品の運搬

(3) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬

1) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用

質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。

$$U_k = A + M + K \quad (\text{又は } K')$$

ただし、 U_k ：質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費

A ：基本運賃料金（円）

表 2.1 によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、運賃は下表に掲げてある基本運賃は、運搬割増（特大品、悪路、冬期、深夜早朝、地区等）の有無にかかわらず適用できる。

ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。

M ：その他の諸料金（円）

1) 組立、解体に要する費用

重建設機械の組立、解体に要する費用は別途加算する。

2) その他下記事項の料金を必要により計上する。

a 荷役機械使用料

b 自動車航送船使用料

c 有料道路利用料

d その他

K ：運搬される建設機械の運搬中の賃料（円）

K' ：運搬される建設機械の運搬中の損料（円）

運搬される建設機械（被運搬建設機械）の運搬中の賃料又は損料を計上する。

積算方法は、「2）運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。

※建設機械運搬方法等は表 2.3 による。

2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料（ K ）及び損料（ K' ）

運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料及び損料は次式により計上する。

運搬中の賃料＝運搬される機械の供用 1 日当り賃料（円）×運搬に要する日数（日）

$$K = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用 1 日当り賃料（円）} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$$

運搬中の損料＝運搬される機械の供用 1 日当り損料（円）×運搬に要する日数（日）

$$K' = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用 1 日当り損料（円）} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$$

L ：運搬距離（km）基地から現場までの片道距離とする。

輸送速度：（30km/h）

(注) 1. 運搬に要する日数の端数処理は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位止めとする。

2. 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速 30km/h を標準とする。

3. 分解・組立を要する重建設機械の積算にあたっては、重建設機械分解組立により積算すること。

なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料（ K ）が考慮されている。

4. 油圧式杭圧入引抜機（鋼矢板 V L・VI L・II_w・III_w・IV_w型用）の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。

5. 輸送費の算定において、機械の所在場所は表 2.2 を標準とする。（県）

表 2.1 基本運賃表

貨物自動車 規格	機械名	規 格	20km まで (円)	50km まで (円)	100km まで (円)	150km まで (円)	200km まで (円)	200km を超 え 20km ま でを増す 毎に (円)
20t 車以上 30t 車まで	路面切削機	2.0m	71,000	87,000	112,000	137,000	163,000	10,200
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.6m						
	スタビライザ	幅 2.0m 深 1.2m						
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.4m						
	自走式破碎機	クラッシャー 寸法 開 450mm 幅 925mm						
	油圧式杭圧 入引抜機	鋼矢板 10H・ 25H・45H・50H 型用						
	油圧式杭圧 入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ型用						
	バックハウ (超ロング アーム型)	バケット容量 0.3m ³						
	バックハウ (超ロング アーム型)	バケット容量 0.4m ³						
	バックハウ (超ロング アーム型)	バケット容量 0.45m ³						
	各種	ー						

- (注) 1. 450km を超える場合は別途考慮する。
2. 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。

表 2.2 建設機械の所在地（県）

機 械		所 在 場 所
大型建設機械 パワーショベル (1.2m ³ 以上)、杭打機 (4t 以上 45kw 以上)、 場所打杭施工機械、トラッククレーン及びクローラクレーン (55t 吊以上)、ダンプトラック (13.5t 以上)、コンクリートブ ラント (0.75m ³ 「28 切」以上)		名古屋市、豊橋市、一宮市、豊田市、岡崎市、 津島市、安城市
橋梁エクシジョン機械	鋼 橋	県庁、知多建設事務所、東三河建設事務所
	P C 橋	岐阜市、掛川市
その他機械		工事現場のある市町村役場

表 2.3 建設機械運搬方法

機 械 名	規 格	車 載		備 考
		車 種	機械質量 (t)	
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m	R	28.50 (27.00)	①内は排気ガス 対策型(2014年 規制)の場合の 機械質量
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 0.6m	R	23.00	
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 1.2m	R	24.70	
スタビライザ (路盤再生用)	幅 2.0m 深 0.4m	R	22.50	
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm	R	30.00	
油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板 10H・25H・45H・50H 型用	R	21.80	
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地専用)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29.70	
バックホウ (超ロングアーム型)	バケット容量 0.3m ³	R	26.10	
バックホウ (超ロングアーム型)	バケット容量 0.4m ³	R	22.00	
バックホウ (超ロングアーム型)	バケット容量 0.45m ³	R	22.00	

- (注) 1. 貨物自動車による運搬は、別途計上する。
 2. 車載のRはトレーラである。
 3. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

(4) 仮設材等の運搬

1) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬費用

仮設材の運搬は次式によりおこなうものとする。

$$U = [E \times (1 + F)] \times G + H$$

ただし U：仮設材の運搬費

E：基本運賃（円/t）

下表によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、運賃は下表に掲げてある基本運賃に、必要に応じ深夜早朝割増を行うものとし、車両留置料、長大品割増、休日割増、特別割引は適用しない。

基 本 運 賃 表

(単位：円/t)

製品長 距 離	12m以内	12m超～ 15m以内	15m超
10kmまで	4,530 (4,210)	4,970 (4,660)	7,480 (6,450)
20 "	4,690 (4,380)	5,230 (4,950)	7,950 (6,810)
30 "	5,010 (4,710)	5,570 (5,190)	8,450 (7,180)
40 "	5,340 (4,990)	5,920 (5,570)	8,940 (7,620)
50 "	5,690 (5,340)	6,320 (5,870)	9,490 (8,020)
60 "	6,050 (5,610)	6,750 (6,270)	10,000 (8,480)
70 "	6,470 (6,060)	7,180 (6,640)	10,600 (8,950)
80 "	6,820 (6,340)	7,570 (7,050)	11,100 (9,450)
90 "	7,190 (6,750)	8,000 (7,380)	11,800 (9,910)
100 "	7,610 (7,000)	8,450 (7,770)	12,400 (10,300)
110 "	8,010 (7,460)	8,880 (8,200)	13,000 (10,900)
120 "	8,350 (7,560)	9,250 (8,450)	13,600 (11,300)
130 "	8,770 (8,170)	9,700 (8,950)	14,200 (11,900)
140 "	9,160 (8,280)	10,000 (9,250)	14,800 (12,300)
150 "	9,470 (8,660)	10,400 (9,480)	15,400 (12,700)
160 "	9,870 (8,860)	10,800 (9,850)	15,900 (13,100)
170 "	10,200 (9,270)	11,200 (10,100)	16,600 (13,700)
180 "	10,500 (9,340)	11,600 (10,400)	17,100 (14,000)
190 "	10,900 (9,780)	12,100 (10,700)	17,900 (14,600)
200 "	11,400 (10,000)	12,600 (11,000)	18,600 (15,000)
200kmを超え 20kmまでを増すごとに	780 (665)	925 (764)	1,330 (1,050)

(注) 1. 北海道・東北・関東・北陸・中部・沖縄の6地方整備局等は（ ）内の運賃を適用する。

ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。

2. 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。

3. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。

4. 誘導車、誘導員が必要な場合については別途計上する。

5. 所在地は近傍に所在する場合を除いて県庁とする。ただし、鋼矢板の5L型の所在地は、近傍に所在する場合を除いて大阪とする。(県)

F：深夜・早朝割増

運搬時間を「22 時～5 時」に指定する場合	3 割増
------------------------	------

G：運搬質量（t）

H：その他の諸料金（円）

その他、下記事項の料金を必要により計上する。

- a．有料道路利用料
- b．自動車航送船利用料
- c．その他

＊ 端数の処理

運賃及びその他の諸料金は当該輸送トン数ごとに計算し、円未満の金額については切り捨てる。

2) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み、取卸しに要する費用

仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み・取卸し費

場 所	作 業	費 用 (円/t)		
基 地	積 込 み	750	1, 500	3, 000
現 場	取 卸 し	750		
	積 込 み	750	1, 500	
基 地	取 卸 し	750		

(注) 1. 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。

2. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。

(5) 重建設機械分解・組立

1) 適用範囲

本資料は、工事現場に搬入搬出する標準的な重建設機械の分解・組立及び輸送に適用し、適用する建設機械は次表を標準とする。

表2.4 適用建設機械

機 械 区 分	適用建設機械
ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 通称21t級以上～44t級以下 湿地 通称20t級以上～28t級以下
バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） バケット容量1.0m ³ 以上～2.1m ³ 以下 油圧クラムシェル・テレスコピック バケット容量（平積）0.4m ³ 以上～0.6m ³ 以下
ク ロ ー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 最大吊上能力 16t以上～300t以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 バケット容量（平積）0.6m ³ 以上～3.0m ³ 以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・最大吊上能力50～55t吊〕
ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 100t以上～550t以下
ク ロ ー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ 油 圧 ハ ン マ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t以上～150t以下
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000mm以下
地 盤 改 良 機 械	中層混合処理機 機械質量20t以上～120t以下
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機 機械質量 20t以上～180t以下
ト ン ネ ル 用 機 械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20t以上～60t以下

2) 施工歩掛

(イ) 使用機械の規格選定

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表2.5 クレーンの規格選定

機 械 区 分		規 格	分解組立用クレーン	
			機 械 名	規 格
バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 トンネル用機械		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 〕	最大吊上 能力 25t吊
ブルドーザ		21t級以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2011年規制) 〕	最大吊上 能力 25t吊
		44t級以下		
地盤改良機械	中層混合処理機	質量60t以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 〕	最大吊上 能力25t吊
		質量120t以下		最大吊上 能力 60t吊
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 深層混合処理機 プレファブリケート バーチカル・レーン打機	質量60t以下		
		質量120t以下		
		質量180t以下		
クローラクレーン系		35t吊以下 (クラムシェル平積0.6m ³ 含む)	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 〕	最大吊上 能力 25t吊
		80t 吊以下 (クラムシェル平積 2.0m ³ 以下含む)		
		150t 吊以下 (クラムシェル平積 3.0m ³ 以下含む)	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値) 〕	最大吊上 能力 60t吊
		300t吊以下		
トラッククレーン系		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 〕	最大吊上 能力 70t吊
		200t吊以上 360t吊以下	リフター〔せり上げ能力〕	50t
		550t吊以下		
クローラ式杭打機		質量60t以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 〕	最大吊上 能力 60t吊
		質量100t以下		
		質量150t以下		
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		表2.4 参照 (本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型 (2014年規制)〕最大吊上能力70～90t吊を使用する場合)	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型 (2014年規制)〕	最大吊上 能力 70～90t吊
		表2.4 参照 (本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型 (2014年規制)〕最大吊上能力100t吊を使用する場合)	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型 (2014年規制)〕	最大吊上 能力 100t吊

- (注) 1. ラフテレーンクレーン、リフターは、賃料とし、クローラクレーンは損料とする。
 なお、リフター（せり上げ能力 50t）の併用 1 日あたり賃料は 224,000 円を標準とする。
 （オペレーター、燃料油脂費を含み、回送、運搬費は含まない。）
2. 現道上および高架下等のラフテレーンクレーンによる分解組立作業が困難な場合は、リフターを使用する事ができる。
3. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。

(ロ) 歩 掛

分解・組立 1 台 1 回当り歩掛は、次表を標準とする。

表 2.6 分解・組立 1 台 1 回当り歩掛

機 械 区 分	規 格	労 務 歩 掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン 運 転 歩 掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
ブ ル ド ー ザ	21t級以下	2.8	2.1	155	21
	44t級以下	4.6	3.4	153	21
バ ッ ク ホ ウ 系	バケット容量 1.5m ³ 以下 〔油圧クラムシェル ・テレスコピック 0.4m ³ 以上 0.6m ³ 以下含む〕	2.7	1.4	250	24
	バケット容量 2.1m ³ 以下	4.5	2.3	256	25
クローラクレーン系	35t吊以下 〔クラムシェル 平積0.6m ³ 含む〕	3.0	0.8	444	22
	80t吊以下 〔クラムシェル 平積2.0m ³ 以下含む〕	5.5	1.5	434	21
	150t吊以下 〔クラムシェル 平積3.0m ³ 以下含む〕	11.3	3.1	315	15
	300t吊以下	20.5	5.7	313	15
トラッククレーン系	120t吊以下	4.3	1.5	394	75
	160t吊以下	5.7	1.9	409	78
	360t吊以下	11.7	4.0	399	75
	550t吊以下	20.9	7.1	401	76
	200t吊以上 360t吊以下 (リフターを 使用する場合)	11.0	2.7	392	83
	550t吊以下 (リフターを 使用する場合)	19.4	4.9	390	83
クローラ式杭打機	60t以下	8.6	2.1	163	2
	100t以下	15.5	3.7	164	2
	150t以下	23.5	5.6	163	2
オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕	—	3.9	3.4	595	5

機 械 区 分		規 格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		〔本体工事でクローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）〕 最大吊上能力70～90t吊を使用する場合〕	4.9	11.9 (h)	490	4
		〔本体工事でクローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）〕 最大吊上能力100t吊を使用する場合〕	4.9	11.9 (h)	361	3
地盤改良機械	中 層 混 合 処 理 機	60t以下	16.0	2.4	265	4
		120t以下	41.2	6.3	211	3
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 深層混合処理機 プレファブリケートッド バーチカルレーン打機	60t以下	16.0	2.4	213	3
		120t以下	41.2	6.3	211	3
		180t以下	64.6	9.9	210	3
トンネル用機械		－	5.4	2.0	582	8

(注) 1. 分解・組立の合計であり、内訳は分解 50%、組立 50%である。

2. 標準的作業に必要な装備品・専用部品が含まれている。

3. 運搬費等には下記①～⑤の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。

①トラック及びトレーラによる運搬費〔往復〕（誘導車、誘導員含む）

②自走による本体賃料・損料

③運搬中の本体賃料・損料

④分解・組立時の本体賃料

⑤ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用

4. 諸雑費は分解・組立のみを計上する際に適用し、下記①～②の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

①分解・組立時の本体賃料

②ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用

3) その他

(1) 深層混合処理機（二軸式 90kW×2）は、地盤改良機械（機械質量 180t 以下）を適用する。

(2) 粉体噴射攪拌機（単軸式 19.6kN・m×1）は、地盤改良機械（機械質量 60t 以下）を適用する。

(3) 粉体噴射攪拌機（二軸式 55kW×2）は、地盤改良機械（機械質量 120t 以下）を適用する。

(4) 粉体噴射攪拌機（二軸式 90kW×2）は、地盤改良機械（機械質量 120t 以下）を適用する。

4) 単 価 表

(1) 重建設機械分解組立輸送 1 回当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		表 2.6
分解組立用クレーン		日 (h)		表 2.5、2.6
運 搬 費 等		式	1	表 2.6
諸 雑 費		〃	1	
計				

(2) 重建設機械分解組立 1 回当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		表 2.6
分解組立用クレーン		日 (h)		表 2.5、2.6
諸 雑 費		式	1	表 2.6
計				

2-3 準備費

(1) 準備費の積算

準備費として積算する内容は次のとおりとする。

1) 準備及び後片付けに要する費用

- (イ) 着手時の準備費用
- (ロ) 施工期間中における準備、後片付け費用
- (ハ) 完成時の後片付け費用

2) 調査・測量、丁張等に要する費用

- (イ) 工事着手前の基準測量等の費用
- (ロ) 縦、横断面図の照査等の費用
- (ハ) 用地幅杭等の仮移設等の費用
- (ニ) 丁張の設置等の費用

3) 準備として行う以下に要する費用

- (イ) ブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹等などを除去する費用
(樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)
- (ロ) 除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用

なお、伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込み作業を含む。(伐採作業に伴う現場内の集積・積込作業は含まない。)

4) 1) から 3) に掲げるもののほか、伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する費用、及び当該建設副産物等の処理費用等、工事の施工上必要な準備に要する費用。

5) 準備に伴い発生する交通誘導員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。

(2) 積算方法

準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)とし、積上げ計上する項目は前記(1)の4)に要する費用とし、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

2-4 事業損失防止施設費

(1) 事業損失防止施設費の積算

事業損失防止施設費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費、及び当該仮施設の維持管理等に要する費用
- 2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用

(2) 積算方法（県）

事業損失防止施設費の積算は、平成 22 年 9 月 28 日付 22 用地第 170 号「事業損失の防止対策について（通知）」によるものとする。

(3) 施工箇所（県）

工事施工にあたって事業損失の発生の恐れがあると判断した箇所とする。

2-5 安全費

(1) 安全費の積算

安全費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 安全施設等に要する費用
- 2) 安全管理等に要する費用
- 3) 1) 及び 2) に掲げるものの他、工事施工上必要な安全対策等に要する費用

(2) 積算方法

- 1) 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。

- ① 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用
- ② 不稼働日の保安要員等の費用
- ③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料
- ④ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル本体工事、トンネル内舗装等工事）は除く）
- ⑤ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用
- ⑥ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用（工事用連絡設備含む）
- ⑦ 酸素欠乏症の予防に要する費用
- ⑧ 粉塵作業の予防に要する費用（但し、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備、「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に伴う各ばく露防止対策は、仮設工に計上する）
- ⑨ 安全用品等の費用（墜落制止用器具（フルハーネス型）を含む）
- ⑩ 安全委員会等に要する費用
- ⑪ 「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要する費用

- 2) 上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。

- ① 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入口等に配置する安全管理員等に要する費用
- ② バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等の現場環境改善費の積算（積算方法は、第 1 編 第 10 章「土木請負工事における現場環境改善費の積算」による）
- ③ 高圧作業の予防に要する費用
- ④ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用
- ⑤ ダム工事における岩石掘削時に必要な発破・監視のための費用
- ⑥ トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要する費用
- ⑦ 鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における呼吸用防護具（電動ファン付粉塵用呼吸用防護具等）に要する費用

- ⑧ 「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における切羽変位計測に要する費用（トンネル（NATM）の計測Aに要する費用については除く）
- ⑨ その他現場条件等により積上げを要する費用
- 3) トンネル工事における呼吸用保護具の積算
- トンネル工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）の費用として、1工事当り次式により「呼吸用保護具等費用」を計上するものとする。
- $$\text{呼吸用保護具等費用} = 1,660,000 + \text{総労務費} \times 0.5\% \text{（円）}$$
- 上記計算式は呼吸用保護具の規格がB級（半面形面体）の場合に適用する。
- 上記以外の規格を適用する場合は別途考慮するものとする。
- なお、総労務費とは、1工事当りのトンネル世話役、トンネル特殊工、トンネル作業員の労務費（鏡吹付施工労務費を含む）の合計額とする。
- （注）B級とは濡れ率の性能等級を示す。

2-6 役務費（建地・県）

- (1) 役務費の積算
- 役務費として積算する内容は次のとおりとする。
- 1) 土地の借上げ等に要する費用
 - 2) 電力、用水等の基本料
 - 3) 電力設備用工事負担金
- (2) 積算方法
- 役務費の積算は、現場条件を的確に把握し、必要額を適正に積上げるものとする。
- 1) 電力基本料金
- 料金は、負荷設備、使用条件に応じて異なるため、個々に電力会社の「電気供給規程」により積算する。
- 2) 電力設備用工事負担金
- 電力設備用工事負担金とは、臨時電力（1年未満の契約の契約期間の場合に適用）の臨時工事費及び高圧電力甲等（1年以上の契約期間で1年間までは負荷を増減しない場合に適用）の、工事負担金を総称するものである。
- 工事負担金は、使用する設備容量、電気供給契約種別、電力会社が施設する配電線路の延長等によって異なるので設備容量、使用期間、使用場所等を定めて負担金を計上する。
- (3) 借地料及び立木補償費の積算
- 1) 請負工事に必要な借地料は民有地に設置するコンクリートプラント、アスファルトプラント定置式コンプレッサー、ケーブルクレーン設備、仮運搬路、給水設備等である。
 - 2) コンプレッサー、ケーブルクレーン、仮運搬路、給水設備、その他工事設備として必要な敷地はその都度求積して積算すること。ただし労務者宿舎、現場事務所、倉庫及び材料保管場は営繕費にて計上されているので役務費の借地料には計上しないこと。
 - 3) 借地料
- 請負工事に必要な土地の借上料は次のとおりとする。但し計上は役務費又は補償費とするがその扱いについては必要に応じて主管課と協議する。
- イ 近傍類地に賃借りの事例がある場合
- $$\text{事例の契約条件等の上妥当額に} \frac{100}{110} \text{ を乗じて決定する。}$$

ロ 近傍類地に借り地の事例がない場合

$$1\text{m}^2\text{ 当り 借地料} = \frac{A \cdot a}{12} \times B \times \frac{100}{110}$$

A＝借地の正常な取引価格（㎡ 当り）

a＝年間の地代又は賃借相当額＋公租公課等相当額

（イ）宅地・宅地見込地および農地 6%

（ロ）山林およびその他の土地 5%

B＝工 期（月数）

30 日未満は借上返還日数を勘案して切上げとする。

上記算出額を参考の上、決定する。

ハ 工期延長の場合は設計変更において処理する。

但し、業者の責任に属する期間延長は除く。

ニ 立木、物件等の補償を要するものは借上料のほかに計上する。

4) 工事用敷地の借上げ及び補償

営繕損料に属せず工事施工上特に必要な用地の借上げ及び補償に要する費用は計上することができる。但し計上は役務費又は補償費とするが、その扱いについては必要に応じて主管課と協議する。

イ 埋戻土砂の仮置場に適当な場所がなく附近地の借上げを必要とする場合

ロ 含水が大きく特に軟弱で直接盛土又は搬入作業ができず脱水のため一時仮置場敷地の必要な場合

ハ 仮設道路用敷地、機械搬入用敷地の必要な場合

ニ 多量の土砂をブルドーザー掘削仮置して他に搬出する場合

ホ 支給土の適当な荷渡し場所がなく、かつ、工程上止むなく集積場を必要とする場合

ヘ その他工事施工上特に必要と認められる場合

※ 用地補償費については工事費の構成外である。

(4) 買収用地内のみで工事を遂行することが困難と判断される工事にあつては踏荒し料を計上することができる。

平地部（田、畑等）工事延長×1.0m

山地部（山林）工事延長×2.0m

上記により難い場合は別途積算すること。

(5) 踏荒し料単価は上記(3)と同じとする。

2-7 技術管理費（建地・県）

(1) 技術管理費の積算

技術管理費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 品質管理のための試験等に要する費用
- 2) 出来形管理のための測量等に要する費用
- 3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用
- 4) 1) ～3) に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用

(2) 積算方法

技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の 1)、2)、3)のうち下記項目とする。

- ① 品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用
- ② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用
- ③ 工程管理のための資料の作成等に要する費用
- ④ 完成図の作成及び電子納品等（道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く）に要する費用
- ⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用
- ⑥ コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用
- ⑦ コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用
- ⑧ 非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定に要する費用
- ⑨ 微破壊、非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用

- ⑩ PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用
- ⑪ トンネル工(NATM) の計測Aに要する費用
- ⑫ 塗装膜厚施工管理に要する費用
- ⑬ 溶接工の品質管理のための試験等に要する費用（現場溶接部の検査費用を含む）
- ⑭ 施工管理で使用するOA機器の費用（情報共有システムに係る費用（登録料及び利用料）を含む）
- ⑮ 品質証明に係る費用（品質証明費）
- ⑯ 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用

上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。

(イ) 特殊な品質管理に要する費用

- ・土質等試験：品質管理基準に記載されている項目以外の試験
- ・地質調査：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験

(ロ) 現場条件等により積上げを要する費用

- ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用
- ・試験盛土等の工事に要する費用、トンネル（NATM）の計測Bに要する費用
- ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要する費用
- ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的とした特別な機器（鉄筋探索器等）を用いた調査に要する費用
- ・防護柵の出来型管理のための非破壊試験に要する費用

(ハ) 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用

- ・調査に要する費用とし、その費用については、間接工事費、一般管理費等の対象とする。

(ニ) ICT建設機械に要する以下の費用

- ・システム初期費
 - （1 工事当り使用機種毎に一式計上とする。施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上するのではなく、1 工事当り使用機種毎に一式計上を原則とする。）
- ・3次元起工測量・3次元設計データの作成費用
- ・3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用（積上げ計上とする場合）

(ホ) その他、前記イ、ロ、ハ、ニに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用

2-8 営繕費

(1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- 2) 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- 3) 倉庫及び材料保管場の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- 4) 労務者の輸送に要する費用
- 5) 上記1)、2)、3)に係る土地・建物の借上げに要する費用
- 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用
- 7) 1)～6)に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用

(2) 積算方法

営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)、4)、5)及び6)の内以下の項目とする。

- ・コンクリートダム、フィルダム工事では、監督員詰所及び火薬庫等の設置・撤去、維持・補修に要する費用を含む。

上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。

1) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕に要する費用

監督員詰所及び火薬庫等の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。

イ. 監督員詰所

- ・設置撤去する場合 $E_k = A(500 \cdot M + 14,150) + t \cdot M$
- ・設置のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 10,600) + t \cdot M$
- ・撤去のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 3,550) + t \cdot M$
- ・損料のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M) + t \cdot M$

但し、 E_k ：監督員詰所に係る営繕費

（ E_k には、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記 t の費用が含まれる。）

A ：建物面積（ m^2 ）

（建物面積は人員2名までは $25m^2$ を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。）

M ：月数（必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、第1位とする。）

t ：次の項目に要する費用

a. 備品（机、いす、黒板、温度計、書籍、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット）に要する費用

備品は損料として13,800円/月を計上する。

b. その他、現場条件等により積上げを要する費用。

- （注）1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。
 2. 上記の E_k については、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。
 3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管（線）と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。
 4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。

ロ. 火薬庫類

(イ) 火薬庫類の計上区分

(a) 大規模工事（1 工事の火薬使用料が、20t 以上の工事）

表 2.1 火薬庫類等の計上区分及び規格

火 薬 庫 類 等	規 格
火 薬 庫	2 級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 $5.0m^2$
火 工 品 庫	鋼製移動式 1t $3.2m^2$
取 扱 所	鋼製移動式 $3.2m^2$
火 工 所	組立テント式 $1.9m^2$

（注）各都道府県等の条例、現場条件等により現場に火薬庫を設置することが不適当と判断される場合は小規模工事に準ずる。

(b) 小規模工事（大規模以外の工事）

表 2.2 火薬庫類等の計上区分及び規格

火 薬 庫 類 等	規 格	適 用
取 扱 所	鋼製移動式 $3.2m^2$	1 日の使用料が 25kg 以下の場合 は計上しない。
火 工 所	組立テント式 $1.9m^2$	

（注）交通不便な箇所において火薬庫を設置して火薬類を保管する必要があると判断される場合、又は各都道府県等で条例、その他別途定められている場合においては必要に応じて火薬庫を計上するものとする。

(ロ) 火薬庫類の営繕損料

表 2.3 1 現場当り火薬庫類損料

火 薬 庫 類 等	規 格	損料（2 年以下一律）（円）
火 薬 庫	2 級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ²	620,000
火 工 品 庫	鋼製移動式 1t 3.2m ²	523,000
取 扱 所	鋼製移動式 3.2m ²	459,000
火 工 所	組立テント式 1.9m ²	54,000

（注）1. 1 現場当りの使用期間が 2 年を超える場合は下記のとおりとする。

a. 2 年を超え 4 年以下の場合は、上表損料の 40%増とする。

b. 4 年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。

2. 火薬庫類損料には、火薬庫類の設置・撤去、立入防止柵、警報装置等の費用を含む。

(ハ) 保安管理費

火薬庫、火工品庫等を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載するものとし、次式により算定する。

保安管理費＝火薬庫類設置期間（月）×30 日/月×普通作業員単価（昼間単価）

（注）火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、0.5 ヶ月単位（2 捨 3 入）とする。

（二）火薬庫類の設置にあたり土地の借上げが必要な場合は別途計上することができる。

2) 現場事務所、監督員詰所等の美装化、シャワーの設置、トイレの水洗化等に要する費用とし、積算方法は第 10 章【土木請負工事における現場環境改善費の積算】による。

3) その他、現場条件等により積上げを要する費用。

3. 現場管理費

(1) 現場管理費の項目及び内容

1) 労務管理費

現場労働者に係る次の費用とする。

イ．募集及び解散に要する費用（赴任旅費及び解散手当を含む。）

ロ．慰安、娯楽及び厚生に要する費用

ハ．直接工事費及び共通仮設費に含まれない作業用具及び作業用被服の費用

ニ．賃金以外の食事、通勤等に要する費用

ホ．労災保険法等による給付以外に災害時には事業主が負担する費用

2) 安全訓練等に要する費用

現場労働者の安全・衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用

3) 租税公課

固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課。ただし、機械経費の機械器具等損料に計上された租税公課は除く。

4) 保険料

自動車保険（機械器具等損料に計上された保険料は除く。）工事保険、組立保険、法定外の労災保険、火災保険、その他の損害保険の保険料

5) 従業員給料手当

現場従業員の給料、諸手当（危険手当、通勤手当、火薬手当等）及び賞与

ただし、本店及び支店で経理される派遣会社役員等の報酬及び運転者、世話役等で純工事費に含まれる現場従業員の給料等は除く。

6) 退職金

現場従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰入額

7) 法定福利費

現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額

8) 建設業退職金共済契約に係る掛金

建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額

9) 福利厚生費

現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用

10) 事務用品費

事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費

11) 通信交通費

通信費、交通費及び旅費

12) 交際費

現場への来客等の応対に要する費用

13) 補償費

工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通騒音等による事業損失に係る補償費

ただし、臨時にして巨額なものは除く。

14) 外注経費

工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要な経費

15) 工事登録等に要する費用

工事実績等の登録に要する費用

16) 動力・用水光熱費

現場事務所、試験室、労働者宿舍、倉庫及び材料保管庫で使用する電力、用水、ガス等の費用（基本料金を含む。）

17) 公共事業労務費調査に要する費用

18) 雑 費

1) から 17) までに属さない諸費用

(2) 現場管理費の算定

1) 現場管理費は別表第2（第1表～第5表）の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。

なお、現場管理費の算定上、対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法 1）率計算による 部分の（二）」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法 5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

2) 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとらわれることなく工種を選定するものとする。

3) 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。

(3) 現場管理費率の補正

1) 緊急工事は2.0%の補正值を加算するものとする。緊急工事とは、昼夜間連続作業が前提となる工事で直轄河川災害復旧事業等事務取扱要綱第9条に示す緊急復旧事業及び直轄道路災害復旧事業事務取扱要綱第10条に示す緊急復旧事業並びにこれと同等の緊急を要する事業とする。

2) 施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算

イ) 表-3の適用条件に該当する場合、別表第2（第1表～第5表）の現場管理費率に次表の補正係数を乗じるものとする。

表-3 地域補正の適用

適用条件			補正 係数	適用 優先
施工地域区分	工種区分	対 象		
大都市（2）	鋼橋架設工事	名古屋市の市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.2	1
	舗装工事			
	電線共同溝工事			
	道路維持工事			
	下水道工事 (1)、(2)、(4)			
市街地（DID 補正）	電線共同溝工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.2	2
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事	2車線以上（片側1車線以上）かつ交通量（上下合計）が5,000台/日以上以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。		
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事	一般交通影響有り（1）以外の車道において、車線変更を促す規制を伴う場合。（常時全面通行止めの場合を含む。）		
	道路維持工事			
	舗装工事			
	橋梁保全工事			
市街地（DID 補正）	鋼橋架設工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.1	3
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	2車線以上（片側1車線以上）かつ交通量（上下合計）が5,000台/日以上以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。	1.1	4
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	一般交通影響有り（1）以外の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。（常時全面通行止めの場合を含む。）	1.1	5
市街地（DID 補正）	鋼橋架設工事、電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事、橋梁保全工事以外の工種 ^(※)	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.1	6
山間僻地及び離島	全ての工種 ^(※)	人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区の場合。	1.0	7

※コンクリートダム及びフィルダム工事は適用しない

(注) 1. 市街地とは、施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。

なお、DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。

2. 山間僻地及び離島とは、施工地域が人事委員会規則における特勤手当・へき地手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。（県）

＜山間僻地該当地区＞

- ・西三河建設事務所管内：岡崎市のうち旧額田町
- ・豊田加茂建設事務所管内：豊田市のうち 旧旭町、旧足助町、旧稲武町、旧小原村、旧下山村
- ・新城設楽建設事務所管内：設楽町、東栄町、豊根村、新城市のうち旧鳳来町、旧作手村

3. 適用条件の複数に該当する場合は、適用優先によるが、共通仮設費で決定した施工地域区分と同じものを適用すること。

3) その他

- イ) 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記1)及び2)のほか、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設定することができるものとする。
- ロ) 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正值に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。

(4) 支給品の取扱い

- 1) 資材等を支給するときは、当該支給品費を純工事費に加算した額を現場管理費算定の対象となる純工事費とする。

(5) 現場管理費の積算において支給品、貸付機械がある場合は、次により積算する。

- 1) 別途製作工事で製作し、架設（据付）のみを分離して発注する場合は、当該製作費は積算の対象とする純工事費には含めない。
- 2) 当初の支給品の価格決定については、官側において購入した資材を支給する場合、現場発生資材を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、入札時における市場価格又は類似品価格とする。
- 3) コンクリートダム工事、フィルダム工事については、無償貸付機械等評価額及び支給電力料（基本料金含む）は、積算の対象となる純工事費には含めない。

(6) 「処分費等」の取扱い

「処分費等」とは、下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は、次表のとおりとする。

- 1) 処分費（再資源化施設の受入費を含む）
- 2) 上下水道料金
- 3) 有料道路利用料

区 分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%以下かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共 通 仮 設 費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現 場 管 理 費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一 般 管理費等	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

(注) 1. 上表の処分費等は、準備費に含まれる処分費を含む。

なお、準備費に含まれる処分費は伐開、除根等に伴うものである。

2. 処分費を計上する場合は、「第Ⅰ編第2章②間接工事費 2. 共通仮設費 2-3 準備費」により計上すること。
3. 上表により難しい場合は別途考慮するものとする。

(7) 現場管理費の計算

1) 施工時期、工事期間、施工地域を考慮した計算

現場管理費＝対象純工事費×{(現場管理費率×補正係数)＋補正值}

対象純工事費：純工事費＋支給品費＋無償貸付機械等評価額

ただし、現場管理費率は、別表第2（第1表～第5表）による。

補正係数は、(3)2) 施工地域を考慮した現場管理費率の補正による。

補正值は、(3)1) 施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正による。

なお、補正係数を乗じる場合は、現場管理費率(J o)の端数処理後に係数を乗じて、小数第3位を四捨五入して第2位とする。

別表第2

現場管理費率

第1表

工種区分	対象額	700万円 以 下	700万円を超え10億円 以 下		10億円を 超えるもの
	適用区分	下記の 率 とする	2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
			A	b	
河川工事		44.05	1118.2	-0.2052	15.91
河川・道路構造物工事		43.11	402.3	-0.1417	21.34
海岸工事		28.11	100.3	-0.0807	18.84
道路改良工事		34.09	76.4	-0.0512	26.44
鋼橋架設工事		48.86	265.1	-0.1073	28.69
P C 橋工事		31.06	111.0	-0.0808	20.80
舗装工事		40.83	598.0	-0.1703	17.54
砂防・地すべり等工事		46.27	1229.5	-0.2081	16.48
公園工事		43.09	347.3	-0.1324	22.34
電線共同溝工事		61.19	2132.5	-0.2253	20.01
情報ボックス工事		54.60	1528.4	-0.2114	19.13
下水道(4)工事		35.56	178.6	-0.1024	21.39

(注) 基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。

第2表

工種区分	対象額	700万円 以 下	700万円を超え3億円 以 下		3億円を 超えるもの
	適用区分	下記の 率 とする	2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
			A	b	
橋梁保全工事		65.88	1465.2	-0.1968	31.45

第3表

工種区分	対象額	200万円 以 下	200万円を超え1億円 以 下		1億円を 超えるもの
	適用区分	下記の 率 とする	2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
			A	b	
道 路 維 持 工 事		60.33	613.0	-0.1598	32.29
河 川 維 持 工 事		42.35	167.1	-0.0946	29.25

第4表

工種区分		適用区分	対象額	1,000万円 以 下	1,000万円を超え20億円 以 下		20億円を 超えるもの
				下記の 率 とする	2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
					A	b	
共 同 溝 等 工 事	(1)			50.57	351.0	-0.1202	26.75
	(2)			38.78	103.5	-0.0609	28.09
ト ン ネル 工 事				45.56	189.4	-0.0884	28.52
下 水 道 工 事	(1)			34.99	49.0	-0.0209	31.32
	(2)			38.21	202.3	-0.1034	22.09
	(3)			32.72	46.8	-0.0222	29.09

第5表

工種区分	対象額	3億円 以 下	3億円を超え50億円 以 下		50億円を 超えるもの
	適用区分	下記の 率 とする	2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
			A	b	
コンクリートダム		31.19	35.0	-0.0059	30.68
フ ィ ル ダ ム		34.59	154.9	-0.0768	27.87

2) 算定式

$$J_o = A \cdot N_p^b$$

ただし、 J_o ：現場管理費率（%）
 N_p ：純工事費（円）
 A, b ：変数値

(注) 1. J_o の値は、小数第3位を四捨五入して第2位とする。

2. 対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法 1）率計算による部分の（二）」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法 5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

③ 現場発生品及び支給品運搬（建地－Ⅰ）

1. 適用範囲

本資料は、現場発生品・支給品運搬に適用する。

1-1 適用できる範囲

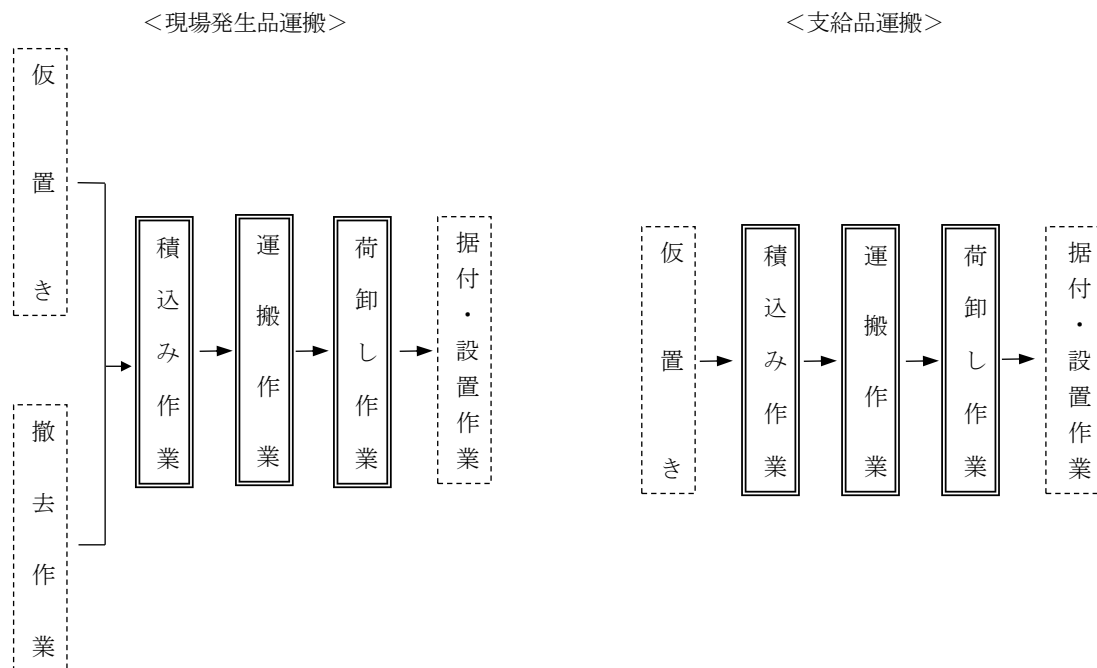
- (1) 防護柵、コンクリート二次製品、鋼材等の現場発生品又は支給品の積み込み、荷卸し及び指定箇所までの運搬
- (2) 一般道及び自動車専用道を利用する場合

1-2 適用できない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

- (1) 4～4.5t 級車を超える車種を使用する場合
- (2) 現場発生品又は支給品以外の積み込み、運搬
- (3) 構造物等の撤去歩掛及び施工パッケージに運搬車両への積み込みまで含まれる場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 自動車専用道の利用の有無にかかわらず適用できる。

3. 施工パッケージ

3-1 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し（SCB010410）

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し 積算条件区分一覧

(積算単位：t)

トラック機種
トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級、吊能力 2.9t
トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4～4.5t 級、吊能力 2.9t

(注) 1. 上表は、構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート二次製品、鋼材等の現場発生品又は支給品の積込み、荷卸し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 現場発生品及び支給品積込み・荷卸しは発生（又は支給）する工種毎に直接工事費として計上する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.9t	
		トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4～4.5t 級 吊能力 2.9t	
	K2	－	
	K3	－	
労務	R1	運転手（特殊）	
	R2	特殊作業員	
	R3	－	
	R4	－	
材料	Z1	軽油 バトロール給油	
	Z2	－	
	Z3	－	
	Z4	－	
市場単価	S	－	

3-2 現場発生品及び支給品運搬

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 3 現場発生品及び支給品運搬 積算条件区分一覧

トラック機種	DID区間の有無	片道運搬距離
トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級、 吊能力 2.9t	無し	(表3.4)
	有り	(表3.5)
トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 級、 吊能力 2.9t	無し	(表3.4)
	有り	(表3.5)

- (注) 1. 運搬距離が 65 km を超える場合は別途考慮する。
2. 有料道路を利用する場合は利用料金を別途計上すること。

表 3. 4 運搬距離 (1)

積算条件	区 分
運搬距離	2.0km 以下
	4.0km 以下
	6.0km 以下
	8.5km 以下
	11.0km 以下
	14.0km 以下
	17.0km 以下
	20.5km 以下
	24.0km 以下
	28.0km 以下
	32.5km 以下
	37.5km 以下
	43.0km 以下
	49.0km 以下
	55.5km 以下
	62.5km 以下
	65.0km 以下

表 3.5 運搬距離（2）

積算条件	区 分
運搬距離	1.5km以下
	3.0km以下
	5.0km以下
	7.0km以下
	9.0km以下
	11.5km以下
	14.0km以下
	17.0km以下
	20.0km以下
	23.5km以下
	27.5km以下
	31.5km以下
	36.0km以下
	41.0km以下
	46.5km以下
	52.5km以下
	59.0km以下
	65.0km以下

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 2.6 現場発生品及び支給品運搬 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.9t	
		トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4～4.5t級 吊能力 2.9t	
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	運転手（特殊）	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	－	
	R 4	－	
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	
	Z 2	－	
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

第3章 一般管理費等及び消費税相当額

① 一般管理費等（**建地－Ⅰ**）、（県）

1. 一般管理費の項目及び内容

- (1) 役員報酬
取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与（損金算入分）
- (2) 従業員給料手当
本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与
- (3) 退職金
退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金
- (4) 法定福利費
本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額
- (5) 福利厚生費
本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用
- (6) 修繕維持費
建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等
- (7) 事務用品費
事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費
- (8) 通信交通費
通信費、交通費及び旅費
- (9) 動力、用水光熱費
電力、水道、ガスの費用
- (10) 調査研究費
技術研究、開発等の費用
- (11) 広告宣伝費
広告、公告、宣伝に要する費用
- (12) 交際費
本店及び支店などへの来客等の応対に要する費用
- (13) 寄付金
- (14) 地代家賃
事務所、寮、社宅等の借地借家料
- (15) 減価償却費
建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額
- (16) 開発費償却
新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額
- (17) 租税公課
不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課
- (18) 保険料
火災保険及びその他の損害保険料
- (19) 契約保証費
契約の保証に必要な費用
- (20) 雑費
電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用

2. 付加利益

- (1) 法人税、都道府県民税、市町村民税等
- (2) 株主配当金
- (3) 役員賞与（損金算入分を除く）
- (4) 内部留保金
- (5) 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用

3. 一般管理費等の算定

一般管理費等は、1 及び 2 の額の合計額とし、別表第 1 の工事原価ごとに求めた一般管理費等率を当該工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。

なお、一般管理費等の算定上、対象とする工事原価については、「第 2 章 ②間接工事費 2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分の (二)」及び「第 2 章 ②間接工事費 2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

4. 一般管理費等率の補正

- (1) 前払金支出割合の相違による取扱い

前払金支出割合が 35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第 2 の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を別表第 1 で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。

- (2) 契約の保証に必要な費用の取扱い

別表第 3 の保証の方法ごとに定める補正值を別表第 1 で算出した一般管理費等に加算して得た率とする。ただし、(1)の補正を行った場合は、その率に、別表第 3 の補正值を加算して得た率とする。

- (3) 支給品等の取扱い

資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。

- (4) 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合）について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。

別表第 1 一般管理費等率

- (1) 前払金支出割合が 35%を超え 40%以下の場合

工 事 原 価	500 万円以下	500 万円を超え 30 億円以下	30 億円を超えるもの
一般管理費等率	25.13%	一般管理費等率算定式により算出された率	10.63%

- (2) 算定式

[一般管理費等率算定式]

$$G_p = -5.21826 \times \text{LOG}(C_p) + 60.08343 (\%)$$

ただし、 G_p ：一般管理費等率(%)

C_p ：工事原価(円)

(注) 1. G_p の値は、小数第 3 位を四捨五入して第 2 位とする。

2. 対象とする工事原価については、「第 2 章 ②間接工事費 2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分の (二)」及び「第 2 章 ②間接工事費 2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

別表第2

一般管理費等率の補正

前払金支出割合区分	0%から 5%以下	5%を超え 15%以下	15%を超え 25%以下	25%を超え 35%以下
補 正 係 数	1.05	1.04	1.03	1.01

(注) 1. 別表第1で求めた一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数第3位を四捨五入して第2位とする。

2. 愛知県出納事務局長通知平成22年9月21日付け22出納第133号「公共工事の前払金について（通知）」抜粋（県－I）

1 前払金のできる経費

公共工事に要する経費で1件の契約金額が200万円以上のもの。

2 前払金のできる額

前項の経費のうち、土木建築に関する工事（土木建築に関する工事の設計及び調査並びに土木建築に関する工事の用に供することを目的とする機械類の製造を除く。）の経費については、当該経費については、10分の4の割合を乗じて得た額。中間前払い金については、10分の2の割合を乗じた額。

その他の経費については、当該経費に10分の3を乗じて得た額。

別表第3

契約保証に係る一般管理費等率の補正

保 証 の 方 法	補正率(%)
ケースー1：発注者が金銭的保証を必要とする場合。（工事請負契約約款第4条を採用する場合）	0.04
ケースー2：発注者が役務的保証を必要とする場合。	0.09
ケースー3：ケース1及び2以外の場合。	補正しない

(注) 1. 契約の保証についての積算は、平成8年8月22日付8土管第350号「契約の保証について（通知）」によるものとする。（予定価格が500万円以上の工事は計上する。）

2. 契約保証費を計上する場合は、原則として当初契約の積算に見込むものとする。

3. 愛知県では役務的保証は原則行っていない。（県）

② 消費税相当額（**建地－Ⅰ**）

消費税相当額の積算は次のとおりとする。

消費税相当額は、工事価格に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額とする。

第4章 設計積算上の注意

① 潮待作業における仮締切方法別による歩増（建災要－Ⅰ）

海岸又は感潮河川において、人力土工及びコンクリート打設、石積工等で潮待作業を考慮する必要がある場合は下記の基準による。

表 1.1 潮待作業における仮締切方法別による歩増表

仮締切方法	仮締切なし	完全仮締切		
仮締切高さ	—	H.W.L. 以上	H.W.L. ～M.S.L	M.S.L. 以下
H.W.L. 以下について行う。 切取・床掘等の潮待の歩増率	施工基面が ① M.L.W.L. 以下…30%以内 ② M.L.W.L. ～ M.S.L. …20%以内 ③ M.S.L. 以上…10%以内	0	10%以内	20%以内
床掘の範囲	M.L.W.L. 以下を床掘	M.L.W.L. 以下床掘	仮締切高さ以下床掘	仮締切高さ以下床掘
概略図	①の場合 ②の場合 ③の場合 ※建設省所管事業に適用。			

- 注意 1. 締切方法は潮位差、波高、波力、地形、土質及び工事の形態等を充分検討の上決めること。
2. 波ごろし等は必要に応じて計上してよい。締切を行ない、かつ波ごろしを設ける場合は両方の組合せをよく検討の上、不経済とならないようにすること。
3. 各潮面は次のとおり、
- | | | |
|----------|-------|---------|
| H.W.L. | | 朔望平均満潮面 |
| M.S.L. | | 平均水面 |
| M.L.W.L. | | 平均干潮面 |
| L.W.L. | | 朔望平均干潮面 |
4. 平均干潮面（M.L.W.L.）の設定されていないものについては、平均干潮面は平均水面（M.S.L.）と朔望平均干潮面（L.W.L.）との1/2の水面とする。

② 設計変更の取り扱い（県－Ⅰ）

1. 変更理由

設計変更の理由は次の順序に箇条書にて記載するものとする。

- (1) 大きい構造の変更理由及び処置
- (2) 大きい数量の変更理由及び処置
- (3) 工事延期等の理由
- (4) さ細な構造、数量の変更理由

2. 変更請負額の算定

工事の請負契約で設計変更に基づき契約金額を変更するときは、変更設計額に当初の契約金額と原設計額との比率を乗じて加算しなければならない。

この場合における計算は前乗後除の方法によるものとする。（愛知県財務規則第134条）

前乗後除の計算式

$$\text{変更設計額} \times \frac{\text{当初契約額}}{\text{原設計額}} = \text{変更契約金額}$$

3. 変更設計書（実施設計）の作成

本工事内訳書、明細書、代価表、単価表の記載は下記のとおり（ ）書で表示するものとする。

元……………（〇〇〇〇）として上段に書く。

変 更…………… 〇〇〇〇 として下段に書く。

新 規……………（———）
〇〇〇〇 として下段に書く。

廃 工……………（〇〇〇〇）として下段に書く。

変更なし…………… 〇〇〇〇 として下段に書く。

但し、電算による設計書は所定の様式によるものとする。

4. 変更図面

- (1) 元設計と変更設計の対象図面は元設計と変更設計がわかり易いよう数字については、元設計を〔 〕で表示し、変更を下段に記入する。

又、廃止される部分（数字は除く）を黄色、追加或は変更される部分（数字は除く）については赤色で表示する。

$$\text{例} \quad \ell = \begin{array}{l} [55.0\text{m}] \cdots \cdots \text{元} \\ 58.0\text{m} \cdots \cdots \text{変更} \end{array}$$

- (2) 変更設計を別図とした場合は元設計図を添付する。
- (3) 図面が変更のない場合添付を要しない。

5. 設計変更のできる範囲

愛知県建設局・都市・交通局・建築局設計変更事務取扱要領による。

6. 設計変更による契約変更の範囲

愛知県建設局・都市・交通局・建築局設計変更事務取扱要領による。

7. 直接工事費の変更

- (1) 機械施工の場合、現場において業者が設計と異なる機種を使用した場合、又は機械の規格が異なる場合、原則として任意施工として取扱い、変更しないものとする。但し、現場条件等で基準による機械を使用するのが著しく不経済か、適用が不相当と認められるものは別途積算することができるものとし、又発注時確認困難な要因、あるいは外的条件により現場条件が変わったため設計機種が不相当となる場合は適正なものに変更できる。
- (2) 輸送費運搬工等は特に目的地を指定する必要がある場合（建設副産物等）を除いては原則として任意施工で取扱い変更しないものとする。
- (3) 設計変更における材料単価の取扱いは、下記によるものとする。
 - 1) 当初設計で設計計上されている材料（工種）の増減分又は規格・寸法のみの変更については、当初設計単価で設計計上する。
 - 2) 設計変更により、新材料（新工種）を設計計上する場合においては、設計変更の通知を行った時点の物価資料等の単価で積算する。
 - 3) 新単価（設計変更通知時点単価）とした場合には、材料単価、労務単価、機械損料及び歩掛の全てを新単価により積算するものとする。

8. 共通仮設費の変更

- (1) 運搬費、準備費、安全費、技術管理費、営繕費の変更

共通仮設費一括率分の変更は、変更対象金額に対応する率により算出する。また、それぞれ積上げ計上分については、本工事の内容変更に伴う工事量の増減及び特記仕様書に変更の対象を明記した場合は変更できる。

- (2) 仮設費の変更

- 1) 仮設費のうち指定仮設は設計変更の対象とするが、請負者の都合により内容的に上まわった工事を認めても変更の対象としない。
- 2) 任意仮設は原則として変更しない。そのため設計積算に当っては現場に適合しているか経済的であるか、慎重に設計を行うこと。但し、本工事の内容変更に伴う工事量の増減及び想定した施工条件の変化等により、特に変更を要すると認めた場合は設計変更の対象とする。
- 3) 指定仮設のうち工事施工中に状況変化等のため、指定仮設にする必要がなくなった場合又は任意仮設のうち工事施工中に状況変化等のため指定仮設にする必要を生じた場合、その取扱いを変更することができ設計変更をする。
- 4) 発注者の責任により工事を一時中止する場合の増加費用は「第Ⅰ編第11章工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算」による。
- 5) 水替工は、変更後の工事量の増減に応じて積算し変更する。ポンプ台数は現地の状況により必要と認められる場合は機種規格等を勘案して必要な台数に変更できる。

- (3) 役務費の変更

県の責任により工事延期、中止命令をしたために要する仮設工事材料置場等の借地料、電力、用水等の基本料金は、積算して変更できる。

9. 現場管理費及び一般管理費の変更

変更純工事費及び変更工事原価等により算出率に基づいて変更する。但し純工事費及び工事原価の増減により率が変わる場合は変更対応率により算出する。

10. 設計変更

1. 一般事項(建地-I)

- (1) 変更設計で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。
- (2) 設計変更時における共通仮設費率及び現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正值に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。

2. 設計変更の計算例

請負工事の設計変更は、官積算により、次の方法で行なうものとする。

・設計額

設計変更の際、元設計及び変更設計の種別、細別等の金額は全て官積算額とする。

・設計変更の要領

設計変更の積算は、次の方法により行なう。

第1回変更請負額

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{\text{当初請負額}}{\text{当初官積算額}} \times \text{第1回変更官積算工事価格} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第1回変更請負額} &= \text{工事価格} \times (1 + \text{消費税率}) \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \end{aligned}$$

第2回変更請負額

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{\text{当初請負額}}{\text{当初官積算額}} \times \text{第2回変更官積算工事価格} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第2回変更請負額} &= \text{工事価格} \times (1 + \text{消費税率}) \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \end{aligned}$$

第3回変更請負額

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{\text{当初請負額}}{\text{当初官積算額}} \times \text{第3回変更官積算工事価格} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第3回変更請負額} &= \text{工事価格} \times (1 + \text{消費税率}) \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \end{aligned}$$

(例) 当初官積算額 105,000 千円 当初請負額 102,900 千円

第1回変更官積算工事価格 115,000 千円

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{102,900}{105,000} \times 115,000 = 112,700 \text{ 千円} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第1回変更請負額} &= 112,700 \times (1 + 0.10) = 123,970 \text{ 千円} \end{aligned}$$

第2回変更官積算工事価格 105,000 千円

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{102,900}{105,000} \times 105,000 = 102,900 \text{ 千円} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第2回変更請負額} &= 102,900 \times (1 + 0.10) = 113,190 \text{ 千円} \end{aligned}$$

第3回変更官積算工事価格 110,000 千円

$$\begin{aligned} \text{工事価格} &= \frac{102,900}{105,000} \times 110,000 = 107,800 \text{ 千円} \\ (\text{落札率を乗じた額}) & \\ \text{第3回変更請負額} &= 107,800 \times (1 + 0.10) = 118,580 \text{ 千円} \end{aligned}$$

(注) 1) 変更官積算とは、官単価、官経費をもとに当初官積算と同一方法により積算する。

2) 請負額、官積算額は消費税相当額を含んだ額。

3) 消費税率＝消費税率＋地方消費税率

③ 資材単価にかかわる愛知県ブロック細分図(県-I)

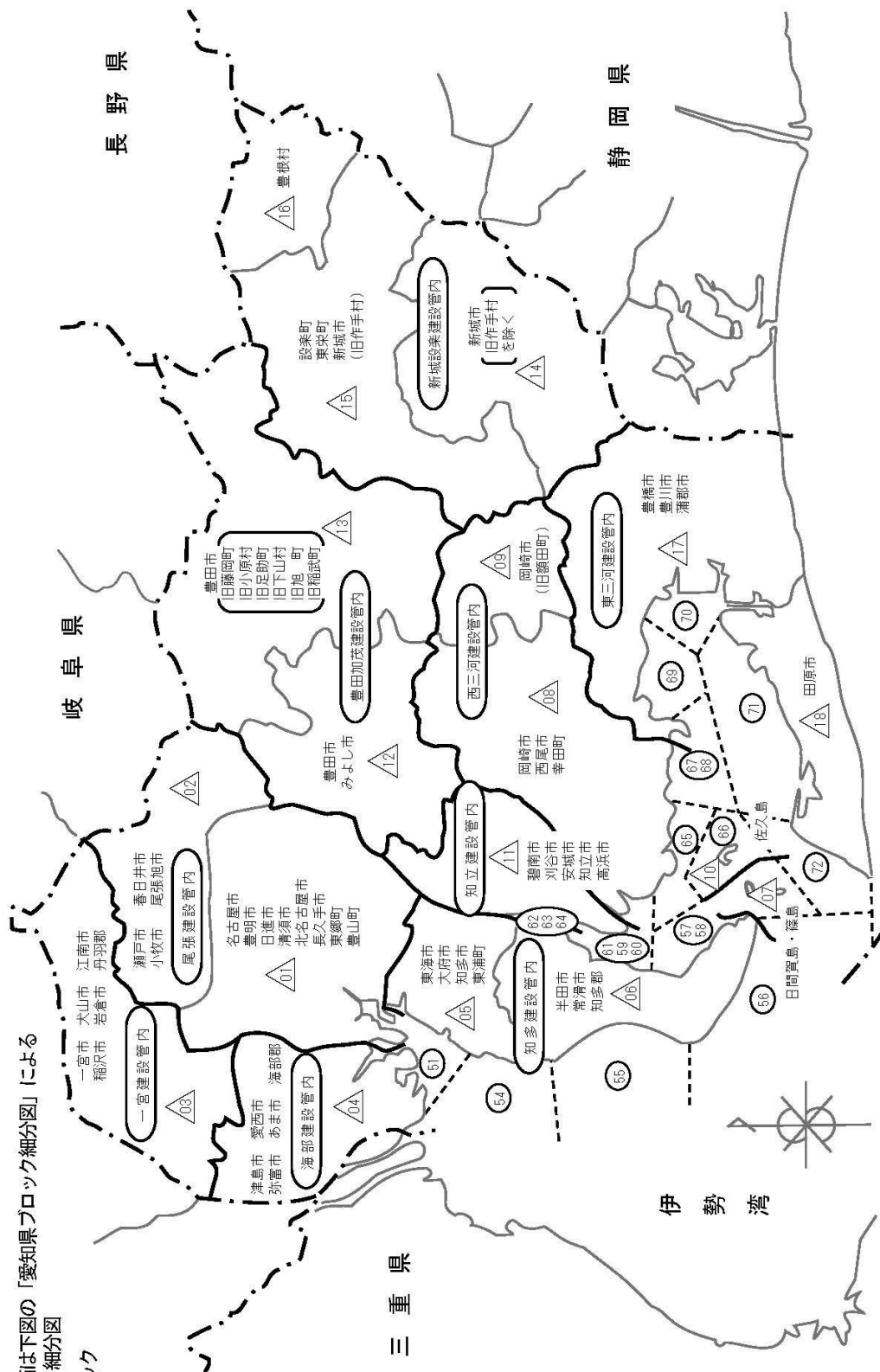
ブロック別単価は下図の「愛知県ブロック細分図」による

愛知県ブロック細分図

陸域

海域

ブロック



平成28年10月1日現在

第5章 随意契約方式により工事を発注する場合等の 共通仮設費、現場管理費、及び一般管理 費等の調整について

① 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について（建地－Ⅰ）、（県）

1. 適用範囲（県）

本基準は、随意契約方式における諸経費調整積算に適用する。（平成29年3月1日付28建企第486号「諸経費調整積算等の取扱いについて（通知）」）

2. 随意契約方式により工事を発注する場合等の調整等について

（1）調整対象となる工事

- 1) 現工事の施工業者と随意契約方式にて発注する工事とする。
- 2) 繰越、国債工事の取扱い

現工事が繰越又は国債で調整対象となる場合は全体工事を対象として調整する。

（2）追加工事は、現工事の落札率（合意率）を考慮するものとする。

（3）調整の対象となる現工事の設計金額は当該追加工事が契約された時点のものとし、その後現工事の設計金額に設計変更が生じた場合でも調整対象現工事の設計金額の変更は行わない額で調整するものとする。

（4）前記(1)に該当する工事のうち次に示す異種の工事の取扱いは下記のとおりとする。

- 1) 異種の工事とは下表のA～Iに区分される工事種別の異なる工事をいう。

工事種別	工事請負有資格業者名簿による種別
A	一般土木工事、法面処理工事、グラウト工事、河川しゅんせつ工事、杭打工事、アスファルト舗装工事、セメント・コンクリート舗装工事
B	鋼橋上部工事、機械設備工事
C	プレストレスト・コンクリート工事
D	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事
E	建築工事、木造建築工事、プレハブ工事
F	維持修繕工事、塗装工事、橋梁補修工事
G	造園工事
H	さく井工事
I	暖冷房衛生設備工事

2) 積算体系が同一（一般管理費等率の算出区分が同じもの）の異種の工事は次により調整する。

- （イ）共通仮設費・現場管理費については調整しない。
- （ロ）一般管理費等については調整する。

3) 積算体系が異なる（一般管理費等率の算出区分が異なる）異種の工事は調整しない。

3. 共通仮設費の調整計算の方法

(1) 積上げ計算部分

実態に合わせ調整する。

(2) 率計算部分

現工事と当該追加工事で工種が異なる場合は、現工事と追加工事の共通仮設費対象額の合計額に対するその主たる工種の共通仮設費率を適用する。

(3) 調整計算の方法（率計算部分）

現工事と当該追加工事の共通仮設費対象額を合算したもので率を算出し、各々の共通仮設費を求め、現工事の共通仮設費を控除したものの範囲内とする。

1) 調整の一般式は次のとおりとする。

$$A = (D \times \gamma 1) - B \times \gamma 2$$

A：当該追加工事の共通仮設費（調整計算額）

B：現工事の共通仮設費対象額

D：合算工事の共通仮設費対象額

$\gamma 1$ ：Dに相当する主たる工種の共通仮設費率

$\gamma 2$ ：Bに相当する現工事の工種の共通仮設費率

ただし、前記計算の場合にあってAが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する共通仮設費は計上しない。

また、Aと当該追加工事単独で積算された所要額とを比較し、安価な方を採用する。

(4) 現場環境改善費

1) 積上げ計算部分

実態に合わせ調整する。

2) 調整計算の方法（率計算部分）

(イ) 現工事及び追加工事とも現場環境改善費の対象工事の場合

$$A = D \times \gamma 1 - B \times \gamma 2$$

A：当該追加工事の現場環境改善費

B：現工事の現場環境改善費対象額

D：合算工事の現場環境改善費対象額

$\gamma 1$ ：Dに相当する現場環境改善費率

$\gamma 2$ ：Bに相当する現工事の現場環境改善費率

ただし、前記計算の場合にあって、Aが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する現場環境改善費は計上しない。

また、Aと当該追加工事単独で積算された所要額とを比較し、安価な方を採用する。

(ロ) 追加工事のみが現場環境改善費の対象工事の場合

追加工事の単独計算

4. 現場管理費の調整計算の方法

(1) 率計算部分

現工事と当該追加工事で工種が異なる場合は、現工事と当該追加工事の純工事費の合計額に対するその主たる工種（それぞれ純工事費の大きい方の工種）の現場管理費率を適用する。

(2) 調整計算の方法（率計算部分）

現工事と当該追加工事の純工事費を合算したもので率を算出し、各々の現場管理費を求め、現工事の現場管理費を控除したものの範囲内とする。

1) 調整の一般式は次のとおりとする。

$$A = (D \times \beta 1) - B \times \beta 2$$

A：当該追加工事の現場管理費（調整計算額）

B：現工事の純工事費

D：合算工事の対象額

$\beta 1$ ：Dに相当する「主たる工種」の現場管理費率

$\beta 2$ ：Bに相当する現工事の工種の現場管理費率

ただし、前記計算の場合にあつて、Aが負数になる場合は零額とみなし、当該追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、Aと当該追加工事単独で積算された所要額とを比較し、安価な方を採用する。

2) 補正率が適用されている場合の一般式は次のとおりとする。

(イ) 現工事に補正があり、追加工事に補正がない場合

$$A = (D \times \beta 1 + B \times \gamma 1) - B \times (\beta 2 + \gamma 1)$$

$\gamma 1$ ：現工事の現場管理費補正率

(ロ) 現工事に補正がなく、追加工事に補正がある場合

$$A = (D \times \beta 1 + C \times \gamma 2) - B \times \beta 2$$

C：当該追加工事の調整後の純工事費

$\gamma 2$ ：当該追加工事の現場管理費補正率

(ハ) 現工事及び当該追加工事に補正がある場合

$$A = \{D \times (\beta 1 + \gamma 3)\} - B \times (\beta 2 + \gamma 1)$$

$\gamma 3$ ：Dに相当する現場管理費補正率

B、Cに対する $\gamma 1$ 、 $\gamma 2$ が各々異なる場合は純工事費による加重平均補正率を $\gamma 3$ とする。

ただし、前記計算の場合にあつて、Aが負数になる場合は零額とみなし、当該追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、Aと当該追加工事単独で積算された所要額とを比較し、安価な方を採用する。

3) 施工地域を考慮した補正係数が適用されている場合の一般式は次のとおりとする。

$$A = (D \times \beta 1 + C \times \delta 1) - B \times \beta 2$$

A：当該追加工事の現場管理費（調整計算額）

B：現工事の純工事費

C：当該追加工事の調整後の純工事費

D：合算工事の対象額

$\beta 1 = \beta \textcircled{1} \cdot S r \textcircled{1}$ ：Dに相当する主たる工種の補正後の現場管理費率（%）

なお、補正後の現場管理費率の値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

$\beta \textcircled{1}$ ：Dに相当する主たる工種の補正前の現場管理費率

ただし、現工事と追加工事の補正係数が異なる場合はBとCの加重平均による補正係数とする。

$$S r \textcircled{1} = (B \times S r \textcircled{2} + C \times S r \textcircled{3}) / (B + C)$$

$S r \textcircled{1}$: $(B + C)$ に相当する主たる工種の補正係数

$S r \textcircled{2}$: B に相当する現工事の工種の補正係数

$S r \textcircled{3}$: C に相当する当該追加工事の工種の補正係数

なお、加重平均した補正係数値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

$$\beta 2 = \beta \textcircled{2} \cdot S r \textcircled{2} : B \text{ に相当する現工事の工種の補正後の現場管理費率（\%）}$$

なお、補正後の現場管理費率の値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

$\beta \textcircled{2}$: B に相当する現工事の工種の補正前の現場管理費率

$\delta 1$: 当該追加工事の現場管理費補正率（補正率が無い場合は0%とする。）

ただし、前記計算の場合にあって A が負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、 A と当該追加工事単独で積算された所要額とを比較し、安価な方を採用する。

5. 一般管理費等の調整計算の方法

(1) 調整計算の方法

現工事と当該追加工事の工事原価を合算したもので率を算出し、各々の一般管理費を求め、現工事の一般管理費等を控除したものの範囲内とする。

$$A = (D \times \alpha 1 \times \delta 1) - B \times \alpha 2 \times \delta 2 + C \times \beta$$

A : 当該追加工事の一般管理費等（調整計算額）

B : 現工事の工事原価（中止期間中の現場維持等の費用を含む）

C : 当該追加工事の調整後の工事原価

D : 合算工事の工事原価

$\alpha 1$: D に相当する一般管理費等率

$\alpha 2$: B に相当する現工事の一般管理費等率

β : 当該追加工事の契約保証に係る一般管理費等の補正值

$\delta 1$: 前払金支出割合による補正係数

現工事と当該追加工事の前払金支出割合が異なる場合は、 B と C の加重平均による前払金支出割合から求めた補正係数

$\delta 2$: 現工事の前払金支出割合による補正係数

一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

6. 設計変更について

随意契約方式により契約した追加工事において設計変更を行う場合には、当該随意契約の当初積算で用いた共通仮設費、現場管理費の算出方法を使用する。（調整計算額と単独計算額の比較は行わない。）

② 旧基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を追加する場合等の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について（**建地－Ⅰ**）、（**県**）

1. 共通仮設費の調整計算の一般式

$$A = (D \times \gamma 1) - B \times \gamma 2$$

A：当該追加工事の共通仮設費

B：現工事の共通仮設費対象額

D：合算工事の共通仮設費対象額

$\gamma 1$ ：Dに相当する「主たる工種」の改正基準による共通仮設費率

$\gamma 2$ ：Bに相当する現工事の工種の改正基準による共通仮設費率

なお、共通仮設費率の補正率もしくは補正係数が適用されている工事においては、「①随意契約方式により工事を発注する場合の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について 3. 共通仮設費の調整計算の方法」に準拠して計算するものとする。

2. 現場管理費の調整計算の一般式

$$A = D \times \beta 1 - B \times \beta 2$$

A：当該追加工事の現場管理費

B：現工事の純工事費

D：合算工事の純工事費

$\beta 1$ ：Dに相当する「主たる工種」の改正基準による現場管理費率

$\beta 2$ ：Bに相当する現工事の工種の改正基準による現場管理費率

なお、現場管理費率の補正率もしくは補正係数が適用されている工事においては、「①随意契約方式により工事を発注する場合の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について 4. 現場管理費の調整計算の方法」に準拠して計算するものとする。

3. 一般管理費等の調整計算の一般式

$$A = (D \times \alpha 1 \times \delta 1) - B \times \alpha 2 \times \delta 2 + C \times \beta$$

A：当該追加工事の一般管理費等

B：現工事の工事原価（中止期間中の現場維持等の費用を含む）

C：当該追加工事の調整後の工事原価

D：合算工事の工事原価

$\alpha 1$ ：Dに相当する改正基準による一般管理費等率

$\alpha 2$ ：Bに相当する改正基準による一般管理費等率

β ：追加工事の契約保証に係る一般管理費等の補正值

$\delta 1$ ：当該追加工事の前払金支出割合による補正係数

$\delta 2$ ：現工事の前払金支出割合による補正係数

一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

（注）契約保証については、平成22年3月3日付21建総第1636号「契約保証の取扱いについて（通知）」および平成8年8月22日付8土管第350号「契約保証について（通知）別紙、工事請負契約における契約の保証に関する取扱いについて」に留意すること。（県）

4. 設計変更について（**県**）

旧基準により積算した工事の設計変更は、旧基準により積算するものとする。

第6章 数値基準等

① 数値基準（建地－Ⅰ）

設計書の表示単位及び数値は原則として次のとおりとする。

- (1) 設計表示単位及び数値は、別表に示すとおりとする。
- (2) 設計数量が設計表示数値に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示数値が不適当と判断される場合は（小規模工事等）有効数値第1位の数量を設計表示数値とする。
- (3) 数値基準以外の項目について、設計表示単位及び数値を定める必要が生じたときは工事規模、工事内容及び数値基準等を勘案して適正に定めるものとする。
- (4) 設計計上数量は、設計表示数値に四捨五入して求めるものとする。
- (5) 設計表示単位及び数値の適用は各細別毎を原則とし、工種・種別は1式を原則とする。
- (6) 契約数量は設計計上数量とする。但し工事目的物以外で、指定仮設等数量明示が必要な種目以外は1式計上とする。
- (7) 設計表示単位及び数値は設計図書に添付するものとする。（土質調査、測量業務関係等は除く）
- (8) 設計表示数値に満たない設計変更は契約変更の対象としないものとする。
- (9) 単価契約には設計表示単位及び数値は適用しない。

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
土工	掘削工	掘削	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工		掘削（砂防）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工		河床等掘削	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		掘削（光ケーブル配管）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		整地	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		押土（ルーズ）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		積込（ルーズ）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		積込（ルーズ）砂防	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土砂等運搬	m ³	10	
土工		土砂等運搬（砂防）	m ³	10	
土工	掘削工（ICT）	掘削（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		掘削（砂防）（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		河床等掘削（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工	（路体・路床）盛土工	路体（築堤）盛土	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		路床盛土	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		整地	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		押土（ルーズ）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		積込（ルーズ）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		積込（ルーズ）砂防	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土砂等運搬	m ³	10	
土工		土砂等運搬（砂防）	m ³	10	
土工	（路体・路床）盛土工（ICT）	路体（築堤）盛土（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		路床盛土（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土材料	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工	法面整形工	法面整形	m ²	10	
土工	法面整形工（ICT）	法面整形（ICT）	m ²	10	
土工	盛土補強工	安定シート・ネット	m ²	1	
土工		ジオテキスタイル補強土壁	m ²	1	
土工	残土処理工	整地	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土砂等運搬	m ³	10	
土工		残土等処分	m ³	10	
土工	作業土工	床掘り	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工		埋戻し	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³ 、岩類は10m ³
土工	作業土工（ICT）	床掘り（ICT）	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³ 、岩類は10m ³
土工	堤防天端工	天端敷砂利	m ²	10	
共通の工種	矢板工	鋼矢板	枚	1	
共通の工種		可とう鋼矢板	枚	1	
共通の工種		軽量鋼矢板	枚	1	
共通の工種		広幅鋼矢板	枚	1	
共通の工種		タイロッド	組	1	
共通の工種		腹起し	t	0.1	
共通の工種		控え版	m	1	
共通の工種		中詰砂	m ³	10	ただし100m ³ 未満の場合は1m ³
共通の工種	法枠工	法枠（現場打、プレキャスト、吹付）	m ²	1	
共通の工種	吹付工	吹付（モルタル、コンクリート）	m ²	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
共通の工種	植生工	種子散布	m ²	10	
共通の工種		芝(各種)	m ²	10	
共通の工種		客土吹付	m ²	10	
共通の工種		植生基材吹付	m ²	10	
共通の工種		植生マット	m ²	10	
共通の工種		植生シート	m ²	10	
共通の工種		植生筋	m ²	10	
共通の工種		植生穴	m ²	10	
共通の工種		養生（散水養生）	m ²	10	
共通の工種	かご工	じゃかご・ふとんかご・かご枠	m	1	
共通の工種		止杭	本	1	
共通の工種		かごマット（スロープ型）	m ²	1	
共通の工種		かごマット（多段積型）	m ²	1	
共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	m	1	
共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ・ジオテキスタイル補強土壁	m ²	1	
共通の工種		補強盛土	m ²	1	
共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土	m ³	1	
共通の工種		コンクリート床版	m ²	1	
共通の工種		基礎コンクリート	m	1	
共通の工種		壁体工	m ²	1	
共通の工種		裏込碎石	m ³	1	
共通の工種	吸出し防止工	吸出し防止材	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
共通の工種	泥水処理工	泥水処理	m ³	10	
共通の工種	仮水路工	フィルター材敷設	m ³	1	
共通の工種	場所打擁壁工	処分費	m ³	1	
共通の工種	仮橋・仮栈橋工	積込（コンクリート殻）	m ³	1	
共通の工種	骨材再生工	骨材再生	m ³	1	
共通の工種	土留・仮締切工	ボーリングマシン移設（アンカー）	回	1	
共通の工種		アンカー工材料費	式	1	
共通の工種		削孔（アンカー）	m	1	
共通の工種		グラウト注入（アンカー）	m ³	1	
共通の工種	アンカー工（プレキャストコンクリート板）	P Cコンクリート板据付	枚	1	
共通の工種		ジョイント処理	箇所	1	
共通の工種	排水材設置工（構造物背面排水材）		m	1	
共通の工種	排水材設置工（水平排水層）	水平排水材	m	1	
共通の工種		フィルター層	m ³	10	ただし100m ³ 未満の場合は1m ³
基礎工	既製杭工	既製コンクリート杭	本	1	ただし1本当りの場合は1m
基礎工		鋼管杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工		H鋼杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工	場所打杭工	場所打杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工	ニューマチックケーソン基礎工	ニューマチックケーソン設備	式	1	
基礎工		刃口金物据付	基	1	
基礎工		沈下掘削	m ³	10	
基礎工		沈下促進	t	0.1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
基礎工		ケーソン本体コンクリート	m ³	1	
基礎工		底スラブコンクリート	m ³	1	
基礎工		中埋コンクリート	m ³	1	
基礎工		ブローパイプバルブ調整	基	1	
基礎工		中詰充填	m ³	100	ただし 1,000m ³ 未満の場合は 10m ³
基礎工		砂セントル	m ³	10	ただし 100m ³ 未満の場合は 1m ³
基礎工		天端コンクリート用型枠・支保	m ²	10	
基礎工		足場材設置・撤去	式	1	
基礎工		止水壁取壊し	m ³	1	
基礎工	深礎工・シャフト工	巻立コンクリート	m ²	1	
基礎工		掘削土留	本	1	
基礎工		グラウト注入	m ³	1	
基礎工	鋼管井筒基礎工	鋼管矢板	本	1	
基礎工		井筒内掘削	m ³	10	
基礎工		継手処理	本	1	
基礎工		鋼管内掘削	m ³	10	
基礎工		中詰コンクリート	m ³	1	
基礎工		敷砂	m ³	10	ただし 100m ³ 未満の場合は 1m ³
基礎工		底版コンクリート	m ³	1	
基礎工		杭切断	本	1	
基礎工		鋼管矢板支保	t	0.1	
基礎工		間詰コンクリート	m ³	1	
基礎工		間詰コンクリート撤去	m ³	1	
基礎工		頂版結合（プレートブラケット）	t	0.1	
基礎工		頂版結合（鉄筋スタッド）	段	1	
基礎工		詰杭	m	1	
石・ブロック積 (張)	石・ブロック積(張)工	石積(張)・コンクリートブロック基礎	m	1	
石・ブロック積 (張)		各種石・ブロック積(張)	m ²	1	
石・ブロック積 (張)		間知ブロック張	m ²	1	
石・ブロック積 (張)		目地板	m ²	1	
石・ブロック積 (張)		ブロック植栽	本	1	
石・ブロック積 (張)		天端コンクリート	m ³	1	
石・ブロック積 (張)		基礎碎石（基礎材）	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
石・ブロック積 (張)		現場打小口止コンクリート	m ³	1	
石・ブロック積 (張)		プレキャスト小口止ブロック	m	0.1	
石・ブロック積 (張)		現場打横帯（隔壁）コンクリート	m ³	1	
石・ブロック積 (張)		プレキャスト横帯（隔壁）ブロック	m	0.1	
石・ブロック積 (張)		プレキャスト巻止ブロック	m	0.1	
石・ブロック積 (張)		養生費	m ³	1	
舗装工	舗装準備工	不陸整正	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
舗装工		調整コンクリート	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
舗装工	舗装準備工（ICT）	不陸整正（ICT）	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
舗装工	橋面防水工	橋面防水	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
舗装工	舗装工	下層路盤（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		下層路盤（歩道部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		上層路盤（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		上層路盤（歩道部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		路盤	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		フィルター層	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		基層（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		基層（歩道部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		中間層（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		中間層（歩道部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		表層（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		表層（歩道部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		排水性舗装・表層（車道・路肩部）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		セメントミルク浸透	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		アスファルト中間層	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		コンクリート舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		連続鉄筋コンクリート舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		縦目地	m	1	
舗装工		横目地	m	1	
舗装工		目地切り・清掃	m	1	
舗装工		薄層カラー舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		インターロッキングブロック舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		特殊ブロック舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工	舗装工（ICT）	下層路盤（車道・路肩部）（ICT）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工		上層路盤（車道・路肩部）（ICT）	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
舗装工	踏掛版工	踏掛版	m ³	1	
舗装工	区画線工	区画線	m	10	ただし100m 未満の場合は1m
舗装工		区画線消去	m	1	
地盤改良工	安定処理工	安定処理	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
地盤改良工	自走式土質改良工	土質改良	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
地盤改良工	置換工	置換	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
地盤改良工	サンドマット工	サンドマット	m ³	10	
地盤改良工	パイルネット工	既製コンクリート杭	本	1	
地盤改良工		木杭	本	1	
地盤改良工		連結鉄筋	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
地盤改良工		安定シート	m ²	10	
地盤改良工	パーチカルドレーン工	サンドドレーン	本	1	
地盤改良工		PVD（プレファブリケートッドパーチカルドレーン）	本	1	
地盤改良工	締め固め改良工	サンドコンパクションパイル	本	1	
地盤改良工	固結工	高圧噴射攪拌	本	1	
地盤改良工		スラリー攪拌	本	1	
地盤改良工		中層混合処理	m ³	1	
地盤改良工		薬液注入	本	1	
地盤改良工（ICT）	安定処理工	安定処理（ICT）	m ³	1	
地盤改良工（ICT）	固結工	スラリー攪拌（ICT）	本	1	
地盤改良工（ICT）		中層混合処理（ICT）	m ³	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	m ³	1	
構造物撤去工		舗装版切断	m	10	ただし 100m 未満の場合は 1m
構造物撤去工		舗装版破砕	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
構造物撤去工		コンクリートはつり	m ²	1	ただし 10m ² 未満の場合は 0.1m ²
構造物撤去工		吹付法面取壊し	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
構造物撤去工		鋼材切断	箇所	1	
構造物撤去工		鋼材切断	m	1	
構造物撤去工		鋼矢板引抜	枚	1	
構造物撤去工		H鋼杭引抜	本	1	
構造物撤去工		広幅鋼矢板引抜き	枚	1	
構造物撤去工		コンクリートブロック撤去	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
構造物撤去工		覆工板設置・撤去	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
構造物撤去工		根固めブロック撤去	個	1	
構造物撤去工		殻運搬	m ³	1	
構造物撤去工		殻処分	m ³	1	
構造物撤去工		現場発生品運搬	t	0.01	
構造物撤去工	道路施設撤去工	側溝・街渠撤去	m	1	
構造物撤去工		集水桝・マンホール撤去	基	1	
構造物撤去工		蓋版撤去	枚	1	
構造物撤去工		防護・防止柵撤去	m	1	
構造物撤去工		視線誘導標撤去	本	1	
構造物撤去工		境界杭撤去	本	1	
構造物撤去工		道路鋸撤去	個	1	
構造物撤去工		車線分離標撤去	本	1	
構造物撤去工		境界鋸撤去	枚	1	
構造物撤去工		距離標撤去	本	1	
構造物撤去工		横断歩道橋側板(裾隠・目隠)撤去	m ²	1	
構造物撤去工		遮光フェンス撤去	m	1	
構造物撤去工		標識撤去	基	1	
構造物撤去工		境界ブロック撤去	m	1	
構造物撤去工		ケーブル配管撤去	m	1	
構造物撤去工		照明柱撤去	基	1	
構造物撤去工	かご撤去工	じゃかご撤去	m	1	
構造物撤去工		ふとんかご撤去	m	1	
構造物撤去工	落石雪害防止撤去工	落石防護柵撤去	m	1	
構造物撤去工		落石防止網(繊維網)撤去	m ²	1	
構造物撤去工		コンクリート平板ブロック撤去	m ²	1	
構造物撤去工		ノンスリップ撤去	m	1	
構造物撤去工	冬季安全施設撤去工	吹溜式防雪柵撤去	m	1	
構造物撤去工		吹払式防雪柵撤去	m	1	
構造物撤去工		スノーボール撤去	本	1	
構造物撤去工	旧橋撤去工	鋼製高欄撤去	m	1	
構造物撤去工		舗装版・床版破砕及び撤去	m ³	1	
構造物撤去工		桁材撤去	t	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート表面処理	m ²	1	
仮設工	仮設工	覆工板・敷鉄板	m ²	1	
仮設工		覆工板受桁	t	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
仮設工		鋼矢板	枚	1	
仮設工		H鋼杭	本	1	
仮設工		アンカー	本	1	
仮設工		タイロッド・腹起し	t	0.1	数量契約の場合は0.1t
仮設工		切梁・腹起し	t	0.1	数量契約の場合は0.1t
仮設工		横矢板	m ²	1	
仮設工	水替工	ポンプ排水	日	1	
仮設工		水替とい	m	1	
仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	日	1	
仮設工		ディーブウェル	日	1	
仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1	
仮設工		濁水処理設備	箇所	1	
仮設工	防護施設工	発破防護柵	m ²	10	
仮設工		基礎ブロック（立入防止柵）	個	1	
仮設工		金網（フェンス）・支柱（立入防止柵）	m	1	
仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1	
仮設工	土のう工	大型土のう	袋	1	
仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛 m ²	10	
仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	箇所	1	
仮設工		アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・ 定着・頭部処理	本	1	
仮設工		軽量鋼矢板（電線共同溝）	式	1	
仮設工		溝掘り	m ³	1	
仮設工		泥土処理	m ³	1	
仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
仮設工		大型土のう締切	袋	1	
仮設工		コンクリート締切	m ³	1	
仮設工	仮橋・仮栈橋工	橋脚	t	1	
仮設工		仮設高欄	m	1	
仮設工		仮橋上部	t	0.1	数量契約の場合は0.1t
仮設工		仮橋コンクリート基礎	箇所	1	
仮設工		高力ボルト	kg	1	
仮設工		防舷材	基	1	
仮設工	掘削工	転石破砕	m ³	1	
仮設工	作業土工	掘削補助機械搬入搬出	回	1	
仮設工		人力運搬	m ³	1	
仮設工	作業ヤード整備工	ヤード造成	m ²	1	
仮設工	工事用道路工	工事用道路補修	式	1	
仮設工		仮設舗装	m ²	1	
仮設工		仮設アスカーブ	m	1	
仮設工		土のう積	m ²	1	
仮設工	法面吹付工	仮設用モルタル吹付	m ²	1	
仮設工	仮水路工	暗渠排水管	m	1	
仮設工	防塵対策工	散水	式	1	
仮設工		タイヤ洗浄装置	式	1	
仮設工		路面清掃	式	1	
仮設工	電力設備工	配電設備	m	1	
仮設工		受電設備	箇所	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
仮設工	トンネル仮設備工	トンネル用水設備	箇所	1	
仮設工		トンネル仮設備保守	箇所月	0.1	
仮設工		トンネル充電設備	日	1	
仮設工		吹付プラント組立解体	基	1	
仮設工		スライドセントル組立解体	基	1	
仮設工		防水作業台車組立解体	基	1	
仮設工	コンクリート製造設備工	コンクリートプラント設備	基	1	
仮設工		ケーブルクレーン設備	対	1	
仮設工	除雪工	現場内除雪（機械）	時間	1	
仮設工		現場内除雪（人力）	人日	1	
仮設工		仮囲い屋根部	m ³	1	
仮設工	雪寒施設工	雪寒仮囲い	m ²	1	
仮設工		ウェザーシェルター	基	1	
構造物補修工	ひび割れ補修工	充てん工法	構造物	1	
構造物補修工		低圧注入工法	構造物	1	
構造物補修工	断面修復工	左官工法	構造物	1	
構造物補修工		コンクリート殻積込・運搬	m ³	1	
コンクリート 構造物		基礎材	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
コンクリート 構造物		均しコンクリート	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
コンクリート 構造物		コンクリート	m ³	1	
コンクリート 構造物		二次コンクリート	m ³	1	
コンクリート 構造物		鉄筋	t	0.01	
コンクリート 構造物		目地材	m ²	1	
コンクリート 構造物		止水板	m	1	
コンクリート 構造物		型枠	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
コンクリート 構造物		足場	掛 m ²	10	
コンクリート 構造物		支保	空 m ³	10	
コンクリート 構造物		植石張り	m ²	1	
コンクリート 構造物		水抜パイプ	m	1	
コンクリート 構造物		スリップバー	箇所	1	
コンクリート 構造物		スリップバー	組	1	
コンクリート 構造物		防水モルタル	m ³	1	
コンクリート 構造物		アンカーボルト	本	1	
コンクリート 構造物		有孔管	m	1	
コンクリート 構造物		可撓継手	箇所	1	
コンクリート 構造物	橋台躯体工(構造物単位)	逆 T 式橋台	m ³	1	
コンクリート 構造物		T 型橋脚	m ³	1	
コンクリート 構造物	橋脚躯体工(構造物単位)	壁式橋脚	m ³	1	
コンクリート 構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆 T 型擁壁	m ³	1	
コンクリート 構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	L 型擁壁	m ³	1	
コンクリート 構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	もたれ式擁壁	m ³	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
コンクリート 構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	重力式擁壁	m ³	1	
コンクリート 構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	小型擁壁	m ³	1	
コンクリート 構造物	羽口工	連節ブロック張（コンクリート）	m ³	1	
コンクリート 構造物	暗渠工	プレキャストボックス	m	1	
構造物	帯状構造物(小規模)		m	1	各種ブロック(既製品共)H=2.0m 未満の擁壁類
構造物	帯状構造物(大規模)		m	0.1	H=2.0m 以上の擁壁類
構造物	排水構造物工		m	1	ただし径 1m 以上の管渠類の場合は 0.1m
構造物		現場打水路	m	1	
構造物		縦排水・小段排水	m	1	
構造物	場所打函渠工(構造物単位)	函渠	m ³	1	
構造物	函渠工(大型ボックスカルバート工)	プレキャストボックス	m	0.1	
構造物		止水シート	m	1	
構造物	排水性舗装用路肩排水工	透水性樹脂コンクリート	m ³	1	
構造物	橋脚架設工	橋脚架設	t	0.1	
工場製作工	製作工	製作加工	t	0.1	ただし 1t 未満の場合は 0.01t
工場製作工		ボルト・ナット	組	1	
工場製作工		スタッドジベル	本	1	
工場製作工		バックアップ	m ³	0.1	
工場製作工		充填シール	m ³	0.1	
工場製作工		アンカーボルト	組	1	
工場製作工	鋳造費	金属支承	個	1	
工場製作工		大型ゴム支承	個	1	
工場製作工		排水柵	個	1	
工場製作工		橋名板	枚	1	
工場製作工		橋歴板	枚	1	
工場製作工	工場塗装工	前処理	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
工場製作工		塗装(下・中・上塗)	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
工場製作工		メッキ	t	0.1	
工場製品輸送工	輸送工	輸送	t	0.1	ただし 1t 未満の場合は 0.01t
工場製品輸送工		工場取卸（鋼桁・鋼管杭）	t	0.1	
工場製品輸送工		小運搬	t	0.1	ただし 1t 未満の場合は 0.01t
付属施設	縁石工	歩車道境界ブロック	m	1	
付属施設		地先境界ブロック	m	1	
付属施設		植樹ブロック	m	1	
付属施設	緑化ブロック工	養生費	m ²	1	
付属施設		アスカーブ	m	10	
付属施設	集水柵・街渠柵・マンホール工	集水柵	箇所	1	(プレキャスト含む)
付属施設		街渠柵	箇所	1	(プレキャスト含む)
付属施設		マンホール	箇所	1	
付属施設		蓋	枚	1	
付属施設	路側防護柵工	ガードレール	m	1	
付属施設		ガードパイプ	m	1	
付属施設		ガードケーブル	m	1	
付属施設		基礎ブロック（立入防止柵）	個	1	
付属施設		金網（フェンス）・支柱（立入防止柵）	m	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
付属施設		転落(横断)防止柵	m	1	
付属施設		車止めポスト	本	1	
付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	箇所	1	
付属施設		支柱	本	1	
付属施設		ワイヤロープ	m	1	
付属施設		ターンバックル	箇所	1	
付属施設		橋梁部基礎・支柱	箇所	1	
付属施設	階段工	現場打階段	m ²	1	
付属施設		プレキャスト階段	m ²	1	
付属施設	境界工	境界杭	本	1	
付属施設		境界鉋	枚	1	
付属施設		境界(法留)壁	m	1	
付属施設	落石防護柵工	ロープ・金網	m	1	
付属施設		支柱	本	1	
付属施設		ステーロープ	本	1	
付属施設	防雪柵工	防雪柵	m	1	
付属施設	雪崩予防柵工	雪崩予防柵基礎	基	1	
付属施設		雪崩予防柵	基	1	
付属施設		雪崩予防柵アンカー	本	1	
付属施設	落石防止網工	ロックネット	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	本	1	
付属施設	遮音壁本体工	遮音壁	m	1	
付属施設		外装板	m ²	1	
付属施設	ケーブル配管工	ケーブル配管	m	1	
付属施設		ハンドホール	箇所	1	
付属施設	道路付属物工	視線誘導標	本	1	
付属施設		車線分離標	本	1	
付属施設		距離標	本	1	
付属施設		道路鉋	個	1	
付属施設		アンカーボルト	本	1	
付属施設	照明工	照明柱基礎	基	1	
付属施設		照明柱	基	1	
付属施設	銘板工	銘板	枚	1	
付属施設		表示板	枚	1	
付属施設	小型標識工	標識柱	基	1	
付属施設		標識板	枚	1	
付属施設	大型標識工	標識基礎	基	1	
付属施設		片持標識柱	基	1	
付属施設		門型標識柱	基	1	
付属施設		標識板	枚	1	
付属施設		着雪防止板	枚	1	
付属施設	道路植栽工	植樹帯盛土	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
付属施設		植樹	本	1	
付属施設		地被類植付	m ²	1	
付属施設		樹名板	枚	1	
付属施設	アンカー工	アンカー	本	1	
付属施設		アンカー(プレキャストコンクリート板)	本	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
付属施設		アンカー足場	空 m ³	10	
付属施設		鉄筋挿入	m	1	
付属施設	点検施設工	梯子	本	1	
付属施設		ステップ	本	1	
付属施設		蓋	枚	1	
付属施設	グラウトホール工	グラウトホール	組	1	
付属施設	観測施設工	量水標	箇所	1	
付属施設		水位計	箇所	1	
付属施設		流量計	箇所	1	
付属施設	燃料貯油槽工	充填砂	m ³	10	
付属施設	情報案内施設工	スクリーン	個	1	
付属施設		案内板	箇所	1	
河川構造物	土台基礎工	土台	m	1	
河川構造物	笠コンクリート工	笠コンクリート	m	1	
河川構造物		笠コンクリートブロック	m	1	
河川構造物	護岸付属物工	横帯（隔壁）コンクリート	m	0.1	
河川構造物		小口止	m	0.1	
河川構造物		小口止矢板	枚	1	
河川構造物		縦帯コンクリート	m	0.1	
河川構造物		巻止コンクリート	m	0.1	
河川構造物		平張コンクリート	m ²	1	
河川構造物	多自然護岸工	木杭	本	1	
河川構造物		巨石積（張）	m ²	1	
河川構造物		巨石据付	m ²	1	
河川構造物		巨石採取	個	1	
河川構造物		巨石運搬	式	1	
河川構造物		雑割石張	m ²	1	
河川構造物		かごマット	m ²	1	
河川構造物		ブロックマット	m ²	1	
河川構造物		杭柵	m	1	
河川構造物		連柴柵	m	1	
河川構造物		粗朶法覆	m ²	1	
河川構造物		玉石柳枝	m ²	1	
河川構造物		栗石粗朶	m ²	1	
河川構造物	覆土工	覆土	m ³	100	ただし 1,000m ³ 未満の場合は 10m ³
河川構造物	間詰工	間詰コンクリート	m ³	1	
河川構造物		間詰石	m ³	1	
河川構造物	沈床工	沈床	m ²	1	
河川構造物		粗朶単床	m ²	1	
河川構造物		粗朶柵	m	1	
河川構造物	捨石工	捨石	m ³	1	
河川構造物		表面均し	m ²	10	
河川構造物	元付工	元付	箇所	1	
河川構造物	牛・杵工	牛	組	1	
河川構造物		杵	組	1	
河川構造物	杭出し水制工	杭出し水制	基	1	
河川構造物	基礎工	現場打基礎	m	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
河川構造物		プレキャスト基礎	m	1	
河川構造物		コンクリート生産・運搬・クレーン打設	m ³	1	
河川構造物	根固めブロック工	根固めブロック製作	個	1	
河川構造物		根固めブロック据付	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック仮置	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック運搬	個	1	
河川構造物		袋詰め玉石	袋	1	
河川構造物	ブロック床版工	場所打ブロック	m ²	1	
河川構造物	函渠工	P C 函渠	m	0.1	
河川構造物		可撓継手	箇所	1	
河川構造物		取替式止水板	箇所	1	
河川構造物		函渠接続	箇所	1	
河川構造物	側壁工	裏込石	m ³	1	
河川構造物	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積)	遮水シート	m ²	1	
河川構造物	羽口工	連節ブロック水中吊落し	m ²	1	
河川構造物	植生工	被覆シート張	m ²	1	
砂防	コンクリート・鋼製堰堤 本体・副堤工	堤冠コンクリート	m ³	1	
砂防		水抜暗渠	m	0.1	
砂防		鋼製枠	t	0.1	
砂防		枠内中詰	m ³	1	
砂防		足場	m	1	
砂防		チップング（岩盤面・打継面）	m ²	1	
砂防		チップング（既設堰堤腹付け面）	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
砂防		岩盤清掃	m ²	1	
砂防		隔壁コンクリート基礎	m ³	1	
砂防		均しコンクリート	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
砂防		残存型枠	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
砂防	鋼製砂防工	組立・据付け工	t	0.1	
砂防		本締め工	本	1	
砂防		アンカー工	本	1	
砂防		現場塗装工（はけ塗り）	m ²	1	
砂防	コンクリート側壁工	均しコンクリート	m ²	10	ただし 100m ² 未満の場合は 1m ²
砂防		水抜暗渠	m	0.1	
砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	m	0.1	
砂防		ボーリング洗浄	m	0.1	
砂防		保孔管	m	1	
砂防		ボーリング仮設機材	回	1	
砂防	集水井工	集水井掘削	m	1	
砂防		井戸中詰	m ³	1	
砂防		プレキャスト井筒	m	1	
砂防		固定基礎コンクリート	m	1	
砂防		底張コンクリート	m ³	1	
砂防		井戸蓋	枚	1	
砂防	山腹水路工	山腹暗渠	m	1	
砂防		現場打水路	m	1	
砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	m ³	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
海岸	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック工	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック製作	個	1	
海岸		海岸コンクリート(根固・消波)ブロック据付	個	1	
海岸	護岸工	裏込(砕)石	m ³	1	
海岸		石材	m ³	1	
海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
海岸	捨石工	中詰石	m ³	1	
海岸		捨石	m ³	1	
海岸		捨石均し	m ²	10	
海岸		表面均し	m ²	10	
海岸	被覆石工	被覆石据付	m ³	1	
海岸		被覆石均し	m ²	10	
海岸	被覆ブロック工	被覆ブロック据付	個	1	
海岸	矢板工	鋼矢板防食	m ²	1	
海岸	詰杭工	既製コンクリート杭	本	1	
海岸		コンクリートパネル	枚	1	
海岸		中詰石	m ³	1	
海岸		表面均し	m ²	10	
海岸	石枠工	コンクリート枠製作	個	1	
海岸		コンクリート枠据付	個	1	
海岸		中詰石	m ³	1	
海岸		捨石均し	m ²	10	
海岸	ケーソン・セルラー工	ケーソン等運搬・据付	個	1	
海岸		中詰砂・石	m ³	1	
海岸		表面均し	m ²	10	
浚渫工	浚渫船運転工 (グラブ浚渫船)	浚渫船運転	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
浚渫工		浚渫船等機械管理費	日	1	
浚渫工	作業船及び機械運転工 (グラブ浚渫船)	揚錨船運転	日	1	
浚渫工		交通船運転	日	1	
浚渫工		土運搬船運転	日	1	
浚渫工		曳船運転	日	1	
浚渫工		警戒船運転	日	1	
浚渫工	バックホウ浚渫船	バックホウ浚渫船運転	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
浚渫工		繋船運転	日	1	
浚渫工		土運船運転	日	1	
浚渫工		浚渫土揚土	日	1	
浚渫工	バックホウ浚渫船 (ICT)	バックホウ浚渫船運転	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
浚渫工	配土工	配土	日	1	
浚渫工	浚渫土処理工	浚渫土処理	m ³	10	
鋼橋上部工	地組工	地組	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
鋼橋上部工	床版工	床版架設	m ²	1	
鋼橋上部工	架設工	各種設備	式	1	
鋼橋上部工		桁架設	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
鋼橋上部工	現場継手工	本締めボルト	本	1	
鋼橋上部工		鋼床板現場溶接	m	1	
鋼橋上部工	支承工	金属支承設置	個	1	
鋼橋上部工		大型ゴム支承設置	個	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
鋼橋上部工	伸縮装置工	鋼・ゴム製伸縮装置	m	0.1	
鋼橋上部工		鋼製伸縮装置	t	0.1	
鋼橋上部工		埋設ジョイント	m	1	
鋼橋上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	箇所	1	
鋼橋上部工	排水装置工	排水桝	箇所	1	
鋼橋上部工		排水管	m	1	
鋼橋上部工	地覆工	場所打地覆	m	1	
鋼橋上部工		プレキャスト地覆	m	1	
鋼橋上部工	橋梁用防護柵工	橋梁用防護柵	m	1	
鋼橋上部工	橋梁用高欄工	橋梁用高欄	m	1	
鋼橋上部工	検査路工	検査路	m	1	
鋼橋上部工	銘板工	橋名板	枚	1	
鋼橋上部工		橋歴板	枚	1	
鋼橋上部工	架設工	シェッド架設	t	0.1	
鋼橋上部工	屋根コンクリート工	溶接金網	m ²	1	
歩道橋本体工	橋脚フーチング工	アンカーフレーム架設	基	1	
歩道橋本体工		アンカーフレーム注入モルタル	基	1	
歩道橋本体工	歩道橋架設工	歩道橋架設	t	0.1	
歩道橋本体工		側道橋架設	t	0.1	
歩道橋本体工		橋面舗装	m ²	10	ただし1,000m ² 未満の場合は1m ²
歩道橋本体工		手摺	m	1	
歩道橋本体工		高欄	m	1	
歩道橋本体工		足場	箇所	1	
歩道橋本体工		防護	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工	橋梁足場工	架設足場	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		床版足場	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		塗装足場	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		側面塗装足場	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		支承設置用足場	m	1	
鋼橋足場等 設置工	橋梁防護工	板張防護	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		シート張防護	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工		ワイヤーブリッジ防護	m ²	10	
鋼橋足場等 設置工	昇降用設備工	登り栈橋	箇所	1	
鋼橋足場等 設置工		工事用エレベーター	基	1	
コンクリート橋 上部工	桁製作工・床版・横組工	プレテンション桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		ポストテンション桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレキャストセグメント製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレキャストセグメント主桁組立	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレビーム桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		機械器具損料	式	1	
コンクリート橋 上部工		P Cケーブル	m	1	
コンクリート橋 上部工		P Cケーブル	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
コンクリート橋 上部工		P Cケーブル・緊張	ケーブル	1	
コンクリート橋 上部工		緊張	ケーブル	1	
コンクリート橋 上部工		P C鋼棒	m	1	
コンクリート橋 上部工		P C緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		P C固定	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		P C継手	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		横締めケーブル	m	1	
コンクリート橋 上部工		鉛直締めケーブル	m	1	
コンクリート橋 上部工		横締め緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		鉛直締め緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		取付桁結合解放	回	1	
コンクリート橋 上部工	架設工(押出し架設)	仮支柱	基	1	
コンクリート橋 上部工		プレフレクション	回	1	
コンクリート橋 上部工		リリース	回	1	
コンクリート橋 上部工		主桁解体	主桁本	1	
コンクリート橋 上部工		桁組立	主桁本	1	
コンクリート橋 上部工		横桁取付	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		部分プレストレス	径間	1	
コンクリート橋 上部工		移動型枠	m ²	1	
コンクリート橋 上部工		円筒型枠	m	1	
コンクリート橋 上部工		主桁製作設備	式	1	
コンクリート橋 上部工	架設工	桁小運搬	本	1	
コンクリート橋 上部工		桁架設	本	1	
コンクリート橋 上部工		柱頭部仮支承	m ²	1	
コンクリート橋 上部工		桁架設(片持架設)	基	1	
コンクリート橋 上部工		ベント・鉄塔基礎	式	1	
コンクリート橋 上部工		押出装置	基	1	
コンクリート橋 上部工		滑り装置	基	1	
コンクリート橋 上部工		手延べ桁	基	1	
コンクリート橋 上部工		桁架設(押出架設)	回	1	
コンクリート橋 上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	組	1	
コンクリート橋 上部工	架設支保工	支保工基礎	m ²	1	
コンクリート橋 上部工		支保	空 m ³	10	
コンクリート橋 上部工	支承工	ゴム支承	個	1	
コンクリート橋 上部工		金属支承設置	個	1	
コンクリート橋 上部工		変位制限装置	組	1	
コンクリート橋 上部工		ジョイントプロテクター	組	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
コンクリート橋 上部工	橋梁付属物工	鋼・ゴム製伸縮装置	m	0.1	
コンクリート橋 上部工		鋼製伸縮装置	t	0.1	
コンクリート橋 上部工		埋設ジョイント	m	1	
コンクリート橋 上部工		排水樹	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		排水管	m	1	
コンクリート橋 上部工		場所打地覆	m	1	
コンクリート橋 上部工		プレキャスト地覆	m	1	
コンクリート橋 上部工		橋梁用防護柵	m	1	
コンクリート橋 上部工		橋梁用高欄	m	1	
コンクリート橋 上部工		検査路	m	1	
コンクリート橋 上部工		銘板	枚	1	
コンクリート橋 上部工	橋梁防護工	P C防護	m ²	1	
コンクリート橋 上部工	輸送工	現場取卸（鋼桁）	t	0.1	
コンクリート橋 上部工	シェット購入工	シェット部材材料費	本	1	
コンクリート橋 上部工	躯体工	排水マット	m	1	
トンネル(NATM)	トンネル掘削工・支保工	掘削・支保	m	0.1	
トンネル(NATM)	支保工	吹付	m	0.1	
トンネル(NATM)		鋼製支保	m	0.1	
トンネル(NATM)		金網	m	0.1	
トンネル(NATM)	覆工・防水工	覆工コンクリート・防水	m	0.1	
トンネル(NATM)		覆工コンクリート（妻部）	箇所	1	
トンネル(NATM)		側壁コンクリート	m	0.1	
トンネル(NATM)		床版コンクリート	m	0.1	
トンネル(NATM)	インバート工	インバート掘削	m	0.1	
トンネル(NATM)		インバート	m	0.1	
トンネル(NATM)	坑内付帯工	箱拔	箇所	1	
トンネル(NATM)		裏面排水	m	1	
トンネル(NATM)		湧水处理	箇所	1	
トンネル(NATM)		中央排水	m	1	
トンネル(NATM)		横断排水	箇所	1	
トンネル(NATM)		集水樹	箇所	1	
トンネル(NATM)	坑門工	斜面ボルト	本	1	
トンネル(NATM)		坑口処理	箇所	1	
トンネル(NATM)		型枠（セントル）	m ²	10	
トンネル(NATM)	掘削補助工A	フォアバイリング	本	1	
トンネル(NATM)		先受け矢板	枚	1	
トンネル(NATM)		岩盤固結	m ³	10	ただし100m ³ 未満の場合は1m ³
トンネル(NATM)		増し吹付	m ²	1	
トンネル(NATM)		増しロックボルト	本	1	
トンネル(NATM)		鏡吹付	m ²	1	
トンネル(NATM)		鏡ロックボルト	本	1	
トンネル(NATM)		仮インバート	m ²	1	
トンネル(NATM)		ミニバイブルーフ	本	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
トンネル(NATM)	掘削補助工B	水抜きボーリング	本	1	
トンネル(NATM)		垂直縫地	本	1	
トンネル(NATM)		パイプルーフ	本	1	
トンネル(NATM)		押え盛土	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
トンネル(NATM)		薬液注入	m ³	10	
トンネル(NATM)		ディープウェル	日	1	
トンネル(NATM)		ウエルポイント	日	1	
トンネル(NATM)		トンネル仮巻きコンクリート	m	1	
トンネル(NATM)		各種設備	式	1	
共同溝	掘削工	掘削	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
共同溝	埋戻し工	埋戻し	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
共同溝	現場打構築工	防水	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
共同溝		防水保護	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
共同溝		防水壁	箇所	1	
共同溝		目地材	m ²	1	
共同溝		止水板	m	1	
共同溝	プレキャスト構築工	プレキャスト躯体	個	1	
共同溝		P C鋼材	m	1	
共同溝		縦・横締め緊張	箇所	1	
共同溝		可とう継手	箇所	1	
共同溝		コーキング	m	1	
共同溝		シール	m	1	
共同溝	付帯設備工	グレーチング	組	1	
共同溝		蓋	組	1	
共同溝		排水管	m	1	
共同溝		ルーフドレーン	個	1	
共同溝		換気防護柵	箇所	1	
共同溝		梯子	本	1	
共同溝		ステップ	本	1	
共同溝		タラップ	本	1	
共同溝		手摺	m	1	
共同溝		銘板	枚	1	
共同溝	現場打躯体工 (構造物単位)	共同溝	m ³	1	
共同溝	管路工(管路部)	埋設表示シート	m	1	
電線共同溝	掘削工	開削掘削	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
電線共同溝	埋戻し工	埋戻し	m ³	100	ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
電線共同溝	電線共同溝工	管路	m	1	
電線共同溝		プレキャストボックス	個	1	
電線共同溝		蓋	組	1	
電線共同溝	付帯設備工	ハンドホール	箇所	1	
電線共同溝	管路工(管路部)	埋設表示シート	m	1	
電線共同溝		スリーブ	個	1	
電線共同溝		伸縮継手	個	1	
植栽維持工	樹木・芝生管理工	樹木せん定	本	1	
植栽維持工		寄植せん定	m ²	10	
植栽維持工		補植	本	1	
植栽維持工		移植	本	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
植栽維持工		支柱	本	1	
植栽維持工		抜根除草	m ²	10	
植栽維持工		樹木施肥	本	1	
植栽維持工		寄植・芝施肥	m ²	10	
植栽維持工		灌水	m ²	10	
植栽維持工		防除	本	1	
植栽維持工		寄植・芝薬剤散布	m ²	10	
植栽維持工		芝刈	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持	河川巡視工	緊急巡視	回	1	
河川維持	堤防除草工	除草	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持	芝養生工	施肥	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持		抜根	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持	伐木除根工	伐木除根	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持	塵芥処理工	散在塵芥収集	m ²	1,000	ただし 100,000m ² 未満の場合は 100m ²
河川維持		堆積塵芥収集	m ³	10	ただし 100m ³ 未満の場合は 1m ³
河川維持	水面清掃工	水面清掃	日	1	
河川維持	応急処理作業	応急作業	日	1	
河川維持	ボーリンググラウト工	注入	m ³	1	
河川維持		注入設備据付解体	回	1	
河川維持	欠損部補修工	欠損部取壊し	m ³	1	
河川維持		欠損部補修	m ³	1	
河川維持	不陸整正工	不陸整正・締固め	m ²	1	
河川維持	付属物復旧工	調整ポスト	個	1	
河川維持	付属物設置工	標識	基	1	
河川維持	塵芥処理工	処分費	t	1	
河川維持	樹木・芝生管理工	捕植	本	1	
道路修繕	路面切削工	路面切削	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	舗装打換え工	舗装版切断	m	10	ただし 100m 未満の場合は 1m
道路修繕		舗装版破碎	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	切 削 オ ー バ ー レ イ 工 (ICT)	切削オーバーレイ (ICT)	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	舗装打換え工・オーバーレイ工	基層	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕		中間層	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕		表層	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	路上路盤再生工	路上路盤再生	m ²	10	ただし 1,000m ² 未満の場合は 1m ²
道路修繕	床版補強工	クラック処理	m	1	
道路修繕		足場	m ²	10	
道路修繕		防護	m ²	10	
道路修繕	床版増厚補強工	表面荒らし	m ²	1	
道路修繕	床版取替工	鋼製高欄取替	m	1	
道路修繕		床版運搬処理	m ³	1	
道路修繕	鋼桁補強工	現場溶接鋼桁補強	m	1	
道路修繕	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修	m	0.1	
道路修繕		埋設ジョイント補修	m	0.1	
道路修繕	落橋防止装置工	落橋防止装置	箇所	1	
道路修繕		コンクリート削孔	孔	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数 位	備 考
道路修繕		アンカー	本	1	
道路修繕		充填補修	孔	1	
道路修繕		現場孔明(鋼構造物)	本	1	
道路修繕	鋼橋・PC支承工	支承取替	基	1	
道路修繕	トンネル補修工	低圧注入工法	トンネル	1	
道路修繕	検査路工	検査路	t	0.1	
道路修繕	沓座拡幅工	チップング	m ²	1	ただし10m ² 未満の場合は0.1m ²
道路修繕		コンクリート削孔	孔	1	
道路修繕		アンカー筋挿入(コンクリート沓座拡幅)	本	1	
道路修繕		鋼製ブラケット設置	箇所	1	
道路修繕	排水施設工	排水桝	箇所	1	
道路修繕		排水管	m	1	
道路修繕	横断歩道橋工	高欄・手摺	t	0.1	
道路修繕		側板	t	0.1	
道路修繕		ノンスリップ	m	1	
道路修繕	RC橋脚鋼板巻立て工	鋼板取付	m ²	1	
道路修繕		現場溶接	m	1	
道路修繕		定着用アンカー	箇所	1	
道路修繕		円形基部補強版	段	1	
道路修繕		根巻きコンクリート	m ³	1	
道路修繕	橋脚コンクリート巻立て	コンクリート削孔	箇所	1	
道路修繕		コンクリート巻立て	m ³	1	
道路修繕		下地処理	m ²	1	
道路修繕	現場塗装工	素地調整	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
道路修繕		塗装(下・中・上塗)	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
道路修繕		張紙防止塗装	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²
道路修繕		コンクリート面・岩盤清掃	m ²	1	
道路修繕	トンネル工	内装板	m ²	1	
道路修繕		裏込注入	m ³	1	
道路修繕		面導水	m ²	1	
道路修繕		線導水	m	1	
道路修繕		鋼板巻立て	m ²	1	
道路修繕		グルーピング	m ²	1	
道路修繕		グルーピング(路面排水用)	m	1	
道路修繕		鋼・ゴム製伸縮装置補修	m	1	
道路修繕	橋梁補修工	橋梁地覆補修	m	1	
道路修繕		下地処理	橋	1	
道路修繕		プライマー塗布	橋	1	
道路修繕		下塗り(バテ塗布)	橋	1	
道路修繕		中塗り材塗布	橋	1	
道路修繕		上塗り材塗布	橋	1	
道路修繕		充てん工法	橋	1	
道路修繕		低圧注入工法	m	1	
道路修繕		左官工法	m	1	
道路維持	巡視・巡回工	通常巡回	回	1	
道路維持		緊急巡回	回	1	
道路維持	コンクリート舗装補修工	アスファルト注入	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
道路維持		舗装版目地補修	m	1	
道路維持		クラック処理	m	1	
道路維持	アスファルト舗装維持工	わだち掘れ補修	m ²	1	
道路維持		パッチング	t	0.1	
道路維持	付属物復旧工	舗装版削孔	孔	1	
道路維持		ガードケーブル復旧	m	1	
道路維持		転落(横断)防止柵復旧	m	1	
道路維持		路側標識復旧	基	1	
道路維持		標識板復旧	枚	1	
道路維持		視線誘導標復旧	本	1	
道路維持		距離標復旧	本	1	
道路維持		張紙防止シート復旧	m ²	1	
道路維持	路面清掃工	路面清掃(機械)	km	0.1	
道路維持		路面清掃(路肩部・人力)	km	0.1	
道路維持		路面清掃(歩道・人力)	m ²	1	
道路維持		路面清掃(歩道橋・地下道・人力)	m ²	1	
道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	m ²	1	
道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	m	10	
道路維持		側溝清掃(機械)	m	10	
道路維持		集水桝清掃(機械)	箇所	1	
道路維持		管渠清掃	m	10	
道路維持		桝清掃	箇所	1	
道路維持	橋梁清掃工	伸縮継手清掃	m	1	
道路維持		排水管清掃	m	10	
道路維持	道路付属物清掃工	トンネル照明器具清掃	灯	1	
道路維持	構造物清掃工	トンネル壁面清掃	m ²	1	
道路維持	道路除草工	除草	m ²	1,000	ただし100,000m ² 未満の場合は100m ²
道路維持	応急処理工	応急作業	日	1	
道路維持	冬季安全施設工	スノーボール設置・撤去	本	1	
道路維持		防雪柵	m	1	
道路維持		落雪(せり出し)防護柵	m	1	
道路維持		防雪柵現地張出・収納	m	1	
雪寒	一般・運搬・歩道除雪	各種	時間	1	
雪寒	凍結防止工	各種	時間	1	
雪寒		凍結防止剤	t	1	
雪寒		凍結防止剤	ℓ	1	
雪寒		除雪補助	時間	1	
雪寒		積雪投棄	時間	1	
雪寒		ハンドガイド式除雪機	時間	1	
雪寒		小型除雪車	時間	1	
雪寒	安全処理工	雪瑕疵処理	時間	1	
雪寒		つらら処理	時間	1	
雪寒		人工雪崩	式	1	
雪寒	雪道巡回工	巡回	回	1	
雪寒	待機補償費	要員・連絡員	時間	1	
雪寒		待機補償費	式	1	
雪寒	保険費	除雪保険	式	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数値	備 考
雪寒	除雪機械修理工	除雪機械修理	式	1	
電気通信		ケーブル	m	10	ただし 1,000m 未満の場合は 1m
電気通信		電線	m	10	ただし 1,000m 未満の場合は 1m
電気通信		電線管	m	10	ただし 1,000m 未満の場合は 1m
機械		鋼材類	t	0.01	ただし 1t 未満の場合は 0.001t

第7章 建設機械運転労務等

① 建設機械運転労務（建地－Ⅰ）

1. 適用職種

建設機械の運転・操作にかかわる職種区分は、次表のとおりとする。

表1.1 適用職種

職 種	適 用 建 設 機 械
運転手（特殊）	特殊免許、資格等を必要とする建設機械
運転手（一般）	上記以外で、公道を走行する建設機械
特殊作業員	上記以外で、公道を走行できない建設機械

2. 労務歩掛

2-1 運転手の労務歩掛

機械運転1時間当り労務歩掛は、次式による。

$$\text{歩掛} = \frac{1}{T} \quad (\text{人/h}) \cdots \cdots \text{式2.1}$$

（注）1. Tは運転日当り運転時間で請負工事機械経費積算要領第4第4項及び同第6項の定めによる。

なお、Tは4～7時間について適用するものとし、Tが4時間未満の場合は4を、7時間を越える場合は7を使用する。

2. 運転日当り運転時間（T）は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとし、機械運転1時間当り労務歩掛は、小数第3位を四捨五入して小数第2位止めとする。

② 原動機燃料消費量（建地－Ⅰ）

1. 適用範囲

本資料は、建設工事に使用する建設機械等の燃料消費量の算出に適用する。

2. 燃料消費量

2-1 燃料消費量の算定

燃料消費量の算定は、請負工事機械経費積算要領による建設機械等損料算定表の種類、規格の機関出力と次に示す時間当り燃料消費率を乗じて求める。

$$\text{時間当り燃料消費量} = \text{機関出力} \times \text{時間当り燃料消費率}$$

（注）1. 時間当り燃料消費量の数値は、有効数字の第3位を四捨五入し、有効数字2桁とする。

2. 走行用エンジン及び作業用エンジンの双方を有する機械は、双方のエンジン出力を合計した機関出力とする。

3. ディーゼルパイルハンマの燃料消費率は、単位が（ℓ/h-t）（t：ラム質量）なので、機関出力に替えてラム質量を乗ずる。

2-2 時間当り燃料消費率

時間当り燃料消費率（日常保守点検等に必要な油脂類及び消耗品等を含む）は、「国版：第Ⅰ編総則 第6章建設機械運転労務等 ②原動機燃料消費量 表2-1運転1時間当り燃料消費率」を標準とする。

③ 機械運転単価表（建地－Ⅰ）

本資料は、各工種に使用する機械のうち、標準的な機種について単価表を示したものであり、各工種の単価表欄の指定に基づき作成する。

単価表は「国版：第Ⅰ編総則 第6章建設機械運転労務等 ③機械運転単価表」を参照。

1. 各工種の中で特に指定しない場合は、次による。

- (1) 労務歩掛は「第7章①建設機械運転労務」による。
- (2) 主燃料の種類及び数量、油脂類は「第7章②原動機燃料消費量」による。

2. 各機種、規格ごとに次の事項を記入する。

- (1) 表題には、機械名を記入する。
- (2) 燃料費の規格欄には、燃料の種類を記入する。
- (3) 機械損料の規格欄には、機械の規格を記入する。

④ 一般事項（建地－Ⅰ）、（県）

1. 建設機械運転労務

運転手の労務歩掛の考え方

- (1) 運転手は通年雇用的な常用とみなす。
- (2) 1人工は実働8時間とする。

2. 指定事項における運転労務数量について

各工種における当該機械毎の機械運転単価表において、指定事項に運転労務数量が指定されている場合は、これによるものとする。

指定事項において運転労務数量が指定されていない場合は、第1編第7章①建設機械運転労務によるものとする。

3. 運転日当り運転時間（T）

- (1) 作業が標準状態である場合、運転日当り運転時間（T）は建設機械等損料算定表に示す年間標準運転時間、年間標準運転日数等より算出した値を使用する。
ただし、各工種における当該機械毎に運転労務数量が指定されている場合は、これによる。
- (2) 工事の施工に特別な条件がない場合、作業は標準状態と見なす。
- (3) 積上げで求めた運転日当り運転（T）と標準時間（ T_0 ）の差が T_0 に対し±20%未満の場合には、標準状態とみなし、標準 T_0 を使用することができる。
- (4) 設計変更その他不可抗力等により、当初の契約条件を変更するため運転日当り運転時間（T）が著しく変更する場合（±20%以上の場合）は、運転日当り運転時間（T）を変更する。
- (5) 運転日当り運転時間（T）が4時間未満の場合、歩掛はすべて $T=4$ 時間で積算し同一運転手による他の機械の運転等を考慮する。又運転日当り運転時間（T）が7時間を越える場合も歩掛はすべて $T=7$ 時間で積算し、場合によっては2シフト制を考慮する。
- (6) 運転日当り運転時間（T）は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとし、機械運転1時間当り労務歩掛は、小数第3位を四捨五入して小数第2位止めとする。

4. 運転手を計上する機械

道路交通法に定める運転免許が必要な建設機械並びにこれと同等の機械（フィニッシャ、アスファルトプラント等）とする。

運転手を計上する条件を運転手（特殊）及び運転手（一般）と分類してその各々の内容を次のとおりとする。

（1）運転手（特殊）

重機械（道路交通法第84条に規程する大型特殊免許または労働安全衛生法第61条第1項に規程する免許、資格もしくは技能講習の修了を必要とし、運転及び操作に熟練を要するもの。）の運転及び操作について相当程度の技能を有し、主として重機械を運転または操作及び整備点検、給油脂、清掃等の作業。

（2）運転手（一般）

道路交通法第84条に規程する運転免許（大型免許、普通免許等）を有し、主として機械を運転または操作及び整備点検、給油脂、清掃等の作業。

（3）特殊作業員としての取扱い

軽機械（道路交通法第84条に規程する運転免許または労働安全衛生法第61条第1項に規程する免許、資格もしくは技能講習の修了を必要とせず、運転及び操作に比較的熟練を要しないもの。）を運転または操作して行う作業。

5. ダム工事及び大型造成工事について

ダム工事及び大型造成工事については、機械付世話役及び助手を別途考慮する。

6. 労務単価について

単価は公共工事設計労務単価（二省単価）による。（県）

・世話役の単価について

機械付世話役単価は、土木一般世話役の労務単価とする。

・助手の単価

助手の単価は、普通作業員の単価とする。

・機械工の単価

機械工の単価は、溶接工の単価とする。

7. 歩掛について

(1) 損料との関係

1) 機械の供用日数、運転時間の定義等についてはすべて「請負工事機械経費積算要領」によるものとする。

2) 時間当り損料 労務歩掛積算要領表（表－1）

表－1 時間当り損料 労務歩掛積算要領表

施 工 条 件	時間当り損料(円/h)	労 務 歩 掛(人/h)	摘 要
(1) 稼動状態が標準の場合	損料＝損料表(13)欄	$4 \leq T \leq 7$ ではT $T < 4$ の場合は $T = 4$ $7 < T$ の場合は $T = 7$ として、標準歩掛の式2.1による。	Tは機種により一定 $T = \frac{\text{損料表(3)欄}}{\text{損料表(4)欄}}$
(2) 稼動状態が標準と異なる場合	損料＝損料表(9)欄 ＋損料表(11)欄/t t：供用日当り運転時間 （積上げにて積算）、小数第2位を四捨五入して小数第1位止め	(1)に同じ	$4 \leq T \leq 7$ では損料Tと歩掛Tは一致する。 $T < 4$ 、 $7 < T$ では損料Tと歩掛は一致しない。
(3) 特に作業条件が標準と異なる場合（ハードワーク等）	損料＝損料表(9)欄 $\times (1 \pm \alpha)$ 損料表 ＋(11)欄/t	(1)に同じ	算定表の割増率を使用
(4) 積雪寒冷地で使用する場合	損料＝損料表(9)欄 ＋損料表(11)欄 $\times \beta / t$	(1)に同じ	算定表の割増率を使用

8. 運転手職種別の対象機械

運転手職種別の対象機械は、表－2のとおりとする。

表－２ 運転労務適用職種一覧

機 械 名	規 格		機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	摘 要
ブルドーザ	1t		—			○	
	3t以上		—	○			
	リッパ装置付		—	○			
レーキドーザ タイヤドーザ	3t級未満		—			○	
	3t級以上		—	○			
ト ラ ク タ	クローラ	3t級未満	—			○	
		3t級以上	—	○			
	ホイール	—	3t未満		○		
		—	3t以上	○			
スクレープドーザ スクレーパ モータスクレーパ	各 種		—	○			
パワーショベル バックハウ クラムシェル ドラグライン ローディングショベル	機 械 式		3t以上	○			
	クローラ	山積0.08m³級以下 (平積0.06m³級)	—			○	
		山積0.11m³級以上 (平積0.08m³級)	—	○			
	ホイール	山積0.28m³級以上 (平積0.2m³級)	—	○			
クローラローダ	0.25m³級以下		—			○	
	0.4 m³級以上		—	○			
ホイールローダ	0.4 m³級以下		—		○		
	0.5 m³級以上		—	○			
クローラクレーン	1t吊未満		—			○	
	1t吊以上		—	○			
トラッククレーン ラフテレーンクレーン	1t吊未満		—		○		
	1t吊以上		—	○			
モータグレーダ	各 種		—	○			
サンドパイル打機	パイプロ 式		—	○			
クローラ杭打機	ブ ー ム 式		—	○			
	直 結 式		—	○			
路面清掃車	ブラシ式フロントリフトダンプ		—	○			
	上記以外		—		○		
トラック式アースオーガ	各 種		—	○			
大型ブレーカ	〃		—	○			バックハウ架装
散 水 車	〃		—		○		
側溝清掃車	〃		—		○		
排水管清掃車	〃		—		○		
ガードレール清掃車	ブ ラ シ 式		—		○		
トンネル清掃車	〃		—		○		
トラック	国産・普通 クレーン装置付1t吊未満		—		○		
	クレーン装置付1t吊以上		—	○			

機 械 名	規 格	機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	摘 要
ダンプトラック	各 種	—		○		
専用重ダンプトラック	〃	—		○		
不整地運搬車	積載質量1t未満	—			○	
	積載質量1t以上	—	○			
水陸両用運搬車(泥上車)	各 種	—	○			
作 業 車	各 種 (クレーン装置付1t吊以上を除く)	—		○		クレーン装置付1t吊以上の機種であって、クレーンを使用しない場合は、運転手(一般)のみ計上
	各 種 (クレーン装置付1t吊以上)	—	○			
高所作業車	作業床高10m未満	—		○		
	作業床高10m以上	—	○			
コンクリートポンプ車	配 管 式	—	○			
	ブ ー ム 式	—	○			
ラインマーカ	自 走 式	—		○		
	車 載 式	—		○		
ロードローラ	マ カ ダ ム	—	○			
	タ ン デ ム	—	○			
タイヤローラ	各 種	—	○			
振動ローラ	自走式2.5～2.8t以下	—			○	
	〃 3.0～5.0t以上	—	○			
コンクリートフィニッシャ	3.0～4.5m以上	—	○			
コンクリートスプレッダ	ブレード式・ボックス式	—	○			
コンクリートレベラー	3.0～7.5m	—	○			
アスファルトフィニッシャ	各 種	—	○			
アスファルトブラント	〃	—	○			
アスファルトディストリビュータ	〃	—		○		
アスファルトスプレッダ	自走式・各種	—		○		
スタビライザ	路上混合自走式各種	—	○			
トレンチャ	自 走 式	3t未満			○	
	〃	3t以上	○			
トラックミキサ	各 種	—		○		
ヒータブレーナ		—	○			
路面切削機	クローラ式・ホイール式	—	○			
マイクロバス		—		○		
連絡車		—		○		
ウインチ	5t吊未満	—			○	
	5t吊以上	—	○			
草刈車	大型自走式(履帯式)	—			○	
草刈機	肩掛式・ハンドガイド式	—			○	

第 8 章 土木請負工事の特許使用料の積算

① 土木請負工事の特許使用料の積算について（建地－Ⅰ）

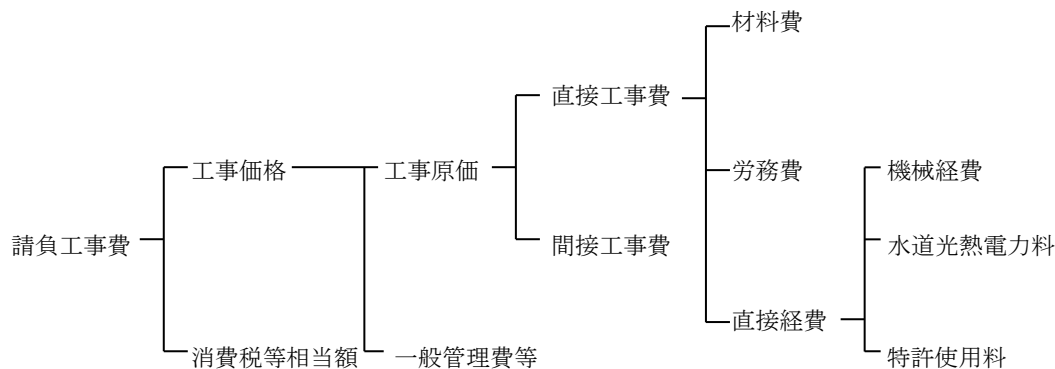
- 土木請負工事費の積算において必要な特許使用料の算定については次のとおりとする。
ただし、これにより難しい場合は別途考慮するものとする。

(1) 特許使用料の適用

特許使用料の適用は、特許権等に係る施工法・試験法・製造法並びに特許権、実用新案権及び意匠権等を用いて施工・製作させた装置等、工業所有権等に係るもの全てを対象とした特許工法等とし、特許法に基づく手続きのうち、設定登録が完了している場合及び出願を完了し、かつ、設定登録が完了していない手続き期間において、当該工法等を使用する積算に適用する。また、特許使用料を計上するのは、共有特許及び民間特許工法等を使用する場合とする。

(2) 特許使用料の積算

特許使用料は、工事を施工するのに直接必要とする経費とし、その算定は契約に基づき使用する特許の使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とする。



1) 特許使用料の算出

共有特許工法等を使用する場合は、実施契約に基づく、民間企業等が有する特許権の持分に対応した特許使用料を計上し、民間特許工法等を使用する場合は、当該特許工法に係る全ての特許使用料を計上する。

なお、特許権、実用新案権及び意匠権等を用いて施工・製作させた装置等については、特許使用料が含まれている場合があるので留意されたい。

第9章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算

① 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について（建地－Ⅰ）

1. 公共土木工事において、下記に示す項目により継続的に時間的制約を受け、通常の作業時間を確保することができない場合における当該作業の積算に係る労務費の算定は次のとおりとする。

(1) 時間的制約条件

- 1) 現道の交通量の多い時間帯
 - 2) 通勤・通学の時間帯
 - 3) 公的な輸送機関（バス・鉄道等）のピークとなる時間帯
 - 4) 工事場所周辺地域の生活、各種営業活動等の時間帯等
 - 5) 山間部など現場条件によって作業時間に制約を受ける場合等
- 1) ～4) の時間帯を避けた施工を必要とする場合又は5) の制約を受ける場合とする。
ただし、ある特定の日のみの制約（例：毎週○曜日のみ）を受ける場合は適用しない。

(2) 制約を受ける作業時間の適用範囲

制約を受ける作業時間については、4時間/日以上 7.5時間/日以下とする。

なお、制約を受ける作業時間が4時間/日未満の場合は、別途施工条件等を考慮し適正に積算するものとする。

(3) 労務費の算定方法

時間的に制約を受ける工事の設計労務単価の補正割増しは、以下の方法により行うものとする。

1) 作業時間の算出

拘束時間＝作業終了時間－作業開始時間（なお、標準拘束時間は9時間とする）

作業時間＝拘束時間－1時間（休憩時間帯）（なお、標準作業時間は8時間とする）

2) 補正割増し係数

時間的制約状況の程度	補正割増し係数
時間的制約を受ける場合	1.06
時間的制約を著しく受ける場合	1.14

注)「時間的制約を受ける場合」とは、作業時間が7時間/日を超え7.5時間/日以下をいう。

「時間的制約を著しく受ける場合」とは、作業時間が4時間/日以上 7時間/日以下をいう。

3) 設計労務単価の補正割増し

設計労務単価は、次式により補正割増しを行うものとする。

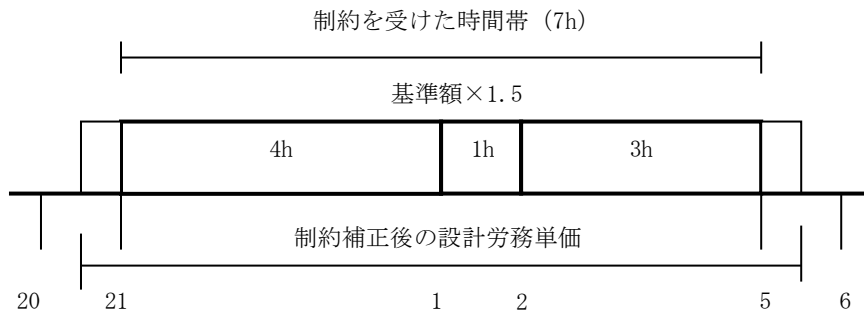
イ) 通常勤務すべき時間帯（8時～17時）内において作業時間に制約を受ける場合の設計労務単価

設計労務単価＝公共工事設計労務単価×補正割増し係数

ロ) 施工条件により、やむを得ず通常勤務すべき時間帯（8時～17時）を外して作業を行う場合の設計労務単価（例－1、例－2）

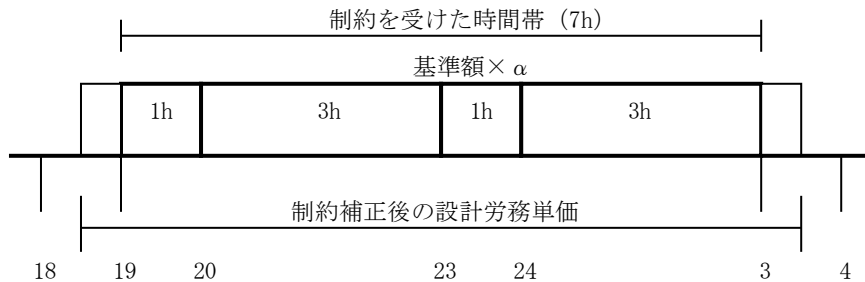
設計労務単価＝〔公共工事設計労務単価＋割増し賃金〕×補正割増し係数

（例－1）20時～6時の時間帯の中で21時～5時までの時間的制約を受けた場合



$$\begin{aligned}
 \text{設計労務単価} &= [\text{基準額} + \text{割増し賃金}] \times \text{補正割増し係数} \\
 &= \text{基準額} \times 1.5 \times 1.14 \\
 &= \text{基準額} \times 1.71 \\
 \text{ただし、割増し賃金} &= \text{基準額} \times 0.5
 \end{aligned}$$

（例－2）18時～4時の時間帯の中で19時～3時までの時間的制約を受けた場合



$$\begin{aligned}
 \text{設計労務単価} &= [\text{基準額} + \text{割増し賃金}] \times \text{補正割増し係数} \\
 &= \text{基準額} \times 1.428 \times 1.14 \\
 &= \text{基準額} \times 1.628 \\
 \text{ただし、}\alpha &= \text{割増し率} \\
 &= (1\text{h} \times 1.0 + 6\text{h} \times 1.5) / 7\text{h} \\
 &= 1.428 \\
 \text{割増し賃金} &= \text{基準額} \times 0.428
 \end{aligned}$$

ハ) 設計労務単価に他の特殊割増し（積雪寒冷地域での冬期割増し等）を合わせて考慮する場合は、割増し部分が重複しないように注意するものとする。

ニ) 機械付労務の労務費についても補正割増しの対象とする。

（4）機械損料の補正

時間的制約を受ける工事の積算にあたって、機械損料を補正する場合には「建設機械損料の算定について」（建設省機発第65号）〔昭和55年2月22日付〕により、行うものとする。

（5）工期の設定

時間的制約を受ける工事の工期設定にあたっては、制約された作業時間により適正な工期の設定を行うものとする。

第10章 土木請負工事における現場環境改善費の積算

① 土木請負工事における現場環境改善費の積算（建地－Ⅰ）、（県）

1. 対象となる内容は次のとおりとする。

工事に伴い実施する現場環境改善（仮設備関係、営繕関係、安全関係）及び地域連携に関するものを対象とする。

2. 適用の範囲（県）

周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、設計金額が150,000千円以上の全ての工事とする。（但し、現場事務所を設置しない工事及び機械設備工事積算基準のみを適用する工事については除外する。）

3. 積算方法

(1) 現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善を行う場合は率計上とし、特別な内容を実施する場合は積上げ計上とする。

イ. 積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。

$$K = i \cdot P_i + \alpha$$

ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000円未満切り捨て）

i：現場環境改善費率（単位：%、小数第3位四捨五入2位止め）

P_i：対象額（直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額）

なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。

α：積上げ計上分（単位：円、1,000円未満切り捨て）

対象額：P _i		現場環境改善費率：i（%）	
		大都市、市街地	左記以外
直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費 ＋ 無償貸付機械等評価額	5億円以下 の場合	$i = 45.9 \cdot P_i^{-0.175}$	$i = 32.5 \cdot P_i^{-0.202}$
	5億円を超 える場合	1.38	0.57

ロ. 率に計上されるものは、別表－1の内容のうち原則として各計上費目（現場環境改善のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの内容を基本とした費用である。

また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

ハ. 積上げ計上分（α）に計上するものは、（2）の「熱中症対策・防寒対策に関する費用」及び「巨額となるため現場環境改善費率分で行うことが適当でないと判断されるものの費用」とする。

ニ. なお、経費率は現場環境改善費の各費目を1本化した全体での率である。

ホ. 現場環境改善及び地域連携に関する費用の対象額は5億円を限度とする。（県）

(2) 熱中症対策・防寒対策に関する費用について

主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分での計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。なお、積み上げ計上をする場合は、現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される額の50%を上限とする。

(3) 設計変更について

率に計上されるものについては、設計変更を行わないものとする。ただし、対象金額（Pi）の変動に伴う現場環境改善費率 i は変更される。また、積上げ計上分（ α ）については、内容に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。

別表－1

計上費目	実施する内容（率計上分）
現場環境改善 （仮設備関係）	1. 昇降設備の充実 2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実 4. 作業負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導警備員待機室を含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実等
現場環境改善 （安全関係）	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策等
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

② 熱中症対策・防寒対策における積算（県）

1. 対象となる内容は次のとおりとする。

工事に伴い主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関するものを対象とする。

2. 適用の範囲

現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、すべての屋外工事を対象とする。

3. 積算方法

(1) 契約後、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(2) 費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。なお、積み上げ計上をする場合は、現場管理費に計上される作業員個人の費用（熱中症対策に資する現場管理費補正）と重複がないことを確認し、当初契約金額に相当する現場環境改善費の率分で算出（150,000千円未満の工事は仮想で算出）される額の100%を上限とする。

第11章 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算

① 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算について（**建地－Ⅰ**）、（**県**）

受注者の責めに帰すことができないものにより請負工事の設計図書の変更に伴う工期の延長や一時中止（以下「工期延長等」という。）をした場合の増加費用の負担については、下記により積算するものとする。

1. 増加費用等の考え方

1-1 増加費用等の適用

増加費用等の適用は、工期延長等に伴う増加費用等について受注者から請求があった場合に適用する。

1-2 増加費用等の範囲

増加費用として積算する範囲は、工事現場の維持に要する費用、工事体制の縮小に要する費用、工事の再開準備に要する費用、**中止により工期延長**となる場合の費用、工期短縮を行った場合の費用とする。

(1) 工事現場の維持に要する費用

工事現場の維持に要する費用とは、工期延長等に伴い工事現場を維持し又は工事の続行に備えて機械器具、労務者又は現場常駐の従業員（専門職種を含む。以下同じ。）を保持するために必要とされる費用等とする。

(2) 工事体制の縮小に要する費用

工事体制の縮小に要する費用とは、中止時点における工事体制から中止した工事現場の維持体制にまで体制を縮小するため、不要となった機械器具、労務者又は現場常駐の従業員の配置転換に要する費用等とする。

(3) 工事の再開準備に要する費用

工事の再開準備に要する費用とは、工事の再開予告後、工事を再開できる体制にするため、工事現場に再投入される機械器具、労務者、現場常駐の従業員の転入に要する費用等とする。

(4) 工期延長等となる場合の費用

工期延長等となる場合の費用とは、工期延長等となることにより追加で生じる社員等給与、現場事務所費用、材料の保管費用、仮設諸機材の損料等に要する費用等とする。

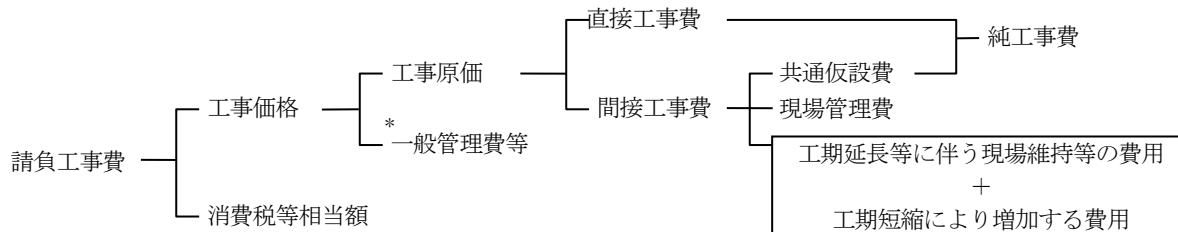
(5) 工期短縮を行った場合の費用

工期短縮を行った場合の費用とは、工期短縮の要因が発注者に起因する場合、自然条件（災害等含む）に起因する場合の工期短縮に要する費用等とする。なお、工期短縮の要因が受注者に起因する場合は増加費用を見込まないものとする。

2. 増加費用等の算定

2-1 増加費用等の構成

中止期間中の現場維持等に要する費用は、工事原価内の間接工事費の中で計上し、一般管理費等の対象とする。



*工期延長等に伴う本支店における増加費用を含む

(注) 工期延長等に伴い発注者が新たに受取り対象とした材料、直接労務費及び直接経費に係る費用は、該当する工種に追加計上し、設計変更を行うものとする。

増加費用は、原則、工事目的物又は仮設に係る工事の施工着手後を対象に算定することとし、工期延長等の期間3ヶ月以内の算定方法は以下のとおりとする。ただし、工期延長等の期間が3ヶ月を超える場合や道路維持工事又は河川維持工事のうち経常的な工事である場合等は、別途考慮すること。

2-2 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用（標準積算）

(1) 標準積算により算定する場合、工事延長等に伴う現場維持等に要する費用として積算する内容は以下の積上げ項目及び率項目とする。

1) 増加費用の構成費目は、次のとおりとする。



※積上げ項目

2) 増加費用の費目に係る積算の内容は次のとおりとする。

i) 現場における増加費用

イ 材料費

① 材料の保管費用

工事を工期延長等したために、元設計の直接工事費に計上されている現場搬入済の材料を、発注者が倉庫等（受注者が工事現場に設置したものを除く。）へ保管する必要があると認めた場合の倉庫保管料及び入出庫手数料

② 他の工事現場へ転用する材料の運搬費

工事を工期延長等したために、元設計の直接工事費に計上されている現場搬入済の材料を、発注者が他の工事現場等に転用する必要があると認めた場合の当該材料の運搬費

③ 直接工事費に計上された材料の損料等

元設計において期間要素を考慮して計上されている材料等の工期延長等に伴う損料額及び補修費用

ロ 労務費

① 工事現場の維持等に必要な労務費

作業を伴わない作業員の労務費は、原則として計上しない。

ただし、必要な作業員を確保しておくべき特別の事情があり、受発注者協議により工事現場に労務者を常駐させた場合にはその費用

② 他職種に転用した場合の労務費差額

工事現場の保安等のために、受発注者協議により工事現場に常駐させた、トンネル・潜函工などの特殊技能労働者が職種外の普通作業等に従事した場合における本来の職種と、従事した職種の発注者の設計上の単価差額の費用

ハ 水道光熱電力等料金

工事現場に設置済の施設を工事現場の維持のため、発注者が指示し、あるいは受発注者協議により工期延長等の要因発生後、再開までの間に稼動（維持）させるために要する水道光熱電力等に要する費用

ニ 機械経費

① 工事現場に存置する機械の費用

現場搬入済の機械のうち元設計に個別計上されている機械と同等と認められるものに関する次の費用

① 工事現場の維持のため存置することが必要であること、又は搬出費及び再搬入費（組立て、解体費を含む。）が存置する費用を上回ること等により、発注者が工事現場に存置することを認めた機械等の現場存置費用（組立て、解体費、賃料・損料、管理費を含む。）

② 発注者が工事現場の維持等のため必要があると認めて指示した機械の運搬費用

ホ 仮設費

① 仮設諸機材の損料

現場搬入済の仮設材料、設備等のうち、元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる仮設諸機材の工期延長等に係る損料及び維持補修の増加費用

② 新たに必要となった工事現場の維持等に要する費用

元設計には計上されていないが、工期延長等に伴う工事現場の維持等の必要上、発注者が新たに指示しあるいは受発注者の協議により発注者が必要と認めた仮設等に要する費用（補助労力を含む。）

③ 工期延長等となることにより追加で生じる仮設諸機材の損料等に要する費用

ヘ 運搬費

① 工事現場外への搬出又は工事現場への再搬入に要する費用

工期延長等の要因発生時点に現場搬入済の機械器具類及び仮設材等のうち発注者が元設計に計上されたものと同等と認めたものを一定の範囲の工事現場外に搬出し又は一定の範囲から工事現場に再搬入する費用

② 大型機械類等の現場内運搬

元設計に計上した機械類、資材等のうち、工期延長等されたために、新たに工事現場内を移動させることを発注者が指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めた大型の機械、材料、仮設物等の運搬費用

ト 準備費

別費目で積算している現場常駐の従業員又は労務者をもって充てる通常の準備作業を超える工事現場の後片付け、再開準備のための諸準備・測量等で、発注者が指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めたものに係る準備費用

チ 事業損失防止施設費

仮設費に準じて積算した費用

リ 安全費

① 既存の安全設備に係る費用

工期延長等の要因発生以前に工事現場に設置済の安全設備等のうち、原則として元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる、安全設備等の工期延長等に伴う損料及び維持補修の費用

② 新たな工事現場の維持等に要する安全費

元設計には計上されていないが、工期延長等に伴い、工事現場の安全を確保するため、発注者が新たに指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めた安全管理に要する費用（保安要員費を含む。）

ヌ 役務費

① プラント敷地、材料置場等の敷地の借上げ料

元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められるプラント敷地及び材料置場等の敷地の工期延長等期間に係る借上げ、解約などに要した増加費用

② 電力水道等の基本料

元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる電力・用水設備等に係る工期延長等期間中の基本料

ル 技術管理費

原則として増加費用は計上しないものとする。

ただし、現場搬入済の調査・試験用の機器、技術者等で元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められるものがある場合には、仮設費に準じて積算した費用

ロ 営繕費

工期延長等の要因発生以前に工事現場に設置済みの営繕施設のうち元設計において期間要素を考慮して計上されたものと同等と認められる営繕施設の工期延長等期間に係る維持費、補修費及び損料額又は営繕費、労務者輸送費を一体化して直接工事費等に対する割掛率で計上している工事における工期延長等期間中の維持費、補修費、損料額及び労務者輸送に要する費用

ワ 労務者輸送費

元設計が、営繕費、労務者輸送費を区分して積算している場合において受発注者協議により工事現場に常駐する労務者及び近傍の工事現場等に転用させると認められた労務者を一括通勤させる場合の通勤費用

カ 社員等従業員給料手当

工期延長等期間中等の工事現場の維持等のために、受発注者協議により定めた次の費用

- ① 元請・下請会社の現場常駐の従業員（機械、電気設備の保安に係るものを含む。）に支給する給料手当の費用
- ② 工期延長等の要因発生時点に現場に常駐していた従業員を工事現場の維持体制に縮小するまでの間に従業員に支給する給料手当の費用
- ③ 工事現場の維持体制から再開する体制に移行するまでの間、現場常駐の従業員に支給する給料手当の費用
- ④ 工期延長等となることにより追加で生じる現場常駐の従業員に支給する給料手当の費用

コ 労務管理費

- ① 他の工事現場へ転出入する労務者の転出入に要する費用

工期延長等によって遊休となった労務者のうち、当該工事現場に専従的に雇用された労務者（通勤者も含む。）を一定の範囲に転出又は一定の範囲から復帰のため転入するのに必要な旅費及び宿泊手当等の費用。なお、専従的に雇用されていた者とは元請会社直庸又は専属下請会社が直接賃金を支給しており、かつ当該工事現場に相当長期間の契約で常駐的に雇用されていることが賃金台帳等で確認できるような者（以下「専従的労務者」という。）（通勤者も含む。）とする。

- ② 解雇・休業手当を払う場合の費用

受発注者協議により適当な転入工事現場を確保することができないと認めた専従的労務者を解雇・休業するために必要な費用

タ 地 代

現場管理費のうち、営繕費に係る敷地の借上げに要する費用等として現場管理費率の中に計上されている地代の工期延長等期間の費用

レ 福利厚生費等

現場管理費のうち、現場常駐の従業員に係る退職金・法定福利費・福利厚生費・通信交通費として現場管理費率の中に計上されている費用の工期延長等期間中の費用

ii) 本支店における増加費用

中止に係る工事現場の維持等のために必要な受注者の本支店における費用

iii) 消費税相当額

現場及び本支店における増加費用に係る消費税に相当する費用

(2) 算定方法

工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記の式により算出する。

$$G = dg \times J + \alpha$$

ただし、

G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位 円 1,000円未満切り捨て）

dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数第4位四捨五入3位止め）

J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て）

α ：積上げ費用（単位 円 1,000円未満切り捨て）

（前記2-2(1)1) に示す積上げ項目）

1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率

$$dg = \left[A \left\{ \left(\frac{J}{a \times J^b + N} \right)^B - \left(\frac{J}{a \times J^b} \right)^B \right\} \right] + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$$

ただし、

dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率（% 小数第4位四捨五入3位止め）

（前記2-2(1)2) に示す率項目）

J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て）

N：工期延長等日数（受注者の責めに帰す場合は除く）（日）

ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数。

R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役）

A：□

B：□

a：□

b：□

工種毎に決まる係数（別表-1）

別表－Ⅰ

工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b
	一般交通 影響無し	大都市	一般交通影 響有り(1)	一般交通影 響有り(2)	市街地(01D 補正)	山間僻地及 ひ難島	一般交通 影響無し	大都市	一般交通影 響有り(1)	一般交通影 響有り(2)	市街地(01D 補正)	山間僻地及 ひ難島
河川工事	1901.4	-	2116.7	2104.1	2104.1	1939.0	-0.3284	-	-0.3275	-0.3280	-0.3280	-0.3269
河川・道路構造物工事	410.4	-	453.5	452.4	452.4	413.5	-0.2019	-	-0.2004	-0.2012	-0.2012	-0.1994
海岸工事	521.4	-	550.7	561.8	561.8	488.2	-0.2306	-	-0.2255	-0.2280	-0.2280	-0.2224
道路改良工事	78.9	-	87.2	87.0	87.0	79.4	-0.0714	-	-0.0698	-0.0706	-0.0706	-0.0688
鋼橋架設工事	4760.3	5819.2	5307.1	5271.4	5307.1	4867.7	-0.3805	-0.3793	-0.3796	-0.3801	-0.3796	-0.3791
P C橋工事	1238.0	-	1436.8	1399.1	1399.1	1351.0	-0.2884	-	-0.2907	-0.2895	-0.2895	-0.2921
橋梁保全工事	3393.5	-	3979.5	3855.9	4318.8	3764.5	-0.3455	-	-0.3485	-0.3470	-0.3483	-0.3504
舗装工事	923.0	1331.5	1162.5	1087.6	1254.4	1149.1	-0.2725	-0.2837	-0.2807	-0.2767	-0.2801	-0.2858
共同溝等工事 (1)	213.2	-	247.5	241.0	241.0	232.8	-0.1455	-	-0.1480	-0.1468	-0.1468	-0.1496
共同溝等工事 (2)	314.1	-	363.9	354.7	354.7	341.7	-0.1833	-	-0.1852	-0.1843	-0.1843	-0.1865
トンネル工事	1070.6	-	1331.2	1253.2	1253.2	1306.0	-0.2619	-	-0.2685	-0.2652	-0.2652	-0.2726
砂防・地すべり等工事	275.1	-	288.4	295.3	295.3	254.5	-0.1797	-	-0.1738	-0.1767	-0.1767	-0.1700
道路維持工事	303.5	363.4	333.4	333.6	363.7	302.7	-0.1653	-0.1628	-0.1634	-0.1643	-0.1636	-0.1623
河川維持工事	635.1	-	697.2	697.9	697.9	633.0	-0.2406	-	-0.2391	-0.2399	-0.2399	-0.2381
下水道工事(1)	103.2	133.3	119.9	116.7	116.7	112.6	-0.0941	-0.0975	-0.0966	-0.0954	-0.0954	-0.0981
下水道工事(2)	282.4	333.1	306.7	308.7	308.7	276.7	-0.1811	-0.1770	-0.1781	-0.1796	-0.1796	-0.1763
下水道工事(3)	366.6	-	422.5	412.8	412.8	395.6	-0.1891	-	-0.1916	-0.1904	-0.1904	-0.1932
下水道工事(4)	186.2	225.2	206.0	205.4	205.4	188.0	-0.1419	-0.1404	-0.1408	-0.1414	-0.1414	-0.1401
公園工事	643.6	-	715.1	711.5	711.5	654.3	-0.2235	-	-0.2229	-0.2232	-0.2232	-0.2225
コンクリートダム工事	115.6	-	-	-	-	-	-0.0824	-	-	-	-	-
フィルダム工事	91.3	-	-	-	-	-	-0.0673	-	-	-	-	-
電線共同溝工事	266.2	320.4	293.4	293.1	320.0	267.2	-0.1540	-0.1510	-0.1518	-0.1529	-0.1520	-0.1504
情報ボックス工事	1338.5	-	1523.7	1498.7	1498.7	1413.4	-0.2880	-	-0.2881	-0.2881	-0.2881	-0.2881

(注) 係数A・Bにおける施工地域区分は、「第Ⅰ編 第2章 ②間接工事費 3現場管理費」によるものとする。

第12章 施工箇所が点在する工事の積算

① 施工箇所が点在する工事の積算について（建地－I）

施工箇所が点在する工事については、建設機械を複数箇所に運搬する費用や複数箇所の交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際かかる費用に乖離があるため、共通仮設費、現場管理費を箇所ごとに算出する積算とする。

1. 対象工事

施工箇所が複数あり、施工箇所が1km程度を超えて点在する工事を対象とする。

なお、通年維持工事等、当初契約において工事場所を範囲で指定する工事は除く。

ただし、これにより難しい場合は個別に考慮できる。

2. 工事箇所の設定方法及び積算方法

- (1) 施工規模の大きい箇所を「親設計書」とし、その他の施工箇所を「子設計書」と分類する。
- (2) 主たる工種区分は、工事全体で判断する。（施工箇所毎に主たる工種区分を設定しない。）
- (3) 直接工事費の施工規模等の入力条件は、施工箇所毎の数量から選択する。
- (4) 労務費、材料費等単価の地区設定は、施工箇所毎に設定する。
- (5) 共通仮設費及び現場管理費については、施工箇所毎に算出した合計額とする。
- (6) 共通仮設費率及び現場環境改善費率、現場管理費率の補正については、施工箇所毎に設定する。積上げ項目のうち、施工箇所毎に分割できない場合は、直接工事費の最も大きい施工箇所に計上する。
- (7) 一般管理費等については、施工箇所毎に分けない積算（通常の積算）と同様とする。

なお、一般管理費算出時の、共通仮設費率及び現場管理費率にかかる、施工地域を考慮した補正等は、「親設計書」で設定した係数によるものとする。

- (8) 業務委託料は、「親設計書」に計上する。

<通常の積算>		<施工箇所ごとの積算>			<施工箇所点在用積算>		
		親	子1	子2	親	子1	子2
直接工事費	①A (②A+③A+④A)	②A	③A	④A	②A	③A	④A
共通仮設費	⑤B	⑥B	⑦B	⑧B	⑥B	⑦B	⑧B
現場管理費	⑨C	⑩C	⑪C	⑫C	⑩C	⑪C	⑫C
一般管理費等	⑬D	⑭D	⑮D	⑯D	⑬D		
共通仮設費 の算定	⑤B：①Aを対象額で算出	⑥B：②Aを対象額で算出 ⑦B：③Aを対象額で算出 ⑧B：④Aを対象額で算出			⑥B+⑦B+⑧Bとする		
現場管理費 の算定	⑨C：(①A+⑤B) を対象額で算出	⑩C：(②A+⑥B)を対象額で算出 ⑪C：(③A+⑦B)を対象額で算出 ⑫C：(④A+⑧B)を対象額で算出			⑩C+⑪C+⑫Cとする		
一般管理費 等の算定	⑬D：(①A+⑤B+⑨C) を対象額で算出	⑭D：(②A+⑥B+⑩C)を対象額で算出 ⑮D：(③A+⑦B+⑪C)を対象額で算出 ⑯D：(④A+⑧B+⑫C)を対象額で算出			⑬D：(①A+⑤B +⑨C)を 対象額で算出		

図2.1 施工箇所が点在する場合の積算イメージ

※積算のイメージ

従 来：（A市直接工事費＋B市直接工事費＋C町直接工事費）×間接費率

本運用：（A地区（施工箇所a）直接工事費×間接費率）＋

（B地区（施工箇所b）直接工事費×間接費率）＋

（C地区（施工箇所c）直接工事費×間接費率）

※一般管理費等は通常どおり

3. 設計変更について

- (1) 「親設計書」及び「子設計書」それぞれに対して、変更作業を行う。
- (2) 新規工種の追加は、施工箇所毎に判断する。
- (3) 設計変更において、新たに施工箇所を追加することができる。その場合は、直接工事費、共通仮設費、現場管理費を変更指示時点単価により積算するものとする。
- (4) 一般管理費等については、施工箇所毎に分けない積算（通常の変更積算）と同様とする。

第13章 1日未満で完了する作業の積算

① 1日未満で完了する作業の積算（建地－Ⅰ）

1. 適用条件

本基準は、変更積算にのみ適用する。

施工実施にあたり、1日未満で完了する作業量の作業が見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められる場合に本基準を用いて積算するものとする。

本基準の採用にあたっては、契約期間内に受注者から当該積算の適用についての請求があった場合に、受発注者間の協議において、作業内容が当該積算基準に該当すると認められる場合に適用する。

同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、当該積算は適用しない。

2. 適用範囲

1日未満で完了する作業の積算は、表に記載の施工パッケージを使用して積算する工事に限って適用するものとする。

編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘 要
第Ⅱ編 共土工 第1章 土工	床掘工	床掘り	m ³	32	・床掘りは、条件区分で、施工方法が「上記以外（小規模）」の場合に限って適用する。
		舗装版破碎積込 （小規模土工）	m ²	23	
	埋戻工	埋戻し	m ³	40	・埋戻しは、条件区分で、施工方法が「上記以外（小規模）」の場合に限って適用する。 ・埋戻し、タンパ締固めに係る作業を一連の作業として判定する。
		タンパ締固め	m ³	33	
第2章 共土工	法面整形工	法面整形	m ²	第14章による	
	基礎・裏込 碎石工	基礎碎石	m ²	155	・基礎碎石、裏込碎石に係る作業を一連の作業として判定する。
		裏込碎石	m ³	38	
	排水構造物 工	ヒューム管（B形管）	m	第14章による	・ヒューム管（B型管）、ボックスカルバート、暗渠排水管、フィルター材、管（函）渠型側溝、プレキャスト集水柵、鉄筋コンクリート台付管、プレキャストL形側溝（製品長0.6m/個）、プレキャストマンホール、コルゲートパイプ、コルゲートフリュームに係る作業を一連の作業として判定する。
		ボックスカルバート	m	第14章による	
		暗渠排水管	m	第14章による	
		フィルター材	m ³	31	
		管（函）渠型側溝	m	第14章による	
		プレキャスト集水柵	基	第14章による	
		プレキャスト集水柵 （材料費）	基	—	
		鉄筋コンクリート台 付管	m	第14章による	
		プレキャストL形側 溝（製品長0.6m/個）	m	L形側溝単体：33 L形側溝＋ 基礎碎石：29	
		プレキャスト マンホール	基	2,000kg/基以下：4 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下：3	
		コルゲートパイプ	m	第14章による	
		コルゲートフリューム	m	第14章による	
	構造物とり こわし工	コンクリートはつり	m ²	3cm以下：21 3cmを超え 6cm以下：13	・コンクリートはつり、積込（コンクリート殻）に係る作業を一連の作業として判定する。
		積込（コンクリート殻）	m ³	260	
	殻運搬	殻運搬	m ³	第14章による	

編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘 要
第3章 基礎工	コンクリート 工（深礎工）	コンクリート打設 （深礎工）	m ³	第14章による	
第4章 コン クリ ート 工	コンクリート 工	コンクリート	m ³	第14章による	・コンクリート、モルタル練に係る作業を一連の作業として判定する。
		モルタル練	m ³	第14章による	
	型枠工	型 枠	m ²	第14章による	・型枠、化粧型枠に係る作業を一連の作業として判定する。
		化粧型枠	m ²	－	
		化粧型枠（材料費）	m ²	－	
		撤去しない埋設型枠 （材料費）	m ²	－	
第Ⅲ編 河川 第2章 河川維 持工	堤防除草工	除草	m ²	第14章による	・除草、集草、梱包、積込・荷卸、運搬（堤防除草）、除草、集草（人力）、梱包、積込・荷卸（総合）、除草、集草（機械）、梱包、積込・荷卸（総合）に係る作業を一連の作業として判定する。
		集草	m ²	第14章による	
		梱包	m ²	12,500	
		積込・荷卸	m ²	第14章による	
		運搬（堤防除草）	m ²	第14章による	
		除草、集草（人力）、梱包、積込・荷卸（総合）	m ²	第14章による	
		除草、集草（機械）、梱包、積込・荷卸（総合）	m ²	第14章による	
	堤防芝養生工	抜根	m ²	第14章による	・抜根、施肥に係る作業を一連の作業として判定する。
		施肥	m ²	13,600	
	伐木除根工	伐木・伐竹（伐木除根）	m ²	第14章による	・伐木・伐竹（伐木除根）、除根（伐木除根）、整地（伐木除根）、集積（人力施工）（伐木除根）、積込（人力施工）（伐木除根）、運搬（伐木除根）、伐木・伐竹（複合）に係る作業を一連の作業として判定する。
		除根（伐木除根）	m ²	1,360	
		整地（伐木除根）	m ²	880	
		集積積込み（機械施工） （伐木除根）	m ²	除根有：590 除根無：940	
		集積（人力施工） （伐木除根）	m ²	1,180	
		積込（人力施工） （伐木除根）	m ²	21,300	
		運搬（伐木除根）	m ³	第14章による	
		伐木・伐竹（複合）	m ²	第14章による	
	塵芥処理工	散在塵芥収集	m ²	第14章による	・散在塵芥収集、堆積塵芥収集（機械処理）、堆積塵芥収集（人力処理）に係る作業を一連の作業として判定する。
		堆積塵芥収集 （機械処理）	m ³	第14章による	
		堆積塵芥収集 （人力処理）	m ³	第14章による	
	機械土工 （河床等掘削）	河床等掘削	m ³	147	
		軟弱土等運搬	m ³	第14章による	
	巨石積（張）工	巨石張（練）	m ²	25	・巨石張（練）、巨石張（空）、巨石積（練）に係る作業を一連の作業として判定する。
		巨石張（空）	m ²	27	
		巨石積（練）	m ²	30	
		巨石（材料費）	m ²	－	
		巨石採取	個	38	
	木杭打工	木杭打	本	58	
	護岸基礎 ブロック工	護岸基礎ブロック据付	m	第14章による	
		プレキャスト基礎ブロック （材料費）	m	－	
		中詰コンクリート打設	m ³	9	

編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘 要
第2章 河川維持工	かごマット工 (スロープ型)	かごマット設置 (スロープ型)	m ²	第14章による	
	袋詰玉石工	袋詰玉石	袋	第14章による	
	笠コンクリート ブロック据付工	笠コンクリートブロック	m	第14章による	
		笠コンクリートブロック (材料費)	m	-	
	グラウトホール 工	沈下板設置・グラウト管 設置	組	4.8	
		均しコンクリート箱抜 用型枠設置撤去・間詰コ ンクリート打設	組	9.1	
		グラウト管 (材料費)	組	-	
	光ケーブル配 管工	掘削 (光ケーブル配管)	m ³	28	・配管設置 (埋設部)、ハンドホー ルに係る作業を一連の作業とし て判定する。
		埋戻し・締固め	m ³	13	
		敷砂、保護砂 (材料費)	m ³	-	
		配管設置 (埋設部)	m	89	
		埋設表示シート (材料費)	m	-	
		ハンドホール	個	1.1	
第IV編 道路 第1章 舗装工	路盤工	不陸整正	m ²	1,400	・不陸整正、下層路盤 (車道・路 肩部)、上層路盤 (車道・路肩部) (条件区分で、材料が「粒度調 整碎石」に限る。)に係る作業を 一連の作業として判定する。 ※上層路盤 (車道・路肩部) (条件 区分で、材料が「瀝青安定処理」 に限る。)については、アスファ ルト舗装工の適用による。
		下層路盤 (車道・路肩部)	m ²	830	
		上層路盤 (車道・路肩部)	m ²	第14章による	
		下層路盤 (歩道部)	m ²	250	・下層路盤 (歩道部)、上層路盤 (歩 道部)に係る作業を一連の作業 として判定する。
		上層路盤 (歩道部)	m ²	250	
	アスファルト 舗装工	基層 (車道・路肩部)	m ²	第14章による	・上層路盤 (車道・路肩部) (条件 区分で、材料が「瀝青安定処理」 に限る。)、基層 (車道・路肩部)、 中間層 (車道・路肩部)、表層 (車 道・路肩部)に係る作業を一連 の作業として判定する。
		中間層 (車道・路肩部)	m ²	第14章による	
		表層 (車道・路肩部)	m ²	第14章による	
		基層 (歩道部)	m ²	第14章による	・基層 (歩道部)、中間層 (歩道部)、 表層 (歩道部)に係る作業を一 連の作業として判定する。
		中間層 (歩道部)	m ²	第14章による	
		表層 (歩道部)	m ²	第14章による	
第2章 付属 施設	立入り防止柵 工	基礎ブロック、鋼管基礎	基	第14章による	・基礎ブロック、鋼管基礎、金網・ 支柱 (立入防止柵)、支柱 (立入 防止柵)、門扉に係る作業を一連 の作業として判定する。
		金網・支柱 (立入防止柵)	m	第14章による	
		金網・支柱 (立入防止 柵) (材料費)	m	-	
		支柱 (立入防止柵)	本	第14章による	
		支柱 (立入防止柵) (材料費)	本	-	
		門扉	基	第14章による	
		門扉 (材料費)	基	-	
		箱抜き	m	第14章による	
	車止めポスト 設置工	車止めポスト	本	5	
	道路付属物 設置工	距離標	枚	第14章による	

編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘 要
第3章 道路 維持 修繕 工	路面切削工	路面切削	m ²	第14章による	
		殻運搬（路面切削）	m ³	第14章による	
	舗装版破碎工	舗装版破碎	m ²	第14章による	
	舗装版切断工	舗装版切断	m	第14章による	
	舗装版クラック補修工	クラック補修	m	620	・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。
		注入材（材料費）	m	－	
		クラック防止シート張	m	930	
		クラック防止シート（材料費）	m	－	
	道路付属 構造物塗替工	素地調整	m ²	第14章による	・素地調整、付属構造物塗替に係る作業を一連の作業として判定する。
		付属構造物塗替	m ²	ポール類：89 防護柵類・ 落石防止柵類：121	
	張紙防止塗装工	張紙防止塗装	m ²	ケレン作業：14 張紙防止塗装 （1層当り）：32	
		張紙防止塗装（材料費）	m ²	－	
	橋梁地覆補修工	とりこわし	m ³	1.4	
		鉄筋	t	0.36	
		コンクリート	m ³	0.76	
	橋梁補修工 （現場溶接鋼桁補強工）	現場溶接鋼桁補強	m	14	
	落橋防止装置工	コンクリート削孔 （電動式コアボーリングマシン）	孔	第14章による	・コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン）又は（電動ハンマドリル）もしくは（さく岩機〔ハンドドリル空圧式〕）、アンカー、充填補修に係る作業を一連の作業として判定する。
		コンクリート削孔 （電動ハンマドリル）	孔	84	
		コンクリート削孔 （さく岩機〔ハンドドリル空圧式〕）	孔	200 超え 500 以下：48 500 超え 800 以下：38	
		アンカー	本	第14章による	
		アンカー材（材料費）	本	－	
		注入材（材料費）	本	－	
		充填補修	孔	92	
		補修材（材料費）	孔	－	
	道路除草工	現場孔明（鋼構造物）	本	10 本以上 /箇所：80 作業性の悪い 箇所等：40	・除草、集草、積込運搬、機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬、機械除草（肩掛式）・集草、機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬、機械除草（ハンドガイド式）・集草に係る作業を一連の作業として判定する。
		除草	m ²	第14章による	
		集草	m ²	2,760	
		積込運搬	m ²	第14章による	
		機械除草（肩掛式）・ 集草・積込運搬	m ²	第14章による	
		機械除草（肩掛式）・ 集草	m ²	1,240	
		機械除草（ハンドガイド式）・ 集草・積込運搬	m ²	第14章による	
		機械除草（ハンドガイド式）・ 集草	m ²	1,902	

編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘 要
第3章 道路 維持 修繕工	路面清掃工 (人力清掃工)	路面清掃 (路肩部・人力)	km	第14章による	・路面清掃(路肩部・人力)、路面清掃(歩道部・人力)に係る作業を一連の作業として判定する。
		路面清掃 (歩道部・人力)	m ²	第14章による	
	側溝清掃工 (人力清掃工)	側溝清掃 (人力清掃工)	m	第14章による	
	集水桝清掃工 (人力清掃工)	桝清掃 (人力清掃工)	箇所	第14章による	
	トンネル 漏水対策工	面導水	m ²	34	・面導水、線導水に係る作業を一連の作業として判定する。
		面導水(材料費)	m ²	-	
		線導水	m	10	
		線導水(材料費)	m	-	
	沓座拡幅工	チップング (厚2cm以下)	m ²	5.3	・チップング(厚2cm以下)、アンカー筋挿入、及び落橋防止装置工のうちコンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン)、コンクリート削孔(電動ハンマドリル)、コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル空圧式])、充填補修、アンカーに係る作業を一連の作業として判定する。
		アンカー筋挿入	本	91	
		アンカー筋(材料費)	本	-	
		注入材(材料費)	本	-	
		鉄筋(沓座拡幅工)	t	0.70	
		型枠(沓座拡幅工)	m ²	8.8	
		コンクリート (沓座拡幅工)	m ³	6.7	

3. 判定方法

1日未満で完了する作業の判定は、次の方法によるものとする。

(1) 施工パッケージが1つ、かつ条件区分が1つの場合の判定方法

$x/D < 1$ の場合に1日未満で完了する作業とする。

x : 作業量

D : 作業日当り標準作業量

(2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合の判定方法

$\sum (x_i/D_i) < 1$ の場合に1日未満で完了する作業とする。

x_i : 各施工パッケージにおける各条件区分の作業量

D_i : 各施工パッケージにおける各条件区分の作業日当り標準作業量

(3) 判定に使用する作業量の考え方

- ・判定に使用する作業量は、施工パッケージ毎の作業量とする。ただし、表の摘要欄に、関連する施工パッケージを一連の作業として判定する旨の記載があるものについては、摘要欄の記載によるものとする。
- ・一つの施工パッケージで異なる条件区分の作業量がある場合には、一連の作業として判定する。
- ・判定に使用する作業量は、1箇所当りの作業量とする。
- ・施工箇所の点在範囲が1km程度を超えるなど、同一施工箇所として取り扱えないと判断する場合には、別箇所として扱うものとする。
- ・上記以外は、1工事の全作業量を1箇所当りの作業量とする。
- ・日々の作業量が受注者の責によらず制約される場合、その他の現場条件等により、上記により難しい場合は、別途考慮できるものとする。

4. 積算方法

1日未満で完了する作業の積算は、以下の方法によるものとする。

(1) 施工パッケージが1つ、かつ条件区分が1つの場合の積算方法

1) $x/D < 1/2$ の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、作業日当り標準作業量の $1/2$ の量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、作業量分の金額を計上する。

2) $1/2 \leq x/D < 1$ の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、作業日当り標準作業量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、作業量分の金額を計上する。

(2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合の積算方法

$\alpha \times \sum (x_i/D_i) = 1$ となる α を計算し、 $\alpha \times x_i$ をそれぞれの施工パッケージや条件区分の修正作業日当り標準作業量 D'_i とする。

1) $\sum (x_i/D_i) < 1/2$ の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、それぞれの施工パッケージや条件区分において、修正作業日当り標準作業量 D'_i の $1/2$ の量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、それぞれの施工パッケージや条件区分の作業量分の金額を計上する。

2) $1/2 \leq \sum (x_i/D_i) < 1$ の場合

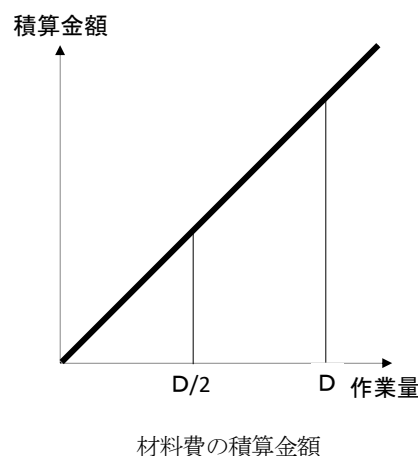
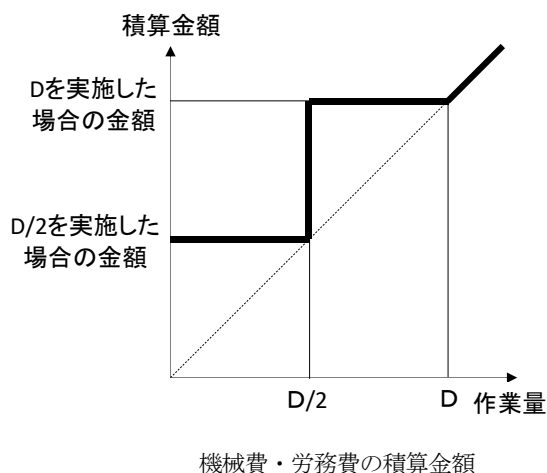
機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、それぞれの施工パッケージや条件区分において、修正作業日当り標準作業量 D'_i を実施した場合の金額を計上する。材料費は、それぞれの施工パッケージや条件区分の作業量分の金額を計上する。

(3) 端数処理

- 1) 作業日当り標準作業量 D の $1/2$ の量は、整数とし、小数第1位を四捨五入する。ただし、作業日当り標準作業量 D が小数である場合は、四捨五入により、同じ桁数となるようにする。
- 2) α は、小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。
- 3) 修正作業日当り標準作業量 D'_i は、整数とし、小数第1位を四捨五入する。ただし、各施工パッケージにおける各条件区分の作業日当り標準作業量 D_i が小数である場合は、四捨五入により、同じ桁数となるようにする。
- 4) D'_i の $1/2$ の量は、 D'_i を計算した上で、1) と同様とする。

5. 参考資料

5-1 機械費・労務費及び材料費の積算金額のイメージ



5-2 計算例

(1) 施工パッケージが1つ、かつ条件区分が1つの場合

	単位	設計数量	作業日当り標準作業量
施工パッケージ1	m	x1=200	D1=800

1) 判定

$$x1/D1 = 200/800 = 0.25 < 1$$

従って、この場合は、 $x/D < 1$ なので、作業量が1日未満で完了する数量の作業に該当する。

2) 積算

$$x1/D1 < 1/2 \text{ より}$$

施工パッケージ1：機械費及び労務費は、 $D1/2 = 400$ m分の金額を計上する。材料費は、 $x1 = 200$ m分の金額を計上する。

(2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合

	単位	設計数量	作業日当り標準作業量
施工パッケージ1	m	x1=200	D1=800
施工パッケージ2	m ²	x2=100	D2=300
施工パッケージ3	m ³	x3= 5	D3= 50

1) 判定

$$\Sigma (xi/Di) = x1/D1 + x2/D2 + x3/D3 = 200/800 + 100/300 + 5/50 = 0.68 < 1$$

従って、この場合は、 $\Sigma (xi/Di) < 1$ なので、作業量が1日未満で完了する数量の作業に該当する。

2) 積算

$$\alpha \times \Sigma (xi/Di) = \alpha \times (200/800 + 100/300 + 5/50) = 1 \text{ となる } \alpha \text{ を計算する。}$$

$$\alpha = 1.463 \cdots = 1.46$$

修正作業日当り標準作業量

$$\text{施工パッケージ1 } D'1 = \alpha \times x1 = 1.46 \times 200 = 292$$

$$\text{施工パッケージ2 } D'2 = \alpha \times x2 = 1.46 \times 100 = 146$$

$$\text{施工パッケージ3 } D'3 = \alpha \times x3 = 1.46 \times 5 = 7.3 = 7$$

$$1/2 \leq \Sigma (xi/Di) = 0.68 < 1 \text{ より}$$

施工パッケージ1：機械費及び労務費は、 $D'1 = 292$ m分の金額を計上する。材料費は、 $x1 = 200$ m分の金額を計上する。施工パッケージ2：機械費及び労務費は、 $D'2 = 146$ m²分の金額を計上する。材料費は、 $x2 = 100$ m²分の金額を計上する。施工パッケージ3：機械費及び労務費は、 $D'3 = 7$ m³分の金額を計上する。材料費は、 $x3 = 5$ m³分の金額を計上する。

第14章 その他

① 作業日当り標準作業量（建地－Ⅰ）

1. 適用

本章に掲載した作業日当り標準作業量は、施工パッケージ型積算基準及び標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当り標準作業量

【1. 共通編】

1- 1 現場発生品及び支給品運搬 …………… 111	1-31 排水構造物工（現場打ち水路（本体））…………… 137
1- 2 土工 …………… 112	1-32 排水構造物工（現場打ち集水桝・街渠桝（本体））…………… 138
1- 3 土工（ICT）…………… 122	1-33 サンドマット工…………… 138
1- 4 床掘工…………… 123	1-34 スラリー攪拌工…………… 138
1- 5 床掘工（ICT）…………… 124	1-35 高圧噴射攪拌工…………… 138
1- 6 埋戻工…………… 124	1-36 PVD 工（プレファブリケイティッドバーチカルドレーン工）…………… 138
1- 7 人力運搬工…………… 125	1-37 中層混合処理工…………… 138
1- 8 安定処理工…………… 125	1-38 中層混合処理工（ICT）…………… 138
1- 9 安定処理工（自走式土質改良工）… 125	1-39 薬液注入工…………… 139
1-10 土砂運搬工（不整地運搬車による運搬）…………… 125	1-40 アンカー工（ロータリーパーカッション式）…………… 139
1-11 法面整形工…………… 126	1-41 構造物とりこわし工…………… 143
1-12 法面整形工（ICT）…………… 126	1-42 コンクリート削孔工…………… 143
1-13 芝付工…………… 126	1-43 ガス切断工…………… 143
1-14 コンクリート法枠工…………… 126	1-44 吸出し防止材設置工…………… 143
1-15 吹付法面とりこわし工…………… 127	1-45 目地・止水板設置工…………… 144
1-16 プレキャストコンクリート板設置工…………… 127	1-46 旧橋撤去工…………… 144
1-17 人工張芝工…………… 127	1-47 かご工…………… 146
1-18 基礎・裏込碎石工…………… 127	1-48 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工…………… 146
1-19 コンクリートブロック積（張）工… 128	1-49 現場取卸工…………… 147
1-20 石積（張）工…………… 129	1-50 骨材再生工（自走式）…………… 147
1-21 平石張工…………… 129	1-51 函渠工（1）…………… 148
1-22 場所打擁壁工（1）…………… 130	1-52 函渠工（2）…………… 148
1-23 場所打擁壁工（2）…………… 130	1-53 函渠工（3）大型プレキャストボックスカルバート工…………… 148
1-24 プレキャスト擁壁工…………… 130	1-54 殻運搬…………… 149
1-25 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ））…………… 131	1-55 排水材設置工（構造物背面排水材） 154
1-26 補強盛土工…………… 131	1-56 排水材設置工（水平排水層）…………… 154
1-27 構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））… 132	1-57 鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）…………… 154
1-28 構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））… 132	1-58 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）…………… 154
1-29 構造物補修工（断面修復工（左官工法））…………… 132	
1-30 排水構造物工…………… 132	

1-59 鋼管・既製コンクリート杭打工 （回転杭工）……………	154	2- 6 浚渫工（バックホウ浚渫船（ICT）） ……………	173
1-60 鋼管ソイルセメント杭工……………	154	2- 7 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工 ……………	173
1-61 場所打杭工 （全回転式オールケーシング工）…	154	2- 8 堤防除草工……………	174
1-62 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工） ……………	154	2- 9 堤防芝養生工……………	178
1-63 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工） ……………	155	2-10 伐木除根工……………	179
1-64 深礎工……………	155	2-11 塵芥処理工……………	183
1-65 コンクリート工（深礎工）……………	155	2-12 粗朶沈床工……………	189
1-66 ニューマチックケーソン工……………	155	2-13 機械土工（河床等掘削）……………	189
1-67 基礎工（鋼管矢板基礎工）……………	156	2-14 機械土工（河床等掘削）（ICT）…	190
1-68 杭頭処理工……………	156	2-15 巨石積（張）工……………	190
1-69 泥水運搬工……………	156	2-16 木杭打工……………	191
1-70 コンクリート工……………	156	2-17 巨石据付工……………	191
1-71 型枠工……………	157	2-18 護岸基礎ブロック工……………	191
1-72 型枠工（省力化構造）……………	157	2-19 かごマット工（スロープ型）……………	193
1-73 張りコンクリート工……………	157	2-20 かごマット工（多段積型）……………	193
1-74 鉄筋工……………	158	2-21 ブロックマット工……………	193
1-75 バイプロハンマ工……………	159	2-22 袋詰玉石工……………	193
1-76 バイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工） ……………	159	2-23 笠コンクリートブロック据付工…	194
1-77 油圧圧入引抜工……………	159	2-24 グラウトホール工……………	194
1-78 鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工） ……………	160	2-25 光ケーブル配管工……………	195
1-79 鋼矢板工（H形鋼）……………	160	2-26 土工（砂防工）……………	195
1-80 仮設材設置撤去工……………	160	2-27 土工（砂防工）（ICT）……………	196
1-81 足場工……………	160	2-28 コンクリート工（砂防工）……………	197
1-82 支保工……………	160	2-29 コンクリート工（ケーブルクレーン打設） ……………	197
1-83 締切排水工……………	160	2-30 残存型枠工……………	197
1-84 ウェルポイント工……………	160	2-31 養生工（練炭）……………	197
1-85 土のう工……………	161	2-32 砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切 ……………	198
1-86 大型土のう工……………	161	2-33 砂防コンクリート仮締切……………	198
1-87 仮橋・仮栈橋工……………	161	2-34 鋼製砂防工……………	198
1-88 汚濁防止フェンス工……………	161	2-35 砂防ソイルセメント工……………	198
1-89 仮囲い設置撤去工……………	161	2-36 集水井工（ライナープレート土留工法） ……………	198
1-90 雪寒仮囲い工……………	162	2-37 地すべり防止工（集排水ボーリング工） ……………	199
1-91 切土及び発破防護柵工……………	162	2-38 地すべり防止工（山腹水路工）…	199
1-92 濁水処理工（一般土木工事）……………	162	2-39 地すべり防止工（かご工）……………	200
1-93 敷鉄板設置・撤去工……………	162	2-40 集排水ボーリング孔洗浄工……………	200
1-94 防塵処理工……………	162		
1-95 法面工（仮設用モルタル吹付工）…	162		
【2. 河川編】		【3. 道路編】	
2- 1 消波根固めブロック工……………	163	3- 1 路盤工……………	200
2- 2 消波根固めブロック工（ブロック撤去工） ……………	172	3- 2 路盤工（ICT）……………	200
2- 3 捨石工……………	172	3- 3 アスファルト舗装工……………	201
2- 4 消波工……………	173	3- 4 半たわみ性（コンポジット）舗装工 ……………	201
2- 5 浚渫工（バックホウ浚渫船）……………	173	3- 5 排水性アスファルト舗装工……………	201
		3- 6 透水性アスファルト舗装工……………	201
		3- 7 グースアスファルト舗装工……………	201

3- 8	コンクリート舗装工	202	3-54	集水桝清掃工（単独作業）	225
3- 9	連続鉄筋コンクリート舗装工	202	3-55	集水桝清掃工（人力清掃工）	225
3-10	踏掛版設置工	202	3-56	トンネル清掃工	225
3-11	ガードケーブル設置工	202	3-57	トンネル照明器具清掃工	225
3-12	ワイヤロープ設置工	202	3-58	トンネル漏水対策工	225
3-13	立入り防止柵工	203	3-59	トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注 入工法））	226
3-14	車止めポスト設置工	203	3-60	トンネル補修工（断面修復工（左官工法））	226
3-15	防雪柵設置及び撤去工	204	3-61	トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊 維シート接着工））	226
3-16	防雪柵現地張出し・収納工	204	3-62	沓座拡幅工	227
3-17	雪崩予防柵設置工	205	3-63	欠損部補修工	227
3-18	落下物等防止柵設置工	205	3-64	舗装版削孔工（アスファルト舗装版）	227
3-19	しゃ音壁設置工	206	3-65	横断歩道橋補修工	227
3-20	路側工（据付け）	207	3-66	電線共同溝工（C・C・BOX）	227
3-21	路側工（取外し）	207	3-67	情報ボックス工	229
3-22	特殊ブロック設置工	207	3-68	トンネル工（NATM）〔発破工法〕	230
3-23	橋梁付属施設設置工	207	3-69	トンネル工（NATM）〔機械掘削工法〕	230
3-24	道路付属物設置工	208	3-70	トンネル濁水処理工	230
3-25	スノーポール設置・撤去工	208	3-71	トンネル工（NATM）仮設備工（防音扉工）	230
3-26	道路照明設備設置工	208	3-72	小断面トンネル工（NATM）	230
3-27	照明灯基礎設置工	209	3-73	トンネル裏込め注工	230
3-28	路面切削工	209	3-74	道路除雪工	230
3-29	切削オーバーレイ工	211	3-75	鋼橋製作工	230
3-30	切削オーバーレイ工（ICT）	211	3-76	橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）	231
3-31	舗装版破砕工	212	3-77	鋼橋架設工	231
3-32	舗装版切断工	213	3-78	プレビーム桁架設工	232
3-33	道路打換え工	213	3-79	鋼橋床版工	232
3-34	路上路盤再生工	214	3-80	グレーチング床版架設工及び足場工	232
3-35	舗装版クラック補修工	214	3-81	ポストテンション桁製作工	232
3-36	道路付属構造物塗替工	215	3-82	プレキャストセグメント主桁組立工	232
3-37	張紙防止塗装工	215	3-83	PC橋架設工	233
3-38	床版補強工	215	3-84	PC橋片持架設工	234
3-39	橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）（2）	215	3-85	ポストテンション場所打ホロースラブ橋 工	234
3-40	橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）（2）	216	3-86	ポストテンション場所打箱桁橋工	234
3-41	橋梁地覆補修工	216	3-87	RC場所打ホロースラブ橋工	234
3-42	橋梁補修工（支承取替工）	217	3-88	架設支保工	234
3-43	橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）	217	3-89	伸縮装置工（鋼製）	234
3-44	橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））	217	3-90	橋梁排水管設置工	235
3-45	塗装塗替足場工	218	3-91	歩道橋（側道橋）架設工	235
3-46	橋梁補修工 （高力ボルト当て板鋼桁補強工）	218	3-92	側板工	235
3-47	落橋防止装置工	219	3-93	鋼製橋脚設置工	235
3-48	道路除草工	220	3-94	橋台・橋脚工（1）（構造物単位）	236
3-49	路面清掃工（機械清掃）	222			
3-50	路面清掃工（人力清掃工）	223			
3-51	管渠清掃工、側溝清掃及び集水桝清掃工 （組合せ作業）	224			
3-52	側溝清掃工（単独作業）	224			
3-53	側溝清掃工（人力清掃工）	225			

3-95	橋台・橋脚工（2）	236
3-96	橋梁検査路架設工	236
3-97	公園植栽工	237
3-98	公園除草工	238
3-99	公園工	239

工 種 名	設	定	内	容
現場発生品 及び支給品 運搬	① 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し			
	作業日当り標準作業量		7.2 t/日	
	② 現場発生品及び支給品運搬			
	DID区間の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量	
無し		2.0km 以下	70 t/日	
		4.0km 以下	35 t/日	
		6.0km 以下	23 t/日	
		8.5km 以下	16 t/日	
		11.0km 以下	13 t/日	
		14.0km 以下	10 t/日	
		17.0km 以下	8.2 t/日	
		20.5km 以下	6.8 t/日	
		24.0km 以下	5.8 t/日	
		28.0km 以下	5.0 t/日	
		32.5km 以下	4.3 t/日	
		37.5km 以下	3.7 t/日	
		43.0km 以下	3.2 t/日	
		49.0km 以下	2.8 t/日	
		55.5km 以下	2.5 t/日	
		62.5km 以下	2.2 t/日	
		65.0km 以下	2.1 t/日	
有り		1.5km 以下	82 t/日	
		3.0km 以下	41 t/日	
		5.0km 以下	25 t/日	
		7.0km 以下	18 t/日	
		9.0km 以下	14 t/日	
		11.5km 以下	11 t/日	
		14.0km 以下	8.8 t/日	
		17.0km 以下	7.3 t/日	
		20.0km 以下	6.2 t/日	
		23.5km 以下	5.3 t/日	
		27.5km 以下	4.5 t/日	
		31.5km 以下	3.9 t/日	
		36.0km 以下	3.4 t/日	
		41.0km 以下	3.0 t/日	
		46.5km 以下	2.7 t/日	
		52.5km 以下	2.4 t/日	
		59.0km 以下	2.1 t/日	
	65.0km 以下	1.9 t/日		

工 種 名	設 定 内 容									
土工	① 掘 削									
	土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破碎片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量(m ³ /日)
	土砂	オープンカット	有り	—	普通土30,000m ³ 未満又は湿地軟弱土	—	—	—	—	300
					30,000m ³ 以上	—	—	—	—	660
			無し	無し	5,000m ³ 未満	—	—	—	—	230
					5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	—	—	—	—	270
					10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	—	—	—	—	330
					50,000m ³ 以上	—	—	—	—	500
			有り	有り	5,000m ³ 未満	—	—	—	—	140
					5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	—	—	—	—	170
					10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	—	—	—	—	210
					50,000m ³ 以上	—	—	—	—	320
		片切掘削	—	—	—	—	—	—	—	220
		水中掘削	—	—	—	—	—	—	—	260
		現場制約あり	—	—	—	—	—	—	—	4
		上記以外(小規模)	—	—	1箇所100m ³ 以下(標準)	—	—	—	—	37
					1箇所100m ³ 以下(標準以外)	—	—	—	—	15
	岩塊・玉石	オープンカット	有り	—	普通土30,000m ³ 未満又は湿地軟弱土	—	—	—	—	190
					30,000m ³ 以上	—	—	—	—	410
			無し	無し	5,000m ³ 未満	—	—	—	—	180
					5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	—	—	—	—	210
					10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	—	—	—	—	250
					50,000m ³ 以上	—	—	—	—	410
			有り	有り	5,000m ³ 未満	—	—	—	—	110
					5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	—	—	—	—	130
					10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	—	—	—	—	150
					50,000m ³ 以上	—	—	—	—	260
		水中掘削	—	—	—	—	—	—	—	180
		現場制約あり	—	—	—	—	—	—	—	3

工 種 名	設 定 内 容										
土工	土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均 施工 幅員	火薬 使用	破砕片除去 の有無	集積押土 の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	
	軟岩	オープン カット	—	無し	1,000m³ 未満	—	—	無し	無し	59	
									有り (5千m³未満)	59	
									有り (5千m³以上)	59	
									有り(5万m³未満)	無し	59
									有り(5万m³以上)	無し	59
					1,000m³ 以上 3,000m³ 未満	—	—	無し	無し	81	
									有り (5千m³未満)	81	
									有り (5千m³以上)	81	
									有り(5万m³未満)	無し	81
									有り(5万m³以上)	無し	81
					3,000m³ 以上 5,000m³ 未満	—	—	無し	無し	102	
									有り (5千m³未満)	102	
									有り (5千m³以上)	102	
									有り(5万m³未満)	無し	102
									有り(5万m³以上)	無し	102
					5,000m³ 以上 7,000m³ 未満	20m 未満	—	無し	無し	102	
									有り (5千m³未満)	102	
									有り (5千m³以上)	102	
									有り(5万m³未満)	無し	102
									有り(5万m³以上)	無し	102
					20m 以上	—	—	—	—	—	340
									—	—	340
					7,000m³以上	—	—	—	—	—	340
					有り	—	—	無し	無し	32	
									有り (5千m³未満)	32	
									有り (5千m³以上)	32	
									有り(5万m³未満)	無し	32
									有り(5万m³以上)	無し	32
					片切掘削	—	—	—	—	—	無し
	有り (5千m³未満)	35									
	有り (5千m³以上)	35									
	有り(5万m³未満)	無し	35								
	有り(5万m³以上)	無し	35								

工 種 名	設 定 内 容									
土工	土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量(㎡/日)
	硬岩	オープンカット	—	無し	—	—	不可	無し	無し	45
									有り(5千㎡未満)	45
									有り(5千㎡以上)	45
								有り(5万㎡未満)	無し	45
								有り(5万㎡以上)	無し	45
							可	—	—	190
		片切掘削	—	有り	—	—	不可	無し	無し	21
									有り(5千㎡未満)	21
									有り(5千㎡以上)	21
								有り(5万㎡未満)	無し	21
								有り(5万㎡未満)	無し	21
							不可	無し	無し	29
									有り(5千㎡未満)	29
									有り(5千㎡以上)	29
								有り(5万㎡未満)	無し	29
								有り(5万㎡未満)	無し	29
							可	無し	無し	55
									有り(5千㎡未満)	55
									有り(5千㎡以上)	55
								有り(5万㎡未満)	無し	55
								有り(5万㎡以上)	無し	55

工 種 名	設 定 内 容					
土工	② 土砂等運搬					
	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土 質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
	標準	バックホウ バケット容量 0.8m³	土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	無し	0.3 以下	154
					0.5 以下	133
					1.0 以下	118
					1.5 以下	105
					2.0 以下	91
					3.0 以下	77
					4.0 以下	67
					5.5 以下	56
					6.5 以下	48
					7.5 以下	42
					9.5 以下	37
					11.5 以下	32
					15.5 以下	26
					22.5 以下	21
					49.5 以下	16
					60.0 以下	11
				有り	0.3 以下	154
					0.5 以下	133
					1.0 以下	118
					1.5 以下	105
					2.0 以下	91
					3.0 以下	77
					3.5 以下	67
					5.0 以下	56
					6.0 以下	48
					7.0 以下	42
					8.5 以下	37
					11.0 以下	32
					14.0 以下	26
					19.5 以下	21
					31.5 以下	16
					60.0 以下	11
			軟岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37

工 種 名	設 定 内 容					
土工	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土 質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ³ /日)
					0.3 以下	200
					0.5 以下	167
					1.0 以下	143
					1.5 以下	125
					2.0 以下	111
					2.5 以下	100
					3.0 以下	83
					3.5 以下	77
					4.5 以下	67
					6.0 以下	56
					7.0 以下	48
					8.5 以下	42
					10.0 以下	37
					12.5 以下	32
					16.5 以下	26
					23.5 以下	21
					51.5 以下	16
					60.0 以下	11
				有り	0.3 以下	200
					0.5 以下	167
					1.0 以下	143
					1.5 以下	125
					2.0 以下	111
					2.5 以下	100
					3.0 以下	83
					3.5 以下	77
					4.5 以下	67
					5.5 以下	56
					6.5 以下	48
					8.0 以下	42
					9.5 以下	37
					11.5 以下	32
					15.0 以下	26
					20.5 以下	21
					33.0 以下	16
					60.0 以下	11
			軟岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37

工 種 名	設 定 内 容					
土工	標準	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土 質	DID区間 の有無	作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)
		バックホウ バケット容量 0.45m^3	土砂 (岩塊玉石混り 土含む)	無し	0.5 以下	91
					1.0 以下	83
					2.0 以下	71
					2.5 以下	63
					3.5 以下	56
					4.5 以下	48
					6.0 以下	42
					7.5 以下	37
					10.0 以下	32
					13.5 以下	26
					19.5 以下	21
					39.0 以下	16
					60.0 以下	11
				有り	0.5 以下	91
					1.0 以下	83
					1.5 以下	71
					2.0 以下	63
					3.0 以下	56
					4.0 以下	48
					5.5 以下	42
					7.0 以下	37
					9.0 以下	32
					12.0 以下	26
					17.5 以下	21
					28.5 以下	16
					60.0 以下	11
			軟岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37
		クラムシエル バケット容量 (平積) $0.26\sim0.3\text{m}^3$ または バケット容量 (平積) 0.8m^3	土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	無し	0.5 以下	67
					2.0 以下	56
					2.5 以下	48
					4.0 以下	42
					5.5 以下	37
					7.5 以下	32
					10.5 以下	26
					16.0 以下	21
					30.0 以下	16
					60.0 以下	11

工 種 名	設 定 内 容					
土工	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格 クラムシェル バケット容量 (平積) 0.26～0.3m ³ または バケット容量 (平積) 0.8m ³	土 質 土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	DID区間 の有無 有り	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ³ /日)
					0.5 以下	67
					2.0 以下	56
					2.5 以下	48
					3.5 以下	42
					5.0 以下	37
					7.0 以下	32
					10.0 以下	26
					14.5 以下	21
					24.5 以下	16
					60.0 以下	11
			軟岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37
	小規模	バックホウ バケット容量 0.28m ³	土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	無し	0.2 以下	50
					1.0 以下	40
					1.5 以下	33
					2.5 以下	29
					3.5 以下	25
					4.0 以下	22
					5.0 以下	20
					6.0 以下	18
					7.5 以下	17
					10.0 以下	13
					13.0 以下	11
					19.0 以下	9
					35.0 以下	7
					60.0 以下	4
				有り	0.2 以下	50
					1.0 以下	40
					1.5 以下	33
					2.0 以下	29
					3.0 以下	25
					3.5 以下	22
					4.5 以下	20
					5.5 以下	18
					7.0 以下	17
					9.0 以下	13
					12.0 以下	11
					17.0 以下	9
					27.0 以下	7
					60.0 以下	4

工 種 名	設 定 内 容					
土工	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格 バックホウ バケット容量 0.13m ³	土 質 土砂 (岩塊・玉石混 土含む)	DID区間 の有無 無し	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ³ /日)
					0.3 以下	22
					1.0 以下	20
					1.5 以下	17
					2.5 以下	14
					3.0 以下	13
					3.5 以下	11
					4.5 以下	10
					5.5 以下	9
					7.0 以下	8
					9.0 以下	7
					12.0 以下	6
					17.0 以下	4
					28.5 以下	3
					60.0 以下	2
				有り	0.3 以下	22
					1.0 以下	20
					1.5 以下	17
					2.5 以下	14
					3.0 以下	13
					3.5 以下	11
					4.5 以下	10
					5.0 以下	9
					6.5 以下	8
					8.0 以下	7
					11.0 以下	6
					15.0 以下	4
					24.0 以下	3
					60.0 以下	2
	現場制約 あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混 土含む)	無し	0.3 以下	20
					0.5 以下	18
					1.5 以下	17
					2.0 以下	14
					2.5 以下	13
					3.0 以下	11
					4.0 以下	10
					5.0 以下	9
					6.5 以下	8
					8.5 以下	7
					11.0 以下	6
					16.0 以下	4
					27.5 以下	3
					60.0 以下	2

工 種 名	設 定 内 容					
土工	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
	現場制約 あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混 土含む)	有り	0.3 以下	20
					0.5 以下	18
					1.0 以下	17
					1.5 以下	14
					2.0 以下	13
					2.5 以下	11
					3.5 以下	10
					4.5 以下	9
					6.0 以下	8
					8.0 以下	7
					10.5 以下	6
					14.5 以下	4
					23.0 以下	3
					60.0 以下	2
③ 整地						
作業区分		敷均し作業内容		障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	
残土受入れ地での処理		—		—	434	
敷均し（レーズ）		10,000m³未満		無し	430	
				有り	380	
		10,000m³以上		無し	550	
				有り	480	
④ 路体（築堤）盛土						
施工幅員		施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)		
2.5m未満		—	—	50		
2.5m以上4.0m未満		—	—	86		
4.0m以上		20,000m³ 未満	無し	350		
			有り	180		
		20,000m³ 以上	無し	540		
			有り	310		
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。						
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は 30cm 以下とする。						

工 種 名	設	定	内	容																							
土工	⑤ 路床盛土																										
	<table><tr><th>施工幅員</th><th>施工数量</th><th>障害の有無</th><th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td>2.5m未満</td><td>—</td><td>—</td><td>43</td></tr><tr><td>2.5m以上4.0m未満</td><td>—</td><td>—</td><td>78</td></tr><tr><td rowspan="4">4.0m以上</td><td rowspan="2">20,000m³未満</td><td>無し</td><td>260</td></tr><tr><td>有り</td><td>140</td></tr><tr><td rowspan="2">20,000m³以上</td><td>無し</td><td>420</td></tr><tr><td>有り</td><td>140</td></tr></table>				施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量 (m³/日)	2.5m未満	—	—	43	2.5m以上4.0m未満	—	—	78	4.0m以上	20,000m³未満	無し	260	有り	140	20,000m³以上	無し	420	有り	140
	施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量 (m³/日)																							
	2.5m未満	—	—	43																							
	2.5m以上4.0m未満	—	—	78																							
	4.0m以上	20,000m³未満	無し	260																							
			有り	140																							
		20,000m³以上	無し	420																							
			有り	140																							
	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下とする。																										
	⑥ 押土（ルーズ）																										
	<table><tr><th>土 質</th><th>施工数量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">土 砂</td><td>5,000m³未満</td><td>310 m³/日</td></tr><tr><td>5,000m³以上</td><td>510 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">岩塊・玉石</td><td>5,000m³未満</td><td>200 m³/日</td></tr><tr><td>5,000m³以上</td><td>300 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">破碎岩</td><td>5,000m³未満</td><td>200 m³/日</td></tr><tr><td>5,000m³以上</td><td>330 m³/日</td></tr></table>				土 質	施工数量	作業日当り標準作業量	土 砂	5,000m³未満	310 m³/日	5,000m³以上	510 m³/日	岩塊・玉石	5,000m³未満	200 m³/日	5,000m³以上	300 m³/日	破碎岩	5,000m³未満	200 m³/日	5,000m³以上	330 m³/日					
	土 質	施工数量	作業日当り標準作業量																								
	土 砂	5,000m³未満	310 m³/日																								
		5,000m³以上	510 m³/日																								
	岩塊・玉石	5,000m³未満	200 m³/日																								
		5,000m³以上	300 m³/日																								
	破碎岩	5,000m³未満	200 m³/日																								
		5,000m³以上	330 m³/日																								
	⑦ 積込（ルーズ）																										
	<table><tr><th>土 質</th><th>作業内容</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="5">土 砂</td><td>土量50,000m³未満</td><td>310 m³/日</td></tr><tr><td>土量50,000m³以上</td><td>520 m³/日</td></tr><tr><td>平均施工幅1m以上2m未満</td><td>160 m³/日</td></tr><tr><td>1箇所100m³以下（標準）</td><td>42 m³/日</td></tr><tr><td>1箇所100m³以下（標準以外）</td><td>22 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="3">岩塊・玉石、 破碎岩</td><td>土量50,000m³未満</td><td>260 m³/日</td></tr><tr><td>土量50,000m³以上</td><td>440 m³/日</td></tr><tr><td>平均施工幅1m以上2m未満</td><td>130 m³/日</td></tr></table>				土 質	作業内容	作業日当り標準作業量	土 砂	土量50,000m³未満	310 m³/日	土量50,000m³以上	520 m³/日	平均施工幅1m以上2m未満	160 m³/日	1箇所100m³以下（標準）	42 m³/日	1箇所100m³以下（標準以外）	22 m³/日	岩塊・玉石、 破碎岩	土量50,000m³未満	260 m³/日	土量50,000m³以上	440 m³/日	平均施工幅1m以上2m未満	130 m³/日		
	土 質	作業内容	作業日当り標準作業量																								
	土 砂	土量50,000m³未満	310 m³/日																								
		土量50,000m³以上	520 m³/日																								
		平均施工幅1m以上2m未満	160 m³/日																								
1箇所100m³以下（標準）		42 m³/日																									
1箇所100m³以下（標準以外）		22 m³/日																									
岩塊・玉石、 破碎岩	土量50,000m³未満	260 m³/日																									
	土量50,000m³以上	440 m³/日																									
	平均施工幅1m以上2m未満	130 m³/日																									
⑧ 人力積込																											
<table><tr><th>土 質</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>土 砂</td><td>7.1 m³/日</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>5.3 m³/日</td></tr></table>				土 質	作業日当り標準作業量	土 砂	7.1 m³/日	岩塊・玉石	5.3 m³/日																		
土 質	作業日当り標準作業量																										
土 砂	7.1 m³/日																										
岩塊・玉石	5.3 m³/日																										
(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。																											

工 種 名	設 定 内 容				
土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合 100%]				
	土 質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当り 標準作業量
	土 砂	オープンカット	無し	5,000m³未満	250 m³/日
				5,000m³以上 10,000m³未満	290 m³/日
				10,000m³以上 50,000m³未満	350 m³/日
				50,000m³以上	410 m³/日
			有り	5,000m³未満	150 m³/日
				5,000m³以上 10,000m³未満	180 m³/日
				10,000m³以上 50,000m³未満	230 m³/日
				50,000m³以上	270 m³/日
		片切掘削	—	—	242 m³/日
		岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m³未満
	5,000m³以上 10,000m³未満				220 m³/日
	10,000m³以上 50,000m³未満				270 m³/日
	50,000m³以上				340 m³/日
	有り			5,000m³未満	120 m³/日
				5,000m³以上 10,000m³未満	140 m³/日
				10,000m³以上 50,000m³未満	170 m³/日
				50,000m³以上	220 m³/日
	② 路体 (築堤) 盛土 (ICT)				
	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量		
	20,000m³未満	無し	550 m³/日		
		有り	280 m³/日		
	20,000m³以上	無し	690 m³/日		
		有り	400 m³/日		
	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。				
	③ 路床盛土 (ICT)				
施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量			
20,000m³未満	無し	430 m³/日			
	有り	140 m³/日			
20,000m³以上	無し	500 m³/日			
	有り	140 m³/日			
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。					

工 種 名	設 定 内 容				
床掘工	① 床掘り				
	土 質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m ³ /日)
	土 砂	標 準	無し	有り	180
				無し	220
			自立式	有り	180
				無し	220
			グラントアンカー式	有り	180
				無し	220
			切梁腹起式	有り	180
				無し	220
		平均施工幅 1m以上2m未満	無し	有り	100
				無し	150
			自立式	有り	100
				無し	150
			グラントアンカー式	有り	100
				無し	150
			切梁腹起式	有り	100
				無し	150
		掘削深さ 5m超え20m以下	グラントアンカー式	有り	130
				無し	200
			切梁腹起式	有り	130
				無し	200
		掘削深さ20m超え	グラントアンカー式	—	120
			切梁腹起式	—	120
		上記以外（小規模）	—	—	32
		現場制約あり	—	—	2.4
	岩塊 ・ 玉石	標 準	無し	有り	130
				無し	160
			自立式	有り	130
				無し	160
			グラントアンカー式	有り	130
				無し	160
			切梁腹起式	有り	130
				無し	160
		平均施工幅 1m以上2m未満	無し	有り	70
				無し	110
			自立式	有り	70
				無し	110
			グラントアンカー式	有り	70
				無し	110
			切梁腹起式	有り	70
				無し	110
		掘削深さ 5m超え20m以下	グラントアンカー式	有り	90
				無し	140
			切梁腹起式	有り	90
				無し	140
		掘削深さ20m超え	グラントアンカー式	—	90
			切梁腹起式	—	90
		現場制約あり	—	—	1.7

(注)「現場制約あり」の作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。

工 種 名	設 定 内 容																																																
床掘工	② 掘削補助機械搬入搬出作業 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>3.3 回/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	3.3 回/日																																														
	作業日当り標準作業量	3.3 回/日																																															
	③ 基面整正 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>50 m²/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。	作業日当り標準作業量	50 m ² /日																																														
	作業日当り標準作業量	50 m ² /日																																															
④ 舗装版破碎積込（小規模土工） <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>23 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	23 m ² /日																																															
作業日当り標準作業量	23 m ² /日																																																
床掘工 (ICT)	① 床掘り（ICT） <table><tr><th>土質</th><th>施工方法</th><th>土留方式の種類</th><th>障害の有無</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="16">土砂</td><td rowspan="8">標準</td><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td><td>196 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>240 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">自立式</td><td>有り</td><td>196 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>240 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>有り</td><td>196 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>240 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">切梁腹起式</td><td>有り</td><td>196 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>240 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="8">平均施工幅 1m以上 2m未満</td><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td><td>120 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>180 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">自立式</td><td>有り</td><td>120 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>180 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>有り</td><td>120 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>180 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">切梁腹起式</td><td>有り</td><td>120 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>180 m³/日</td></tr></table>	土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量	土砂	標準	無し	有り	196 m ³ /日	無し	240 m ³ /日	自立式	有り	196 m ³ /日	無し	240 m ³ /日	グラウンドアンカー式	有り	196 m ³ /日	無し	240 m ³ /日	切梁腹起式	有り	196 m ³ /日	無し	240 m ³ /日	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	有り	120 m ³ /日	無し	180 m ³ /日	自立式	有り	120 m ³ /日	無し	180 m ³ /日	グラウンドアンカー式	有り	120 m ³ /日	無し	180 m ³ /日	切梁腹起式	有り	120 m ³ /日	無し	180 m ³ /日
	土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量																																												
土砂	標準	無し	有り	196 m ³ /日																																													
			無し	240 m ³ /日																																													
		自立式	有り	196 m ³ /日																																													
			無し	240 m ³ /日																																													
		グラウンドアンカー式	有り	196 m ³ /日																																													
			無し	240 m ³ /日																																													
		切梁腹起式	有り	196 m ³ /日																																													
			無し	240 m ³ /日																																													
	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	有り	120 m ³ /日																																													
			無し	180 m ³ /日																																													
		自立式	有り	120 m ³ /日																																													
			無し	180 m ³ /日																																													
		グラウンドアンカー式	有り	120 m ³ /日																																													
			無し	180 m ³ /日																																													
		切梁腹起式	有り	120 m ³ /日																																													
			無し	180 m ³ /日																																													
埋戻工	① 埋戻し <table><tr><th>施工方法</th><th>土質</th><th>締固めの有無</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>最小埋戻幅4m以上</td><td>－</td><td>－</td><td>270 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅4m以上</td><td>－</td><td>－</td><td>89 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅1m以上4m未満</td><td>－</td><td>－</td><td>53 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅1m未満</td><td>－</td><td>－</td><td>33 m³/日</td></tr><tr><td>上記以外（小規模）</td><td>土砂</td><td>－</td><td>40 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="4">現場制約あり</td><td rowspan="2">土砂</td><td>有り</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>4.2 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">岩塊・玉石</td><td>有り</td><td>3.5 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>3.8 m³/日</td></tr></table> (注)「現場制約あり」の作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。	施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量	最小埋戻幅4m以上	－	－	270 m ³ /日	最大埋戻幅4m以上	－	－	89 m ³ /日	最大埋戻幅1m以上4m未満	－	－	53 m ³ /日	最大埋戻幅1m未満	－	－	33 m ³ /日	上記以外（小規模）	土砂	－	40 m ³ /日	現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日	無し	4.2 m ³ /日	岩塊・玉石	有り	3.5 m ³ /日	無し	3.8 m ³ /日													
	施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量																																													
	最小埋戻幅4m以上	－	－	270 m ³ /日																																													
	最大埋戻幅4m以上	－	－	89 m ³ /日																																													
	最大埋戻幅1m以上4m未満	－	－	53 m ³ /日																																													
	最大埋戻幅1m未満	－	－	33 m ³ /日																																													
	上記以外（小規模）	土砂	－	40 m ³ /日																																													
	現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日																																													
			無し	4.2 m ³ /日																																													
		岩塊・玉石	有り	3.5 m ³ /日																																													
無し			3.8 m ³ /日																																														
② タンパ締固め <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>33 m³/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	33 m ³ /日																																															
作業日当り標準作業量	33 m ³ /日																																																

工 種 名	設 定 内 容																																							
人力運搬工	① 人力運搬 <table><tr><th rowspan="4">換算距離</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th colspan="2">土砂、岩塊・玉石</th></tr><tr><th>人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)</th><th>人力運搬 (運搬～取卸し)</th></tr><tr><th>普通作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>20m 以下</td><td>5.0 m³/日</td><td>20 m³/日</td></tr><tr><td>40m 以下</td><td>4.3 m³/日</td><td>11 m³/日</td></tr><tr><td>60m 以下</td><td>3.7 m³/日</td><td>7.7 m³/日</td></tr><tr><td>80m 以下</td><td>3.2 m³/日</td><td>6.3 m³/日</td></tr><tr><td>100m 以下</td><td>2.9 m³/日</td><td>5.0 m³/日</td></tr><tr><td>120m 以下</td><td>2.5 m³/日</td><td>4.3 m³/日</td></tr><tr><td>140m 以下</td><td>2.3 m³/日</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>160m 以下</td><td>2.2 m³/日</td><td>3.2 m³/日</td></tr><tr><td>180m 以下</td><td>2.0 m³/日</td><td>2.9 m³/日</td></tr><tr><td>200m 以下</td><td>1.9 m³/日</td><td>2.6 m³/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	換算距離	作業日当り標準作業量		土砂、岩塊・玉石		人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)	人力運搬 (運搬～取卸し)	普通作業員	普通作業員	20m 以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日	40m 以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日	60m 以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日	80m 以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日	100m 以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日	120m 以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日	140m 以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日	160m 以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日	180m 以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日	200m 以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日
換算距離	作業日当り標準作業量																																							
	土砂、岩塊・玉石																																							
	人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)		人力運搬 (運搬～取卸し)																																					
	普通作業員	普通作業員																																						
20m 以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日																																						
40m 以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日																																						
60m 以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日																																						
80m 以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日																																						
100m 以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日																																						
120m 以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日																																						
140m 以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日																																						
160m 以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日																																						
180m 以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日																																						
200m 以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日																																						
安定処理工	① 安定処理 (スタビライザ) <table><tr><th>混合回数</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>1 回</td><td>736 m²/日</td></tr><tr><td>2 回</td><td>643 m²/日</td></tr></table> (注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、100m 程度の仮置場～現場までの小運搬及び現場内小運搬が含まれている。 ② 安定処理 (バックホウ) <table><tr><th>施工箇所</th><th>混合深さ</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>路 床</td><td>1m 以下</td><td>170 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">構造物基礎</td><td>1m 以下</td><td>121 m²/日</td></tr><tr><td>1m を超え 2m 以下</td><td>74 m²/日</td></tr></table> (注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、現場内小運搬 (固化材の荷卸を含む) が含まれている。	混合回数	作業日当り標準作業量	1 回	736 m ² /日	2 回	643 m ² /日	施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量	路 床	1m 以下	170 m ² /日	構造物基礎	1m 以下	121 m ² /日	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																						
混合回数	作業日当り標準作業量																																							
1 回	736 m ² /日																																							
2 回	643 m ² /日																																							
施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量																																						
路 床	1m 以下	170 m ² /日																																						
構造物基礎	1m 以下	121 m ² /日																																						
	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																																						
安定処理工 (自走式土質改良工)	① 自走式土質改良機設置・撤去工 <table><tr><th>作業区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>設 置</td><td>2.6 回/日</td></tr><tr><td>撤 去</td><td>3.7 回/日</td></tr></table> ② 安定処理工 (自走式土質改良工) …… 該当工種の基準内に記載。	作業区分	作業日当り標準作業量	設 置	2.6 回/日	撤 去	3.7 回/日																																	
作業区分	作業日当り標準作業量																																							
設 置	2.6 回/日																																							
撤 去	3.7 回/日																																							
土砂運搬工 (不整地運搬車による 運搬)	該当工種の基準内に記載。																																							

工 種 名	設 定 内 容					
法面整形工	① 法面整形					
	整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当り標準作業量	
	盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120 m ² /日	
			無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140 m ² /日	
		無し	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	220 m ² /日	
			切土部	－	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土
	軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	30 m ² /日				
	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土			140 m ² /日	
		軟岩Ⅰ			120 m ² /日	
	法面整形工 (ⅠＣＴ)	① 法面整形（ⅠＣＴ）				
整形箇所		法面締固めの有無	土質	作業日当り標準作業量		
盛土部		有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154 m ² /日		
		無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242 m ² /日		
切土部		－	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154 m ² /日		
			軟岩Ⅰ	132 m ² /日		
芝付工		① 市松芝				
		芝の規格		作業日当り標準作業量		
		高麗芝・野芝		333 m ² /日		
		(注) 散水養生・施肥は含まない。				
コンクリート法枠工	① プレキャスト法枠工					
	(1) プレキャストブロック設置（中詰除く）・・・ 該当工種の基準内に記載。					
	(2) 敷砂利					
	作業日当り標準作業量		10 m ³ /日			
	(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。					
	(3) 中詰工					
	中詰区分		作業日当り標準作業量			
	中詰ブロック		83 m ² /日			
	客 土		16 m ³ /日			
	植生土のう		625 袋/日			
割石又は栗石		10 m ³ /日				
砕 石		12 m ³ /日				

工 種 名	設 定 内 容		
コンクリート法枠工	② 現場打法枠工		
	(1) コンクリートポンプ車投入打設		
	作業日当り標準作業量	7.2 m ³ /日	
	(注) 養生を含む。		
	(2) アンカー工		
	作業日当り標準作業量	33 本/日	
(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。			
	(3) 吸出し防止材敷設工		
	作業日当り標準作業量	200 m ² /日	
	(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。		
吹付法面とりこわし工	① 吹付法面とりこわし工		
	工法区分	作業日当り標準作業量	
	人力施工	54 m ² /日	
	機械施工	147 m ² /日	
	集積・積込み	234 m ² /日	
プレキャストコンクリート板設置工	① プレキャストコンクリート板		
	フレームタイプ	1 列当り平均据付枚数	作業日当り標準作業量
	クロスタイプ	20 枚未満	6.3 枚/日
		20 枚以上 30 枚未満	7 枚/日
		30 枚以上	7.7 枚/日
	セミスクエアタイプ・スクエアタイプ	20 枚未満	4.5 枚/日
		20 枚以上 30 枚未満	5 枚/日
		30 枚以上	5.5 枚/日
	(注) 1. 1 列当り平均据付枚数は、次式により求める。 1 列当り平均据付枚数＝総据付枚数÷施工列数 2. 1 列当り平均据付枚数は、1 工事単位とする。		
	② ジョイント処理		
	作業日当り標準作業量	14 箇所/日	
	人工張芝工	① 人工張芝	
作業日当り標準作業量		222 m ² /日	
基礎・裏込砕石工	① 基礎・裏込砕石工		
	工 種 名	作業日当り標準作業量	
	基礎砕石	155 m ² /日	
	裏込砕石	38 m ³ /日	
	(注) 1. 上表には、現場内小運搬を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は20cmまでを対象とし、それを超える場合は上表に0.7を乗じた数量を計上する。ただし、この場合の敷均し厚は30cmを上限とする。		

工 種 名	設 定 内 容	
コンクリートブロック 積（張）工	① コンクリートブロック積（張）工	
	工 種 名	ブロック質量 又は種類等
	間知ブロック積	150kg/個以上 730kg/個以下
	大型ブロック積	2,000kg/個以下 (バックホウ据付)
		2,000kg/個を超え 4,600kg/個以下 (クレーン据付)
	間知ブロック張	150kg/個未満
		150kg/個以上 770kg/個以下
	平ブロック張	150kg/個未満
		150kg/個以上 770kg/個以下
	連節ブロック張	150kg/個未満
		150kg/個以上 770kg/個以下 (鉄筋・鋼線)
		150kg/個以上 770kg/個以下 (連結金具)
	緑化ブロック積	150kg/個未満
		150kg/個以上 980kg/個以下
	胴込・裏込 コンクリート	間知・緑化ブロック
		大型ブロック (バックホウ打設)
		大型ブロック (クレーン車打設)
	胴込・裏込材	間知・平・連節・緑化 ブロック
		大型ブロック
	遮水シート張	—
	吸出し防止材 (全面) 設置	—
	現場打基礎 コンクリート打設	基礎碎石有り
		基礎碎石無し
	現場打小口止 コンクリート打設	—
	現場打横帯（隔壁） コンクリート打設	—
	現場打天端 コンクリート打設	—
	プレキャスト基礎 ブロック設置	—
	プレキャスト小口止 ブロック設置	—
	プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック設置	—
	プレキャスト巻止 ブロック設置	—
	植 樹	—
		310 本/日
(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。		
・間知ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、 連節ブロック張：ブロック積（張）、裏込・胴込コンクリート、胴込・ 裏込材までの一連作業		
・緑化ブロック積：緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・ 裏込材、客土までの一連作業		
・植樹：植樹作業のみ		
2. ブロック積（張）は、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材を 施工しない場合も上表による。		
3. 緑化ブロック積は、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材、客土を 施工しない場合も上表による。		

工 種 名	設 定 内 容																		
石積（張）工	① 石積（張）工																		
	<table><tr><th>積張の区分</th><th>工種の区分</th><th>石の種類</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>積 工</td><td>練 石</td><td>玉石、雑割石</td><td>19 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">張 工</td><td>練 石</td><td>玉石、雑割石</td><td>31 m²/日</td></tr><tr><td>空 石</td><td>玉石</td><td>31 m²/日</td></tr></table>	積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量	積 工	練 石	玉石、雑割石	19 m ² /日	張 工	練 石	玉石、雑割石	31 m ² /日	空 石	玉石	31 m ² /日			
	積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量															
	積 工	練 石	玉石、雑割石	19 m ² /日															
	張 工	練 石	玉石、雑割石	31 m ² /日															
		空 石	玉石	31 m ² /日															
	（注）石積（張）工は、裏込・胴込C0、裏込材を施工しない場合も上表による。																		
	② 胴込・裏込コンクリート																		
	<table><tr><th>積張の区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>積 工</td><td>8.3 m³/日</td></tr><tr><td>張 工</td><td>9.1 m³/日</td></tr></table>	積張の区分	作業日当り標準作業量	積 工	8.3 m ³ /日	張 工	9.1 m ³ /日												
	積張の区分	作業日当り標準作業量																	
積 工	8.3 m ³ /日																		
張 工	9.1 m ³ /日																		
③ 裏込材（クラッシュラン）																			
<table><tr><th>積張の区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>積 工</td><td>8.3 m³/日</td></tr><tr><td>張 工</td><td>11 m³/日</td></tr></table>	積張の区分	作業日当り標準作業量	積 工	8.3 m ³ /日	張 工	11 m ³ /日													
積張の区分	作業日当り標準作業量																		
積 工	8.3 m ³ /日																		
張 工	11 m ³ /日																		
平石張工	① 平石張																		
	<table><tr><th>作業区分</th><th>平石の形状区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">舗装・床張り</td><td>乱 形</td><td>21 m²/日</td></tr><tr><td>方 形</td><td>28 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">階 段</td><td>乱 形</td><td>10 m²/日</td></tr><tr><td>方 形</td><td>18 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">壁 張 り</td><td>乱 形</td><td>13 m²/日</td></tr><tr><td>方 形</td><td>11 m²/日</td></tr></table>	作業区分	平石の形状区分	作業日当り標準作業量	舗装・床張り	乱 形	21 m ² /日	方 形	28 m ² /日	階 段	乱 形	10 m ² /日	方 形	18 m ² /日	壁 張 り	乱 形	13 m ² /日	方 形	11 m ² /日
	作業区分	平石の形状区分	作業日当り標準作業量																
	舗装・床張り	乱 形	21 m ² /日																
		方 形	28 m ² /日																
	階 段	乱 形	10 m ² /日																
		方 形	18 m ² /日																
	壁 張 り	乱 形	13 m ² /日																
		方 形	11 m ² /日																

工 種 名	設 定 内 容				
場所打擁壁工 (1)	① 場所打擁壁				
	区 分		作業日当り標準作業量		
	小型擁壁	0.5m 以上 0.6m 未満	1.2 m ³ /日		
		0.6m 以上 0.8m 未満	1.5 m ³ /日		
		0.8m 以上 1.0m 以下	1.6 m ³ /日		
	重力式擁壁	1m 超え 2m 未満	4.5 m ³ /日		
		2m 以上 5m 以下	6.3 m ³ /日		
	もたれ式擁壁	3m から 8m まで	6.3 m ³ /日		
	逆T型擁壁	3m から 10m まで	5.0 m ³ /日		
	L型擁壁	3m から 7m まで	4.0 m ³ /日		
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置・撤去 ・目地材設置 ・水抜きパイプ設置 ・吸出し防止材設置				
	2. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式（枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場）、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。				
	3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。				
	4. 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。				
	場所打擁壁工 (2)	① コンクリート（場所打擁壁）			
作 業 種 別		作業日当り標準作業量			
コンクリートポンプ車打設		80 m ³ /日			
プレキャスト擁壁工	① プレキャスト擁壁設置				
	プレキャスト擁壁高さ	0.5m 以上 1.0m 以下	1.0m を超え 2.0m 以下	2.0m を超え 3.5m 以下	3.5m を超え 5.0m 以下
	作業日当り標準作業量	33 m/日	26 m/日	22 m/日	17 m/日
	(注) 運搬距離 10m 程度までの現場内小運搬を含んでいるが、床掘り、埋戻し、雑工種（基礎砕石、均しコンクリート）、残土処理は含まない。				

-131-

工 種 名	設 定 内 容					
構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））	① ひび割れ補修工（充てん工法）					
	数 量		作業日当り標準作業量			
	1 構造物当り補修延べ延長	20m 以下の場合	13.9 m/日			
		20m を超える場合	20.1 m/日			
構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	① ひび割れ補修工（低圧注入工法）					
	数 量		作業日当り標準作業量			
	1 構造物当り補修延べ延長	20m 以下の場合	13.4 m/日			
		20m を超える場合	25.6 m/日			
構造物補修工（断面修復工（左官工法））	断面修復工（左官工法）					
	数 量		作業日当り標準作業量			
			鉄筋ケレン・防錆処理を含む	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない		
	1 構造物当り修復延べ体積	0.1m³を超える場合	0.036 m³/日	0.043 m³/日		
		0.07m³を超え0.1m³以下の場合	0.027 m³/日	0.032 m³/日		
		0.05m³を超え0.07m³以下の場合	0.018 m³/日	0.022 m³/日		
		0.03m³を超え0.05m³以下の場合	0.012 m³/日	0.014 m³/日		
		0.02m³を超え0.03m³以下の場合	0.007 m³/日	0.008 m³/日		
		0.02m³以下場合	0.003 m³/日	0.004 m³/日		
排水構造物工	① ヒューム管					
	(1) ヒューム管単体					
	管 径 (mm)	200 250 300 350	400 450 500 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	
	作業日当り標準作業量 (m/日)	31	29	24	18	
	(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。					
	(2) ヒューム管＋ヒューム管用巻きコンクリート					
	管 径 (mm)	200 250 300 350	400 450 500 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	
	作業日当り標準作業量 (m/日)	90° 巻き	15	11	8	5
		180° 巻き	11	8	5	3
		360° 巻き	7	4	2	－
(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・ヒューム管設置 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、基礎碎石の有無にかかわらず適用できる。 3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 4. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、ヒューム管設置延長換算値である。						

工 種 名	設 定 内 容																																											
排水構造物工	② ボックスカルバート																																											
	(1) ボックスカルバート単体																																											
	<table><tr><th>区 分</th><th colspan="9">PC 鋼材を使用しない場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="2">1.0</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="3">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>④</td><td>⑤</td><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>8</td><td>5</td><td>10</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>20</td><td>17</td><td>12</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材を使用しない場合									製品長 (m)	1.0		1.5				2.0			枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	8	5	10	7	7	5	20	17	12			
	区 分	PC 鋼材を使用しない場合																																										
	製品長 (m)	1.0		1.5				2.0																																				
	枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②③	④																																		
	作業日当り標準作業量 (m/日)	8	5	10	7	7	5	20	17	12																																		
	<table><tr><th>区 分</th><th colspan="7">PC 鋼材による縦連結の場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="3">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>15</td><td>11</td><td>8</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材による縦連結の場合							製品長 (m)	1.5				2.0			枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	15	11	8											
	区 分	PC 鋼材による縦連結の場合																																										
	製品長 (m)	1.5				2.0																																						
枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②③	④																																					
作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	15	11	8																																					
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																																												
(2) ボックスカルバート＋基礎砕石																																												
<table><tr><th>区 分</th><th colspan="10">PC 鋼材を使用しない場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="2">1.0</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="4">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>④</td><td>⑤</td><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>7</td><td>5</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>4</td><td>17</td><td>14</td><td>14</td><td>10</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0		1.5				2.0				枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	7	5	8	7	6	4	17	14	14	10
区 分	PC 鋼材を使用しない場合																																											
製品長 (m)	1.0		1.5				2.0																																					
枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																		
作業日当り標準作業量 (m/日)	7	5	8	7	6	4	17	14	14	10																																		
<table><tr><th>区 分</th><th colspan="8">PC 鋼材による縦連結の場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="4">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>13</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材による縦連結の場合								製品長 (m)	1.5				2.0				枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	13	10	10	7								
区 分	PC 鋼材による縦連結の場合																																											
製品長 (m)	1.5				2.0																																							
枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	13	10	10	7																																				
(3) ボックスカルバート＋均しコンクリート																																												
<table><tr><th>区 分</th><th colspan="10">PC 鋼材を使用しない場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="2">1.0</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="4">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>④</td><td>⑤</td><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>6</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>12</td><td>10</td><td>11</td><td>8</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0		1.5				2.0				枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	6	4	6	5	5	4	12	10	11	8
区 分	PC 鋼材を使用しない場合																																											
製品長 (m)	1.0		1.5				2.0																																					
枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																		
作業日当り標準作業量 (m/日)	6	4	6	5	5	4	12	10	11	8																																		
<table><tr><th>区 分</th><th colspan="8">PC 鋼材による縦連結の場合</th></tr><tr><th>製品長 (m)</th><th colspan="4">1.5</th><th colspan="4">2.0</th></tr><tr><th>枠 番 号</th><td>②</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr><tr><th>作業日当り標準作業量 (m/日)</th><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>10</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td></tr></table>	区 分	PC 鋼材による縦連結の場合								製品長 (m)	1.5				2.0				枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	3	10	8	8	6								
区 分	PC 鋼材による縦連結の場合																																											
製品長 (m)	1.5				2.0																																							
枠 番 号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	3	10	8	8	6																																				

工 種 名

排水構造物工

設 定 内 容

(4) ボックスカルバート+基礎碎石+均しコンクリート

区 分	PC 鋼材を使用しない場合									
製品長 (m)	1.0		1.5				2.0			
枠 番 号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④
作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	6	5	4	3	11	9	10	7

区 分

製品長 (m)

枠 番 号

作業日当り標準作業量 (m/日)

PC 鋼材による縦連結の場合									
1.5		2.0							
②	④	⑤	⑥	①	②	③	④		
4	3	3	2	9	7	8	5		

(注) 1. 上表 (2) ～ (4) の作業日当り標準作業量には、それぞれ次の作業が含まれている。

・基礎材敷均し・転圧

・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生

・ボックスカルバート設置

2. 上表の枠番号①～⑥区分は、ボックスカルバート内空幅・内空高区分の図による。

③ 暗渠排水管

区 分	管 径 (mm)	作業日当り標準作業量 (m/日)
直 管	50～150	175
	200～400	155
網状管	50～150	239
	200～400	196
波状管	50～150	239
	200～400	196
	450～600	106
	700～1,000	49
	1,100～1,500	45

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

④ フィルター材

作業日当り標準作業量	31 m ³ /日
------------	----------------------

⑤ 管（函）渠型側溝

(1) 管（函）渠型側溝単体

内径又は内空幅 (mm)	200 以上 300 以下	300 を超え 400 以下	400 を超え 600 以下
製 品 長	L=2m 以下		L=2m
作業日当り標準作業量 (m/日)	33	25	17

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

(2) 管（函）渠型側溝+基礎碎石

内径又は内空幅 (mm)	200 以上 300 以下	300 を超え 400 以下	400 を超え 600 以下
製 品 長	L=2m 以下		L=2m
作業日当り標準作業量 (m/日)	29	23	16

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。

・基礎材敷均し・転圧

・管（函）渠型側溝設置

2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、管（函）渠型側溝設置延長換算値である。

工 種 名	設 定 内 容																				
排水構造物工	⑥ プレキャスト集水桝																				
	(1) 集水桝単体																				
	<table><tr><td>製品質量 (kg/基)</td><td>50以上 80以下</td><td>80を超え 200以下</td><td>200を超え 400以下</td><td>400を超え 600以下</td><td>600を超え 800以下</td><td>800を超え 1,200以下</td><td>1,200を超え 1,600以下</td><td>1,600を超え 2,200以下</td><td>2,200を超え 2,800以下</td></tr><tr><td>作業日当り 標準作業量 (基/日)</td><td>250</td><td>125</td><td>50</td><td>33</td><td>25</td><td>20</td><td>17</td><td>13</td><td>10</td></tr></table>	製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下	作業日当り 標準作業量 (基/日)	250	125	50	33	25	20	17	13	10
	製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下											
	作業日当り 標準作業量 (基/日)	250	125	50	33	25	20	17	13	10											
	(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																				
	(2) 集水桝＋基礎砕石																				
	<table><tr><td>製品質量 (kg/基)</td><td>50以上 80以下</td><td>80を超え 200以下</td><td>200を超え 400以下</td><td>400を超え 600以下</td><td>600を超え 800以下</td><td>800を超え 1,200以下</td><td>1,200を超え 1,600以下</td><td>1,600を超え 2,200以下</td><td>2,200を超え 2,800以下</td></tr><tr><td>作業日当り 標準作業量 (基/日)</td><td>143</td><td>91</td><td>42</td><td>29</td><td>22</td><td>17</td><td>15</td><td>11</td><td>9</td></tr></table>	製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下	作業日当り 標準作業量 (基/日)	143	91	42	29	22	17	15	11	9
	製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下											
	作業日当り 標準作業量 (基/日)	143	91	42	29	22	17	15	11	9											
	(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・集水桝設置																				
	2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、集水桝設置数量換算値である。																				
	⑦ 鉄筋コンクリート台付管																				
	(1) 鉄筋コンクリート台付管単体																				
	<table><tr><td>管 径 (mm)</td><td>200 250</td><td>350 400</td><td>600 700</td><td>900 1,000</td></tr><tr><td></td><td>300</td><td>450 500</td><td>800</td><td>1,100 1,200</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td><td>38</td><td>29</td><td>22</td><td>13</td></tr></table>	管 径 (mm)	200 250	350 400	600 700	900 1,000		300	450 500	800	1,100 1,200	作業日当り標準作業量 (m/日)	38	29	22	13					
管 径 (mm)	200 250	350 400	600 700	900 1,000																	
	300	450 500	800	1,100 1,200																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	38	29	22	13																	
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																					
(2) 鉄筋コンクリート台付管＋基礎砕石																					
<table><tr><td>管 径 (mm)</td><td>200 250</td><td>350 400</td><td>600 700</td><td>900 1,000</td></tr><tr><td></td><td>300</td><td>450 500</td><td>800</td><td>1,100 1,200</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td><td>29</td><td>22</td><td>17</td><td>10</td></tr></table>	管 径 (mm)	200 250	350 400	600 700	900 1,000		300	450 500	800	1,100 1,200	作業日当り標準作業量 (m/日)	29	22	17	10						
管 径 (mm)	200 250	350 400	600 700	900 1,000																	
	300	450 500	800	1,100 1,200																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	29	22	17	10																	
(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・鉄筋コンクリート台付管設置																					
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、鉄筋コンクリート台付管設置延長換算値である。																					
⑧ プレキャストL形側溝																					
(1) L形側溝単体																					
<table><tr><td>製 品 長</td><td>0.6 m</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>33 m/日</td></tr></table>	製 品 長	0.6 m	作業日当り標準作業量	33 m/日																	
製 品 長	0.6 m																				
作業日当り標準作業量	33 m/日																				
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																					
(2) L形側溝＋基礎砕石																					
<table><tr><td>製 品 長</td><td>0.6 m</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>29 m/日</td></tr></table>	製 品 長	0.6 m	作業日当り標準作業量	29 m/日																	
製 品 長	0.6 m																				
作業日当り標準作業量	29 m/日																				
(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・L形側溝設置																					
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、L形側溝設置延長換算値である。																					

工 種 名	設 定 内 容																																	
排水構造物工	⑨ プレキャストマンホール																																	
	<table><tr><td>製品質量(kg/基)</td><td>2,000kg/基以下</td><td>2,000 kg/基を超え4,000 kg/基以下</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>4 基/日</td><td>3 基/日</td></tr></table>	製品質量(kg/基)	2,000kg/基以下	2,000 kg/基を超え4,000 kg/基以下	作業日当り標準作業量	4 基/日	3 基/日																											
	製品質量(kg/基)	2,000kg/基以下	2,000 kg/基を超え4,000 kg/基以下																															
	作業日当り標準作業量	4 基/日	3 基/日																															
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・マンホール設置																																	
	2. 作業日当り標準作業量は、基礎材の有無にかかわらず適用できる。																																	
	3. 上表の作業日当り標準作業量は、マンホール設置数量換算値である。																																	
	4. 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																																	
	⑩ コルゲートパイプ																																	
	<table><tr><th>作業内容</th><th>規格・形式</th><th>パイプ径</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="6">据付</td><td rowspan="2">フランジ型 円形</td><td>800mm 以上 1200mm 以下</td><td>12 m/日</td></tr><tr><td>1200mm 超え 1800mm 以下</td><td>9 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">ラップ型 円形</td><td>2000mm 以上 2500mm 以下</td><td>7 m/日</td></tr><tr><td>2500mm 超え 3000mm 以下</td><td>5 m/日</td></tr><tr><td>3000mm 超え 3500mm 以下</td><td>4 m/日</td></tr><tr><td>3500mm 超え 4500mm 以下</td><td>3 m/日</td></tr><tr><td rowspan="6">撤去</td><td rowspan="2">フランジ型 円形</td><td>800mm 以上 1200mm 以下</td><td>26 m/日</td></tr><tr><td>1200mm 超え 1800mm 以下</td><td>21 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">ラップ型 円形</td><td>2000mm 以上 2500mm 以下</td><td>18 m/日</td></tr><tr><td>2500mm 超え 3000mm 以下</td><td>14 m/日</td></tr><tr><td>3000mm 超え 3500mm 以下</td><td>12 m/日</td></tr><tr><td>3500mm 超え 4500mm 以下</td><td>10 m/日</td></tr></table>	作業内容	規格・形式	パイプ径	作業日当り標準作業量	据付	フランジ型 円形	800mm 以上 1200mm 以下	12 m/日	1200mm 超え 1800mm 以下	9 m/日	ラップ型 円形	2000mm 以上 2500mm 以下	7 m/日	2500mm 超え 3000mm 以下	5 m/日	3000mm 超え 3500mm 以下	4 m/日	3500mm 超え 4500mm 以下	3 m/日	撤去	フランジ型 円形	800mm 以上 1200mm 以下	26 m/日	1200mm 超え 1800mm 以下	21 m/日	ラップ型 円形	2000mm 以上 2500mm 以下	18 m/日	2500mm 超え 3000mm 以下	14 m/日	3000mm 超え 3500mm 以下	12 m/日	3500mm 超え 4500mm 以下
作業内容	規格・形式	パイプ径	作業日当り標準作業量																															
据付	フランジ型 円形	800mm 以上 1200mm 以下	12 m/日																															
		1200mm 超え 1800mm 以下	9 m/日																															
	ラップ型 円形	2000mm 以上 2500mm 以下	7 m/日																															
		2500mm 超え 3000mm 以下	5 m/日																															
		3000mm 超え 3500mm 以下	4 m/日																															
		3500mm 超え 4500mm 以下	3 m/日																															
撤去	フランジ型 円形	800mm 以上 1200mm 以下	26 m/日																															
		1200mm 超え 1800mm 以下	21 m/日																															
	ラップ型 円形	2000mm 以上 2500mm 以下	18 m/日																															
		2500mm 超え 3000mm 以下	14 m/日																															
		3000mm 超え 3500mm 以下	12 m/日																															
		3500mm 超え 4500mm 以下	10 m/日																															
⑪ コルゲートフリューム																																		
<table><tr><th>作業内容</th><th>規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>据付</td><td>350×350mm 以上 750×750mm 以下</td><td>32 m/日</td></tr><tr><td>撤去</td><td>350×350mm 以上 750×750mm 以下</td><td>63 m/日</td></tr></table>	作業内容	規格	作業日当り標準作業量	据付	350×350mm 以上 750×750mm 以下	32 m/日	撤去	350×350mm 以上 750×750mm 以下	63 m/日																									
作業内容	規格	作業日当り標準作業量																																
据付	350×350mm 以上 750×750mm 以下	32 m/日																																
撤去	350×350mm 以上 750×750mm 以下	63 m/日																																

工 種 名	設 定 内 容			
排水構造物工 (現場打ち水路（本体）)	① 現場打ち水路（本体）			
	コンクリート打設 工法	鉄筋の有無	10m当りコンクリート使用量	作業日当り 標準作業量
	バックホウ（クレーン機能付）打設	無し	3.0m³/10m 以上 3.9m³/10m以下	4 m/日
			3.9m³/10mを超え7.4m³/10m以下	3 m/日
			7.4m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日
		有り	3.6m³/10m 以上 5.0m³/10m以下	3 m/日
			5.0m³/10mを超え8.1m³/10m以下	2 m/日
			人力打設	無し
	3.3m³/10mを超え6.0m³/10m以下	3 m/日		
	6.0m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日		
	有り	3.6m³/10m 以上 4.6m³/10m以下		3 m/日
		4.6m³/10mを超え8.1m³/10m以下		2 m/日
		(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、コンクリート打設、型枠設置・撤去、目地材設置、基礎材設置の作業を含む。 2. 各作業間の重複作業は考慮していない。 3. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。		
	(参考) 各作業単独の場合の作業量			
作 業 名			作業日当り標準作業量	
基礎材設置			155 m²/日	
目地板設置			9 m²/日	
型枠設置・撤去			15 m²/日	
コンクリート打設	バックホウ（クレーン機能付）打設		8 m³/日	
	人力打設		5 m³/日	

工 種 名	設 定 内 容		
排水構造物工 (現場打ち集水桝・街渠桝 (本体))	① 現場打ち集水桝・街渠桝 (本体)		
	コンクリート打設工法	1箇所当りコンクリート使用量	作業日当り標準作業量
	バックホウ (クレーン機能付) 打設	0.20m ³ 以上 0.22m ³ 以下	4 箇所/日
		0.22m ³ を超え0.38m ³ 以下	3 箇所/日
		0.38m ³ を超え0.77m ³ 以下	2 箇所/日
		0.77m ³ を超え1.03m ³ 以下	1 箇所/日
		1.03m ³ を超え1.80m ³ 以下	2 箇所/日
		1.80m ³ を超え3.42m ³ 以下	1 箇所/日
	人力打設	0.20m ³ 以上 0.36m ³ 以下	3 箇所/日
		0.36m ³ を超え0.69m ³ 以下	2 箇所/日
		0.69m ³ を超え1.03m ³ 以下	1 箇所/日
		1.03m ³ を超え1.29m ³ 以下	2 箇所/日
		1.29m ³ を超え3.42m ³ 以下	1 箇所/日
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、コンクリート打設、型枠設置・撤去、基礎材設置の作業を含む。 2. 各作業間の重複作業は考慮していない。 3. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。		
	(参考) 各作業単独の場合の作業量		
作 業 名		作業日当り標準作業量	
基礎材設置		155 m ² /日	
型枠設置・撤去(1箇所当りコンクリート使用量1.03m ³ 以下)		15 m ² /日	
型枠設置・撤去(1箇所当りコンクリート使用量1.03m ³ 超え)		38 m ² /日	
コンクリート打設	バックホウ (クレーン機能付) 打設	8 m ³ /日	
	人力打設(1箇所当りコンクリート使用量1.03m ³ 以下)	5 m ³ /日	
	人力打設(1箇所当りコンクリート使用量1.03m ³ 超え)	4 m ³ /日	
サンドマット工	① サンドマット		
	作業日当り標準作業量	328 m ³ /日	
スラリー攪拌工	① スラリー攪拌工 …… 該当工種の基準内に記載。		
	② スラリープラント現場内移設		
	作業日当り標準作業量	0.71 回/日	
高圧噴射攪拌工	該当工種の基準内に記載。		
PVD工 (プレファブリケートドバーチカルレーン工)	該当工種の計算式 (1 本当り施工時間) を参照。		
中層混合処理工	該当工種の基準内に記載。		
中層混合処理工 (ICT)	該当工種の基準内に記載。		

工 種 名	設 定 内 容																																																														
薬液注入工	① 二重管ストレーナ工法（複相） …… 該当工種の計算式（1 日当り施工本数）を参照。																																																														
	② 二重管ダブルパッカー工法 …… 該当工種の計算式（1 日当り施工本数）を参照。																																																														
	③ 注入設備据付・解体																																																														
	<table><tr><th>注入方式</th><th>セット数</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">二重管ストレーナ工法</td><td>2セット</td><td>0.45 現場/日</td></tr><tr><td>4セット</td><td>0.34 現場/日</td></tr><tr><td rowspan="2">二重管ダブルパッカー工法（削孔）</td><td>1セット</td><td>0.67 現場/日</td></tr><tr><td>2セット</td><td>0.67 現場/日</td></tr><tr><td>二重管ダブルパッカー工法（注入）</td><td>4セット</td><td>0.31 現場/日</td></tr></table>	注入方式	セット数	作業日当り 標準作業量	二重管ストレーナ工法	2セット	0.45 現場/日	4セット	0.34 現場/日	二重管ダブルパッカー工法（削孔）	1セット	0.67 現場/日	2セット	0.67 現場/日	二重管ダブルパッカー工法（注入）	4セット	0.31 現場/日																																														
	注入方式	セット数	作業日当り 標準作業量																																																												
	二重管ストレーナ工法	2セット	0.45 現場/日																																																												
		4セット	0.34 現場/日																																																												
	二重管ダブルパッカー工法（削孔）	1セット	0.67 現場/日																																																												
		2セット	0.67 現場/日																																																												
	二重管ダブルパッカー工法（注入）	4セット	0.31 現場/日																																																												
④ 注入設備移設																																																															
<table><tr><th>注入方式</th><th>セット数</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">二重管ストレーナ工法</td><td>2セット</td><td>0.73 回/日</td></tr><tr><td>4セット</td><td>0.50 回/日</td></tr><tr><td rowspan="2">二重管ダブルパッカー工法（削孔）</td><td>1セット</td><td>1.0 回/日</td></tr><tr><td>2セット</td><td>1.0 回/日</td></tr><tr><td>二重管ダブルパッカー工法（注入）</td><td>4セット</td><td>0.48 回/日</td></tr></table>	注入方式	セット数	作業日当り 標準作業量	二重管ストレーナ工法	2セット	0.73 回/日	4セット	0.50 回/日	二重管ダブルパッカー工法（削孔）	1セット	1.0 回/日	2セット	1.0 回/日	二重管ダブルパッカー工法（注入）	4セット	0.48 回/日																																															
注入方式	セット数	作業日当り 標準作業量																																																													
二重管ストレーナ工法	2セット	0.73 回/日																																																													
	4セット	0.50 回/日																																																													
二重管ダブルパッカー工法（削孔）	1セット	1.0 回/日																																																													
	2セット	1.0 回/日																																																													
二重管ダブルパッカー工法（注入）	4セット	0.48 回/日																																																													
アンカー工 （ロータリーパー カッション式）	① 削孔（アンカー）																																																														
	<table><tr><th rowspan="2">足場の 有無</th><th rowspan="2">呼び径</th><th colspan="5">作業日当り標準作業量（m/日）</th></tr><tr><th>粘性土 砂質土</th><th>礫質土</th><th>玉石 混り土</th><th>軟岩</th><th>硬岩</th></tr><tr><td rowspan="4">有り （スキッド型）</td><td>90 mm</td><td>45</td><td>30</td><td>21</td><td>26</td><td>20</td></tr><tr><td>115 mm</td><td>28</td><td>23</td><td>16</td><td>20</td><td>16</td></tr><tr><td>135 mm</td><td>22</td><td>18</td><td>14</td><td>15</td><td>13</td></tr><tr><td>146 mm</td><td>19</td><td>16</td><td>12</td><td>14</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="4">無し （クローラ型）</td><td>90 mm</td><td>50</td><td>33</td><td>24</td><td>29</td><td>22</td></tr><tr><td>115 mm</td><td>31</td><td>26</td><td>18</td><td>22</td><td>18</td></tr><tr><td>135 mm</td><td>24</td><td>20</td><td>15</td><td>17</td><td>14</td></tr><tr><td>146 mm</td><td>21</td><td>18</td><td>14</td><td>15</td><td>11</td></tr></table>	足場の 有無	呼び径	作業日当り標準作業量（m/日）					粘性土 砂質土	礫質土	玉石 混り土	軟岩	硬岩	有り （スキッド型）	90 mm	45	30	21	26	20	115 mm	28	23	16	20	16	135 mm	22	18	14	15	13	146 mm	19	16	12	14	10	無し （クローラ型）	90 mm	50	33	24	29	22	115 mm	31	26	18	22	18	135 mm	24	20	15	17	14	146 mm	21	18	14	15	11
	足場の 有無			呼び径	作業日当り標準作業量（m/日）																																																										
		粘性土 砂質土	礫質土		玉石 混り土	軟岩	硬岩																																																								
	有り （スキッド型）	90 mm	45	30	21	26	20																																																								
		115 mm	28	23	16	20	16																																																								
		135 mm	22	18	14	15	13																																																								
		146 mm	19	16	12	14	10																																																								
	無し （クローラ型）	90 mm	50	33	24	29	22																																																								
		115 mm	31	26	18	22	18																																																								
135 mm		24	20	15	17	14																																																									
146 mm		21	18	14	15	11																																																									
(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、ボーリングマシンの横移動を含む。																																																															
2. 硬岩は、コンクリートを含む。																																																															
3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途検討する。																																																															
4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。																																																															

工 種 名	設 定 内 容				
アンカー工 (ロータリーパーカッ ション式)	② アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー）				
	防食方式	アンカー 鋼材種類	削孔長	設計荷重	作業日当り標準作業量 (本/日)
					頭部処理 有り 頭部処理 無し
	二重防食	PC 鋼線 より線	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	3.1 3.4
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	2.5 2.8
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	2.2 2.4
			10m を超える	$f < 400\text{kN}$	2.7 2.9
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	2.5 2.8
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	2.2 2.4
		PC 鋼線 より線 (工場組立)	—	$f < 400\text{kN}$	6.4 8.3
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	5.8 7.1
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	4.3 5.1
		複合 PC 鋼線 より線束	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	5.0 6.0
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	4.3 5.0
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	3.3 3.8
			10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.6 5.5
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	4.1 4.7
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	3.2 3.6
		PC 鋼棒	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	3.7 4.3
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	3.5 3.9
			10m を超える	$f < 400\text{kN}$	3.7 4.3
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	3.5 3.9
	簡易防食	PC 鋼線 より線	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	4.2 5.0
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	3.2 3.6
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	2.2 2.4
			10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.0 4.6
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	2.9 3.2
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	2.2 2.4
		PC 鋼線 より線 (工場組立)	—	$f < 400\text{kN}$	6.9 9.0
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	6.1 7.6
				$1300 \leq f < 2000\text{kN}$	4.5 5.4
		PC 鋼棒	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	4.6 5.5
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	4.1 4.7
			10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.4 5.2
				$400 \leq f < 1300\text{kN}$	3.9 4.5

工 種 名	設 定 内 容																																	
アンカー工 (ロータリーパーカッション式)	(参考) 各作業単独の場合の作業量																																	
	(1) アンカー鋼材加工・組立・挿入																																	
	1) 削孔長：10m 以内																																	
	<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f < 400</th><th>400 ≤ f < 1, 300</th><th>1, 300 ≤ f < 2, 000</th></tr><tr><td rowspan="3">二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>複合 PC 鋼線より線束</td><td>13</td><td>11</td><td>10</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>7</td><td>7</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>9</td><td>6</td><td>4</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>11</td><td>10</td><td>—</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f < 400	400 ≤ f < 1, 300	1, 300 ≤ f < 2, 000	二重	PC 鋼線より線	5	4	4	複合 PC 鋼線より線束	13	11	10	PC 鋼棒	7	7	—	簡易	PC 鋼線より線	9	6	4	PC 鋼棒	11	10	—
	防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																													
					設計荷重 (f) kN																													
		f < 400	400 ≤ f < 1, 300		1, 300 ≤ f < 2, 000																													
	二重	PC 鋼線より線	5	4	4																													
		複合 PC 鋼線より線束	13	11	10																													
		PC 鋼棒	7	7	—																													
簡易	PC 鋼線より線	9	6	4																														
	PC 鋼棒	11	10	—																														
2) 削孔長：10m 超え 20m 以内																																		
<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f < 400</th><th>400 ≤ f < 1, 300</th><th>1, 300 ≤ f < 2, 000</th></tr><tr><td rowspan="3">二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>複合 PC 鋼線より線束</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>7</td><td>7</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>8</td><td>5</td><td>4</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>10</td><td>9</td><td>—</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f < 400	400 ≤ f < 1, 300	1, 300 ≤ f < 2, 000	二重	PC 鋼線より線	4	4	4	複合 PC 鋼線より線束	11	10	9	PC 鋼棒	7	7	—	簡易	PC 鋼線より線	8	5	4	PC 鋼棒	10	9	—	
防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																														
				設計荷重 (f) kN																														
	f < 400	400 ≤ f < 1, 300		1, 300 ≤ f < 2, 000																														
二重	PC 鋼線より線	4	4	4																														
	複合 PC 鋼線より線束	11	10	9																														
	PC 鋼棒	7	7	—																														
簡易	PC 鋼線より線	8	5	4																														
	PC 鋼棒	10	9	—																														
3) 削孔長：20m 超え																																		
<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f < 400</th><th>400 ≤ f < 1, 300</th><th>1, 300 ≤ f < 2, 000</th></tr><tr><td rowspan="3">二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>複合 PC 鋼線より線束</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>6</td><td>6</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>7</td><td>5</td><td>4</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td><td>9</td><td>8</td><td>—</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f < 400	400 ≤ f < 1, 300	1, 300 ≤ f < 2, 000	二重	PC 鋼線より線	4	4	4	複合 PC 鋼線より線束	10	9	8	PC 鋼棒	6	6	—	簡易	PC 鋼線より線	7	5	4	PC 鋼棒	9	8	—	
防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																														
				設計荷重 (f) kN																														
	f < 400	400 ≤ f < 1, 300		1, 300 ≤ f < 2, 000																														
二重	PC 鋼線より線	4	4	4																														
	複合 PC 鋼線より線束	10	9	8																														
	PC 鋼棒	6	6	—																														
簡易	PC 鋼線より線	7	5	4																														
	PC 鋼棒	9	8	—																														
(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。																																		
2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。																																		
3. P C 鋼線より線及び P C 鋼棒の現場加工・組立は、シース、防錆材、止水部の取付である。																																		
4. 複合 P C 鋼線より線束の現地での加工・組立は、スペーサの取付けである。																																		

工 種 名	設 定 内 容																					
アンカー工 (ロータリーパーカッション式)	(2) アンカー鋼材挿入 (工場加工・組立)																					
	1) 削孔長：10m 以内																					
	<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f <400</th><th>400 ≦ f <1,300</th><th>1,300 ≦ f <2,000</th></tr><tr><td>二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>33</td><td>33</td><td>33</td></tr><tr><td>簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f <400	400 ≦ f <1,300	1,300 ≦ f <2,000	二重	PC 鋼線より線	33	33	33	簡易	PC 鋼線より線	50	50	50
	防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																	
					設計荷重 (f) kN																	
		f <400	400 ≦ f <1,300		1,300 ≦ f <2,000																	
	二重	PC 鋼線より線	33	33	33																	
	簡易	PC 鋼線より線	50	50	50																	
	2) 削孔長：10m 超え 20m 以内																					
	<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f <400</th><th>400 ≦ f <1,300</th><th>1,300 ≦ f <2,000</th></tr><tr><td>二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>23</td><td>23</td><td>23</td></tr><tr><td>簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f <400	400 ≦ f <1,300	1,300 ≦ f <2,000	二重	PC 鋼線より線	23	23	23	簡易	PC 鋼線より線	30	30	30
	防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																	
					設計荷重 (f) kN																	
		f <400	400 ≦ f <1,300		1,300 ≦ f <2,000																	
	二重	PC 鋼線より線	23	23	23																	
簡易	PC 鋼線より線	30	30	30																		
3) 削孔長：20m 超え																						
<table><tr><th rowspan="3">防食</th><th rowspan="3">種 別</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f <400</th><th>400 ≦ f <1,300</th><th>1,300 ≦ f <2,000</th></tr><tr><td>二重</td><td>PC 鋼線より線</td><td>19</td><td>19</td><td>19</td></tr><tr><td>簡易</td><td>PC 鋼線より線</td><td>23</td><td>23</td><td>23</td></tr></table>	防食	種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f <400	400 ≦ f <1,300	1,300 ≦ f <2,000	二重	PC 鋼線より線	19	19	19	簡易	PC 鋼線より線	23	23	23	
防食			種 別	作業日当り標準作業量 (本/日)																		
				設計荷重 (f) kN																		
	f <400	400 ≦ f <1,300		1,300 ≦ f <2,000																		
二重	PC 鋼線より線	19	19	19																		
簡易	PC 鋼線より線	23	23	23																		
(注) 1. 上表は、現場内小運搬を含む。																						
2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。																						
3. 組立・加工については別途考慮する。																						
(3) 緊張・定着・頭部処理																						
<table><tr><th rowspan="3">定着方法</th><th rowspan="3">オイルキャップによる頭部処理</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量 (本/日)</th></tr><tr><th colspan="3">設計荷重 (f) kN</th></tr><tr><th>f <400</th><th>400 ≦ f <1,300</th><th>1,300 ≦ f <2,000</th></tr><tr><td rowspan="2">クサビ及びナット</td><td>有り</td><td>8</td><td>7</td><td>5</td></tr><tr><td>無し</td><td>11</td><td>9</td><td>6</td></tr></table>	定着方法	オイルキャップによる頭部処理	作業日当り標準作業量 (本/日)			設計荷重 (f) kN			f <400	400 ≦ f <1,300	1,300 ≦ f <2,000	クサビ及びナット	有り	8	7	5	無し	11	9	6		
定着方法			オイルキャップによる頭部処理	作業日当り標準作業量 (本/日)																		
				設計荷重 (f) kN																		
	f <400	400 ≦ f <1,300		1,300 ≦ f <2,000																		
クサビ及びナット	有り	8	7	5																		
	無し	11	9	6																		
③ グラウト注入 (アンカー)																						
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>3.9 m³/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	3.9 m ³ /日																				
作業日当り標準作業量	3.9 m ³ /日																					
④ ボーリングマシン移設 (アンカー)																						
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>2.9 回/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	2.9 回/日																				
作業日当り標準作業量	2.9 回/日																					
⑤ 足場 (アンカー)																						
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>足場量 44 空 m³/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	足場量 44 空 m ³ /日																				
作業日当り標準作業量	足場量 44 空 m ³ /日																					

工 種 名	設 定 内 容																		
構造物とりこわし工	① コンクリートはつり <table><tr><th>平均はつり厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>3cm 以下</td><td>21 m²/日</td></tr><tr><td>3cm を超え 6cm 以下</td><td>13 m²/日</td></tr></table>	平均はつり厚	作業日当り標準作業量	3cm 以下	21 m ² /日	3cm を超え 6cm 以下	13 m ² /日												
	平均はつり厚	作業日当り標準作業量																	
	3cm 以下	21 m ² /日																	
3cm を超え 6cm 以下	13 m ² /日																		
② 積込（コンクリート殻） <table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>とりこわしコンクリート殻積込</td><td>260 m³/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要	とりこわしコンクリート殻積込	260 m ³ /日														
作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要																	
とりこわしコンクリート殻積込	260 m ³ /日																		
コンクリート削孔工	① コンクリート削孔（電動ハンマドリル） <table><tr><th>適用削孔径</th><th>適用削孔深</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>10mm 以上</td><td>30mm 以上 200mm 未満</td><td>83 孔/日</td></tr><tr><td>30mm 未満</td><td>200mm 以上 400mm 以下</td><td>63 孔/日</td></tr></table>	適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量	10mm 以上	30mm 以上 200mm 未満	83 孔/日	30mm 未満	200mm 以上 400mm 以下	63 孔/日									
	適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量																
	10mm 以上	30mm 以上 200mm 未満	83 孔/日																
30mm 未満	200mm 以上 400mm 以下	63 孔/日																	
② コンクリート削孔（さく岩機） <table><tr><th>適用削孔径</th><th>適用削孔深</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="7">30mm 以上 60mm 未満</td><td>100mm 以上 200mm 未満</td><td>67 孔/日</td></tr><tr><td>200mm 以上 300mm 未満</td><td>50 孔/日</td></tr><tr><td>300mm 以上 400mm 未満</td><td>40 孔/日</td></tr><tr><td>400mm 以上 600mm 未満</td><td>31 孔/日</td></tr><tr><td>600mm 以上 800mm 未満</td><td>24 孔/日</td></tr><tr><td>800mm 以上 1,000mm 未満</td><td>19 孔/日</td></tr><tr><td>1,000mm 以上 1,100 以下</td><td>17 孔/日</td></tr></table>	適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量	30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 200mm 未満	67 孔/日	200mm 以上 300mm 未満	50 孔/日	300mm 以上 400mm 未満	40 孔/日	400mm 以上 600mm 未満	31 孔/日	600mm 以上 800mm 未満	24 孔/日	800mm 以上 1,000mm 未満	19 孔/日	1,000mm 以上 1,100 以下	17 孔/日	
適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量																	
30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 200mm 未満	67 孔/日																	
	200mm 以上 300mm 未満	50 孔/日																	
	300mm 以上 400mm 未満	40 孔/日																	
	400mm 以上 600mm 未満	31 孔/日																	
	600mm 以上 800mm 未満	24 孔/日																	
	800mm 以上 1,000mm 未満	19 孔/日																	
	1,000mm 以上 1,100 以下	17 孔/日																	
③ コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） <table><tr><th>適用削孔径</th><th>適用削孔深</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="5">60mm 以上 100mm 未満</td><td>50mm 以上 200mm 未満</td><td>12 孔/日</td></tr><tr><td>200mm 以上 400mm 未満</td><td>9.2 孔/日</td></tr><tr><td>400mm 以上 600mm 未満</td><td>7.4 孔/日</td></tr><tr><td>600mm 以上 800mm 未満</td><td>6.2 孔/日</td></tr><tr><td>800mm 以上 1,100mm 以下</td><td>5.1 孔/日</td></tr><tr><td rowspan="2">100mm 以上 200mm 以下</td><td>50mm 以上 200mm 未満</td><td>12 孔/日</td></tr><tr><td>200mm 以上 400mm 以下</td><td>9.2 孔/日</td></tr></table>	適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量	60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日	200mm 以上 400mm 未満	9.2 孔/日	400mm 以上 600mm 未満	7.4 孔/日	600mm 以上 800mm 未満	6.2 孔/日	800mm 以上 1,100mm 以下	5.1 孔/日	100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日	200mm 以上 400mm 以下	9.2 孔/日
適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量																	
60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日																	
	200mm 以上 400mm 未満	9.2 孔/日																	
	400mm 以上 600mm 未満	7.4 孔/日																	
	600mm 以上 800mm 未満	6.2 孔/日																	
	800mm 以上 1,100mm 以下	5.1 孔/日																	
100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日																	
	200mm 以上 400mm 以下	9.2 孔/日																	
ガス切断工	① ガス切断工 <table><tr><th>名 称</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>鋼 管 杭</td><td>13 箇所/日</td></tr><tr><td>H 鋼 杭</td><td>14 箇所/日</td></tr><tr><td>鋼 矢 板</td><td>26 箇所/日</td></tr></table>	名 称	作業日当り標準作業量	鋼 管 杭	13 箇所/日	H 鋼 杭	14 箇所/日	鋼 矢 板	26 箇所/日										
	名 称	作業日当り標準作業量																	
	鋼 管 杭	13 箇所/日																	
H 鋼 杭	14 箇所/日																		
鋼 矢 板	26 箇所/日																		
吸出し防止材設置工	① 吸出し防止材設置 <table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><td>474 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	474 m ² /日																
	作業日当り標準作業量	474 m ² /日																	

工 種 名	設	定	内	容									
目地・止水板設置工	① 目地板設置	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">9 m²/日</td></tr></table>			作業日当り標準作業量	9 m ² /日							
	作業日当り標準作業量	9 m ² /日											
	② 止水板設置	<table><tr><td>止水板の種類</td><td>塩ビ製</td><td>ゴム製</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>13 m/日</td><td>9 m/日</td></tr></table>			止水板の種類	塩ビ製	ゴム製	作業日当り標準作業量	13 m/日	9 m/日			
	止水板の種類	塩ビ製	ゴム製										
	作業日当り標準作業量	13 m/日	9 m/日										
③ シール材設置	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">10 m/日</td></tr></table>			作業日当り標準作業量	10 m/日								
作業日当り標準作業量	10 m/日												
旧橋撤去工	① 高欄撤去	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">131 m/日</td></tr></table> (注) 1. 作業日当り標準作業量とは高欄の実撤去延長である。 2. 作業日当り標準作業量は、高欄の切断から運搬車両への積み込みまでであり、運搬については別途計上する。			作業日当り標準作業量	131 m/日							
	作業日当り標準作業量	131 m/日											
	② アスファルト舗装版破碎・積み込み	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">32 m³/日</td></tr></table> (注) 上表の適用範囲の対象数量は、アスファルト舗装版のみの体積である。			作業日当り標準作業量	32 m ³ /日							
	作業日当り標準作業量	32 m ³ /日											
	③ 床版 1 次破碎・撤去	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">18 m³/日</td></tr></table> (注) 上表の適用範囲の対象数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄（壁高欄含む）の場合についても対象数量に含む。			作業日当り標準作業量	18 m ³ /日							
	作業日当り標準作業量	18 m ³ /日											
	④ 床版 1 次及び 2 次破碎・撤去	<table><tr><td>作 業 名</td><td colspan="2">作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>1 次破碎</td><td colspan="2">18 m³/日</td></tr><tr><td>2 次破碎</td><td colspan="2">127 m³/日</td></tr></table> (注) 1. 1 次破碎の作業内容は、床版を分割し作業半径内の 1 次仮置場に仮置する、もしくは直接積み込む作業である。 2. 2 次破碎の作業内容は、1 次破碎後の床版を、おおよそ 30cm× 30cm 程度までの破碎及び積み込みである。			作 業 名	作業日当り標準作業量		1 次破碎	18 m ³ /日		2 次破碎	127 m ³ /日	
	作 業 名	作業日当り標準作業量											
	1 次破碎	18 m ³ /日											
	2 次破碎	127 m ³ /日											
	⑤ 桁 1 次切断・撤去	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">26 t/日</td></tr></table> (注) 桁 1 次切断・撤去の作業は、桁材の撤去及び積み込みである。			作業日当り標準作業量	26 t/日							
	作業日当り標準作業量	26 t/日											
⑥ 桁 1 次及び 2 次切断・撤去	<table><tr><td>作 業 名</td><td colspan="2">作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>桁 1 次切断・撤去</td><td colspan="2">26 t/日</td></tr><tr><td>2 次切断</td><td colspan="2">37 t/日</td></tr></table> (注) 1. 桁 1 次切断・撤去の作業は、桁材の撤去及び積み込みである。 2. 2 次切断の作業は、切断、積み込みである。			作 業 名	作業日当り標準作業量		桁 1 次切断・撤去	26 t/日		2 次切断	37 t/日		
作 業 名	作業日当り標準作業量												
桁 1 次切断・撤去	26 t/日												
2 次切断	37 t/日												

工 種 名	設 定 内 容																																																																					
旧橋撤去工	⑦ アスファルト塊運搬																																																																					
	<table><tr><th>DID区間の有無</th><th>運搬距離</th><th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="16">無し</td><td>0.3km 以下</td><td>125</td></tr><tr><td>0.5km 以下</td><td>111</td></tr><tr><td>1.0km 以下</td><td>100</td></tr><tr><td>1.5km 以下</td><td>83</td></tr><tr><td>2.0km 以下</td><td>77</td></tr><tr><td>3.0km 以下</td><td>63</td></tr><tr><td>4.0km 以下</td><td>56</td></tr><tr><td>5.5km 以下</td><td>45</td></tr><tr><td>6.5km 以下</td><td>38</td></tr><tr><td>7.5km 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>9.5km 以下</td><td>29</td></tr><tr><td>11.5km 以下</td><td>26</td></tr><tr><td>15.5km 以下</td><td>21</td></tr><tr><td>22.5km 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>49.5km 以下</td><td>13</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td><td>8</td></tr><tr><td rowspan="15">有り</td><td>0.3km 以下</td><td>125</td></tr><tr><td>0.5km 以下</td><td>111</td></tr><tr><td>1.0km 以下</td><td>100</td></tr><tr><td>1.5km 以下</td><td>83</td></tr><tr><td>2.0km 以下</td><td>77</td></tr><tr><td>3.0km 以下</td><td>63</td></tr><tr><td>3.5km 以下</td><td>56</td></tr><tr><td>5.0km 以下</td><td>45</td></tr><tr><td>6.0km 以下</td><td>38</td></tr><tr><td>7.0km 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>8.5km 以下</td><td>29</td></tr><tr><td>11.0km 以下</td><td>26</td></tr><tr><td>14.0km 以下</td><td>21</td></tr><tr><td>19.5km 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>31.5km 以下</td><td>13</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td><td>8</td></tr></table>	DID区間の有無	運搬距離	作業日当り標準作業量 (m³/日)	無し	0.3km 以下	125	0.5km 以下	111	1.0km 以下	100	1.5km 以下	83	2.0km 以下	77	3.0km 以下	63	4.0km 以下	56	5.5km 以下	45	6.5km 以下	38	7.5km 以下	33	9.5km 以下	29	11.5km 以下	26	15.5km 以下	21	22.5km 以下	17	49.5km 以下	13	60.0km 以下	8	有り	0.3km 以下	125	0.5km 以下	111	1.0km 以下	100	1.5km 以下	83	2.0km 以下	77	3.0km 以下	63	3.5km 以下	56	5.0km 以下	45	6.0km 以下	38	7.0km 以下	33	8.5km 以下	29	11.0km 以下	26	14.0km 以下	21	19.5km 以下	17	31.5km 以下	13	60.0km 以下	8
	DID区間の有無	運搬距離	作業日当り標準作業量 (m³/日)																																																																			
	無し	0.3km 以下	125																																																																			
		0.5km 以下	111																																																																			
		1.0km 以下	100																																																																			
		1.5km 以下	83																																																																			
		2.0km 以下	77																																																																			
		3.0km 以下	63																																																																			
		4.0km 以下	56																																																																			
		5.5km 以下	45																																																																			
		6.5km 以下	38																																																																			
		7.5km 以下	33																																																																			
		9.5km 以下	29																																																																			
		11.5km 以下	26																																																																			
		15.5km 以下	21																																																																			
		22.5km 以下	17																																																																			
		49.5km 以下	13																																																																			
		60.0km 以下	8																																																																			
	有り	0.3km 以下	125																																																																			
		0.5km 以下	111																																																																			
		1.0km 以下	100																																																																			
		1.5km 以下	83																																																																			
		2.0km 以下	77																																																																			
		3.0km 以下	63																																																																			
		3.5km 以下	56																																																																			
		5.0km 以下	45																																																																			
		6.0km 以下	38																																																																			
		7.0km 以下	33																																																																			
		8.5km 以下	29																																																																			
		11.0km 以下	26																																																																			
		14.0km 以下	21																																																																			
		19.5km 以下	17																																																																			
		31.5km 以下	13																																																																			
	60.0km 以下	8																																																																				
	⑧ 床版運搬																																																																					
	<table><tr><th>運搬距離</th><th>作業日当り標準作業量(m³/日)</th></tr><tr><td>0.7km 以下</td><td>50</td></tr><tr><td>2.2km 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>5.0km 以下</td><td>20</td></tr><tr><td>7.9km 以下</td><td>14</td></tr><tr><td>12.1km 以下</td><td>10</td></tr><tr><td>17.8km 以下</td><td>7</td></tr><tr><td>25.0km 以下</td><td>5</td></tr><tr><td>34.9km 以下</td><td>4</td></tr><tr><td>47.8km 以下</td><td>3</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td><td>2</td></tr></table>	運搬距離	作業日当り標準作業量(m³/日)	0.7km 以下	50	2.2km 以下	33	5.0km 以下	20	7.9km 以下	14	12.1km 以下	10	17.8km 以下	7	25.0km 以下	5	34.9km 以下	4	47.8km 以下	3	60.0km 以下	2																																															
運搬距離	作業日当り標準作業量(m³/日)																																																																					
0.7km 以下	50																																																																					
2.2km 以下	33																																																																					
5.0km 以下	20																																																																					
7.9km 以下	14																																																																					
12.1km 以下	10																																																																					
17.8km 以下	7																																																																					
25.0km 以下	5																																																																					
34.9km 以下	4																																																																					
47.8km 以下	3																																																																					
60.0km 以下	2																																																																					

工 種 名	設 定 内 容																					
かご工	① かご工																					
	<table><tr><th>かご種類</th><th>かご寸法</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">じ ゃ か ご</td><td>φ 45cm</td><td>56 m/日</td><td></td></tr><tr><td>φ 60cm</td><td>31 m/日</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">ふ と ん か ご</td><td>高さ 40cm×幅 120cm</td><td>27 m/日</td><td></td></tr><tr><td>高さ 50cm×幅 120cm</td><td>21 m/日</td><td></td></tr><tr><td>高さ 60cm×幅 120cm</td><td>18 m/日</td><td></td></tr></table>	かご種類	かご寸法	作業日当り標準作業量	摘 要	じ ゃ か ご	φ 45cm	56 m/日		φ 60cm	31 m/日		ふ と ん か ご	高さ 40cm×幅 120cm	27 m/日		高さ 50cm×幅 120cm	21 m/日		高さ 60cm×幅 120cm	18 m/日	
	かご種類	かご寸法	作業日当り標準作業量	摘 要																		
	じ ゃ か ご	φ 45cm	56 m/日																			
		φ 60cm	31 m/日																			
	ふ と ん か ご	高さ 40cm×幅 120cm	27 m/日																			
		高さ 50cm×幅 120cm	21 m/日																			
		高さ 60cm×幅 120cm	18 m/日																			
	(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																					
	② 止杭打込																					
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>17 本/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	17 本/日																				
作業日当り標準作業量	17 本/日																					
(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。																						
発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	① 発泡スチロール設置、壁面付発泡スチロール設置及び壁面材設置																					
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>発泡スチロール設置</td><td>39 m³/日</td></tr><tr><td>壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン有り)</td><td>38 m³/日</td></tr><tr><td>壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン無し)</td><td>37 m³/日</td></tr><tr><td>壁 面 材 設 置</td><td>65 m²/日</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	発泡スチロール設置	39 m³/日	壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン有り)	38 m³/日	壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン無し)	37 m³/日	壁 面 材 設 置	65 m²/日											
	作 業 名	作業日当り標準作業量																				
	発泡スチロール設置	39 m³/日																				
	壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン有り)	38 m³/日																				
	壁面付発泡スチロール設置 (ガイドピン無し)	37 m³/日																				
	壁 面 材 設 置	65 m²/日																				
	(注) 1. 発泡スチロールブロックの緊結金具設置作業及び現場での発泡スチロールの加工作業を含む。																					
	2. 壁面付発泡スチロール設置（ガイドピン有り）は、壁面部同士の接続にガイドピンを用いるもので、ガイドピンを用いないものは壁面付発泡スチロール設置（ガイドピン無し）とする。																					
	3. 壁面付発泡スチロール設置（ガイドピン有り）には、ガイドピン等（固定金具）取付作業、目地材の施工を含む。																					
4. 壁面付発泡スチロール設置（ガイドピン無し）には、目地材の施工、壁面の水平垂直調整を含む。ただし、壁面材及び取付金具の取付作業は含まないため、別途考慮する。																						
5. 壁面付発泡スチロールの背面部における発泡スチロールの設置は、発泡スチロール設置による。																						
6. 壁面材設置（簡易な壁体構造の壁面材設置を除く）には壁面材の金具による固定作業及び壁面材頂部に取付ける天端目隠しプレートの取付け作業を含む。																						
② コンクリート床版																						
<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>コンクリートポンプ車打設</td><td>29 m³/日</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	コンクリートポンプ車打設	29 m³/日																		
作 業 名	作業日当り標準作業量																					
コンクリートポンプ車打設	29 m³/日																					
③ 支柱設置																						
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>18 本/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	18 本/日																				
作業日当り標準作業量	18 本/日																					

工 種 名	設 定 内 容																								
発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	④ 裏込砕石（軽量盛土） <table> <tr> <th>付帯工の割合</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>付帯工無し</td><td>38 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.1 以下</td><td>33 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.1 を超え 0.2 以下</td><td>27 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.2 を超え 0.3 以下</td><td>22 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.3 を超え 0.4 以下</td><td>19 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.4 を超え 0.5 以下</td><td>17 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.5 を超え 0.6 以下</td><td>15 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.6 を超え 0.7 以下</td><td>13 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.7 を超え 0.8 以下</td><td>12 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.8 を超え 0.9 以下</td><td>11 m³/日</td></tr> <tr> <td>0.9 を超え 1.0 以下</td><td>10 m³/日</td></tr> </table>	付帯工の割合	作業日当り標準作業量	付帯工無し	38 m ³ /日	0.1 以下	33 m ³ /日	0.1 を超え 0.2 以下	27 m ³ /日	0.2 を超え 0.3 以下	22 m ³ /日	0.3 を超え 0.4 以下	19 m ³ /日	0.4 を超え 0.5 以下	17 m ³ /日	0.5 を超え 0.6 以下	15 m ³ /日	0.6 を超え 0.7 以下	13 m ³ /日	0.7 を超え 0.8 以下	12 m ³ /日	0.8 を超え 0.9 以下	11 m ³ /日	0.9 を超え 1.0 以下	10 m ³ /日
付帯工の割合	作業日当り標準作業量																								
付帯工無し	38 m ³ /日																								
0.1 以下	33 m ³ /日																								
0.1 を超え 0.2 以下	27 m ³ /日																								
0.2 を超え 0.3 以下	22 m ³ /日																								
0.3 を超え 0.4 以下	19 m ³ /日																								
0.4 を超え 0.5 以下	17 m ³ /日																								
0.5 を超え 0.6 以下	15 m ³ /日																								
0.6 を超え 0.7 以下	13 m ³ /日																								
0.7 を超え 0.8 以下	12 m ³ /日																								
0.8 を超え 0.9 以下	11 m ³ /日																								
0.9 を超え 1.0 以下	10 m ³ /日																								
現場取卸工	① 現場取卸工 <table> <tr> <th>作業名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>現場取卸（鋼桁、門扉）</td><td>136 t/日</td></tr> <tr> <td>現場取卸（鋼管杭）</td><td>111 t/日</td></tr> </table>	作業名	作業日当り標準作業量	現場取卸（鋼桁、門扉）	136 t/日	現場取卸（鋼管杭）	111 t/日																		
作業名	作業日当り標準作業量																								
現場取卸（鋼桁、門扉）	136 t/日																								
現場取卸（鋼管杭）	111 t/日																								
骨材再生工（自走式）	① 自走式破砕機設置・撤去工 <table> <tr> <th>作業区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>設置又は撤去</td><td>3.4 回/日</td></tr> <tr> <td>設置・撤去</td><td>1.7 回/日</td></tr> </table> ② 骨材再生工 …… 該当工種の基準内に記載。	作業区分	作業日当り標準作業量	設置又は撤去	3.4 回/日	設置・撤去	1.7 回/日																		
作業区分	作業日当り標準作業量																								
設置又は撤去	3.4 回/日																								
設置・撤去	1.7 回/日																								

工 種 名	設 定 内 容																										
函渠工 (1)	① 函渠 <table> <tr> <th>内空寸法「(幅×高さ)」</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr> <tr> <td>幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満</td><td>2.0 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：2.5m 以上 4.0m 以下かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満</td><td>3.4 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下</td><td>3.5 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：2.5m 以上 4.0m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下</td><td>3 .9 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満</td><td>5.0 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満</td><td>5.9 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満</td><td>6.5 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満</td><td>7.5 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：7.0m 超 8.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下</td><td>8.5 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：8.5m 以上 10.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下</td><td>10.0 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下</td><td>7.2 m³/日</td></tr> <tr> <td>幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下</td><td>8.4 m³/日</td></tr> </table> (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置、撤去・支保設置、撤去 ・目地材設置・止水板設置 2. 上表の作業日当り標準作業量は、作業の重複を考慮した1ブロックでの値であり、工程の算出に当たっては、施工場所、ブロック数を考慮して決定するものとする。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材敷均し・転圧、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式（枠組足場又は手摺先行型枠組足場）にかかわらず適用できる。 4. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 5. 上表の作業日当り標準作業量は、本体コンクリート（函渠、ウイング、段落ち防止枕）換算値である。	内空寸法「(幅×高さ)」	作業日当り 標準作業量	幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満	2.0 m ³ /日	幅：2.5m 以上 4.0m 以下かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満	3.4 m ³ /日	幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下	3.5 m ³ /日	幅：2.5m 以上 4.0m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下	3 .9 m ³ /日	幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満	5.0 m ³ /日	幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満	5.9 m ³ /日	幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満	6.5 m ³ /日	幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満	7.5 m ³ /日	幅：7.0m 超 8.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下	8.5 m ³ /日	幅：8.5m 以上 10.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下	10.0 m ³ /日	幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下	7.2 m ³ /日	幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下	8.4 m ³ /日
内空寸法「(幅×高さ)」	作業日当り 標準作業量																										
幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満	2.0 m ³ /日																										
幅：2.5m 以上 4.0m 以下かつ高さ：1.0m 以上 2.5m 未満	3.4 m ³ /日																										
幅：1.0m 以上 2.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下	3.5 m ³ /日																										
幅：2.5m 以上 4.0m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 以下	3 .9 m ³ /日																										
幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満	5.0 m ³ /日																										
幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：2.5m 以上 4.0m 未満	5.9 m ³ /日																										
幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満	6.5 m ³ /日																										
幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 未満	7.5 m ³ /日																										
幅：7.0m 超 8.5m 未満かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下	8.5 m ³ /日																										
幅：8.5m 以上 10.0m 以下かつ高さ：4.0m 以上 5.5m 以下	10.0 m ³ /日																										
幅：4.0m 以上 5.5m 未満かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下	7.2 m ³ /日																										
幅：5.5m 以上 7.0m 以下かつ高さ：5.5m 以上 7.0m 以下	8.4 m ³ /日																										
函渠工 (2)	① コンクリート（場所打函渠） <table> <tr> <td>作業日当り 標準作業量</td><td>102 m³/日</td></tr> </table>	作業日当り 標準作業量	102 m ³ /日																								
作業日当り 標準作業量	102 m ³ /日																										
函渠工 (3) 大型プレキャストボックスカルバート工	該当工種の基準内に記載。																										

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	① 殻運搬				
	殻発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
	コンクリート (無筋) 構造物 とりこわし	機械積込	無し	1.6 以下	56
				3.3 以下	48
				5.7 以下	40
				8.0 以下	34
				10.9 以下	29
				14.4 以下	25
				18.5 以下	21
				23.2 以下	18
				28.4 以下	16
				34.3 以下	14
				41.3 以下	12
				49.4 以下	10
				58.8 以下	8.6
				60.0 以下	8.3
			有り	1.6 以下	48
				3.3 以下	42
				5.7 以下	34
				8.0 以下	30
				10.9 以下	26
				14.4 以下	22
				18.5 以下	19
				23.2 以下	16
				28.4 以下	14
				34.3 以下	12
				41.3 以下	10
				49.4 以下	8.7
				58.8 以下	7.5
				60.0 以下	7.2

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	殻発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				1.6 以下	45
				3.3 以下	39
				5.7 以下	33
				8.0 以下	28
				10.9 以下	24
				14.4 以下	20
				18.5 以下	17
				23.2 以下	15
				28.4 以下	13
				34.3 以下	11
				41.3 以下	9.5
				49.4 以下	8.1
				58.8 以下	7.0
				60.0 以下	6.8
			有り	1.6 以下	39
				3.3 以下	34
				5.7 以下	28
				8.0 以下	25
				10.9 以下	21
				14.4 以下	18
				18.5 以下	15
				23.2 以下	13
				28.4 以下	11
				34.3 以下	9.6
				41.3 以下	8.2
				49.4 以下	7.1
				58.8 以下	6.1
				60.0 以下	5.9

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	殻発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)
				0.5 以下	70
				1.0 以下	64
				2.0 以下	55
				2.5 以下	48
				3.5 以下	43
				4.5 以下	37
				6.0 以下	32
				7.5 以下	28
				10.0 以下	25
				13.5 以下	20
				19.5 以下	16
				39.0 以下	12
				60.0 以下	8
			無し	0.5 以下	70
				1.0 以下	64
				1.5 以下	55
				2.0 以下	48
				3.0 以下	43
				4.0 以下	37
				5.5 以下	32
				7.0 以下	28
				9.0 以下	25
				12.0 以下	20
				17.5 以下	16
				28.5 以下	12
				60.0 以下	8
		機械積込 (騒音対策不要、 舗装版厚 15cm 超え) または (騒音対策必要)	有り	0.5 以下	70
				1.0 以下	64
				1.5 以下	55
				2.0 以下	48
				3.0 以下	43
				4.0 以下	37
				5.5 以下	32
				7.0 以下	28
				9.0 以下	25
				12.0 以下	20
				17.5 以下	16
				28.5 以下	12
				60.0 以下	8

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	殻発生作業	積込工法区分 機械積込 (騒音対策不要、 舗装版厚 15cm 以下)	DID 区間 の有無 無し	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				0.3 以下	32
				1.5 以下	28
				3.5 以下	25
				6.5 以下	20
				11.5 以下	16
				22.0 以下	12
				60.0 以下	8
			有り	0.3 以下	32
				1.5 以下	28
				3.5 以下	25
				6.0 以下	20
				10.5 以下	16
				19.5 以下	12
				60.0 以下	8
	舗装版破碎	機械積込 (小規模土工)	無し	0.3 以下	17
				1.0 以下	15
				1.5 以下	13
				2.5 以下	11
				3.0 以下	10
				3.5 以下	9
				4.5 以下	8
				5.5 以下	7
				7.0 以下	6
				9.0 以下	5
				12.0 以下	4
				17.0 以下	3
				28.5 以下	3
				60.0 以下	2
			有り	0.3 以下	17
				1.0 以下	15
				1.5 以下	13
				2.5 以下	11
				3.0 以下	10
				3.5 以下	9
				4.5 以下	8
				5.0 以下	7
				6.5 以下	6
				8.0 以下	5
				11.0 以下	4
				15.0 以下	3
				24.0 以下	3
				60.0 以下	2

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)
				0.5 以下	63
				1.0 以下	48
				1.5 以下	42
				2.0 以下	36
				2.5 以下	32
				3.5 以下	29
				4.5 以下	23
				6.0 以下	23
				7.0 以下	18
				8.5 以下	16
				9.0 以下	14
				10.5 以下	13
				13.5 以下	11
				18.0 以下	9
				27.5 以下	7
				60.0 以下	5
			有り	0.5 以下	59
				1.0 以下	48
				1.5 以下	42
				2.0 以下	36
				2.5 以下	30
				3.5 以下	27
				4.0 以下	23
				5.0 以下	22
				6.0 以下	18
				7.0 以下	16
				8.0 以下	14
				9.0 以下	13
				12.0 以下	11
				16.0 以下	9
				23.0 以下	7
				43.0 以下	5
				60.0 以下	4

工 種 名	設 定 内 容												
排水材設置工	① 排水材設置工（構造物背面排水材） <table border="1"> <tr> <th>施工区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>構造物背面排水材</td><td>107 m / 日</td></tr> </table> ② 排水材設置工（水平排水層） <table border="1"> <tr> <th>施工区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>水平排水材</td><td>279 m / 日</td></tr> <tr> <td>フィルター層</td><td>89 m³ / 日</td></tr> </table>	施工区分	作業日当り標準作業量	構造物背面排水材	107 m / 日	施工区分	作業日当り標準作業量	水平排水材	279 m / 日	フィルター層	89 m ³ / 日		
施工区分	作業日当り標準作業量												
構造物背面排水材	107 m / 日												
施工区分	作業日当り標準作業量												
水平排水材	279 m / 日												
フィルター層	89 m ³ / 日												
鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）	① 鋼管・既製コンクリート杭打工 …… 該当工種の計算式（10 本当り施工日数）を参照。 ② 鋼管杭杭頭処理溶接工 <table border="1"> <tr> <th>鋼管杭板厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>8～10mm</td><td>26 m/日</td></tr> <tr> <td>12mm</td><td>15 m/日</td></tr> <tr> <td>14mm・16mm</td><td>8.9 m/日</td></tr> </table>	鋼管杭板厚	作業日当り標準作業量	8～10mm	26 m/日	12mm	15 m/日	14mm・16mm	8.9 m/日				
鋼管杭板厚	作業日当り標準作業量												
8～10mm	26 m/日												
12mm	15 m/日												
14mm・16mm	8.9 m/日												
鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）	該当工種の計算式（10 本当り施工日数）を参照。												
鋼管・既製コンクリート杭打工（回転杭工）	該当工種の計算式（10 本当り施工日数）を参照。												
鋼管ソイルセメント杭工	該当工種の計算式（1 本当り施工時間）を参照。												
場所打杭工（全回転式オールケーシング工）	① 基礎杭工 …… 該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。 ② 杭頭処理 <table border="1"> <tr> <th>設計杭径</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>1,000mm</td><td>5.9 本/日</td></tr> <tr> <td>1,100mm</td><td>5.3 本/日</td></tr> <tr> <td>1,200mm</td><td>4.9 本/日</td></tr> <tr> <td>1,500mm</td><td>3.9 本/日</td></tr> <tr> <td>2,000mm</td><td>2.9 本/日</td></tr> </table>	設計杭径	作業日当り標準作業量	1,000mm	5.9 本/日	1,100mm	5.3 本/日	1,200mm	4.9 本/日	1,500mm	3.9 本/日	2,000mm	2.9 本/日
設計杭径	作業日当り標準作業量												
1,000mm	5.9 本/日												
1,100mm	5.3 本/日												
1,200mm	4.9 本/日												
1,500mm	3.9 本/日												
2,000mm	2.9 本/日												
場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）	① 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工） …… 該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。 ② やぐら設置・撤去 <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr> <tr> <td></td><td>1.0 回/日</td></tr> </table>	作業日当り標準作業量			1.0 回/日								
作業日当り標準作業量													
	1.0 回/日												

工 種 名	設 定 内 容																			
場所打杭工 (ダウンザホール ハンマ工)	① 場所打杭工 (ダウンザホールハンマ工) … 該当工種の計算式 (1 本当り施工日数) を参照。 ② やぐら設置・撤去 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>1.0 回/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	1.0 回/日																	
作業日当り標準作業量	1.0 回/日																			
深礎工	① 掘削土留 … 該当工種の計算式 (1本当り施工日数) を参照。 ② グラウト注入工 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>19 m³/日</td></tr></table> ③ 掘削作業設備組立・解体 (C工法のみ) <table><tr><td>杭 径</td><td>作業日当り標準作業量</td><td>備 考</td></tr><tr><td>1.5m 以上 2.5m 未満</td><td>1.4 本/日</td><td rowspan="3">本 : 深礎杭 1 本当り</td></tr><tr><td>2.5m 以上 3.0m 未満</td><td>1.0 本/日</td></tr><tr><td>3.0m 以上 4.5m 以下</td><td>0.77 本/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	19 m ³ /日	杭 径	作業日当り標準作業量	備 考	1.5m 以上 2.5m 未満	1.4 本/日	本 : 深礎杭 1 本当り	2.5m 以上 3.0m 未満	1.0 本/日	3.0m 以上 4.5m 以下	0.77 本/日							
作業日当り標準作業量	19 m ³ /日																			
杭 径	作業日当り標準作業量	備 考																		
1.5m 以上 2.5m 未満	1.4 本/日	本 : 深礎杭 1 本当り																		
2.5m 以上 3.0m 未満	1.0 本/日																			
3.0m 以上 4.5m 以下	0.77 本/日																			
コンクリート工 (深礎工)	① コンクリート打設 (深礎工) <table><tr><td>打 設 方 法</td><td>設計日打設量区分</td><td>作業日当り 標準打設量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート ポンプ車打設</td><td>10m³ 以上 100m³ 未満</td><td>69 m³/日</td><td></td></tr><tr><td>100m³ 以上 500m³ 未満</td><td>280 m³/日</td><td></td></tr><tr><td>人 力 打 設</td><td>—</td><td>4 m³/日</td><td></td></tr><tr><td>バックホウ (クレーン機能付) 打設</td><td>—</td><td>8 m³/日</td><td></td></tr></table> (注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。	打 設 方 法	設計日打設量区分	作業日当り 標準打設量	摘 要	コンクリート ポンプ車打設	10m ³ 以上 100m ³ 未満	69 m ³ /日		100m ³ 以上 500m ³ 未満	280 m ³ /日		人 力 打 設	—	4 m ³ /日		バックホウ (クレーン機能付) 打設	—	8 m ³ /日	
打 設 方 法	設計日打設量区分	作業日当り 標準打設量	摘 要																	
コンクリート ポンプ車打設	10m ³ 以上 100m ³ 未満	69 m ³ /日																		
	100m ³ 以上 500m ³ 未満	280 m ³ /日																		
人 力 打 設	—	4 m ³ /日																		
バックホウ (クレーン機能付) 打設	—	8 m ³ /日																		
ニューマチックケー ソン工	① 刃口金物据付 … 現場条件により設定 ② 機械掘削 … 該当工種の計算式を参照。 ③ 水荷重 (ポンプによる注排水) 作業 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>50 t/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、特殊作業員 1 名の場合。 ④ ブローパイプバルブ調整 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>0.14 基/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、潜かん工 1 名の場合。 ⑤ 仮設備の組立・解体 … 該当工種の基準内に記載。 ⑥ 送気用配管設備組立・解体 <table><tr><td>管 径</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>100mm</td><td>59 m/日</td></tr><tr><td>150mm</td><td>56 m/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	50 t/日	作業日当り標準作業量	0.14 基/日	管 径	作業日当り標準作業量	100mm	59 m/日	150mm	56 m/日									
作業日当り標準作業量	50 t/日																			
作業日当り標準作業量	0.14 基/日																			
管 径	作業日当り標準作業量																			
100mm	59 m/日																			
150mm	56 m/日																			

工 種 名	設 定 内 容				
ニューマチックケーソン工	⑦ 艀装設備組立・解体（1艀装・1リフト(ポット)）				
	作業日当り標準作業量		1.0 日/1艀装・1リフト(ポット)		
基礎工 (鋼管矢板基礎工)	① 鋼管矢板打込工（打撃工法）・・・ 該当工種の計算式（10本当り施工日数）を参照。 ② 鋼管矢板打込工（中掘工法）・・・ 該当工種の計算式（1本当り施工時間）を参照。 ③ 鋼管内掘削工、鋼管内コンクリート打設工、継手管内排土工、 継手管内モルタル注入工、継手管内止水材注入工、井筒内掘削工、底面均し（敷砂）工 底盤コンクリート打設工、井筒内支保設置・撤去工、井筒内支保間詰コンクリート工 コネクタ取付工（鉄筋スタッド方式・プレートブラケット方式）、 鋼管矢板切断・撤去工 …… 該当工種の基準内に記載。				
杭頭処理工	① 既製コンクリート杭カットオフ工				
	杭 径		作業日当り標準作業量		
	φ 300～450mm		5.9 本/日		
	φ 500～600mm		3.4 本/日		
φ 700～800mm		2.4 本/日			
泥水運搬工	該当工種の基準内に記載。				
コンクリート工	① コンクリート				
	構造物区分	打設方法	設計日 打設量区分	作業日当り 標準打設量	摘要
	無筋・鉄筋構造物	コンクリート	10m ³ 以上100m ³ 未満	69 m ³ /日	
		ポンプ車打設	100m ³ 以上500m ³ 未満	280 m ³ /日	
		人力打設	—	4 m ³ /日	
	小型構造物	クレーン車打設	—	6 m ³ /日	
		人力打設	—	5 m ³ /日	
	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ（クレーン機能付） 打設	—	8 m ³ /日	
	(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。				
	② モルタル練				
混合比		作業日当り標準作業量			
1：3		1.4 m ³ /日			
(注) モルタル練の混合比は1：3（セメント：砂）とする。					

工 種 名	設 定 内 容			
型枠工	① 型枠			
	作 業 名	対象構造物	作業日当り標準作業量	摘 要
	型 枠 の 製 作 ・ 設 置 ・ 撤 去	鉄筋・無筋構造物	38 m ² /日	
		小 型 構 造 物	15 m ² /日	
	② 撤去しない埋設型枠			
	施工区分	作業日当り標準作業量		
	床版部	100 m ² /日		
	支承部・連結部	50 m ² /日		
型枠工（省力化構造）	① 型枠（鉄筋構造）〔省力化構造〕			
	作業日当り標準作業量	31 m ² /日		
張りコンクリート工	① 型枠工			
	対象構造物	作業日当り標準作業量		
	縦排水溝	8 m ² /日		
	小段排水溝	8 m ² /日		
	防草コンクリート	15 m ² /日		
	② コンクリート打設			
	対象構造物	打設方法	作業日当り標準作業量	
	縦排水溝	バックホウ	33 m ² /日	
		ラフテレーンクレーン	43 m ² /日	
	小段排水溝	バックホウ	65 m ² /日	
		ラフテレーンクレーン	85 m ² /日	
	防草コンクリート	バックホウ	113 m ² /日	
		人 力	73 m ² /日	
	(注) 1. 目地材設置は、コンクリート打設工に含む。			
	2. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。			

工 種 名	設 定 内 容																																											
鉄筋工	① 加工																																											
	<table><tr><th>鉄筋径 (mm)</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>10～13</td><td>3.3 t/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>5.0 t/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>6.6 t/日</td></tr><tr><td>35</td><td>7.2 t/日</td></tr><tr><td>38</td><td>7.2 t/日</td></tr><tr><td>41</td><td>7.2 t/日</td></tr><tr><td>51</td><td>9.0 t/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量	10～13	3.3 t/日	16～25	5.0 t/日	29～32	6.6 t/日	35	7.2 t/日	38	7.2 t/日	41	7.2 t/日	51	9.0 t/日																											
	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量																																										
	10～13	3.3 t/日																																										
	16～25	5.0 t/日																																										
	29～32	6.6 t/日																																										
	35	7.2 t/日																																										
	38	7.2 t/日																																										
	41	7.2 t/日																																										
	51	9.0 t/日																																										
② 組立																																												
<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>一般構造物 トンネル内構造物</th><th>橋梁用床板</th><th>場所打 鉄筋かご</th><th>差筋および 杭頭処理</th></tr><tr><td>10～13</td><td>0.8 t/日</td><td>2.2 t/日</td><td>3.3 t/日</td><td>0.7 t/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>1.2 t/日</td><td>3.5 t/日</td><td>5.3 t/日</td><td>1.1 t/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>1.7 t/日</td><td>—</td><td>7.4 t/日</td><td>1.6 t/日</td></tr><tr><td>35</td><td>1.8 t/日</td><td>—</td><td>8.1 t/日</td><td>1.7 t/日</td></tr><tr><td>38</td><td>1.9 t/日</td><td>—</td><td>—</td><td>1.8 t/日</td></tr><tr><td>41</td><td>2.0 t/日</td><td>—</td><td>—</td><td>1.9 t/日</td></tr><tr><td>51</td><td>2.4 t/日</td><td>—</td><td>—</td><td>2.3 t/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量				一般構造物 トンネル内構造物	橋梁用床板	場所打 鉄筋かご	差筋および 杭頭処理	10～13	0.8 t/日	2.2 t/日	3.3 t/日	0.7 t/日	16～25	1.2 t/日	3.5 t/日	5.3 t/日	1.1 t/日	29～32	1.7 t/日	—	7.4 t/日	1.6 t/日	35	1.8 t/日	—	8.1 t/日	1.7 t/日	38	1.9 t/日	—	—	1.8 t/日	41	2.0 t/日	—	—	1.9 t/日	51	2.4 t/日	—	—	2.3 t/日
鉄筋径 (mm)		作業日当り標準作業量																																										
	一般構造物 トンネル内構造物	橋梁用床板	場所打 鉄筋かご	差筋および 杭頭処理																																								
10～13	0.8 t/日	2.2 t/日	3.3 t/日	0.7 t/日																																								
16～25	1.2 t/日	3.5 t/日	5.3 t/日	1.1 t/日																																								
29～32	1.7 t/日	—	7.4 t/日	1.6 t/日																																								
35	1.8 t/日	—	8.1 t/日	1.7 t/日																																								
38	1.9 t/日	—	—	1.8 t/日																																								
41	2.0 t/日	—	—	1.9 t/日																																								
51	2.4 t/日	—	—	2.3 t/日																																								
③ ガス圧接工																																												
<table><tr><th>鉄筋径 (mm)</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>16～25</td><td>132 箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>86 箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>75 箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>69 箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>64 箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>51 箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量	16～25	132 箇所/日	29～32	86 箇所/日	35	75 箇所/日	38	69 箇所/日	41	64 箇所/日	51	51 箇所/日																														
鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量																																											
16～25	132 箇所/日																																											
29～32	86 箇所/日																																											
35	75 箇所/日																																											
38	69 箇所/日																																											
41	64 箇所/日																																											
51	51 箇所/日																																											
④ 機械式継手																																												
<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>グラウト</th><th>ねじ加工</th></tr><tr><td>13</td><td>119 箇所/日</td><td>246 箇所/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>103 箇所/日</td><td>186 箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>90 箇所/日</td><td>156 箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>87 箇所/日</td><td>147 箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>85 箇所/日</td><td>134 箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>82 箇所/日</td><td>134 箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>78 箇所/日</td><td>123 箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量		グラウト	ねじ加工	13	119 箇所/日	246 箇所/日	16～25	103 箇所/日	186 箇所/日	29～32	90 箇所/日	156 箇所/日	35	87 箇所/日	147 箇所/日	38	85 箇所/日	134 箇所/日	41	82 箇所/日	134 箇所/日	51	78 箇所/日	123 箇所/日																		
鉄筋径 (mm)		作業日当り標準作業量																																										
	グラウト	ねじ加工																																										
13	119 箇所/日	246 箇所/日																																										
16～25	103 箇所/日	186 箇所/日																																										
29～32	90 箇所/日	156 箇所/日																																										
35	87 箇所/日	147 箇所/日																																										
38	85 箇所/日	134 箇所/日																																										
41	82 箇所/日	134 箇所/日																																										
51	78 箇所/日	123 箇所/日																																										

工 種 名	設 定 内 容										
パイプロハンマ工	① 継施工なし …… 該当工種の基準内に記載。 ② 継施工あり …… 該当工種の計算式（1日当り継施工枚数及び本数）を参照。										
パイプロハンマ工 （軽量鋼矢板打込引抜工）	該当工種の計算式（1枚当り施工時間）を参照。										
油圧圧入引抜工	① 油圧圧入引抜工 ・継施工なし …… 該当工種の基準内に記載。 ・継施工あり …… 該当工種の計算式（1日当り継施工枚数）を参照。 ② 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入（$N_{max} \leq 25$）</td><td>3.3 回/日</td></tr> <tr> <td>圧入（$N_{max} \leq 50$）</td><td>2.0 回/日</td></tr> <tr> <td>圧入（$50 < N_{max} \leq 600$）</td><td>0.91 回/日</td></tr> <tr> <td>引抜き</td><td>5.3 回/日</td></tr> </tbody> </table>	作業区分	作業日当り標準作業量	圧入（ $N_{max} \leq 25$ ）	3.3 回/日	圧入（ $N_{max} \leq 50$ ）	2.0 回/日	圧入（ $50 < N_{max} \leq 600$ ）	0.91 回/日	引抜き	5.3 回/日
作業区分	作業日当り標準作業量										
圧入（ $N_{max} \leq 25$ ）	3.3 回/日										
圧入（ $N_{max} \leq 50$ ）	2.0 回/日										
圧入（ $50 < N_{max} \leq 600$ ）	0.91 回/日										
引抜き	5.3 回/日										

工 種 名	設 定 内 容			
鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）	該当工種の基準内に記載。			
鋼矢板工（H形鋼）	該当工種の計算式（1 本当り施工時間）を参照。			
仮設材設置撤去工	① 仮設材設置撤去工			
	工 種 名	作業日当り標準作業量		摘 要
		設 置	撤 去	
	切梁・腹起し	6.1 t/日 (10.1 t/日)	10.2 t/日 (18.3 t/日)	
	タイロッド・腹起し	2.0 t/日	4.6 t/日	
	横矢板	24.8 m ² /日	49.3 m ² /日	
	覆工板・覆工板受桁	34 m ² /日	56 m ² /日	設置面積 700m ² 以下
	覆工板	119.3 m ² /日	209.2 m ² /日	設置面積 700m ² を超える
	覆工板受桁	6.2 t/日	10.1 t/日	〃
	(注) 1. 覆工板受桁用桁受の設置・撤去は、覆工板受桁に準ずる。			
2. 切梁・腹起しで、火打ブロックを使用する場合は、（ ）内の値とする。				
足場工	① 足場工			
	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	
	手摺先行型枠組足場設置・撤去		55 掛 m ² /日	
	単管足場設置・撤去		71 掛 m ² /日	
	単管傾斜足場設置・撤去		51 掛 m ² /日	
支保工	① 支保工			
	作 業 種 別	支保耐力 (f)	作業日当り標準作業量	
		f ≦40kN/m ²	27 空 m ³ /日	
		f ≦40kN/m ² (小規模)	34 空 m ³ /日	
	パイプサポート支保設置・撤去	40kN/m ² < f ≦60kN/m ²	15 空 m ³ /日	
		くさび結合支保設置・撤去	f ≦40kN/m ²	67 空 m ³ /日
			40kN/m ² < f ≦80kN/m ²	37 空 m ³ /日
締切排水工		① ポンプ据付・撤去		
	作業日当り標準作業量	1.7 箇所/日		
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、ポンプ運転は含まれていない。			
ウエルポイント工	① ウェルポイント工			
	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要	
	ウェルポイント設置 (サンドフィルター無)	施工規模100本未満 37本/日 施工規模100本以上 43本/日		
	ウェルポイント設置 (サンドフィルター有)	施工規模100本未満 37本/日 施工規模100本以上 43本/日		
	ウェルポイント撤去	施工規模100本未満 56本/日 施工規模100本以上 83本/日		
	ウェルポイントポンプ設置	3 組/日		
	ウェルポイントポンプ撤去	10 組/日		

工 種 名	設 定 内 容																																						
土のう工	① 土のう積工 <table><tr><th>作業内容</th><th>作業内容</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="3">小口並べ</td><td>製作、積立、撤去</td><td>4.4 m²/日</td></tr><tr><td>製作、積立</td><td>5.9 m²/日</td></tr><tr><td>撤去</td><td>16 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="3">側面並べ</td><td>製作、積立、撤去</td><td>5.3 m²/日</td></tr><tr><td>製作、積立</td><td>7.2 m²/日</td></tr><tr><td>撤去</td><td>20 m²/日</td></tr></table>	作業内容	作業内容	作業日当り標準作業量	小口並べ	製作、積立、撤去	4.4 m ² /日	製作、積立	5.9 m ² /日	撤去	16 m ² /日	側面並べ	製作、積立、撤去	5.3 m ² /日	製作、積立	7.2 m ² /日	撤去	20 m ² /日																					
作業内容	作業内容	作業日当り標準作業量																																					
小口並べ	製作、積立、撤去	4.4 m ² /日																																					
	製作、積立	5.9 m ² /日																																					
	撤去	16 m ² /日																																					
側面並べ	製作、積立、撤去	5.3 m ² /日																																					
	製作、積立	7.2 m ² /日																																					
	撤去	20 m ² /日																																					
大型土のう工	該当工種の基準内に記載。																																						
仮橋・仮栈橋工	① 仮橋・仮栈橋工 設置・撤去 <table><tr><th rowspan="2">工 程</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>設 置</th><th>撤 去</th></tr><tr><td>上 部（H 形 鋼 主 桁）</td><td>12 t/日</td><td>14 t/日</td><td>主桁、横桁の質量</td></tr><tr><td>上 部（仮 設 鋳 桁）</td><td>10 t/日</td><td>12 t/日</td><td>〃</td></tr><tr><td>覆 工 板</td><td>97 m²/日</td><td>151 m²/日</td><td>覆工板の面積</td></tr><tr><td>高 欄（ガードレール型）</td><td>23 m/日</td><td>38 m/日</td><td>高欄の延長</td></tr><tr><td>高 欄（単管パイプ型）</td><td>41 m/日</td><td>78 m/日</td><td>〃</td></tr><tr><td>橋 脚</td><td>6 t/日</td><td>8 t/日</td><td>注）2</td></tr><tr><td>杭 橋 脚</td><td>7 t/日</td><td>12 t/日</td><td>注）3</td></tr><tr><td>導 枠</td><td colspan="2">23 本/日（設置・撤去）</td><td>本：杭橋脚打込 1 本当り</td></tr></table> （注）1. 覆工板は、路面のすり付作業を含まない。 2. 対象質量は、橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。 3. 対象質量は、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。 ② 杭橋脚打込み・引抜き …… 該当工種の基準内に記載。	工 程	作業日当り標準作業量		摘 要	設 置	撤 去	上 部（H 形 鋼 主 桁）	12 t/日	14 t/日	主桁、横桁の質量	上 部（仮 設 鋳 桁）	10 t/日	12 t/日	〃	覆 工 板	97 m ² /日	151 m ² /日	覆工板の面積	高 欄（ガードレール型）	23 m/日	38 m/日	高欄の延長	高 欄（単管パイプ型）	41 m/日	78 m/日	〃	橋 脚	6 t/日	8 t/日	注）2	杭 橋 脚	7 t/日	12 t/日	注）3	導 枠	23 本/日（設置・撤去）		本：杭橋脚打込 1 本当り
工 程	作業日当り標準作業量		摘 要																																				
	設 置	撤 去																																					
上 部（H 形 鋼 主 桁）	12 t/日	14 t/日	主桁、横桁の質量																																				
上 部（仮 設 鋳 桁）	10 t/日	12 t/日	〃																																				
覆 工 板	97 m ² /日	151 m ² /日	覆工板の面積																																				
高 欄（ガードレール型）	23 m/日	38 m/日	高欄の延長																																				
高 欄（単管パイプ型）	41 m/日	78 m/日	〃																																				
橋 脚	6 t/日	8 t/日	注）2																																				
杭 橋 脚	7 t/日	12 t/日	注）3																																				
導 枠	23 本/日（設置・撤去）		本：杭橋脚打込 1 本当り																																				
汚濁防止フェンス工	① 汚濁防止フェンス工 <table><tr><th>作 業 区 分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>汚濁防止フェンス設置</td><td>77 m/日</td></tr><tr><td>汚濁防止フェンス撤去</td><td>111 m/日</td></tr></table>	作 業 区 分	作業日当り標準作業量	汚濁防止フェンス設置	77 m/日	汚濁防止フェンス撤去	111 m/日																																
作 業 区 分	作業日当り標準作業量																																						
汚濁防止フェンス設置	77 m/日																																						
汚濁防止フェンス撤去	111 m/日																																						
仮囲い設置撤去工	該当工種の基準内に記載。																																						

工 種 名	設 定 内 容		
雪寒仮囲い工	① 雪寒仮囲い工		
	タ イ プ		作業日当り標準作業量
			設置・撤去
	Pタイプ	－	83 ㎡/日
	W・PWタイプ	枠組足場部	45 ㎡/日
		枠組足場以外	83 ㎡/日
	② 除雪工		
	区 分		作業日当り標準作業量
	積雪深 5cm 以上 30cm 以下		29 ㎡³/日
	積雪深 30cm 超		24 ㎡³/日
(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。			
切土及び発破防護柵工	該当工種の基準内に記載。		
濁水処理工 (一般土木工事)	① 濁水処理設備設置撤去		
	濁水処理設備能力	作業日当り標準作業量	
		設置	撤去
	30～60㎡³/h	0.42 箇所/日	0.77 箇所/日
敷鉄板設置・撤去工	該当工種の基準内に記載。		
防塵処理工	該当工種の計算式（1 日・1 台当り作業時間）を参照。		
法面工 (仮設用モルタル吹付工)	① 仮設用モルタル吹付工		
	作業日当り標準作業量	145 ㎡²/日	
	(注) 1. 目地、水抜きパイプの設置作業を含む。 2. 法面清掃、ラス張工は含まない。		

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固めブロック工	① 消波根固めブロック製作			
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
	2.5t以下	0.17m ³ 以上0.23m ³ 以下	2.00m ² 以上2.20m ² 以下	22
			2.20m ² を超え2.40m ² 以下	20
			2.40m ² を超え2.60m ² 以下	19
			2.60m ² を超え2.80m ² 以下	18
			2.80m ² を超え3.00m ² 以下	16
		0.23m ³ を超え0.28m ³ 以下	2.20m ² 以上2.43m ² 以下	19
			2.43m ² を超え2.66m ² 以下	18
			2.66m ² を超え2.89m ² 以下	17
			2.89m ² を超え3.12m ² 以下	15
			3.12m ² を超え3.35m ² 以下	15
		0.28m ³ を超え0.33m ³ 以下	2.37m ² 以上2.64m ² 以下	18
			2.64m ² を超え2.91m ² 以下	16
			2.91m ² を超え3.18m ² 以下	15
			3.18m ² を超え3.45m ² 以下	14
			3.45m ² を超え3.72m ² 以下	13
		0.33m ³ を超え0.39m ³ 以下	2.59m ² 以上2.90m ² 以下	16
			2.90m ² を超え3.21m ² 以下	15
			3.21m ² を超え3.52m ² 以下	13
			3.52m ² を超え3.83m ² 以下	12
			3.83m ² を超え4.14m ² 以下	12
		0.39m ³ を超え0.45m ³ 以下	2.81m ² 以上3.16m ² 以下	15
			3.16m ² を超え3.51m ² 以下	13
			3.51m ² を超え3.86m ² 以下	12
			3.86m ² を超え4.21m ² 以下	11
			4.21m ² を超え4.56m ² 以下	10
			4.56m ² を超え4.91m ² 以下	9.8
		0.45m ³ を超え0.51m ³ 以下	3.04m ² 以上3.43m ² 以下	13
			3.43m ² を超え3.82m ² 以下	12
			3.82m ² を超え4.21m ² 以下	11
			4.21m ² を超え4.60m ² 以下	10
			4.60m ² を超え4.99m ² 以下	9.5
			4.99m ² を超え5.38m ² 以下	8.9
			5.38m ² を超え5.77m ² 以下	8.4
			5.77m ² を超え6.16m ² 以下	7.9

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固めブロック工	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
	2. 5t以下	0. 51m ³ を超え 0. 57m ³ 以下	3. 25m ² 以上 3. 69m ² 以下	12
			3. 69m ² を超え 4. 12m ² 以下	11
			4. 12m ² を超え 4. 55m ² 以下	10
			4. 55m ² を超え 4. 98m ² 以下	9. 4
			4. 98m ² を超え 5. 41m ² 以下	8. 8
		0. 57m ³ を超え 0. 64m ³ 以下	3. 50m ² 以上 3. 96m ² 以下	11
			3. 96m ² を超え 4. 42m ² 以下	10
			4. 42m ² を超え 4. 88m ² 以下	9. 5
			4. 88m ² を超え 5. 34m ² 以下	8. 8
			5. 34m ² を超え 5. 80m ² 以下	8. 1
		0. 64m ³ を超え 0. 71m ³ 以下	3. 75m ² 以上 4. 27m ² 以下	10
			4. 27m ² を超え 4. 78m ² 以下	9. 5
			4. 78m ² を超え 5. 29m ² 以下	8. 7
			5. 29m ² を超え 5. 8m ² 以下	8. 0
			5. 8m ² を超え 6. 31m ² 以下	7. 4
		0. 71m ³ を超え 0. 79m ³ 以下	4. 06m ² 以上 4. 62m ² 以下	9. 7
			4. 62m ² を超え 5. 18m ² 以下	8. 8
			5. 18m ² を超え 5. 74m ² 以下	8. 0
			5. 74m ² を超え 6. 30m ² 以下	7. 4
			6. 30m ² を超え 6. 86m ² 以下	6. 8
		0. 79m ³ を超え 0. 86m ³ 以下	4. 28m ² 以上 4. 90m ² 以下	9. 1
			4. 90m ² を超え 5. 52m ² 以下	8. 2
			5. 52m ² を超え 6. 14m ² 以下	7. 5
			6. 14m ² を超え 6. 76m ² 以下	6. 9
			6. 76m ² を超え 7. 38m ² 以下	6. 3
		0. 86m ³ を超え 0. 94m ³ 以下	7. 38m ² を超え 8. 00m ² 以下	5. 9
			4. 58m ² 以上 5. 26m ² 以下	8. 4
			5. 26m ² を超え 5. 93m ² 以下	7. 6
			5. 93m ² を超え 6. 60m ² 以下	6. 9
			6. 60m ² を超え 7. 27m ² 以下	6. 4
		0. 94m ³ を超え 1. 04m ³ 以下	7. 27m ² を超え 7. 94m ² 以下	5. 9
			4. 92m ² 以上 5. 66m ² 以下	7. 8
			5. 66m ² を超え 6. 39m ² 以下	7. 0
			6. 39m ² を超え 7. 12m ² 以下	6. 4
			7. 12m ² を超え 7. 85m ² 以下	5. 9
			7. 85m ² を超え 8. 58m ² 以下	5. 4
			8. 58m ² を超え 9. 31m ² 以下	5. 1
		1. 04m ³ を超え 1. 13m ³ 以下	9. 31m ² を超え 10. 04m ² 以下	4. 7
			5. 25m ² 以上 6. 05m ² 以下	7. 3
6. 05m ² を超え 6. 84m ² 以下			6. 5	
6. 84m ² を超え 7. 63m ² 以下	5. 9			
	7. 63m ² を超え 8. 42m ² 以下	5. 5		
	8. 42m ² を超え 9. 21m ² 以下	5. 0		

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固めブロック工	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
			5.14m ² 以上 5.94m ² 以下	11
			5.94m ² を超え 6.73m ² 以下	9.5
			6.73m ² を超え 7.52m ² 以下	8.7
			7.52m ² を超え 8.31m ² 以下	8.0
			8.31m ² を超え 9.10m ² 以下	7.4
		1.05m ³ 以上 1.15m ³ 以下	5.35m ² 以上 6.21m ² 以下	10
			6.21m ² を超え 7.06m ² 以下	9.0
			7.06m ² を超え 7.91m ² 以下	8.2
			7.91m ² を超え 8.76m ² 以下	7.5
			8.76m ² を超え 9.61m ² 以下	7.0
		1.15m ³ を超え 1.25m ³ 以下	5.58m ² 以上 6.50m ² 以下	9.5
			6.50m ² を超え 7.41m ² 以下	8.5
			7.41m ² を超え 8.32m ² 以下	7.7
			8.32m ² を超え 9.23m ² 以下	7.1
			9.23m ² を超え 10.14m ² 以下	6.6
		1.25m ³ を超え 1.37m ³ 以下	5.87m ² 以上 6.83m ² 以下	8.9
			6.83m ² を超え 7.80m ² 以下	8.0
			7.80m ² を超え 8.77m ² 以下	7.3
			8.77m ² を超え 9.74m ² 以下	6.7
		1.37m ³ を超え 1.48m ³ 以下	9.74m ² を超え 10.71m ² 以下	6.2
			6.04m ² 以上 7.08m ² 以下	8.5
			7.08m ² を超え 8.12m ² 以下	7.6
			8.12m ² を超え 9.16m ² 以下	6.9
		1.48m ³ を超え 1.61m ³ 以下	9.16m ² を超え 10.20m ² 以下	6.4
			10.20m ² を超え 11.24m ² 以下	5.9
			11.24m ² を超え 12.28m ² 以下	5.4
			6.34m ² 以上 7.46m ² 以下	8.0
		1.61m ³ を超え 1.73m ³ 以下	7.46m ² を超え 8.58m ² 以下	7.2
			8.58m ² を超え 9.70m ² 以下	6.5
			9.70m ² を超え 10.82m ² 以下	6.0
			10.82m ² を超え 11.94m ² 以下	5.5
		1.73m ³ を超え 1.87m ³ 以下	6.61m ² 以上 7.81m ² 以下	7.6
			7.81m ² を超え 9.00m ² 以下	6.8
			9.00m ² を超え 10.19m ² 以下	6.2
			10.19m ² を超え 11.38m ² 以下	5.6
		1.87m ³ を超え 2.01m ³ 以下	11.38m ² を超え 12.57m ² 以下	5.2
			6.91m ² 以上 8.19m ² 以下	7.2
			8.19m ² を超え 9.46m ² 以下	6.4
			9.46m ² を超え 10.73m ² 以下	5.8
			10.73m ² を超え 12.00m ² 以下	5.3
			12.00m ² を超え 13.27m ² 以下	4.9
			13.27m ² を超え 14.54m ² 以下	4.6
			14.54m ² を超え 15.81m ² 以下	4.2

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固めブロック工	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
	2.5tを超え 5.5t以下	2.01m ³ を超え 2.17m ³ 以下	7.24m ² 以上 8.60m ² 以下	6.8
			8.60m ² を超え 9.95m ² 以下	6.1
			9.95m ² を超え 11.30m ² 以下	5.5
			11.30m ² を超え 12.65m ² 以下	5.0
			12.65m ² を超え 14.00m ² 以下	4.6
		2.17m ³ を超え 2.33m ³ 以下	7.53m ² 以上 8.99m ² 以下	6.5
			8.99m ² を超え 10.45m ² 以下	5.8
			10.45m ² を超え 11.91m ² 以下	5.2
			11.91m ² を超え 13.37m ² 以下	4.8
			13.37m ² を超え 14.83m ² 以下	4.4
		2.33m ³ を超え 2.51m ³ 以下	7.95m ² 以上 9.49m ² 以下	6.1
			9.49m ² を超え 11.02m ² 以下	5.4
			11.02m ² を超え 12.55m ² 以下	4.9
			12.55m ² を超え 14.08m ² 以下	4.5
			14.08m ² を超え 15.61m ² 以下	4.1
	5.5tを超え 11.0t以下	2.20m ³ 以上 2.40m ³ 以下	10.01m ² 以上 11.59m ² 以下	5.5
			11.59m ² を超え 13.15m ² 以下	4.9
			13.15m ² を超え 14.73m ² 以下	4.5
		2.40m ³ を超え 2.60m ³ 以下	10.38m ² 以上 12.08m ² 以下	5.2
			12.08m ² を超え 13.76m ² 以下	4.7
			13.76m ² を超え 15.46m ² 以下	4.2
		2.60m ³ を超え 2.80m ³ 以下	10.74m ² 以上 12.56m ² 以下	5.0
			12.56m ² を超え 14.36m ² 以下	4.4
			14.36m ² を超え 16.18m ² 以下	4.0
		2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	11.12m ² 以上 13.04m ² 以下	4.7
			13.04m ² を超え 14.96m ² 以下	4.2
			14.96m ² を超え 16.88m ² 以下	3.8
		3.00m ³ を超え 3.22m ³ 以下	11.51m ² 以上 13.53m ² 以下	4.5
			13.53m ² を超え 15.55m ² 以下	4.1
			15.55m ² を超え 17.57m ² 以下	3.7
		3.22m ³ を超え 3.45m ³ 以下	17.57m ² を超え 19.59m ² 以下	3.4
			11.94m ² 以上 14.10m ² 以下	4.3
			14.10m ² を超え 16.24m ² 以下	3.9
			16.24m ² を超え 18.40m ² 以下	3.5
		3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	12.23m ² 以上 14.51m ² 以下	4.1
			14.51m ² を超え 16.79m ² 以下	3.7
			16.79m ² を超え 19.07m ² 以下	3.3

工 種 名	設 定 内 容				
消波根固めブロック工	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)	
	5.5tを超え 11.0t以下	3.70m³を超え3.96m³以下	12.86m²以上15.28m²以下	3.9	
			15.28m²を超え17.70m²以下	3.5	
			17.70m²を超え20.12m²以下	3.2	
		3.96m³を超え 4.23m³以下	13.33m²以上 15.93m²以下	3.7	
			15.93m²を超え 18.51m²以下	3.3	
			18.51m²を超え 21.11m²以下	3.0	
			21.11m²を超え 23.71m²以下	2.7	
		4.23m³を超え 4.53m³以下	13.87m²以上 16.61m²以下	3.6	
			16.61m²を超え 19.35m²以下	3.2	
			19.35m²を超え 22.09m²以下	2.9	
			22.09m²を超え 24.83m²以下	2.6	
		4.53m³を超え 4.84m³以下	14.45m²以上 17.37m²以下	3.4	
			17.37m²を超え 20.27m²以下	3.0	
			20.27m²を超え 23.19m²以下	2.7	
	(参考) 各作業単独の場合の作業量				
	(1) ブロック製作（型枠工）				
	区 分		作業日当り標準作業量		摘 要
			組 立	脱 型	
	2.5t 以下		94 m²/日	119 m²/日	バックホウ使用
	2.5t を超え 11.0t 以下		146 m²/日	171 m²/日	
	(2) ブロック製作（コンクリート工）				
	区 分		作業日当り標準作業量		摘 要
2.5t 以下		36 m³/日		バックホウ打設	
2.5t を超え 5.5t 以下		45 m³/日			
5.5t を超え 11.0t 以下		50 m³/日			
② 消波根固めブロック横取り・積込み・荷卸・据付け					
作業区分		作業日当り標準作業量			
		2.5t 以下	2.5t を超え 5.5t 以下	5.5t を超え 11.0t 以下	
横取り		64 個/日	61 個/日	42 個/日	
積込み		67 個/日	52 個/日	46 個/日	
荷卸		70 個/日	67 個/日	55 個/日	
据付け（乱積）		59 個/日	54 個/日	43 個/日	
据付け（層積）		44 個/日	36 個/日	32 個/日	

工 種 名	設 定 内 容					
消波根固めブロック工	③ 消波根固めブロック運搬					
	作業日当り標準作業量（個/日）					
	ブロック規格	2.5t 以下				
	積載個数	1 個/台			2 個/台	
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)	積込・荷卸	積込・据付(乱積)
	0.5km 以下	22	21	18	24	22
	1.0km 以下	21	19	17	23	21
	1.5km 以下	18	17	15	21	20
	2.0km 以下	17	16	14	21	19
	2.5km 以下	15	14	13	19	18
	3.0km 以下	14	13	12	18	17
	3.5km 以下	13	12	11	17	16
	4.0km 以下	12	11	10	16	15
	4.5km 以下	11	11	10	16	15
	5.0km 以下	11	10	9.4	15	14
	5.5km 以下	9.8	9.5	8.8	14	14
	6.0km 以下	9.5	9.2	8.6	14	13
	6.5km 以下	8.9	8.6	8.1	13	13
	7.0km 以下	8.4	8.1	7.6	13	12
	7.5km 以下	8.1	7.9	7.4	12	12
	8.5km 以下	7.9	7.7	7.2	12	12
	9.5km 以下	7.3	7.1	6.7	11	11
	10.5km 以下	6.8	6.6	6.3	11	10
	11.5km 以下	6.2	6.0	5.8	10	9.7
	12.5km 以下	5.8	5.7	5.4	9.5	9.2
	14.0km 以下	5.5	5.4	5.1	9.0	8.8
	15.0km 以下	5.0	4.9	4.7	8.4	8.1
	積載個数	3 個/台			4 個/台	
	0.5km 以下	25	23	19	25	23
	1.0km 以下	24	22	19	25	23
	1.5km 以下	23	21	18	24	22
	2.0km 以下	22	21	18	23	21
	2.5km 以下	21	20	17	22	21
	3.0km 以下	20	19	16	21	20
	3.5km 以下	20	18	16	21	20
	4.0km 以下	19	18	15	20	19
	4.5km 以下	18	17	15	20	19
	5.0km 以下	18	17	15	19	18
	5.5km 以下	17	16	14	19	17
	6.0km 以下	17	16	14	18	17
	6.5km 以下	16	15	13	18	17
	7.0km 以下	15	15	13	17	16
	7.5km 以下	15	14	13	17	16
	8.5km 以下	15	14	13	17	16
	9.5km 以下	14	13	12	16	15
	10.5km 以下	13	13	12	15	14
	11.5km 以下	13	12	11	14	14
	12.5km 以下	12	12	11	14	13
	14.0km 以下	12	11	10	13	13
	15.0km 以下	11	10	9.6	13	12

工 種 名	設 定 内 容					
消波根固めブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）					
	ブロック規格	2.5t 以下				
	積載個数	5 個/台			6 個/台	
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)	積込・荷卸	積込・据付(乱積)
	0.5km 以下	25	23	20	26	23
	1.0km 以下	25	23	19	25	23
	1.5km 以下	24	22	19	24	22
	2.0km 以下	24	22	19	24	22
	2.5km 以下	23	21	18	23	22
	3.0km 以下	22	21	18	23	21
	3.5km 以下	22	20	18	22	21
	4.0km 以下	21	20	17	22	20
	4.5km 以下	21	19	17	22	20
	5.0km 以下	20	19	16	21	20
	5.5km 以下	20	18	16	21	19
	6.0km 以下	19	18	16	20	19
	6.5km 以下	19	18	16	20	19
	7.0km 以下	18	17	15	19	18
	7.5km 以下	18	17	15	19	18
	8.5km 以下	18	17	15	19	18
	9.5km 以下	17	16	14	18	17
	10.5km 以下	17	16	14	18	17
	11.5km 以下	16	15	13	17	16
	12.5km 以下	15	15	13	17	16
	14.0km 以下	15	14	13	16	15
	15.0km 以下	14	13	12	15	13
	積載個数	7 個/台			8 個/台	
	0.5km 以下	26	24	20	26	24
	1.0km 以下	25	23	20	25	23
	1.5km 以下	25	23	19	25	23
	2.0km 以下	24	22	19	25	23
	2.5km 以下	24	22	19	24	22
	3.0km 以下	23	21	18	24	22
	3.5km 以下	23	21	18	23	22
	4.0km 以下	22	21	18	23	21
	4.5km 以下	22	21	18	23	21
	5.0km 以下	22	20	17	22	21
	5.5km 以下	21	20	17	22	20
	6.0km 以下	21	20	17	22	20
	6.5km 以下	21	19	17	21	20
	7.0km 以下	20	19	16	21	19
	7.5km 以下	20	19	16	21	19
	8.5km 以下	20	18	16	20	19
	9.5km 以下	19	18	16	20	19
	10.5km 以下	19	17	15	19	18
	11.5km 以下	18	17	15	19	18
	12.5km 以下	17	16	15	18	17
	14.0km 以下	17	16	14	18	17
	15.0km 以下	16	15	14	17	16

工 種 名	設 定 内 容					
消波根固めブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）					
	ブロック規格	2.5t 以下				
	積載個数	9 個/台			10 個/台	
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)	積込・荷卸	積込・据付(乱積)
	0.5km 以下	26	24	20	26	24
	1.0km 以下	26	23	20	26	24
	1.5km 以下	25	23	20	25	23
	2.0km 以下	25	23	19	25	23
	2.5km 以下	24	22	19	25	23
	3.0km 以下	24	22	19	24	22
	3.5km 以下	24	22	19	24	22
	4.0km 以下	23	21	18	24	22
	4.5km 以下	23	21	18	23	22
	5.0km 以下	23	21	18	23	21
	5.5km 以下	22	21	18	23	21
	6.0km 以下	22	20	18	22	21
	6.5km 以下	22	20	17	22	20
	7.0km 以下	21	20	17	22	20
	7.5km 以下	21	20	17	22	20
	8.5km 以下	21	19	17	21	20
	9.5km 以下	20	19	17	21	19
	10.5km 以下	20	19	16	20	19
	11.5km 以下	19	18	16	20	19
	12.5km 以下	19	18	16	19	18
	14.0km 以下	18	17	15	19	18
	15.0km 以下	18	17	15	18	17
	積載個数	11 個以上 15 個以下/台			15 個を超え 23 個以下/台	
	0.5km 以下	26	24	20	26	24
	1.0km 以下	26	24	20	26	24
	1.5km 以下	25	23	20	26	24
	2.0km 以下	25	23	20	26	23
	2.5km 以下	25	23	19	25	23
	3.0km 以下	25	23	19	25	23
	3.5km 以下	24	22	19	25	23
	4.0km 以下	24	22	19	25	23
	4.5km 以下	24	22	19	25	23
	5.0km 以下	24	22	19	24	22
	5.5km 以下	23	22	18	24	22
	6.0km 以下	23	21	18	24	22
	6.5km 以下	23	21	18	24	22
	7.0km 以下	23	21	18	24	22
	7.5km 以下	22	21	18	24	22
	8.5km 以下	22	21	18	23	22
	9.5km 以下	22	20	18	23	21
	10.5km 以下	22	20	17	23	21
	11.5km 以下	21	20	17	22	21
	12.5km 以下	21	19	17	22	21
	14.0km 以下	20	19	17	22	20
	15.0km 以下	20	19	16	21	20

工 種 名	設 定 内 容					
消波根固めブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）					
	ブロック規格	2.5t を超え 5.5t 以下				
	積載個数	1 個/台			2 個/台	
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)	積込・荷卸	積込・据付(乱積)
	0.5km 以下	19	18	15	21	19
	1.0km 以下	18	17	14	20	18
	1.5km 以下	16	15	13	19	17
	2.0km 以下	15	14	12	18	17
	2.5km 以下	14	13	11	17	16
	3.0km 以下	13	12	10	16	15
	3.5km 以下	12	11	10	16	15
	4.0km 以下	11	11	9.4	15	14
	4.5km 以下	11	10	9.1	14	14
	5.0km 以下	9.9	9.5	8.5	14	13
	5.5km 以下	9.2	8.9	8.0	13	12
	6.0km 以下	9.0	8.6	7.8	13	12
	6.5km 以下	8.4	8.1	7.4	12	12
	7.0km 以下	7.9	7.7	7.0	12	11
	7.5km 以下	7.7	7.5	6.9	12	11
	8.5km 以下	7.5	7.3	6.7	11	11
	9.5km 以下	7.0	6.7	6.3	11	10
	10.5km 以下	6.5	6.3	5.9	10	9.6
	11.5km 以下	5.9	5.8	5.4	9.4	9.0
	12.5km 以下	5.6	5.4	5.1	9.0	8.6
	14.0km 以下	5.3	5.1	4.9	8.5	8.2
	15.0km 以下	4.8	4.7	4.5	7.9	7.7
	積載個数	3 個/台			4 個/台	
	0.5km 以下	21	19	16	22	20
	1.0km 以下	21	19	16	21	19
	1.5km 以下	20	18	15	21	19
	2.0km 以下	19	18	15	20	18
	2.5km 以下	19	17	14	19	18
	3.0km 以下	18	16	14	19	17
	3.5km 以下	17	16	14	18	17
	4.0km 以下	17	16	13	18	17
	4.5km 以下	16	15	13	18	16
	5.0km 以下	16	15	13	17	16
	5.5km 以下	15	14	12	17	15
	6.0km 以下	15	14	12	16	15
	6.5km 以下	14	14	12	16	15
	7.0km 以下	14	13	11	15	14
	7.5km 以下	14	13	11	15	14
	8.5km 以下	14	13	11	15	14
	9.5km 以下	13	12	11	14	14
	10.5km 以下	12	12	10	14	13
	11.5km 以下	12	11	9.8	13	13
	12.5km 以下	11	11	9.5	13	12
	14.0km 以下	11	10	9.2	12	12
	15.0km 以下	10	9.7	8.7	12	11

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固めブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	5.5t を超え 11.0t 以下					
	積載個数	1 個/台			2 個/台		
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)	積込・荷卸	積込・据付(乱積)	積込・据付(層積)
	0.5km 以下	17	15	13	18	16	14
	1.0km 以下	16	14	13	18	16	13
	1.5km 以下	14	13	12	16	15	13
	2.0km 以下	14	12	11	16	14	13
	2.5km 以下	12	11	10	15	14	12
	3.0km 以下	11	11	9.6	14	13	12
	3.5km 以下	11	10	9.2	14	13	11
	4.0km 以下	10	9.5	8.7	13	12	11
	4.5km 以下	9.9	9.2	8.4	13	12	11
	5.0km 以下	9.2	8.7	7.9	12	11	10
	5.5km 以下	8.7	8.1	7.5	12	11	9.9
	6.0km 以下	8.4	7.9	7.3	12	11	9.7
	6.5km 以下	7.9	7.5	7.0	11	10	9.4
	7.0km 以下	7.5	7.1	6.6	11	10	9.1
	7.5km 以下	7.3	6.9	6.5	11	9.9	9.0
	8.5km 以下	7.1	6.8	6.3	10	9.7	8.8
	9.5km 以下	6.6	6.3	5.9	9.9	9.2	8.4
	10.5km 以下	6.2	5.9	5.6	9.4	8.8	8.1
	11.5km 以下	5.7	5.5	5.2	8.8	8.3	7.6
	12.5km 以下	5.4	5.2	4.9	8.4	7.9	7.3
	14.0km 以下	5.1	4.9	4.7	8.0	7.6	7.0
	15.0km 以下	4.7	4.5	4.3	7.5	7.1	6.6
	消波根固めブロック工 （ブロック撤去工）	① 根固めブロック撤去					
作業区分		作業日当り標準作業量			摘 要		
撤去・仮置き		49(36) 個/日			堆砂がある場合は （ ）の作業量とする。		
撤去・ 据付け	乱積	75(60) 個/日					
	層積	53(42) 個/日					
撤去・積込み		73(58) 個/日					
捨石工	① 捨石工						
作業名		最大作業半径及び設置高さ				作業日当り標準作業量	
捨石投入	最大作業半径 7m 以下かつ設置高さ-5m 以上				72 m³/日		
	最大作業半径 7m を超え 12m 以下かつ設置高さ-7m 以上				53 m³/日		
	最大作業半径 12m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 以上				42 m³/日		
	最大作業半径 7m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 未満				64 m³/日		
	最大作業半径 15m を超え 24m 以下				64 m³/日		
表面均し	最大作業半径 7m 以下かつ設置高さ-5m 以上				56 m³/日		
	最大作業半径 7m を超え 12m 以下かつ設置高さ-7m 以上				50 m³/日		
	最大作業半径 12m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 以上				45 m³/日		
	最大作業半径 15m を超え 24m 以下かつ設置高さ-5m 以上				56 m³/日		

工 種 名	設 定 内 容																						
消波工	① 捨石工（捨石均し） …… 該当工種の基準内に記載。 ② ブロック製作（型枠工）<table><tr><th rowspan="2">ブロック実質量</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>組 立</th><th>脱 型</th></tr><tr><td>11.0t を超え 25.0t 以下</td><td>164 m²/日</td><td>193 m²/日</td><td></td></tr><tr><td>25.0t を超え 50.0t 以下</td><td>230 m²/日</td><td>270 m²/日</td><td></td></tr></table> ③ ブロック製作（コンクリート工）<table><tr><th>ブロック実質量</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>11.0t を超え 25.0t 以下</td><td>83 m³/日</td><td rowspan="2">クレーン打設</td></tr><tr><td>25.0t を超え 50.0t 以下</td><td>125 m³/日</td></tr></table> ④ ブロック横取り …… 該当工種の基準内に記載。 ⑤ ブロック積込・運搬・据付 …… 該当工種の基準内に記載。	ブロック実質量	作業日当り標準作業量		摘 要	組 立	脱 型	11.0t を超え 25.0t 以下	164 m ² /日	193 m ² /日		25.0t を超え 50.0t 以下	230 m ² /日	270 m ² /日		ブロック実質量	作業日当り標準作業量	摘 要	11.0t を超え 25.0t 以下	83 m ³ /日	クレーン打設	25.0t を超え 50.0t 以下	125 m ³ /日
ブロック実質量	作業日当り標準作業量		摘 要																				
	組 立	脱 型																					
11.0t を超え 25.0t 以下	164 m ² /日	193 m ² /日																					
25.0t を超え 50.0t 以下	230 m ² /日	270 m ² /日																					
ブロック実質量	作業日当り標準作業量	摘 要																					
11.0t を超え 25.0t 以下	83 m ³ /日	クレーン打設																					
25.0t を超え 50.0t 以下	125 m ³ /日																						
浚渫工 （バックホウ浚渫船）	現場条件により設定																						
浚渫工 （バックホウ浚渫船） （ICT）	現場条件により設定																						
軟弱地盤上における 柔構造樋門・樋管工	① 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工<table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>ブロック組立工</td><td>3.3 ブロック/日</td></tr><tr><td>P C ケーブル組立工</td><td>10 ケーブル/日</td></tr><tr><td>グラウト工</td><td>333 m/日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	ブロック組立工	3.3 ブロック/日	P C ケーブル組立工	10 ケーブル/日	グラウト工	333 m/日														
作 業 種 別	作業日当り標準作業量																						
ブロック組立工	3.3 ブロック/日																						
P C ケーブル組立工	10 ケーブル/日																						
グラウト工	333 m/日																						

工 種 名	設 定 内 容																				
堤防除草工	① 除草																				
	<table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>大型自走式</td><td>ロングリーチ式</td><td>6,670 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式</td><td>刈幅 185cm</td><td>6,600 m²/日</td></tr><tr><td>刈幅 110～120cm</td><td>4,760 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">ハンドガイド式（刈幅 150cm）</td><td>5,760 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">肩掛式（カッタ径 255mm）</td><td>680 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">人 力</td><td>240 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	大型自走式	ロングリーチ式	6,670 m ² /日	遠隔操縦式	刈幅 185cm	6,600 m ² /日	刈幅 110～120cm	4,760 m ² /日	ハンドガイド式（刈幅 150cm）		5,760 m ² /日	肩掛式（カッタ径 255mm）		680 m ² /日	人 力		240 m ² /日
	作 業 種 別		作業日当り標準作業量																		
	大型自走式	ロングリーチ式	6,670 m ² /日																		
	遠隔操縦式	刈幅 185cm	6,600 m ² /日																		
		刈幅 110～120cm	4,760 m ² /日																		
	ハンドガイド式（刈幅 150cm）		5,760 m ² /日																		
	肩掛式（カッタ径 255mm）		680 m ² /日																		
	人 力		240 m ² /日																		
	② 集草																				
	<table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式</td><td>集草幅 180cm</td><td>11,540 m²/日</td></tr><tr><td>集草幅 160cm</td><td>7,690 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">ハンドガイド式（集草幅 200cm）</td><td>8,530 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">人 力</td><td>1,180 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	遠隔操縦式	集草幅 180cm	11,540 m ² /日	集草幅 160cm	7,690 m ² /日	ハンドガイド式（集草幅 200cm）		8,530 m ² /日	人 力		1,180 m ² /日						
	作 業 種 別		作業日当り標準作業量																		
	遠隔操縦式	集草幅 180cm	11,540 m ² /日																		
		集草幅 160cm	7,690 m ² /日																		
	ハンドガイド式（集草幅 200cm）		8,530 m ² /日																		
	人 力		1,180 m ² /日																		
	③ 梱包																				
	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>12,500 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	12,500 m ² /日																		
	作業日当り標準作業量	12,500 m ² /日																			
	④ 積込・荷卸																				
<table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包無し）</td><td>2,240 m²/日</td></tr><tr><td>ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包有り）</td><td>5,950 m²/日</td></tr><tr><td>バッカー車（回転式）積載容量 8m³</td><td>2,720 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包無し）	2,240 m ² /日	ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包有り）	5,950 m ² /日	バッカー車（回転式）積載容量 8m ³	2,720 m ² /日													
作 業 種 別	作業日当り標準作業量																				
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包無し）	2,240 m ² /日																				
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級 （梱包有り）	5,950 m ² /日																				
バッカー車（回転式）積載容量 8m ³	2,720 m ² /日																				

工 種 名	設 定 内 容				
堤防除草工	⑤ 運搬（堤防除草）				
	運搬機種	梱包の有無	DID区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)
	ダンプトラック (オンロード・ ディーゼル) 通称2t積級	梱包無し	無し	1.0 以下	9,833
				2.5 以下	8,429
				4.0 以下	7,375
				6.0 以下	6,556
				7.5 以下	5,900
				9.5 以下	5,364
				11.0 以下	4,917
				13.0 以下	4,538
				17.0 以下	3,933
				22.0 以下	3,471
				25.0 以下	3,278
				32.5 以下	2,950
				40.0 以下	2,682
			有り	1.0 以下	9,833
				2.5 以下	8,429
				4.0 以下	7,375
				5.5 以下	6,556
				7.0 以下	5,900
				8.5 以下	5,364
				10.0 以下	4,917
				12.0 以下	4,538
				15.5 以下	3,933
				19.0 以下	3,471
				21.5 以下	3,278
				26.0 以下	2,950
40.0 以下				2,682	
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容				
堤防除草工					

工 種 名	設 定 内 容			
堤防除草工	運搬機種	DID区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ² /日)
			5.0 以下	15,500
			6.5 以下	10,333
			8.0 以下	8,857
			10.0 以下	7,750
			12.0 以下	6,889
			14.0 以下	6,200
			16.0 以下	5,636
			18.0 以下	5,167
			20.5 以下	4,769
			26.5 以下	4,133
			35.0 以下	3,647
			40.0 以下	3,263
		無し	5.0 以下	15,500
			6.0 以下	10,333
			7.5 以下	8,857
			9.0 以下	7,750
			11.0 以下	6,889
			12.5 以下	6,200
			14.5 以下	5,636
			16.0 以下	5,167
			18.0 以下	4,769
			22.0 以下	4,133
			27.0 以下	3,647
			40.0 以下	3,263
		有り	5.0 以下	15,500
			6.0 以下	10,333
			7.5 以下	8,857
			9.0 以下	7,750
			11.0 以下	6,889
			12.5 以下	6,200
			14.5 以下	5,636
			16.0 以下	5,167
			18.0 以下	4,769
			22.0 以下	4,133
			27.0 以下	3,647
			40.0 以下	3,263
			(注) パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。	

工 種 名	設 定 内 容																																																										
堤防除草工	⑥ 除草、集草（人力）、梱包、積込・荷卸（総合）																																																										
	<table><tr><th>除草機種</th><th>梱包の有無</th><th>運搬機械</th><th>作業日当り 標準作業量 (㎡/日)</th></tr><tr><td rowspan="2">大型自走式 (ロングリーチ式)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>803</td></tr><tr><td>無し</td><td>693</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅185cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>733</td></tr><tr><td>無し</td><td>802</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>692</td></tr><tr><td>無し</td><td>732</td></tr><tr><td rowspan="2">ハッドガイト式 (刈幅150cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>766</td></tr><tr><td>無し</td><td>665</td></tr><tr><td rowspan="2">肩掛式 (カット径255mm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>702</td></tr><tr><td>無し</td><td>788</td></tr><tr><td rowspan="2">人力</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>681</td></tr><tr><td>無し</td><td>720</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅185cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>390</td></tr><tr><td>無し</td><td>362</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>372</td></tr><tr><td>無し</td><td>190</td></tr><tr><td rowspan="2">ハッドガイト式 (刈幅150cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>183</td></tr><tr><td>無し</td><td>186</td></tr></table>	除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)	大型自走式 (ロングリーチ式)	有り	ダンプトラック	803	無し	693	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	733	無し	802	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	692	無し	732	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	766	無し	665	肩掛式 (カット径255mm)	有り	ダンプトラック	702	無し	788	人力	有り	ダンプトラック	681	無し	720	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	390	無し	362	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	372	無し	190	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	183	無し	186
	除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)																																																							
	大型自走式 (ロングリーチ式)	有り	ダンプトラック	803																																																							
		無し		693																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	733																																																							
		無し		802																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	692																																																							
		無し		732																																																							
	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	766																																																							
		無し		665																																																							
	肩掛式 (カット径255mm)	有り	ダンプトラック	702																																																							
		無し		788																																																							
	人力	有り	ダンプトラック	681																																																							
		無し		720																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	390																																																							
		無し		362																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	372																																																							
		無し		190																																																							
	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	183																																																							
無し		186																																																									
堤防芝養生工	⑦ 除草、集草（機械）、梱包、積込・荷卸（総合）																																																										
	<table><tr><th>除草機種</th><th>梱包の有無</th><th>運搬機械</th><th>作業日当り 標準作業量 (㎡/日)</th></tr><tr><td rowspan="2">大型自走式 (ロングリーチ式)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>2,057</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,461</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅185cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>1,651</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,700</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>1,271</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,413</td></tr><tr><td rowspan="2">ハッドガイト式 (刈幅150cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>1,856</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,356</td></tr><tr><td rowspan="2">ハッドガイト式 (刈幅150cm)</td><td>有り</td><td rowspan="2">ダンプトラック</td><td>1,519</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,519</td></tr></table>	除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)	大型自走式 (ロングリーチ式)	有り	ダンプトラック	2,057	無し	1,461	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	1,651	無し	1,700	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	1,271	無し	1,413	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	1,856	無し	1,356	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	1,519	無し	1,519																								
	除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)																																																							
	大型自走式 (ロングリーチ式)	有り	ダンプトラック	2,057																																																							
		無し		1,461																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅185cm)	有り	ダンプトラック	1,651																																																							
		無し		1,700																																																							
	遠隔操縦式 (刈幅110～120cm)	有り	ダンプトラック	1,271																																																							
		無し		1,413																																																							
	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	1,856																																																							
		無し		1,356																																																							
	ハッドガイト式 (刈幅150cm)	有り	ダンプトラック	1,519																																																							
無し		1,519																																																									
堤防芝養生工	① 堤防芝養生工																																																										
	<table><tr><th>作業種別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>抜根＋集草＋積込運搬</td><td>934 ㎡/日</td></tr><tr><td>抜根＋集草</td><td>1,290 ㎡/日</td></tr><tr><td>抜 根</td><td>1,880 ㎡/日</td></tr><tr><td>集 草</td><td>4,110 ㎡/日</td></tr><tr><td>積込運搬</td><td>3,380 ㎡/日</td></tr><tr><td>施 肥</td><td>13,600 ㎡/日</td></tr></table>	作業種別	作業日当り標準作業量	抜根＋集草＋積込運搬	934 ㎡/日	抜根＋集草	1,290 ㎡/日	抜 根	1,880 ㎡/日	集 草	4,110 ㎡/日	積込運搬	3,380 ㎡/日	施 肥	13,600 ㎡/日																																												
	作業種別	作業日当り標準作業量																																																									
	抜根＋集草＋積込運搬	934 ㎡/日																																																									
	抜根＋集草	1,290 ㎡/日																																																									
	抜 根	1,880 ㎡/日																																																									
	集 草	4,110 ㎡/日																																																									
	積込運搬	3,380 ㎡/日																																																									
	施 肥	13,600 ㎡/日																																																									
	(注) 集草、積込運搬は、必要な工種のみ計上する。																																																										

工 種 名	設 定 内 容				
伐木除根工	① 伐木除根				
	作 業 名		作業日当り標準作業量		
	伐木作業（人力施工）	粗	2, 105 m ² /日		
		中	768 m ² /日		
		密	433 m ² /日		
	伐木作業（機械施工）		2, 280 m ² /日		
	伐 竹 作 業		439 m ² /日		
	除 根 作 業		1, 360 m ² /日		
	整 地 作 業		880 m ² /日		
	集積作業（人力施工）		1, 180 m ² /日		
	集積作業（機械施工）	除根有	590 m ² /日		
		除根無	940 m ² /日		
	積 込 み(人力施工)		21, 300 m ² /日		
	② 運搬（伐木除根）人力施工				
	積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)
	人力施工	—	無し	1. 0 以下	20
				2. 0 以下	19
				3. 0 以下	17
				4. 5 以下	16
				6. 0 以下	15
				8. 0 以下	14
				10. 0 以下	13
				12. 5 以下	12
				15. 5 以下	11
				19. 5 以下	9. 7
				24. 5 以下	8. 8
				32. 0 以下	8. 1
				60. 0 以下	7. 3
			有り	1. 0 以下	20
				2. 0 以下	19
3. 0 以下				17	
4. 5 以下				16	
6. 0 以下				15	
8. 0 以下				13	
10. 0 以下				12	
12. 5 以下				11	
15. 5 以下				10	
19. 0 以下				9. 2	
23. 0 以下				8. 4	
28. 0 以下				7. 7	
35. 0 以下				7	
47. 0 以下				6. 4	
60. 0 以下				5. 8	
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5. 9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容				
伐木除根工	② 運搬（伐木除根）人力施工				
	積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m³/日)
	人力施工	—	無し	1.0 以下	20
				2.0 以下	19
				3.0 以下	17
				4.5 以下	16
				6.0 以下	15
				8.0 以下	14
				10.0 以下	13
				12.5 以下	12
				15.5 以下	11
				19.5 以下	9.7
				24.5 以下	8.8
				32.0 以下	8.1
				60.0 以下	7.3
			有り	1.0 以下	20
				2.0 以下	19
				3.0 以下	17
				4.5 以下	16
				6.0 以下	15
				8.0 以下	13
				10.0 以下	12
				12.5 以下	11
				15.5 以下	10
				19.0 以下	9.2
				23.0 以下	8.4
				28.0 以下	7.7
				35.0 以下	7
				47.0 以下	6.4
				60.0 以下	5.8
	(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。				

工 種 名	設 定 内 容				
伐木除根工	③ 運搬（伐木除根）機械施工				
	積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m³/日)
	機械施工	有り	無し	0.5 以下	116
				1.0 以下	105
				1.5 以下	97
				2.0 以下	91
				2.5 以下	84
				3.0 以下	80
				4.0 以下	75
				5.0 以下	68
				6.0 以下	61
				7.0 以下	59
				8.5 以下	54
				10.0 以下	49
				11.5 以下	42
				13.5 以下	39
				16.0 以下	37
				19.0 以下	33
				22.5 以下	31
				27.0 以下	28
				34.5 以下	26
				60.0 以下	24
			有り	0.5 以下	116
				1.0 以下	105
				1.5 以下	97
				2.0 以下	89
				2.5 以下	83
				3.0 以下	79
				4.0 以下	74
				5.0 以下	66
				6.0 以下	60
				7.0 以下	54
				8.5 以下	49
				10.0 以下	45
				11.5 以下	42
				13.5 以下	39
				15.5 以下	35
				18.0 以下	33
				21.0 以下	30
				24.5 以下	27
				29.0 以下	25
				34.5 以下	22
			43.5 以下	20	
			60.0 以下	18	
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容				
伐木除根工	積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m³/日)
				0.5 以下	159
	機械施工	無し	無し	1.0 以下	140
				1.5 以下	128
				2.0 以下	116
				2.5 以下	105
				3.0 以下	98
				3.5 以下	91
				4.0 以下	86
				4.5 以下	81
				5.0 以下	77
				6.0 以下	72
				7.0 以下	66
				8.0 以下	60
				9.0 以下	54
				10.5 以下	49
				12.0 以下	45
				14.0 以下	42
				16.0 以下	39
				18.5 以下	37
				21.5 以下	33
				25.5 以下	31
				31.5 以下	28
				60.0 以下	26
			有り	0.5 以下	159
				1.0 以下	140
				1.5 以下	126
				2.0 以下	113
				2.5 以下	104
				3.0 以下	97
				3.5 以下	89
				4.0 以下	83
				4.5 以下	79
				5.5 以下	74
				6.5 以下	66
				7.5 以下	60
				8.5 以下	54
				10.0 以下	49
				11.5 以下	45
				13.0 以下	42
				15.0 以下	39
				17.0 以下	35
				19.5 以下	33
				22.5 以下	30
				26.0 以下	27
				30.0 以下	25
				36.0 以下	23
				45.5 以下	21
				60.0 以下	19

(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。

工 種 名	設 定 内 容			
伐木除根工	④ 伐木・伐竹(複合)			
	樹木・竹の区分 樹木密集度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)
	伐木（人力施工：粗）	有り	機械施工	247
		無し		650
		有り	人力施工	730
	伐木（人力施工：中）	有り	機械施工	205
		無し		423
		有り	人力施工	455
		無し		
	伐木（人力施工：密）	有り	機械施工	170
		無し		296
		有り	人力施工	312
無し				
伐木（機械施工）	有り	機械施工	250	
	無し		666	
	有り	機械施工	171	
	無し		299	
	有り	人力施工	315	
	無し			
塵芥処理工	① 塵芥処理工			
	工 種 名		作業日当り標準作業量	
	散在塵芥収集		20,000 ㎡/日	
	堆積塵芥収集（機械処理）		31 ㎡³/日	
	堆積塵芥収集（人力処理）		9 ㎡³/日	
(注) 上表は、収集・集積・積込み作業のみである。				

工 種 名	設 定 内 容			
塵芥処理工	② 散在塵芥処理（収集・集積・積込み・運搬）			
	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量(㎡/日)	
			運搬のみ	収集・集積・積込み ・運搬
	無し	1.0 以下	84,286	16,164
		2.0 以下	73,750	15,733
		3.0 以下	65,556	15,325
		4.5 以下	59,000	14,937
		6.0 以下	53,636	14,568
		7.5 以下	49,167	14,217
		9.5 以下	42,143	13,563
		12.0 以下	39,333	13,258
		14.5 以下	34,706	12,688
		17.5 以下	31,053	12,165
		21.5 以下	28,095	11,683
		26.5 以下	25,652	11,238
		34.5 以下	22,692	10,631
		46.0 以下	21,071	10,261
		60.0 以下	19,667	9,916
	有り	1.0 以下	84,286	16,164
		2.0 以下	73,750	15,733
		3.0 以下	65,556	15,325
		4.0 以下	59,000	14,937
		5.5 以下	53,636	14,568
		7.0 以下	49,167	14,217
		8.5 以下	42,143	13,563
		10.5 以下	39,333	13,258
		13.0 以下	34,706	12,688
		15.5 以下	31,053	12,165
		18.5 以下	28,095	11,683
		22.5 以下	25,652	11,238
		27.0 以下	22,692	10,631
		33.0 以下	21,071	10,261
		42.0 以下	19,032	9,752
	49.5 以下	16,857	9,147	
	60.0 以下	15,946	8,872	
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。				

工 種 名	設 定 内 容				
塵芥処理工	③ 堆積塵芥処理（機械処理）（収集・集積・積込み・運搬）				
	塵芥の 種類	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量(㎡/日)	
				運搬のみ	収集・集積・積込み 運搬
	木 片 ・ 空 缶 ・ 枯 草 等 の か さ 高 物 や 軽 量 物	無し	0.5 以下	87	23
			1.0 以下	80	22
			2.0 以下	74	22
			3.0 以下	63	21
			4.0 以下	54	20
			5.0 以下	49	19
			6.5 以下	45	18
			8.0 以下	39	17
			9.5 以下	37	17
			11.5 以下	33	16
			13.5 以下	30	15
			16.0 以下	27	14
			19.0 以下	25	14
			22.5 以下	23	13
			27.5 以下	20	12
			35.0 以下	18	11
			46.0 以下	17	11
			60.0 以下	16	11
		有り	0.5 以下	87	23
			1.0 以下	80	22
			2.0 以下	74	22
			3.0 以下	63	21
			4.0 以下	54	20
			5.0 以下	49	19
			6.0 以下	45	18
			7.5 以下	39	17
			9.0 以下	37	17
			10.5 以下	33	16
			12.5 以下	30	15
			14.5 以下	27	14
	16.5 以下	25	14		
	19.5 以下	23	13		
	23.0 以下	20	12		
27.0 以下	18	11			
32.0 以下	17	11			
39.0 以下	16	11			
53.0 以下	14	9.6			
60.0 以下	13	9.2			
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容				
塵芥処理工	塵芥の 種類	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量(㎡/日)	
				運搬のみ	収集・集積・積込み 運搬
	コ ン ク リ ー ト 塊 等 の 重 量 物	無し	0.5 以下	20	12
			1.0 以下	18	11
			2.0 以下	16	11
			3.0 以下	14	9.6
			4.0 以下	12	8.7
			5.5 以下	10	7.6
			7.0 以下	9.1	7.0
			8.5 以下	7.9	6.3
			10.0 以下	7.0	5.7
			12.0 以下	6.3	5.2
			14.0 以下	5.7	4.8
			16.5 以下	5.1	4.4
			19.5 以下	4.6	4.0
			23.0 以下	4.2	3.7
			27.5 以下	3.9	3.5
			34.5 以下	3.5	3.1
			46.0 以下	3.2	2.9
			60.0 以下	3.0	2.7
		有り	0.5 以下	20	12
			1.0 以下	18	11
			2.0 以下	16	11
			3.0 以下	14	9.6
			4.0 以下	12	8.7
			5.0 以下	10	7.6
			6.5 以下	9.1	7.0
			8.0 以下	7.9	6.3
			9.5 以下	7.0	5.7
			11.0 以下	6.3	5.2
			13.0 以下	5.7	4.8
			15.0 以下	5.1	4.4
			17.5 以下	4.6	4.0
			20.0 以下	4.2	3.7
			23.0 以下	3.9	3.5
			27.0 以下	3.5	3.1
			32.0 以下	3.2	2.9
39.0 以下			2.9	2.7	
53.0 以下	2.6	2.4			
60.0 以下	2.4	2.2			
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容			
塵芥処理工	④ 堆積塵芥処理（人力処理）（収集・集積・積込み・運搬）			
	塵芥の 種類	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
				運搬のみ 収集・集積・積込み

工 種 名	設 定 内 容				
塵芥処理工	塵芥の 種類	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量(㎥/日)	
				運搬のみ	収集・集積・積込み 運搬
	コ ン ク リ ー ト 塊 等 の 重 量 物	無し	0.5 以下	20	6.2
			1.0 以下	18	6.0
			2.0 以下	16	5.8
			3.0 以下	14	5.5
			4.0 以下	12	5.1
			5.5 以下	10	4.7
			7.0 以下	9.1	4.5
			8.5 以下	7.9	4.2
			10.0 以下	7.0	3.9
			12.0 以下	6.3	3.7
			14.0 以下	5.7	3.5
			16.5 以下	5.1	3.3
			19.5 以下	4.6	3.0
			23.0 以下	4.2	2.9
			27.5 以下	3.9	2.7
			34.5 以下	3.5	2.5
			46.0 以下	3.2	2.4
			60.0 以下	3.0	2.3
		有り	0.5 以下	20	6.2
			1.0 以下	18	6.0
			2.0 以下	16	5.8
			3.0 以下	14	5.5
			4.0 以下	12	5.1
			5.0 以下	10	4.7
			6.5 以下	9.1	4.5
			8.0 以下	7.9	4.2
			9.5 以下	7.0	3.9
			11.0 以下	6.3	3.7
			13.0 以下	5.7	3.5
			15.0 以下	5.1	3.3
	17.5 以下	4.6	3.0		
	20.0 以下	4.2	2.9		
	23.0 以下	3.9	2.7		
	27.0 以下	3.5	2.5		
32.0 以下	3.2	2.4			
39.0 以下	2.9	2.2			
53.0 以下	2.6	2.0			
60.0 以下	2.4	1.9			
(注) ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。					

工 種 名	設 定 内 容		
粗朶沈床工	①粗朶沈床工		
	作 業 名		作業日当り標準作業量
	連柴製作・沈床組立		32 m³/日
	沈床沈設・沈石投入		169 m³/日
	間詰石投入		94 m³/日
機械土工（河床等掘削）	① 河床等掘削		
	作 業 名		作業日当り標準作業量
	河床等掘削		147 m³/日
	② 軟弱土等運搬		
	DID 区間の 有無 無し	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
		0.3 以下	63
		0.8 以下	59
		1.5 以下	53
		2.5 以下	48
		3.5 以下	42
		6.5 以下	37
		9.0 以下	31
		13.0 以下	26
		19.5 以下	21
		40.0 以下	16
	60.0 以下	11	
	有り	0.3 以下	63
		0.8 以下	59
		1.5 以下	53
		2.5 以下	48
		3.5 以下	42
		4.5 以下	37
8.5 以下		31	
12.0 以下		26	
17.5 以下		21	
30.0 以下		16	
50.0 以下		11	
60.0 以下	5		

工 種 名	設 定 内 容		
機械土工（河床等掘削） （ICT）	① 河床等掘削（ICT）		
	作 業 名	作業日当り標準作業量	
	河床等掘削（ICT）	204 m³/日	
	② 軟弱土等運搬（ICT）		
	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
	無し	0.2 以下	83
		0.5 以下	77
		0.8 以下	71
		1.1 以下	67
		1.5 以下	63
		2.0 以下	59
		2.6 以下	53
		3.3 以下	48
		4.2 以下	42
		5.5 以下	37
		7.3 以下	32
		9.7 以下	26
		13.8 以下	21
		22.0 以下	16
		60.0 以下	11
	有り	0.2 以下	83
		0.4 以下	77
		0.7 以下	71
		1.0 以下	67
		1.4 以下	63
		1.9 以下	59
		2.5 以下	53
3.1 以下		48	
4.0 以下		42	
5.2 以下		37	
6.7 以下		32	
9.0 以下		26	
12.6 以下	21		
19.5 以下	16		
39.0 以下	11		
60.0 以下	5		
巨石積（張）工	① 巨石積（張）工		
	作 業 名	作業日当り標準作業量	
	巨石張（練）	25 m²/日	
	巨石張（空）	27 m²/日	
	巨石積（練）	30 m²/日	
	巨石採取	38 個/日	
	(注) 巨石積（張）工は、裏込材工を施工しない場合も上表による。		

工 種 名	設 定 内 容				
木杭打工	① 木杭打				
	作業日当り標準作業量		58 本/日		
巨石据付工	① 巨石据付工				
	作業日当り標準作業量		42 m ² /日		
護岸基礎ブロック工	① 護岸基礎ブロック据付				
	ブロック 質量	作業半径	据付高さ (H)	ブロック製品長	作業日当り標 準作業量
2,000kg/個 以下	5m 以下	H<-5.0m	2,000mm 以上 2,500mm 以下	30 m/日	
			2,500mm を超え 3,000mm 以下	33 m/日	
			3,000mm を超え 3,500mm 以下	35 m/日	
			3,500mm を超え 4,000mm 以下	38 m/日	
			4,000mm を超え 4,500mm 以下	41 m/日	
			4,500mm を超え 5,000mm 以下	44 m/日	
			-5.0m≤H	1,000mm 以上 1,500mm 以下	27 m/日
				1,500mm を超え 2,000mm 以下	30 m/日
		2,000mm を超え 2,500mm 以下		33 m/日	
		2,500mm を超え 3,000mm 以下		37 m/日	
		3,000mm を超え 3,500mm 以下		40 m/日	
		3,500mm を超え 4,000mm 以下		43 m/日	
		4,000mm を超え 4,500mm 以下		46 m/日	
		4,500mm を超え 5,000mm 以下		50 m/日	
		5.0m を超え 8.0m 以下	H<-2.0m	2,000mm 以上 2,500mm 以下	30 m/日
				2,500mm を超え 3,000mm 以下	33 m/日
				3,000mm を超え 3,500mm 以下	35 m/日
				3,500mm を超え 4,000mm 以下	38 m/日
				4,000mm を超え 4,500mm 以下	41 m/日
				4,500mm を超え 5,000mm 以下	44 m/日

工 種 名	設 定 内 容							
護岸基礎ブロック工	ブロック 質量	作業半径	据付高さ (H)	ブロック製品長	作業日当り標 準作業量			
	2,000kg/個 以下	5.0m を超え 8.0m 以下	-2.0m≦H	1,000mm 以上 1,500mm 以下	27 m/日			
				1,500mm を超え 2,000mm 以下	30 m/日			
				2,000mm を超え 2,500mm 以下	33 m/日			
				2,500mm を超え 3,000mm 以下	37 m/日			
				3,000mm を超え 3,500mm 以下	40 m/日			
				3,500mm を超え 4,000mm 以下	43 m/日			
				4,000mm を超え 4,500mm 以下	46 m/日			
				4,500mm を超え 5,000mm 以下	50 m/日			
		8.0m を超え 14.0m 以下	-	2,000mm 以上 2,500mm 以下	30 m/日			
				2,500mm を超え 3,000mm 以下	33 m/日			
				3,000mm を超え 3,500mm 以下	35 m/日			
				3,500mm を超え 4,000mm 以下	38 m/日			
				4,000mm を超え 4,500mm 以下	41 m/日			
				4,500mm を超え 5,000mm 以下	44 m/日			
				2,000kg/個 を超え 4,000kg/個 以下	14m 以下	-	2,000mm 以上 2,500mm 以下	30 m/日
							2,500mm を超え 3,000mm 以下	33 m/日
	3,000mm を超え 3,500mm 以下	35 m/日						
	3,500mm を超え 4,000mm 以下	38 m/日						
	4,000mm を超え 4,500mm 以下	41 m/日						
	4,500mm を超え 5,000mm 以下	44 m/日						
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、ブロックの据付け、連結、目地材設置を含む。							
	② 中詰コンクリート打設							
	作業日当り標準作業量			9 m ³ /日				
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、中詰コンクリート打設、養生を含む。							

工 種 名	設 定 内 容																																		
かごマット工 (スロープ型)	① かごマット工 (スロープ型)																																		
	<table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">かごマット</td><td>厚さ 30cm</td><td>42 m²/日</td><td></td></tr><tr><td>厚さ 50cm</td><td>35 m²/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要	かごマット	厚さ 30cm	42 m ² /日		厚さ 50cm	35 m ² /日																								
	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要																															
	かごマット	厚さ 30cm	42 m ² /日																																
		厚さ 50cm	35 m ² /日																																
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、法面整形（床拵え含む）、吸出し防止材設置、かご組立・据付け、補強材設置撤去、詰石、蓋設置の作業を含む。 2. 各作業間の重複は考慮していない。																																		
	(参考) 各作業単独の場合の作業量																																		
	<table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td colspan="2">法面整形</td><td>478 m²/日</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">吸出し防止材設置</td><td>418 m²/日</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">かご組立・据付け</td><td>厚さ 30cm</td><td>328 m²/日</td><td></td></tr><tr><td>厚さ 50cm</td><td>190 m²/日</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">補強材設置撤去</td><td>165 m²/日</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">詰石</td><td>厚さ 30cm</td><td>150 m²/日</td><td></td></tr><tr><td>厚さ 50cm</td><td>108 m²/日</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">蓋設置</td><td>289 m²/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要	法面整形		478 m ² /日		吸出し防止材設置		418 m ² /日		かご組立・据付け	厚さ 30cm	328 m ² /日		厚さ 50cm	190 m ² /日		補強材設置撤去		165 m ² /日		詰石	厚さ 30cm	150 m ² /日		厚さ 50cm	108 m ² /日		蓋設置		289 m ² /日	
	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要																															
	法面整形		478 m ² /日																																
吸出し防止材設置		418 m ² /日																																	
かご組立・据付け	厚さ 30cm	328 m ² /日																																	
	厚さ 50cm	190 m ² /日																																	
補強材設置撤去		165 m ² /日																																	
詰石	厚さ 30cm	150 m ² /日																																	
	厚さ 50cm	108 m ² /日																																	
蓋設置		289 m ² /日																																	
かごマット工 (多段積型)	① かごマット工 (多段積型)																																		
	<table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>かごマット</td><td>多段積型</td><td>21 m²/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要	かごマット	多段積型	21 m ² /日																											
	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要																															
	かごマット	多段積型	21 m ² /日																																
(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、かご組立・据付、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置・撤去、法面整形。床拵えの他、蓋設置を含む。 2. 各作業間の重複は考慮していない。																																			
ブロックマット工	該当工種の基準内に記載。																																		
袋詰玉石工	① 袋詰玉石																																		
	<table><tr><th>袋材規格</th><th>施工条件</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">2t用</td><td>据付深さ 4m 以下及び 作業半径5m以内</td><td>37 袋/日</td></tr><tr><td>据付深さ 4m を超え 9m 以下又は 作業半径5mを超え18m以下</td><td>40 袋/日</td></tr><tr><td>3t用</td><td>－</td><td>38 袋/日</td></tr></table>	袋材規格	施工条件	作業日当り標準作業量	2t用	据付深さ 4m 以下及び 作業半径5m以内	37 袋/日	据付深さ 4m を超え 9m 以下又は 作業半径5mを超え18m以下	40 袋/日	3t用	－	38 袋/日																							
	袋材規格	施工条件	作業日当り標準作業量																																
	2t用	据付深さ 4m 以下及び 作業半径5m以内	37 袋/日																																
		据付深さ 4m を超え 9m 以下又は 作業半径5mを超え18m以下	40 袋/日																																
3t用	－	38 袋/日																																	

-194-

工 種 名	設 定 内 容																																																																																														
光ケーブル配管工	① 光ケーブル配管工																																																																																														
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>掘 削</td><td>28 m³/日</td></tr><tr><td>埋戻し・締固め</td><td>13 m³/日</td></tr><tr><td>配管設置</td><td>89 m/日</td></tr><tr><td>ハンドホール設置</td><td>1.1 個/日</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	掘 削	28 m³/日	埋戻し・締固め	13 m³/日	配管設置	89 m/日	ハンドホール設置	1.1 個/日																																																																																				
	作 業 名	作業日当り標準作業量																																																																																													
	掘 削	28 m³/日																																																																																													
	埋戻し・締固め	13 m³/日																																																																																													
	配管設置	89 m/日																																																																																													
ハンドホール設置	1.1 個/日																																																																																														
土工（砂防工）	① 掘削（砂防）																																																																																														
	<table><tr><th>土質</th><th>施工数量</th><th>障害の有無</th><th>掘削範囲</th><th>火薬使用</th><th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="5">土砂</td><td rowspan="2">3,000m³未満</td><td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>110</td></tr><tr><td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>83</td></tr><tr><td rowspan="2">3,000m³以上</td><td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>220</td></tr><tr><td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>160</td></tr><tr><td>小規模</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>28</td></tr><tr><td rowspan="4">岩塊・玉石</td><td rowspan="2">3,000m³未満</td><td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>93</td></tr><tr><td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">3,000m³以上</td><td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>180</td></tr><tr><td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>120</td></tr><tr><td rowspan="3">軟岩</td><td>—</td><td>—</td><td>機械走行面より 5m以内</td><td>—</td><td>51</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td rowspan="2">機械走行面より 5m超え</td><td>可</td><td>37</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>不可</td><td>9</td></tr><tr><td rowspan="3">硬岩</td><td>—</td><td>—</td><td>機械走行面より 5m以内</td><td>—</td><td>29</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td rowspan="2">機械走行面より 5m超え</td><td>可</td><td>21</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>不可</td><td>7</td></tr><tr><td rowspan="3">転石</td><td>—</td><td>—</td><td>機械走行面より 5m以内</td><td>—</td><td>31</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td rowspan="2">機械走行面より 5m超え</td><td>可</td><td>9</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>不可</td><td>12</td></tr></table>	土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	作業日当り標準作業量 (m³/日)	土砂	3,000m³未満	無し	—	—	110	有り	—	—	83	3,000m³以上	無し	—	—	220	有り	—	—	160	小規模	—	—	—	28	岩塊・玉石	3,000m³未満	無し	—	—	93	有り	—	—	62	3,000m³以上	無し	—	—	180	有り	—	—	120	軟岩	—	—	機械走行面より 5m以内	—	51	—	—	機械走行面より 5m超え	可	37	—	—	不可	9	硬岩	—	—	機械走行面より 5m以内	—	29	—	—	機械走行面より 5m超え	可	21	—	—	不可	7	転石	—	—	機械走行面より 5m以内	—	31	—	—	機械走行面より 5m超え	可	9	—	—	不可	12
	土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	作業日当り標準作業量 (m³/日)																																																																																									
	土砂	3,000m³未満	無し	—	—	110																																																																																									
			有り	—	—	83																																																																																									
		3,000m³以上	無し	—	—	220																																																																																									
			有り	—	—	160																																																																																									
		小規模	—	—	—	28																																																																																									
	岩塊・玉石	3,000m³未満	無し	—	—	93																																																																																									
			有り	—	—	62																																																																																									
		3,000m³以上	無し	—	—	180																																																																																									
			有り	—	—	120																																																																																									
	軟岩	—	—	機械走行面より 5m以内	—	51																																																																																									
		—	—	機械走行面より 5m超え	可	37																																																																																									
		—	—		不可	9																																																																																									
	硬岩	—	—	機械走行面より 5m以内	—	29																																																																																									
		—	—	機械走行面より 5m超え	可	21																																																																																									
		—	—		不可	7																																																																																									
	転石	—	—	機械走行面より 5m以内	—	31																																																																																									
		—	—	機械走行面より 5m超え	可	9																																																																																									
		—	—		不可	12																																																																																									

工 種 名	設 定 内 容																																						
土工（砂防工）	② 土砂等運搬（砂防） <table><tr><th>土砂等発生現場</th><th>土 質</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="12">標 準</td><td rowspan="10">土 砂 (岩塊・玉石混り土含む)</td><td>0.5 以下</td><td>125</td></tr><tr><td>1.0 以下</td><td>111</td></tr><tr><td>1.5 以下</td><td>100</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>91</td></tr><tr><td>2.5 以下</td><td>77</td></tr><tr><td>3.0 以下</td><td>71</td></tr><tr><td>4.0 以下</td><td>63</td></tr><tr><td>5.0 以下</td><td>56</td></tr><tr><td>6.0 以下</td><td>48</td></tr><tr><td>7.0 以下</td><td>43</td></tr><tr><td>軟 岩</td><td>－</td><td>土砂÷1.22</td></tr><tr><td>硬 岩</td><td>－</td><td>土砂÷1.37</td></tr><tr><td rowspan="2">小規模</td><td rowspan="2">－</td><td>0.3 以下</td><td>48</td></tr><tr><td>0.6 以下</td><td>42</td></tr></table>	土砂等発生現場	土 質	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	標 準	土 砂 (岩塊・玉石混り土含む)	0.5 以下	125	1.0 以下	111	1.5 以下	100	2.0 以下	91	2.5 以下	77	3.0 以下	71	4.0 以下	63	5.0 以下	56	6.0 以下	48	7.0 以下	43	軟 岩	－	土砂÷1.22	硬 岩	－	土砂÷1.37	小規模	－	0.3 以下	48	0.6 以下	42
	土砂等発生現場	土 質	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)																																			
標 準	土 砂 (岩塊・玉石混り土含む)	0.5 以下	125																																				
		1.0 以下	111																																				
		1.5 以下	100																																				
		2.0 以下	91																																				
		2.5 以下	77																																				
		3.0 以下	71																																				
		4.0 以下	63																																				
		5.0 以下	56																																				
		6.0 以下	48																																				
		7.0 以下	43																																				
	軟 岩	－	土砂÷1.22																																				
	硬 岩	－	土砂÷1.37																																				
小規模	－	0.3 以下	48																																				
		0.6 以下	42																																				
③ 積込（ルーズ）（砂防） <table><tr><th>土砂等発生現場</th><th>土 質</th><th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="3">標 準</td><td>土 砂</td><td>240</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>200</td></tr><tr><td>破碎岩</td><td>160</td></tr><tr><td>小規模</td><td>－</td><td>31</td></tr></table>	土砂等発生現場	土 質	作業日当り標準作業量 (m³/日)	標 準	土 砂	240	岩塊・玉石	200	破碎岩	160	小規模	－	31																										
土砂等発生現場	土 質	作業日当り標準作業量 (m³/日)																																					
標 準	土 砂	240																																					
	岩塊・玉石	200																																					
	破碎岩	160																																					
小規模	－	31																																					
土工（砂防工） （ICT）	① 掘削（砂防）（ICT） <table><tr><th>土 質</th><th>施工数量</th><th>障害の有無</th><th>作業日当り 標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="4">土 砂</td><td rowspan="2">3,000m³未満</td><td>無し</td><td>120</td></tr><tr><td>有り</td><td>91</td></tr><tr><td rowspan="2">3,000m³以上</td><td>無し</td><td>240</td></tr><tr><td>有り</td><td>174</td></tr><tr><td rowspan="4">岩塊・玉石</td><td rowspan="2">3,000m³未満</td><td>無し</td><td>101</td></tr><tr><td>有り</td><td>67</td></tr><tr><td rowspan="2">3,000m³以上</td><td>無し</td><td>196</td></tr><tr><td>有り</td><td>131</td></tr></table>	土 質	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	土 砂	3,000m³未満	無し	120	有り	91	3,000m³以上	無し	240	有り	174	岩塊・玉石	3,000m³未満	無し	101	有り	67	3,000m³以上	無し	196	有り	131												
土 質	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)																																				
土 砂	3,000m³未満	無し	120																																				
		有り	91																																				
	3,000m³以上	無し	240																																				
		有り	174																																				
岩塊・玉石	3,000m³未満	無し	101																																				
		有り	67																																				
	3,000m³以上	無し	196																																				
		有り	131																																				

工 種 名	設 定 内 容																										
コンクリート工 (砂防工)	① コンクリート工 (砂防工) <table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">コンクリート打設 (一般部)</td><td>1 日当り打設量 10m³ 未満</td><td>7 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 10m³ 以上 30m³ 未満</td><td>21 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 30m³ 以上 80m³ 未満</td><td>52 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 80m³ 以上 140m³ 未満</td><td>91 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート打設 (堤 冠)</td><td>グラリシック 20m³/フロック未満</td><td>17 m³/日</td></tr><tr><td>富配合 30m³/フロック未満</td><td>33 m³/日</td></tr><tr><td colspan="2">木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布</td><td>24 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">足場工</td><td>100 m/日</td></tr><tr><td colspan="2">止水板設置</td><td>33 m/日</td></tr></table>	作 業 名		作業日当り 標準作業量	コンクリート打設 (一般部)	1 日当り打設量 10m³ 未満	7 m³/日	1 日当り打設量 10m³ 以上 30m³ 未満	21 m³/日	1 日当り打設量 30m³ 以上 80m³ 未満	52 m³/日	1 日当り打設量 80m³ 以上 140m³ 未満	91 m³/日	コンクリート打設 (堤 冠)	グラリシック 20m³/フロック未満	17 m³/日	富配合 30m³/フロック未満	33 m³/日	木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布		24 m²/日	足場工		100 m/日	止水板設置		33 m/日
作 業 名		作業日当り 標準作業量																									
コンクリート打設 (一般部)	1 日当り打設量 10m³ 未満	7 m³/日																									
	1 日当り打設量 10m³ 以上 30m³ 未満	21 m³/日																									
	1 日当り打設量 30m³ 以上 80m³ 未満	52 m³/日																									
	1 日当り打設量 80m³ 以上 140m³ 未満	91 m³/日																									
コンクリート打設 (堤 冠)	グラリシック 20m³/フロック未満	17 m³/日																									
	富配合 30m³/フロック未満	33 m³/日																									
木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布		24 m²/日																									
足場工		100 m/日																									
止水板設置		33 m/日																									
コンクリート工 (ケーブルクレーン打設)	① コンクリート投入 …… 該当工種の計算式 (1 時間当り投入量) を参照。 ② コンクリート工 (ケーブルクレーン打設) <table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td colspan="2">型 枠 工</td><td>50 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート養生</td><td>77 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="3">堤冠コンクリート締固め</td><td>鉄材 3m³/フロック未満</td><td>3 m³/日</td></tr><tr><td>グラリシック 20m³/フロック未満</td><td>17 m³/日</td></tr><tr><td>富配合 30m³/フロック未満</td><td>33 m³/日</td></tr><tr><td colspan="2">堤冠コンクリート養生</td><td>11 m³/日</td></tr><tr><td colspan="2">岩盤清掃</td><td>100 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">チップング</td><td>100 m²/日</td></tr></table> (注)「コンクリート養生」「堤冠コンクリート養生」の作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	作 業 名		作業日当り 標準作業量	型 枠 工		50 m²/日	コンクリート養生		77 m²/日	堤冠コンクリート締固め	鉄材 3m³/フロック未満	3 m³/日	グラリシック 20m³/フロック未満	17 m³/日	富配合 30m³/フロック未満	33 m³/日	堤冠コンクリート養生		11 m³/日	岩盤清掃		100 m²/日	チップング		100 m²/日	
作 業 名		作業日当り 標準作業量																									
型 枠 工		50 m²/日																									
コンクリート養生		77 m²/日																									
堤冠コンクリート締固め	鉄材 3m³/フロック未満	3 m³/日																									
	グラリシック 20m³/フロック未満	17 m³/日																									
	富配合 30m³/フロック未満	33 m³/日																									
堤冠コンクリート養生		11 m³/日																									
岩盤清掃		100 m²/日																									
チップング		100 m²/日																									
残存型枠工	① 残存型枠工 <table><tr><th>作 業 名</th><th>対象構造物</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">残存型枠の加工、 組立・設置</td><td>残存型枠</td><td>64 m²/日</td></tr><tr><td>残存化粧型枠</td><td>57 m²/日</td></tr></table>	作 業 名	対象構造物	作業日当り標準作業量	残存型枠の加工、 組立・設置	残存型枠	64 m²/日	残存化粧型枠	57 m²/日																		
作 業 名	対象構造物	作業日当り標準作業量																									
残存型枠の加工、 組立・設置	残存型枠	64 m²/日																									
	残存化粧型枠	57 m²/日																									
養生工 (練炭)	① 養生工 (練炭) <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>25 m³/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	作業日当り標準作業量	25 m³/日																								
作業日当り標準作業量	25 m³/日																										

工 種 名	設 定 内 容																			
砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切	該当工種の基準内に記載。																			
砂防コンクリート仮締切	<table><tr><th colspan="2">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td colspan="2">木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布</td><td>24 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">足 場 工</td><td>100 m /日</td></tr><tr><td rowspan="4">コンクリート打設</td><td>1 日当り打設量 10m³未満</td><td>7 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 10m³以上 30m³未満</td><td>21 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 30m³以上 80m³未満</td><td>52 m³/日</td></tr><tr><td>1 日当り打設量 80m³以上 140m³未満</td><td>91 m³/日</td></tr></table>	作 業 名		作業日当り標準作業量	木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布		24 m ² /日	足 場 工		100 m /日	コンクリート打設	1 日当り打設量 10m ³ 未満	7 m ³ /日	1 日当り打設量 10m ³ 以上 30m ³ 未満	21 m ³ /日	1 日当り打設量 30m ³ 以上 80m ³ 未満	52 m ³ /日	1 日当り打設量 80m ³ 以上 140m ³ 未満	91 m ³ /日	
作 業 名		作業日当り標準作業量																		
木製型枠設置・撤去・ケレンはく離剤塗布		24 m ² /日																		
足 場 工		100 m /日																		
コンクリート打設	1 日当り打設量 10m ³ 未満	7 m ³ /日																		
	1 日当り打設量 10m ³ 以上 30m ³ 未満	21 m ³ /日																		
	1 日当り打設量 30m ³ 以上 80m ³ 未満	52 m ³ /日																		
	1 日当り打設量 80m ³ 以上 140m ³ 未満	91 m ³ /日																		
鋼製砂防工	① 組立・据付工 …… 該当工種の計算式（1 日当り組立・据付質量）を参照。 ② 本締め工、アンカー工 …… 該当工種の計算式（1 日当り施工量）を参照。 ③ 現場塗装工（はけ塗り） <table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>鋼管フレーム型砂防堰堤</td><td>29 m²/日</td></tr></table> （注）作業日当り標準作業量は、塗装工 1 名の場合。	作 業 名	作業日当り標準作業量	鋼管フレーム型砂防堰堤	29 m ² /日															
作 業 名	作業日当り標準作業量																			
鋼管フレーム型砂防堰堤	29 m ² /日																			
砂防ソイルセメント工	① 粒径処理 <table><tr><th>粒径処理率</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>40%を超え 45%以下</td><td>30 m³/日</td></tr><tr><td>45%を超え 50%以下</td><td>37 m³/日</td></tr><tr><td>50%を超え 60%以下</td><td>47 m³/日</td></tr><tr><td>60%を超え 80%以下</td><td>68 m³/日</td></tr><tr><td>80%を超え 100%以下</td><td>96 m³/日</td></tr></table> （注）1. 対象土質は、砂質土及びレキ質土であり、土質条件が異なる場合は別途考慮する。 2. 作業日当り標準作業量は、粒径処理後土量を示す。 3. 粒径処理率は次式による。 粒径処理率(%)＝(粒径処理後土量)/(粒径処理前土量) ② 攪拌混合 <table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><td>132 m³/日</td></tr></table> （注）1. 作業日当り標準作業量は、粒径処理土投入、セメント投入、攪拌混合、混合材料積込までを含む。 2. 作業日当り標準作業量は、製造する混合材料量とする。 ③ 混合材料敷均し・締固め <table><tr><th rowspan="2">作業日当り標準作業量</th><th>4. 5m 未満</th><th>4. 5m 以上</th></tr><tr><td>87 m³/日</td><td>128 m³/日</td></tr></table> （注）1. 作業日当り標準作業量は、敷均し、締固め、養生までを含む。 2. 歩掛は、打継面処理の有無にかかわらず適用できる。 3. 養生は、施工箇所をシートで覆うことを標準とする。	粒径処理率	作業日当り標準作業量	40%を超え 45%以下	30 m ³ /日	45%を超え 50%以下	37 m ³ /日	50%を超え 60%以下	47 m ³ /日	60%を超え 80%以下	68 m ³ /日	80%を超え 100%以下	96 m ³ /日	作業日当り標準作業量	132 m ³ /日	作業日当り標準作業量	4. 5m 未満	4. 5m 以上	87 m ³ /日	128 m ³ /日
粒径処理率	作業日当り標準作業量																			
40%を超え 45%以下	30 m ³ /日																			
45%を超え 50%以下	37 m ³ /日																			
50%を超え 60%以下	47 m ³ /日																			
60%を超え 80%以下	68 m ³ /日																			
80%を超え 100%以下	96 m ³ /日																			
作業日当り標準作業量	132 m ³ /日																			
作業日当り標準作業量	4. 5m 未満	4. 5m 以上																		
	87 m ³ /日	128 m ³ /日																		
集水井工 （ライナープレート土留工法）	① 掘削土留工 …… 該当工種の計算式（1 基当り施工日数）を参照。 ② 井戸蓋工、昇降用設備設置工、掘削作業設備据付・解体 …… 該当工種の基準内に記載。																			

工 種 名	設 定 内 容																																										
地すべり防止工 (集排水ボーリング工)	① ボーリング																																										
	<table><tr><th rowspan="2">施工場所</th><th rowspan="2">呼び径</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量(m/日)</th></tr><tr><th>粘性土 砂質土</th><th>レキ質土</th><th>岩塊玉石</th><th>軟岩</th></tr><tr><td rowspan="3">地表</td><td>90mm</td><td>32</td><td>22</td><td>16</td><td>20</td></tr><tr><td>110mm</td><td>24</td><td>18</td><td>14</td><td>17</td></tr><tr><td>135mm</td><td>20</td><td>15</td><td>13</td><td>15</td></tr><tr><td rowspan="3">集水井</td><td>90mm</td><td>27</td><td>19</td><td>13</td><td>17</td></tr><tr><td>110mm</td><td>20</td><td>15</td><td>12</td><td>14</td></tr><tr><td>135mm</td><td>17</td><td>13</td><td>11</td><td>13</td></tr></table>	施工場所	呼び径	作業日当り標準作業量(m/日)				粘性土 砂質土	レキ質土	岩塊玉石	軟岩	地表	90mm	32	22	16	20	110mm	24	18	14	17	135mm	20	15	13	15	集水井	90mm	27	19	13	17	110mm	20	15	12	14	135mm	17	13	11	13
	施工場所			呼び径	作業日当り標準作業量(m/日)																																						
		粘性土 砂質土	レキ質土		岩塊玉石	軟岩																																					
	地表	90mm	32	22	16	20																																					
		110mm	24	18	14	17																																					
		135mm	20	15	13	15																																					
	集水井	90mm	27	19	13	17																																					
		110mm	20	15	12	14																																					
		135mm	17	13	11	13																																					
(注) 1. 呼び径とは、ドリルパイプ外径 (mm) をいう。 2. 同一足場上での移動を含む。 3. 削孔長が 50m を超える場合は全長について 20%の削減補正を行う。																																											
② 保孔管、ボーリング仮設機材、足場 (地表)																																											
<table><tr><th colspan="3">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="4">保孔管</td><td rowspan="2">地表部</td><td>VP管</td><td>150 m/日 500 m/日</td><td>ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無</td></tr><tr><td>SGP管</td><td>52 m/日 98 m/日</td><td>ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無</td></tr><tr><td rowspan="2">集水井内</td><td>VP管</td><td>110 m/日 440 m/日</td><td>ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無</td></tr><tr><td>SGP管</td><td>37 m/日 56 m/日</td><td>ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無</td></tr><tr><td rowspan="2">ボーリング 仮設機材</td><td>地表部</td><td></td><td>0.89 回/日</td><td></td></tr><tr><td>集水井内</td><td></td><td>0.30 回/日</td><td>足場設置撤去含む</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">足場 (地表)</td><td>平地</td><td>42 空 m³/日</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>傾斜地</td><td>32 空 m³/日</td></tr></table>	作 業 名			作業日当り標準作業量	摘 要	保孔管	地表部	VP管	150 m/日 500 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	SGP管	52 m/日 98 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	集水井内	VP管	110 m/日 440 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	SGP管	37 m/日 56 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	ボーリング 仮設機材	地表部		0.89 回/日		集水井内		0.30 回/日	足場設置撤去含む	足場 (地表)		平地	42 空 m ³ /日		傾斜地	32 空 m ³ /日							
作 業 名			作業日当り標準作業量	摘 要																																							
保孔管	地表部	VP管	150 m/日 500 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無																																							
		SGP管	52 m/日 98 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無																																							
	集水井内	VP管	110 m/日 440 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無																																							
		SGP管	37 m/日 56 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無																																							
ボーリング 仮設機材	地表部		0.89 回/日																																								
	集水井内		0.30 回/日	足場設置撤去含む																																							
足場 (地表)		平地	42 空 m ³ /日																																								
		傾斜地	32 空 m ³ /日																																								
(注) 上表の作業日当り標準作業量には、ロータリパーカッション式ボーリングマシンの掘付けから保孔管挿入、足場撤去までの一連作業を含む (ボーリングは除く)。																																											
地すべり防止工 (山腹水路工)	① 山腹U形側溝、山腹コルゲートフリューム据付、山腹U形側溝明暗渠、 山腹コルゲートフリューム明暗渠、山腹暗渠工 …… 該当工種の基準内に記載。																																										
	② 集水桝、プレキャスト集水桝																																										
	<table><tr><th>作業名</th><th>材料種別</th><th>内空積もしくは製品質量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="7">集水桝工</td><td rowspan="3">集水桝</td><td>0.4m³以下</td><td>1.7 基/日</td></tr><tr><td>0.4 を超え 0.8m³以下</td><td>1.4 基/日</td></tr><tr><td>0.8 を超え 1.0m³以下</td><td>1.1 基/日</td></tr><tr><td rowspan="4">プレキャスト 集水桝</td><td>150 を超え 500kg 以下</td><td>2.8 基/日</td></tr><tr><td>500 を超え 1,000kg 以下</td><td>2.3 基/日</td></tr><tr><td>1,000 を超え 1,500kg 以下</td><td>1.9 基/日</td></tr><tr><td>1,500 を超え 1,700kg 以下</td><td>1.8 基/日</td></tr></table>	作業名	材料種別	内空積もしくは製品質量	作業日当り標準作業量	集水桝工	集水桝	0.4m ³ 以下	1.7 基/日	0.4 を超え 0.8m ³ 以下	1.4 基/日	0.8 を超え 1.0m ³ 以下	1.1 基/日	プレキャスト 集水桝	150 を超え 500kg 以下	2.8 基/日	500 を超え 1,000kg 以下	2.3 基/日	1,000 を超え 1,500kg 以下	1.9 基/日	1,500 を超え 1,700kg 以下	1.8 基/日																					
	作業名	材料種別	内空積もしくは製品質量	作業日当り標準作業量																																							
	集水桝工	集水桝	0.4m ³ 以下	1.7 基/日																																							
			0.4 を超え 0.8m ³ 以下	1.4 基/日																																							
			0.8 を超え 1.0m ³ 以下	1.1 基/日																																							
		プレキャスト 集水桝	150 を超え 500kg 以下	2.8 基/日																																							
			500 を超え 1,000kg 以下	2.3 基/日																																							
			1,000 を超え 1,500kg 以下	1.9 基/日																																							
1,500 を超え 1,700kg 以下			1.8 基/日																																								
(注) 1. 集水桝の作業日当り標準作業量には床掘り (仕上げ含む)、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しまでの一連作業を含む。ただし、養生に要する日数は含まない。 2. プレキャスト集水桝の作業日当り標準作業量には床掘り (仕上げ含む)、基礎、集水桝据付、埋戻しまでの一連作業を含む。																																											

工 種 名	設 定 内 容					
地すべり防止工 (かご工)	① かご工					
	かご種類	かご寸法	作業日当り 標準作業量			
	ふとんかご	高さ 40cm×幅 120cm	8 m/日			
		高さ 50cm×幅 120cm	6 m/日			
		高さ 60cm×幅 120cm	5 m/日			
		高さ 100cm×幅 120cm	4 m/日			
		高さ 50cm×幅 200cm	4 m/日			
高さ 100cm×幅 200cm		2 m/日				
集排水ボーリング孔 洗浄工	① 洗浄工 …… 該当工種の基準内に記載。					
	② 集水井内足場設置・撤去					
		作業日当り標準作業量	2.5 回/日			
路盤工	① 不陸整正、下層路盤、上層路盤					
	(1日・1層当り)					
	施工区分	工 種	単位 作業日当り標準作業量			
	車道・路肩部 施工	不陸整正	m ² 1,400 m ² /日・層			
		下層路盤		830 m ² /日・層		
		上層路盤 (粒度調整碎石)		830 m ² /日・層		
	歩道施工	下層路盤及び上層路盤	250 m ² /日・層			
	施工区分	工 種	平均幅員	1層当り 平均仕上り厚	単位	作業日当り 標準作業量
	車道・路肩 部施工	上層路盤 (瀝青安定処理)	1.4m未満	50mm以下	m ²	250 m ² /日・層
				50mmを超え 100mm以下		230 m ² /日・層
1.4m以上 3.0m以下			—	1,300 m ² /日・層		
			3.0m超	—		2,300 m ² /日・層
(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは20cm までとする。						
2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は10cm) とする。						
路盤工 (I C T)	① 不陸整正 (I C T) 下層路盤 (I C T)、上層路盤 (I C T)					
	(1日・1層当り)					
	工 種	単位	作業日当り標準作業量			
	不陸整正 (I C T)	m ²	1,780 m ² /日・層			
	下層路盤 (車道・路肩部) (I C T)		1,250 m ² /日・層			
上層路盤 (車道・路肩部) (I C T)	1,250 m ² /日・層					
(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは20cm までとする。						
2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは15cm までとする。						

工 種 名	設 定 内 容																											
アスファルト舗装工	① 舗設工																											
	(1 日・1 層当り)																											
	<table><tr><th>施工区分</th><th>平均幅員</th><th>1層当り仕上り 平均厚さ</th><th>単位</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)</td><td rowspan="2">1. 4m未満</td><td>50mm以下</td><td rowspan="4">㎡</td><td>250 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>50mmを超え 70mm以下</td><td>230 ㎡/日・層</td></tr><tr><td rowspan="2">1. 4m以上 3. 0m以下</td><td rowspan="2">70mm以下</td><td>1,300 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>3. 0m超</td><td>2,300 ㎡/日・層</td></tr><tr><td rowspan="3">基層(歩道部) 中間層(歩道部) 表層(歩道部)</td><td rowspan="2">1. 4m未満</td><td>50mm以下</td><td rowspan="3">㎡</td><td>250 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>50mmを超え 70mm以下</td><td>230 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>1. 4m以上</td><td>70mm以下</td><td>940 ㎡/日・層</td></tr></table>	施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量	基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1. 4m未満	50mm以下	㎡	250 ㎡/日・層	50mmを超え 70mm以下	230 ㎡/日・層	1. 4m以上 3. 0m以下	70mm以下	1,300 ㎡/日・層	3. 0m超	2,300 ㎡/日・層	基層(歩道部) 中間層(歩道部) 表層(歩道部)	1. 4m未満	50mm以下	㎡	250 ㎡/日・層	50mmを超え 70mm以下	230 ㎡/日・層	1. 4m以上	70mm以下	940 ㎡/日・層
	施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量																							
	基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1. 4m未満	50mm以下	㎡	250 ㎡/日・層																							
			50mmを超え 70mm以下		230 ㎡/日・層																							
		1. 4m以上 3. 0m以下	70mm以下		1,300 ㎡/日・層																							
					3. 0m超	2,300 ㎡/日・層																						
	基層(歩道部) 中間層(歩道部) 表層(歩道部)	1. 4m未満	50mm以下	㎡	250 ㎡/日・層																							
			50mmを超え 70mm以下		230 ㎡/日・層																							
1. 4m以上		70mm以下	940 ㎡/日・層																									
② アスカーブ																												
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>260 ㎡/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	260 ㎡/日																										
作業日当り標準作業量	260 ㎡/日																											
半たわみ性（コンポジット）舗装工	① セメントミルク浸透																											
	<table><tr><th>作業名</th><th>総施工量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">浸透作業</td><td>200 ㎡以下</td><td>760 ㎡/日</td></tr><tr><td>200 ㎡超え</td><td>893 ㎡/日</td></tr></table>	作業名	総施工量	作業日当り標準作業量	浸透作業	200 ㎡以下	760 ㎡/日	200 ㎡超え	893 ㎡/日																			
	作業名	総施工量	作業日当り標準作業量																									
	浸透作業	200 ㎡以下	760 ㎡/日																									
		200 ㎡超え	893 ㎡/日																									
(注) 総施工量は条件区分を問わず1 工事当りの総数量とする。																												
排水性アスファルト舗装工	① 排水性舗装・表層（車道・路肩部）																											
	(1 日・1 層当り)																											
	<table><tr><th>平均施工幅員</th><th>導水パイプの設置</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">1. 4m未満</td><td>有り</td><td>170 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>無し</td><td>190 ㎡/日・層</td></tr><tr><td rowspan="2">2. 4m 以上</td><td>有り</td><td rowspan="2">1,500 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>無し</td></tr></table>	平均施工幅員	導水パイプの設置	作業日当り標準作業量	1. 4m未満	有り	170 ㎡/日・層	無し	190 ㎡/日・層	2. 4m 以上	有り	1,500 ㎡/日・層	無し															
	平均施工幅員	導水パイプの設置	作業日当り標準作業量																									
	1. 4m未満	有り	170 ㎡/日・層																									
		無し	190 ㎡/日・層																									
	2. 4m 以上	有り	1,500 ㎡/日・層																									
		無し																										
透水性アスファルト舗装工	① フィルター層																											
	(1 日・1 層当り)																											
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>フィルター材の敷均し及び締固め</td><td>240 ㎡/日・層</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	フィルター材の敷均し及び締固め	240 ㎡/日・層																							
	作 業 名	作業日当り標準作業量																										
	フィルター材の敷均し及び締固め	240 ㎡/日・層																										
	② 透水性アスファルト舗装																											
	(1 日・1 層当り)																											
<table><tr><th>平均施工幅員</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>1. 4m未満</td><td>170 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>1. 4m以上2. 4m未満</td><td>510 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>2. 4m以上</td><td>520 ㎡/日・層</td></tr></table>	平均施工幅員	作業日当り標準作業量	1. 4m未満	170 ㎡/日・層	1. 4m以上2. 4m未満	510 ㎡/日・層	2. 4m以上	520 ㎡/日・層																				
平均施工幅員	作業日当り標準作業量																											
1. 4m未満	170 ㎡/日・層																											
1. 4m以上2. 4m未満	510 ㎡/日・層																											
2. 4m以上	520 ㎡/日・層																											
グースアスファルト舗装工	該当工種の基準内に記載。																											

工 種 名	設 定 内 容																																	
コンクリート舗装工	① コンクリート舗装工 <table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">機械舗設</td><td>1 車線施工</td><td>111 m²/日</td></tr><tr><td>2 車線同時施工</td><td>152 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">人力舗設</td><td>平均舗設厚20cm以上</td><td>47 m²/日</td></tr><tr><td>平均舗設厚20cm未満</td><td>69 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	機械舗設	1 車線施工	111 m ² /日	2 車線同時施工	152 m ² /日	人力舗設	平均舗設厚20cm以上	47 m ² /日	平均舗設厚20cm未満	69 m ² /日																				
作 業 種 別		作業日当り標準作業量																																
機械舗設	1 車線施工	111 m ² /日																																
	2 車線同時施工	152 m ² /日																																
人力舗設	平均舗設厚20cm以上	47 m ² /日																																
	平均舗設厚20cm未満	69 m ² /日																																
連続鉄筋コンクリート舗装工	① 連続鉄筋コンクリート舗装工 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>146 m²/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、目地切り・清掃の有無にかかわらず適用できる。	作業日当り標準作業量	146 m ² /日																															
作業日当り標準作業量	146 m ² /日																																	
踏掛版設置工	① 踏掛版設置 <table><tr><th>鉄 筋 量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>0.08t/m³以上0.10t/m³未満</td><td>5.1 m³/日</td></tr><tr><td>0.10t/m³以上0.16t/m³未満</td><td>4.4 m³/日</td></tr><tr><td>0.16t/m³以上0.24t/m³未満</td><td>3.6 m³/日</td></tr><tr><td>0.24t/m³以上0.30t/m³未満</td><td>2.2 m³/日</td></tr><tr><td>0.30t/m³以上0.36t/m³未満</td><td>1.4 m³/日</td></tr></table> (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、目地板設置から鉄筋加工・組立、型枠設置撤去、コンクリート打設、コンクリート養生までの作業を含む。 2. 上表の作業日当り標準作業量は、ゴム支承、縦目地、横目地の有無にかかわらず適用できる。	鉄 筋 量	作業日当り標準作業量	0.08t/m ³ 以上0.10t/m ³ 未満	5.1 m ³ /日	0.10t/m ³ 以上0.16t/m ³ 未満	4.4 m ³ /日	0.16t/m ³ 以上0.24t/m ³ 未満	3.6 m ³ /日	0.24t/m ³ 以上0.30t/m ³ 未満	2.2 m ³ /日	0.30t/m ³ 以上0.36t/m ³ 未満	1.4 m ³ /日																					
鉄 筋 量	作業日当り標準作業量																																	
0.08t/m ³ 以上0.10t/m ³ 未満	5.1 m ³ /日																																	
0.10t/m ³ 以上0.16t/m ³ 未満	4.4 m ³ /日																																	
0.16t/m ³ 以上0.24t/m ³ 未満	3.6 m ³ /日																																	
0.24t/m ³ 以上0.30t/m ³ 未満	2.2 m ³ /日																																	
0.30t/m ³ 以上0.36t/m ³ 未満	1.4 m ³ /日																																	
ガードケーブル設置工	① ガードケーブル設置工 <table><tr><th colspan="3">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">端末支柱</td><td rowspan="2">建込み</td><td>標準型</td><td>5 本/日</td></tr><tr><td>耐雪型</td><td>5 本/日</td></tr><tr><td rowspan="3">中間支柱</td><td rowspan="2">土中建込 (機械施工)</td><td>標準型</td><td>44 本/日</td></tr><tr><td>耐雪型</td><td>37 本/日</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート建込</td><td>25 本/日</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="6">ケーブル張</td><td>A種</td><td>164 m/日</td></tr><tr><td>B種</td><td>205 m/日</td></tr><tr><td>C種</td><td>273 m/日</td></tr><tr><td>S種</td><td>137 m/日</td></tr><tr><td>A_m種</td><td>102 m/日</td></tr><tr><td>B_m種</td><td>137 m/日</td></tr></table>	作 業 種 別			作業日当り標準作業量	端末支柱	建込み	標準型	5 本/日	耐雪型	5 本/日	中間支柱	土中建込 (機械施工)	標準型	44 本/日	耐雪型	37 本/日	コンクリート建込		25 本/日	ケーブル張		A種	164 m/日	B種	205 m/日	C種	273 m/日	S種	137 m/日	A _m 種	102 m/日	B _m 種	137 m/日
作 業 種 別			作業日当り標準作業量																															
端末支柱	建込み	標準型	5 本/日																															
		耐雪型	5 本/日																															
中間支柱	土中建込 (機械施工)	標準型	44 本/日																															
		耐雪型	37 本/日																															
	コンクリート建込		25 本/日																															
ケーブル張		A種	164 m/日																															
		B種	205 m/日																															
		C種	273 m/日																															
		S種	137 m/日																															
		A _m 種	102 m/日																															
		B _m 種	137 m/日																															
ワイヤロープ設置工	該当工種の基準内に記載。																																	

工 種 名	設 定 内 容																										
立入り防止柵工	① 基礎ブロック、鋼管基礎																										
	<table><tr><th>基礎種別</th><th>種別</th><th>支柱柵高 ・門柱高</th><th>基礎砕石</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">基礎ブロック</td><td rowspan="2">金網柵</td><td rowspan="2">-</td><td>無し</td><td>22 基/日</td></tr><tr><td>有り</td><td>21 基/日</td></tr><tr><td rowspan="2">門扉</td><td rowspan="2">-</td><td>無し</td><td>21 基/日</td></tr><tr><td>有り</td><td>20 基/日</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼管基礎</td><td rowspan="2">-</td><td>2m 以下</td><td></td><td>32 基/日</td></tr><tr><td>2m を超え 2.5m 以下</td><td></td><td>45 基/日</td></tr></table>	基礎種別	種別	支柱柵高 ・門柱高	基礎砕石	作業日当り 標準作業量	基礎ブロック	金網柵	-	無し	22 基/日	有り	21 基/日	門扉	-	無し	21 基/日	有り	20 基/日	鋼管基礎	-	2m 以下		32 基/日	2m を超え 2.5m 以下		45 基/日
	基礎種別	種別	支柱柵高 ・門柱高	基礎砕石	作業日当り 標準作業量																						
	基礎ブロック	金網柵	-	無し	22 基/日																						
				有り	21 基/日																						
		門扉	-	無し	21 基/日																						
				有り	20 基/日																						
	鋼管基礎	-	2m 以下		32 基/日																						
			2m を超え 2.5m 以下		45 基/日																						
	② 金網・支柱(立入防止柵)																										
<table><tr><th>基礎種別</th><th>支柱柵高</th><th>支柱間隔</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">基礎ブロック</td><td rowspan="2">-</td><td>1.5m</td><td>28 m/日</td></tr><tr><td>2m</td><td>30 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">鋼管基礎</td><td rowspan="2">2m 以下</td><td>1.5m</td><td>28 m/日</td></tr><tr><td>2m</td><td>30 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">2m を超え 2.5m 以下</td><td>1.5m</td><td>25 m/日</td></tr><tr><td>2m</td><td>27 m/日</td></tr></table>	基礎種別	支柱柵高	支柱間隔	作業日当り 標準作業量	基礎ブロック	-	1.5m	28 m/日	2m	30 m/日	鋼管基礎	2m 以下	1.5m	28 m/日	2m	30 m/日	2m を超え 2.5m 以下	1.5m	25 m/日	2m	27 m/日						
基礎種別	支柱柵高	支柱間隔	作業日当り 標準作業量																								
基礎ブロック	-	1.5m	28 m/日																								
		2m	30 m/日																								
鋼管基礎	2m 以下	1.5m	28 m/日																								
		2m	30 m/日																								
	2m を超え 2.5m 以下	1.5m	25 m/日																								
		2m	27 m/日																								
③ 支柱(立入防止柵)																											
<table><tr><th>基礎種別</th><th>支柱柵高</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td>基礎ブロック</td><td>-</td><td>74 本/日</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼管基礎</td><td>2m 以下</td><td>74 本/日</td></tr><tr><td>2m を超え 2.5m 以下</td><td>70 本/日</td></tr></table>	基礎種別	支柱柵高	作業日当り 標準作業量	基礎ブロック	-	74 本/日	鋼管基礎	2m 以下	74 本/日	2m を超え 2.5m 以下	70 本/日																
基礎種別	支柱柵高	作業日当り 標準作業量																									
基礎ブロック	-	74 本/日																									
鋼管基礎	2m 以下	74 本/日																									
	2m を超え 2.5m 以下	70 本/日																									
④ 門扉																											
<table><tr><th>門扉種別</th><th>門柱高</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">片開き</td><td>2m 以下</td><td>7.5 基/日</td></tr><tr><td>2m を超え 2.5m 以下</td><td>6.1 基/日</td></tr><tr><td>両開き</td><td>-</td><td>3.8 基/日</td></tr></table>	門扉種別	門柱高	作業日当り 標準作業量	片開き	2m 以下	7.5 基/日	2m を超え 2.5m 以下	6.1 基/日	両開き	-	3.8 基/日																
門扉種別	門柱高	作業日当り 標準作業量																									
片開き	2m 以下	7.5 基/日																									
	2m を超え 2.5m 以下	6.1 基/日																									
両開き	-	3.8 基/日																									
⑤ 箱抜き																											
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>50 m/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	50 m/日																									
作業日当り標準作業量	50 m/日																										
(注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員 2 名の場合。																											
車止めポスト設置工	① 車止めポスト																										
	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>7.3 本/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	7.3 本/日																								
作業日当り標準作業量	7.3 本/日																										

工 種 名	設 定 内 容																																	
防雪柵設置及び撤去工	① 設置の場合																																	
	<table><tr><th>形式</th><th>取付方式</th><th>柵 高</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="6">吹溜式</td><td rowspan="2">仮設式（支柱＋張立材）</td><td>3. 5m以下</td><td>87 m/日</td></tr><tr><td>3. 5m超え6. 0m以下</td><td>56 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">仮設式（張立材のみ）</td><td>3. 5m以下</td><td>201 m/日</td></tr><tr><td>3. 5m超え6. 0m以下</td><td>128 m/日</td></tr><tr><td>固定式（支柱＋張立材）</td><td>5. 0m以下</td><td>29 m/日</td></tr><tr><td>固定式（張立材のみ）</td><td>5. 0m以下</td><td>68 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">吹払式</td><td>仮設式（支柱＋張立材）</td><td>4. 0m以下</td><td>67 m/日</td></tr><tr><td>仮設式（張立材のみ）</td><td>4. 0m以下</td><td>155 m/日</td></tr><tr><td>固定式（支柱＋張立材）</td><td>4. 0m以下</td><td>39 m/日</td></tr><tr><td>固定式（張立材のみ）</td><td>4. 0m以下</td><td>90 m/日</td></tr></table>	形式	取付方式	柵 高	作業日当り標準作業量	吹溜式	仮設式（支柱＋張立材）	3. 5m以下	87 m/日	3. 5m超え6. 0m以下	56 m/日	仮設式（張立材のみ）	3. 5m以下	201 m/日	3. 5m超え6. 0m以下	128 m/日	固定式（支柱＋張立材）	5. 0m以下	29 m/日	固定式（張立材のみ）	5. 0m以下	68 m/日	吹払式	仮設式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	67 m/日	仮設式（張立材のみ）	4. 0m以下	155 m/日	固定式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	39 m/日	固定式（張立材のみ）	4. 0m以下
形式	取付方式	柵 高	作業日当り標準作業量																															
吹溜式	仮設式（支柱＋張立材）	3. 5m以下	87 m/日																															
		3. 5m超え6. 0m以下	56 m/日																															
	仮設式（張立材のみ）	3. 5m以下	201 m/日																															
		3. 5m超え6. 0m以下	128 m/日																															
	固定式（支柱＋張立材）	5. 0m以下	29 m/日																															
	固定式（張立材のみ）	5. 0m以下	68 m/日																															
吹払式	仮設式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	67 m/日																															
	仮設式（張立材のみ）	4. 0m以下	155 m/日																															
	固定式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	39 m/日																															
	固定式（張立材のみ）	4. 0m以下	90 m/日																															
	② 撤去の場合																																	
	<table><tr><th>形式</th><th>取付方式</th><th>柵 高</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="6">吹溜式</td><td rowspan="2">仮設式（支柱＋張立材）</td><td>3. 5m以下</td><td>114 m/日</td></tr><tr><td>3. 5m超え6. 0m以下</td><td>73 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">仮設式（張立材のみ）</td><td>3. 5m以下</td><td>264 m/日</td></tr><tr><td>3. 5m超え6. 0m以下</td><td>170 m/日</td></tr><tr><td>固定式（支柱＋張立材）</td><td>5. 0m以下</td><td>38 m/日</td></tr><tr><td>固定式（張立材のみ）</td><td>5. 0m以下</td><td>88 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">吹払式</td><td>仮設式（支柱＋張立材）</td><td>4. 0m以下</td><td>88 m/日</td></tr><tr><td>仮設式（張立材のみ）</td><td>4. 0m以下</td><td>203 m/日</td></tr><tr><td>固定式（支柱＋張立材）</td><td>4. 0m以下</td><td>51 m/日</td></tr><tr><td>固定式（張立材のみ）</td><td>4. 0m以下</td><td>118 m/日</td></tr></table> (注) 上表の作業日当り標準作業量には、現場内小運搬を含む。	形式	取付方式	柵 高	作業日当り標準作業量	吹溜式	仮設式（支柱＋張立材）	3. 5m以下	114 m/日	3. 5m超え6. 0m以下	73 m/日	仮設式（張立材のみ）	3. 5m以下	264 m/日	3. 5m超え6. 0m以下	170 m/日	固定式（支柱＋張立材）	5. 0m以下	38 m/日	固定式（張立材のみ）	5. 0m以下	88 m/日	吹払式	仮設式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	88 m/日	仮設式（張立材のみ）	4. 0m以下	203 m/日	固定式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	51 m/日	固定式（張立材のみ）	4. 0m以下
形式	取付方式	柵 高	作業日当り標準作業量																															
吹溜式	仮設式（支柱＋張立材）	3. 5m以下	114 m/日																															
		3. 5m超え6. 0m以下	73 m/日																															
	仮設式（張立材のみ）	3. 5m以下	264 m/日																															
		3. 5m超え6. 0m以下	170 m/日																															
	固定式（支柱＋張立材）	5. 0m以下	38 m/日																															
	固定式（張立材のみ）	5. 0m以下	88 m/日																															
吹払式	仮設式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	88 m/日																															
	仮設式（張立材のみ）	4. 0m以下	203 m/日																															
	固定式（支柱＋張立材）	4. 0m以下	51 m/日																															
	固定式（張立材のみ）	4. 0m以下	118 m/日																															
防雪柵現地張出し・ 収納工	① 防雪柵現地張出し・収納																																	
	<table><tr><th>作業名</th><th>柵 高</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">張出し</td><td>4. 3m以下</td><td>186 m/日</td></tr><tr><td>4. 3mを超え5. 5m以下</td><td>159 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">収 納</td><td>4. 3m以下</td><td>214 m/日</td></tr><tr><td>4. 3mを超え5. 5m以下</td><td>171 m/日</td></tr></table>	作業名	柵 高	作業日当り標準作業量	張出し	4. 3m以下	186 m/日	4. 3mを超え5. 5m以下	159 m/日	収 納	4. 3m以下	214 m/日	4. 3mを超え5. 5m以下	171 m/日																				
作業名	柵 高	作業日当り標準作業量																																
張出し	4. 3m以下	186 m/日																																
	4. 3mを超え5. 5m以下	159 m/日																																
収 納	4. 3m以下	214 m/日																																
	4. 3mを超え5. 5m以下	171 m/日																																

工 種 名	設 定 内 容			
雪崩予防柵設置工	① 雪崩予防柵			
	柵の区分	作業種別	適用規格	作業日当り標準作業量
	固定柵	柵の組立・設置	柵長6.0m以下 柵高 3.0m 以下	2 基/日
	吊 柵	パイプアンカー設置	アンカー径φ114.3mm アンカー長2.0～3.0m	9 本/日
		樹脂アンカー設置	アンカー径φ32, 36mm アンカー長1.7m	11 本/日
		柵の組立・設置	柵長6.0m以下 柵高3.0m以下	4 基/日
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、鋼製の雪崩発生予防柵にのみ適用できる。 2. 吊柵の組立・設置には、ワイヤの加工・設置が含まれている。			
	② 簡易ケーブルクレーン（1t 吊）設置・撤去			
	作業日当り標準作業量		0.5 基/日	
	落下物等防止柵設置工	① 落下物等防止柵設置工		
アンカーボルト設置		作業日当たり標準作業量		
有り		27 m/日		
無し		32 m/日		

工 種 名	設 定 内 容																						
しゃ音壁設置工	① 支柱アンカー																						
	<table><tr><th>形 式</th><th>支柱間隔</th><th>設置高さ</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">A型 (埋設アンカー方式)</td><td rowspan="2">2m</td><td>4m 以下</td><td>475 m/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>150 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">4m</td><td>4m 以下</td><td>981 m/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>297 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">B型 (穿孔アンカー方式)</td><td>2m</td><td>4m 以下</td><td>22 m/日</td></tr><tr><td>4m</td><td>4m 以下</td><td>50 m/日</td></tr></table>	形 式	支柱間隔	設置高さ	作業日当り標準作業量	A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m 以下	475 m/日	4m 超え 8m 以下	150 m/日	4m	4m 以下	981 m/日	4m 超え 8m 以下	297 m/日	B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m 以下	22 m/日	4m	4m 以下	50 m/日
	形 式	支柱間隔	設置高さ	作業日当り標準作業量																			
	A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m 以下	475 m/日																			
			4m 超え 8m 以下	150 m/日																			
		4m	4m 以下	981 m/日																			
			4m 超え 8m 以下	297 m/日																			
	B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m 以下	22 m/日																			
		4m	4m 以下	50 m/日																			
	② 支柱建込																						
<table><tr><th>形 式</th><th>支柱間隔</th><th>設置高さ</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">A型 (埋設アンカー方式)</td><td rowspan="2">2m</td><td>4m 以下</td><td>72 m/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>28 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">4m</td><td>4m 以下</td><td>148 m/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>55 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">B型 (穿孔アンカー方式)</td><td>2m</td><td>4m 以下</td><td>39 m/日</td></tr><tr><td>4m</td><td>4m 以下</td><td>78 m/日</td></tr></table>	形 式	支柱間隔	設置高さ	作業日当り標準作業量	A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m 以下	72 m/日	4m 超え 8m 以下	28 m/日	4m	4m 以下	148 m/日	4m 超え 8m 以下	55 m/日	B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m 以下	39 m/日	4m	4m 以下	78 m/日	
形 式	支柱間隔	設置高さ	作業日当り標準作業量																				
A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m 以下	72 m/日																				
		4m 超え 8m 以下	28 m/日																				
	4m	4m 以下	148 m/日																				
		4m 超え 8m 以下	55 m/日																				
B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m 以下	39 m/日																				
	4m	4m 以下	78 m/日																				
③ 土留板取付																							
<table><tr><th>設置高さ</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>4m 以下</td><td>78 m²/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>53 m²/日</td></tr></table>	設置高さ	作業日当り標準作業量	4m 以下	78 m ² /日	4m 超え 8m 以下	53 m ² /日																	
設置高さ	作業日当り標準作業量																						
4m 以下	78 m ² /日																						
4m 超え 8m 以下	53 m ² /日																						
④ しゃ音板・透光板取付																							
<table><tr><th>作 業 名</th><th>設置高さ</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">しゃ音板取付</td><td>4m 以下</td><td>175 m²/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>144 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">透光板取付</td><td>4m 以下</td><td>199 m²/日</td></tr><tr><td>4m 超え 8m 以下</td><td>173 m²/日</td></tr></table>	作 業 名	設置高さ	作業日当り標準作業量	しゃ音板取付	4m 以下	175 m ² /日	4m 超え 8m 以下	144 m ² /日	透光板取付	4m 以下	199 m ² /日	4m 超え 8m 以下	173 m ² /日										
作 業 名	設置高さ	作業日当り標準作業量																					
しゃ音板取付	4m 以下	175 m ² /日																					
	4m 超え 8m 以下	144 m ² /日																					
透光板取付	4m 以下	199 m ² /日																					
	4m 超え 8m 以下	173 m ² /日																					
⑤ 笠木取付																							
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td></td><td>2,000 m/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量			2,000 m/日																			
作業日当り標準作業量																							
	2,000 m/日																						
⑥ 外装板取付																							
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td></td><td>152 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量			152 m ² /日																			
作業日当り標準作業量																							
	152 m ² /日																						
⑦ 水切板取付																							
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td></td><td>254 m/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量			254 m/日																			
作業日当り標準作業量																							
	254 m/日																						

工 種 名	設 定 内 容																																							
路側工（据付け）	① 歩車道境界ブロック据付、地先境界ブロック据付																																							
	<table><tr><th rowspan="2">ブロック規格</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量(m/日)</th></tr><tr><th>ブロック 単体</th><th>ブロック＋ 基礎砕石</th><th>ブロック＋ 均しコンクリート</th><th>ブロック＋ 基礎砕石＋ 均しコンクリート</th></tr><tr><td>歩車道境界ブロック A種 地先境界ブロック A・B・C種</td><td>37</td><td>34</td><td>23</td><td>22</td></tr><tr><td>歩車道境界ブロック B・C種</td><td>43</td><td>39</td><td>25</td><td>23</td></tr><tr><td>各種(600mm以下、50kg未満)</td><td>37</td><td>34</td><td>23</td><td>22</td></tr><tr><td>各種(600mm以下、 50kg以上100kg未満)</td><td>43</td><td>39</td><td>25</td><td>23</td></tr><tr><td>各種(600mm超1000mm以下、 50kg以上150kg未満)</td><td>49</td><td>43</td><td>27</td><td>25</td></tr><tr><td>各種(1000mm超2000mm以下、 150kg以上550kg未満)</td><td>56</td><td>49</td><td>29</td><td>27</td></tr></table>	ブロック規格	作業日当り標準作業量(m/日)				ブロック 単体	ブロック＋ 基礎砕石	ブロック＋ 均しコンクリート	ブロック＋ 基礎砕石＋ 均しコンクリート	歩車道境界ブロック A種 地先境界ブロック A・B・C種	37	34	23	22	歩車道境界ブロック B・C種	43	39	25	23	各種(600mm以下、50kg未満)	37	34	23	22	各種(600mm以下、 50kg以上100kg未満)	43	39	25	23	各種(600mm超1000mm以下、 50kg以上150kg未満)	49	43	27	25	各種(1000mm超2000mm以下、 150kg以上550kg未満)	56	49	29	27
	ブロック規格		作業日当り標準作業量(m/日)																																					
		ブロック 単体	ブロック＋ 基礎砕石	ブロック＋ 均しコンクリート	ブロック＋ 基礎砕石＋ 均しコンクリート																																			
	歩車道境界ブロック A種 地先境界ブロック A・B・C種	37	34	23	22																																			
	歩車道境界ブロック B・C種	43	39	25	23																																			
	各種(600mm以下、50kg未満)	37	34	23	22																																			
	各種(600mm以下、 50kg以上100kg未満)	43	39	25	23																																			
	各種(600mm超1000mm以下、 50kg以上150kg未満)	49	43	27	25																																			
	各種(1000mm超2000mm以下、 150kg以上550kg未満)	56	49	29	27																																			
(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含む。 2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの施工を含む。 3. 上表には、ブロックの現場内小運搬を含む。 4. 床掘り、埋戻しは別途計上する。																																								
路側工（取外し）	① 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去																																							
	<table><tr><th>再利用区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>処 分</td><td>200 m/日</td></tr><tr><td>再利用</td><td>115 m/日</td></tr></table>	再利用区分	作業日当り標準作業量	処 分	200 m/日	再利用	115 m/日																																	
	再利用区分	作業日当り標準作業量																																						
	処 分	200 m/日																																						
再利用	115 m/日																																							
(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含む。 2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの取外しを含む。 3. 上表には、ブロックの現場内小運搬を含む。 4. 基礎コンクリートのとりこわしは、含まない。																																								
特殊ブロック設置工	① 特殊ブロック設置工																																							
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th>77 m²/日</th></tr></table>	作業日当り標準作業量	77 m ² /日																																						
作業日当り標準作業量	77 m ² /日																																							
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。																																								
橋梁付属施設設置工	① 排水樹																																							
	<table><tr><th>排水樹の種類</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>排水樹 A</td><td>12 箇所/日</td></tr><tr><td>排水樹 B 20kg/個未満</td><td>11 箇所/日</td></tr><tr><td>排水樹 B 20kg/個以上 110kg/個以下</td><td>10 箇所/日</td></tr></table>	排水樹の種類	作業日当り標準作業量	排水樹 A	12 箇所/日	排水樹 B 20kg/個未満	11 箇所/日	排水樹 B 20kg/個以上 110kg/個以下	10 箇所/日																															
	排水樹の種類	作業日当り標準作業量																																						
	排水樹 A	12 箇所/日																																						
	排水樹 B 20kg/個未満	11 箇所/日																																						
	排水樹 B 20kg/個以上 110kg/個以下	10 箇所/日																																						
	(注) 1. 排水樹 A は、繊維強化プラスチック（FRP）製とする。 2. 排水樹 B は、FRP 製以外（普通鑄鉄（ねずみ鑄鉄）製）等とする。																																							
	② 橋名板等取付																																							
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th>6.6 枚/日</th></tr></table>	作業日当り標準作業量	6.6 枚/日																																					
	作業日当り標準作業量	6.6 枚/日																																						
③ 橋梁用高欄																																								
<table><tr><th>設置方法</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>組立式</td><td>33 m/日</td></tr><tr><td>一体式</td><td>33 m/日</td></tr></table>	設置方法	作業日当り標準作業量	組立式	33 m/日	一体式	33 m/日																																		
設置方法	作業日当り標準作業量																																							
組立式	33 m/日																																							
一体式	33 m/日																																							

工 種 名	設 定 内 容																																			
道路付属物設置工	① 距離標 <table><tr><th rowspan="2">形 式</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>設 置</th><th>撤 去</th></tr><tr><td>パネル式（アンカー固定）</td><td>16 枚/日</td><td>40 枚/日</td></tr><tr><td>パネル式（金具固定）</td><td>24 枚/日</td><td>60 枚/日</td></tr><tr><td>パネル式（土中埋込）</td><td>10 枚/日</td><td>25 枚/日</td></tr></table>	形 式	作業日当り標準作業量		設 置	撤 去	パネル式（アンカー固定）	16 枚/日	40 枚/日	パネル式（金具固定）	24 枚/日	60 枚/日	パネル式（土中埋込）	10 枚/日	25 枚/日																					
形 式	作業日当り標準作業量																																			
	設 置	撤 去																																		
パネル式（アンカー固定）	16 枚/日	40 枚/日																																		
パネル式（金具固定）	24 枚/日	60 枚/日																																		
パネル式（土中埋込）	10 枚/日	25 枚/日																																		
スノーポール設置・撤去工	① スノーポール設置・撤去 <table><tr><th rowspan="2">スノーポール規格</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>設 置</th><th>撤 去</th></tr><tr><td>かぶせ型</td><td>90 本/日</td><td>105 本/日</td></tr><tr><td>土中単柱型</td><td>40 本/日</td><td>40 本/日</td></tr><tr><td>挿入単柱型</td><td>55 本/日</td><td>55 本/日</td></tr></table> （注）「かぶせ型」の作業日当り標準作業量は、普通作業員 2 名の場合。 「土中単柱型」の作業日当り標準作業量は、普通作業員 4 名の場合。 「挿入単柱型」の作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	スノーポール規格	作業日当り標準作業量		設 置	撤 去	かぶせ型	90 本/日	105 本/日	土中単柱型	40 本/日	40 本/日	挿入単柱型	55 本/日	55 本/日																					
スノーポール規格	作業日当り標準作業量																																			
	設 置	撤 去																																		
かぶせ型	90 本/日	105 本/日																																		
土中単柱型	40 本/日	40 本/日																																		
挿入単柱型	55 本/日	55 本/日																																		
道路照明設備設置工	① 道路照明灯建柱 <table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">道路照明灯建柱</td><td>高さ：GL8～12m、 重量：350kg 以下</td><td>5 基/日</td></tr><tr><td>高さ：GL8～12m、 重量：350kg 超 1,000kg 以下</td><td>5 基/日</td></tr></table> ② 照明器具取付 <table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>照明器具取付</td><td></td><td>5 台/日</td></tr></table> ③ 分電盤取付（ポール取付） <table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>分電盤取付</td><td>ポール取付型各種</td><td>3 面/日</td></tr></table> ④ 自動点滅器取付（ポール取付） <table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>自動点滅器取付</td><td>ポール取付型各種</td><td>17 個/日</td></tr></table> ⑤ 自動点滅器取付（連続照明用） <table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>受光部取付</td><td></td><td>7 個/日</td></tr><tr><td>制御部取付</td><td></td><td>2 個/日</td></tr></table>	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	道路照明灯建柱	高さ：GL8～12m、 重量：350kg 以下	5 基/日	高さ：GL8～12m、 重量：350kg 超 1,000kg 以下	5 基/日	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	照明器具取付		5 台/日	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	分電盤取付	ポール取付型各種	3 面/日	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	自動点滅器取付	ポール取付型各種	17 個/日	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	受光部取付		7 個/日	制御部取付		2 個/日
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																																		
道路照明灯建柱	高さ：GL8～12m、 重量：350kg 以下	5 基/日																																		
	高さ：GL8～12m、 重量：350kg 超 1,000kg 以下	5 基/日																																		
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																																		
照明器具取付		5 台/日																																		
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																																		
分電盤取付	ポール取付型各種	3 面/日																																		
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																																		
自動点滅器取付	ポール取付型各種	17 個/日																																		
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																																		
受光部取付		7 個/日																																		
制御部取付		2 個/日																																		

工 種 名	設 定 内 容																		
照明灯基礎設置工	①-1 基礎掘削及びスパイラルダクト立込																		
	<table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">照明灯基礎</td><td>500φ 2m 以下</td><td>10 基/日</td></tr><tr><td>500φ 2.5m 以下</td><td>10 基/日</td></tr></table>	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	照明灯基礎	500φ 2m 以下	10 基/日	500φ 2.5m 以下	10 基/日										
	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																
	照明灯基礎	500φ 2m 以下	10 基/日																
		500φ 2.5m 以下	10 基/日																
	(注) コンクリート打設を同時に行う場合は、3 基/日																		
	①-2 接地設置																		
	<table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>A 種接地</td><td></td><td>1 極/日</td></tr><tr><td>B 種接地</td><td></td><td>1 極/日</td></tr><tr><td>C 種接地</td><td></td><td>1 極/日</td></tr><tr><td>D 種接地</td><td></td><td>3 極/日</td></tr></table>	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	A 種接地		1 極/日	B 種接地		1 極/日	C 種接地		1 極/日	D 種接地		3 極/日			
	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																
	A 種接地		1 極/日																
B 種接地		1 極/日																	
C 種接地		1 極/日																	
D 種接地		3 極/日																	
(注) 他の基礎等の床掘と同時の場合は、基地等の床掘に含む																			
② 照明灯プレキャスト基礎設置																			
<table><tr><th>作業種別</th><th>細別規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">照明灯基礎</td><td>500φ 2m 以下</td><td>3 基/日</td></tr><tr><td>500φ 2.5m 以下</td><td>3 基/日</td></tr></table>	作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量	照明灯基礎	500φ 2m 以下	3 基/日	500φ 2.5m 以下	3 基/日											
作業種別	細別規格	作業日当り標準作業量																	
照明灯基礎	500φ 2m 以下	3 基/日																	
	500φ 2.5m 以下	3 基/日																	
路面切削工	① 路面切削																		
	<table><tr><th rowspan="2">施工区分</th><th colspan="3">全面切削</th><th rowspan="2">帯状切削</th></tr><tr><th>4,000㎡以下</th><th>4,000㎡を超え</th><th></th></tr><tr><td>平均切削深さ (H)</td><td colspan="2">6cm以下</td><td>6cmを超え 12cm以下</td><td>3cm以下</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>1,400 ㎡/日</td><td>1,800 ㎡/日</td><td>1,340 ㎡/日</td><td>1,800 ㎡/日</td></tr></table>	施工区分	全面切削			帯状切削	4,000㎡以下	4,000㎡を超え		平均切削深さ (H)	6cm以下		6cmを超え 12cm以下	3cm以下	作業日当り標準作業量	1,400 ㎡/日	1,800 ㎡/日	1,340 ㎡/日	1,800 ㎡/日
	施工区分		全面切削				帯状切削												
		4,000㎡以下	4,000㎡を超え																
	平均切削深さ (H)	6cm以下		6cmを超え 12cm以下	3cm以下														
	作業日当り標準作業量	1,400 ㎡/日	1,800 ㎡/日	1,340 ㎡/日	1,800 ㎡/日														
	(注) 1. 作業日当り標準作業量には、路面切削機等の施工箇所間及び機械待避場所と施工箇所間の自走による移動を含むが、運搬車両による移動は別途考慮する。																		
	2. 全面切削の施工区分は、1 工事の切削面積のうち全面切削に係る施工面積を対象とする。																		
	3. 上表には、清掃作業を含む。																		
	4. 平均切削深さは、次式による。																		
$H = \frac{A_v}{W} \times 100$																			
H : 1 現場の平均切削深さ (cm)																			
A _v : 1 現場の平均切削断面積 (㎡)																			
W : 平均切削幅員 (m)																			
なお、帯状切削の場合は、W=2m とする。																			
5. 帯状切削とは、不陸部の切削幅が路面切削機の切削幅より狭い場合をいう。																			
6. 帯状切削の施工面積は、次式による。																			
延べ施工面積＝切削機の作業幅 (2m) × 延べ施工延長																			

工 種 名	設 定 内 容		
路面切削工	② 殻運搬（路面切削）		

工 種 名	設 定 内 容																																																												
路面切削工	<table><tr><th>DID 区間の 有無</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="28">有り</td><td>0.2 以下</td><td>167</td></tr><tr><td>0.5 以下</td><td>143</td></tr><tr><td>1.0 以下</td><td>125</td></tr><tr><td>1.5 以下</td><td>111</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>91</td></tr><tr><td>2.5 以下</td><td>77</td></tr><tr><td>3.0 以下</td><td>71</td></tr><tr><td>3.5 以下</td><td>63</td></tr><tr><td>4.0 以下</td><td>56</td></tr><tr><td>4.5 以下</td><td>53</td></tr><tr><td>5.0 以下</td><td>48</td></tr><tr><td>5.5 以下</td><td>45</td></tr><tr><td>6.0 以下</td><td>42</td></tr><tr><td>6.5 以下</td><td>40</td></tr><tr><td>7.5 以下</td><td>37</td></tr><tr><td>8.5 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>9.5 以下</td><td>30</td></tr><tr><td>11.0 以下</td><td>28</td></tr><tr><td>12.5 以下</td><td>25</td></tr><tr><td>14.5 以下</td><td>23</td></tr><tr><td>16.5 以下</td><td>20</td></tr><tr><td>19.0 以下</td><td>19</td></tr><tr><td>22.0 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>25.5 以下</td><td>15</td></tr><tr><td>30.0 以下</td><td>14</td></tr><tr><td>36.0 以下</td><td>12</td></tr><tr><td>46.0 以下</td><td>11</td></tr><tr><td>60.0 以下</td><td>10</td></tr></table> (注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 2. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 3. D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	有り	0.2 以下	167	0.5 以下	143	1.0 以下	125	1.5 以下	111	2.0 以下	91	2.5 以下	77	3.0 以下	71	3.5 以下	63	4.0 以下	56	4.5 以下	53	5.0 以下	48	5.5 以下	45	6.0 以下	42	6.5 以下	40	7.5 以下	37	8.5 以下	33	9.5 以下	30	11.0 以下	28	12.5 以下	25	14.5 以下	23	16.5 以下	20	19.0 以下	19	22.0 以下	17	25.5 以下	15	30.0 以下	14	36.0 以下	12	46.0 以下	11	60.0 以下	10
DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)																																																											
有り	0.2 以下	167																																																											
	0.5 以下	143																																																											
	1.0 以下	125																																																											
	1.5 以下	111																																																											
	2.0 以下	91																																																											
	2.5 以下	77																																																											
	3.0 以下	71																																																											
	3.5 以下	63																																																											
	4.0 以下	56																																																											
	4.5 以下	53																																																											
	5.0 以下	48																																																											
	5.5 以下	45																																																											
	6.0 以下	42																																																											
	6.5 以下	40																																																											
	7.5 以下	37																																																											
	8.5 以下	33																																																											
	9.5 以下	30																																																											
	11.0 以下	28																																																											
	12.5 以下	25																																																											
	14.5 以下	23																																																											
	16.5 以下	20																																																											
	19.0 以下	19																																																											
	22.0 以下	17																																																											
	25.5 以下	15																																																											
	30.0 以下	14																																																											
	36.0 以下	12																																																											
	46.0 以下	11																																																											
	60.0 以下	10																																																											
切削オーバーレイ工	該当工種の基準内に記載。																																																												
切削オーバーレイ工 (ICT)	該当工種の基準内に記載。																																																												

工 種 名	設 定 内 容																												
舗装版破碎工	① 舗装版破碎（障害無し） (1) アスファルト舗装版																												
	<table><tr><th rowspan="2">障害等 の有無</th><th rowspan="2">騒音振動 対策</th><th rowspan="2">舗装版厚</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量(m²/日)</th></tr><tr><th>直接掘削 ・積込作業</th><th>舗装版破碎 作業</th><th>掘削・積込 作業</th></tr><tr><td rowspan="4">無し</td><td rowspan="2">不要</td><td>15cm以下</td><td>484</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>15cmを超え 40cm以下</td><td>—</td><td>288</td><td>354</td></tr><tr><td rowspan="2">必要</td><td>15cm以下</td><td>—</td><td>260</td><td>470</td></tr><tr><td>15cmを超え 35cm以下</td><td>—</td><td>180</td><td>354</td></tr></table>	障害等 の有無	騒音振動 対策	舗装版厚	作業日当り標準作業量(m ² /日)			直接掘削 ・積込作業	舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業	無し	不要	15cm以下	484	—	—	15cmを超え 40cm以下	—	288	354	必要	15cm以下	—	260	470	15cmを超え 35cm以下	—	180	354
	障害等 の有無				騒音振動 対策	舗装版厚	作業日当り標準作業量(m ² /日)																						
		直接掘削 ・積込作業	舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業																									
	無し	不要	15cm以下	484	—	—																							
			15cmを超え 40cm以下	—	288	354																							
		必要	15cm以下	—	260	470																							
			15cmを超え 35cm以下	—	180	354																							
	(2) コンクリート舗装版																												
	<table><tr><th rowspan="2">騒音振動対策</th><th rowspan="2">舗装版厚</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量(m²/日)</th></tr><tr><th>直接掘削 ・積込作業</th><th>舗装版破碎 作業</th><th>掘削・積込 作業</th></tr><tr><td rowspan="2">不要</td><td>15cm以下</td><td>484</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>15cmを超え 35cm以下</td><td>—</td><td>230</td><td>242</td></tr><tr><td rowspan="2">必要</td><td>15cm以下</td><td>—</td><td>190</td><td>320</td></tr><tr><td>15cmを超え 35cm以下</td><td>—</td><td>150</td><td>242</td></tr></table>	騒音振動対策	舗装版厚	作業日当り標準作業量(m ² /日)			直接掘削 ・積込作業	舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業	不要	15cm以下	484	—	—	15cmを超え 35cm以下	—	230	242	必要	15cm以下	—	190	320	15cmを超え 35cm以下	—	150	242		
騒音振動対策	舗装版厚			作業日当り標準作業量(m ² /日)																									
		直接掘削 ・積込作業	舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業																									
不要	15cm以下	484	—	—																									
	15cmを超え 35cm以下	—	230	242																									
必要	15cm以下	—	190	320																									
	15cmを超え 35cm以下	—	150	242																									
(3) コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版																													
<table><tr><th rowspan="2">Co+As（カバー）舗装による アスファルト舗装版厚</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量(m²/日)</th></tr><tr><th>舗装版破碎 作業</th><th>掘削・積込 作業</th></tr><tr><td>15cm以下</td><td>230</td><td>170</td></tr><tr><td>15cmを超え22.5cm以下</td><td>230</td><td>150</td></tr></table>	Co+As（カバー）舗装による アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量(m ² /日)		舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業	15cm以下	230	170	15cmを超え22.5cm以下	230	150																		
Co+As（カバー）舗装による アスファルト舗装版厚		作業日当り標準作業量(m ² /日)																											
	舗装版破碎 作業	掘削・積込 作業																											
15cm以下	230	170																											
15cmを超え22.5cm以下	230	150																											
② 舗装版破碎（障害有り） (1) アスファルト舗装版																													
<table><tr><th>舗装版厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>舗装版厚 4cm 以下</td><td>35 m²/日</td></tr><tr><td>舗装版厚 4cm を超え 10cm 以下</td><td>21 m²/日</td></tr><tr><td>舗装版厚 10cm を超え 15cm 以下</td><td>16 m²/日</td></tr><tr><td>舗装版厚 15cm を超え 30cm 以下</td><td>8.8 m²/日</td></tr></table>	舗装版厚	作業日当り標準作業量	舗装版厚 4cm 以下	35 m ² /日	舗装版厚 4cm を超え 10cm 以下	21 m ² /日	舗装版厚 10cm を超え 15cm 以下	16 m ² /日	舗装版厚 15cm を超え 30cm 以下	8.8 m ² /日																			
舗装版厚	作業日当り標準作業量																												
舗装版厚 4cm 以下	35 m ² /日																												
舗装版厚 4cm を超え 10cm 以下	21 m ² /日																												
舗装版厚 10cm を超え 15cm 以下	16 m ² /日																												
舗装版厚 15cm を超え 30cm 以下	8.8 m ² /日																												
	(注) 上表は、積込の有無にかかわらず適用できる。																												

工 種 名	設 定 内 容																																																																				
舗装版切断工	① 舗装版切断 (1) アスファルト舗装版 <table><tr><th>アスファルト舗装版厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>15cm以下</td><td>203 m/日</td></tr><tr><td>15cmを超え30cm以下</td><td>127 m/日</td></tr><tr><td>30cmを超え40cm以下</td><td>80 m/日</td></tr></table> (2) コンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版 <table><tr><th>コンクリート舗装版厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>15cm以下</td><td>129 m/日</td></tr><tr><td>15cmを超え30cm以下</td><td>67 m/日</td></tr></table> (注) コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。	アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	203 m/日	15cmを超え30cm以下	127 m/日	30cmを超え40cm以下	80 m/日	コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	129 m/日	15cmを超え30cm以下	67 m/日																																																						
アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																				
15cm以下	203 m/日																																																																				
15cmを超え30cm以下	127 m/日																																																																				
30cmを超え40cm以下	80 m/日																																																																				
コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																				
15cm以下	129 m/日																																																																				
15cmを超え30cm以下	67 m/日																																																																				
道路打換え工	① 道路打換え工 作業日当り標準作業量（総施工量 1,000 m²未満）(m²/日) <table><tr><th colspan="2">全体掘削厚</th><th colspan="2">40cm 以下</th><th>40cmを超え 80cm 以下</th><th>80cmを超え 120cm 以下</th></tr><tr><th colspan="2">復旧層数</th><th>2 層</th><th>3 層以上 5 層以下</th><th>4 層以上 6 層以下</th><th>5、6 層</th></tr><tr><td rowspan="3">歩掛 区 分</td><td>コンクリート圧砕装置 15cm 以下</td><td rowspan="3">250</td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="3">160</td><td rowspan="3">140</td></tr><tr><td>コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下</td></tr><tr><td>コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下</td><td>190</td></tr></table> (m²/日) <table><tr><th colspan="2">復旧層数</th><th>2 層</th><th>3 層以上 4 層以下</th><th>5 層</th></tr><tr><td>歩掛 区 分</td><td>バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm 以下</td><td>360</td><td>270</td><td>220</td></tr><tr><th colspan="2">復旧層数</th><th>2 層</th><th>3 層以上 4 層以下</th><th>5 層以上 6 層以下</th></tr><tr><td rowspan="2">歩掛 区 分</td><td>バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm を超え 80cm 以下</td><td>260</td><td>210</td><td>170</td></tr><tr><td>バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 80cm を超え 120cm 以下</td><td>200</td><td>170</td><td>140</td></tr></table> 作業日当り標準作業量（総施工量 1,000 m²以上）(m²/日) <table><tr><th colspan="2">全体掘削厚</th><th colspan="2">40cm 以下</th><th>40cmを超え 80cm 以下</th><th>80cmを超え 120cm 以下</th></tr><tr><th colspan="2">復旧層数</th><th>2 層</th><th>3 層以上 5 層以下</th><th>4 層以上 6 層以下</th><th>5、6 層</th></tr><tr><td rowspan="3">歩掛 区 分</td><td>コンクリート圧砕装置 15cm 以下</td><td rowspan="3">260</td><td>220</td><td>180</td><td rowspan="3">150</td></tr><tr><td>コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下</td><td>210</td><td rowspan="2">170</td></tr><tr><td>コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下</td><td>200</td></tr></table> (注) 1. 復旧層数は、即日復旧を行う（路床～表層まで）の全層数とする。 2. 作業量は、とりこわし～復旧までの作業量とする。	全体掘削厚		40cm 以下		40cmを超え 80cm 以下	80cmを超え 120cm 以下	復旧層数		2 層	3 層以上 5 層以下	4 層以上 6 層以下	5、6 層	歩掛 区 分	コンクリート圧砕装置 15cm 以下	250	200	160	140	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下	190	復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層	歩掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm 以下	360	270	220	復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層以上 6 層以下	歩掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm を超え 80cm 以下	260	210	170	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 80cm を超え 120cm 以下	200	170	140	全体掘削厚		40cm 以下		40cmを超え 80cm 以下	80cmを超え 120cm 以下	復旧層数		2 層	3 層以上 5 層以下	4 層以上 6 層以下	5、6 層	歩掛 区 分	コンクリート圧砕装置 15cm 以下	260	220	180	150	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下	210	170	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下	200
全体掘削厚		40cm 以下		40cmを超え 80cm 以下	80cmを超え 120cm 以下																																																																
復旧層数		2 層	3 層以上 5 層以下	4 層以上 6 層以下	5、6 層																																																																
歩掛 区 分	コンクリート圧砕装置 15cm 以下	250	200	160	140																																																																
	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下																																																																				
	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下		190																																																																		
復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層																																																																	
歩掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm 以下	360	270	220																																																																	
復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層以上 6 層以下																																																																	
歩掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm を超え 80cm 以下	260	210	170																																																																	
	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 80cm を超え 120cm 以下	200	170	140																																																																	
全体掘削厚		40cm 以下		40cmを超え 80cm 以下	80cmを超え 120cm 以下																																																																
復旧層数		2 層	3 層以上 5 層以下	4 層以上 6 層以下	5、6 層																																																																
歩掛 区 分	コンクリート圧砕装置 15cm 以下	260	220	180	150																																																																
	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下		210	170																																																																	
	コンクリート圧砕装置・ 大型ブレーカ 30cm を 超え 40cm 以下		200																																																																		

工 種 名	設 定 内 容																																																							
道路打換え工	(㎡/日)																																																							
	復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層																																																			
	歩 掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm 以下	380	300	240																																																			
	復旧層数		2 層	3 層以上 4 層以下	5 層以上 6 層以下																																																			
	歩 掛 区 分	バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 40cm を超え 80cm 以下	270	230	180																																																			
		バックホウによる直接掘削積込・掘削 全体厚 80cm を超え 120cm 以下	210	170																																																				
	(注) 1. 復旧層数は、即日復旧を行う（路床～表層まで）の全層数とする。 2. 作業量は、とりこわし～復旧までの作業量とする。																																																							
	(参考) 各作業単独の場合の作業量																																																							
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>舗装版厚さ</th><th>掘削深さ 又は総施工量</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="3">直接掘削積込</td><td rowspan="3">—</td><td>40cm 以下</td><td>606 ㎡/日</td></tr><tr><td>40cm を越え 80cm 以下</td><td>368 ㎡/日</td></tr><tr><td>80cm を越え 120cm 以下</td><td>258 ㎡/日</td></tr><tr><td rowspan="9">とりこわし掘削積込</td><td rowspan="3">15cm 以下</td><td>40cm 以下</td><td>379 ㎡/日</td></tr><tr><td>40cm を越え 80cm 以下</td><td>311 ㎡/日</td></tr><tr><td>80cm を越え 120cm 以下</td><td>263 ㎡/日</td></tr><tr><td rowspan="3">15cm を越え 30cm 以下</td><td>40cm 以下</td><td>356 ㎡/日</td></tr><tr><td>40cm を越え 80cm 以下</td><td>296 ㎡/日</td></tr><tr><td>80cm を越え 120cm 以下</td><td>253 ㎡/日</td></tr><tr><td rowspan="3">30cm を越え 40cm 以下</td><td>40cm 以下</td><td>318 ㎡/日</td></tr><tr><td>40cm を越え 80cm 以下</td><td>270 ㎡/日</td></tr><tr><td>80cm を越え 120cm 以下</td><td>233 ㎡/日</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均し転圧)</td><td>1000㎡未満</td><td>1,724 ㎡/日</td></tr><tr><td>1000㎡以上</td><td>2,000 ㎡/日</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">路盤の敷均し転圧</td><td>1000㎡未満</td><td>1,724 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>1000㎡以上</td><td>2,000 ㎡/日・層</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">舗装の敷均し転圧</td><td>1000㎡未満</td><td>1,351 ㎡/日・層</td></tr><tr><td>1000㎡以上</td><td>2,000 ㎡/日・層</td></tr></table>				作 業 名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量	直接掘削積込	—	40cm 以下	606 ㎡/日	40cm を越え 80cm 以下	368 ㎡/日	80cm を越え 120cm 以下	258 ㎡/日	とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379 ㎡/日	40cm を越え 80cm 以下	311 ㎡/日	80cm を越え 120cm 以下	263 ㎡/日	15cm を越え 30cm 以下	40cm 以下	356 ㎡/日	40cm を越え 80cm 以下	296 ㎡/日	80cm を越え 120cm 以下	253 ㎡/日	30cm を越え 40cm 以下	40cm 以下	318 ㎡/日	40cm を越え 80cm 以下	270 ㎡/日	80cm を越え 120cm 以下	233 ㎡/日	不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均し転圧)		1000㎡未満	1,724 ㎡/日	1000㎡以上	2,000 ㎡/日	路盤の敷均し転圧		1000㎡未満	1,724 ㎡/日・層	1000㎡以上	2,000 ㎡/日・層	舗装の敷均し転圧		1000㎡未満	1,351 ㎡/日・層	1000㎡以上	2,000 ㎡/日・層
	作 業 名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量																																																				
直接掘削積込	—	40cm 以下	606 ㎡/日																																																					
		40cm を越え 80cm 以下	368 ㎡/日																																																					
		80cm を越え 120cm 以下	258 ㎡/日																																																					
とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379 ㎡/日																																																					
		40cm を越え 80cm 以下	311 ㎡/日																																																					
		80cm を越え 120cm 以下	263 ㎡/日																																																					
	15cm を越え 30cm 以下	40cm 以下	356 ㎡/日																																																					
		40cm を越え 80cm 以下	296 ㎡/日																																																					
		80cm を越え 120cm 以下	253 ㎡/日																																																					
	30cm を越え 40cm 以下	40cm 以下	318 ㎡/日																																																					
		40cm を越え 80cm 以下	270 ㎡/日																																																					
		80cm を越え 120cm 以下	233 ㎡/日																																																					
不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均し転圧)		1000㎡未満	1,724 ㎡/日																																																					
		1000㎡以上	2,000 ㎡/日																																																					
路盤の敷均し転圧		1000㎡未満	1,724 ㎡/日・層																																																					
		1000㎡以上	2,000 ㎡/日・層																																																					
舗装の敷均し転圧		1000㎡未満	1,351 ㎡/日・層																																																					
		1000㎡以上	2,000 ㎡/日・層																																																					
路上路盤再生工	該当工種の基準内に記載。																																																							
舗装版クラック補修工	① 舗装版クラック補修																																																							
	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要																																																					
	クラック補修	620 ㎡/日																																																						
	クラック防止 シート張	930 ㎡/日																																																						

工 種 名	設 定 内 容																															
道路付属構造物塗替工	① 道路付属構造物塗替工 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>構造物区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="3">素地調整</td><td>ポール類</td><td>78 m²/日</td></tr><tr><td>防護柵類</td><td>100 m²/日</td></tr><tr><td>落石防止柵類</td><td>73 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">付属構造物塗替</td><td>ポール類</td><td>89 m²/日・回</td></tr><tr><td>防護柵類・落石防止柵類</td><td>121 m²/日・回</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、塗装工4名の場合。	作 業 種 別	構造物区分	作業日当り標準作業量	素地調整	ポール類	78 m ² /日	防護柵類	100 m ² /日	落石防止柵類	73 m ² /日	付属構造物塗替	ポール類	89 m ² /日・回	防護柵類・落石防止柵類	121 m ² /日・回																
作 業 種 別	構造物区分	作業日当り標準作業量																														
素地調整	ポール類	78 m ² /日																														
	防護柵類	100 m ² /日																														
	落石防止柵類	73 m ² /日																														
付属構造物塗替	ポール類	89 m ² /日・回																														
	防護柵類・落石防止柵類	121 m ² /日・回																														
張紙防止塗装工	① 張紙防止塗装 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>ケレン作業</td><td>14 m²/日</td></tr><tr><td>張紙防止塗装 (1層当り)</td><td>32 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	ケレン作業	14 m ² /日	張紙防止塗装 (1層当り)	32 m ² /日																									
作 業 種 別	作業日当り標準作業量																															
ケレン作業	14 m ² /日																															
張紙防止塗装 (1層当り)	32 m ² /日																															
床版補強工	① 炭素繊維接着工法 該当工種の基準内に記載。 ② クラック処理工 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>19.6 m/日</td></tr></table> ③ 足場工 <table><tr><th colspan="3">工 種 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">足 場 (板張防護含む)</td><td>桁高 1.5m 以上</td><td>-</td><td>33 m²/日</td></tr><tr><td>桁高 1.5m 未満</td><td>-</td><td>38 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">朝 顔</td><td rowspan="2">-</td><td>両側設置</td><td>227 m²/日</td></tr><tr><td>片側設置</td><td>455 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="4">防護工</td><td rowspan="2">板張防護</td><td>両側設置</td><td>278 m²/日</td></tr><tr><td>片側設置</td><td>556 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">シート張防護</td><td>両側設置</td><td>1,250 m²/日</td></tr><tr><td>片側設置</td><td>2,500 m²/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工5名の場合。	作業日当り標準作業量	19.6 m/日	工 種 名			作業日当り標準作業量	足 場 (板張防護含む)	桁高 1.5m 以上	-	33 m ² /日	桁高 1.5m 未満	-	38 m ² /日	朝 顔	-	両側設置	227 m ² /日	片側設置	455 m ² /日	防護工	板張防護	両側設置	278 m ² /日	片側設置	556 m ² /日	シート張防護	両側設置	1,250 m ² /日	片側設置	2,500 m ² /日	
作業日当り標準作業量	19.6 m/日																															
工 種 名			作業日当り標準作業量																													
足 場 (板張防護含む)	桁高 1.5m 以上	-	33 m ² /日																													
	桁高 1.5m 未満	-	38 m ² /日																													
朝 顔	-	両側設置	227 m ² /日																													
		片側設置	455 m ² /日																													
防護工	板張防護	両側設置	278 m ² /日																													
		片側設置	556 m ² /日																													
	シート張防護	両側設置	1,250 m ² /日																													
		片側設置	2,500 m ² /日																													
橋梁補強工 (鋼板巻立て) (1) (2)	① 橋梁補強工 (鋼板巻立て) <table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td colspan="2">足場設置・撤去(杵組足場(手摺先行型))</td><td>72 掛 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">鋼板取付</td><td>10 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="6">現場溶接</td><td>すみ肉脚長 6mm</td><td>15 m/日</td></tr><tr><td>板厚 6～10mm</td><td>7 m/日</td></tr><tr><td>板厚 12～13mm</td><td>3 m/日</td></tr><tr><td>板厚 14～15mm</td><td>3 m/日</td></tr><tr><td>板厚 16～19mm</td><td>2 m/日</td></tr><tr><td>板厚 21～22mm</td><td>1 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">フーチングアンカー 削孔・定着</td><td>削孔深 0.8m以上1.0m未満</td><td>46 箇所/日</td></tr><tr><td>削孔深 1.0m以上1.2m未満</td><td>40 箇所/日</td></tr><tr><td>削孔深 1.2m以上1.4m未満</td><td>36 箇所/日</td></tr><tr><td>削孔深 1.4m以上1.6m未満</td><td>32 箇所/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	足場設置・撤去(杵組足場(手摺先行型))		72 掛 m ² /日	鋼板取付		10 m ² /日	現場溶接	すみ肉脚長 6mm	15 m/日	板厚 6～10mm	7 m/日	板厚 12～13mm	3 m/日	板厚 14～15mm	3 m/日	板厚 16～19mm	2 m/日	板厚 21～22mm	1 m/日	フーチングアンカー 削孔・定着	削孔深 0.8m以上1.0m未満	46 箇所/日	削孔深 1.0m以上1.2m未満	40 箇所/日	削孔深 1.2m以上1.4m未満	36 箇所/日	削孔深 1.4m以上1.6m未満	32 箇所/日
作 業 種 別		作業日当り標準作業量																														
足場設置・撤去(杵組足場(手摺先行型))		72 掛 m ² /日																														
鋼板取付		10 m ² /日																														
現場溶接	すみ肉脚長 6mm	15 m/日																														
	板厚 6～10mm	7 m/日																														
	板厚 12～13mm	3 m/日																														
	板厚 14～15mm	3 m/日																														
	板厚 16～19mm	2 m/日																														
	板厚 21～22mm	1 m/日																														
フーチングアンカー 削孔・定着	削孔深 0.8m以上1.0m未満	46 箇所/日																														
	削孔深 1.0m以上1.2m未満	40 箇所/日																														
	削孔深 1.2m以上1.4m未満	36 箇所/日																														
	削孔深 1.4m以上1.6m未満	32 箇所/日																														

工 種 名	設 定 内 容																
橋梁補強工 (コンクリート巻立て) (1) (2)	① 橋梁補強工（コンクリート巻立て） <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))</td><td>64 m²/日</td></tr><tr><td>下地処理</td><td>32 m²/日</td></tr><tr><td>一般型枠製作・設置・撤去</td><td>23 m²/日</td></tr><tr><td>合板円形型枠製作・設置・撤去</td><td>12 m²/日</td></tr><tr><td>コンクリート打設</td><td>38 m³/日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	64 m ² /日	下地処理	32 m ² /日	一般型枠製作・設置・撤去	23 m ² /日	合板円形型枠製作・設置・撤去	12 m ² /日	コンクリート打設	38 m ³ /日				
	作 業 種 別	作業日当り標準作業量															
	足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	64 m ² /日															
	下地処理	32 m ² /日															
	一般型枠製作・設置・撤去	23 m ² /日															
	合板円形型枠製作・設置・撤去	12 m ² /日															
	コンクリート打設	38 m ³ /日															
	<table><tr><th>削孔機械名</th><th>電動ハンマドリル</th><th colspan="2">ハンドドリル（空圧式）</th></tr><tr><td>削 孔 径(mm)</td><td>20 以上 30 未満</td><td colspan="2">30 以上 50 以下</td></tr><tr><td>削 孔 深(m)</td><td>0.2 以上 0.4 以下</td><td>0.3 以上 0.6 未満</td><td>0.6 以上 0.9 以下</td></tr><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>127 箇所/日</td><td>77 箇所/日</td><td>56 箇所/日</td></tr></table>	削孔機械名	電動ハンマドリル	ハンドドリル（空圧式）		削 孔 径(mm)	20 以上 30 未満	30 以上 50 以下		削 孔 深(m)	0.2 以上 0.4 以下	0.3 以上 0.6 未満	0.6 以上 0.9 以下	作業日当り標準作業量	127 箇所/日	77 箇所/日	56 箇所/日
	削孔機械名	電動ハンマドリル	ハンドドリル（空圧式）														
	削 孔 径(mm)	20 以上 30 未満	30 以上 50 以下														
削 孔 深(m)	0.2 以上 0.4 以下	0.3 以上 0.6 未満	0.6 以上 0.9 以下														
作業日当り標準作業量	127 箇所/日	77 箇所/日	56 箇所/日														
橋梁地覆補修工	① とりこわし <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>1.4 m³/日</td></tr></table> (注) 旧高欄の撤去、鉄筋の切断、破砕片除去・集積及び運搬車の積込みを含む。	作業日当り標準作業量	1.4 m ³ /日														
	作業日当り標準作業量	1.4 m ³ /日															
	② 鉄筋 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>0.36 t/日</td></tr></table> (注) 現場加工及び組立を含む。	作業日当り標準作業量	0.36 t/日														
	作業日当り標準作業量	0.36 t/日															
	③ コンクリート <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>0.76 m³/日</td></tr></table> (注) 人力による打設、型枠（側板部及び底板部）の製作、設置・撤去、はく離剤塗布及び養生作業を含む。	作業日当り標準作業量	0.76 m ³ /日														
	作業日当り標準作業量	0.76 m ³ /日															
④ 足場・防護 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>31 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	31 m ² /日															
作業日当り標準作業量	31 m ² /日																

工 種 名	設 定 内 容																												
橋梁補修工 (支承取替工)	① 支承取替（鋼橋及びPC橋） <table><tr><td>工 種 名</td><td colspan="3">1 基 当 り 標 準 作 業 日 数</td></tr><tr><td rowspan="9">支 承 取 替</td><td>鋼橋－鋼製支承（150t以下）</td><td>－</td><td>5 日/基</td></tr><tr><td>鋼橋－ゴム支承（150t以下）</td><td>－</td><td>4 日/基</td></tr><tr><td>PC橋－ゴム支承（200t以下）</td><td>－</td><td>4 日/基</td></tr><tr><td rowspan="3">鋼橋－鋼製支承 (150tを超え250t以下)</td><td>鈑 桁</td><td>7 日/基</td></tr><tr><td>1 箱 桁 2 沓</td><td>8 日/基</td></tr><tr><td>1 箱 桁 1 沓</td><td>11 日/基</td></tr><tr><td rowspan="3">鋼橋－鋼製支承 (250tを超え320t以下)</td><td>鈑 桁</td><td>8 日/基</td></tr><tr><td>1 箱 桁 2 沓</td><td>11 日/基</td></tr><tr><td>1 箱 桁 1 沓</td><td>13 日/基</td></tr></table>	工 種 名	1 基 当 り 標 準 作 業 日 数			支 承 取 替	鋼橋－鋼製支承（150t以下）	－	5 日/基	鋼橋－ゴム支承（150t以下）	－	4 日/基	PC橋－ゴム支承（200t以下）	－	4 日/基	鋼橋－鋼製支承 (150tを超え250t以下)	鈑 桁	7 日/基	1 箱 桁 2 沓	8 日/基	1 箱 桁 1 沓	11 日/基	鋼橋－鋼製支承 (250tを超え320t以下)	鈑 桁	8 日/基	1 箱 桁 2 沓	11 日/基	1 箱 桁 1 沓	13 日/基
	工 種 名	1 基 当 り 標 準 作 業 日 数																											
	支 承 取 替	鋼橋－鋼製支承（150t以下）	－	5 日/基																									
		鋼橋－ゴム支承（150t以下）	－	4 日/基																									
		PC橋－ゴム支承（200t以下）	－	4 日/基																									
		鋼橋－鋼製支承 (150tを超え250t以下)	鈑 桁	7 日/基																									
			1 箱 桁 2 沓	8 日/基																									
			1 箱 桁 1 沓	11 日/基																									
		鋼橋－鋼製支承 (250tを超え320t以下)	鈑 桁	8 日/基																									
			1 箱 桁 2 沓	11 日/基																									
1 箱 桁 1 沓			13 日/基																										
② 沓座コンクリートはつり（支承直下部以外） <table><tr><td>1m³ 当り標準作業日数</td><td>3 日/m³</td></tr></table>	1m³ 当り標準作業日数	3 日/m³																											
1m³ 当り標準作業日数	3 日/m³																												
③ 下部工ブラケット取付 <table><tr><td rowspan="3">作業日当り標準作業量</td><td colspan="2">ブラケット単部材質量</td></tr><tr><td>600kg 以下</td><td>600kg を超え 2,000kg 以下</td></tr><tr><td>3 基/日</td><td>2 基/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	ブラケット単部材質量		600kg 以下	600kg を超え 2,000kg 以下	3 基/日	2 基/日																						
作業日当り標準作業量		ブラケット単部材質量																											
		600kg 以下	600kg を超え 2,000kg 以下																										
	3 基/日	2 基/日																											
④ 足場 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>20 m²/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工 5 名の場合。	作業日当り標準作業量	20 m²/日																											
作業日当り標準作業量	20 m²/日																												
橋梁補修工 (現場溶接鋼桁補強工)	① 現場溶接鋼桁補強 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>14 m/日</td></tr></table> (注) 上表の作業日当り標準作業量は、計測から現場溶接までの一連作業である。	作業日当り標準作業量	14 m/日																										
作業日当り標準作業量	14 m/日																												
橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））	該当工種の計算式（1 橋当り施工日数）を参照。																												

工 種 名	設 定 内 容																														
塗装塗替足場工	① 足場工 <table><thead><tr><th colspan="2">作業名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">パイプ吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)</td><td>桁高1.5m以上</td><td>18 m²/日</td></tr><tr><td>桁高1.5m未満</td><td>21 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">システム (パネル式) 吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)</td><td>桁高1.5m以上</td><td>25 m²/日</td></tr><tr><td>桁高1.5m 未満</td><td>29 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">チェーン盛替</td><td>パイプ吊足場</td><td>136 m²/日</td></tr><tr><td>システム (パネル式) 吊足場</td><td>148 m²/日</td></tr></tbody></table> (注) 作業日当り標準施工量は、パイプ吊足場：橋りょう特殊工5名、 システム (パネル式) 吊足場：橋りょう特殊工6名、 チェーン盛替：橋りょう特殊工4名の場合	作業名		作業日当り標準作業量	パイプ吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)	桁高1.5m以上	18 m ² /日	桁高1.5m未満	21 m ² /日	システム (パネル式) 吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)	桁高1.5m以上	25 m ² /日	桁高1.5m 未満	29 m ² /日	チェーン盛替	パイプ吊足場	136 m ² /日	システム (パネル式) 吊足場	148 m ² /日												
作業名		作業日当り標準作業量																													
パイプ吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)	桁高1.5m以上	18 m ² /日																													
	桁高1.5m未満	21 m ² /日																													
システム (パネル式) 吊足場 (朝顔・板張・シート防護含む)	桁高1.5m以上	25 m ² /日																													
	桁高1.5m 未満	29 m ² /日																													
チェーン盛替	パイプ吊足場	136 m ² /日																													
	システム (パネル式) 吊足場	148 m ² /日																													
橋梁補修工 (高力ボルト当て 板鋼桁補強工)	① 芯出し調整工 <table><tbody><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>7.7 m²/日</td></tr></tbody></table> ② 鋼桁孔明工 <table><tbody><tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>400N 鋼</td><td>95 本/日</td></tr><tr><td>490N 鋼</td><td>81 本/日</td></tr></tbody></table> ③ 補強部材取付工 <table><tbody><tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>W≤20</td><td>15 部材/日</td></tr><tr><td>20<W≤40</td><td>10 部材/日</td></tr></tbody></table> (注) W：補強部材の平均質量 ④ 高力ボルト本締め工 <table><tbody><tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>トルシア形高力ボルト</td><td>114 本/日</td></tr><tr><td>高力六角ボルト</td><td>123 本/日</td></tr></tbody></table> ⑤ 補修塗装工 <table><tbody><tr><td>作業種別</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr><tr><td>素地調整</td><td>3.0 m²/日</td></tr><tr><td>下塗り</td><td>20 m²/日</td></tr><tr><td>中塗り</td><td>20 m²/日</td></tr><tr><td>上塗り</td><td>20 m²/日</td></tr></tbody></table>	作業日当り標準作業量	7.7 m ² /日	歩掛区分	作業日当り標準作業量	400N 鋼	95 本/日	490N 鋼	81 本/日	歩掛区分	作業日当り標準作業量	W≤20	15 部材/日	20<W≤40	10 部材/日	歩掛区分	作業日当り標準作業量	トルシア形高力ボルト	114 本/日	高力六角ボルト	123 本/日	作業種別	作業日当り標準作業量	素地調整	3.0 m ² /日	下塗り	20 m ² /日	中塗り	20 m ² /日	上塗り	20 m ² /日
作業日当り標準作業量	7.7 m ² /日																														
歩掛区分	作業日当り標準作業量																														
400N 鋼	95 本/日																														
490N 鋼	81 本/日																														
歩掛区分	作業日当り標準作業量																														
W≤20	15 部材/日																														
20<W≤40	10 部材/日																														
歩掛区分	作業日当り標準作業量																														
トルシア形高力ボルト	114 本/日																														
高力六角ボルト	123 本/日																														
作業種別	作業日当り標準作業量																														
素地調整	3.0 m ² /日																														
下塗り	20 m ² /日																														
中塗り	20 m ² /日																														
上塗り	20 m ² /日																														

工 種 名	設 定 内 容																												
落橋防止装置工	① コンクリート削孔																												
	<table><tr><th>削孔機械名</th><th>削孔径</th><th>削孔深</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="5">電動式コアボーリングマシン</td><td rowspan="2">50mm 以下</td><td>500mm 以下</td><td>15 孔/日</td></tr><tr><td>500mm 超え 1000mm 以下</td><td>12 孔/日</td></tr><tr><td rowspan="3">50mm 超え 110mm 以下</td><td>500mm 以下</td><td>11 孔/日</td></tr><tr><td>500mm 超え 1000mm 以下</td><td>9 孔/日</td></tr><tr><td>1000mm 超え 1300mm 以下</td><td>4 孔/日</td></tr><tr><td>電動ハンマドリル</td><td>20mm 以上 30mm 以下</td><td>200mm 以下</td><td>84 孔/日</td></tr><tr><td rowspan="2">さく岩機(ハンドドリル (空圧式))</td><td rowspan="2">20mm 以上 50mm 以下</td><td>200mm 超え 500mm 以下</td><td>48 孔/日</td></tr><tr><td>500mm 超え 800mm 以下</td><td>38 孔/日</td></tr></table>	削孔機械名	削孔径	削孔深	作業日当り標準作業量	電動式コアボーリングマシン	50mm 以下	500mm 以下	15 孔/日	500mm 超え 1000mm 以下	12 孔/日	50mm 超え 110mm 以下	500mm 以下	11 孔/日	500mm 超え 1000mm 以下	9 孔/日	1000mm 超え 1300mm 以下	4 孔/日	電動ハンマドリル	20mm 以上 30mm 以下	200mm 以下	84 孔/日	さく岩機(ハンドドリル (空圧式))	20mm 以上 50mm 以下	200mm 超え 500mm 以下	48 孔/日	500mm 超え 800mm 以下	38 孔/日	
	削孔機械名	削孔径	削孔深	作業日当り標準作業量																									
	電動式コアボーリングマシン	50mm 以下	500mm 以下	15 孔/日																									
			500mm 超え 1000mm 以下	12 孔/日																									
		50mm 超え 110mm 以下	500mm 以下	11 孔/日																									
			500mm 超え 1000mm 以下	9 孔/日																									
			1000mm 超え 1300mm 以下	4 孔/日																									
	電動ハンマドリル	20mm 以上 30mm 以下	200mm 以下	84 孔/日																									
	さく岩機(ハンドドリル (空圧式))	20mm 以上 50mm 以下	200mm 超え 500mm 以下	48 孔/日																									
			500mm 超え 800mm 以下	38 孔/日																									
	② アンカー																												
	<table><tr><th>適用アンカー材径</th><th>打込み方向</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">アンカー材径 25mm 以下</td><td>下方向</td><td>79 本/日</td></tr><tr><td>横方向</td><td>68 本/日</td></tr><tr><td rowspan="2">アンカー材径 25mm 超え 40mm 以下</td><td>下方向</td><td>68 本/日</td></tr><tr><td>横方向</td><td>55 本/日</td></tr><tr><td rowspan="2">アンカー材径 40mm 超え 55mm 以下</td><td>下方向</td><td>58 本/日</td></tr><tr><td>横方向</td><td>43 本/日</td></tr><tr><td rowspan="2">アンカー材径 55mm 超え 70mm 以下</td><td>下方向</td><td>42 本/日</td></tr><tr><td>横方向</td><td>26 本/日</td></tr><tr><td rowspan="2">アンカー材径 70mm 超え 85mm 以下</td><td>下方向</td><td>31 本/日</td></tr><tr><td>横方向</td><td>12 本/日</td></tr></table>	適用アンカー材径	打込み方向	作業日当り標準作業量	アンカー材径 25mm 以下	下方向	79 本/日	横方向	68 本/日	アンカー材径 25mm 超え 40mm 以下	下方向	68 本/日	横方向	55 本/日	アンカー材径 40mm 超え 55mm 以下	下方向	58 本/日	横方向	43 本/日	アンカー材径 55mm 超え 70mm 以下	下方向	42 本/日	横方向	26 本/日	アンカー材径 70mm 超え 85mm 以下	下方向	31 本/日	横方向	12 本/日
	適用アンカー材径	打込み方向	作業日当り標準作業量																										
	アンカー材径 25mm 以下	下方向	79 本/日																										
		横方向	68 本/日																										
	アンカー材径 25mm 超え 40mm 以下	下方向	68 本/日																										
横方向		55 本/日																											
アンカー材径 40mm 超え 55mm 以下	下方向	58 本/日																											
	横方向	43 本/日																											
アンカー材径 55mm 超え 70mm 以下	下方向	42 本/日																											
	横方向	26 本/日																											
アンカー材径 70mm 超え 85mm 以下	下方向	31 本/日																											
	横方向	12 本/日																											
③ 充填補修																													
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>92 孔/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	92 孔/日																											
作業日当り標準作業量	92 孔/日																												
④ 現場孔明（鋼構造物）																													
<table><tr><th>作 業 条 件</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>10 本以上/箇所</td><td>80 本/日</td></tr><tr><td>作業性の悪い箇所等</td><td>40 本/日</td></tr></table>	作 業 条 件	作業日当り標準作業量	10 本以上/箇所	80 本/日	作業性の悪い箇所等	40 本/日																							
作 業 条 件	作業日当り標準作業量																												
10 本以上/箇所	80 本/日																												
作業性の悪い箇所等	40 本/日																												

工 種 名	設	定	内	容																																																			
道路除草工	① 除草																																																						
	<table><tr><th>作業形態</th><th>飛び石防護の有無</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">肩掛け式</td><td>有り</td><td>2,250 m²/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>2,250 m²/日</td></tr><tr><td>ハンドガイド式</td><td>－</td><td>6,120 m²/日</td></tr><tr><td>人力除草</td><td>－</td><td>1,000 m²/日</td></tr></table>				作業形態	飛び石防護の有無	作業日当り標準作業量	肩掛け式	有り	2,250 m ² /日	無し	2,250 m ² /日	ハンドガイド式	－	6,120 m ² /日	人力除草	－	1,000 m ² /日																																					
	作業形態	飛び石防護の有無	作業日当り標準作業量																																																				
	肩掛け式	有り	2,250 m ² /日																																																				
		無し	2,250 m ² /日																																																				
	ハンドガイド式	－	6,120 m ² /日																																																				
	人力除草	－	1,000 m ² /日																																																				
	② 集草																																																						
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><td>2,760 m²/日</td></tr></table>				作業日当り標準作業量	2,760 m ² /日																																																	
	作業日当り標準作業量	2,760 m ² /日																																																					
	③ 積込運搬																																																						
	(1) 積込																																																						
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><td>2,050 m²/日</td></tr></table>				作業日当り標準作業量	2,050 m ² /日																																																	
	作業日当り標準作業量	2,050 m ² /日																																																					
	(2) 運搬																																																						
	<table><tr><th>運搬機種・規格</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (m²/日)</th></tr><tr><td rowspan="13">ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級</td><td>6.5 以下</td><td>4,917</td></tr><tr><td>11.5 以下</td><td>4,214</td></tr><tr><td>14.5 以下</td><td>3,688</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>3,278</td></tr><tr><td>19.5 以下</td><td>2,950</td></tr><tr><td>21.5 以下</td><td>2,682</td></tr><tr><td>23.5 以下</td><td>2,458</td></tr><tr><td>26.0 以下</td><td>2,185</td></tr><tr><td>28.0 以下</td><td>1,967</td></tr><tr><td>30.0 以下</td><td>1,788</td></tr><tr><td>32.0 以下</td><td>1,639</td></tr><tr><td>34.5 以下</td><td>1,475</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>1,341</td></tr><tr><td rowspan="10">パッカー車 [回転式] 積載容量4m³</td><td>4.0 以下</td><td>3,100</td></tr><tr><td>7.0 以下</td><td>2,818</td></tr><tr><td>10.0 以下</td><td>2,583</td></tr><tr><td>14.0 以下</td><td>2,296</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>2,067</td></tr><tr><td>21.0 以下</td><td>1,879</td></tr><tr><td>25.0 以下</td><td>1,676</td></tr><tr><td>29.0 以下</td><td>1,512</td></tr><tr><td>33.0 以下</td><td>1,348</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>1,216</td></tr></table>				運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ² /日)	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	4,917	11.5 以下	4,214	14.5 以下	3,688	17.5 以下	3,278	19.5 以下	2,950	21.5 以下	2,682	23.5 以下	2,458	26.0 以下	2,185	28.0 以下	1,967	30.0 以下	1,788	32.0 以下	1,639	34.5 以下	1,475	35.0 以下	1,341	パッカー車 [回転式] 積載容量4m ³	4.0 以下	3,100	7.0 以下	2,818	10.0 以下	2,583	14.0 以下	2,296	17.5 以下	2,067	21.0 以下	1,879	25.0 以下	1,676	29.0 以下	1,512	33.0 以下	1,348	35.0 以下	1,216
	運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m ² /日)																																																				
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	4,917																																																				
		11.5 以下	4,214																																																				
		14.5 以下	3,688																																																				
		17.5 以下	3,278																																																				
		19.5 以下	2,950																																																				
		21.5 以下	2,682																																																				
		23.5 以下	2,458																																																				
		26.0 以下	2,185																																																				
		28.0 以下	1,967																																																				
30.0 以下		1,788																																																					
32.0 以下		1,639																																																					
34.5 以下		1,475																																																					
35.0 以下		1,341																																																					
パッカー車 [回転式] 積載容量4m ³	4.0 以下	3,100																																																					
	7.0 以下	2,818																																																					
	10.0 以下	2,583																																																					
	14.0 以下	2,296																																																					
	17.5 以下	2,067																																																					
	21.0 以下	1,879																																																					
	25.0 以下	1,676																																																					
	29.0 以下	1,512																																																					
	33.0 以下	1,348																																																					
	35.0 以下	1,216																																																					
(注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。																																																							
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。																																																							

工 種 名	設 定 内 容																																																					
道路除草工	④ 機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬 <table><thead><tr><th>運搬機種・規格</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (㎡/日)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="13">ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級</td><td>6.5 以下</td><td>990</td></tr><tr><td>11.5 以下</td><td>958</td></tr><tr><td>14.5 以下</td><td>928</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>899</td></tr><tr><td>19.5 以下</td><td>873</td></tr><tr><td>21.5 以下</td><td>848</td></tr><tr><td>23.5 以下</td><td>824</td></tr><tr><td>26.0 以下</td><td>791</td></tr><tr><td>28.0 以下</td><td>760</td></tr><tr><td>30.0 以下</td><td>732</td></tr><tr><td>32.0 以下</td><td>706</td></tr><tr><td>34.5 以下</td><td>674</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>644</td></tr><tr><td rowspan="9">パッカー車 [回転式] 積載容量4m³</td><td>4.0 以下</td><td>885</td></tr><tr><td>7.0 以下</td><td>861</td></tr><tr><td>10.0 以下</td><td>838</td></tr><tr><td>14.0 以下</td><td>805</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>775</td></tr><tr><td>21.0 以下</td><td>747</td></tr><tr><td>25.0 以下</td><td>712</td></tr><tr><td>29.0 以下</td><td>681</td></tr><tr><td>33.0 以下</td><td>646</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>614</td></tr></tbody></table> (注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。 2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。 ⑤ 機械除草（肩掛式）・集草 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>1,240 ㎡/日</td></tr></table>	運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	990	11.5 以下	958	14.5 以下	928	17.5 以下	899	19.5 以下	873	21.5 以下	848	23.5 以下	824	26.0 以下	791	28.0 以下	760	30.0 以下	732	32.0 以下	706	34.5 以下	674	35.0 以下	644	パッカー車 [回転式] 積載容量4m³	4.0 以下	885	7.0 以下	861	10.0 以下	838	14.0 以下	805	17.5 以下	775	21.0 以下	747	25.0 以下	712	29.0 以下	681	33.0 以下	646	35.0 以下	614	作業日当り標準作業量	1,240 ㎡/日
運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)																																																				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	990																																																				
	11.5 以下	958																																																				
	14.5 以下	928																																																				
	17.5 以下	899																																																				
	19.5 以下	873																																																				
	21.5 以下	848																																																				
	23.5 以下	824																																																				
	26.0 以下	791																																																				
	28.0 以下	760																																																				
	30.0 以下	732																																																				
	32.0 以下	706																																																				
	34.5 以下	674																																																				
	35.0 以下	644																																																				
パッカー車 [回転式] 積載容量4m³	4.0 以下	885																																																				
	7.0 以下	861																																																				
	10.0 以下	838																																																				
	14.0 以下	805																																																				
	17.5 以下	775																																																				
	21.0 以下	747																																																				
	25.0 以下	712																																																				
	29.0 以下	681																																																				
	33.0 以下	646																																																				
35.0 以下	614																																																					
作業日当り標準作業量	1,240 ㎡/日																																																					

工 種 名	設 定 内 容																																																					
道路除草工	⑥ 機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬 <table><thead><tr><th>運搬機種・規格</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (㎡/日)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="13">ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級</td><td>6.5 以下</td><td>1,372</td></tr><tr><td>11.5 以下</td><td>1,311</td></tr><tr><td>14.5 以下</td><td>1,255</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>1,204</td></tr><tr><td>19.5 以下</td><td>1,156</td></tr><tr><td>21.5 以下</td><td>1,113</td></tr><tr><td>23.5 以下</td><td>1,072</td></tr><tr><td>26.0 以下</td><td>1,017</td></tr><tr><td>28.0 以下</td><td>967</td></tr><tr><td>30.0 以下</td><td>922</td></tr><tr><td>32.0 以下</td><td>880</td></tr><tr><td>34.5 以下</td><td>831</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>786</td></tr><tr><td rowspan="8">パッカー車 [回転式] 積載容量4m³</td><td>4.0 以下</td><td>1,179</td></tr><tr><td>7.0 以下</td><td>1,136</td></tr><tr><td>10.0 以下</td><td>1,096</td></tr><tr><td>14.0 以下</td><td>1,040</td></tr><tr><td>17.5 以下</td><td>991</td></tr><tr><td>21.0 以下</td><td>945</td></tr><tr><td>25.0 以下</td><td>891</td></tr><tr><td>29.0 以下</td><td>842</td></tr><tr><td>33.0 以下</td><td>789</td></tr><tr><td>35.0 以下</td><td>742</td></tr></tbody></table> (注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。 2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。 ⑦ 機械除草（ハンドガイド式）・集草 <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>1,902 ㎡/日</td></tr></table>	運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	1,372	11.5 以下	1,311	14.5 以下	1,255	17.5 以下	1,204	19.5 以下	1,156	21.5 以下	1,113	23.5 以下	1,072	26.0 以下	1,017	28.0 以下	967	30.0 以下	922	32.0 以下	880	34.5 以下	831	35.0 以下	786	パッカー車 [回転式] 積載容量4m³	4.0 以下	1,179	7.0 以下	1,136	10.0 以下	1,096	14.0 以下	1,040	17.5 以下	991	21.0 以下	945	25.0 以下	891	29.0 以下	842	33.0 以下	789	35.0 以下	742	作業日当り標準作業量	1,902 ㎡/日
運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)																																																				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	6.5 以下	1,372																																																				
	11.5 以下	1,311																																																				
	14.5 以下	1,255																																																				
	17.5 以下	1,204																																																				
	19.5 以下	1,156																																																				
	21.5 以下	1,113																																																				
	23.5 以下	1,072																																																				
	26.0 以下	1,017																																																				
	28.0 以下	967																																																				
	30.0 以下	922																																																				
	32.0 以下	880																																																				
	34.5 以下	831																																																				
	35.0 以下	786																																																				
パッカー車 [回転式] 積載容量4m³	4.0 以下	1,179																																																				
	7.0 以下	1,136																																																				
	10.0 以下	1,096																																																				
	14.0 以下	1,040																																																				
	17.5 以下	991																																																				
	21.0 以下	945																																																				
	25.0 以下	891																																																				
	29.0 以下	842																																																				
33.0 以下	789																																																					
35.0 以下	742																																																					
作業日当り標準作業量	1,902 ㎡/日																																																					
路面清掃工 (機械清掃)	① 路面清掃工 …… 該当工種の計算式を参照。 ② 歩道掃き出し <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>3.2 km/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	作業日当り標準作業量	3.2 km/日																																																			
作業日当り標準作業量	3.2 km/日																																																					

工 種 名	設 定 内 容																				
路面清掃工 (人力清掃工)	① 人力清掃工 <table> <tr> <th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td rowspan="3">路 肩 部</td><td>少ない 1.3 km/日</td></tr> <tr> <td>普通 0.25 km/日</td></tr> <tr> <td>多い 0.16 km/日</td></tr> <tr> <td rowspan="3">歩 道</td><td>少ない 2,000 m²/日</td></tr> <tr> <td>普通 164 m²/日</td></tr> <tr> <td>多い 109 m²/日</td></tr> <tr> <td rowspan="3">横断歩道橋・地下道</td><td>少ない 1,000 m²/日</td></tr> <tr> <td>普通 455 m²/日</td></tr> <tr> <td>多い 286 m²/日</td></tr> <tr> <td rowspan="2">中央分離帯</td><td>普通 3,333 m²/日</td></tr> <tr> <td>多い 909 m²/日</td></tr> <tr> <td rowspan="2">歩道（草の処理）</td><td>普通 63 m²/日</td></tr> <tr> <td>多い 53 m²/日</td></tr> </table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。	作 業 名	作業日当り標準作業量	路 肩 部	少ない 1.3 km/日	普通 0.25 km/日	多い 0.16 km/日	歩 道	少ない 2,000 m ² /日	普通 164 m ² /日	多い 109 m ² /日	横断歩道橋・地下道	少ない 1,000 m ² /日	普通 455 m ² /日	多い 286 m ² /日	中央分離帯	普通 3,333 m ² /日	多い 909 m ² /日	歩道（草の処理）	普通 63 m ² /日	多い 53 m ² /日
作 業 名	作業日当り標準作業量																				
路 肩 部	少ない 1.3 km/日																				
	普通 0.25 km/日																				
	多い 0.16 km/日																				
歩 道	少ない 2,000 m ² /日																				
	普通 164 m ² /日																				
	多い 109 m ² /日																				
横断歩道橋・地下道	少ない 1,000 m ² /日																				
	普通 455 m ² /日																				
	多い 286 m ² /日																				
中央分離帯	普通 3,333 m ² /日																				
	多い 909 m ² /日																				
歩道（草の処理）	普通 63 m ² /日																				
	多い 53 m ² /日																				

工 種 名	設 定 内 容																	
管渠清掃工、側溝清掃工及び集水桝清掃工（組合せ作業）	① 管渠清掃工（機械清掃）清掃作業																	
	<table><tr><th>堆積率</th><th>管 径</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="3">50%未満</td><td>φ 200mm 以上 φ 400mm 未満</td><td>245 m/日</td></tr><tr><td>φ 400mm 以上 φ 800mm 未満</td><td>135 m/日</td></tr><tr><td>φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下</td><td>88 m/日</td></tr><tr><td rowspan="3">50%以上</td><td>φ 200mm 以上 φ 400mm 未満</td><td>163 m/日</td></tr><tr><td>φ 400mm 以上 φ 800mm 未満</td><td>103 m/日</td></tr><tr><td>φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下</td><td>63 m/日</td></tr></table>	堆積率	管 径	作業日当り標準作業量	50%未満	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	245 m/日	φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	135 m/日	φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下	88 m/日	50%以上	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	163 m/日	φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	103 m/日	φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下	63 m/日
	堆積率	管 径	作業日当り標準作業量															
	50%未満	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	245 m/日															
		φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	135 m/日															
		φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下	88 m/日															
	50%以上	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	163 m/日															
		φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	103 m/日															
		φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下	63 m/日															
	(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																	
② 管渠清掃工（機械清掃）移動																		
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>201 km/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	201 km/日																
作業日当り標準作業量	201 km/日																	
(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																		
③ 側溝清掃工（機械清掃の組合せ作業）清掃作業																		
<table><tr><th>堆積率</th><th>側溝断面積</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">50%未満</td><td>0.125㎡ 未満</td><td>181 m/日</td></tr><tr><td>0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満</td><td>119 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">50%以上</td><td>0.125㎡ 未満</td><td>132 m/日</td></tr><tr><td>0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満</td><td>81 m/日</td></tr></table>	堆積率	側溝断面積	作業日当り標準作業量	50%未満	0.125㎡ 未満	181 m/日	0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満	119 m/日	50%以上	0.125㎡ 未満	132 m/日	0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満	81 m/日					
堆積率	側溝断面積	作業日当り標準作業量																
50%未満	0.125㎡ 未満	181 m/日																
	0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満	119 m/日																
50%以上	0.125㎡ 未満	132 m/日																
	0.125㎡ 以上 0.5㎡ 未満	81 m/日																
(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																		
④ 側溝清掃工（機械清掃の組合せ作業）移動																		
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>201 km/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	201 km/日																
作業日当り標準作業量	201 km/日																	
(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																		
⑤ 集水桝清掃工（機械清掃の組合せ作業）清掃作業																		
<table><tr><th>泥土堆積厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>25 cm未満</td><td>134 個/日</td></tr><tr><td>25 cm以上</td><td>60 個/日</td></tr></table>	泥土堆積厚	作業日当り標準作業量	25 cm未満	134 個/日	25 cm以上	60 個/日												
泥土堆積厚	作業日当り標準作業量																	
25 cm未満	134 個/日																	
25 cm以上	60 個/日																	
(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																		
⑥ 集水桝清掃工(機械清掃の組合せ作業)移動																		
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>201 km/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	201 km/日																
作業日当り標準作業量	201 km/日																	
(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.7h とする。																		
側溝清掃工（単独作業）	① 側溝清掃（単独作業）清掃作業 …… 該当工種の計算式を参照。																	
	② 側溝清掃（単独作業）移動																	
	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>195 km/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	195 km/日															
	作業日当り標準作業量	195 km/日																
	(注) 排水管清掃車の運転日当り運転時間は、6.5h とする。																	
	③ 側溝蓋設置・撤去																	
<table><tr><th>側溝蓋質量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>40kg 以上 80kg 以下</td><td>333 枚/日</td></tr><tr><td>80kg を超え 120kg 以下</td><td>250 枚/日</td></tr></table>	側溝蓋質量	作業日当り標準作業量	40kg 以上 80kg 以下	333 枚/日	80kg を超え 120kg 以下	250 枚/日												
側溝蓋質量	作業日当り標準作業量																	
40kg 以上 80kg 以下	333 枚/日																	
80kg を超え 120kg 以下	250 枚/日																	

工 種 名	設 定 内 容														
側溝清掃工 (人力清掃工)	① 側溝清掃 (人力清掃工) <table border="1"> <tr> <th>側溝蓋規格</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>無蓋</td><td>63 m/日</td></tr> <tr> <td>有蓋 コンクリート蓋</td><td>26 m/日</td></tr> <tr> <td>有蓋 鋼蓋 (ボルト締無)</td><td>23 m/日</td></tr> <tr> <td>有蓋 鋼蓋 (ボルト締有)</td><td>15 m/日</td></tr> </table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	側溝蓋規格	作業日当り標準作業量	無蓋	63 m/日	有蓋 コンクリート蓋	26 m/日	有蓋 鋼蓋 (ボルト締無)	23 m/日	有蓋 鋼蓋 (ボルト締有)	15 m/日				
側溝蓋規格	作業日当り標準作業量														
無蓋	63 m/日														
有蓋 コンクリート蓋	26 m/日														
有蓋 鋼蓋 (ボルト締無)	23 m/日														
有蓋 鋼蓋 (ボルト締有)	15 m/日														
集水桝清掃工 (単独作業)	該当工種の計算式を参照。														
集水桝清掃工 (人力清掃工)	① 集水桝清掃工 (人力清掃工) <table border="1"> <tr> <th>蓋の有無及び土砂厚</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>有蓋 25cm 未満</td><td>13 箇所/日</td></tr> <tr> <td>有蓋 25cm 以上</td><td>9.9 箇所/日</td></tr> <tr> <td>無蓋 25cm 未満</td><td>23 箇所/日</td></tr> <tr> <td>無蓋 25cm 以上</td><td>12 箇所/日</td></tr> </table> (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	蓋の有無及び土砂厚	作業日当り標準作業量	有蓋 25cm 未満	13 箇所/日	有蓋 25cm 以上	9.9 箇所/日	無蓋 25cm 未満	23 箇所/日	無蓋 25cm 以上	12 箇所/日				
蓋の有無及び土砂厚	作業日当り標準作業量														
有蓋 25cm 未満	13 箇所/日														
有蓋 25cm 以上	9.9 箇所/日														
無蓋 25cm 未満	23 箇所/日														
無蓋 25cm 以上	12 箇所/日														
トンネル清掃工	該当工種の計算式を参照。														
トンネル照明器具 清掃工	① トンネル照明器具清掃工 <table border="1"> <tr> <th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>表面清掃</td><td>117 灯/日</td></tr> <tr> <td>表面及び内面清掃</td><td>60 灯/日</td></tr> </table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	表面清掃	117 灯/日	表面及び内面清掃	60 灯/日								
作 業 種 別	作業日当り標準作業量														
表面清掃	117 灯/日														
表面及び内面清掃	60 灯/日														
トンネル漏水対策工	① 面導水 <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>31 m²/日</th></tr> </table> ② 線導水 (溝切り工) <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>8.6 m/日</th></tr> </table> (注) コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬 180m 程度を含む。 ③ 線導水 (導水樋工) <table border="1"> <tr> <th>導水幅</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>300mm 以下</td><td>14 m/日</td></tr> <tr> <td>300mm 超え 500mm 以下</td><td>13 m/日</td></tr> <tr> <td>500mm 超え 700mm 以下</td><td>12 m/日</td></tr> <tr> <td>700mm 超え 1,000mm 以下</td><td>11 m/日</td></tr> </table>	作業日当り標準作業量	31 m ² /日	作業日当り標準作業量	8.6 m/日	導水幅	作業日当り標準作業量	300mm 以下	14 m/日	300mm 超え 500mm 以下	13 m/日	500mm 超え 700mm 以下	12 m/日	700mm 超え 1,000mm 以下	11 m/日
作業日当り標準作業量	31 m ² /日														
作業日当り標準作業量	8.6 m/日														
導水幅	作業日当り標準作業量														
300mm 以下	14 m/日														
300mm 超え 500mm 以下	13 m/日														
500mm 超え 700mm 以下	12 m/日														
700mm 超え 1,000mm 以下	11 m/日														

工 種 名	設 定 内 容																									
トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	① トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））																									
	<table><tr><th colspan="2">数 量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="9">1 トンネル当り 補修延べ延長</td><td>25m を超える場合</td><td>8.5 m/日</td></tr><tr><td>20m を超え 25m 以下の場合</td><td>7.3 m/日</td></tr><tr><td>15m を超え 20m 以下の場合</td><td>5.7 m/日</td></tr><tr><td>11m を超え 15m 以下の場合</td><td>4.2 m/日</td></tr><tr><td>8m を超え 11m 以下の場合</td><td>3.0 m/日</td></tr><tr><td>6m を超え 8m 以下の場合</td><td>2.1 m/日</td></tr><tr><td>4m を超え 6m 以下の場合</td><td>1.5 m/日</td></tr><tr><td>2m を超え 4m 以下の場合</td><td>1.0 m/日</td></tr><tr><td>1m を超え 2m 以下の場合</td><td>0.67 m/日</td></tr><tr><td>1m 以下の場合</td><td>0.33 m/日</td></tr></table>	数 量		作業日当り標準作業量	1 トンネル当り 補修延べ延長	25m を超える場合	8.5 m/日	20m を超え 25m 以下の場合	7.3 m/日	15m を超え 20m 以下の場合	5.7 m/日	11m を超え 15m 以下の場合	4.2 m/日	8m を超え 11m 以下の場合	3.0 m/日	6m を超え 8m 以下の場合	2.1 m/日	4m を超え 6m 以下の場合	1.5 m/日	2m を超え 4m 以下の場合	1.0 m/日	1m を超え 2m 以下の場合	0.67 m/日	1m 以下の場合	0.33 m/日	
	数 量		作業日当り標準作業量																							
	1 トンネル当り 補修延べ延長	25m を超える場合	8.5 m/日																							
		20m を超え 25m 以下の場合	7.3 m/日																							
		15m を超え 20m 以下の場合	5.7 m/日																							
		11m を超え 15m 以下の場合	4.2 m/日																							
		8m を超え 11m 以下の場合	3.0 m/日																							
		6m を超え 8m 以下の場合	2.1 m/日																							
		4m を超え 6m 以下の場合	1.5 m/日																							
2m を超え 4m 以下の場合		1.0 m/日																								
1m を超え 2m 以下の場合		0.67 m/日																								
1m 以下の場合	0.33 m/日																									
トンネル補修工（断面修復工（左官工法））	① トンネル補修工（断面修復工（左官工法））																									
	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">数 量</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>鉄筋ケレン・防錆処理を含む</th><th>鉄筋ケレン・防錆処理を含まない</th></tr><tr><td rowspan="6">1 トンネル当り 修復延べ体積</td><td>0.1m³ を超える場合</td><td>0.036 m³/日</td><td>0.038 m³/日</td></tr><tr><td>0.07m³ を超え 0.1m³ 以下の場合</td><td>0.025 m³/日</td><td>0.027 m³/日</td></tr><tr><td>0.05m³ を超え 0.07m³ 以下の場合</td><td>0.017 m³/日</td><td>0.018 m³/日</td></tr><tr><td>0.03m³ を超え 0.05m³ 以下の場合</td><td>0.011 m³/日</td><td>0.012 m³/日</td></tr><tr><td>0.01m³ を超え 0.03m³ 以下の場合</td><td>0.006 m³/日</td><td>0.007 m³/日</td></tr><tr><td>0.01m³ を超える場合</td><td>0.003 m³/日</td><td>0.003 m³/日</td></tr></table>	数 量		作業日当り標準作業量		鉄筋ケレン・防錆処理を含む	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	1 トンネル当り 修復延べ体積	0.1m ³ を超える場合	0.036 m ³ /日	0.038 m ³ /日	0.07m ³ を超え 0.1m ³ 以下の場合	0.025 m ³ /日	0.027 m ³ /日	0.05m ³ を超え 0.07m ³ 以下の場合	0.017 m ³ /日	0.018 m ³ /日	0.03m ³ を超え 0.05m ³ 以下の場合	0.011 m ³ /日	0.012 m ³ /日	0.01m ³ を超え 0.03m ³ 以下の場合	0.006 m ³ /日	0.007 m ³ /日	0.01m ³ を超える場合	0.003 m ³ /日	0.003 m ³ /日
	数 量			作業日当り標準作業量																						
			鉄筋ケレン・防錆処理を含む	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない																						
	1 トンネル当り 修復延べ体積	0.1m ³ を超える場合	0.036 m ³ /日	0.038 m ³ /日																						
		0.07m ³ を超え 0.1m ³ 以下の場合	0.025 m ³ /日	0.027 m ³ /日																						
		0.05m ³ を超え 0.07m ³ 以下の場合	0.017 m ³ /日	0.018 m ³ /日																						
0.03m ³ を超え 0.05m ³ 以下の場合		0.011 m ³ /日	0.012 m ³ /日																							
0.01m ³ を超え 0.03m ³ 以下の場合		0.006 m ³ /日	0.007 m ³ /日																							
0.01m ³ を超える場合		0.003 m ³ /日	0.003 m ³ /日																							
トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））	① トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））																									
	<table><tr><th>工 程</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>下地処理</td><td>52 m²/日</td></tr><tr><td>プライマー塗布</td><td>56 m²/日</td></tr><tr><td>不陸修正</td><td>41 m²/日</td></tr><tr><td>シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）</td><td>17 m²/日</td></tr><tr><td>仕上げ塗装</td><td>56 m²/日</td></tr></table>	工 程	作業日当り標準作業量	下地処理	52 m ² /日	プライマー塗布	56 m ² /日	不陸修正	41 m ² /日	シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）	17 m ² /日	仕上げ塗装	56 m ² /日													
	工 程	作業日当り標準作業量																								
	下地処理	52 m ² /日																								
	プライマー塗布	56 m ² /日																								
	不陸修正	41 m ² /日																								
	シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）	17 m ² /日																								
仕上げ塗装	56 m ² /日																									

工 種 名	設 定 内 容														
沓座拡幅工	① 沓座拡幅工 <table> <tr> <th>作業名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>チップング（厚 2cm 以下）</td><td>5.3 m²/日</td></tr> <tr> <td>アンカー筋挿入 （コンクリート沓座拡幅工）</td><td>91 本/日</td></tr> <tr> <td>鉄筋（沓座拡幅工）</td><td>0.70 t/日</td></tr> <tr> <td>型枠（沓座拡幅工）</td><td>8.8 m²/日</td></tr> <tr> <td>コンクリート（沓座拡幅工）</td><td>6.7 m³/日</td></tr> </table>	作業名	作業日当り標準作業量	チップング（厚 2cm 以下）	5.3 m ² /日	アンカー筋挿入 （コンクリート沓座拡幅工）	91 本/日	鉄筋（沓座拡幅工）	0.70 t/日	型枠（沓座拡幅工）	8.8 m ² /日	コンクリート（沓座拡幅工）	6.7 m ³ /日		
作業名	作業日当り標準作業量														
チップング（厚 2cm 以下）	5.3 m ² /日														
アンカー筋挿入 （コンクリート沓座拡幅工）	91 本/日														
鉄筋（沓座拡幅工）	0.70 t/日														
型枠（沓座拡幅工）	8.8 m ² /日														
コンクリート（沓座拡幅工）	6.7 m ³ /日														
欠損部補修工	① 加熱合材補修工 <table> <tr> <th>日施工量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>1t 未満</td><td>1.0 t/日</td></tr> <tr> <td>1t 以上 2t 未満</td><td>1.6 t/日</td></tr> <tr> <td>2t 以上 5t 未満</td><td>4.2 t/日</td></tr> <tr> <td>5t 以上 20t 未満</td><td>9.1 t/日</td></tr> </table> ② 常温合材補修工 <table> <tr> <th>日施工量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>0.3t 未満</td><td>0.3 t/日</td></tr> </table>	日施工量	作業日当り標準作業量	1t 未満	1.0 t/日	1t 以上 2t 未満	1.6 t/日	2t 以上 5t 未満	4.2 t/日	5t 以上 20t 未満	9.1 t/日	日施工量	作業日当り標準作業量	0.3t 未満	0.3 t/日
日施工量	作業日当り標準作業量														
1t 未満	1.0 t/日														
1t 以上 2t 未満	1.6 t/日														
2t 以上 5t 未満	4.2 t/日														
5t 以上 20t 未満	9.1 t/日														
日施工量	作業日当り標準作業量														
0.3t 未満	0.3 t/日														
舗装版削孔工 （アスファルト舗装版）	① アスファルト舗装版削孔 <table> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>39 孔/日</th></tr> </table>	作業日当り標準作業量	39 孔/日												
作業日当り標準作業量	39 孔/日														
横断歩道橋補修工	① 横断歩道橋補修工 <table> <tr> <th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>既設舗装はぎ取り</td><td>40 m²/日</td></tr> <tr> <td>ノンスリップ撤去</td><td>277 m/日</td></tr> </table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	既設舗装はぎ取り	40 m ² /日	ノンスリップ撤去	277 m/日								
作 業 名	作業日当り標準作業量														
既設舗装はぎ取り	40 m ² /日														
ノンスリップ撤去	277 m/日														
電線共同溝工 （C・C・BOX）	① 舗装版破砕積込（電線共同溝工） <table> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>101 m²/日</th></tr> </table> ② 床掘り（電線共同溝工） <table> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>41 m³/日</th></tr> </table> ③ 埋戻し・締固め（電線共同溝工） <table> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>58 m³/日</th></tr> </table>	作業日当り標準作業量	101 m ² /日	作業日当り標準作業量	41 m ³ /日	作業日当り標準作業量	58 m ³ /日								
作業日当り標準作業量	101 m ² /日														
作業日当り標準作業量	41 m ³ /日														
作業日当り標準作業量	58 m ³ /日														

工 種 名	設 定 内 容																																																																		
電線共同溝工 (C・C・BOX)	④ 運搬(電線共同溝工)																																																																		
	<table><tr><th>積載区分</th><th>DID 区間の有無</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="14">土砂</td><td rowspan="7">無し</td><td>0.5 以下</td><td>40</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>3.5 以下</td><td>29</td></tr><tr><td>6.5 以下</td><td>22</td></tr><tr><td>11.5 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>26.5 以下</td><td>11</td></tr><tr><td>60.0 以下</td><td>6</td></tr><tr><td rowspan="7">有り</td><td>0.5 以下</td><td>40</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>33</td></tr><tr><td>3.5 以下</td><td>29</td></tr><tr><td>6.0 以下</td><td>22</td></tr><tr><td>10.5 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>22.5 以下</td><td>11</td></tr><tr><td>60.0 以下</td><td>6</td></tr><tr><td rowspan="14">アスファルト塊</td><td rowspan="7">無し</td><td>0.5 以下</td><td>31</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>26</td></tr><tr><td>3.5 以下</td><td>22</td></tr><tr><td>6.5 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>11.5 以下</td><td>13</td></tr><tr><td>26.5 以下</td><td>9</td></tr><tr><td>60.0 以下</td><td>4</td></tr><tr><td rowspan="7">有り</td><td>0.5 以下</td><td>31</td></tr><tr><td>2.0 以下</td><td>26</td></tr><tr><td>3.5 以下</td><td>22</td></tr><tr><td>6.0 以下</td><td>17</td></tr><tr><td>10.5 以下</td><td>13</td></tr><tr><td>22.5 以下</td><td>9</td></tr><tr><td>60.0 以下</td><td>4</td></tr></table>	積載区分	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	土砂	無し	0.5 以下	40	2.0 以下	33	3.5 以下	29	6.5 以下	22	11.5 以下	17	26.5 以下	11	60.0 以下	6	有り	0.5 以下	40	2.0 以下	33	3.5 以下	29	6.0 以下	22	10.5 以下	17	22.5 以下	11	60.0 以下	6	アスファルト塊	無し	0.5 以下	31	2.0 以下	26	3.5 以下	22	6.5 以下	17	11.5 以下	13	26.5 以下	9	60.0 以下	4	有り	0.5 以下	31	2.0 以下	26	3.5 以下	22	6.0 以下	17	10.5 以下	13	22.5 以下	9	60.0 以下	4
	積載区分	DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																															
	土砂	無し	0.5 以下	40																																																															
			2.0 以下	33																																																															
			3.5 以下	29																																																															
			6.5 以下	22																																																															
			11.5 以下	17																																																															
			26.5 以下	11																																																															
			60.0 以下	6																																																															
		有り	0.5 以下	40																																																															
			2.0 以下	33																																																															
			3.5 以下	29																																																															
			6.0 以下	22																																																															
			10.5 以下	17																																																															
			22.5 以下	11																																																															
			60.0 以下	6																																																															
	アスファルト塊	無し	0.5 以下	31																																																															
			2.0 以下	26																																																															
			3.5 以下	22																																																															
			6.5 以下	17																																																															
			11.5 以下	13																																																															
			26.5 以下	9																																																															
			60.0 以下	4																																																															
		有り	0.5 以下	31																																																															
			2.0 以下	26																																																															
			3.5 以下	22																																																															
			6.0 以下	17																																																															
			10.5 以下	13																																																															
			22.5 以下	9																																																															
			60.0 以下	4																																																															
	⑤ 軽量鋼矢板設置・撤去																																																																		
	<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>121 m/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	121 m/日																																																																
作業日当り標準作業量	121 m/日																																																																		
⑥ 覆工板設置・撤去																																																																			
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>206 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	206 m ² /日																																																																	
作業日当り標準作業量	206 m ² /日																																																																		

工 種 名	設 定 内 容																								
電線共同溝工 (C・C・BOX)	⑦ 管路材設置																								
	<table><tr><th>作業区分</th><th>設置区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>露出部</td><td>単管</td><td>56 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">埋設部</td><td>単管設置</td><td>93 m/日</td></tr><tr><td>F A管設置</td><td>99 m/日</td></tr><tr><td>ボディ管(φ200mm)設置 (さや管含む)</td><td>63 m/日</td></tr><tr><td>ボディ管(φ250mm)設置 (さや管含む)</td><td>36 m/日</td></tr><tr><td></td><td>多条管</td><td>118 m/日</td></tr></table>	作業区分	設置区分	作業日当り標準作業量	露出部	単管	56 m/日	埋設部	単管設置	93 m/日	F A管設置	99 m/日	ボディ管(φ200mm)設置 (さや管含む)	63 m/日	ボディ管(φ250mm)設置 (さや管含む)	36 m/日		多条管	118 m/日						
	作業区分	設置区分	作業日当り標準作業量																						
	露出部	単管	56 m/日																						
	埋設部	単管設置	93 m/日																						
		F A管設置	99 m/日																						
		ボディ管(φ200mm)設置 (さや管含む)	63 m/日																						
		ボディ管(φ250mm)設置 (さや管含む)	36 m/日																						
		多条管	118 m/日																						
	⑧ プレキャストボックスブロック設置																								
<table><tr><th>ボックスブロック1個当り質量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>1,000kg 以下</td><td>12 個/日</td></tr><tr><td>1,000kg 超～4,000kg 以下</td><td>6 個/日</td></tr><tr><td>4,000kg 超～11,000kg 以下</td><td>4 個/日</td></tr></table>	ボックスブロック1個当り質量	作業日当り標準作業量	1,000kg 以下	12 個/日	1,000kg 超～4,000kg 以下	6 個/日	4,000kg 超～11,000kg 以下	4 個/日																	
ボックスブロック1個当り質量	作業日当り標準作業量																								
1,000kg 以下	12 個/日																								
1,000kg 超～4,000kg 以下	6 個/日																								
4,000kg 超～11,000kg 以下	4 個/日																								
⑨ 蓋設置																									
<table><tr><th>蓋1組当り質量</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>200kg 以下</td><td>9 組/日</td></tr><tr><td>200kg 超～800kg 以下</td><td>7 組/日</td></tr><tr><td>800kg 超～2,000kg 以下</td><td>5 組/日</td></tr></table>	蓋1組当り質量	作業日当り標準作業量	200kg 以下	9 組/日	200kg 超～800kg 以下	7 組/日	800kg 超～2,000kg 以下	5 組/日																	
蓋1組当り質量	作業日当り標準作業量																								
200kg 以下	9 組/日																								
200kg 超～800kg 以下	7 組/日																								
800kg 超～2,000kg 以下	5 組/日																								
情報ボックス工	① 舗装版破砕 (情報ボックス工)																								
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>248 m²/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		248 m ² /日																					
	作業日当り標準作業量																								
	248 m ² /日																								
	② 床掘り (情報ボックス工)																								
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>66 m³/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		66 m ³ /日																					
	作業日当り標準作業量																								
	66 m ³ /日																								
	③ 埋戻し (情報ボックス工)																								
	<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>44 m³/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		44 m ³ /日																					
作業日当り標準作業量																									
44 m ³ /日																									
④ 基礎材																									
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>151 m²/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		151 m ² /日																						
作業日当り標準作業量																									
151 m ² /日																									
⑤ 埋設部管路材設置																									
<table><tr><th>本体管の材質</th><th>さや管の材質</th><th>設置区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート製</td><td rowspan="2">VU・FEP 管類</td><td>本体管設置</td><td>98 m/日</td></tr><tr><td>さや管設置</td><td>218 m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">合成樹脂製</td><td rowspan="2">VU 管類</td><td>本体管及びさや管設置</td><td>68 m/日</td></tr><tr><td>本体管設置</td><td>146 m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">FEP 管類</td><td>さや管設置</td><td>240 m/日</td></tr><tr><td>本体管設置</td><td>507 m/日</td></tr><tr><td>鋼 製</td><td>—</td><td>本体管設置</td><td>507 m/日</td></tr></table>	本体管の材質	さや管の材質	設置区分	作業日当り標準作業量	コンクリート製	VU・FEP 管類	本体管設置	98 m/日	さや管設置	218 m/日	合成樹脂製	VU 管類	本体管及びさや管設置	68 m/日	本体管設置	146 m/日	FEP 管類	さや管設置	240 m/日	本体管設置	507 m/日	鋼 製	—	本体管設置	507 m/日
本体管の材質	さや管の材質	設置区分	作業日当り標準作業量																						
コンクリート製	VU・FEP 管類	本体管設置	98 m/日																						
		さや管設置	218 m/日																						
合成樹脂製	VU 管類	本体管及びさや管設置	68 m/日																						
		本体管設置	146 m/日																						
	FEP 管類	さや管設置	240 m/日																						
		本体管設置	507 m/日																						
鋼 製	—	本体管設置	507 m/日																						
⑥ 露出部管路材設置																									
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>21 m/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		21 m/日																						
作業日当り標準作業量																									
21 m/日																									
⑦ ハンドホール																									
<table><tr><th>作業日当り標準作業量</th><th></th></tr><tr><td>4 個/日</td><td></td></tr></table>	作業日当り標準作業量		4 個/日																						
作業日当り標準作業量																									
4 個/日																									

工 種 名	設 定 内 容						
トンネル工(NATM) [発破工法]	① 掘削工等・・・該当工種の基準内に記載。(時間当り掘削量)						
トンネル工(NATM) [機械掘削工法]	② 覆工コンクリート等・・・該当工種の基準内に記載。						
	③ インバート工 <table border="1"> <tr> <th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>インバート工 掘削工～コンクリート工まで</td><td>2.2 m/日</td></tr> </table> (注) 上表は、インバート厚が50cmの場合で、鉄筋は無筋の場合の標準作業量である。	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	インバート工 掘削工～コンクリート工まで	2.2 m/日		
作 業 種 別	作業日当り標準作業量						
インバート工 掘削工～コンクリート工まで	2.2 m/日						
	④ インバート敷均し・締固め工(路床) <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>167 m³/日</th></tr> </table>	作業日当り標準作業量	167 m ³ /日				
作業日当り標準作業量	167 m ³ /日						
	⑤ 埋戻し材の積込み <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th><th>123 m³/日</th></tr> </table>	作業日当り標準作業量	123 m ³ /日				
作業日当り標準作業量	123 m ³ /日						
トンネル濁水処理工	① 濁水処理設備設置・撤去 <table border="1"> <tr> <th>作 業 内 容</th><th>1 箇所当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>設 置</td><td>4.3 日/箇所</td></tr> <tr> <td>撤 去</td><td>3.4 日/箇所</td></tr> </table>	作 業 内 容	1 箇所当り標準作業量	設 置	4.3 日/箇所	撤 去	3.4 日/箇所
作 業 内 容	1 箇所当り標準作業量						
設 置	4.3 日/箇所						
撤 去	3.4 日/箇所						
トンネル工(NATM) 仮設備工 (防音扉工)	① 防音扉設置・撤去 <table border="1"> <tr> <th>作 業 内 容</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr> <tr> <td>設 置</td><td>33 m²/日</td></tr> <tr> <td>撤 去</td><td>47 m²/日</td></tr> </table>	作 業 内 容	作業日当り標準作業量	設 置	33 m ² /日	撤 去	47 m ² /日
作 業 内 容	作業日当り標準作業量						
設 置	33 m ² /日						
撤 去	47 m ² /日						
小断面トンネル工 (NATM)	① 掘削工等・・・該当工種の基準内に記載(週当り掘削量) ② 覆工コンクリート等・・・該当工種の基準内に記載。						
トンネル裏込め注工	該当工種の基準内に記載。						
道路除雪工	現場条件により設定。						
鋼橋製作工	現場条件により設定。						

工 種 名	設 定 内 容																																																																																																															
橋梁塗装工 (工場塗装及 び塗装前処 理)	① 塗装前処理																																																																																																															
	二次調整の区分		作業日当り標準作業量																																																																																																													
	動力工具処理		43 m ² /日																																																																																																													
	製品ブラスト		16 m ² /日																																																																																																													
	(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁塗装工1名の場合。																																																																																																															
	② 工場塗装																																																																																																															
	箱桁構造内面歩掛補正		作業日当り標準作業量																																																																																																													
	箱桁構造内面（密閉部）		45 m ² /日・回																																																																																																													
	上記以外		71 m ² /日・回																																																																																																													
	(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁塗装工1名の場合。																																																																																																															
鋼橋架設工	① 支承工、地組工、本締め工 …… 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。																																																																																																															
	② 架設工 …… 該当工種の計算式（日当り架設質量）を参照。																																																																																																															
	③ 落橋防止装置取付工 …… 該当工種の基準内に記載。																																																																																																															
	④ 架設用機械設備据付・解体 …… 該当工種の計算式（所要日数又は日当り施工量）を参照。																																																																																																															
	⑤ 鋼床版現場溶接工 …… 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。																																																																																																															
	⑥ 足場工、防護工及び登り栈橋工																																																																																																															
	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">作 業 名</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>設置</th><th>撤去</th></tr><tr><td rowspan="4">主体足場 (パイプ吊足場)</td><td colspan="2">プレートガーダ・ボックスガーダ</td><td>152 m²/日</td><td>217 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">ラーメン</td><td>116 m²/日</td><td>185 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">トラス、アーチ</td><td>79 m²/日</td><td>132 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">少数Ⅰ桁</td><td>156 m²/日</td><td>217 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">主体足場（ワイヤー ブリッジ転用足場）</td><td colspan="2">プレートガーダ・ボックスガーダ</td><td>98 m²/日</td><td>156 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">トラス、アーチ</td><td>62 m²/日</td><td>106 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="3">中段足場</td><td colspan="2">プレートガーダ・ボックスガーダ</td><td rowspan="2">333 m²/日</td><td rowspan="2">625 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">ラーメン</td></tr><tr><td colspan="2">トラス、アーチ</td><td rowspan="2">357 m²/日</td><td rowspan="2">500 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">少数Ⅰ桁</td></tr><tr><td rowspan="4">安全通路</td><td colspan="2">プレートガーダ・ボックスガーダ</td><td colspan="2">333 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">ラーメン</td><td colspan="2">172 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">トラス、アーチ</td><td colspan="2">167 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">少数Ⅰ桁</td><td colspan="2">333 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td rowspan="4">部分作業床</td><td colspan="2">プレートガーダ・ボックスガーダ</td><td colspan="2">556 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">ラーメン</td><td colspan="2">172 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">トラス、アーチ</td><td colspan="2">156 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td colspan="2">少数Ⅰ桁</td><td colspan="2">556 m²/日（設置・撤去）</td></tr><tr><td rowspan="8">朝 顔</td><td rowspan="2">プレートガーダ・ ボックスガーダ</td><td>両側朝顔</td><td>313 m²/日</td><td>455 m²/日</td></tr><tr><td>片側朝顔</td><td>625 m²/日</td><td>909 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">ラーメン</td><td>両側朝顔</td><td>263 m²/日</td><td>333 m²/日</td></tr><tr><td>片側朝顔</td><td>526 m²/日</td><td>667 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">トラス、アーチ</td><td>両側朝顔</td><td>313 m²/日</td><td>455 m²/日</td></tr><tr><td>片側朝顔</td><td>625 m²/日</td><td>909 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">少数Ⅰ桁</td><td>両側朝顔</td><td>357 m²/日</td><td>556 m²/日</td></tr><tr><td>片側朝顔</td><td>714 m²/日</td><td>1,111 m²/日</td></tr></table>				作 業 名		作業日当り標準作業量		設置	撤去	主体足場 (パイプ吊足場)	プレートガーダ・ボックスガーダ		152 m ² /日	217 m ² /日	ラーメン		116 m ² /日	185 m ² /日	トラス、アーチ		79 m ² /日	132 m ² /日	少数Ⅰ桁		156 m ² /日	217 m ² /日	主体足場（ワイヤー ブリッジ転用足場）	プレートガーダ・ボックスガーダ		98 m ² /日	156 m ² /日	トラス、アーチ		62 m ² /日	106 m ² /日	中段足場	プレートガーダ・ボックスガーダ		333 m ² /日	625 m ² /日	ラーメン		トラス、アーチ		357 m ² /日	500 m ² /日	少数Ⅰ桁		安全通路	プレートガーダ・ボックスガーダ		333 m ² /日（設置・撤去）		ラーメン		172 m ² /日（設置・撤去）		トラス、アーチ		167 m ² /日（設置・撤去）		少数Ⅰ桁		333 m ² /日（設置・撤去）		部分作業床	プレートガーダ・ボックスガーダ		556 m ² /日（設置・撤去）		ラーメン		172 m ² /日（設置・撤去）		トラス、アーチ		156 m ² /日（設置・撤去）		少数Ⅰ桁		556 m ² /日（設置・撤去）		朝 顔	プレートガーダ・ ボックスガーダ	両側朝顔	313 m ² /日	455 m ² /日	片側朝顔	625 m ² /日	909 m ² /日	ラーメン	両側朝顔	263 m ² /日	333 m ² /日	片側朝顔	526 m ² /日	667 m ² /日	トラス、アーチ	両側朝顔	313 m ² /日	455 m ² /日	片側朝顔	625 m ² /日	909 m ² /日	少数Ⅰ桁	両側朝顔	357 m ² /日	556 m ² /日	片側朝顔	714 m ² /日	1,111 m ² /日
	作 業 名		作業日当り標準作業量																																																																																																													
			設置	撤去																																																																																																												
	主体足場 (パイプ吊足場)	プレートガーダ・ボックスガーダ		152 m ² /日	217 m ² /日																																																																																																											
		ラーメン		116 m ² /日	185 m ² /日																																																																																																											
		トラス、アーチ		79 m ² /日	132 m ² /日																																																																																																											
		少数Ⅰ桁		156 m ² /日	217 m ² /日																																																																																																											
	主体足場（ワイヤー ブリッジ転用足場）	プレートガーダ・ボックスガーダ		98 m ² /日	156 m ² /日																																																																																																											
		トラス、アーチ		62 m ² /日	106 m ² /日																																																																																																											
	中段足場	プレートガーダ・ボックスガーダ		333 m ² /日	625 m ² /日																																																																																																											
		ラーメン																																																																																																														
		トラス、アーチ		357 m ² /日	500 m ² /日																																																																																																											
	少数Ⅰ桁																																																																																																															
	安全通路	プレートガーダ・ボックスガーダ		333 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		ラーメン		172 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		トラス、アーチ		167 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		少数Ⅰ桁		333 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
	部分作業床	プレートガーダ・ボックスガーダ		556 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		ラーメン		172 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		トラス、アーチ		156 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
		少数Ⅰ桁		556 m ² /日（設置・撤去）																																																																																																												
	朝 顔	プレートガーダ・ ボックスガーダ	両側朝顔	313 m ² /日	455 m ² /日																																																																																																											
			片側朝顔	625 m ² /日	909 m ² /日																																																																																																											
		ラーメン	両側朝顔	263 m ² /日	333 m ² /日																																																																																																											
			片側朝顔	526 m ² /日	667 m ² /日																																																																																																											
		トラス、アーチ	両側朝顔	313 m ² /日	455 m ² /日																																																																																																											
			片側朝顔	625 m ² /日	909 m ² /日																																																																																																											
		少数Ⅰ桁	両側朝顔	357 m ² /日	556 m ² /日																																																																																																											
			片側朝顔	714 m ² /日	1,111 m ² /日																																																																																																											
	(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工5名の場合。																																																																																																															

工 種 名	設 定 内 容			
鋼橋架設工	作 業 名		作業日当り標準作業量	
			設置	撤去
	側面塗装足場		278 m ² /日（設置・撤去）	
	板張防護工	両側朝顔	167 m ² /日	385 m ² /日
		片側朝顔	179 m ² /日	417 m ² /日
	シート張防護工	両側朝顔	714 m ² /日	1,250 m ² /日
		片側朝顔	833 m ² /日	1,250 m ² /日
	シート張防護工（側面）		1,250 m ² /日（設置・撤去）	
	ワイヤーブリッジ防護工		100 m ² /日	238 m ² /日
	ネット防護工		263 m ² /日	333 m ² /日
	登り栈橋工		11 m/日	15 m/日
	(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工5名の場合。			
⑦ 合成床版架設工				
		作業日当り標準作業量	66.7 m ² /日	
プレビーム桁架設工	① 架設工 … 該当工種の基準内に記載。			
	② 地組工、本締め工 … 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。			
	③ 横桁取付工 … 該当工種の基準内に記載。			
	④ 局部プレストレス工			
		作業日当り標準作業量	1 径間/日	
鋼橋床版工	① 鋼橋床版工			
	作 業 名		作業日当り標準作業量	
	型枠（鋼橋床版）	型枠の補正係数 無し	20 m ² /日	
		型枠の補正係数 0.05 以下	19 m ² /日	
		型枠の補正係数 0.06 以上 0.10 以下	18 m ² /日	
養生（鋼橋床版）		63 m ² /日		
グレーチング床版架設工及び足場工	該当工種の計算式（100m ² 当り架設日数）を参照。			
ポストテンション桁製作工	① ポストテンション桁製作工			
	工 種 名		作業日当り標準作業量	
	ポストテンション桁製作工		1.2 m ³ /日	
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、軌道設置撤去、主桁製作台及び足場設置撤去、鉄筋加工・組立、横組シーす組立、PCケーブル挿入、型枠設置・撤去、コンクリート打設・養生、緊張及びグラウト注入を含んでいる。			
プレキャストセグメント主桁組立工	該当工種の計算式（1本当り施工日数）を参照。			

工 種 名	設 定 内 容																																																										
P C 橋架設工	① トラッククレーンによる架設 …… 該当工種の基準内に記載。																																																										
	② 架設桁による架設																																																										
	(1) 桁架設、架設機械設備据付・解体、 架設機械移動、軌道設置・撤去 …… 該当工種の基準内に記載。																																																										
	(2) アンカー工																																																										
	<table><tr><th>作業名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>土中アンカー</td><td>3.3 箇所/日</td></tr><tr><td>既存構造物アンカー</td><td>6.1 箇所/日</td></tr></table>	作業名	作業日当り標準作業量	土中アンカー	3.3 箇所/日	既存構造物アンカー	6.1 箇所/日																																																				
	作業名	作業日当り標準作業量																																																									
	土中アンカー	3.3 箇所/日																																																									
	既存構造物アンカー	6.1 箇所/日																																																									
	③ P C 橋架設工（横組工、P C コンボ橋）																																																										
	<table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td colspan="2">コンクリート工</td><td>40 m³/日</td><td>横組工</td></tr><tr><td colspan="2">鉄筋工</td><td>1.1 t/日</td><td>横組工</td></tr><tr><td rowspan="2">P C 工</td><td>プレテンション桁</td><td>155 m/日</td><td>横組工</td></tr><tr><td>ポストテンション桁</td><td>157 m/日</td><td>横組工</td></tr><tr><td colspan="2">緊張工</td><td>27 ケーブル/日</td><td>横組工</td></tr><tr><td colspan="2">P C 板支承工</td><td>250 m/日</td><td>P C コンボ橋用</td></tr><tr><td colspan="2">P C 板仮置工</td><td>110 枚/日</td><td>P C コンボ橋用</td></tr><tr><td colspan="2">P C 板敷設工</td><td>46 枚/日</td><td>P C コンボ橋用</td></tr><tr><td colspan="2">継目工</td><td>1,000 m/日</td><td>P C コンボ橋用</td></tr><tr><td colspan="2">型枠工</td><td>8 m²/日</td><td>P C コンボ橋用</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	摘 要	コンクリート工		40 m ³ /日	横組工	鉄筋工		1.1 t/日	横組工	P C 工	プレテンション桁	155 m/日	横組工	ポストテンション桁	157 m/日	横組工	緊張工		27 ケーブル/日	横組工	P C 板支承工		250 m/日	P C コンボ橋用	P C 板仮置工		110 枚/日	P C コンボ橋用	P C 板敷設工		46 枚/日	P C コンボ橋用	継目工		1,000 m/日	P C コンボ橋用	型枠工		8 m ² /日	P C コンボ橋用															
作 業 種 別		作業日当り標準作業量	摘 要																																																								
コンクリート工		40 m ³ /日	横組工																																																								
鉄筋工		1.1 t/日	横組工																																																								
P C 工	プレテンション桁	155 m/日	横組工																																																								
	ポストテンション桁	157 m/日	横組工																																																								
緊張工		27 ケーブル/日	横組工																																																								
P C 板支承工		250 m/日	P C コンボ橋用																																																								
P C 板仮置工		110 枚/日	P C コンボ橋用																																																								
P C 板敷設工		46 枚/日	P C コンボ橋用																																																								
継目工		1,000 m/日	P C コンボ橋用																																																								
型枠工		8 m ² /日	P C コンボ橋用																																																								
(注) 上表の作業日当り標準作業量は、P C 橋架設工の一連作業における各作業に適用する。																																																											
④ P C 橋架設工（足場工及び防護工）																																																											
<table><tr><th colspan="4">作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>編成人員 (橋梁特殊工)</th></tr><tr><td rowspan="6">桁下 足場</td><td rowspan="4">ポストテン ション桁</td><td rowspan="2">両側朝顔</td><td>桁高 1.1 ≤ H < 1.5</td><td>42 m²/日</td><td>5 人</td></tr><tr><td>桁高 1.5 ≤ H</td><td>36 m²/日</td><td>5 人</td></tr><tr><td rowspan="2">片側朝顔</td><td>桁高 1.1 ≤ H < 1.5</td><td>67 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td>桁高 1.5 ≤ H</td><td>55 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td rowspan="2">プレテン ション桁</td><td>両側朝顔</td><td>-</td><td>60 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td>片側朝顔</td><td>-</td><td>64 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td colspan="4">側部足場（スラブ桁橋）</td><td>17 m /日</td><td>4 人</td></tr><tr><td colspan="4">橋台・橋脚回り足場ブラケット工</td><td>11 m /日</td><td>4 人</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">板張防護工</td><td colspan="2">両側朝顔</td><td>120 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td colspan="2">片側朝顔</td><td>150 m²/日</td><td>6 人</td></tr><tr><td colspan="4">ネット防護工</td><td>200 m²/日</td><td>4 人</td></tr></table>	作 業 名				作業日当り標準作業量	編成人員 (橋梁特殊工)	桁下 足場	ポストテン ション桁	両側朝顔	桁高 1.1 ≤ H < 1.5	42 m ² /日	5 人	桁高 1.5 ≤ H	36 m ² /日	5 人	片側朝顔	桁高 1.1 ≤ H < 1.5	67 m ² /日	6 人	桁高 1.5 ≤ H	55 m ² /日	6 人	プレテン ション桁	両側朝顔	-	60 m ² /日	6 人	片側朝顔	-	64 m ² /日	6 人	側部足場（スラブ桁橋）				17 m /日	4 人	橋台・橋脚回り足場ブラケット工				11 m /日	4 人	板張防護工		両側朝顔		120 m ² /日	6 人	片側朝顔		150 m ² /日	6 人	ネット防護工				200 m ² /日	4 人
作 業 名				作業日当り標準作業量	編成人員 (橋梁特殊工)																																																						
桁下 足場	ポストテン ション桁	両側朝顔	桁高 1.1 ≤ H < 1.5	42 m ² /日	5 人																																																						
			桁高 1.5 ≤ H	36 m ² /日	5 人																																																						
		片側朝顔	桁高 1.1 ≤ H < 1.5	67 m ² /日	6 人																																																						
			桁高 1.5 ≤ H	55 m ² /日	6 人																																																						
	プレテン ション桁	両側朝顔	-	60 m ² /日	6 人																																																						
		片側朝顔	-	64 m ² /日	6 人																																																						
側部足場（スラブ桁橋）				17 m /日	4 人																																																						
橋台・橋脚回り足場ブラケット工				11 m /日	4 人																																																						
板張防護工		両側朝顔		120 m ² /日	6 人																																																						
		片側朝顔		150 m ² /日	6 人																																																						
ネット防護工				200 m ² /日	4 人																																																						
⑤ 支承工、落橋防止工 …… 該当工種の基準内に記載。																																																											

工 種 名	設 定 内 容																
P C橋片持架設工	① P C橋片持架設工																
	<table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>柱頭部工</td><td>1 箇所/101 日</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>片持部工</td><td>0.28 m/日</td></tr><tr><td>側径間部</td><td>0.25 m/日</td></tr><tr><td>中央閉塞部工</td><td>1 箇所/37 日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	摘 要	柱頭部工	1 箇所/101 日		片持部工	0.28 m/日	側径間部	0.25 m/日	中央閉塞部工	1 箇所/37 日				
	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	摘 要														
	柱頭部工	1 箇所/101 日															
	片持部工	0.28 m/日															
	側径間部	0.25 m/日															
	中央閉塞部工	1 箇所/37 日															
	(注) 作業日＝供用日数とし、工期算出の際、不稼働係数を掛けない。																
	② 足場及び防護工																
	<table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">柱頭部足場工</td><td>柱頭部桁高 6m 未満</td><td>14 m²/日</td></tr><tr><td>柱頭部桁高 6m 以上</td><td>7.0 m²/日</td></tr><tr><td colspan="2">橋側足場工</td><td>29 m/日</td></tr><tr><td colspan="2">橋面手摺工</td><td>93 m/日</td></tr><tr><td colspan="2">防護工</td><td>294 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	柱頭部足場工	柱頭部桁高 6m 未満	14 m ² /日	柱頭部桁高 6m 以上	7.0 m ² /日	橋側足場工		29 m/日	橋面手摺工		93 m/日	防護工	
作 業 種 別		作業日当り標準作業量															
柱頭部足場工	柱頭部桁高 6m 未満	14 m ² /日															
	柱頭部桁高 6m 以上	7.0 m ² /日															
橋側足場工		29 m/日															
橋面手摺工		93 m/日															
防護工		294 m ² /日															
(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工 5 名の場合。																	
ポストテンション場所 打ホロースラブ橋工	該当工種の基準内に記載。																
ポストテンション場所 打箱桁橋工	該当工種の基準内に記載。																
R C場所打ホロースラ ブ橋工	該当工種の基準内に記載。																
架設支保工	① 架設支保工 設置・撤去																
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>くさび結合支保設置・撤去</td><td>337 空 m³/日</td><td>設置 55%、撤去 45%</td></tr><tr><td>基礎用鋼材設置・撤去</td><td>119 m²/日</td><td>設置 63%、撤去 37%</td></tr><tr><td>支柱支保設置・撤去</td><td>185 空 m³/日</td><td>設置 60%、撤去 40%</td></tr><tr><td>支柱受台設置・撤去</td><td>28 m/日</td><td>設置 63%、撤去 37%</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要	くさび結合支保設置・撤去	337 空 m ³ /日	設置 55%、撤去 45%	基礎用鋼材設置・撤去	119 m ² /日	設置 63%、撤去 37%	支柱支保設置・撤去	185 空 m ³ /日	設置 60%、撤去 40%	支柱受台設置・撤去	28 m/日	設置 63%、撤去 37%	
	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘 要														
	くさび結合支保設置・撤去	337 空 m ³ /日	設置 55%、撤去 45%														
	基礎用鋼材設置・撤去	119 m ² /日	設置 63%、撤去 37%														
	支柱支保設置・撤去	185 空 m ³ /日	設置 60%、撤去 40%														
	支柱受台設置・撤去	28 m/日	設置 63%、撤去 37%														
伸縮装置工（鋼製）	① 伸縮装置工（鋼製）取替工																
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>伸縮装置工（鋼製）取替工 既製品ジョイントの設置</td><td>2.3 m/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘要	伸縮装置工（鋼製）取替工 既製品ジョイントの設置	2.3 m/日											
	作 業 名	作業日当り標準作業量	摘要														
	伸縮装置工（鋼製）取替工 既製品ジョイントの設置	2.3 m/日															
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。																
・鋼フィンガージョイント等から既製品ジョイントの設置																	
舗装面切断、コンクリートのはつり（コンクリート塊の人力集積・積込作業を含む）、旧ジョイント撤去、遊間部養生、新ジョイント据付（遊間部型枠設置を含む）、コンクリート打設																	

工 種 名	設 定 内 容														
橋梁排水管設置工	① 排水管 <table><tr><th rowspan="2">作 業 名</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>足場有り</th><th>足場無し</th></tr><tr><td>コンクリートアンカーボルト設置</td><td>59 本/日</td><td>76 本/日</td><td></td></tr><tr><td>排水管設置</td><td>17 m/日</td><td>22 m/日</td><td></td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量		摘 要	足場有り	足場無し	コンクリートアンカーボルト設置	59 本/日	76 本/日		排水管設置	17 m/日	22 m/日	
作 業 名	作業日当り標準作業量		摘 要												
	足場有り	足場無し													
コンクリートアンカーボルト設置	59 本/日	76 本/日													
排水管設置	17 m/日	22 m/日													
歩道橋（側道橋）架設工	① アンカーフレーム据付工、ベント設備設置・撤去工 架設工（横断歩道橋）、手摺設置工、支承据付工、 架設工（側道橋）支柱据付工、高欄組立工 …………… 該当工種の基準内に記載。 ② 足場工（手摺先行枠組足場） <table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>0.34 箇所/日</td></tr></table> （注）作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工1名の場合。 ③ 足場工（吊足場） …… 現場条件により設定	作業日当り標準作業量	0.34 箇所/日												
作業日当り標準作業量	0.34 箇所/日														
側板工	① 側板工 <table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>側板取付</td><td>18 m²/日</td></tr><tr><td>側板取外し</td><td>60 m²/日</td></tr></table>	作 業 名	作業日当り標準作業量	側板取付	18 m ² /日	側板取外し	60 m ² /日								
作 業 名	作業日当り標準作業量														
側板取付	18 m ² /日														
側板取外し	60 m ² /日														
鋼製橋脚設置工	① アンカーフレーム架設工 …… 該当工種の計算式（所要日数）を参照。 ② 地組工、現場溶接工 …… 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。 ③ 架設工 …… 該当工種の計算式（日当り架設質量）を参照。 ④ 本締め工 …… 該当工種の計算式（日当り作業量）を参照。														

工 種 名	設 定 内 容																																																																						
橋台・橋脚工 (1) (構造物単位)	① 橋台・橋脚工 (1) (構造物単位)																																																																						
	<table><tr><th>構造物種別</th><th>構造物高さ区分</th><th>コンクリート打設量区分 (m^3)</th><th>作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)</th></tr><tr><td rowspan="6">T形橋脚</td><td rowspan="2">$5\text{m} \leq H < 10\text{m}$</td><td>100$\text{m}^3$以上300$\text{m}^3$未満</td><td>6.6 (6.5)</td></tr><tr><td>300m^3以上500m^3未満</td><td>8.9 (8.8)</td></tr><tr><td rowspan="3">$10\text{m} \leq H < 15\text{m}$</td><td>120$\text{m}^3$以上220$\text{m}^3$未満</td><td>5.6 (5.5)</td></tr><tr><td>220m^3以上440m^3未満</td><td>7.8 (7.7)</td></tr><tr><td>440m^3以上650m^3未満</td><td>8.5 (8.4)</td></tr><tr><td rowspan="2">$15\text{m} \leq H < 25\text{m}$</td><td>290$\text{m}^3$以上910$\text{m}^3$未満</td><td>8.6 (8.4)</td></tr><tr><td>910m^3以上980m^3未満</td><td>9.9 (9.7)</td></tr><tr><td rowspan="3">壁式橋脚</td><td rowspan="2">$5\text{m} \leq H < 15\text{m}$</td><td>100$\text{m}^3$以上280$\text{m}^3$未満</td><td>6.5 (6.5)</td></tr><tr><td>280m^3以上700m^3未満</td><td>9.6 (9.5)</td></tr><tr><td rowspan="2">$15\text{m} \leq H < 20\text{m}$</td><td>250$\text{m}^3$以上520$\text{m}^3$未満</td><td>7.4 (7.3)</td></tr><tr><td>520m^3以上700m^3未満</td><td>8.6 (8.5)</td></tr><tr><td rowspan="12">逆T式橋台</td><td rowspan="2">$H < 5\text{m}$</td><td>50m^3以上140m^3未満</td><td>4.3 (4.3)</td></tr><tr><td>140m^3以上260m^3未満</td><td>6.9 (6.9)</td></tr><tr><td rowspan="3">$5\text{m} \leq H < 7\text{m}$</td><td>50$\text{m}^3$以上 90$\text{m}^3$未満</td><td>3.2 (3.2)</td></tr><tr><td>90m^3以上160m^3未満</td><td>4.4 (4.3)</td></tr><tr><td>160m^3以上310m^3未満</td><td>6.1 (6.1)</td></tr><tr><td rowspan="3">$7\text{m} \leq H < 9\text{m}$</td><td>70$\text{m}^3$以上110$\text{m}^3$未満</td><td>3.9 (3.9)</td></tr><tr><td>110m^3以上210m^3未満</td><td>5.7 (5.6)</td></tr><tr><td>210m^3以上310m^3未満</td><td>7.4 (7.3)</td></tr><tr><td rowspan="2">$9\text{m} \leq H < 10\text{m}$</td><td>130$\text{m}^3$以上280$\text{m}^3$未満</td><td>6.3 (6.2)</td></tr><tr><td>280m^3以上310m^3未満</td><td>7.6 (7.5)</td></tr><tr><td rowspan="2">$10\text{m} \leq H < 11\text{m}$</td><td>230$\text{m}^3$以上370$\text{m}^3$未満</td><td>7.5 (7.4)</td></tr><tr><td>370m^3以上650m^3未満</td><td>9.7 (9.6)</td></tr><tr><td rowspan="3">$11\text{m} \leq H < 12\text{m}$</td><td>230$\text{m}^3$以上320$\text{m}^3$未満</td><td>6.8 (6.7)</td></tr><tr><td>320m^3以上560m^3未満</td><td>8.9 (8.8)</td></tr><tr><td>560m^3以上650m^3未満</td><td>10.5 (10.3)</td></tr></table>	構造物種別	構造物高さ区分	コンクリート打設量区分 (m^3)	作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	T形橋脚	$5\text{m} \leq H < 10\text{m}$	100 m^3 以上300 m^3 未満	6.6 (6.5)	300 m^3 以上500 m^3 未満	8.9 (8.8)	$10\text{m} \leq H < 15\text{m}$	120 m^3 以上220 m^3 未満	5.6 (5.5)	220 m^3 以上440 m^3 未満	7.8 (7.7)	440 m^3 以上650 m^3 未満	8.5 (8.4)	$15\text{m} \leq H < 25\text{m}$	290 m^3 以上910 m^3 未満	8.6 (8.4)	910 m^3 以上980 m^3 未満	9.9 (9.7)	壁式橋脚	$5\text{m} \leq H < 15\text{m}$	100 m^3 以上280 m^3 未満	6.5 (6.5)	280 m^3 以上700 m^3 未満	9.6 (9.5)	$15\text{m} \leq H < 20\text{m}$	250 m^3 以上520 m^3 未満	7.4 (7.3)	520 m^3 以上700 m^3 未満	8.6 (8.5)	逆T式橋台	$H < 5\text{m}$	50 m^3 以上140 m^3 未満	4.3 (4.3)	140 m^3 以上260 m^3 未満	6.9 (6.9)	$5\text{m} \leq H < 7\text{m}$	50 m^3 以上 90 m^3 未満	3.2 (3.2)	90 m^3 以上160 m^3 未満	4.4 (4.3)	160 m^3 以上310 m^3 未満	6.1 (6.1)	$7\text{m} \leq H < 9\text{m}$	70 m^3 以上110 m^3 未満	3.9 (3.9)	110 m^3 以上210 m^3 未満	5.7 (5.6)	210 m^3 以上310 m^3 未満	7.4 (7.3)	$9\text{m} \leq H < 10\text{m}$	130 m^3 以上280 m^3 未満	6.3 (6.2)	280 m^3 以上310 m^3 未満	7.6 (7.5)	$10\text{m} \leq H < 11\text{m}$	230 m^3 以上370 m^3 未満	7.5 (7.4)	370 m^3 以上650 m^3 未満	9.7 (9.6)	$11\text{m} \leq H < 12\text{m}$	230 m^3 以上320 m^3 未満	6.8 (6.7)	320 m^3 以上560 m^3 未満	8.9 (8.8)	560 m^3 以上650 m^3 未満	10.5 (10.3)
構造物種別	構造物高さ区分	コンクリート打設量区分 (m^3)	作業日当り 標準作業量 ($\text{m}^3/\text{日}$)																																																																				
T形橋脚	$5\text{m} \leq H < 10\text{m}$	100 m^3 以上300 m^3 未満	6.6 (6.5)																																																																				
		300 m^3 以上500 m^3 未満	8.9 (8.8)																																																																				
	$10\text{m} \leq H < 15\text{m}$	120 m^3 以上220 m^3 未満	5.6 (5.5)																																																																				
		220 m^3 以上440 m^3 未満	7.8 (7.7)																																																																				
		440 m^3 以上650 m^3 未満	8.5 (8.4)																																																																				
	$15\text{m} \leq H < 25\text{m}$	290 m^3 以上910 m^3 未満	8.6 (8.4)																																																																				
910 m^3 以上980 m^3 未満		9.9 (9.7)																																																																					
壁式橋脚	$5\text{m} \leq H < 15\text{m}$	100 m^3 以上280 m^3 未満	6.5 (6.5)																																																																				
		280 m^3 以上700 m^3 未満	9.6 (9.5)																																																																				
	$15\text{m} \leq H < 20\text{m}$	250 m^3 以上520 m^3 未満	7.4 (7.3)																																																																				
520 m^3 以上700 m^3 未満		8.6 (8.5)																																																																					
逆T式橋台	$H < 5\text{m}$	50 m^3 以上140 m^3 未満	4.3 (4.3)																																																																				
		140 m^3 以上260 m^3 未満	6.9 (6.9)																																																																				
	$5\text{m} \leq H < 7\text{m}$	50 m^3 以上 90 m^3 未満	3.2 (3.2)																																																																				
		90 m^3 以上160 m^3 未満	4.4 (4.3)																																																																				
		160 m^3 以上310 m^3 未満	6.1 (6.1)																																																																				
	$7\text{m} \leq H < 9\text{m}$	70 m^3 以上110 m^3 未満	3.9 (3.9)																																																																				
		110 m^3 以上210 m^3 未満	5.7 (5.6)																																																																				
		210 m^3 以上310 m^3 未満	7.4 (7.3)																																																																				
	$9\text{m} \leq H < 10\text{m}$	130 m^3 以上280 m^3 未満	6.3 (6.2)																																																																				
		280 m^3 以上310 m^3 未満	7.6 (7.5)																																																																				
	$10\text{m} \leq H < 11\text{m}$	230 m^3 以上370 m^3 未満	7.5 (7.4)																																																																				
		370 m^3 以上650 m^3 未満	9.7 (9.6)																																																																				
$11\text{m} \leq H < 12\text{m}$	230 m^3 以上320 m^3 未満	6.8 (6.7)																																																																					
	320 m^3 以上560 m^3 未満	8.9 (8.8)																																																																					
	560 m^3 以上650 m^3 未満	10.5 (10.3)																																																																					
橋台・橋脚工 (2)	① 橋台・橋脚工 (2)																																																																						
	<table><tr><th>打設方法</th><th>構造物区分</th><th>設計日打設量区分</th><th>作業日当り 標準作業量</th></tr><tr><td>コンクリート ポンプ車打設</td><td>橋台・橋脚工</td><td>50m^3 以上</td><td>110 $\text{m}^3/\text{日}$</td></tr></table>	打設方法	構造物区分	設計日打設量区分	作業日当り 標準作業量	コンクリート ポンプ車打設	橋台・橋脚工	50 m^3 以上	110 $\text{m}^3/\text{日}$																																																														
打設方法	構造物区分	設計日打設量区分	作業日当り 標準作業量																																																																				
コンクリート ポンプ車打設	橋台・橋脚工	50 m^3 以上	110 $\text{m}^3/\text{日}$																																																																				
	(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。																																																																						
橋梁検査路架設工	該当工種の基準内に記載。																																																																						

工 種 名	設 定 内 容																																		
公園植栽工	① 公園植栽工（高木植栽）																																		
	<table><tr><th colspan="2">作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="5">植 栽 （高 木）</td><td>（幹周） 15cm 未満</td><td>31 本/日</td></tr><tr><td>15cm 以上 25cm 未満</td><td>19 本/日</td></tr><tr><td>25cm 以上 40cm 未満</td><td>20 本/日</td></tr><tr><td>40cm 以上 60cm 未満</td><td>10 本/日</td></tr><tr><td>60cm 以上 90cm 未満</td><td>6 本/日</td></tr></table>	作 業 種 別		作業日当り標準作業量	植 栽 （高 木）	（幹周） 15cm 未満	31 本/日	15cm 以上 25cm 未満	19 本/日	25cm 以上 40cm 未満	20 本/日	40cm 以上 60cm 未満	10 本/日	60cm 以上 90cm 未満	6 本/日																				
	作 業 種 別		作業日当り標準作業量																																
	植 栽 （高 木）	（幹周） 15cm 未満	31 本/日																																
		15cm 以上 25cm 未満	19 本/日																																
		25cm 以上 40cm 未満	20 本/日																																
		40cm 以上 60cm 未満	10 本/日																																
		60cm 以上 90cm 未満	6 本/日																																
	② 公園植栽工（支柱設置）																																		
	<table><tr><th>支柱区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>二脚鳥居支柱（添木付）</td><td>56 本/日</td></tr><tr><td>二脚鳥居支柱（添木なし）</td><td>77 本/日</td></tr><tr><td>三脚鳥居支柱</td><td>56 本/日</td></tr><tr><td>十字鳥居支柱</td><td>37 本/日</td></tr><tr><td>二脚鳥居組合せ</td><td>28 本/日</td></tr><tr><td>八ッ掛（三脚）（竹）</td><td>77 本/日</td></tr><tr><td>八ッ掛（丸太）L=4m</td><td>50 本/日</td></tr><tr><td>八ッ掛（丸太）L=6～7m</td><td>32 本/日</td></tr></table>	支柱区分	作業日当り標準作業量	二脚鳥居支柱（添木付）	56 本/日	二脚鳥居支柱（添木なし）	77 本/日	三脚鳥居支柱	56 本/日	十字鳥居支柱	37 本/日	二脚鳥居組合せ	28 本/日	八ッ掛（三脚）（竹）	77 本/日	八ッ掛（丸太）L=4m	50 本/日	八ッ掛（丸太）L=6～7m	32 本/日																
支柱区分	作業日当り標準作業量																																		
二脚鳥居支柱（添木付）	56 本/日																																		
二脚鳥居支柱（添木なし）	77 本/日																																		
三脚鳥居支柱	56 本/日																																		
十字鳥居支柱	37 本/日																																		
二脚鳥居組合せ	28 本/日																																		
八ッ掛（三脚）（竹）	77 本/日																																		
八ッ掛（丸太）L=4m	50 本/日																																		
八ッ掛（丸太）L=6～7m	32 本/日																																		
③ 公園植栽掘取（移植）工																																			
<table><tr><th rowspan="2">樹木区分</th><th rowspan="2">寸法</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>根巻き有り</th><th>根巻き無し</th></tr><tr><td rowspan="4">中低木</td><td>樹高 50cm 未満</td><td>333 本/日</td><td>500 本/日</td></tr><tr><td>樹高 50cm 以上 100cm 未満</td><td>250 本/日</td><td>333 本/日</td></tr><tr><td>樹高 100cm 以上 200cm 未満</td><td>143 本/日</td><td>167 本/日</td></tr><tr><td>樹高 200cm 以上 300cm 未満</td><td>59 本/日</td><td>71 本/日</td></tr><tr><td rowspan="5">高木</td><td>幹周 15cm 未満</td><td>50 本/日</td><td>59 本/日</td></tr><tr><td>幹周 15cm 以上 25cm 未満</td><td>23 本/日</td><td>28 本/日</td></tr><tr><td>幹周 25cm 以上 40cm 未満</td><td>14 本/日</td><td>17 本/日</td></tr><tr><td>幹周 40cm 以上 60cm 未満</td><td>10 本/日</td><td>11 本/日</td></tr><tr><td>幹周 60cm 以上 90cm 未満</td><td>5.9 本/日</td><td>7.1 本/日</td></tr></table>	樹木区分	寸法	作業日当り標準作業量		根巻き有り	根巻き無し	中低木	樹高 50cm 未満	333 本/日	500 本/日	樹高 50cm 以上 100cm 未満	250 本/日	333 本/日	樹高 100cm 以上 200cm 未満	143 本/日	167 本/日	樹高 200cm 以上 300cm 未満	59 本/日	71 本/日	高木	幹周 15cm 未満	50 本/日	59 本/日	幹周 15cm 以上 25cm 未満	23 本/日	28 本/日	幹周 25cm 以上 40cm 未満	14 本/日	17 本/日	幹周 40cm 以上 60cm 未満	10 本/日	11 本/日	幹周 60cm 以上 90cm 未満	5.9 本/日	7.1 本/日
樹木区分			寸法	作業日当り標準作業量																															
	根巻き有り	根巻き無し																																	
中低木	樹高 50cm 未満	333 本/日	500 本/日																																
	樹高 50cm 以上 100cm 未満	250 本/日	333 本/日																																
	樹高 100cm 以上 200cm 未満	143 本/日	167 本/日																																
	樹高 200cm 以上 300cm 未満	59 本/日	71 本/日																																
高木	幹周 15cm 未満	50 本/日	59 本/日																																
	幹周 15cm 以上 25cm 未満	23 本/日	28 本/日																																
	幹周 25cm 以上 40cm 未満	14 本/日	17 本/日																																
	幹周 40cm 以上 60cm 未満	10 本/日	11 本/日																																
	幹周 60cm 以上 90cm 未満	5.9 本/日	7.1 本/日																																
④ 幹巻き																																			
<table><tr><th>幹周</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>25cm 以上 40cm 未満</td><td>91 本/日</td></tr><tr><td>40cm 以上 60cm 未満</td><td>50 本/日</td></tr><tr><td>60cm 以上 90cm 未満</td><td>31 本/日</td></tr></table>	幹周	作業日当り標準作業量	25cm 以上 40cm 未満	91 本/日	40cm 以上 60cm 未満	50 本/日	60cm 以上 90cm 未満	31 本/日																											
幹周	作業日当り標準作業量																																		
25cm 以上 40cm 未満	91 本/日																																		
40cm 以上 60cm 未満	50 本/日																																		
60cm 以上 90cm 未満	31 本/日																																		

工 種 名	設 定 内 容																							
公園植栽工	⑤ 公園植栽運搬（移植）工（5km 以内） <table><tr><th>樹木区分</th><th>寸法</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="4">中低木</td><td>樹高 50cm 未満</td><td>88 本/日</td></tr><tr><td>樹高 50cm 以上 100cm 未満</td><td>62 本/日</td></tr><tr><td>樹高 100cm 以上 200cm 未満</td><td>50 本/日</td></tr><tr><td>樹高 200cm 以上 300cm 未満</td><td>39 本/日</td></tr><tr><td rowspan="5">高木</td><td>幹周 15cm 未満</td><td>27 本/日</td></tr><tr><td>幹周 15cm 以上 25cm 未満</td><td>20 本/日</td></tr><tr><td>幹周 25cm 以上 40cm 未満</td><td>67 本/日</td></tr><tr><td>幹周 40cm 以上 60cm 未満</td><td>28 本/日</td></tr><tr><td>幹周 60cm 以上 90cm 未満</td><td>12 本/日</td></tr></table> （注） 1. 高木の幹周 25cm 未満と中低木については、積込み・取卸しを含み、高木の幹周 25cm 以上は積込み・取卸しを含まない。 2. 5km を超える場合は、該当工種の計算式（5km を超え 5km 増す毎に加算する運転時間）を参照。	樹木区分	寸法	作業日当り標準作業量	中低木	樹高 50cm 未満	88 本/日	樹高 50cm 以上 100cm 未満	62 本/日	樹高 100cm 以上 200cm 未満	50 本/日	樹高 200cm 以上 300cm 未満	39 本/日	高木	幹周 15cm 未満	27 本/日	幹周 15cm 以上 25cm 未満	20 本/日	幹周 25cm 以上 40cm 未満	67 本/日	幹周 40cm 以上 60cm 未満	28 本/日	幹周 60cm 以上 90cm 未満	12 本/日
	樹木区分	寸法	作業日当り標準作業量																					
	中低木	樹高 50cm 未満	88 本/日																					
		樹高 50cm 以上 100cm 未満	62 本/日																					
		樹高 100cm 以上 200cm 未満	50 本/日																					
		樹高 200cm 以上 300cm 未満	39 本/日																					
	高木	幹周 15cm 未満	27 本/日																					
		幹周 15cm 以上 25cm 未満	20 本/日																					
		幹周 25cm 以上 40cm 未満	67 本/日																					
		幹周 40cm 以上 60cm 未満	28 本/日																					
幹周 60cm 以上 90cm 未満		12 本/日																						
⑥ 公園植栽張芝工																								
<table><tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>500 m²/日</td></tr></table>	作業日当り標準作業量	500 m ² /日																						
作業日当り標準作業量	500 m ² /日																							
公園除草工	① 公園除草工 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>人力除草</td><td>129 m²/日</td></tr><tr><td>人力抜根</td><td>68 m²/日</td></tr><tr><td>機械除草Ⅰ</td><td>788 m²/日</td></tr><tr><td>機械除草Ⅱ</td><td>1,859 m²/日</td></tr><tr><td>集 草</td><td>1,238 m²/日</td></tr><tr><td>積込・運搬</td><td>2,304 m²/日</td></tr></table>	作 業 種 別	作業日当り標準作業量	人力除草	129 m ² /日	人力抜根	68 m ² /日	機械除草Ⅰ	788 m ² /日	機械除草Ⅱ	1,859 m ² /日	集 草	1,238 m ² /日	積込・運搬	2,304 m ² /日									
作 業 種 別	作業日当り標準作業量																							
人力除草	129 m ² /日																							
人力抜根	68 m ² /日																							
機械除草Ⅰ	788 m ² /日																							
機械除草Ⅱ	1,859 m ² /日																							
集 草	1,238 m ² /日																							
積込・運搬	2,304 m ² /日																							

工 種 名	設 定 内 容																																																																																
公園除草工	② トラック 2t 積による公園外への運搬 <table><tr><th>DID 区間の 有無</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (台/日)</th><th>DID 区間の 有無</th><th>運搬距離 (km)</th><th>作業日当り 標準作業量 (台/日)</th></tr><tr><td rowspan="18">無し</td><td>1.8 以下</td><td>47</td><td rowspan="18">有り</td><td>1.7 以下</td><td>47</td></tr><tr><td>3.2 以下</td><td>24</td><td>3.0 以下</td><td>24</td></tr><tr><td>4.6 以下</td><td>16</td><td>4.3 以下</td><td>16</td></tr><tr><td>6.0 以下</td><td>12</td><td>5.6 以下</td><td>12</td></tr><tr><td>7.5 以下</td><td>9.4</td><td>7.0 以下</td><td>9.4</td></tr><tr><td>9.1 以下</td><td>7.8</td><td>8.4 以下</td><td>7.8</td></tr><tr><td>10.7 以下</td><td>6.7</td><td>9.8 以下</td><td>6.7</td></tr><tr><td>12.4 以下</td><td>5.9</td><td>11.2 以下</td><td>5.9</td></tr><tr><td>14.2 以下</td><td>5.2</td><td>12.8 以下</td><td>5.2</td></tr><tr><td>16.1 以下</td><td>4.7</td><td>14.4 以下</td><td>4.7</td></tr><tr><td>18.1 以下</td><td>4.3</td><td>16.0 以下</td><td>4.3</td></tr><tr><td>20.3 以下</td><td>3.9</td><td>17.7 以下</td><td>3.9</td></tr><tr><td>22.7 以下</td><td>3.6</td><td>19.4 以下</td><td>3.6</td></tr><tr><td>25.2 以下</td><td>3.4</td><td>21.4 以下</td><td>3.4</td></tr><tr><td>28.4 以下</td><td>3.1</td><td>23.3 以下</td><td>3.1</td></tr><tr><td>30.0 以下</td><td>2.9</td><td>25.3 以下</td><td>2.9</td></tr><tr><td></td><td></td><td>27.6 以下</td><td>2.8</td></tr><tr><td></td><td></td><td>30.0 以下</td><td>2.6</td></tr></table>	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)	無し	1.8 以下	47	有り	1.7 以下	47	3.2 以下	24	3.0 以下	24	4.6 以下	16	4.3 以下	16	6.0 以下	12	5.6 以下	12	7.5 以下	9.4	7.0 以下	9.4	9.1 以下	7.8	8.4 以下	7.8	10.7 以下	6.7	9.8 以下	6.7	12.4 以下	5.9	11.2 以下	5.9	14.2 以下	5.2	12.8 以下	5.2	16.1 以下	4.7	14.4 以下	4.7	18.1 以下	4.3	16.0 以下	4.3	20.3 以下	3.9	17.7 以下	3.9	22.7 以下	3.6	19.4 以下	3.6	25.2 以下	3.4	21.4 以下	3.4	28.4 以下	3.1	23.3 以下	3.1	30.0 以下	2.9	25.3 以下	2.9			27.6 以下	2.8			30.0 以下	2.6
DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)																																																																												
無し	1.8 以下	47	有り	1.7 以下	47																																																																												
	3.2 以下	24		3.0 以下	24																																																																												
	4.6 以下	16		4.3 以下	16																																																																												
	6.0 以下	12		5.6 以下	12																																																																												
	7.5 以下	9.4		7.0 以下	9.4																																																																												
	9.1 以下	7.8		8.4 以下	7.8																																																																												
	10.7 以下	6.7		9.8 以下	6.7																																																																												
	12.4 以下	5.9		11.2 以下	5.9																																																																												
	14.2 以下	5.2		12.8 以下	5.2																																																																												
	16.1 以下	4.7		14.4 以下	4.7																																																																												
	18.1 以下	4.3		16.0 以下	4.3																																																																												
	20.3 以下	3.9		17.7 以下	3.9																																																																												
	22.7 以下	3.6		19.4 以下	3.6																																																																												
	25.2 以下	3.4		21.4 以下	3.4																																																																												
	28.4 以下	3.1		23.3 以下	3.1																																																																												
	30.0 以下	2.9		25.3 以下	2.9																																																																												
				27.6 以下	2.8																																																																												
				30.0 以下	2.6																																																																												
公園工	① 機械土工（トラクター運転費） <table><tr><th>作業区分</th><th>土質</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">耕 起</td><td>砂・砂質土</td><td>4,393 m²/日</td></tr><tr><td>レキ質土・粘性土</td><td>3,852 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">砕土・整地</td><td>砂・砂質土</td><td>6,184 m²/日</td></tr><tr><td>レキ質土・粘性土</td><td>5,402 m²/日</td></tr><tr><td>肥料散布</td><td>-</td><td>20,435 m²/日</td></tr><tr><td>播 種</td><td>-</td><td>12,368 m²/日</td></tr></table> (注) トラクターの運転日当り運転時間は、4.7h とする。 ② コンクリートはつり、つつき仕上げ <table><tr><th>仕上げ区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>コンクリートはつり仕上げ</td><td>2.6 m²/日</td></tr><tr><td>コンクリートつつき仕上げ</td><td>4.0 m²/日</td></tr></table> (注) 作業日当り標準作業量は、石工 1 名の場合。 ③ レンガ舗装工 <table><tr><th>舗装区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>A（平敷き）</td><td>24 m²/日</td></tr><tr><td>B（小端立て敷き）</td><td>14 m²/日</td></tr></table>	作業区分	土質	作業日当り標準作業量	耕 起	砂・砂質土	4,393 m ² /日	レキ質土・粘性土	3,852 m ² /日	砕土・整地	砂・砂質土	6,184 m ² /日	レキ質土・粘性土	5,402 m ² /日	肥料散布	-	20,435 m ² /日	播 種	-	12,368 m ² /日	仕上げ区分	作業日当り標準作業量	コンクリートはつり仕上げ	2.6 m ² /日	コンクリートつつき仕上げ	4.0 m ² /日	舗装区分	作業日当り標準作業量	A（平敷き）	24 m ² /日	B（小端立て敷き）	14 m ² /日																																																	
作業区分	土質	作業日当り標準作業量																																																																															
耕 起	砂・砂質土	4,393 m ² /日																																																																															
	レキ質土・粘性土	3,852 m ² /日																																																																															
砕土・整地	砂・砂質土	6,184 m ² /日																																																																															
	レキ質土・粘性土	5,402 m ² /日																																																																															
肥料散布	-	20,435 m ² /日																																																																															
播 種	-	12,368 m ² /日																																																																															
仕上げ区分	作業日当り標準作業量																																																																																
コンクリートはつり仕上げ	2.6 m ² /日																																																																																
コンクリートつつき仕上げ	4.0 m ² /日																																																																																
舗装区分	作業日当り標準作業量																																																																																
A（平敷き）	24 m ² /日																																																																																
B（小端立て敷き）	14 m ² /日																																																																																

工 種 名	設 定 内 容																																					
公園工	④ レンガ縁石工																																					
	<table><tr><th>施工区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>A</td><td>190 m/日</td></tr><tr><td>B・C</td><td>56 m/日</td></tr><tr><td>D・E</td><td>89 m/日</td></tr></table>	施工区分	作業日当り標準作業量	A	190 m/日	B・C	56 m/日	D・E	89 m/日																													
	施工区分	作業日当り標準作業量																																				
	A	190 m/日																																				
	B・C	56 m/日																																				
	D・E	89 m/日																																				
	⑤ 硬質塩化ビニール管工（排水工）																																					
	<table><tr><th>管径（呼び径）</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>100mm</td><td>43 m/日</td></tr><tr><td>125mm</td><td>38 m/日</td></tr><tr><td>150mm</td><td>36 m/日</td></tr><tr><td>200mm</td><td>32 m/日</td></tr><tr><td>250mm</td><td>30 m/日</td></tr></table>	管径（呼び径）	作業日当り標準作業量	100mm	43 m/日	125mm	38 m/日	150mm	36 m/日	200mm	32 m/日	250mm	30 m/日																									
	管径（呼び径）	作業日当り標準作業量																																				
	100mm	43 m/日																																				
125mm	38 m/日																																					
150mm	36 m/日																																					
200mm	32 m/日																																					
250mm	30 m/日																																					
⑥ 水道用鋼管敷設（給水工）																																						
<table><tr><th rowspan="2">内径</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>屋外配管</th><th>屋内配管</th></tr><tr><td>1/2 インチ（ 15mm）</td><td>60 m/日</td><td>37 m/日</td></tr><tr><td>3/4（ 20mm）</td><td>53 m/日</td><td>33 m/日</td></tr><tr><td>1（ 25mm）</td><td>43 m/日</td><td>27 m/日</td></tr><tr><td>1・1/4（ 32mm）</td><td>35 m/日</td><td>22 m/日</td></tr><tr><td>1・1/2（ 40mm）</td><td>32 m/日</td><td>20 m/日</td></tr><tr><td>2（ 50mm）</td><td>25 m/日</td><td>16 m/日</td></tr><tr><td>2・1/2（ 65mm）</td><td>20 m/日</td><td>12 m/日</td></tr><tr><td>3（ 80mm）</td><td>17 m/日</td><td>11 m/日</td></tr><tr><td>4（100mm）</td><td>13 m/日</td><td>8.3 m/日</td></tr><tr><td>5（125mm）</td><td>11 m/日</td><td>7.0 m/日</td></tr><tr><td>6（150mm）</td><td>9.2 m/日</td><td>5.8 m/日</td></tr></table>	内径	作業日当り標準作業量		屋外配管	屋内配管	1/2 インチ（ 15mm）	60 m/日	37 m/日	3/4（ 20mm）	53 m/日	33 m/日	1（ 25mm）	43 m/日	27 m/日	1・1/4（ 32mm）	35 m/日	22 m/日	1・1/2（ 40mm）	32 m/日	20 m/日	2（ 50mm）	25 m/日	16 m/日	2・1/2（ 65mm）	20 m/日	12 m/日	3（ 80mm）	17 m/日	11 m/日	4（100mm）	13 m/日	8.3 m/日	5（125mm）	11 m/日	7.0 m/日	6（150mm）	9.2 m/日	5.8 m/日
内径		作業日当り標準作業量																																				
	屋外配管	屋内配管																																				
1/2 インチ（ 15mm）	60 m/日	37 m/日																																				
3/4（ 20mm）	53 m/日	33 m/日																																				
1（ 25mm）	43 m/日	27 m/日																																				
1・1/4（ 32mm）	35 m/日	22 m/日																																				
1・1/2（ 40mm）	32 m/日	20 m/日																																				
2（ 50mm）	25 m/日	16 m/日																																				
2・1/2（ 65mm）	20 m/日	12 m/日																																				
3（ 80mm）	17 m/日	11 m/日																																				
4（100mm）	13 m/日	8.3 m/日																																				
5（125mm）	11 m/日	7.0 m/日																																				
6（150mm）	9.2 m/日	5.8 m/日																																				
	（注）作業日当り標準作業量は、配管工4名の場合。																																					

工 種 名	設 定 内 容																										
公園工	⑦ 硬質塩化ビニール管工（給水工） <table><tr><th>管径（呼び径）</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>15mm</td><td>125 m/日</td></tr><tr><td>20mm</td><td>93 m/日</td></tr><tr><td>25mm</td><td>77 m/日</td></tr><tr><td>30mm</td><td>73 m/日</td></tr><tr><td>40mm</td><td>56 m/日</td></tr><tr><td>50mm</td><td>44 m/日</td></tr><tr><td>65mm</td><td>35 m/日</td></tr><tr><td>75mm</td><td>30 m/日</td></tr></table> （注）作業日当り標準作業量は、配管工4名の場合。	管径（呼び径）	作業日当り標準作業量	15mm	125 m/日	20mm	93 m/日	25mm	77 m/日	30mm	73 m/日	40mm	56 m/日	50mm	44 m/日	65mm	35 m/日	75mm	30 m/日								
	管径（呼び径）	作業日当り標準作業量																									
	15mm	125 m/日																									
	20mm	93 m/日																									
	25mm	77 m/日																									
	30mm	73 m/日																									
	40mm	56 m/日																									
	50mm	44 m/日																									
	65mm	35 m/日																									
	75mm	30 m/日																									
⑧ 水栓類取付工 <table><tr><th>口 径</th><th>散水栓（箱共）取付</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">15mm</td><td>有り</td><td>9.5 個/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>57 個/日</td></tr><tr><td rowspan="2">20mm</td><td>有り</td><td>9.3 個/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>50 個/日</td></tr><tr><td>25mm</td><td>－</td><td>44 個/日</td></tr></table> （注）作業日当り標準作業量は、配管工4名の場合。	口 径	散水栓（箱共）取付	作業日当り標準作業量	15mm	有り	9.5 個/日	無し	57 個/日	20mm	有り	9.3 個/日	無し	50 個/日	25mm	－	44 個/日											
口 径	散水栓（箱共）取付	作業日当り標準作業量																									
15mm	有り	9.5 個/日																									
	無し	57 個/日																									
20mm	有り	9.3 個/日																									
	無し	50 個/日																									
25mm	－	44 個/日																									
⑨ ベンチ据付 <table><tr><th rowspan="2">質 量</th><th colspan="3">作業日当り標準作業量(基/日)</th></tr><tr><th>スツール</th><th>背なしベンチ</th><th>背付きベンチ</th></tr><tr><td>20kg 未満</td><td>100</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>20kg 以上 30kg 未満</td><td>67</td><td>42</td><td>36</td></tr><tr><td>30kg 以上 40kg 未満</td><td>－</td><td>36</td><td>29</td></tr><tr><td>40kg 以上 50kg 未満</td><td>－</td><td>31</td><td>25</td></tr><tr><td>50kg 以上</td><td>－</td><td>－</td><td>22</td></tr></table>	質 量	作業日当り標準作業量(基/日)			スツール	背なしベンチ	背付きベンチ	20kg 未満	100	－	－	20kg 以上 30kg 未満	67	42	36	30kg 以上 40kg 未満	－	36	29	40kg 以上 50kg 未満	－	31	25	50kg 以上	－	－	22
質 量		作業日当り標準作業量(基/日)																									
	スツール	背なしベンチ	背付きベンチ																								
20kg 未満	100	－	－																								
20kg 以上 30kg 未満	67	42	36																								
30kg 以上 40kg 未満	－	36	29																								
40kg 以上 50kg 未満	－	31	25																								
50kg 以上	－	－	22																								

② 市場単価の１日当り標準施工量（建地－Ⅰ）

本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。

1. インターロッキングブロック工

表 1.1

規 格 ・ 仕 様			単位	施工数量
設 置	直線配置	ブロック厚6cm	m ²	100
		ブロック厚8cm	m ²	
	曲線配置	ブロック厚6cm	m ²	80
		ブロック厚8cm	m ²	
	直線配置 3 色 以上による色 合わせ	ブロック厚6cm	m ²	
		ブロック厚8cm	m ²	
		ブロック厚6cm	m ²	
		ブロック厚8cm	m ²	
撤 去	再使用目的の 撤去	ブロック厚6cm、8cm	m ²	200
	とりこわし	ブロック厚6cm、8cm	m ²	300

2. ガードレール設置工

表 2.1 設 置

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込	塗装品 ・ メッキ品	Gr-A-4E	m	130
		Gr-B-4E	m	
		Gr-C-4E	m	
		Gr-Am-4E	m	60
		Gr-Bm-4E	m	
コンクリート 建 込		Gr-A-2B	m	40
		Gr-B-2B	m	
		Gr-C-2B	m	
		Gr-Am-2B	m	40
		Gr-Bm-2B	m	

表 2.2 設 置 （耐雪型）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込	塗装品 ・ メッキ品	Gr-A2-4E	m	130
		Gr-A3-3E	m	120
		Gr-A4-2E	m	100
		Gr-A5-2E	m	
		Gr-B2-4E	m	130
		Gr-B3-3E	m	120
		Gr-B4-2E	m	100
		Gr-C2-3E	m	120
		Gr-C3-2E	m	100
コンクリート 建 込		Gr-A2-2B	m	40
		Gr-A3-2B	m	
		Gr-A4-2B	m	
		Gr-A5-2B	m	
		Gr-B2-2B	m	
		Gr-B3-2B	m	
		Gr-B4-2B	m	
		Gr-C2-2B	m	
		Gr-C3-2B	m	

表 2.3 撤 去

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込用 撤 去	塗装品 ・ メッキ品	(旧Gr-S-2E)	m	120
		Gr-A-4E	m	250
		Gr-B-4E		
		Gr-C-4E		
		Gr-Am-4E	m	120
		Gr-Bm-4E		
		(旧Gr-Ap-2E)	m	200
		(旧Gr-Bp-2E)		
		(旧Gr-Cp-2E)		
コンクリート 建込用撤去	(旧Gr-S-1B)	m	160	
	Gr-A-2B	m	200	
	Gr-B-2B			
	Gr-C-2B			
	Gr-Am-2B	m	120	
	Gr-Bm-2B			
	(旧Gr-Ap-2B)	m	200	
	(旧Gr-Bp-2B)			
	(旧Gr-Cp-2B)			

(注) 中央分離帯用は（狭）タイプを含む。

表 2.4 撤 去 （耐雪型）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込用 撤 去	塗装品 ・ メッキ品	(旧Gr-S2-2E)	m	60
		(旧Gr-S3-2E)		
		(旧Gr-S4-2E)		
		(旧Gr-S5-2E)		
		Gr-A4-2E	m	100
		Gr-A5-2E		
		Gr-B4-2E		
		Gr-C3-2E		
		Gr-A3-3E	m	120
		Gr-B3-3E		
		Gr-C2-3E		
		Gr-A2-4E	m	130
		Gr-B2-4E		
コンクリート 建込用撤去	(旧Gr-S2-1B)	m	80	
	(旧Gr-S3-1B)			
	(旧Gr-S4-1B)			
	(旧Gr-S5-1B)			
	Gr-A2-2B	m	100	
	Gr-A3-2B			
	Gr-A4-2B			
	Gr-A5-2B			
	Gr-B2-2B			
	Gr-B3-2B			
	Gr-B4-2B			
Gr-C2-2B				
Gr-C3-2B				

表 2.5 部材設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
レール設置 事故復旧を除く	路側用 A・B・C種 支柱間隔 4m	m	130
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 2m	m	100
	分離帯用 Am・Bm種 支柱間隔 4m	m	60
	分離帯用 Am・Bm種 支柱間隔 2m	m	60

表 2.6 部材撤去

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
レール撤去 事故復旧を除く	(旧路側用 S種 支柱間隔 1m)	m	170
	(旧路側用 S種 支柱間隔 2m)	m	100
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 4m	m	250
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 2m	m	200
	分離帯用 Am・Bm種 支柱間隔 4m	m	130
	分離帯用 Am・Bm種 支柱間隔 2m	m	110
	歩道用 (旧Ap・Bp・Cp種) 支柱間隔 2m	m	200

表 2.7 部材設置（耐雪型）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
レール設置 事故復旧を除く	路側用 A・B種 支柱間隔 4m	m	130
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 3m	m	120
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 2m	m	100

表 2.8 部材撤去（耐雪型）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
レール撤去 事故復旧を除く	(旧路側用 S種 支柱間隔 2m)	m	120
	(旧路側用 S種 支柱間隔 1m)	m	160
	路側用 A・B種 支柱間隔 4m	m	250
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 3m	m	200
	路側用 A・B・C種 支柱間隔 2m	m	200

3. ガードパイプ設置工

表 3.1 設 置

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込	塗装品 ・ メッキ品	Gp-Ap-2E	m	70
		Gp-Bp-2E	m	
		Gp-Cp-2E	m	
コンクリート建込		Gp-Ap-2B	m	40
		Gp-Bp-2B	m	
		Gp-Cp-2B	m	

表 3.2 撤 去

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込用 撤 去	塗装品 ・ メッキ品	Gp-Ap-2E	m	135
		Gp-Bp-2E	m	
		Gp-Cp-2E	m	
コンクリート建込用 撤 去		Gp-Ap-2B	m	80
		Gp-Bp-2B	m	
		Gp-Cp-2B	m	

表 3.3 部材設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
パイプ設置	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp種 支柱間隔 2m	m	80

表 3.4 部材撤去

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
パイプ撤去	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp種 支柱間隔 2m	m	150

4. 横断・転落防止柵設置工

表 4.1

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
土中建込	ビーム式	支柱間隔 1m	55
		支柱間隔 1.5m	75
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	100
		支柱間隔 3m	140

表 4.2

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
プレキャスト コンクリート ブロック建込	ビーム式	支柱間隔 1m	25
		支柱間隔 1.5m	40
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	55
		支柱間隔 3m	75
	門 型	支柱間隔 3m	95

表 4.3

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
コンクリート建込	ビーム式	支柱間隔 1m	m	55
		支柱間隔 1.5m	m	70
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	m	100
		支柱間隔 3m	m	140
	門 型	支柱間隔 3m	m	175

表 4.4

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
アンカーボルト 固定	ビーム式	支柱間隔 1m	m	30
		支柱間隔 1.5m	m	45
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	m	60
		支柱間隔 3m	m	80

表 4.5

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
部材設置	ビーム設置	支柱間隔 1m	m	50
		支柱間隔 1.5m	m	65
	ビームまた はパネルの 設置	支柱間隔 2m	m	95
		支柱間隔 3m	m	130

表 4.6

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
根巻き コンクリート設置			箇所	60

表 4.7

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
土中建込撤去	ビーム式	支柱間隔 1m	m	105
		支柱間隔 1.5m	m	145
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	m	195
		支柱間隔 3m	m	275

表 4.8

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
プレキャスト コンクリート ブロック 建込撤去	ビーム式	支柱間隔 1m	m	45
		支柱間隔 1.5m	m	70
	ビーム式 ・ パネル式	支柱間隔 2m	m	100
		支柱間隔 3m	m	145
	門 型	支柱間隔 3m	m	180

表 4.9

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	施 工 数 量
コンクリート 建込撤去	ビーム式	支柱間隔 1m	m	100
		支柱間隔 1.5m	m	135
	ビーム式 パネル式	支柱間隔 2m	m	190
		支柱間隔 3m	m	270
	門 型	支柱間隔 3m	m	340

表 4.10

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	施 工 数 量
アンカーボルト 固定撤去	ビーム式	支柱間隔 1m	m	55
		支柱間隔 1.5m	m	80
	ビーム式 パネル式	支柱間隔 2m	m	110
		支柱間隔 3m	m	160

表 4.11

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	施 工 数 量
部材撤去	ビーム撤去	支柱間隔 1m	m	95
		支柱間隔 1.5m	m	125
	ビームまたは パネルの撤去	支柱間隔 2m	m	185
		支柱間隔 3m	m	250

5. 防護柵設置工（落石防護柵）

表 5.1 落石防護柵（ロープ・金網設置工 間隔保持材付き）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位	施 工 数 量	
			設 置	撤 去
柵高 1.50m	ロープ本数 5本	m	20	40
柵高 2.00m	ロープ本数 7本	m	15	30
柵高 2.50m	ロープ本数 8本	m	10	20
柵高 3.00m	ロープ本数10本	m	9	18
柵高 3.50m	ロープ本数12本	m	8	16
柵高 4.00m	ロープ本数13本	m	6	12

表 5.2 耐雪型落石防護柵（ロープ・金網設置工 上弦材付き）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位	施 工 数 量	
			設 置	撤 去
柵高 1.50m	ロープ本数 5本	m	15	30
柵高 2.00m	ロープ本数 7本	m	12	24
柵高 2.50m	ロープ本数 8本	m	8	16
柵高 3.00m	ロープ本数10本	m	7	14

表 5.3 ステーロープ設置工

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位	施 工 数 量
ステーロープ	岩盤用アンカー込み	本	15

6. 防護柵設置工（落石防止網）

表 6.1 金網・ロープ設置

規格・仕様	単位	施工数量
亜鉛メッキ3、4種（Z-GS 3、4） 線径 2.6mm	m ²	130
亜鉛メッキ3、4種（Z-GS 3、4） 線径 3.2mm	m ²	110
亜鉛メッキ3、4種（Z-GS 3、4） 線径 4.0mm	m ²	90
亜鉛メッキ3、4種（Z-GS 3、4） 線径 5.0mm	m ²	75

表 6.2 アンカー設置

規格・仕様			単位	施工数量
岩 盤 用	D 22mm × 長 1,000mm		箇所	15
	D 25mm × 長 1,000mm		箇所	
	D 29mm × 長 1,000mm		箇所	
	D 32mm × 長 1,000mm		箇所	
土 中 用	羽根付アンカー	径25mm×長 1,500mm	箇所	18
	高耐力アンカー (プレート羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所	6
		アンカー有効長 2,000mm	箇所	
	高耐力アンカー (溝形鋼羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所	4
		アンカー有効長 2,000mm	箇所	

表 6.3 支柱設置

規格・仕様		単位	施工数量
ポケット式支柱 (アンカー固定式)	支柱高 2.0m	箇所	6
	支柱高 2.5m	箇所	
	支柱高 3.0m	箇所	
	支柱高 3.5m	箇所	
	支柱高 4.0m	箇所	

7. 法面工

表 7.1

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
モルタル吹付工	厚 5cm	m ²	120
	厚 6cm	m ²	
	厚 7cm	m ²	
	厚 8cm	m ²	100
	厚 9cm	m ²	
	厚10cm	m ²	

表 7.2

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
コンクリート吹付工	厚10cm	m ²	100
	厚15cm	m ²	60
	厚20cm	m ²	50

表 7.3

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植生基材吹付工	厚 3cm	m ²	140
	厚 4cm	m ²	
	厚 5cm	m ²	
	厚 6cm	m ²	110
	厚 7cm	m ²	
	厚 8cm	m ²	
	厚10cm	m ²	100
客土吹付工	厚 1cm	m ²	400
	厚 2cm	m ²	
	厚 3cm	m ²	
種子散布工	—	m ²	1,100

表 7.4

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植生マット工	肥料袋付	m ²	200
植生シート工	肥料袋 標準品	m ²	250
	無 特殊品	m ²	
植 生 筋 工	人工筋芝 (種子帯)	m ²	100
筋 芝 工	野芝・高麗芝	m ²	90
張 芝 工	野芝・高麗芝 (全面張)	m ²	300

表 7.5

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
繊維ネット工	肥料袋無	m ²	250
	肥料袋付	m ²	200

8. 吹付砕工

表 8.1

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
吹付砕工 (モルタル・ コンクリート)	梁断面 150×150	m	98
	梁断面 200×200	m	77
	梁断面 300×300	m	51
	梁断面 400×400	m	30
	梁断面 500×500	m	26
	梁断面 600×600	m	20

表 8.2

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
ラ ス 張 工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²	140

9. 道路植栽工

表 9.1 植樹工

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植 樹 工	低木 樹 高 60cm未満	本	1,000
	中木 樹 高 60cm以上 100cm未満	本	440
		本	120
		本	60
	高木 幹 周 20cm未満	本	30
		本	20
		本	10
		本	6

表 9.2 支柱設置

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
支 柱 設 置	中木 二脚鳥居 添木付 樹 高 250cm以上	本	60
	八ッ掛 (竹) 樹 高 100cm以上	本	110
	布 掛 (竹) 樹 高 100cm以上	m	180
	添柱形 (1本形・竹) 樹 高 100cm以上	本	200
	生垣形 樹 高 100cm以上	m	130
	高木 二脚鳥居 添木付 幹 周 30cm未満	本	60
		本	110
		本	100
		本	40
		本	45
		本	35
		本	35
		本	35

表 9.3 支柱撤去

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
支 柱 撤 去	中木 二脚鳥居、添木付、八ッ掛 (竹)、添柱形(1本形・竹)	本	450
	布掛 (竹)、生垣形	m	450
	高木 各種	本	200

表 9.4 地被類植付工

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
地 被 類 植 付 工	各 種	鉢	3,500

表 9.5 植樹管理（せん定）

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植樹管理 せん定	高木	夏期せん定	幹周 30cm未満
			本
			100
			幹周 30cm以上 60cm未満
			本
			70
			幹周 60cm以上 90cm未満
			本
			40
			幹周 90cm以上 120cm未満
			本
			30
	木	冬期せん定	幹周 30cm未満
			本
			90
			幹周 30cm以上 60cm未満
			本
			65
			幹周 60cm以上 90cm未満
			本
			35
			幹周 90cm以上 120cm未満
			本
			30

表 9.6 植樹管理（せん定）

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植樹管理 せん定	低木・中木	球	樹高 100cm未満
			本
			430
		形	樹高 100cm以上 200cm未満
			本
			120
			樹高 200cm以上 300cm未満
			本
			45
	寄植	円筒形	樹高 100cm未満
			本
			1,000
		形	樹高 100cm以上 200cm未満
			本
			290
		形	樹高 200cm以上 300cm未満
			本
			110
	寄植	低木	m ²
		中木	m ²
			1,000
			700

(注) せん定枝焼却については施工数量を定めていない。

表 9.7 植樹管理（施肥、除草、芝刈、灌水）

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
植樹管理 せん定	施肥	高木	本
		中木、低木	本
		寄植	m ²
		芝	m ²
	除草	除根除草	植込み地
		芝生	m ²
	芝刈	芝刈	m ²
	灌水	トラック使用	m ²
		散水車使用（貸与車）	m ²
			1,000
			5,000

表 9.8 植樹管理（防除）

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
防除	低木	樹高 60cm未満	本
			5,000
	中木	樹高 60cm以上 100cm未満	本
			5,000
		樹高 100cm以上 200cm未満	本
			2,000
		樹高 200cm以上 300cm未満	本
			1,300
	高木	幹周 60cm未満	本
			400
	木	幹周 60cm以上 120cm未満	本
			300
	寄植	低木	m ²
		中木	m ²
	芝		m ²
			6,000

表 9.9 移植工（掘取工）

区 分		規格・仕様	単位	施工数量
移植工 （掘取工）	低木	樹高 60cm未満	本	400
	中木	樹高 60cm以上 100cm未満	本	120
		樹高 100cm以上 200cm未満	本	80
		樹高 200cm以上 300cm未満	本	60
	高木	幹周 30cm未満	本	20
		幹周 30cm以上 60cm未満	本	5
		幹周 60cm以上 90cm未満	本	3

10. 橋梁用伸縮継手装置設置工

表 10.1

区分		規格・仕様		単位	施工数量
新設	軽量型	1.8m当り50kg未満		m	7.2
	普通型	1.8m当り50kg以上180kg以下		m	7.2
補修	軽量型	1車線相当	1.8m当り50kg未満	m	3.6
		2車線相当	1.8m当り50kg未満	m	7.2
	普通型	1車線相当	1.8m当り50kg以上180kg以下	m	3.6
		2車線相当	1.8m当り50kg以上180kg以下	m	7.2

11. 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工

表 11.1

区分		規格・仕様		単位	施工数量
新設	舗装厚内型	床版箱抜型	後付工法	m	7.2
			先付工法	m	7.2
	床版箱抜型		後付工法	m	7.2
補修	舗装厚内型		1車線相当	m	3.6
			2車線相当	m	7.2
	床版箱抜型		1車線相当	m	3.6
			2車線相当	m	7.2

12. 薄層カラー舗装工

表 12.1

区 分	規 格・仕 様	単 位	施工数量
樹脂モルタル 舗装工	厚 6mm以下	m ²	60
	厚 6mm超え 8mm以下	m ²	
	厚 8mm超え10mm以下	m ²	
景観透水性 舗装工	厚10mm以下	m ²	60
	厚10mm超え15mm以下	m ²	
樹 脂 系 すべり止め 舗装工	RPN-101	m ²	350
	RPN-102	m ²	
	RPN-103	m ²	200
	RPN-104	m ²	
	RPN-201	m ²	350
	RPN-202	m ²	
	RPN-203	m ²	200
	RPN-204	m ²	
	RPN-301	m ²	250
	RPN-302	m ²	
	RPN-303	m ²	150
	RPN-304	m ²	
	RPN-401	m ²	120
	RPN-402	m ²	
	RPN-501	m ²	150
	RPN-502	m ²	
	RPN-601	m ²	160
	RPN-602	m ²	120

13. 道路標識設置工

表 13.1 標識柱設置（路側式〔単柱式〕）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
路側式 単柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径φ60.5	基	4
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	
		φ101.6	基	
	下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装	柱径φ60.5	基	
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	
	静電粉体塗装	柱径φ60.5	基	
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	

表 13.2 標識柱設置（路側式〔複柱式〕）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
路側式 複柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径φ60.5	基	2
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	
		φ101.6	基	
	下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装	柱径φ60.5	基	
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	
	静電粉体塗装	柱径φ60.5	基	
		φ76.3	基	
		φ89.1	基	

表 13.3 標識柱設置（片持式）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
標識柱設置 片持式 基礎別途	1基当り総質量	400kg未満	基	4
		400kg以上	基	3

表 13.4 標識柱設置（門型式）

表 15.1 標識柱設置 (門型式)		単位	施工数量
区 分	規 格 ・ 仕 様		
標識柱設置 門型式 基礎別途	1スパンの長さ	10m未満	基
		10m以上20m未満	基
		20m以上	基

表 13.5 標識板設置（案内標識〔路線番号除く〕）

区 分	規 格 ・ 仕 様				単位	施工数量
標識板設置 (案内標識) 路線番号は 除く	路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む	広角プリズム	1 枚 当 り 面 積	2.0㎡未満	㎡	20
				2.0㎡以上	㎡	
		カプセルプリズム カプセルレンズ		2.0㎡未満	㎡	
				2.0㎡以上	㎡	
		封入プリズム・封 入レンズ		2.0㎡未満	㎡	
				2.0㎡以上	㎡	

表 13.6 標識板設置（警戒・規制・指示・路線番号標識）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
標識板設置	警戒・規制・指示・ 路線番号標識	板の枚数、補助板の有無を問わず 基	20

表 13.7 添架式標識板取付金具設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
添架式標識板 取付金具設置	信号アーム部に取付	組	10
	照明柱・既設標識柱に取付	組	10
	歩道橋に取付	組	2

表 13.8 標識基礎設置（片持式・門型式）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
基礎設置 コンクリート基礎アン カーボルトの設置含む	標識柱 1 基当りの 基礎コンクリート容量	4. 0m ³ 未満	基	2
		4. 0m ³ 以上 6. 0m ³ 未満	基	1
		6. 0m ³ 以上	基	1

表 13.9 標識柱・基礎撤去（路側式〔単柱式・複柱式〕）

区 分	規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
路側式	単柱式(基礎含む)	柱径φ60.5、φ76.3、φ89.1、φ101.6	基	8
	複柱式(基礎含む)	柱径φ60.5、φ76.3、φ89.1、φ101.6	基	4

表 13.10 標識柱撤去（片持式・門型式）

区 分		規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
片持式	1 基当りの総質量 (支柱のみ)	400kg 未満	基	6	
		400kg 以上	基	4	
門型式	1 スパン当りの長さ (支柱のみ)	10m 未満	基	1	
		10m 以上 20m 未満	基		
		20m 以上	基		

表 13.11 標識板撤去（路側式・片持式・門型式）

区 分		規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式(警戒・規制・指示・路線番号標識)		基	30
	案内標識 (片持式・門型式)	1枚当りの面積	2.0㎡未満	㎡	20
			2.0㎡以上	㎡	25

表 13.12 標識板撤去（添架式標識板）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
標識板撤去 添架式標識板 取付金具撤去含む	信号アーム部	組	10
	照明柱・既製標識柱	組	10
	歩道橋	組	2

表 13.13 基礎（コンクリート基礎）撤去

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
基礎撤去	コンクリート基礎	基	1

14. 道路付属物工

表 14.1 視線誘導標設置

区 分		規 格 ・ 仕 様			単位	施工数量
視 線 誘 導 標 設 置	土中建込用	両面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	40
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
		片面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
	コンクリート 建込用 (穿孔含む)	両面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	25
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
		片面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
	コンクリート 建込用 (穿孔含まない)	両面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	200
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
		片面反射	反射体径φ100以下	支柱径φ34	本	
				支柱径φ60.5	本	
			反射体径φ300	支柱径φ89	本	
				支柱径φ60.5	本	
	防護柵取付用	両面反射	反射体径φ100以下	バンド式	本	100
				ボルト式	本	
			反射体径φ300	かぶせ式	本	
				バンド式	本	
		片面反射	反射体径φ100以下	バンド式	本	
				ボルト式	本	
			反射体径φ300	かぶせ式	本	
				バンド式	本	
	構造物取付用	両面反射	反射体径φ100以下	側壁用	本	40
				ベースプレート式	本	
			反射体径φ300	ベースプレート式	本	
		片面反射	反射体径φ100以下	側壁用	本	
				ベースプレート式	本	
			反射体径φ300	ベースプレート式	本	

表 14.2 スノーポール併用型視線誘導標設置

区 分		規 格 ・ 仕 様			単位	施工数量
視線誘導標 設置 スノーポール 併用型	土中建込式 (2段式) (スライド式)	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	40
		片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	
				反射体数1個	本	
	コンクリート建込用 (穿孔含む) (2段式) (スライド式)	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	25
		片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	
				反射体数1個	本	
	コンクリート建込用 (穿孔含まない) (2段式) (スライド式)	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	200
		片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	
				反射体数1個	本	

表 14.3 境界杭設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
境 界 杭	コンクリート製（根巻基礎あり）	本	20
	コンクリート製（根巻基礎なし）	本	

表 14.4 道路鋲設置

区 分		規 格 ・ 仕 様				単位	施工数量
道路鋲 設置	大型鋲 高さ30mm超え 50mm以下	両面反射	穿孔式	アルミ製	設置幅30cm	個	60
					設置幅20cm	個	
		片面反射	穿孔式	アルミ製	設置幅30cm	個	
					設置幅20cm	個	
	小型鋲 高さ30mm以下	両面・片面	穿孔式	アルミ製	設置幅15cm	個	120
			貼付式	樹脂製	設置幅10cm	個	150

表 14.5 車線分離標設置（ラバーポール）

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
車線分離標設置 (ラバーポール)	可変式（穿孔式・1本脚）	本体（柱）径φ80 ベース径 φ250	本 40
	着脱式（穿孔式・3本脚）	本体（柱）径φ80 ベース径 φ250	本 30
	固定式（貼付式）	本体（柱）径φ80 ベース径 φ250	本 80

表 14.6 境界鋲設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
境 界 鋲	金 属 製	枚	150

表 14.7 道路付属物撤去

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
視線誘導標撤去 (スノーポール併用型含む)	土中建込用	本	100
	コンクリート建込用	本	100
	防護柵取付用	本	200
	構造物取付用	本	100
境界杭撤去		本	60
道路鋸撤去	穿孔式	個	120
	貼付式	個	240
車線分離標撤去 (ラバーポール)	可変式（穿孔式・1本脚）	本	60
	着脱式（穿孔式・3本脚）	本	45
	固定式（貼付式）	本	100
境界鋸撤去		枚	300

15. 公園植栽工

表 15.1 植樹工

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
低 木 (株物、一本立を含む)	樹高 60cm未満	本	500
中 木	樹高 60cm以上 100cm未満	本	330
	樹高 100cm以上 200cm未満	本	100
	樹高 200cm以上 300cm未満	本	30

表 15.2 支柱設置

区 分	規 格 ・ 仕 様	単位	施工数量
中 木	二脚鳥居 添木付 樹高 250cm以上	本	30
	八ツ掛 (竹) 樹高 100cm以上	本	40
	添柱形 (1本形・竹) 樹高 100cm以上	本	200
	布掛 (竹) 樹高 100cm以上	m	60
	生垣形 樹高 100cm以上	m	90

表 15.3 地被類植付工

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
地被類植付工	各 種	鉢	4,000

16. 橋面防水工

表16.1

区 分	規 格・仕 様	単 位	施工数量
シート系防水（アスファルト系）	新 設	m ²	220
	補 修	m ²	150
塗膜系防水（アスファルト系）	新 設	m ²	250
	補 修	m ²	170

17. グルーピング工

表17.1

区 分	規 格・仕 様		単 位	施工数量
グルーピング工	縦方向	幅 9mm－深さ 6mm－間隔60mm	m ²	300
		幅 9mm－深さ 4mm－間隔60mm	m ²	300
	横方向	幅 9mm－深さ 6mm－間隔60mm	m ²	150
		幅36mm－深さ10mm（路面排水用）	m ²	150

18. 鉄筋挿入工

表18.1

区 分	規 格・仕 様	単 位	施工数量
現場条件Ⅰ	L ≤ 2.0m	本	14
	2.0m < L ≤ 5.0m	本	7
現場条件Ⅱ	L ≤ 2.0m	本	8
	2.0m < L ≤ 5.0m	本	4
	削孔機械の上下移動	回	2
	仮設足場の設置・撤去	空m ³	40
現場条件Ⅲ	L ≤ 2.0m	本	8

19. コンクリート表面処理工

表19.1

区 分	規 格・仕 様	単 位	施工数量
コンクリート表面処理		m ²	150

材工ともの1日当り施工量（県）

県で調査した材工ともの工種の1日当り施工量を定めたものである。

1. 溶融噴射式路面カラー塗装工

表 1.1

規格・仕様		単位	施工量
全面施工	全規格	m ²	300
ゼブラ施工	全規格	m ²	150
矢羽根型路面標示 (標準タイプ)	全規格・20mピッチ以下	個	50
	全規格・100mピッチ以下	個	25
矢羽根型路面標示 (夜間視認性向上タイプ)	全規格・20mピッチ以下	個	40
	全規格・100mピッチ以下	個	20
矢羽根型路面標示 (縮小タイプ)	全規格・20mピッチ以下	個	50
	全規格・100mピッチ以下	個	25

備考) 施工量は、昼間施工・夜間施工ともに適用する。

2. 溶融噴射式高視認性区画線（非リブ式）工

表 2.1

規格・仕様		単位	施工量
初期反射輝度250（175）mcd/L X・m ² 以上 (湿潤時)	実線 W=15cm	m	1000
	実線 W=20cm	m	930
	実線 W=30cm	m	700
	破線 W=15cm	m	830
	破線 W=20cm	m	780
	破線 W=30cm	m	560
	横断線・ゼブラ W=45cm	m	330
	矢印・記号 W=15cm換算	m	230
	エスコート W=30cm	m	190
	自転車ピクト 2000×750	個	10

備考) 施工量は、昼間施工・夜間施工ともに適用する。

第1章 土工

①土量変化率等

◎積算上の土質の区分（県－Ⅰ）

土の分類

- (1) 土：レキ質土、砂、砂質土、粘性土、高含水粘性土で切土及び掘削に際し、ブルドーザー等が有効に利用できるもの。
- (2) 玉石混じり土の積算は次のとおりとする。
 - イ 玉石混じり土とは粒径 7.5cm 以上の混入率がおおむね 30%以上混入されていると判断され、かつ、20cm 以上の岩塊、玉石が混じっている土質をいう。
 - ロ 混入率が 50%を超える場合は機械損料が補正されるので採用にあたっては慎重を要する。
- (3) 転石混じり土の積算は次のとおりとする。
 - イ 転石混じり土は、転石部分を火薬もしくはブレーカー類等で破碎し機械積込、運搬は破碎岩（硬岩）として扱い、土砂部分と区別するものとする。
 - 又、法面整形についても、転石部分（岩）と土砂部分を区別する。
 - ロ 転石混じり土区分（100m³中の転石と土砂の比率）は下表を標準とする。

区 分	転石混じり土（Ⅰ）	転石混じり土（Ⅱ）	転石混じり土（Ⅲ）
転 石 量	5～20%	20～35%	35～50%
転 石	12m ³	27m ³	42m ³
土 砂	88m ³	73m ³	58m ³

転石とは、1ヶ0.5m³（球体では、直径約1m）以上のものをいう。

- (4) 土丹、硬粘土、陶土等の積算は次のとおりとする。

土質が「土丹」「硬粘土」「陶土」等の場合は、軟岩（Ⅰ）相当として準用する。
- (5) 軟岩（Ⅰ）の破碎後はレキ質土扱いとして変化率（C）は1.15とする。

第1章 土工

①土量変化率等

◎積算上の床掘り勾配及び余裕幅（土木工事数量算出要領）（県－Ⅰ）

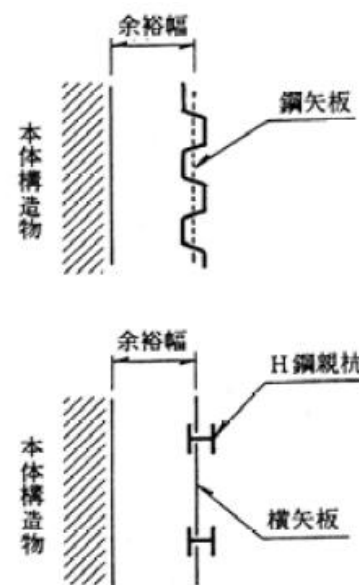
オープン掘削の床掘り勾配は、下表のとおりとする。

土質区分	掘削面の高さ	床掘り勾配	小段の幅
中硬岩・硬岩	5m 未満	直	—
	全掘削高 5m 以上	1 : 0.3	下から H=5m 毎に 1m
軟岩Ⅰ・軟岩Ⅱ	1m 未満	直	—
	1m 以上 5m 未満	1 : 0.3	—
	全掘削高 5m 以上	1 : 0.3	下から H=5m 毎に 1m
レキ質土・砂質土 粘性土・岩塊玉石	1m 未満	直	—
	1m 以上 5m 未満	1 : 0.5	—
	全掘削高 5m 以上	1 : 0.6	下から H=5m 毎に 1m
砂	5m 未満	1 : 1.5	—
	全掘削高 5m 以上	1 : 1.5	下から H=5m 毎に 2m
発破などにより崩壊し やすい状態になってい る地山	2m 未満	1 : 1.0	下から H=5m 毎に 2m

注）上記により難い場合は、別途考慮できる。

余裕幅は、下表のとおりとする。

種別	足場工の有無	余裕幅
オープン掘削	足場工なし	50cm
	足場工あり (フーチング高さ 2m 未満で フーチング上に足場を設置する 場合)	170cm (50cm)
土留掘削	足場工なし (プレキャスト構造物で自立型 土留めの場合)	100cm (70cm)
	足場工あり (フーチング高さ 2m 未満で フーチング上に足場を設置する 場合)	220cm (100cm)



- 注）1. 余裕幅は本体コンクリート端からとする。
 2. 矢板施工の余裕幅は矢板のセンターからの距離。
 3. 足場工が必要な場合とは、H=2m 以上の構造物。
 4. 雪寒仮囲いを使用する場合は、必要幅を計上すること。
 5. 小構造物等でこれによることが不適当な場合は別途余裕幅を考慮する。
 6. 共同溝等の特殊な場合は、別途取り扱う。

第1章 土工

①土量変化率等

◎建設副産物の取扱い（県－Ⅰ）

（1）処理方針

（ア）建設発生土の積極的な有効利用

建設発生土に関しては、発生土処理地の確保が困難になっていることや資源の有効活用の観点から、次により運用する。

1) 発生量の抑制

「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱 R6. 4. 1」に基づき、必要に応じて土質改良をするなど、発生量の抑制に努める。

2) 再利用の促進

発生土の他の現場への流用については土質改良も検討し有効利用を図る。

このため、発生土量や購入土量の状況について、必要な情報収集・提供のため（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が管理する「建設発生土情報交換システム」を積極的に活用し、建設発生土側と利用者側の状況を把握し、建設発生土の利用を促進する。

当面、建設発生土については、最大 50km の範囲においてできる限り近傍の工事現場（民間建設工事を含む）に搬出し有効利用を図ることとする。

（イ）建設汚泥の適正処理の徹底

建設汚泥については、個別指定制度等を活かし有効利用を図るが、処理施設で処理する場合は処理費を計上し適正な処理をする。

（ウ）再生資材について

再生資材については、次により事業の種類にかかわらず、一般的に利用することとし、適正な品質が確保されないときには、新材を使用する。

1) 再生骨材等については、40km の範囲に再資源化施設がある場合。

2) 再生加熱アスファルト混合物については 40km 及び運搬時間 1.5 時間の範囲に再資源施設がある場合。

なお、工事費の積算にあたり、当初設計で再生資材を計上しながら、資材の入手が困難なときは、速やかに設計変更を行う。

（2）設計積算の具体的方法

（ア）発生土の場合（「廃棄物処理法」の適用外）

1) 発生土の取扱いについては、受入場所、距離等を勘案のうえ発生工事箇所を基に搬出地までの実運搬距離を計上し、特記仕様書に搬出先、受入条件等の処理条件を明示する。

なお、工事契約後に明示された処理条件に、変更が生じた場合、適切な設計変更を行う。

2) 処理地における処理費の取り扱いは次のとおりとする。

通常の場合は、「国版：第Ⅱ編 第1章土工 ②土工 3-3 整地」を参照のこと。又やむを得ず処理費を必要とする処理地へ搬出する場合は処理費用を計上する。

(イ) コンクリート塊及びアスファルトコンクリート塊等（「廃棄物処理法」、「建設リサイクル法」の適用）

建設廃棄物関係の取扱いについては、その処理方法、処理場所等を勘案のうえ発生工事箇所を基に処分地までの実運搬距離及び処理費を計上し、特記仕様書に処理場所、受入条件等の処理条件を明示する。

また愛知県産業廃棄物条例に基づく産業廃棄物税相当額の計上が必要となる場合は適切に設計計上すること。

なお、工事契約後に明示された処理条件に、変更が生じた場合、適切な設計変更を行う。

(ウ) 建設副産物処理費の決定方法

見積りにより処理費を決定する場合は、受入可能な 3 社以上の処理施設から見積りを徴収し、見積価格に処理施設までの運搬費、試験費等の必要経費を含めた価格について比較を行い、最低価格（異常値の排除は行わない）となる見積りを採用する。

(エ) 設計積算上の注意事項

次の事項は主管事業課と協議検討したうえで設計計上を決定すること。

- 1) 発生土における通常処理の場合、処理費以外に必要最小限の土留工、排水工等の設置費等
- 2) 骨材等に活用可能な砂、岩塊等
- 3) その他本処理基準により難い事項

第1章 土 工

◎（参考歩掛）伐採工（県－Ⅰ）

1. 適用範囲

本資料は、山間地斜面の立木伐採に必要な、伐倒、枝払、玉切、片付、**集積、積込**、運搬に適用する。

なお、現場条件等によりこれにより難しい場合は、別途考慮すること。

2. 施工歩掛

2-1 伐倒、枝払、玉切、片付、集積、積込作業歩掛

2-1-1 伐 倒

伐倒歩掛は次表を標準とする。

表2.1 伐倒歩掛 (100本当たり)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
土木一般世話役	人	2.11	3.00	4.50	6.90	9.18	
特殊作業員	〃	5.06	7.19	10.78	16.53	22.00	
普通作業員	〃	2.53	3.60	5.40	8.28	11.01	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	8.63	12.25	18.37	28.17	37.45	
掴み装置 (爪幅400～750mm)	h	8.63	12.25	18.37	28.17	37.45	
諸雑費	%	3					

備考 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

高所作業車及びクレーン車が必要な場合は、別途考慮すること。

2-1-2 枝 払

伐倒木の枝払を行う場合は、次表を標準とする。

表2.2 枝払歩掛 (100本当たり)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
土木一般世話役	人	0.52	0.66	0.92	1.23	1.58	
特殊作業員	〃	1.04	1.31	1.83	2.46	3.14	
普通作業員	〃	0.52	0.66	0.92	1.23	1.58	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	2.68	3.38	4.72	6.30	8.10	
掴み装置 (爪幅400～750mm)	h	2.68	3.38	4.72	6.30	8.10	
諸雑費	%	3					

備考 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2-1-3 玉 切

伐倒及び枝払した材の玉切を行う歩掛は、次表を標準とする。

表2.3 玉切歩掛

(100本当り)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
土木一般世話役	人	0.64	0.88	1.28	1.84	2.57	
特殊作業員	〃	1.83	2.50	3.64	5.25	7.30	
普通作業員	〃	0.48	0.66	0.96	1.38	1.92	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	4.14	5.71	8.28	11.95	16.68	
掘み装置 (爪幅400～750mm)	h	4.14	5.71	8.28	11.95	16.68	
諸雑費	%	3					

備考 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2-1-4 片 付

現場周辺を片付ける歩掛は、次表を標準とする。

表2.4 片付歩掛

(100本当り)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
一般土木世話役	人	0.26	0.28	0.34	0.45	0.55	
特殊作業員	〃	0.26	0.28	0.34	0.45	0.55	
普通作業員	〃	0.58	0.61	0.75	0.98	1.19	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	2.74	2.91	3.55	4.66	5.71	
掘み装置 (爪幅400～750mm)	h	2.74	2.91	3.55	4.66	5.71	

2-1-5 集 積

玉切した丸太を集積する歩掛は、次表を標準とする。

表2.5 集積歩掛

(100本当り)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
一般土木世話役	人	0.42	0.49	0.69	0.97	1.24	
特殊作業員	〃	0.37	0.44	0.62	0.87	1.11	
普通作業員	〃	0.55	0.65	0.92	1.28	1.65	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	3.50	4.08	5.77	8.05	10.32	
掘み装置 (爪幅400～750mm)	h	3.50	4.08	5.77	8.05	10.32	

備考 集積に場内運搬等が必要な場合は、別途考慮すること。

2-1-6 積込

玉切した丸太を積み込む歩掛は、次表を標準とする。

表2.6 積込歩掛

(100本当り)

名 称	単位	胸高直径					適 用
		10cm未満	10cm以上 20cm未満	20cm以上 30cm未満	30cm以上 40cm未満	40cm以上 50cm未満	
一般土木世話役	人	0.28	0.33	0.46	0.65	0.83	
特殊作業員	〃	0.09	0.11	0.15	0.21	0.27	
普通作業員	〃	0.24	0.28	0.39	0.55	0.71	
バックホウ運転 排出ガス対策型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	2.74	3.20	4.55	6.30	8.10	
掘み装置 (爪幅400～750mm)	h	2.74	3.20	4.55	6.30	8.10	

2-2 運搬作業歩掛

工事区域外に搬出する際の運搬は次表を標準とする。

表2.7 運搬作業歩掛

(1台当り)

運搬機械	ダンプ 4t積、10t積					
運搬距離(km)	1.8以下	3.2以下	4.6以下	6.0以下	7.5以下	9.1以下
運搬時間(h)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6
運搬距離(km)	10.7以下	12.4以下	14.2以下	16.1以下	18.1以下	20.3以下
運搬時間(h)	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
運搬距離(km)	22.7以下	25.2以下	28.4以下	30.0以下		
運搬時間(h)	1.3	1.4	1.5	1.6		

備考 1 上表はダンプダンプトラック 4 又は 10t 積により運搬する場合であり、これにより難しい場合は別途考慮すること。

2 重量により数量算出を行う場合は、0.8t/m³により換算するものとする。

第4章 コンクリート工

①コンクリート工

◎レディーミクストコンクリート（県）

(1) 適用範囲

離島を除く全ブロックとする。ただしアジテータ車通行不能箇所、小運搬方法のためにレディーミクストコンクリートが使用困難又は不適当な箇所は除く。

(2) 種別と適用（県－Ⅰ）

品質管理監査会議制度の監査に合格し、㊟マークを取得した工場で製造された JIS A5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを原則とし下表によるものとする。

【土木工事】

種別	主な適用工種	規 格	セメントの種類
無筋	通常ダム、砂防ダム	18-5-40 W/C=60%以下	B B
	重力式擁壁等のマッシブな無筋構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物で 半重力式擁壁	18-8-40 W/C=60%以下	B B
	重力式橋台	18-8-40 W/C=60%以下	B B
	袋詰コンクリート	30-5-40 C=370kg/m ³ 以上 W/C=50%以下	N
	水中コンクリート	(特) 30-15-40 C=370kg/m ³ 以上 W/C=50%以下	N
有筋	水門、ひ門、函渠類、擁壁等、排水機場、 非合成床版	24-12-25 W/C=55%以下	N
		※24-12-25 W/C=50%以下	N
	P C桁橋の横桁及び間詰コンクリート、 合成床版	30-12-25 W/C=55%以下	N
		※30-12-25 W/C=50%以下	N
	P C橋用主桁用	40-12-25 W/C=55%以下	H
	橋梁工事の水中場所打杭	30-18-25 C=350kg/m ³ 以上 W/C=55%以下	B B
	水門、ひ門、函渠類、擁壁、橋台、橋脚、柵蓋	21-12-25 W/C=55%以下	B B
		※21-12-25 W/C=50%以下	B B
	函渠類、擁壁、橋台、橋脚	24-12-25 W/C=55%以下	B B
		※24-12-25 W/C=50%以下	B B

※コンクリート標準示方書及び道路橋示方書等により、水セメント比を低減し塩害対策を行う場合。

【土木工事】

主な適用工種	規 格	セメントの種類
最大高さ 1m 程度の擁壁、側溝、ブロック基礎、笠コンクリート断面積が小さく (1m ² 以下) 連続している構造物。最小寸法 16cm 未満	18-8-25 W/C=60%以下	B B
最大高さ 1m 程度の擁壁、側溝、ブロック基礎、笠コンクリート等のコンクリート断面積が小さく (1m ² 以下) 連続している構造物。最小寸法 16cm 以上	18-8-40 W/C=60%以下	B B
形状が複雑な構造物及び集水桝、空気弁、排泥弁、道路照明・標識・防護柵の基礎等の小量 (1m ³ 以下) のコンクリート量で点在する構造物。	18-8-25 W/C=60%以下	B B
積ブロック及び石積張の胴込、裏込コンクリート	18-8-25 W/C=60%以下	B B
異形ブロック	18-5-40 W/C=60%以下	B B
コンクリート舗装	M4. 5-2. 5-40	N
R C C P	M4. 5-* -20	N
R C C P	M5. 0-* -20	N
部材寸法 16cm 未満 平張ブロックの敷コンクリート	18-8-25	B B
部材寸法 16cm 以上	18-8-40	B B

【港湾工事】

主な適用工種	規 格	セメントの種類
防波堤上部工、蓋コンクリート、本体ブロック、異形ブロック (消波・被覆)、根固ブロック、袋詰コンクリート、係船岸上部工、胸壁、係船直柱基礎 (重力式)、水叩コンクリート	18-8-40 W/C=60%以下	B B
係船柱基礎 (杭式)、胸壁、係船岸上部工 (栈橋上部工除く)、消波ブロック、控壁、控杭上部工	24-12-25 W/C=55%以下	B B
ケーソン、ウェル、セルラーブロック、L型ブロック	24-12-25 W/C=50%以下	B B
	※30-12-25 W/C=50%以下	N
エプロン舗装	M4. 5-2. 5-40	N

※「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の特性値を使用する場合（詳細設計時の規格値を確認すること）

・設計にあたっては、「港湾の施設の技術上の基準・同解説」を参照し、適宜対応すること。

(注) 1. やむを得ず施工上早強セメントを使用する場合は、上表の設計基準強度即ち 4 週強度を 1 週強度とする。

2. AE コンクリートの空気量は 4.5% を標準とする。

3. ※印は使用する骨材の種類による区分で、下記表示例のごとく「普通」「軽量 1 種」等を明記する。

また、※※印は使用するセメントの種類による区分で、指定する必要がある場合は、下記標示例のごとく、普通ポルトランドセメント (N) 早強ポルトランドセメント (H) 等を下記要領により明記すること。

(1) セメントの種類による区分

	(記号)
普通ポルトランドセメント	N
早強ポルトランドセメント	H
超早強ポルトランドセメント	UH
中庸熱ポルトランドセメント	M
高炉セメント	A 種 B A
〃	B 種 B B
〃	C 種 B C
シリカセメント	A 種 S A
〃	B 種 S B
〃	C 種 S C
フライアッシュセメント	A 種 F A
〃	B 種 F B
〃	C 種 F C

(3) 骨材の種類による区分

	(粗骨材)	(細骨材)	(記号)
普通コンクリート	砂利、碎石 又は高炉ス ラグ粗骨材	砂又は碎石	普通
軽量コンクリート	人工軽量粗 骨材	砂	軽量 1 種
	人工軽量粗 骨材	人工軽量細 骨材又は人 工軽量細骨 材に一部砂 を混入した もの	軽量 2 種

(2) 粗骨材の最大寸法による区分

	(記号)
最大寸法 40mm	40
〃 25mm	25
〃 20mm	20
〃 15mm	15

(4) 呼び方の例 (レディーミクストコンクリートの呼び方は次の例による)

例	普通	21	8	20	N
	軽量 2 種	27	21	15	H

セメントの種類
粗骨材の最大寸法
スランプ
呼び強度
骨材の種類

(5) 書き方の例

高炉 B 種にあつては、16-8-40 高炉 B 種とする。

4. 現場条件等により上表によりがたい場合は別途考慮することができる。

5. 塩害対策を必要とする橋梁のコンクリートの水セメント比は標準仕様書を参照のこと。

第5章 仮設工

①仮設工

(1) 仮設工項目（建地－Ⅰ）

- 1) 型枠、支保工、足場工に要する費用
- 2) 山留（土留、仮締切）、仮井筒、築島工に要する費用
- 3) 水替工、仮水路に要する費用
- 4) 工事施工に必要な機械設備（コンクリートプラント、アスファルトプラント等）に要する費用
- 5) 用水、電力等の供給設備に要する費用
- 6) 仮道、仮橋、現道補修等に要する費用

(2) 仮設工の積算（建地－Ⅰ）

- 1) 仮設工として積算する内容は次のとおりとする。
 - イ．型枠、支保工、足場工の設置、撤去、補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の損料（賃料）
 - ロ．山留（土留、仮締切）、仮井筒、築島工の設置、撤去、補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の損料（賃料）
 - ハ．水替工、仮水路の設置、撤去、補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の電力料及び損料（賃料）
 - ニ．工事施工に必要な機械設備の設置、撤去、及び補修等に要する費用
 - (イ) コンクリートプラント、アスファルトプラント等の設置、撤去及び当該施設の補修に要する費用
 - (ロ) トンネル工事における照明設備に係る設置、撤去、補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の電力料
 - ホ．電力、用水等の供給設備の設置、撤去、及び補修に要する費用
 - (イ) 電力、用水等の供給設備に係る設置、撤去、補修に要する費用及び当該供給設備の使用期間中の損料（賃料）
 - ヘ．仮道、仮橋、現場補修等に要する費用
 - (イ) 仮道、仮橋に係る設置、撤去、補修に要する費用及び当該仮施設の使用期間中の損料（賃料）
 - (ロ) 公道等の補修に要する費用
 - ト．工事施工に必要な防護施設（転落、飛来等の防止柵及び発破用防護柵等）、仮囲い（工事用防護堀）に係る設置、撤去、補修に要する費用及び当該防護施設等の使用期間中の損料（賃料）
 - チ．工事施工に伴う防じん対策（簡易舗装、タイヤ洗浄装置、路面清掃等）に係る設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料（賃料）
 - リ．仮区画線に係る費用

2) 積算方法

仮設費の積算（工事用仮設材を後続工事に継続して使用する場合、発注後の工期延期により仮設物の存置が長期となる場合等）は、現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

3) 仮設工事の取扱いについて（県－Ⅰ）

仮設工事はこれを指定仮設工事と任意仮設工事に分類して次のとおり取り扱うものとする。

イ 指定仮設工事

仮設工事の工法を指定して施工する必要を認めるもの……一般住民の生活、生命、財産に影響を及ぼす恐れのあるもので、次に掲げるものおよびこれらに類するもの。

(イ) 仮橋、仮道

一般交通の用に供するもの。

(ロ) 仮締切

人家、公共施設等での影響が大きい堤防の機能を一時的に喪失させるような工事の仮締切で、例えば本堤を開削するために締切る場合等。

(ハ) 仮水路

人家、公共施設等への影響が大きいものおよび管理者の協議等により本工事と同程度の施工を要するもの。

(ニ) 仮土留

人家、公共施設等への影響が大きいもので、例えば護岸堤防で人家等に近接して仮土留工を施工する場合等。

(ホ) 防災設備

人家、公共施設等に近接した箇所で、①発破作業等で施工する場合の防護柵、②落石防止用の柵または囲い等の工法を指定して施工するもの。

(ヘ) これ以外で特に工法を指定するもの

仮設工事のうち、諸般の条件により請負者の自主的な工法にまかせることが不適当な場合。

ロ 指定仮設工事の取扱い

(イ) 指定仮設工事設定図書に基づき施工し、完成検査（指定部分完成を含む）、変更手続も本工事と同様に設計変更の対象とするが請負者の都合によるものは内容的に上廻った工事を承認しても変更の対象としない。

(ロ) 指定仮設工事のうち工事施工中に状況変化等のために指定仮設工事とする必要がなくなった場合または任意仮設工事のうち工事施工中に状況変化等のために指定仮設工事とする必要を生じた場合にはそれぞれ設計変更を行なうものとする。

ハ 任意仮設工事

指定仮設工事以外の仮設工事で、積算方式に対し他の手段方法をもって施工をしても本工事を安全かつ完全に実施し、他に支障を及ぼさないと認められる軽易なもので次のとおりとする。

簡易な仮締切、仮水路、仮土留、工事用仮道、仮橋、栈橋、保安設備、プラント、索道、水替、運搬方法およびこれらに類するもの。

ニ 任意仮設工事の取扱い

(イ) 任意仮設工事は原則として変更しない。ただし本工事の内容変更に伴う工事量に増減および想定した施工条件の変化等により特に変更を要すると認めた場合は設計変更の対象とする。

(ロ) 監督員は請負者の施工する仮設工事の工法、手段の内容について必要事項の指示をすることができる。

(ハ) 手戻りは原則として請負者の負担とする。

4) 設計図書の作成（県－Ⅰ）

- イ 仮設工事の区分を工事費内訳書の摘要欄に指定仮設工事又は任意仮設工事と明記する。
- ロ 任意仮設工事の場合の契約用金抜設計書には
- (イ) 工事費内訳書に仮設費の内訳を下記の種類別に記入し各々一式と明記する。
 - (ロ) 設計・積算上で想定した地質、湧水、水位その他重要な施工条件を文章、資料、参考図等により明記する。
 - (ハ) 詳細図は添付しない。

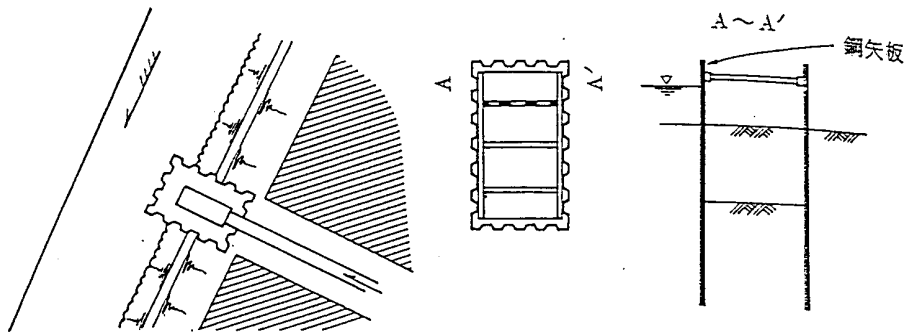
種 類	仮 設 工 事 名
排 水 仮 設	仮締切工、瀬替工、水替工、仮水路工等
保 安 仮 設	発破施設、防護柵
運 搬 仮 設	仮道、仮橋、現道補修、ケーブル施設、運搬用軌道、索道
設 備 仮 設	用水、電力施設、プラント設備等
工 事 用 仮 設	仮土留、舗装工事の夜間照明設備等

5) 注意事項（県－Ⅰ）

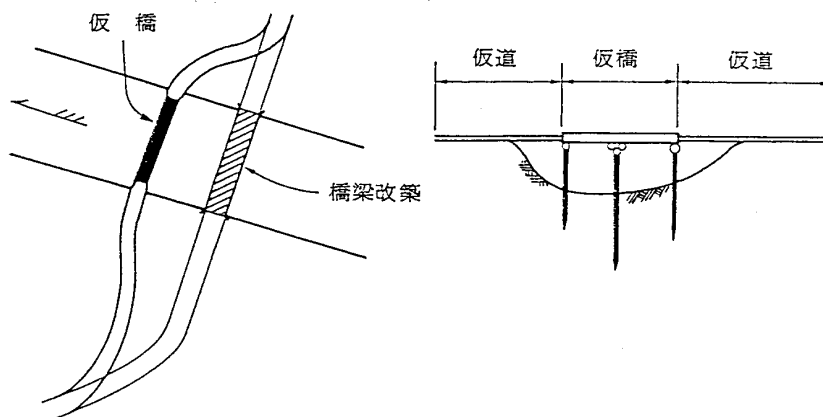
- イ 支保工は一般には空立米当りの損料で積算しているが、これを指定仮設工事とする場合はその構造図および明細図を添付して積算するものとする。
- ロ 任意仮設工事は原則として工法変更を行なわないので、次の事項に留意して慎重に設計を行うこと。
- (イ) 現場に最も適合しているかどうか。
 - (ロ) 経済的であるかどうか。（比較）
 - (ハ) 他によい方法がないかどうか。例えば瀬替等を行って仮締切を軽易なものとすることができないか。
 - (ニ) 会計検査、完成検査に際して十分説明できるかどうか。
 - (ホ) 請負者の行う工法についての写真等の資料は整備しておくこと。

6) 指定仮設の例（県－Ⅰ）

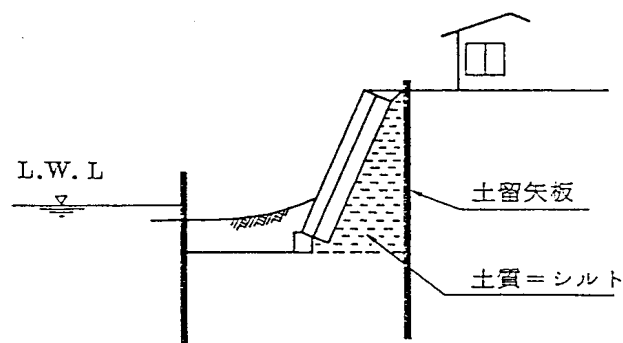
例 1 河川本堤を開削して横断暗渠を設置する場合、鋼矢板の仮締切工は設計図および明細書を添付して積算する。この場合、仮締切工は3)－イー(ロ)に該当するので指定仮設工事とする。



例 2 橋梁改築工事が長期を要するので仮道、仮橋を設け一般交通の用に供する場合、仮道、仮橋は設計図および明細書を添付して積算する。この場合仮橋、仮道工は 3)－イー(イ)に該当するので指定仮設工事とする。



例 3 人家、公共施設等への影響の大きい仮土留工は3)－イー(ニ)に該当するので指定仮設工事とする。



(3) 仮設材の損料率（建地－Ⅰ）

表2.1 土留、仮締切、築島、仮橋等の材料損料率

種 別 期 間	損 料 率（％）		
	木 材	鋼 材	じゃかご
3 ヶ月未満	60	10	100
6 ヶ月 "	70	20	100
1 年 "	90	30	100
2 年 "	100	50	100
3 年 "	100	70	100

- (注) 1. 再使用不可能なもの及び長さ 2m 未満の場合は全損とする。
ただし、鋼材の内回収可能なものについては、スクラップ控除する。
2. タイロッドは 1 工事全損としスクラップ控除する。
3. ボルト、カスガイ、釘、鉄線等は全損とする。
4. 上表は、「建設用仮設材損料算定基準」（昭和 44 年 6 月 12 日付け建設省機械発第 65 号）及び「建設用仮設材賃料積算基準」（平成 7 年 3 月 29 日付け建設省経機発第 43 号）に示す材料以外のものに適用する。

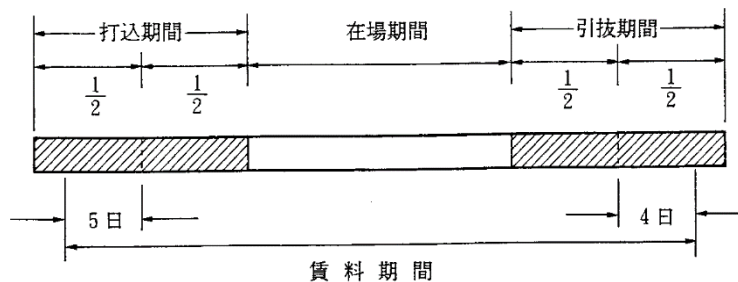
表2.2 足場材、支保材、防護柵の材料損料率

	損 料 率（％）			
	木 材	金 網	シート	ワイヤロープ
3 ヶ月未満	25	80	30	20
6 ヶ月 "	40	90		
1 年 "	50	100		
2 年 "	75	100		
3 年 "	100	100		

- (注) 1. 簡易な足場材又は、期間が 1 ヶ月未満の木材については、損料率 15%とする。
2. 上表は、「建設用仮設材損料算定基準」及び「建設用仮設材賃料積算基準」に示す材料以外のものに適用する。

(4) 鋼矢板の賃料期間の算定（建地－Ⅰ）

鋼矢板の賃料期間の算定については、下記を標準とする。



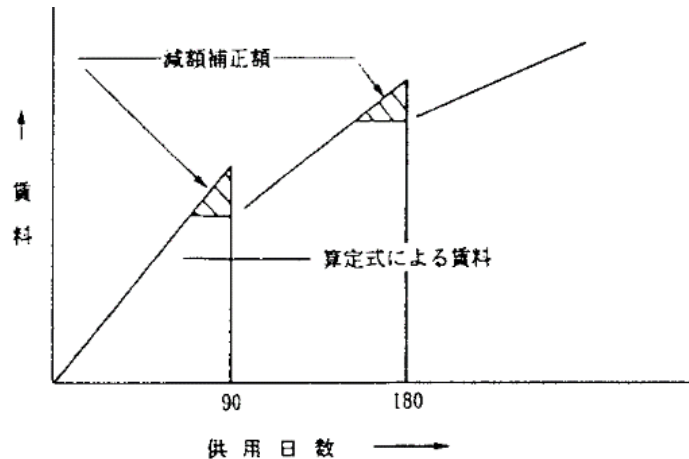
$$\text{賃料期間（日）} = (\text{打込期間} \times 1/2) + (\text{在場期間}) + (\text{引抜期間} \times 1/2) + (5 \text{ 日} + 4 \text{ 日})$$

- (注) 1. 仮設材H杭についても同様の扱いにする。
2. 土留、締切、路面覆工等を使用される切梁腹起し覆工板については打込（引抜）日数を設置（撤去）日数と読みかえ同様の扱いとする。
3. 損料材についても同様の扱いとする。

(5) 適用区分による賃料の補正について（建地－Ⅰ）

供用日数（または月数）の長短による賃料にかかる市場価格の適用区分が変わることによって賃料計上額（1 現場当り修理及び損耗費を除く。）が当該日数（または月数）の増加に比例せず減少する場合がある。したがって、減少する時点までの供用日数（または月数）における賃料計上額（1 現場当り修理及び損耗費を除く。）は、その減少する時点における賃料計上額（1 現場当り修理及び損耗費を除く）を上限とし、下記の方法により減額補正する。

（イメージ図）



（参考）賃料の補正の考え方（県－Ⅰ）

比較計算をし、安価となる賃料を採用することとする。具体的な計算方法は以下のとおり。

仮設材規格	適用区分	賃料単価	単位	区分
H形鋼（山留主部材）250～400 型	90 日以内	130	円/t・日	①
	180 日以内	115	〃	②
	360 日以内	105	〃	③
	720 日以内	90	〃	④
	1080 日以内	80	〃	⑤

注：上表の賃料単価は、実際とは異なる。

計算例①……供用日数を 170 日とした場合

賃料（供用日数×賃料単価）の決定にあたっては、下記方法により賃料を比較し、安価となる賃料を採用することとなる。

賃料 1＝170 日×115 円/t・日＝19,550 円/t（供用日数より区分②単価使用）

賃料 2＝181 日×105 円/t・日＝19,005 円/t（供用日数より安価となる区分③単価使用）

∴賃料 1＞賃料 2 より、安価となる賃料 2 を採用

計算例②……継続工事となる場合で、総供用日数 170 日、当該工事供用日数 70 日とした場合

総供用日数に対応した適用区分の賃料単価を選択することとなるが、当該工事の賃料（供用日数×賃料単価）の決定にあたっては、下記方法により賃料を比較し、安価となる賃料を採用することとなる。

賃料 1＝170 日×115 円/t・日＝19,550 円/t（総供用日数より区分②単価使用）

賃料 2＝181 日×105 円/t・日＝19,005 円/t（総供用日数より安価となる区分③単価使用）

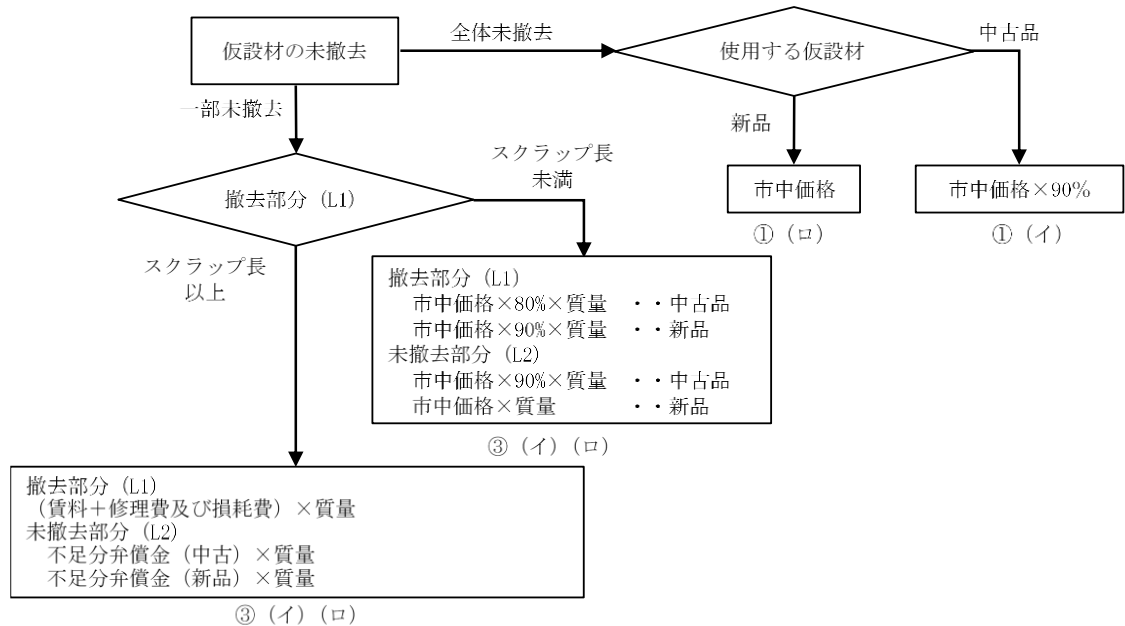
∴賃料 1＞賃料 2 より、安価となる賃料 2 を採用し、当該工事の供用日数分は以下のとおり計上する。

19,005 円×（70 日/170 日）＝7,825.58≒7,825 円/t（小数点以下切り捨て）

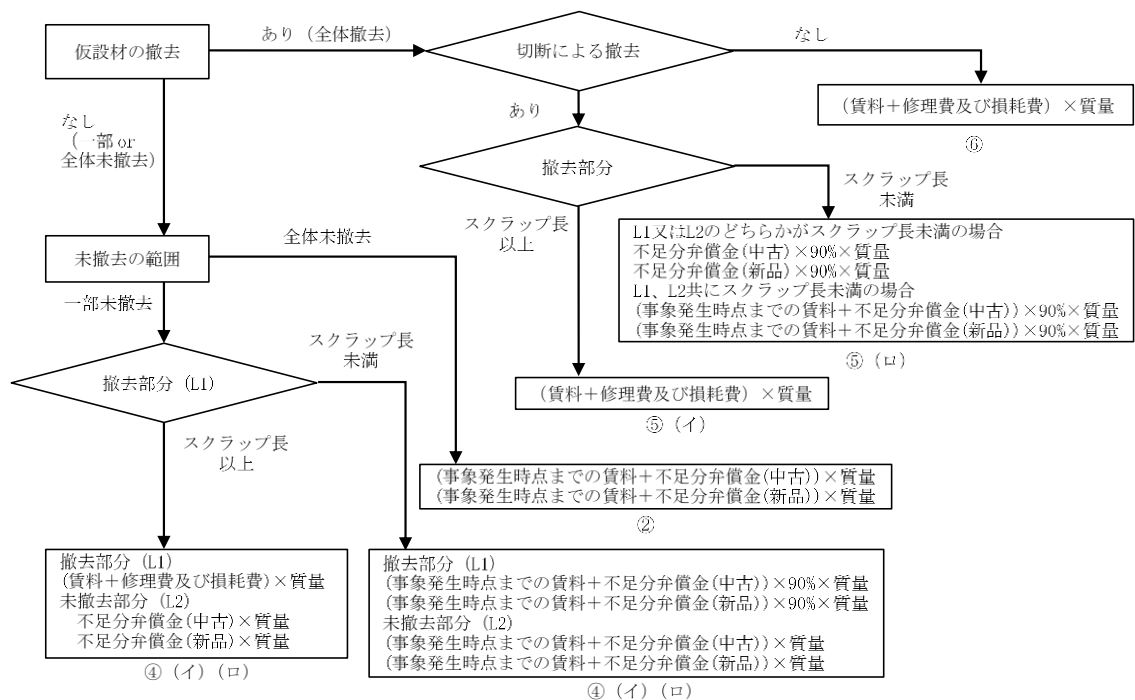
(6) 工事用仮設材（鋼矢板、H形鋼等）の計上について（建地－Ⅰ）

下記により難しい場合は、別途考慮する。

(6)-1 当初より撤去しない場合、又は、当初より一部を撤去しない場合



(6)-2 当初より撤去する場合、又は、現地の状況で一部もしくは全体が撤去できなくなった場合



なお、当初より賃料を計上していたが、賃貸契約期間中に、引き抜き不能等の事象が発生したり、賃貸契約期間が延びて購入に切り替えとなった場合については、後述の（注）に記載のとおり別途考慮すること。

① 当初より撤去しない場合（SWB250010）

(イ) 中古品の場合は市中価格の90%とする。

(ロ) 新品を使用する場合、又は中古品が入手不可能な場合は市中価格とする。

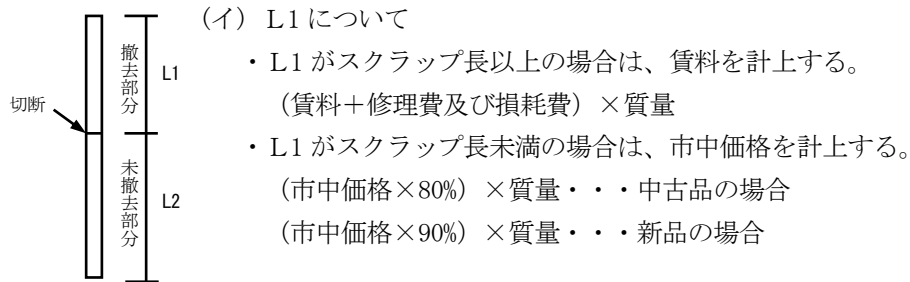
② 当初は撤去を考えていたが、現地の状況で1本ものが全て撤去できなくなった場合（SWB250050）

(事象発生時点までの賃料＋(不足分弁償金(中古)))×質量

(事象発生時点までの賃料＋(不足分弁償金(新品)))×質量

③ 当初より、現地の状況で1本もののうち、一部を撤去しない場合（SWB250020、SWB250030）

(新品でない場合)

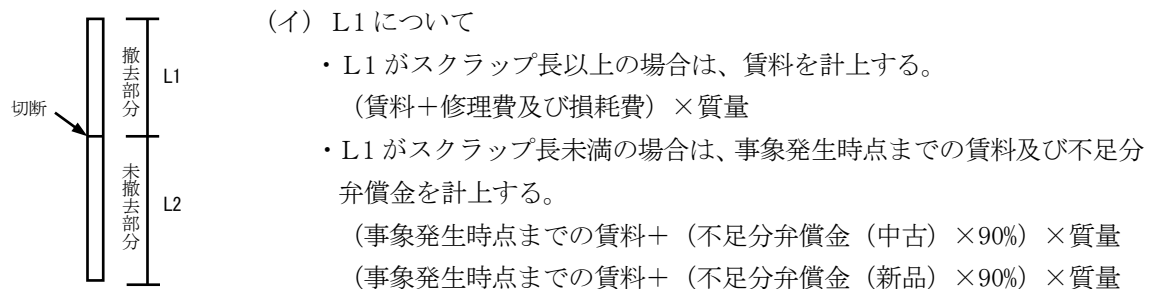


(ロ) L2 について

- ・ L1 がスクラップ長以上の場合は、L2 (未撤去部分) については、不足分弁償金を計上する。
(不足分弁償金 (中古)) × 質量
(不足分弁償金 (新品)) × 質量
- ・ L1 がスクラップ長未満の場合は、L2 (未撤去部分) については、市中価格を計上する。
(市中価格×90%) × 質量・・・中古品の場合
(市中価格) × 質量・・・新品の場合

④ 当初は撤去を考えていたが、現地の状況で1本もののうち、一部が撤去できなくなった場合

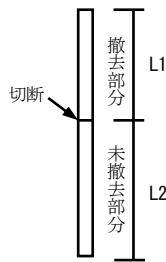
(SWB250020、SWB250040)



(ロ) L2 について

- ・ L1 がスクラップ長以上の場合は、L2 (未撤去部分) については、不足分弁償金を計上する。
(不足分弁償金 (中古)) × 質量
(不足分弁償金 (新品)) × 質量
- ・ L1 がスクラップ長未満の場合は、L2 (未撤去部分) については、事象発生時点までの賃料＋不足分弁償金を計上する。
(事象発生時点までの賃料＋(不足分弁償金 (中古)) × 質量
(事象発生時点までの賃料＋(不足分弁償金 (新品)) × 質量

- ⑤ 当初は切断をせず撤去するものとしていたが、現地の状況により切断を行い撤去した場合
(SWB250040)



- (イ) スクラップ長以上のL1 又はL2 について

- ・ 賃料を計上する。
(賃料+修理費及び損耗費) × 質量

- (ロ) スクラップ長未満のL1 又はL2 について

- ・ L1 又はL2 のどちらかがスクラップ長未満の場合、不足分弁償金を計上する。

(不足分弁償金(中古) × 90%) × 質量

(不足分弁償金(新品) × 90%) × 質量

- ・ L1、L2 共にスクラップ長未満の場合、事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。

(事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古) × 90%)) × 質量

(事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(新品) × 90%)) × 質量

- ⑥ 当初より切断をせず撤去する場合 (SWB250040)

- ・ 賃料を計上する
(賃料+修理費及び損耗費) × 質量

- (注) 1. 当初より賃料を計上していたが、賃貸契約期間中に、引き抜き不能や撤去部分がスクラップ長未満など別の現場に転用できない資材については、全損扱いとし、事象発生時点までの賃料+不足分弁償金を、全損扱いとなった資材の全質量分計上すること。
2. 賃貸契約期間が延びて購入に切り替えとなった資材についても、切り替え時点までの賃料+不足分弁償金を、購入に切り替えた資材の全質量分計上すること。
3. 購入への切り替えは、賃貸契約期間延長後の賃料(賃料+修理費及び損耗費等)と、購入へ切り替えた場合の金額(切り替え時点までの賃料+不足分弁償金)を比較するなど、適宜判断すること。
4. ③(イ)の2項目の様にスクラップ長未満のL1(撤去部分)を市中価格にて計上する場合において、その撤去部分を「官保有材」とする場合に、市中価格×90%(中古)×質量又は市中価格(新品)×質量を計上するなど、別途考慮し計上すること。

(7) 仮設材質料に係る修理費及び損耗費の取扱いについて（建地－Ⅰ）

鋼矢板等の1現場あたり修理費及び損耗費は、次式のとおりとする。

$$Y = a \cdot b$$

Y：鋼矢板等の1現場あたり修理費及び損耗費（円/t）

※覆工板は単位を（円/㎡）に読み替える。

a：係数 b：市場価格

表2.3 鋼矢板等の1現場あたり修理費及び損耗費算定のための係数及び市場価格

名 称		補助工法	係数 (a)	市場価格 (b)
鋼矢板	本矢板	無	3.60	鋼矢板 整備費
		有	2.60	
	軽量鋼矢板	無	2.75	軽量鋼矢板 整備費
		有	1.98	
H形鋼	杭工	無	2.37	H形鋼 整備費
		有	1.73	

- (注) 1. 修理費及び損耗費は、整備費、修理費（特別ケレン・穴埋め・曲がり直し等）、切断による短尺補償、打込による破損を含む。
2. 修理費及び損耗費は、土質、打込又は引抜き等の難易等の作業条件を十分考慮して適用を決定する。
3. 補助工法とは、ウォータージェットまたはアースオーガ併用工法、硬質地盤専用工法、プレボーリング工法等をいう。

(8) 賃料の補正（県－Ⅰ）

鋼矢板、H形鋼、覆工板及び鋼製マット（以下「鋼矢板等」という。）の1現場あたりの修理費及び損耗費は、鋼矢板等の1現場における使用回数が2以上になるときは、次式により求めた補正率を乗じて補正することができる。

$$\text{補正率} = \frac{1}{2} (n + 1) \quad \text{[この式において、nは鋼矢板等の使用回数とする]}$$

※建設用仮設材質料積算基準（建設機械等損料表）を参照

標準長さ及びスクラップ長さ			
品 名	規 格	標準長 (m)	スクラップ長 (m)
鋼矢板〔本矢板〕	2 型	4 以上～8 以下	4 未満
	3 型	6 ～ 15	5 "
	4 型	13 ～ 20	8 "
	5 L 型	15 ～ 22	9 "
H形鋼〔杭 用〕	H200 型	4 ～ 8	4 "
	H250 型	6 ～ 12	4 "
	H300 型	8 ～ 16	5 "
	H350 型	10 ～ 18	6 "
	H400 型	10 ～ 18	6 "
	H594 型	7 ～ 9	7 "
	H250～400	3 ～ 7	3 "
山 留 主 部 材			

(注) スクラップ長さ以上のものについては賃料扱いとする。

(9) 矢板打込・引抜（県）

1. 矢板長：矢板長は、本工事及び仮設工共 0.5m ピッチとする。
2. 打込長：矢板全長を打込む必要がある場合でも、打込み工法にかかわらず、つかみ代 0.5m を控除する。

(10) その他（県－Ⅰ）

- イ 供用日（月）数は、仮設材を工事現場に存置する日（月）数をいい、使用回数は、鋼矢板及び H 形鋼は打込みから引抜き（山留用 H 形鋼については架設から解体）まで、覆工板及び鋼製マットにあつては、敷設から撤去までをそれぞれ 1 回として算定した数をいう。
- ロ 仮設材の所在地は近傍に所在する場合を除いて県庁とする。ただし、鋼矢板の 5 L 型の所在地は、近傍に所在する場合を除いて大阪とする。
- ハ 鋼矢板締切を計上する場合の工種別の締切方法は、原則として下表による。但し、この方法は鋼矢板締切の一応の基準であるので、各工事の締切方法については適正且つ経済的な方を十分検討すること。

工 種	総締切延長 L に対し、1 回当り締切延長 L_0 （現場に打込む矢板延長）	締切転用回数	摘 要
樋 門 、 樋 管 等	$L_0 = L$	$N = 1$	
橋台、橋脚、床土工帯工、井筒	$L_0 = L/2$	$N = 2$	
河 川 、 海 岸 護 岸	$\ell \leq 40\text{m}$ の場合…………… $L_0 = L$ $40 < \ell \leq 160\text{m}$ の場合… $L_0 = L/N$ $\ell > 160\text{m}$ の場合…………… $L_0 = L/4$	$N = 1$ $N = \ell/40$ $N = 4$	ℓ = 工事延長 小数以下 1 位 止め

（注） ℓ は工事延長で当該工事のうち、鋼矢板締切を必要とする部分の工事延長である。

(11) 仮設道路（県－Ⅰ）

仮設道路は新設するものと、既設の農道や堤防等を利用するものあるいは既設のものを拡幅して使用するもの等があり、その状態は雑多で且つ運搬資材の量等により一概に標準化することは至難であるが、一応の基準として次の事項を参考に積算することとする。

- ・既設の農道、堤防等重量物運搬に対応し難いものについては路盤の状態を判断し、必要な敷砂利や補修費を計上する。
- ・市町村道を利用する場合は原則として路面工及び補修費は計上しない。但し工事用のために著しく破損するおそれのあるものについては状況勘案の上考慮する。

1) 巾 員 総巾員 4.00m

2) 勾 配 原則として 1/10 以内

3) 路面高 地形により異なるものなるべく優先的に使用する。

4) 築造土 残土利用できるものは優先的に使用する。

5) 敷 地 官地又は買収予定地を最大限に利用し不足分を借地とする。

6) 仮設位置 現実に且つ経済的に使用できるものを選定する。敷砂利手間

7) 路面工

イ 敷砂利の散布巾 車道巾員（総巾員－2×0.50m）とする。

ロ 敷砂利散布厚 路盤の状態により異なるものも以下を標準として考慮する。

新設道路の路盤が砂利交り土の場合 0～5cm 程度

新設道路の路盤が土砂の場合 5～10cm 程度

既設道路の路盤が砂利交じりの場合 0～3cm 程度

既設道路の路盤が土砂の場合 3～7cm 程度

ハ 路面拵手間 必要に応じて路盤又は路床整正を計上するものとする。

機械施工の場合は「国版：第Ⅳ編道路 第1章舗装工 ①路盤工」を計上する。

ニ 敷砂利手間 機械施工の場合は、上記「①路盤工」を計上する。

8) 補修費 補修を要する回数、面積及び補充材は道路の状態により異なるものも以下を標準として考慮する。

イ 補修手間 「7) ハ 路面拵手間」と同じ歩掛とする。

ロ 補修回数 工期 30 日に付き 1 回

ハ 補修面積 標準として補修作業 1 回につき次の通りとする。

(イ) 機械施工

車道の全面積

(ロ) 人力施工

新設道路の路盤が砂利交り土の場合 車道面積の 1/4

〃 土砂の場合 〃 1/2

既設道路の路盤が砂利交り土の場合 〃 1/5

〃 土砂の場合 〃 1/3

ニ 補修用敷砂利の平均散布厚

区 分 \ 工 期		100 日未満	100 日以上 150 日未満	150 日以上 200 日未満	200 日以上 250 日未満	250 日未満
新設	路 盤 が 土 砂 の 場 合	—	1cm	2cm	3cm	4cm
	路盤が砂利交り土 の 場 合	—	—	1	2	2
既設	路 盤 が 土 砂 の 場 合	—	1	2	3	4
	路盤が砂利交り土 の 場 合	—	—	1	2	2

ホ 補修用敷砂利の量＝補修面積(ハ)×平均散布厚(ニ) ※回数倍はしないこと

9) 借地に対する特別の措置（役務費参照）

借地の条件として特に耕作土を一時取除き工事完了後原形に復旧する場合には、これ等に要する経費を計上することができる。耕作土の取除き厚は 50cm、整地手間は 2.0 人/100m² を標準として仮設費として計上する。

なお、耕作土を一時借置するために必要な用地の借地料の計上もできるが役務費として計上すること。

10) 既設の道路（道路法適用外）

農道、堤防の天端等重量物運搬に対応出来難い路盤のものについては敷砂利及び補修費を計上することができ、その基準は前記 7) の路面工及び 8) 補修費を適用する。

11) 機械搬入路

仮設道路費に多額を要し、資材は小運搬方式とするが機械搬入のため民有地内を通行する場合に必要な用地の借上料を計上することができる。但し役務費とする。その巾員は 4m 以内とする。又必要に応じ築造復旧に要する経費も計上することができる。

12) 仮(栈)橋

仮設砂防の流路等において兩岸工事を施工するとき資材搬入を川越えに行う場合の小運搬費の算定は対岸を含めた平均距離とすることは勿論、渡河のため必要な足場を設けることができる。その設置箇所は小運搬費と比較検討する。

イ 小運搬用栈橋の基準

高さ、幅及び長さは次を標準とする。

通常護岸天端より河床迄の高さ

但し最低高は L. W. L. + 余裕高

巾、高さ以下 2.0m のもの 1.0m

高さ 2～3m もの、上巾 1.0m、下巾 2.0m、平均 1.5m

長さ、所要高を水平に引いた距離と河床巾の平均長

ロ 機械搬入用仮橋の基準

河床土の軟弱な箇所又は水深 0.50m 以上の場合で、他に搬入路がなく渡河する場合に設置する。

高さ L. W. L. + 河川余裕高以内

但し、河川堤防の状況により不適当な場合は搬入路高迄とする。

巾員 4.0m

長さ 必要最小限とする。

ハ 資材運搬用仮橋

仮設道路の一部として仮橋を設ける場合は次の通りとする。

高さ 運搬路路面高

巾員 4.00m

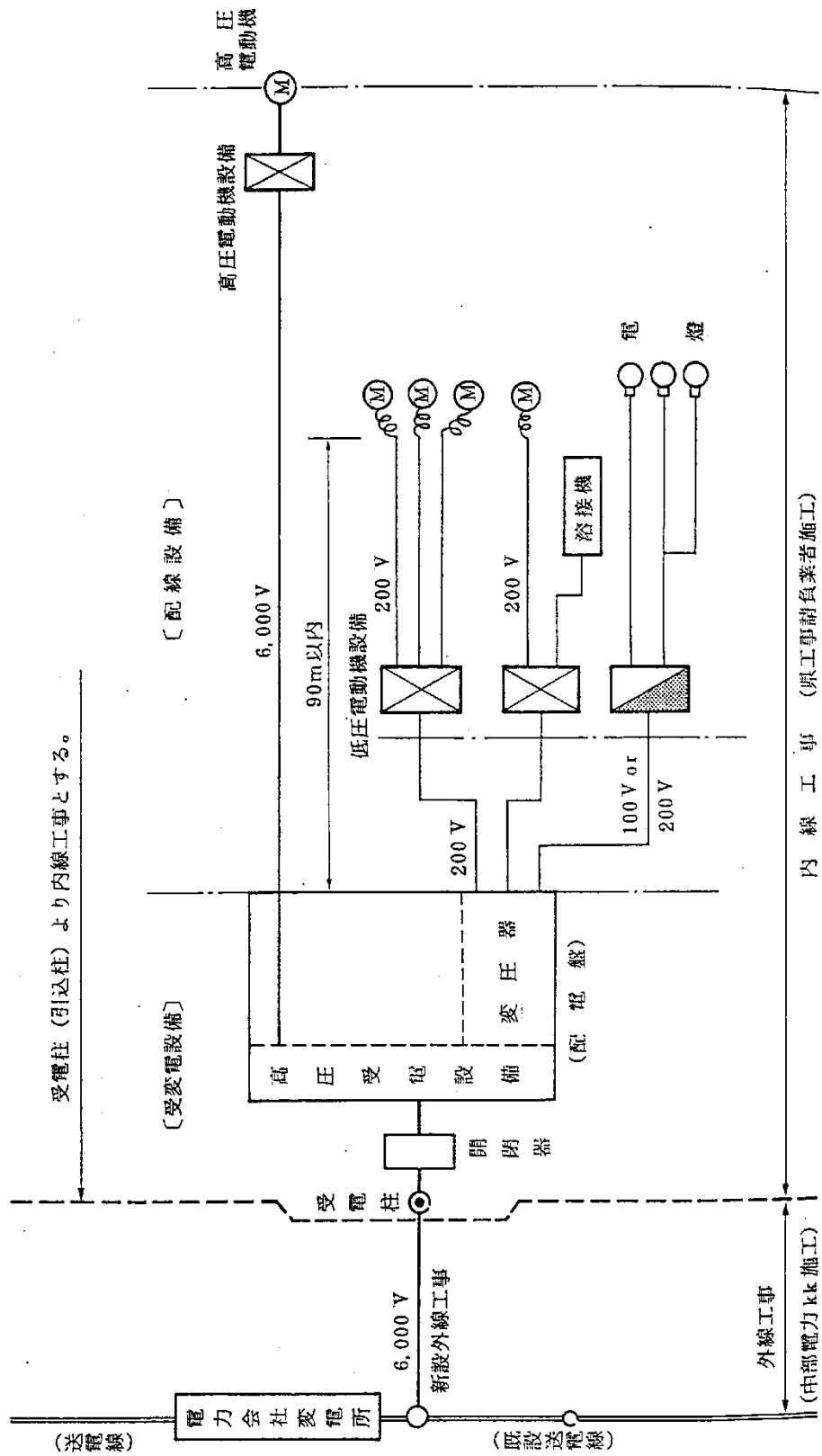
長さ 通常の出水に支障なき最小限の長さとする。

13) 借地料（仮設）

役務費参照

(12) 電力施設の積算基準（県－C）

高圧受電の模型図



1) 内線工事費

イ 適用範囲

土木工事において工事用電力を受電し使用するための一般的な仮設電力設備で契約電力 300kW 未満のものについて適用する。この際、キュービクル式受変電設備の損料は別途積算するものとする。ただし工事現場の条件等により、これを適用することが不合理な場合又は特殊な設備とする場合は別途積算するものとする。

ロ 損料項目の構成

イ) 受電設備

電柱、区分開閉器、分電盤、配線材、その他資材

ロ) 高压配電線路

電柱、架空線、支線（1 径間 40m）、その他資材

ハ) 低压配電線路

電柱、架空線、支線（1 径間 30m）、その他資材

ニ) 高压電動機設備

高压負荷開閉器（高压カットアウト）、高压ケーブル、第A種接地、結線費、その他資材

ホ) 低压電動機設備

カバースイッチ（安全開閉器）、電線、第C種接地、結線費、その他資材

ハ 損料項目の計上数量

イ) 高压受電設備

当該工事の契約電力が 50kW 以上のものに適用し、1 工事につき 1 式を計上すること。ただし、施工場所が 2 箇所以上で明らかに電源引き込みが 2 以上となる場合はそれに応じた容量の受電設備を 2 以上計上してよい。

ロ) 低压受電設備

当該工事の契約電力が 25kW 及び 50kW 未満の区分による受電設備を 1 工事につき 1 式を計上すること。ただし、施工場所が 2 箇所以上で明らかに電源引き込みが 2 以上となる場合はそれに応じた容量の受電設備を 2 以上計上してよい。

ハ) 高压配電線路

高压電動機のある場合、受電地点から高压電動機設置地点までの経路を現場の実情に応じて高压配電線路を計上する。

ニ) 低压配電線路

受電設備地点から各負荷設備にいたる径間とするが各負荷が受電地点を中心に放射状に配置される場合を除き、低压幹線を描き、これより分岐するような配線経路を想定する。

ホ) 高压電動機

大容量コンプレッサー、大型クレーン等の高压負荷の台数分を計上する。

内線工事省略単価表

単価コード	単 価 名 称	規 格 ・ 摘 要	単位	備 考
T00905001	高压受電設備材料	50kw 以上 100kw 未満 3 ヶ月未満＋別途損料	1 式	キュービクル式受変電設備損料 は建設機械等損料算定表参照
T00905003	高压受電設備材料	50kw 以上 100kw 未満 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満＋別途損料	〃	同 上
T00905005	高压受電設備材料	50kw 以上 100kw 未満 6 ヶ月以上 1 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905007	高压受電設備材料	50kw 以上 100kw 未満 1 年以上 2 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905009	高压受電設備材料	50kw 以上 100kw 未満 2 年以上 3 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905011	高压受電設備材料	100kw 以上 200kw 未満 3 ヶ月未満＋別途損料	〃	〃
T00905013	高压受電設備材料	100kw 以上 200kw 未満 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満＋別途損料	〃	〃
T00905015	高压受電設備材料	100kw 以上 200kw 未満 6 ヶ月以上 1 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905017	高压受電設備材料	100kw 以上 200kw 未満 1 年以上 2 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905019	高压受電設備材料	100kw 以上 200kw 未満 2 年以上 3 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905021	高压受電設備材料	200kw 以上 300kw 未満 3 ヶ月未満＋別途損料	〃	〃
T00905023	高压受電設備材料	200kw 以上 300kw 未満 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満＋別途損料	〃	〃
T00905025	高压受電設備材料	200kw 以上 300kw 未満 6 ヶ月以上 1 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905027	高压受電設備材料	200kw 以上 300kw 未満 1 年以上 2 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905029	高压受電設備材料	200kw 以上 300kw 未満 2 年以上 3 年未満＋別途損料	〃	〃
T00905031	高压配電線路材料	10 径間 400m 3 ヶ月未満	m	
T00905033	高压配電線路材料	10 径間 400m 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905035	高压配電線路材料	10 径間 400m 6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905037	高压配電線路材料	10 径間 400m 1 年以上 2 年未満	〃	
T00905039	高压配電線路材料	10 径間 400m 2 年以上 3 年未満	〃	
T00905041	高压電動機設備材料	3 ヶ月未満	1 箇所	
T00905043	高压電動機設備材料	3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905045	高压電動機設備材料	6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905047	高压電動機設備材料	1 年以上 2 年未満	〃	
T00905049	高压電動機設備材料	2 年以上 3 年未満	〃	
T00905051	低压受電設備材料	25kw 未満 3 ヶ月未満	1 式	
T00905053	低压受電設備材料	25kw 未満 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905055	低压受電設備材料	25kw 未満 6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905057	低压受電設備材料	25kw 未満 1 年以上 2 年未満	〃	
T00905059	低压受電設備材料	25kw 未満 2 年以上 3 年未満	〃	

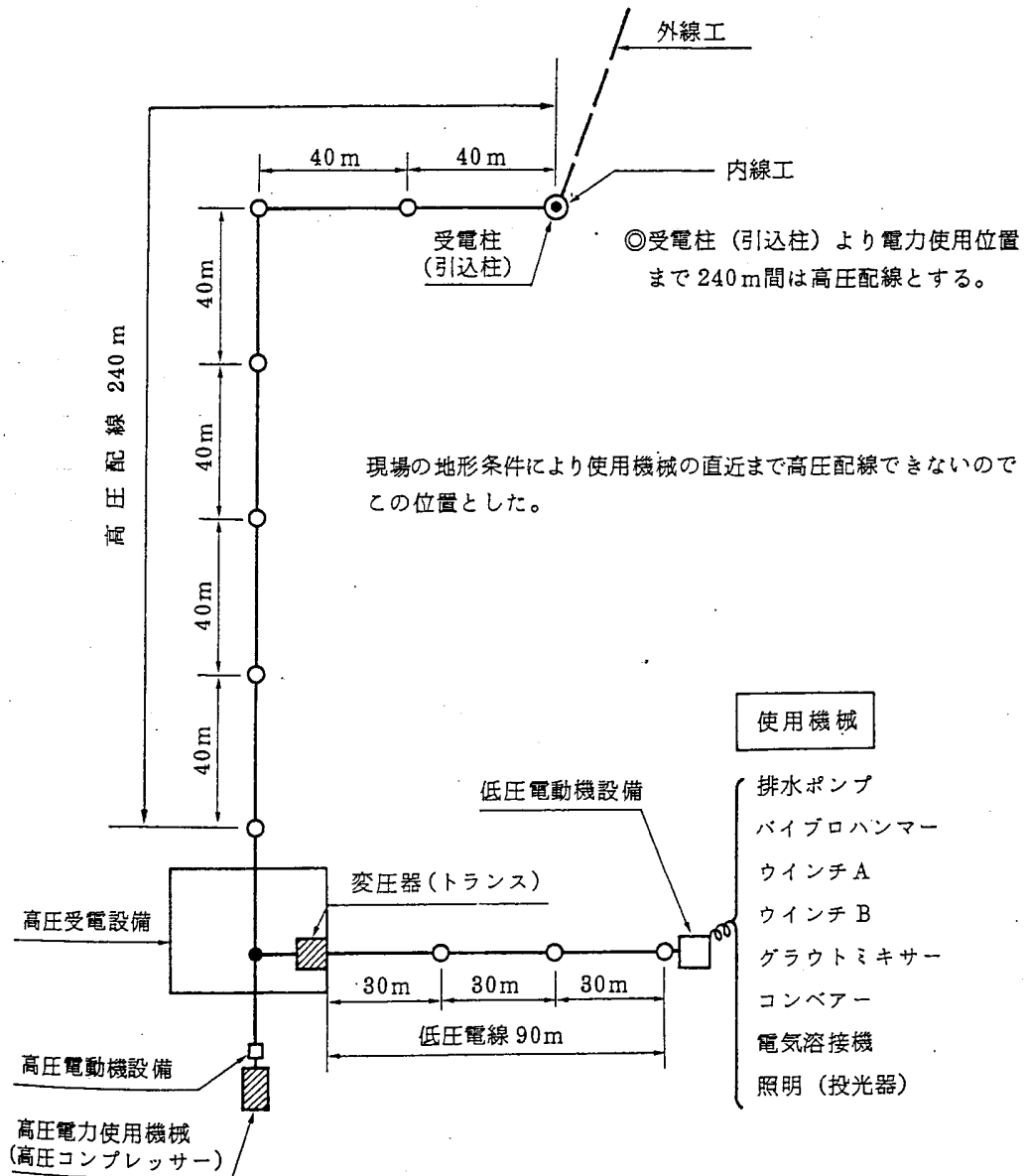
内線工事省略単価表

単価コード	単 価 名 称	規 格 ・ 摘 要	単位	備 考
T00905061	低圧受電設備材料	25kw 以上 50kw 未満 3 ヶ月未満	1 式	
T00905063	低圧受電設備材料	25kw 以上 50kw 未満 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905065	低圧受電設備材料	25kw 以上 50kw 未満 6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905067	低圧受電設備材料	25kw 以上 50kw 未満 1 年以上 2 年未満	〃	
T00905069	低圧受電設備材料	25kw 以上 50kw 未満 2 年以上 3 年未満	〃	
T00905071	低圧配電線路材料	10 径間 300m 3 ヶ月未満	m	
T00905073	低圧配電線路材料	10 径間 300m 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905075	低圧配電線路材料	10 径間 300m 6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905077	低圧配電線路材料	10 径間 300m 1 年以上 2 年未満	〃	
T00905079	低圧配電線路材料	10 径間 300m 2 年以上 3 年未満	〃	
T00905081	低圧電動機設備材料	3 ヶ月未満	1 箇所	
T00905083	低圧電動機設備材料	3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	〃	
T00905085	低圧電動機設備材料	6 ヶ月以上 1 年未満	〃	
T00905087	低圧電動機設備材料	1 年以上 2 年未満	〃	
T00905089	低圧電動機設備材料	2 年以上 3 年未満	〃	
T00905091	高圧受電設備取付工	50kw 以上 100kw 未満	1 式	
T00905093	高圧受電設備取付工	100kw 以上 200kw 未満	〃	
T00905095	高圧受電設備取付工	200kw 以上 300kw 未満	〃	
T00905097	高圧配電線路取付工	10 径間 400m	m	
T00905099	高圧電動機設備取付工		1 箇所	
T00905101	高圧受電設備撤去工	50kw 以上 100kw 未満	1 式	
T00905103	高圧受電設備撤去工	100kw 以上 200kw 未満	〃	
T00905105	高圧受電設備撤去工	200kw 以上 300kw 未満	〃	
T00905107	高圧配電線路撤去工	10 径間 400m	m	
T00905109	高圧電動機設備撤去工		1 カ所	
T00905111	低圧受電設備取付工	25kw 未満	1 式	
T00905113	低圧受電設備取付工	25kw 以上 50kw 未満	〃	
T00905115	低圧配電線路取付工	10 径間 300m	m	
T00905117	低圧電動機設備取付工		1 カ所	
T00905119	低圧受電設備撤去工	25kw 未満	1 式	
T00905121	低圧受電設備撤去工	25kw 以上 50kw 未満	〃	
T00905123	低圧配電線路撤去工	10 径間 300m	m	
T00905125	低圧電動機設備撤去工		1 カ所	

備考：配電線路工は m 当りの単価に換算されている。

2) 積算例 1

ケーソン工事の場合



【標準図】



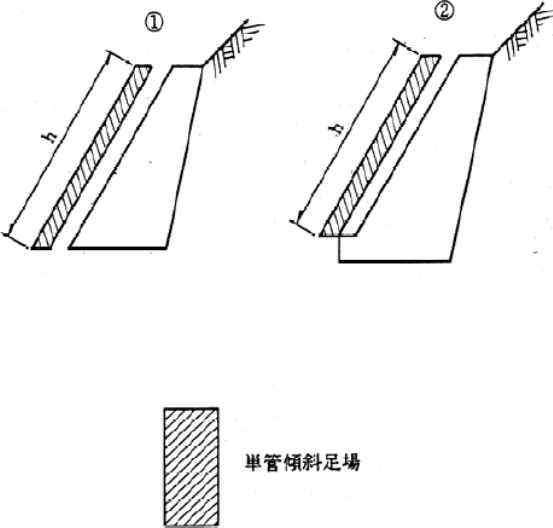
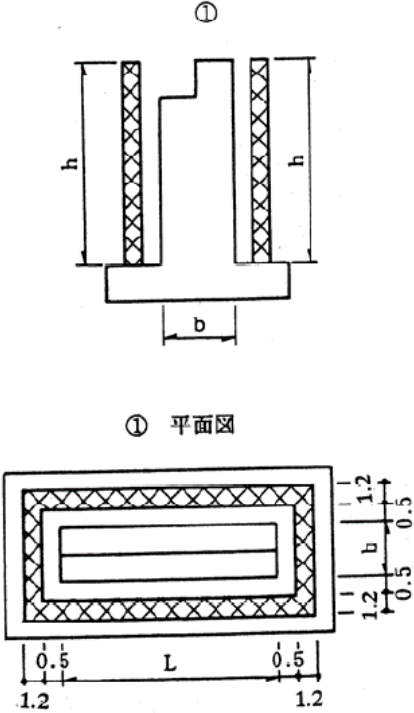
第5章 仮設工

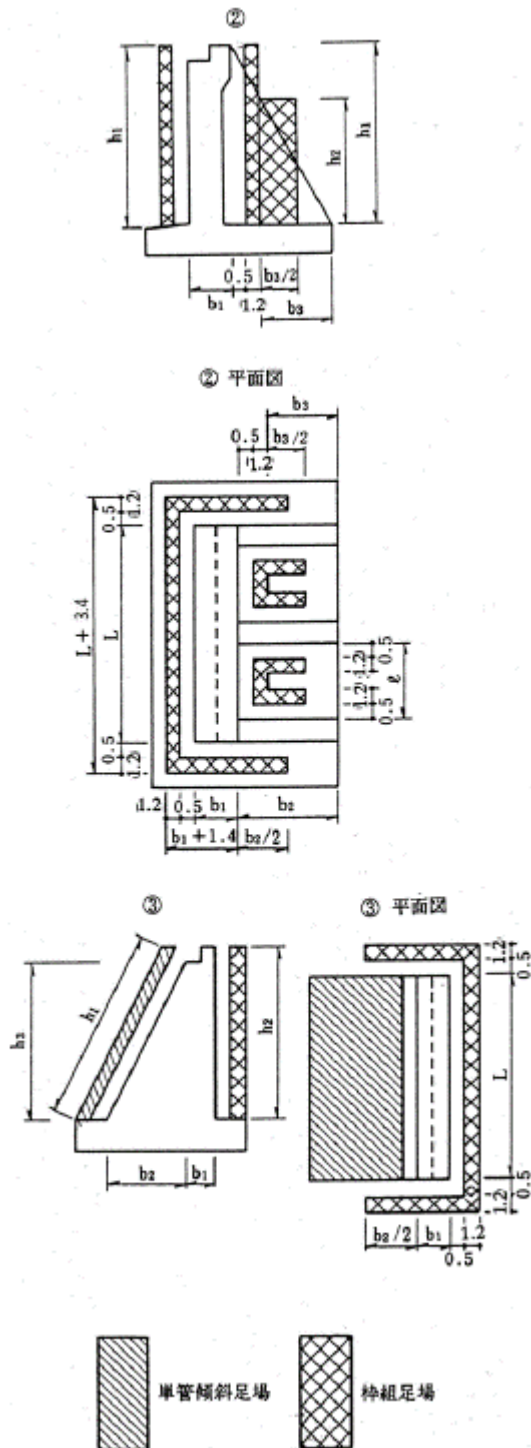
⑦足場支保工

◎参考（計算例）（土木工事数量算出要領－Ⅰ）

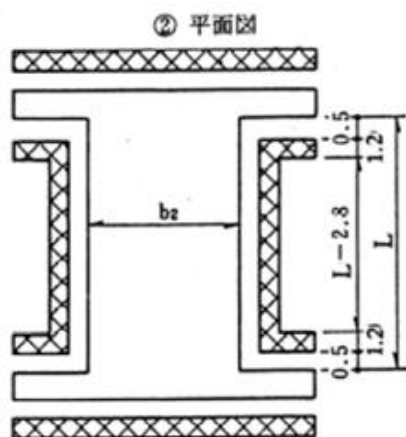
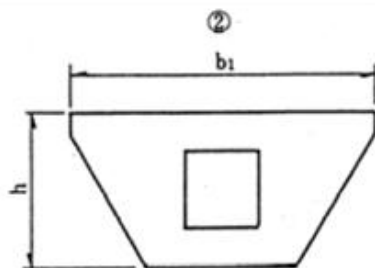
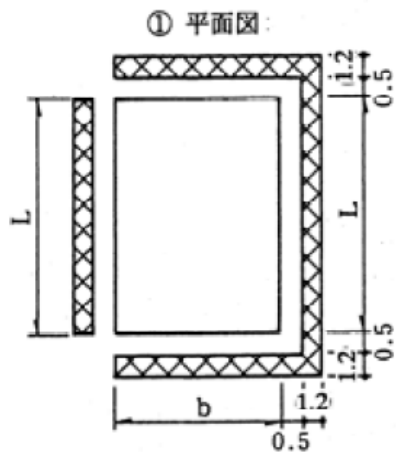
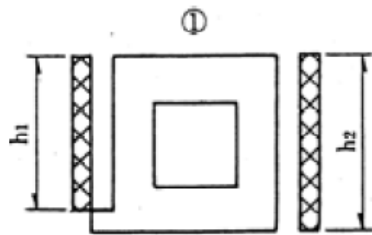
(1) 足場工の計算例（土木工事数量算出要領）

盛土部擁壁	① ② ③ ④ ④ 平面図 単管傾斜足場 単管足場 or 枠組足場	- 足場工設置側が垂直に近い（勾配 1 分未満）場合 Ⅰ．標準（足場設置面が平坦）・・・枠組足場 Ⅱ．Ⅰ が不適当な場合・・・単管足場 - 足場工設置側が傾斜している（勾配 1 分以上）場合・・・単管傾斜足場 - 高さ（h）2.0m 未満の場合は原則として足場は計上しない。 - 盛土部の石積、ブロック積は足場を計上しない。 - 足場工面積（掛 m^2） $L = \text{延長（m）}$ ① 単管傾斜 = $h_1 \times L$ 枠組 = $h_2 \times L$ ② 単管傾斜 = $h_1 \times L$ 枠組 or 単管 = $h_2 \times L$ ③ 枠組 = $h_1 \times L + h_2 \times L$ ④ ($h_3 < 2.0m$ の場合) 枠組 = $h_1 \times L + h_2 \times \sum \ell$ ($h_3 > 2.0m$ の場合) 枠組 = $h_1 \times L + h_2 \times \sum \ell + N \times (h_3 \times b)$ $N = \text{控え壁（扶壁）数}$
-------	---	---

切土部擁壁		- 足場工設置側が垂直に近い（勾配1分未満）場合 Ⅰ．標準（足場設置面が平坦）・・・桢組足場 Ⅱ．Ⅰが不適当な場合・・・単管足場 - 足場工設置側が傾斜している（勾配1分以上）場合・・・単管傾斜足場 - 高さ（h）2.0m未満の場合は原則として足場は計上しない。 - 足場工面積（掛m^2） ① ② 単管傾斜 = $h \times L$
橋台		- 足場工設置側が垂直に近い（勾配1分未満）場合 Ⅰ．標準（足場設置面が平坦）・・・桢組足場 Ⅱ．Ⅰが不適当な場合・・・単管足場 - 足場工設置側が傾斜している（勾配1分以上）場合・・・単管傾斜足場 - 高さ（h）2.0m未満の場合は原則として足場は計上しない。 - フーチング部についても高さ（h）が2.0m以上の場合は足場を計上する。 - 足場工面積（掛m^2） ① 桢組 = $\{2(b + L) + 8.8\} \times h$ ② ($h_3 < 2.0m$の場合) 桢組 = $\{L + 2 \times b_1 + 4.4 + 2 \times (\varnothing - 1.0)\} \times h_1 + h_1 \times b_2$ ($h_3 > 2.0m$の場合) 桢組 = $\{L + 2 \times b_1 + 4.4 + 2 \times (\varnothing - 1.0)\} \times h_1 + h_1 \times b_2 + h_2 \times b_3 \times 2$ ③ 単管傾斜 = $h_1 \times L$ 桢組 = $(L + 2 \times b_1 + 4.4) \times h_2 + h_3 \times b_2$

橋
台

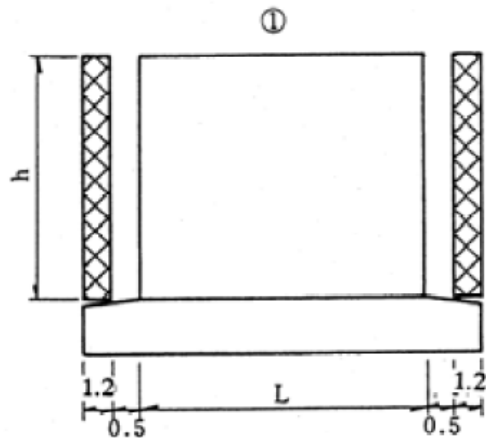
- 足場工設置側が垂直に近い（勾配1分未満）場合
I. 標準（足場設置面が平坦）・・・枠組足場
II. I が不適当な場合・・・単管足場
- 足場工設置側が傾斜している（勾配1分以上）場合・・・単管傾斜足場
- 高さ（h）2.0m未満の場合は原則として足場は計上しない。
- フーチング部についても高さ（h）が2.0m以上の場合は足場を計上する。
- 足場工面積（掛 m^2 ）
① 枠組＝ $\{2(b+L)+8.8\} \times h$
②（ $h_3 < 2.0m$ の場合）
枠組＝ $\{L+2 \times b_1+4.4+2 \times (\ell-1.0)\} \times h_1+h_1 \times b_2$
（ $h_3 > 2.0m$ の場合）
枠組＝ $\{L+2 \times b_1+4.4+2 \times (\ell-1.0)\} \times h_1+h_1 \times b_2+h_2 \times b_3 \times 2$
③ 単管傾斜＝ $h_1 \times L$
枠組＝ $(L+2 \times b_1+4.4) \times h_2+h_3 \times b_2$

函
渠
・
樋
管

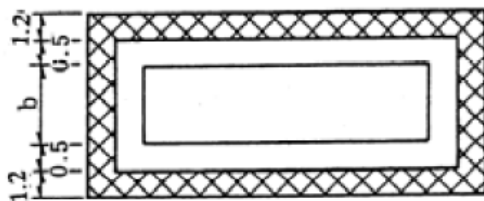
1. 枠組足場を標準とする。
2. 高さ（h）が2.0m未満は原則として足場は計上しない。
3. 足場工面積（掛 m^2 ）
 - ①

$$\text{枠組} = h_1 \times L + (L + 2 \times b + 4.4) \times h_2$$
 - ②

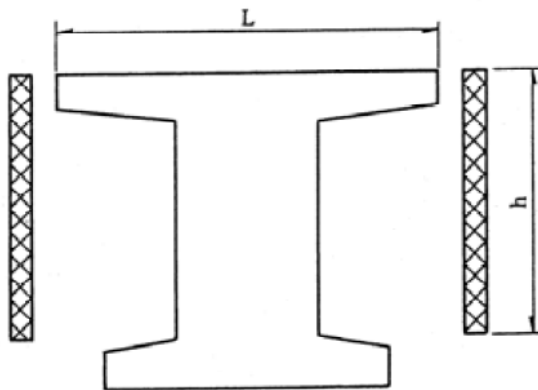
$$\text{枠組} = 2 \times (L + 2 \times b_1 - b_2 - 4.4) \times h$$

橋
脚

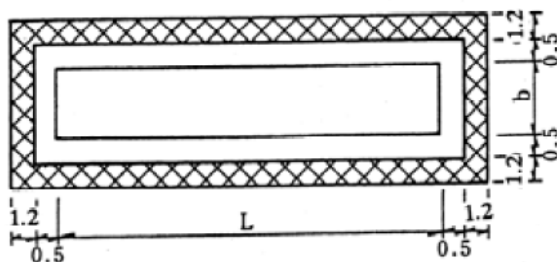
① 平面図



② (埋戻しを考慮しない場合)



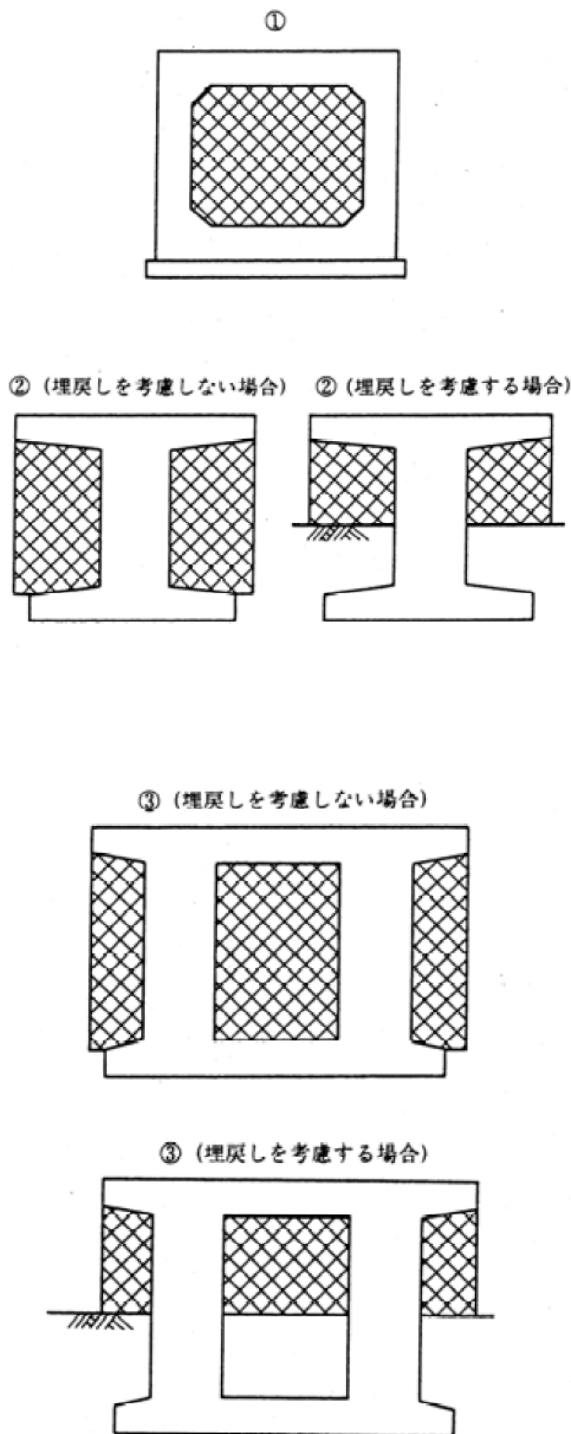
② (埋戻しを考慮しない場合) 平面図



1. 枠組足場を標準とする。
2. 高さ (h) 2.0m未満の場合は原則として足場は計上しない。
3. フーチング部についても高さ (h) が2.0m以上の場合は足場を計上する。
4. 足場工面積 (掛 m^2)
 - ① 枠組 = $\{2(b + L) + 8.8\} \times h$
 - ② (埋戻しを考慮しない場合)
枠組 = $\{2 \times (b + L) + 8.8\} \times h$
 - ② (埋戻しを考慮する場合)
枠組 = $\{2 \times (b + L_1) + 8.8\} \times h_1 + \{2 \times (b + L_2) + 8.8\} \times h_2$
 - ③ (埋戻しを考慮しない場合)
枠組 = $\{2 \times (b + L) + 8.8\} \times h$
 - ③ (埋戻しを考慮する場合)
枠組 = $\{2 \times (b + L_1) + 8.8\} \times 2 \times h_1 + \{2 \times (b + L_2) + 8.8\} \times h_2$
 - ④ 枠組 = $\{4 \times (b_1 + b_2) + 17.6\} \times h$

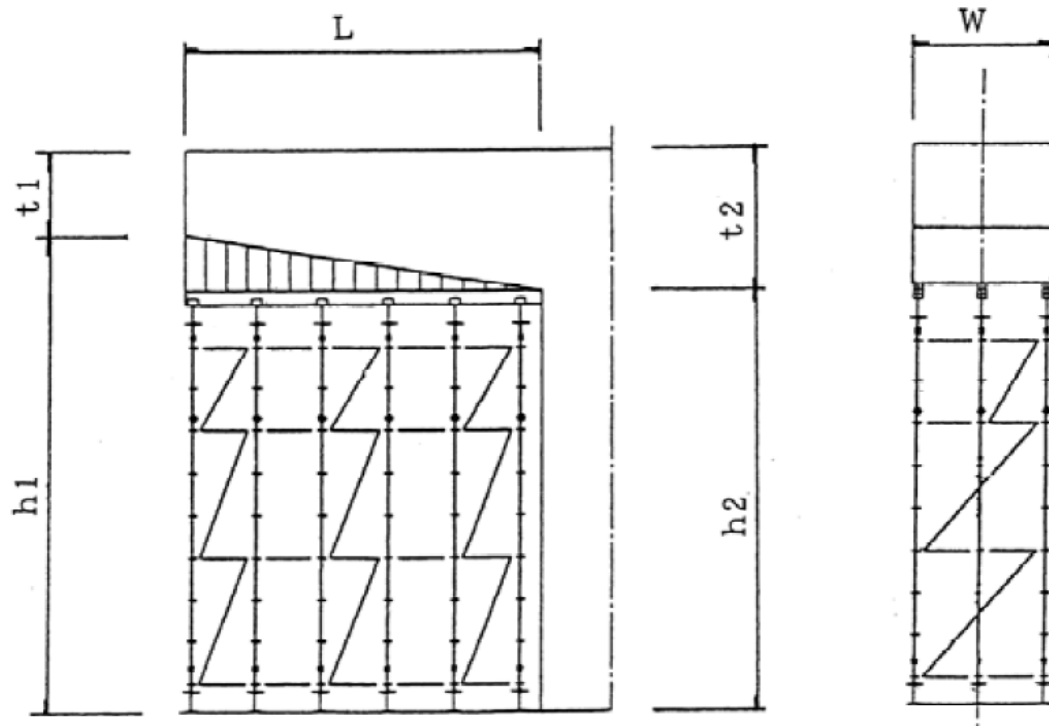
(2) 支保工の計算例（土木工事数量算出要領）

函
渠
・
橋
脚
等



支保工の体積（空 m^3 ）
左図に示す内空体積

(3) 支保工概念図（参考例）（土木工事数量算出要領）



支保工対象数量は、完成内空断面とする。

- ・支保耐力決定のためのコンクリート厚（ t ）は、次式により算出する。

$$t = (t_1 + t_2) \div 2$$

- ・支保工の空体積（空 m^3 ）は、次式により算出する。

$$V = (h_1 + h_2) \div 2 \times L \times W$$

第1章 舗装工

①-1 路盤工

◎鋼製スラグ路盤（県－D、E）

鉄鋼スラグとは、一般に溶鉱炉で銑鉄を製造する際に、銑鉄のほぼ1/3重量のスラグを生ずるが、この熔融状態にあるスラグを炉外に流し出す時に水又は空気によって冷却し、粒状又は塊状に破碎したものをいう。

本県においては、東海市在の新日本製鉄(株)名古屋製鉄所から産出されるものが主として利用されており、アスファルト舗装要綱による舗装構造の下層路盤材として採用している。なお、使用にあたっては下記〔適用上の注意事項〕にもとづくこと。

〔適用上の注意事項〕

- (1) 下層路盤材として使用するスラグは等置換算係数 0.25 とする。
- (2) 鉄鋼スラグはその生成上、微量の硫黄分（S）を含み、生産過程あるいは工事施工現場において、亜硫酸ガス（SO₂）及び硫化水素（H₂S）を発生することがある。これらのガスは極めて不快な臭気を発するが、「日本産業衛生学会」勧告の有害ガス許容濃度として、亜硫酸ガスおよび硫化水素について 5ppm 及び 10ppm の値をあげており、鉄鋼スラグについては、いずれもこの濃度を下回っている。
- (3) 鉄鋼スラグ中には石灰分が含まれており、路盤の浸透水によって濃度の高いアルカリ性が排出されている。農作物に対する水素イオン濃度（PH 値）の許容安全範囲は一般に 5～9 程度とされているがスラグ生成時には 9～11 程度が認められる。
しかし、スラグ生成後 2～3 ヶ月程度曝気させたものを使用することにしており、実際に流出する水も稀釈されているので特に支障は認められない。

- (4) 施工場所によっては、安全を考慮して、次の事項に留意するものとする。

ア 鉄鋼スラグは使用しない。

（ア）道路に接近して飲料用井戸がある場合

（イ）道路に沿って養魚池がある場合

（ウ）道路に沿って上水道管（簡易ビニール管等）が埋設してある場合

イ 路側排水、路床排水（盲暗渠等）遮水壁等を検討し、あるいは鉄鋼スラグの使用をとり止める等現場に応じた適宜の措置をとる。

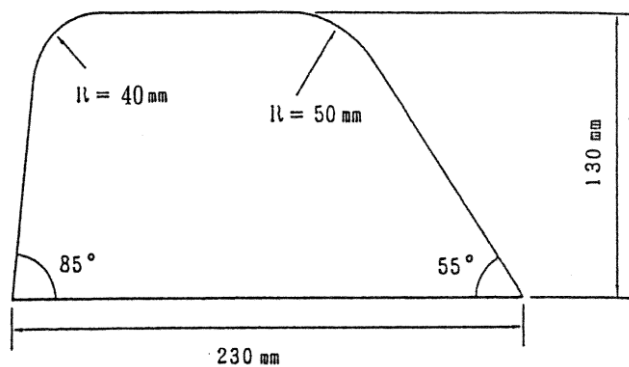
（ア）盛土道路の両側が水田等で雨水が路盤を浸透して流入するような場合

（イ）片切り道路で山側の雨水、地下水が路盤を浸透して、谷側の水田等に流入するような場合

第1章 舗装工

②-1 アスファルト舗装工

◎アスカーブの形状（県－D、E）



$$A = 0.023 \text{ m}^2$$

第1章 舗装工

◎夜間施工（県－D）

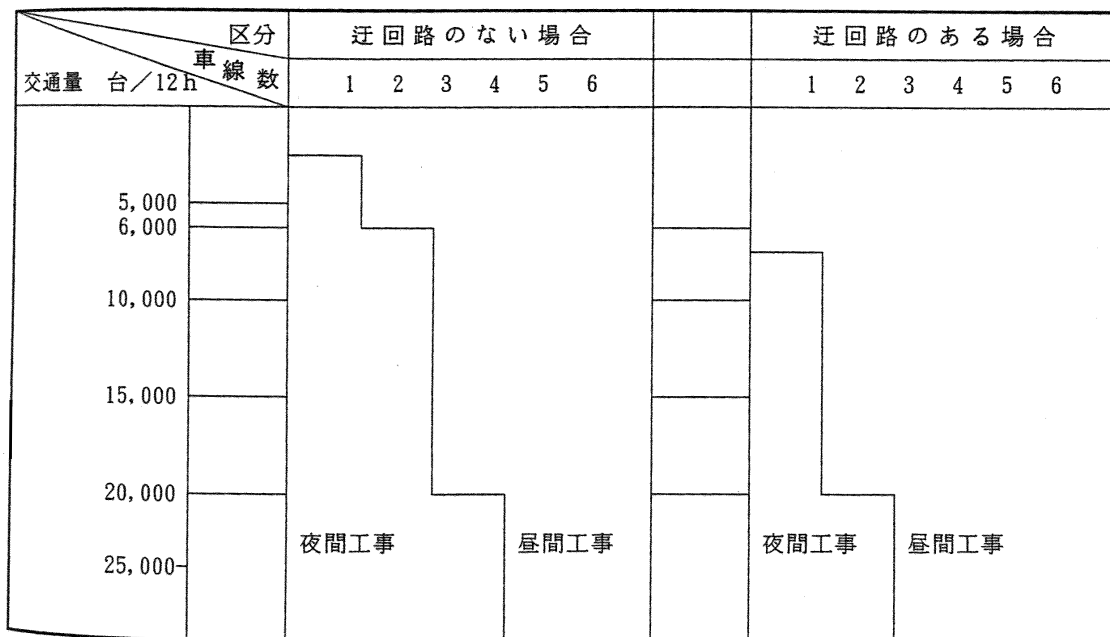
1. 実施基準

次の各項の1つに該当する場合は、騒音、振動等による沿道環境に与える影響を考慮のうえ、支障がない場合に限り、原則として夜間施工するものとする。

(1)	車道の一部を閉塞し、一車線を残して交互交通処理（時間的に区切って上下交互に通行させる交通処理方法）を行う道路工事において、残る車線の合計交通量がおおむね600台/hをこえる場合。
(2)	車道の一部を閉塞し、二車線以上残して行う道路工事、及び迂回路を利用することにより残る一車線を一方通行として行う道路工事において残る車線の一車線当り交通量がおおむね1,000台/hをこえる場合。

- 備考 1. この基準の適用にあたっては、道路の重要性、迂回路の状況等を勘案するとともに、附近の住民、および道路交通に与える影響を十分考慮して実施に遺憾なきを期せられたい。
2. (1)の交互交通においては、自動車の待時間をおおむね3分以下とするよう交通量に応じ閉塞区間延長を定めなければならない。

図 1. 1



2. 積算上の留意事項

(1) 労務単価の割増について

労務単価の割増は労務単価に換算して行うものとし歩掛の割増しはおこなわない。
設計への計上は夜間労務単価表のとおりである。

(2) 施工機械について

- ア 機械の1時間当作業量で換算する。
- イ 工事現場と仮機械置場での回送費は計上しない。

第2章 付属施設

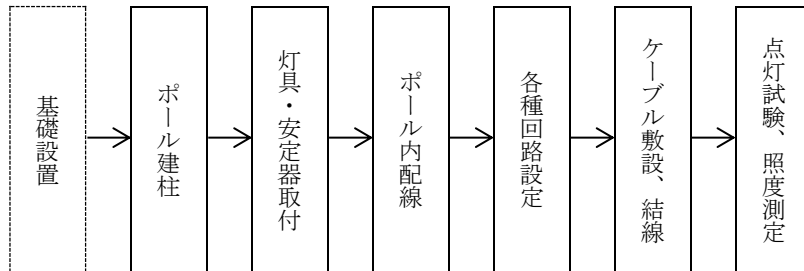
◎道路照明設備設置工（建[電気編]－D）

1. 適用範囲

本資料は、道路照明設備設置工に適用する。

2. 施工概要

施工フロー



（注）本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

3. 標準歩掛

3-1 道路照明灯建柱

表 3.1 照明灯設置歩掛表

SWE210800

作業種別	細別規格	単位	電工	普 通 作業員	トラッククレーン 賃料（日）	摘要
道路照明灯 建柱	高さ：GL8～12m 重量：350kg 以下	10 基	5.0	4.0	1.7	
	高さ：GL8～12m 重量：350kg 超 1,000kg 以下	10 基	6.0	4.8	1.9	

（注）1. 舗装切断、とりこわし、復旧、床堀、埋戻しは、各項目を参照のこと。

2. 撤去（再使用・不使用）は、本歩掛の0.5倍とする。（SWE210900）

3. 個別製作照明柱、鋼管引込ポールも本歩掛に準ずる。

4. トラッククレーンは、油圧式4.8～4.9t 吊りとする。

3-2 照明器具取付

表 3.2 照明器具取付歩掛表

SWE211500

作業種別	細別規格	単位	電工	普 通 作業員	高所作業車運転 （時間）	摘 要
照明器具取付		10 台	4.1	2.1	9.0	

（注）1. 同一柱に2台以上器具を取付ける場合は、本歩掛の台数分とする。

2. 本歩掛は、ランプ、安定器及びポール内配線を含む。

3. 高所作業車は、12m とする。

3-3 分電盤取付（ポール取付）

表 3.3 分電盤取付歩掛表

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘 要
分電盤取付	ポール取付型各種	10 面	5.2	3.5	

(注) 1. 引込柱等に取り付ける分電盤に適用する。

2. 盤内ケーブル接続を含む。

3-4 自動点滅器取付（ポール取付）

表 3.4 自動点滅器取付歩掛表

SWE211100

作業種別	細別規格	単位	電工	摘 要
自動点滅器取付	ポール取付型各種	10 個	1.2	

(注) ポール内配線を含む。

3-5 自動点滅器取付（連続照明用）

表 3.5 自動点滅器取付歩掛表

作業種別	細別規格	単位	電工	摘 要
受光部取付		個	0.3	
制御部取付		個	1.0	

4. 積算上の留意事項

- (1) 引込線の工事については、その延長が架空線の場合は 1km まで、地下埋設の場合は 150m までであれば電力会社が負担するがこれを越える場合は、越えた額のみ県にて負担する。この場合の負担額が 200 千円を越える時は、本課と協議すること。
- (2) 連続照明の設置工事で外線工を必要とする場合は外線工として計上する。
- (3) 美装照明の積算にあたっては、本課と協議すること。
- (4) 道路照明は LED を標準とし、LED 道路照明器具については、「LED 道路・トンネル照明導入ガイドライン（案）」（平成 27 年 3 月 国土交通省）に記載された設計条件タイプから選択し、積算すること。
- (5) ランプ用の道路照明器具については、高圧ナトリウムランプ（長寿命タイプ）もしくは、セラミックメタルハライドランプから選択し、積算すること。
- (6) 道路照明用ポールは、直線ポールを標準とする。直線ポールには、支柱形状が一律形と可変形があり、電源入線方式が接続型（連続照明の場合）と単独型（単独引込・自動点滅器取付の場合）がある。また、基部形状はベースプレート式を標準とし、基部構造には露出型と埋設型がある。安全性や景観上必要な場合は埋設型を用いる。（「道路構造の手引き」参照）

5. 道路照明灯設置工

表 5.1 道路照明灯 1 基当り歩掛単価表

SWE21100

名 称	単位	1 灯用		2 灯用		摘 要
		規 格	数 量	規 格	数 量	
電 工	人					表 3.1、3.2、3.4
普 通 作 業 員	〃					同 上
灯 具 (ランプ含む) 又は、 LED道路照明器具 (LEDモジュール 制御装置を含む)	個	各種	1	各種	2	
安 定 器	〃		1		2	必要に応じて計上
自 動 点 滅 器	〃	光電式(100V)6A	1	光電式(100V)10A	1	〃
カットアウトスイッチ 又は、 ジョイントユニット	〃		1		1	
直 線 ポ ー ル	本	各種(1 灯用)	1	各種(2 灯用)	1	
ナンバープレート	枚	アルミ(打込式) 60×120mm	1	アルミ(打込式) 60×120mm	1	
ア ン カ ー ボ ル ト	組		1		1	
雑 資 材	式		1		1	
高 所 作 業 車 運 転	時間	12～13m	0.9	12～13m	1.8	表 3.2
トラッククレーン賃料	日	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊		油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊		表 3.1
諸 雑 費	式		1		1	
計						

- (注) 1. 電線はFケーブル、外装ケーブル等を用いる。また、原則エコケーブルを用いる。
2. 連続照明等で電磁開閉器を要する場合は別途計上すること。
3. 従量別の場合は、メーターを必要とするので、メーターボックスを計上すること。
但しメーターは電力会社より支給される。
4. 雑資材は、ポール内配線、テープ等の費用である。(引込～接続点、ランプ～接続点、自動点滅器～接続点)

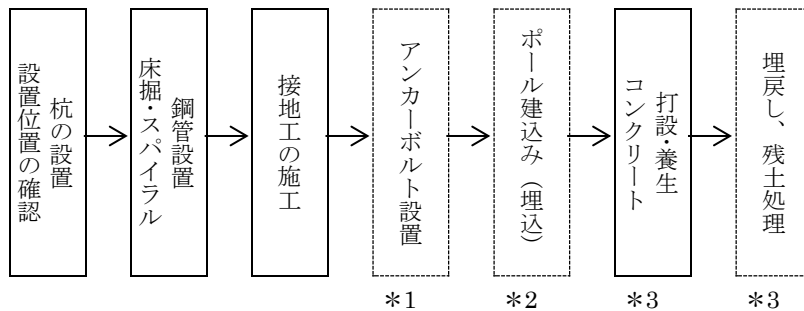
◎照明灯基礎設置工（建[電気編]－D）

1. 適用範囲

本資料は、道路照明設備のうち、照明灯基礎設置工に適用する。

2. 施工概要

施工フロー



*1：ベース式の場合

*2：埋込み式の場合

*3：作業土工（電気）による。ただし、二次製品を使用する場合は、別途積上げとする。

（注）本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

3. 標準歩掛

3-1 基礎掘削及びスパイラルダクト立込

表 3.1 基礎掘削及びスパイラルダクト立込単価表

SWE211600

作業種別	細別規格	単位	アースオーガ運転（時間）	普通作業員	摘要
照明灯基礎	500φ2m以下	10基	7.0	0.9	
	500φ2.5m以下	10基	9.0	1.1	

3-2 コンクリート打設

本作業種別の歩掛は、「国版：第Ⅱ編共通工 第4章コンクリート工 ①コンクリート工」による。

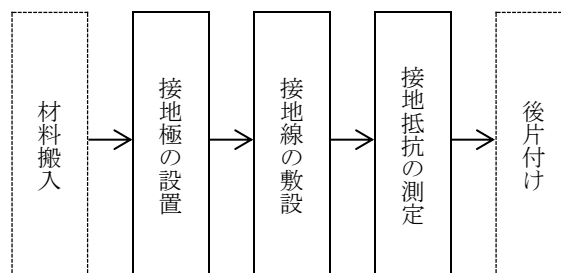
3-3 クラッシャラン

本作業種別の歩掛は、「国版：第Ⅱ編共通工 第2章共通工 ②基礎・裏込砕石工」による。

3-4 接地設置工

各種接地を行う接地設置工に適用する。

施工フロー（基礎などと同時施工）



（注）本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

表 3.2 接地設置歩掛表

SWE123800

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
A 種接地		極	1.00	2.00	
B 種接地		極	1.00	2.00	
C 種接地		極	1.00	2.00	
D 種接地		極	0.25	0.35	

- (注) 1. 本歩掛は、単独で施工する土質条件の良好な場所における 1 極当たりとする。
 2. 本歩掛は、床掘り、埋戻し及び接地抵抗の測定を含む。
 3. D 種接地は、1.5m 程度までの接地棒を使用した場合とし、その他は 1m² 以下の銅板を使用した接地極に適用する。
 4. A、B、C 種接地を行う場合において、他の基礎等の床掘箇所から水平距離でおおむね 3m 以内の箇所に銅板を使用した接地の場合は、電工のみ計上するものとし、それを超える場合は、A、B、C 種接地歩掛によるものとする。
 5. D 種接地及び補助接地棒を使用する場合において、他の基礎等の床掘箇所から水平距離でおおむね 3m 以内の箇所に接地棒を打込む場合は、電工のみ計上するものとし、それを超える場合は D 種接地歩掛によるものとする。

4. 照明灯基礎設置工

表 4.1 基礎工（基礎掘削及びスパイラルダクト立込）1 基当り単価表

SWE21110

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
ア ー ス オ ー ガ 運 転		時間		表 3.1
普 通 作 業 員		人		〃
電 工		〃		表 3.2
ス パ イ ラ ル 銅 管	φ500、t=1.0	m		必要数量計上
根 か せ ブ ロ ッ ク	φ490、t=300	個	1	(埋込み式の場合)
コ ン ク リ ー ト		m ³		必要数量計上
基 礎 砕 石		m ²		必要数量計上
雑 資 材		式	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

- (注) 残土運搬及び残土処理費を別途計上すること。
 雑資材は、電線トラフアース棒一式等の費用である。

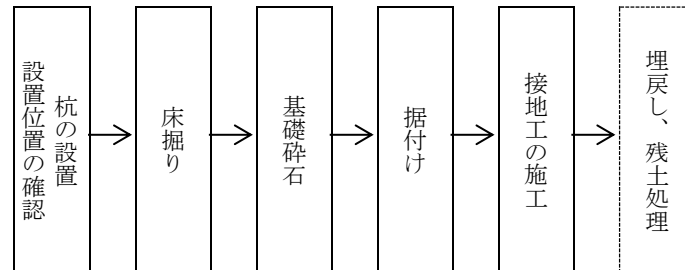
◎照明灯プレキャスト基礎設置工（建[電気編]－D）

1. 適用範囲

本資料は、道路照明設備のうち、照明灯プレキャスト基礎設置工に適用する。

2. 施工概要

施工フロー



（注）本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

3. 標準歩掛

3-1 床掘り

表 3.1 床掘り単価表

SWE211700

作業種別	細別規格	単位	アースオーガ運転（時間）	普通作業員	摘要
照明灯基礎	500φ2m以下	10基	7.0	0.9	
	500φ2.5m以下	10基	9.0	1.1	

3-2 基礎碎石・据付け

本作業種別の歩掛は、「国版：第Ⅱ編共通工 第2章共通工 ⑩排水構造物工 3-6 プレキャスト集水桝」による。

3-3 接地設置工

本作業種別の歩掛は、「照明灯基礎設置工 3-4 接地設置工」による。

4. 照明灯プレキャスト基礎設置工

表 4.1 基礎工（床掘り）1基当り単価表

SWE21120

名称	規格	単位	数量	摘要
アースオーガ運転		時間		表 3.1
普通作業員		人		〃
電 工		〃		表 3.2
プレキャスト基礎		基		
基礎碎石		m ²		必要数量計上
雑資材		式	1	
諸雑費		式	1	
計				

（注）残土運搬及び残土処理費を別途計上すること。

雑資材は、電線トラフアース棒一式等の費用である。

第3章 道路維持修繕工

③舗装版切断工

◎濁水処理（県－Ⅰ）

舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理の計上については、以下を標準とする。

(1) 舗装版切断に伴う濁水発生量

(イ) アスファルト舗装版切断に伴う濁水発生量は次表を標準とする。

名 称	単 位	アスファルト舗装版厚							
		5cm	10cm	15cm	20cm	25cm	30cm	35cm	40cm
濁水発生量	リットル/100m	200	320	440	600	770	960	1,150	1,310

(注) 舗装版切断厚が40cmを超える場合は別途考慮する。

(ロ) コンクリート舗装版切断に伴う濁水発生量は次表を標準とする。

名 称	単 位	コンクリート舗装版切断厚							
		5cm	10cm	15cm	20cm	25cm	30cm	35cm	40cm
濁水発生量	リットル/100m	260	480	740	1,040	1,300	1,630	1,970	2,390

(注) 舗装版切断厚が40cmを超える場合は別途考慮する。

処理費の算出は以下の式による。

$$X = \Sigma V / 1,000 \times S$$

X：処理費総価

ΣV ：濁水発生量の合計（リットル）

V：濁水発生量（リットル/舗装版切断100m 当り）

S：設計単価表濁水処理費

<処理費の算出例>

1 工事当りの濁水発生量の合計(ΣV)が2,000 リットルで、処理費25,000 円/㎥ の中間処理プラントで処理を行う場合の処理費総価(X)の算出：

$$\begin{aligned} X &= 2,000 / 1,000 \text{ (m}^3\text{)} \times 25,000 \text{ (円/m}^3\text{)} \\ &= 2 \text{ (m}^3\text{)} \times 25,000 \text{ (円/m}^3\text{)} = 50,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

(2) 舗装版切断に伴う濁水運搬費

アスファルト舗装版及びコンクリート舗装版切断に適用する。

区 分	単 位	単価 (円) T	備 考
10km 以内	台・回	15,000	
10km を超え 20km 以内	〃	15,000	
20km を超え 30km 以内	〃	20,000	
30km を超え 40km 以内	〃	30,000	
41km を超え 50km 以内	〃	40,000	
50km を超え 60km 以内	〃	50,000	

(注) 1. 上表は、4t トラックにより運搬する場合であり、これにより難い場合には別途考慮する。

2. トラックの最大積載量は1,000L 程度とする。

3. 上表の単価に処理費は含まないので、必要な場合は別途計上すること。

運搬費の算出は以下の式による。

$$Y = \Sigma V / 1,000 \times T$$

Y：運搬費総価

ΣV ：濁水発生量の合計（リットル）

V：濁水発生量（リットル/舗装版切断100m 当り）

T：運搬距離別の運搬費単価

※ $\Sigma V / 1,000$ （運搬台数）は、小数点以下を切り上げ整数とする。

<運搬費の算出例>

1 工事当りの濁水発生量の合計(ΣV)が2,000 リットルで、発生現場から18km の中間処理プラントへの運搬を行う場合の運搬費総価(Y)の算出：

$$\begin{aligned} Y &= 2,000 / 1,000 \text{ (台/回)} \times 15,000 \text{ (円/台・回)} \\ &= 2 \text{ (台/回)} \times 15,000 \text{ (円/台・回)} = 30,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

第3章 道路維持修繕工

④道路打換え工

◎舗装面の亀裂充填工（県－D）

(1) 概 要

舗装の充填できる亀裂及び目地等の箇所について、石、ゴミ、泥等を吹き飛ばす等の方法により清掃するとともに、ひび割れの周囲で動く破損部分は取り除いたうえで、プライマーを塗布し、目地材を加熱し充填するものとし、目地材充填後は石粉を散布する。

なお、充填材の種類については、現場状況に応じて種類を選定し、本歩掛に示す数量を計上することとする。

(2) 適用範囲

舗装面の亀裂幅(W)が概ね20mm以下のものとし、次に示す亀裂幅の区分毎に別に示す歩掛を適用することとする。

- ・[亀裂幅：W] ≤ 10mm
- ・10mm < [亀裂幅：W] ≤ 20mm

また、施工規模により、次の基準数量毎に歩掛が分かれているので留意すること。

- ・亀裂延長50(m/箇所)未満の場合：10m当りで見積りを作成すること。
- ・亀裂延長50(m/箇所)以上の場合：100m当りで見積りを作成すること。

(3) 使用材料

充 填 材：加熱充填式のアスファルト系目地材とし、充填材の種類については、現場状況に応じて種類を選定することとする。

石 粉：[充填後の路面の粘着防止、アスファルト舗装要綱での規格に準ずる]

プライマー：[亀裂面と充填材の接着、アスファルト舗装要綱での規格に準ずる]

(4) 使用機械

- ・シール溶解機

(5) 諸雑費

- ・労務費、機械費の5%を計上することとする。
- ・諸雑費は、プライマーの塗布、養生、清掃、片付け及び、消耗品を対象とする。

(6) 亀裂充填工歩掛

SWB430660

<亀裂延長10m当り>

<亀裂延長100m当り>

名 称	規 格	単位	亀裂延長50(m/箇所)未満の場合		亀裂延長50(m/箇所)以上の場合	
			(W ≤ 10mm) 数量	(10 < W ≤ 20mm) 数量	(W ≤ 10mm) 数量	(10 < W ≤ 20mm) 数量
土木一般世話役		人	0.13	0.25	0.26	0.47
普 通 作 業 員		人	0.69	1.17	1.58	2.65
充 填 材		kg	1.05	2.50	8.83	20.83
石 粉		t	0.00120	0.00420	0.01392	0.01392
プ ラ イ マ ー		ℓ	0.17	0.32	1.54	3.21
加 熱 燃 料	プロパンガス	kg	3.40	5.15	6.43	11.50
機 械 損 料	シール溶解機	日	0.41	0.60	0.66	0.98
諸 雑 費		%	5.00	5.00	5.00	5.00

(注) 1. 諸雑費は、(人件費) + (機械費) の5%を計上し、プライマー塗布、養生、清掃、片付け及び、消耗品を対象とする。

第3章 道路維持修繕工

④道路打換え工

◎路面補修工（県－D）

1. アスファルト舗装被覆工（カバー工）

(1) 概 要

- ・アスファルト舗装のポットホール、段差、局部的なひび割れ及び窪み、またコンクリート舗装の目地縁部あるいはひび割れの角欠け、段差、穴あき等の欠損部の補修に適用する。
- ・施工に際し、舗装の破損した部分で遊離したもの、動いているものは取り除き清掃した上で、整形面に均一にアスファルト乳剤を塗布し、加熱アスファルト合材を用い既設舗装面と平坦性を保つように施工する。
- ・なお、カバーの形状は方形にして、道路の中心線に直角とし、前後左右の取付は、1/10 以上に施工するものとする。

(2) 適用範囲

- ・施工面積は、1箇所当り 100㎡以下のものとし、次に示す被覆厚の区分毎に別に示す歩掛を適用することとする。
 - ・厚さ： 3cm
 - ・厚さ： 4cm
 - ・厚さ： 5cm
- ・また、施工規模により、次の基準数量毎に歩掛が分かれているので留意すること。
 - ・被覆面積 50(㎡/箇所)未満の場合： 10㎡当りで見積りを作成すること。
 - ・被覆面積 50(㎡/箇所)以上の場合： 100㎡当りで見積りを作成すること。

(3) 使用材料

- AS混合物：加熱アスファルト合材
AS乳剤：タックコート

(4) 使用機械

- ・締め固め（振動ローラー） 2.5～2.8ton

(5) 諸雑費

- ・労務費の2%を計上することとする。
- ・諸雑費は、養生、清掃、片付け及び、現場で必要な消耗品を対象とする。

(6) アスファルト舗装被覆歩掛

アスファルト混合物単価(a)、舗設単価(b)を加算すること。

(a) アスファルト混合物

- ・アスファルト混合物の設計密度及び補正係数は、「国版：第Ⅳ編道路 第3章道路維持修繕工 ①-2 切削オーバーレイ工」表 5.2、表 5.3 による。

(b) 舗 設

<10㎡当り>

名 称	規 格	単位	被覆面積 50(㎡/箇所)未満の場合		
			(厚さ：t=3cm) 数 量	(厚さ：t=4cm) 数 量	(厚さ：t=5cm) 数 量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.11	0.11	0.11
特 殊 作 業 員		人	0.31	0.31	0.31
普 通 作 業 員		人	0.64	0.66	0.70
ア ス フ ァ ル ト 乳 剤		㎡	10.0	10.0	10.0
締め固め(振動)ローラー	2.5～2.8t	h	0.98	1.15	1.15
諸 雑 費		%	2.00	2.00	2.00

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、養生、清掃、片付け及び現場で必要な消耗品を対象とする。

<100㎡当り>

名 称	規 格	単位	被覆面積 50 (㎡/箇所) 以上の場合		
			(厚さ：t=3cm) 数 量	(厚さ：t=4cm) 数 量	(厚さ：t=5cm) 数 量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.42	0.44	0.44
特 殊 作 業 員		人	1.20	1.20	1.20
普 通 作 業 員		人	1.99	2.06	2.13
アスファルト乳剤		㎡	100.0	100.0	100.0
締め固め(振動)ローラー	2.5～2.8t	h	3.48	3.65	3.65
諸 雑 費		%	2.00	2.00	2.00

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、養生、清掃、片付け及び現場に必要な消耗品を対象とする。

2. 薄層段差擦り付け工

(1) 概 要

- ・舗装の施工目地や、構造物との間の微小で小規模な段差に対し、アスファルト系薄層補修材を設置してゼロ擦り付けを行なうことにより、段差解消を行なう。

(2) 適用範囲

- ・現道上での補修作業を対象とする。
- ・擦り付け段差は2cm以下とし、平均厚さを1.0cmとする。
- ・設置に必要な軽微な清掃等の前処理、片付け等を含む。
- ・施工規模により、次の基準数量毎に歩掛が分かれているので留意すること。
 - ・擦り付け面積30(㎡/箇所)未満の場合：10㎡当りで見積りを作成すること。
 - ・擦り付け面積30(㎡/箇所)以上の場合：30㎡当りで見積りを作成すること。

(3) 使用材料

- ・アスファルト系薄層補修材：現場状況に応じて種類を選定することとする。
- ・付着防止材：使用するアスファルト系薄層補修材に対し、適した種類を選定することとする。

(4) 諸雑費

- ・労務費の5%を計上することとする。
- ・諸雑費は、養生、清掃、片付け及び、現場に必要な消耗品を対象とする。

(5) 薄層舗装段差擦り付け工歩掛

<30㎡当り>

<10㎡当り>

名 称	規 格	単位	薄層段差擦り付け工 SWB430690	薄層段差擦り付け工 SWB430680
			平均厚さ1.0cm 数 量	平均厚さ1.0cm 数 量
土木一般世話役		人	0.94	0.43
特殊作業員		人	1.98	0.99
普通作業員		人	2.18	1.13
薄層補修材	アスファルト系	t	0.72	0.24
付着防止材		リットル	20.60	6.90
諸 雑 費		%	5.00	5.00

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の5%を計上し、養生、清掃、片付け及び、現場に必要な消耗品を対象とする。

第3章 道路維持修繕工

◎道路植栽管理工（県－D）

1. 高木植栽剪定工（建築限界確保）

(1) 概 要

歩車道境界及び中央分離帯に植栽された高木について、道路の建築限界を侵害している枝葉と共に、成長を見込み剪定後 1 シーズンを経過する間建築限界を侵害しない分だけの枝葉を余分に剪定を行なう。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。なお、この工種に於いては樹形を整える為の剪定は含まないものとする。

(2) 適用範囲

- ・道路の建築限界の高さは、車道の側 4.5m、歩道側 2.5m とする。
- ・高木としては、樹高 3m 以上の樹木を対象とする。ただし、幹周による区別は行なわない。
- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) リフト車使用の区分

- ・高木の剪定の際は、原則としてリフト車を使用しないこととするが、対象樹木の形態、沿道状況等に応じ、必要な場合は、リフト車使用の場合の歩掛を適用することとする。

※高木のリフト車使用の場合は、幹周毎の区分は行なわない。

※本歩掛における高木のリフト車使用の歩掛は、リフト車が必要となる一定規模以上の樹木を想定しているため、リフト車無しの場合に比べ割高となっているので、適用する場合は十分注意すること。

(5) 高木植栽剪定工（建築限界確保）歩掛

名 称	規 格	単位	建築限界確保	
			高 木	
			(リフト車不要)	(リフト車必要)
			100 本当り	100 本当り
数 量			数 量	数 量
土木一般世話役		人	0.33	0.59
造 園 工		人	1.74	2.21
普 通 作 業 員		人	1.58	2.87
トラック運転	2t 積	時間	5.46	21.63
リフト車運転		時間		10.81
諸 雑 費		%	2.00	2.00
剪定枝葉発生量	(重量換算)	t	1.30	1.46
	(体積換算)	m3	4.53	5.05

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

2. 中木植栽剪定工（建築限界確保）

(1) 概 要

歩車道境界及び中央分離帯に植栽された中木について、道路の建築限界を侵害している枝葉と共に、成長を見込み剪定後 1 シーズンを経過する間建築限界を侵害しない分だけの枝葉を余分に剪定を行なう。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。なお、この工種に於いては樹形を整える為の剪定は含まないものとする。

(2) 適用範囲

- ・道路の建築限界の高さは、車道の側 4.5m、歩道側 2.5m とする。
- ・中木としては、樹高 1m 以上 3m 未満の樹木を対象とする。ただし、樹高による区別は行なわない。
- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) 中木植栽剪定工（建築限界確保）歩掛

名 称	規 格	単 位	建築限界確保
			中 木
			100 本当り
名 称	規 格	単 位	数 量
土木一般世話役		人	0.26
造 園 工		人	1.02
普 通 作 業 員		人	0.87
ト ラ ッ ク 運 転	2t 積	時間	4.02
諸 雑 費		%	2.00
剪 定 枝 葉 発 生 量	(重量換算)	t	0.60
	(体積換算)	m3	2.16

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

3. 高木植栽剪定工（支障枝除去）

(1) 概 要

歩車道境界及び中央分離帯に植栽された高木を対象とし、道路植栽の枝葉が標識、信号等の視認に支障となっていたり、民地等に侵入した枝葉がある場合等で、その支障となっている枝葉のみを切除すると共に、成長を見込み切除後 1 シーズンを経過する間に問題となった支障を再度引き起こさない分だけの枝葉を余分に切除を行なう。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。なお、この工種に於いては樹形を整える為の剪定は含まないものとする。

(2) 適用範囲

- ・高木としては、樹高 3m 以上の樹木を対象とする。ただし、幹周による区別は行なわない。
- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) リフト車使用の区分

- ・高木の剪定の際は、原則としてリフト車を使用しないこととするが、対象樹木の形態、沿道状況等に応じ、必要な場合は、リフト車使用の場合の歩掛を適用することとする。

※高木のリフト車使用の場合は、幹周毎の区分は行なわない。

※本歩掛における高木のリフト車使用の歩掛は、リフト車が必要となる一定規模以上の樹木を想定しているため、リフト車無しの場合に比べ割高となっているので、適用する場合は十分注意すること。

(5) 高木植栽剪定工（支障枝除去）歩掛

名 称	規 格	単位	支障枝除去	
			高 木	
			(リフト車不要)	(リフト車必要)
			100 本当り 数 量	100 本当り 数 量
土木一般世話役		人	0.19	0.30
造 園 工		人	0.76	0.93
普 通 作 業 員		人	0.67	1.28
トラック運転	2t 積	時間	3.31	4.46
リフト車運転		時間		4.75
諸 雑 費		%	2.00	2.00
剪定枝葉発生量	(重量換算)	t	0.65	0.73
	(体積換算)	m3	2.16	2.43

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

4. 中木植栽剪定工（支障枝除去）

(1) 概 要

歩車道境界及び中央分離帯に植栽された中木を対象とし、道路植栽の枝葉が標識、信号等の視認に支障となっていたり、民地等に侵入した枝葉がある場合等で、その支障となっている枝葉のみを切除すると共に、成長を見込み切除後 1 シーズンを経過する間に問題となった支障を再度引き起こさない分だけの枝葉を余分に切除を行なう。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。なお、この工種に於いては樹形を整える為の剪定は含まないものとする。

(2) 適用範囲

- ・中木としては、樹高 1m 以上 3m 未満の樹木を対象とする。ただし、樹高による区別は行なわない。
- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。

（運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。）

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) 中木植栽剪定工（支障枝除去）歩掛

名 称	規 格	単 位	支障枝除去
			中 木
			100 本当り
名 称	規 格	単 位	数 量
土木一般世話役		人	0.33
造 園 工		人	0.81
普 通 作 業 員		人	0.79
ト ラ ッ ク 運 転	2t 積	時間	3.92
諸 雑 費		%	2.00
合 計			
剪 定 枝 葉 発 生 量	(重量換算)	t	0.42
	(体積換算)	m3	1.49

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

5. 植栽剪定工（強剪定）

(1) 概 要

歩車道境界及び中央分離帯の道路植栽を対象とし、枯死しない限界まで枝葉を除去することを目的とした剪定を行なった場合。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。

(2) 適用範囲

- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) リフト車使用の区分

- ・高木の剪定の際は、原則としてリフト車を使用しないこととするが、対象樹木の形態、沿道状況等に応じ、必要な場合は、リフト車使用の場合の歩掛を適用することとする。

※高木のリフト車使用の場合は、幹周毎の区分は行なわない。

※本歩掛における高木のリフト車使用の歩掛は、リフト車が必要となる一定規模以上の樹木を想定しているため、リフト車無しの場合に比べ割高となっているので、適用する場合は十分注意すること。

(5) 植栽剪定工（強剪定）歩掛

名 称	規 格	単位	強 剪 定					
			中 木			高 木		
			樹高 60～ 100cm	樹高 100 ～200cm	樹高 200 ～300cm	幹周～ 60cm	幹周 60～ 120cm	(リフト 車使用)
			100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り
数 量			数 量	数 量	数 量	数 量	数 量	数 量
土木一般世話役		人	0.15	0.42	0.85	1.05	2.81	2.87
造 園 工		人	0.70	2.02	4.92	4.72	12.08	11.48
普 通 作 業 員		人	0.80	2.52	5.62	6.26	17.03	16.83
トラック運転	2t 積	時間	2.59	3.64	5.82	32.70	50.81	51.61
リフト車運転		時間						25.55
諸 雑 費		%	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
合 計								
剪定枝葉発生量 (重量換算)		t	0.26	0.56	0.91	6.44	11.44	11.64
	(体積換算)	m3	0.85	1.54	3.02	22.48	38.89	39.56

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

6. 植栽撤去工

(1) 概 要

倒木・枯死木及び、それらの恐れのある植栽の撤去工。その後、集積・積込み・運搬迄を行い、剪定枝の処分は含まない。

(2) 適用範囲

- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・剪定枝の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) 植栽撤去工歩掛

名 称	規 格	単位	植栽撤去工					
			低 木		中 木		高 木	
			樹高 ～ 60cm	樹高 60～ 100cm	樹高 100 ～200cm	樹高 200 ～300cm	幹周 ～ 60cm	幹周 60～ 120cm
			100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り	100 本当り
数 量			数 量	数 量	数 量	数 量	数 量	数 量
土木一般世話役		人	0.08	0.11	0.25	0.47	0.93	2.63
造 園 工		人	0.38	0.66	1.73	3.12	6.56	17.64
普 通 作 業 員		人	0.77	1.41	3.38	6.36	12.88	35.63
トラック運転	2t 積	時間	1.10	2.46	6.49	13.17		
クレーン付き トラック運転	4t 積、 2.9t 吊	時間					20.73	71.22
諸 雑 費		%	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
撤去枝葉等発生量	(重量換算)	t	0.52	0.99	2.69	5.61	14.31	32.84
	(体積換算)	m3	1.64	3.14	8.68	17.59	45.56	100.78

- (注) 1. 諸雑費は、(労務費)の2%を計上し、剪定機械運転、木ハサミ、剪定ハサミ、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、
その他消耗品費を対象とする。
2. 高木の場合は、抜根は含まない。

7. 病虫害防除工（樹幹打設式）

(1) 概 要

樹幹打設式カプセル型殺虫剤を、樹幹に穿孔しハンマーで打込む事により、カプセル内の薬剤成分が溶出し、樹木内部に浸透・移行することで害虫の防除を行なう。

(2) 適用範囲

- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・本工種においては、工法の性格上、樹高 200cm 以上～ 300cm 未満以上の中木及び、高木にのみ適用可能である。

※使用する農薬の種類により、登録されている使用可能な樹種及び対象害虫が限定されているので、本歩掛を適用する場合は、現場の樹種と使用農薬の登録樹種を確認のうえ使用すること。（使用対象樹種は、年々増加する傾向にあるので、適用する都度確認を行なうこと。）

(3) 使用材料

- ・平成 14 年 1 月時点では、本歩掛に適用可能な農薬は、「武田オルトランカプセル」のみある。

(4) その他留意点

- ・本歩掛適用による病虫害防除作業は、従前の市場単価のものに比べ高価であるが、薬剤の飛散の心配が全く無く、散布式のものに比べ高い効果が発揮され、必要と思われる樹木に限定した使用も可能である等の利点が認められるので、従前の市場単価による病虫害防除作業と、現場状況に合せた使分けを行なうこと。

(5) 病虫害防除工（樹幹打設式）歩掛

			病虫害防除工(樹幹打設式)		
			中 木	高 木	
			樹高 200～ 300cm	幹周～60cm	幹周 60～ 120cm
			100 本当り	100 本当り	100 本当り
名 称	規 格	単位	数 量	数 量	数 量
土木一般世話役		人	0.43	0.61	0.98
造 園 工		人	0.70	1.01	1.62
普 通 作 業 員		人	1.16	1.69	2.70
殺 虫 剤	樹幹打設式カプセル型	本	300.00	450.00	744.44
諸 雑 費		%	10.00	10.00	10.00

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の10%を計上し、ドリル等使用機械の運転費及び、その他消耗品費を対象とする。

8. 緑地内清掃工

(1) 概 要

緑地の美化をはかるため、芝淵、植込み地等緑地内の枯れ枝、落葉、紙屑、空き缶、その他不要物の、除去、清掃及び収集物の運搬まで行なう。ただし、収集した塵芥等不要物の処分は含まない。

(2) 適用範囲

- ・昼間作業で時間的な制約を受けない場合とする。
- ・収集物の処分施設への運搬は、現場より 15km 以内とする。
(運搬距離が 15km を超える場合は、別途積算すること。)

(3) 剪定枝葉発生量

- ・発生する剪定枝葉の処分費は、別途計上するものとするが、平均的な発生量を重量及び体積換算した値を歩掛一覧下に記載してあるので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

(4) 緑地内清掃工歩掛

			緑地内清掃工
			1,000m ² 当り
名 称	規 格	単位	数 量
軽 作 業 員		人	1.44
ト ラ ッ ク 運 転	2t 積	時間	1.80
諸 雑 費		%	5.00
合 計			
塵 芥 等 収 集 量	(重量換算)	t	0.11
	(体積換算)	m ³	0.75

(注) 1. 諸雑費は、(労務費)の5%を計上し、熊手、竹ぼうき等の損耗費及び、その他消耗品費を対象とする。

9. 植栽管理

<参考>

※次の内容について、平均的な値を整理したので、積算時にはこれらの値を参考とし、現場状況を十分勘案のうえ適切な値を計上すること。

1. 植栽剪定工 剪定枝発生量（現行、市場単価相当）

(1) 概 要

道路植栽剪定作業での剪定枝葉の発生量を体積及び重量で、現行市場単価区分毎に平均的な値を整理した。

名 称	規 格		重量換算 (t)	体積換算 (m ³)
高 木（夏期）	幹周 60cm 未満	100 本当り	4.19	14.74
高 木（夏期）	幹周 60cm 以上～120cm 未満	100 本当り	7.21	25.19
高 木（冬期）	幹周 60cm 未満	100 本当り	3.77	13.22
高 木（冬期）	幹周 60cm 以上～120cm 未満	100 本当り	6.29	21.75
低木・中木（球形）	樹高 100cm 未満	100 本当り	0.17	0.63
低木・中木（球形）	樹高 100cm 以上～200cm 未満	100 本当り	0.31	1.20
低木・中木（球形）	樹高 200cm 以上～300cm 未満	100 本当り	0.51	1.97
低木・中木（円筒形）	樹高 100cm 未満	100 本当り	0.13	0.49
低木・中木（円筒形）	樹高 100cm 以上～200cm 未満	100 本当り	0.24	0.93
低木・中木（円筒形）	樹高 200cm 以上～300cm 未満	100 本当り	0.47	1.76
低 木（寄せ植え）		100m ² 当り	0.12	0.43
中 木（寄せ植え）		100m ² 当り	0.21	0.80

2. 街路樹薬剤散布（防除）薬剤使用量（現行、市場単価相当）

(1) 概 要

街路樹の害虫防除作業で、殺虫剤にトレボン（4,000 倍液）を用いた場合、植樹形状毎の殺虫剤及び展着剤の使用量を、現行市場単価区分毎に平均的な値を整理した。

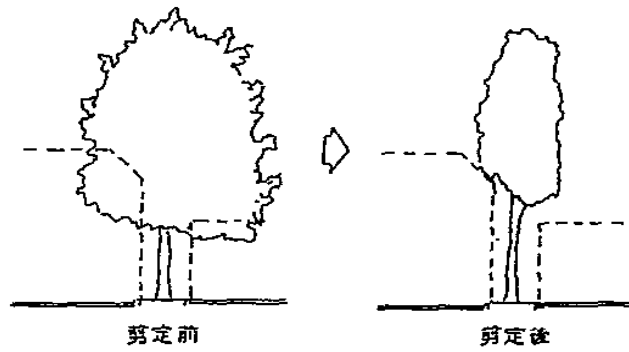
(2) 使用材料

- ・殺虫剤：マラソン乳剤（1,000 倍液）
- ・展着剤：上記殺虫剤に適合した展着剤（種類は固定しない）

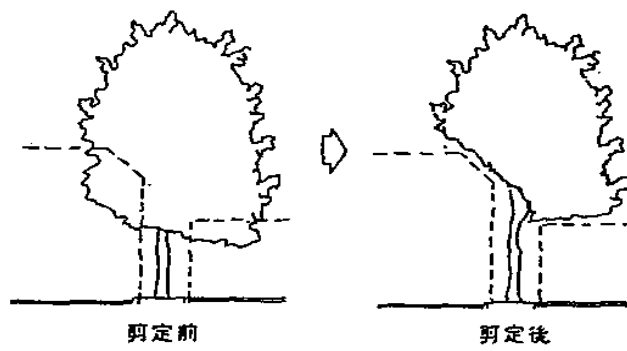
名 称	規 格		殺虫剤 (ℓ)	展着剤 (ℓ)
低 木	樹高 60cm 未満	100 本当り	0.022	0.023
中 木	樹高 60cm 以上～100cm 未満	100 本当り	0.067	0.065
中 木	樹高 100cm 以上～200cm 未満	100 本当り	0.095	0.077
中 木	樹高 200cm 以上～300cm 未満	100 本当り	0.177	0.143
高 木	幹周 60cm 未満	100 本当り	0.140	0.113
高 木	幹周 60cm 以上～120cm 未満	100 本当り	0.300	0.245
低 木（寄せ植え）		100m ² 当り	0.037	0.030
中 木（寄せ植え）		100m ² 当り	0.132	0.106

3. 植栽剪定の工種別イメージ図

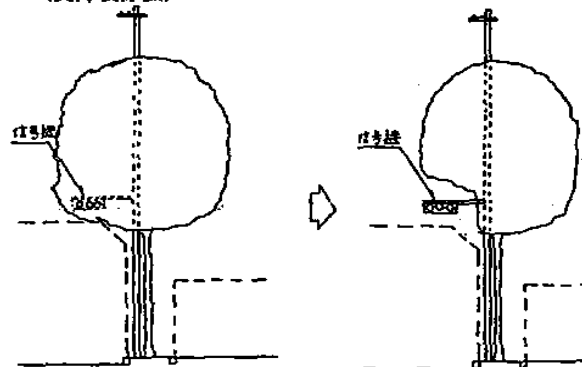
（市場単価）



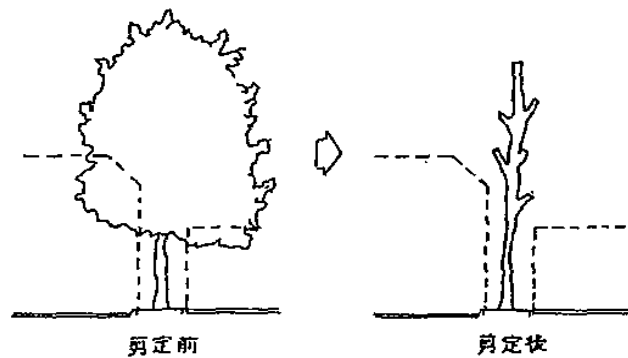
（建築限界確保）



（支障枝除去）



（強剪定）



第 7 章 橋梁工

①鋼橋製作工

◎桁輸送費-5.1 運搬距離（県－E）

5－1 運搬距離

運搬距離は、県庁、知多建設事務所からの距離を用いて計算する。

なお、これによりがたい場合は、別途考慮する。

第1章 公園緑地

◎機械土工

1. 機種の選定（県－K）

1-1 人力施工と機械施工の場合

公園工事においてはその性質上、細部における仕上等機械施工の及ばない微妙な施工については人力を計上できるものとする。

1-2 使用機械の選定

公園工事においては小規模土工及び狭小地で施工等が多いので、使用機械の選択は十分留意し、工事量、工期、現場作業条件等を勘案して機種を選定すること。なお、特殊で大規模な工事については、工事内容により適切に選定すること。

1-3 積算の標準機種

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工」により機種を選定をする。

1-4 埋戻の機械施工にあたっての機種選定は、掘削機械の転用を考慮する。

1-5 ダンプトラック運搬作業

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-2 土砂等運搬」による。

1-6 運搬距離による土工方式の区分

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。

1-7 機械の施工歩掛

(1) 土量の表示

すべての地山土量で表示する。

(2) サイクルタイム（Cm）及び1サイクル当りの作業量（q）

現場条件による変動はすべて作業効率に含める。

(3) 土質区分

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ①土量変化率等 4. 土質区分の対応」を参照

2. ブルドーザ（県－K）

2-1 掘削押土

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-1 掘削」を参照

2-2 敷均し

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-4 路体（築堤）盛土」を参照

2-3 締固め工

(1) 締固め機械の施工歩掛

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-4 路体（築堤）盛土」を参照

(2) 敷ならし締固め機械の施工歩掛

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-4 路体（築堤）盛土」を参照

3. 小型バックホウ（ミニホウ）（0.1m³、油圧式、クローラ式）（県－K）

「国版：第Ⅱ編共通工 第1章土工 ②-1 土工 3-1 掘削」を参照

4. トラクター土工（建都－K）

(1) 施工歩掛

公園工事用小型機械

トラクター（1t 級）

1 時間当り作業量 (V_t) の算定式は次の通りとする。

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅（m）

V：作業速度（m/min）

E：作業効率

N：作業回数

(2) 1 時間当りの作業量

表 4.1 W・V・E・N 標準数値

作 業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘 要
			砂、 砂質土	礫質土 粘性土		
耕 起	1.60	24.3	0.80	0.70	2	
砕土・整地	1.90	28.8			2	オフセットディスクハロー
肥 料 散 布	1.80	41.1	1.00	1.00	1	ブロードキャスター、ライムソワ ー
播 種	1.80	24.3			1	ブロードキャスター

表 4.2 小型機械土工（トラクター）歩掛（ m^2 当り）

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トラクター運転	1t 級	h		$1/V_t$

(3) 単価表

SWB610310

表 4.3 小型機械土工（トラクター）単価表（ m^2 当り）

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ト ラ ク タ ー 運 転	1t 級	h		$1/V_t$ 表 4.2
諸 雑 費		式	1	
計				

表 4.4 トラクター運転単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
軽 油		ℓ	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

◎基礎工（県－K）

「国版：第Ⅱ編共通工 第2章共通工 ②基礎・裏込砕石工」に準ずる。

◎左官工（建都－K）

1. 左官仕上げ工

1-1 化粧目地工

(1) 施工歩掛

化粧目地切の施工歩掛は、次表を標準とする。

SWC695800
(1m 当り)

表 1.1 化粧目地切歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
目 地 切 り (床)	左官工	人	0.01	
〃 (壁)	〃	〃	0.015	

表 1.2 化粧目地切（床）（壁）1m 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
左 官 工	床又は壁	人		表 1.1
諸 雑 費		式	1	
計				

1-2 コンクリートハケ引き仕上げ工

(1) 施工歩掛

コンクリートハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

SWC696000
(1m² 当り)

表 1.3 コンクリートハケ引き仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
コンクリートハケ引き仕上げ	左官工	人	0.017	

表 1.4 コンクリートハケ引仕上げ 1m² 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
左 官 工		人		表 1.3
諸 雑 費		式	1	
計				

1-3 モルタル仕上げ工

(1) 施工歩掛

モルタル金ゴテ仕上げ、ハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする

SWC696100
(1m²当り)

表 1.5 モルタル金ゴテ仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普 通 作 業 員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.6 モルタル金ゴテ仕上げ（床）（壁）（特殊）1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.5
左 官 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

SWC696200
(1m²当り)

表 1.7 モルタルハケ引き仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.038	0.12	0.18	
普 通 作 業 員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.8 モルタルハケ引き仕上げ（床）（壁）（特殊）1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.7
左 官 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

1-4 防水モルタル塗工

SWC696300
(1m²当り)

表 1.9 防水モルタル塗り歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	0.02	0.02	
防 水 剤		kg	0.6	0.6	0.6	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普 通 作 業 員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.10 防水モルタル塗り（床）（壁）（特殊）1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.9
防 水 剤		kg		〃
左 官 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

1-5 モルタル練工（県-K）

「国版：第Ⅱ編共通工 第4章コンクリート工 ①コンクリート工」に準ずる。

2. 人造石仕上げ工

2-1 人造石研ぎ出し仕上げ工

(1) 施工歩掛

人造石の研ぎ出し仕上げ、洗い出し仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 人造石研ぎ出し仕上げ歩掛表（仕上厚 2cm）（1m² 当り）

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セ メ ン ト		kg	7.28	8.56	8.56	
白 セ メ ン ト		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.2	0.2	0.2	
左 官 工		人	0.25	0.36	0.54	
普 通 作 業 員		〃	0.08	0.095	0.14	

(注) 上記の区分は以下による。

床：舗装、基礎等に係る左官工事

壁：ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊：すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

表 2.2 人造石研ぎ出し仕上げ 1m² 当り単価表

SWB610320

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セ メ ン ト		kg		表 2.1
白 セ メ ン ト		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

2-2 人造石洗い出し仕上げ工

表 2.3 人造石洗い出し仕上げ歩掛表（仕上厚 2cm）（1m² 当り）

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セ メ ン ト		kg	7.28	8.56	8.56	
白 セ メ ン ト		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.2	0.2	0.2	
左 官 工		人	0.188	0.271	0.405	
普 通 作 業 員		〃	0.06	0.071	0.11	

(注) 上記の区分は以下による。

床：舗装、基礎等に係る左官工事

壁：ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊：すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

表 2.4 人造石洗い出し仕上げ 1m² 当り単価表 SWB610330

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セ メ ン ト		kg		表 2.3
白 セ メ ン ト		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

◎コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工（建都—K）

(1) 施工歩掛

コンクリート表面はつり、つつき仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工歩掛表

(1m² 当り)

名 称	労 務	単 位	数 量	摘 要
コンクリート表面はつり仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	〃	0.25	

(注) 1. はつり仕上げ…… 一般に、のみ、たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。

切削深さはおおむね 5～10mm である。

2. つつき仕上げ……主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね 3～5mm である。

(2) 単価表

表 2.2 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ 1m² 当り単価表

SWB610340

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
石 工		人		表 1.1
諸 雑 費		式	1	
計				

◎園路広場整備工（建都—K）

1. 土系舗装工

1-1 混 合

(1) 適用範囲

土舗装における舗装材の混合作業に適用する。

(2) 混合用機械

混合用のトラクターの作業量 (V_t) の算定は以下による。

機種：トラクター 1.0t 級

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅 (m)

V：平均速度 (m/min)

E：作業効率

N：作業回数

表 1.1 W・V・E・N標準数値

作 業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘 要
			砂 砂質土	粘性土 レキ混じり土		
混 合	1.60	24.3	0.80	0.70	2	

(3) トラクター作業歩掛

表 1.2 トラクター作業歩掛 (1m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
トラクター 運 転	1.0t 級	h		1/V _t

(4) トラクター運転歩掛

SF160

表 1.3 トラクター運転歩掛 (1時間 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

2. レンガ・タイル系舗装工

2-1 レンガ舗装

(1) 施工歩掛

レンガ舗装工歩掛は次表を標準とする。

①レンガ舗装工

表 2.1 レンガ舗装工歩掛表 (100m² 当り)

名 称	規格・形状	単 位	数 量		備 考
			A (平敷き)	B (小端立て敷き)	
普 通 レン ガ	JIS 3 種 210×100×60	個	4,338	6,817	
ブ ロ ッ ク 工		人	9.9	17.7	据付手間
普 通 作 業 員		〃	6.6	11.0	同上手伝い、 小運搬

(注) 1. モルタル練等は別途計上する。

2. 舗装材料の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。

3. モルタルは「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上し、これにより難しい場合は別途考慮する。

(2) 単価表

表 2.2 レンガ舗装工 100m² 当り単価表

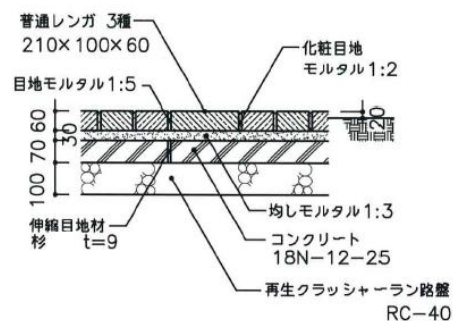
SWB610350

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普 通 レ ン ガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 2.1
ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

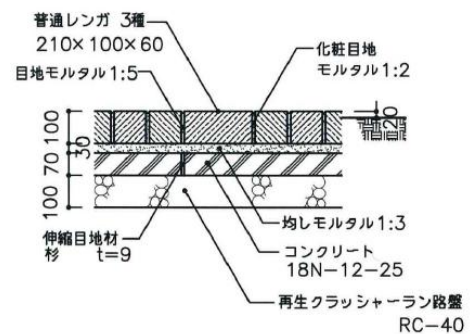
(3) 参考図

参考図

A 平敷き（RH—HA, 路盤厚 100 の例）



B 小端立て敷き（RH—KA, 路盤厚 100 の例）



3. 石材系舗装工

3-1 ごろた石張舗装

(1) 施工歩掛

ごろた石張舗装工の施工歩掛は次表を標準とする。

表 3.1 野面ごろた石舗装工歩掛

(100m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	1.1	
石 工		〃	13.8	
普 通 作 業 員		〃	13.1	
諸 雑 費		%	18	(注) 2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

2. 諸雑費は、据付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.2 野面ごろた石使用量

(100m² 当り)

材 料	規 格	単 位	数 量
野面ごろた石	φ 100～200	個	4,400

(注) 本表の野面ごろた石の数量は、標準的な野面ごろた石舗装工に使用し、特殊な形状、施工方法等の場合は別途考慮する。

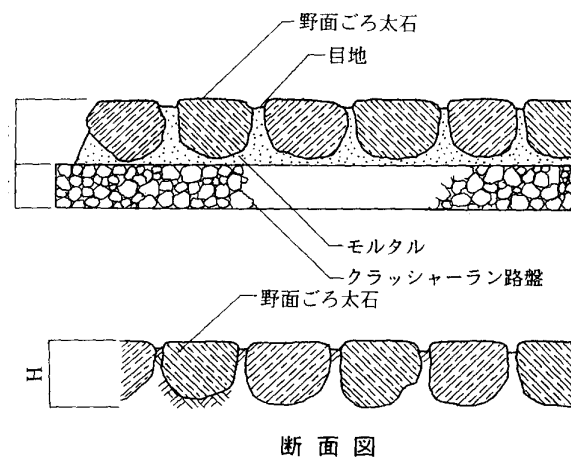
(2) 単価表

表 3.3 ごろた石舗装工 100m² 当り単価表

SWC694200

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
土木一般世話役		人		表 3.1
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ご ろ た 石	φ100～200	個		表 3.2
諸 雑 費		式	1	表 3.1
計				

(3) 参考図



3-2 小舗石舗装工

(1) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。

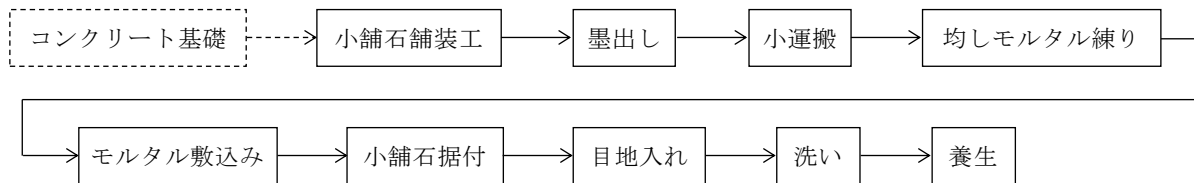


図 3-1 施工フロー

(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

基礎コンクリート、クラッシャーラン基礎については、別途計上する。

(2) 施工歩掛

小舗石舗装工歩掛は次表を標準とする。

表 3.4 小舗石舗装工歩掛 (100m² 当り)

名 称	規格	単位	数 量	備 考
土木一般世話役		人	2.5	
石 工		〃	25.6	
普 通 作 業 員		〃	9.6	
諸 雑 費		%	7	(注)2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

2. 諸雑費は、目地モルタル、均しモルタル費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.5 小舗石使用量 (100m² 当り)

材 料	規 格	単位	数 量
小 舗 石	90mm×90mm×90mm	個	10,000

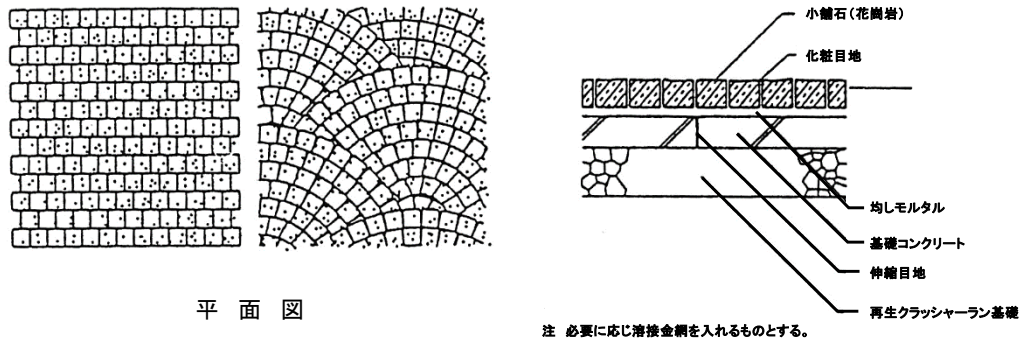
(注) 本表の小舗石数量は標準的な小舗石舗装工に適用し、特殊な形状、施工方法等の場合においては別途考慮する。

(3) 単価表

表 3.6 小舗石舗装工 100m² 当り単価表 SWC699000

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
土木一般世話役		人		表 3.4
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
小 舗 石		個		表 3.5
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

(4) 参考図



◎擁壁工（建都—K）

1. 石積工

1-1 空石積

(1) 適用範囲

本資料は、雑割石および雑石による空石積に適用する。

(2) 施工歩掛

雑割石および雑石の裏込栗石を使用して施工する空石積（法勾配 1 割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 空石積工歩掛 (10m² 当り)

名 称	単 位	数 量				摘 要
		雑割石	雑 石			
		控 え 350mm	控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土 木 一 般 世 話 役	人	0.4	0.4	0.4	0.4	
石 工	〃	1.7	1.2	1.3	1.6	
普 通 作 業 員	〃	3.6	2.8	3.3	3.8	
諸 雑 費	%	4	3	4	3	(注)3

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 1.2 石材使用量 (10m² 当り)

材 料	単 位	数 量			
		雑割石	雑 石		
		控 え 350mm	控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
石 材	個	130	210	160	140

(3) 単価表

表 1.3 空石積工 10m² 当り単価表

SWC691500

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.1
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
石 材		個		表 1.2
諸 雑 費		式	1	表 1.1
計				

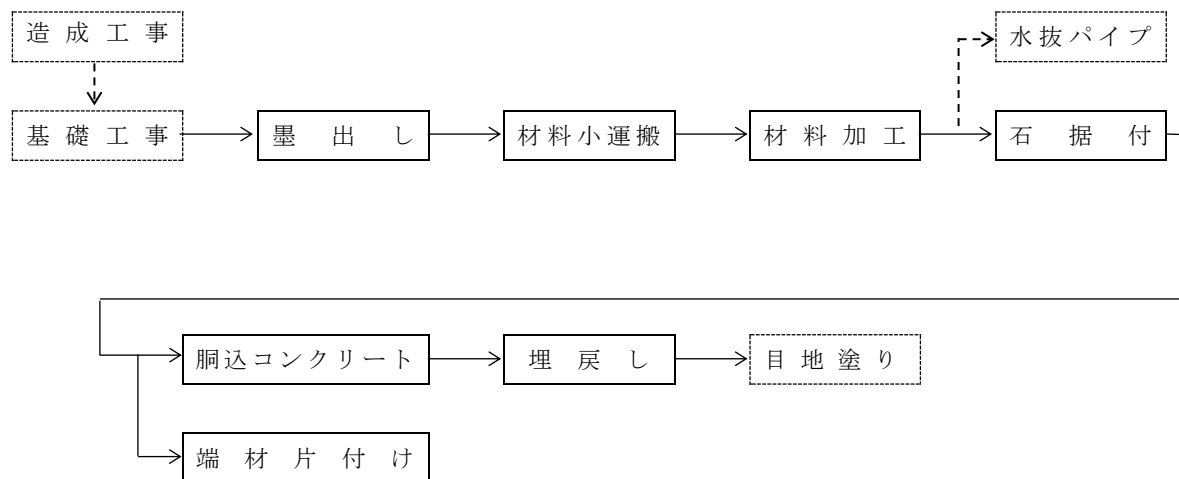
1-2 練石積

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による練石積に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石積（法勾配 1 割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

① 雑石による練石積工

表 1.4 雑石による練石積工歩掛 (10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.1	1.2	1.5	
普 通 作 業 員		〃	2.8	3.3	3.8	

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 原則として空目地とする。目地を塗る場合は別途考慮する。

表 1.5 雑石使用量 (10m² 当り)

材 料	単 位	数 量		
		控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
雑 石	個	210	160	140

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

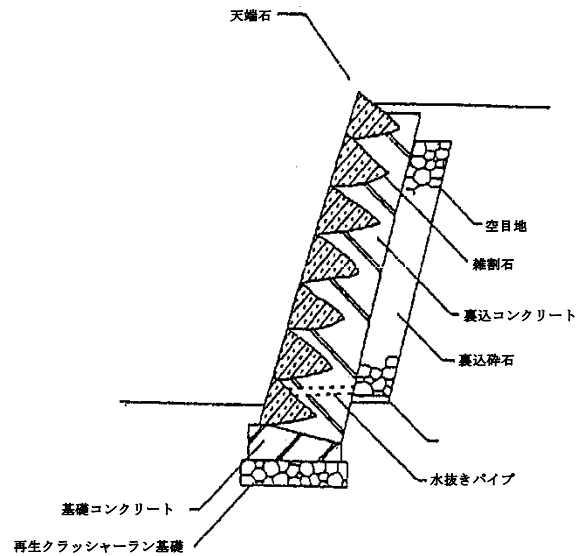
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4) 単価表

表 1.6 雑石による練石積工 10m² 当り単価表 SWC691600

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.4
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 石	控え ○○mm	個		表 1.5
諸 雑 費		式	1	
計				

(5) 参考図



1-3 空石張

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による空石張に適用する。

(2) 施工歩掛

雑石の裏込栗石を使用して施工する空石張（法勾配 1 割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.7 雑石による空石張工歩掛

(10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.1	1.2	1.5	
普 通 作 業 員		〃	2.5	2.9	3.4	
諸 雑 費		%	3	4	4	(注)3

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 1.8 雑石使用量

(10m² 当り)

材 料	単 位	数 量		
		控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
雑 石	個	210	160	140

(3) 単価表

表 1.9 雑石による空石張 10m² 当り単価表

SWC691700

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.7
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 石	控え 〇〇mm	個		表 1.8
諸 雑 費		式	1	表 1.7
計				

1-4 練石張

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による練石張に適用する。

(2) 施工歩掛

① 雑石による練石張工

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石張（法勾配 1 割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.10 雑石による練石張工歩掛

(10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.0	1.1	1.3	
普 通 作 業 員		〃	2.5	2.9	3.4	

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.11 雑石使用量

(10m² 当り)

名 称	単 位	数 量		
		控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
雑 石	個	210	160	140

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(3) 単価表

表 1.12 雑石による練石張工 10m² 当り単価表

SWC691800

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.10
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 石	控え〇〇mm	個		表 1.11
諸 雑 費		式	1	
計				

1-5 割石積

(1) 適用範囲

本資料は、割石にて横目地をきれいに通した石積（法勾配 1 割未満）で、胴込コンクリートを使用して施工する本布積作業に適用する。

(2) 施工歩掛

割石を用いた本布積の施工歩掛は、次表を標準とする。

① 割石による本布積工

表 1.13 割石による本布積工歩掛表

(10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	0.5	
石 工		〃	3.1	
普 通 作 業 員		〃	5.2	

(注)運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.14 割石使用量 (10m² 当り)

材 料	単 位	数 量
割 石	個	130

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

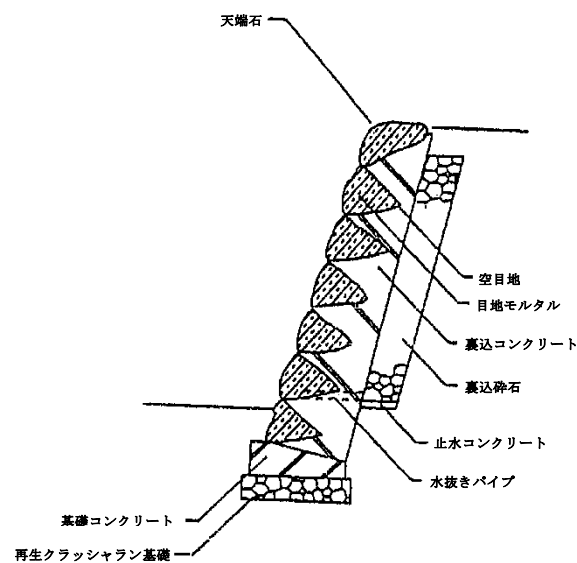
(3) 単価表

表 1.15 割石による本布積 10m² 当り単価表

SWC691900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.13
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
割 石		個		表 1.14
諸 雑 費		式	1	
小 計				

(4) 参考図



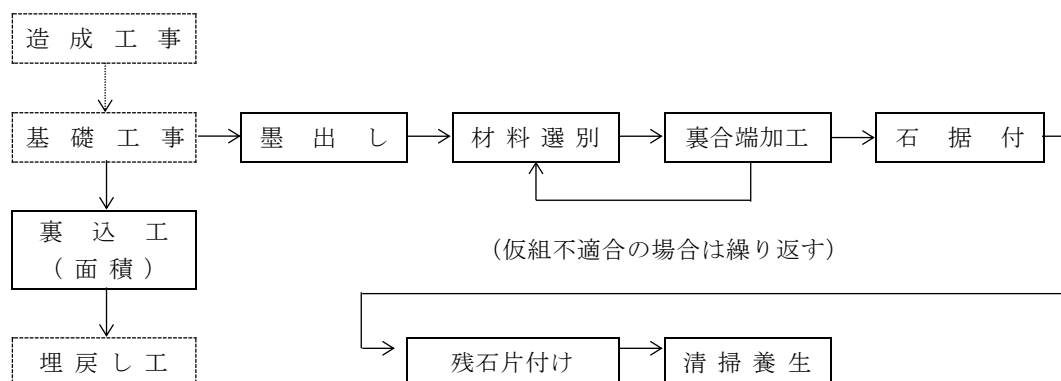
1-6 野面石修景積工

(1) 適用範囲

本資料は、野面石を修景的配慮を加えながら（面積・崩れ積を含む）施工を行う石積工に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図のとおりとする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

崩れ積・面積（野面石修景積）施工歩掛は次表を標準とする。

① 野面石修景積工

表 1.16 野面石修景積工歩掛表 (10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	
石 工		〃	1.9	
普 通 作 業 員		〃	2.8	

(注) 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.17 野面石使用量 (10m² 当り)

材 料	規格・形状	単 位	数 量
野 面 石	φ 300～1,000mm	個	40

(注) 特殊な形状、施工方法等の場合は、別途考慮する。

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4) 単価表

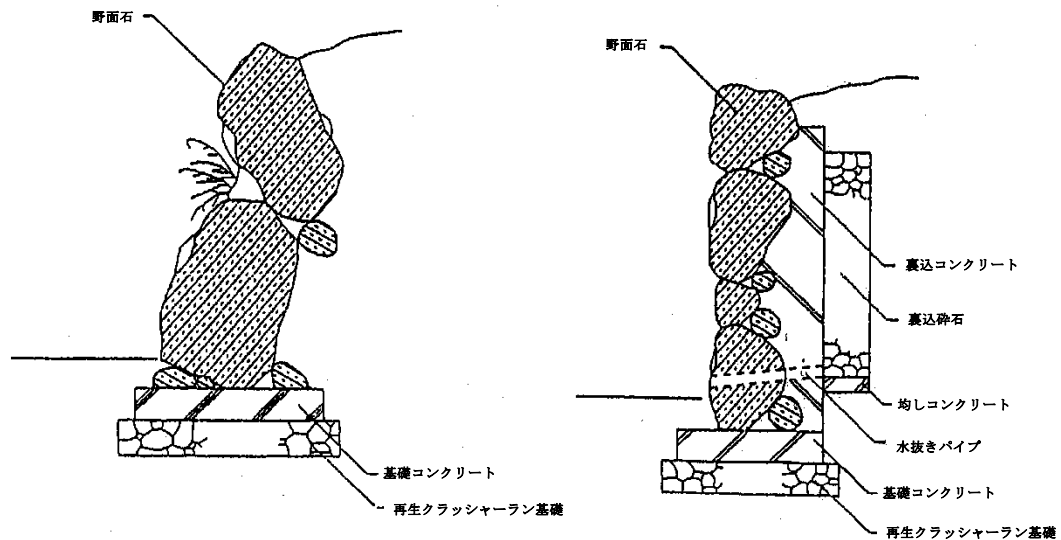
表 1.18 崩れ積及び面積 10m² 当り単価表

(崩れ積) SWC690800

(面 積) SWC690900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.16
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
野 面 石		個		表 1.17
諸 雑 費		式	1	
小 計				

(5) 参考図



1-7 小端積

(1) 適用範囲

本資料は、割小端石による割小端積に適用する。

(2) 施工歩掛

割小端積の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 1.19 割小端積工歩掛表 (10m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	0.7	
石 工		〃	7.0	
普 通 作 業 員		〃	6.0	
諸 雑 費		%	2	(注)3

- (注) 1. 仕上り厚 90mm、目地幅 10mm 程度（深目地 3～5mm）の場合である。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、張付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

(3) 単価表

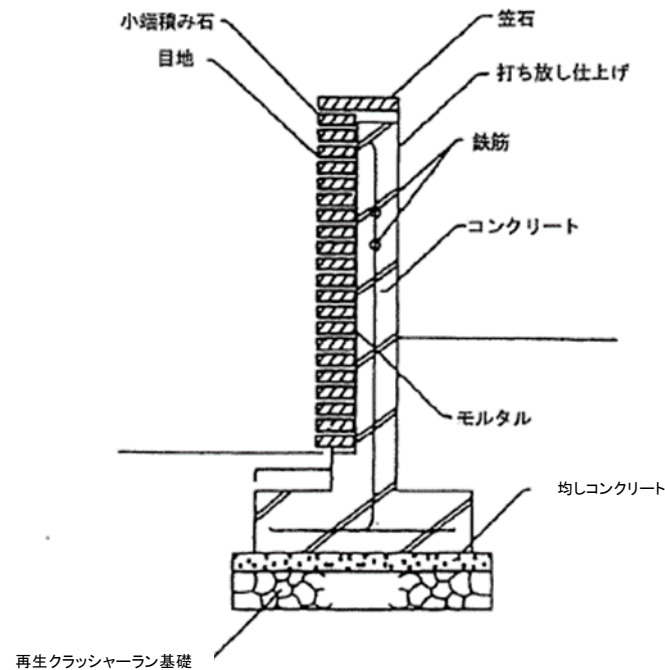
表 1.20 割小端積 10m² 当り単価表

SWC691000

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.19
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
小 端 積 石	大きさ 300×74mm 程度 厚 20～35mm 程度	m ²	10	
諸 雑 費		式	1	表 1.19
計				

(注) 掘削等は擁壁本体で計上する。

(4) 参考図



1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設

(1) 適用範囲

本資料は、練石積及び練石張における胴込・裏込コンクリート打設に適用する。

(2) 施工歩掛

胴込・裏込コンクリートの投入打設歩掛は次表を標準とする。

表 1.21 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛表 (10m³ 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			練石積	練石張	
特 殊 作 業 員		人	1.3	1.5	
普 通 作 業 員		〃	1.8	1.9	
諸 雑 費		%	12	6	(注)1

(注) 1. 諸雑費はコンクリートバケット、パイプレータ、型枠等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。

2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

3. 現場打基礎コンクリート及び現場打天端コンクリートは、「国版 第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積（張）工」による。

4. 胴込コンクリート量は、雑割石の場合は面積に控長の 1/2 を乗じたものとする。

①胴込・裏込コンクリート投入量

胴込・裏込コンクリート投入量は、次式による。

$$\text{投入量} = \text{設計量} \times (1 + K) \cdots \cdots \text{式 1.1}$$

K：ロス率

表 1.22 ロス率

材 料	単位	ロ ス 率
コ ン ク リ ー ト	m ³	+0.17

(3) 単価表

表 1.23 胴込・裏込コンクリート 10m³ 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		表 1.21
普 通 作 業 員		〃		〃
コ ン ク リ ー ト		m ³	11.7	式 1.1、表 1.22
諸 雑 費		式	1	表 1.21
計				

2. コンクリートブロック工

(1) 適用範囲

本歩掛は、公園工事におけるコンクリートブロック工に適用する。

2-1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積

(1) 施工歩掛

建築用空洞ブロック（B種）積の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積施工歩掛 (1m² 当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			100mm	120mm	150mm	
建築用空洞ブロック	390×190（B種）	個	13	13	13	
セ メ ン ト		kg	13.1	16.6	24.2	
砂	細 目	m ³	0.03	0.03	0.05	
鉄 筋		kg	3.7	3.7	3.7	
建 築 ブ ロ ッ ク 工		人	0.12	0.13	0.14	
普 通 作 業 員		〃	0.05	0.06	0.08	

(注)1. 片面のみ目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を 0.025 人/m²、両面とも目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を 0.05 人/m²加算する。

2. 鉄筋加工組立は、上記労務費に含まれる。標準的には縦横とも D-10@400 とし、その場合の数量は 3.7kg/m² とする。

3. 小運搬距離は、20m 程度とする。

(2) 単価表

表 2.2 コンクリートブロック（空洞ブロック）積 1m² 当り単価表

SWC698300

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
建築用空洞ブロック	390×190（B種）	個		表 2.1
セ メ ン ト		kg		〃
砂	細 目	m ³		〃
鉄 筋		kg		〃
建 築 ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

◎縁石工（建都—K）

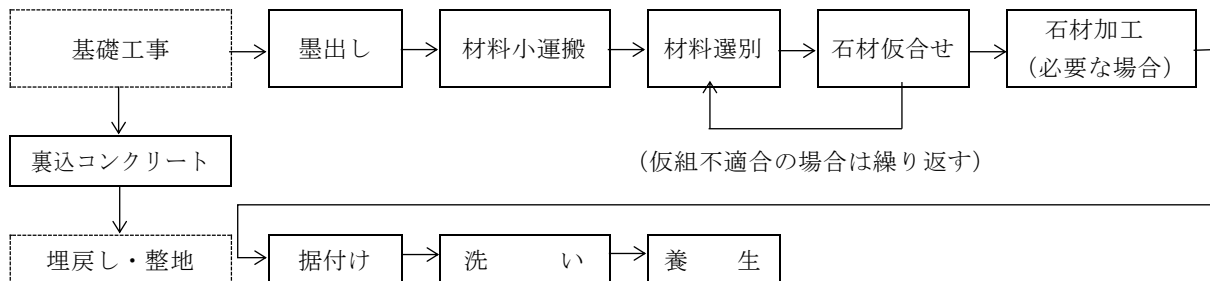
1. 石材縁石

(1) 適用範囲

本資料は、公園工事における野面ごろた石、玉石、雑割石、切石の縁石工に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

石材縁石の据付歩掛は、次表を標準とする。

表 1.1 石材縁石据付歩掛表

(10m 当り)

名 称	単 位	数 量				備 考
		野面ごろた石	玉 石	雑 割 石	切 石	
土木一般世話役	人	0.11	0.12	0.23	0.20	
石 工	〃	0.35	0.47	0.87	0.52	
普 通 作 業 員	〃	0.67	0.79	1.16	0.78	
諸 雑 費	%	7	5	20	3	(注)2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬を含む。

2. 諸雑費は、コンクリート（雑割石）、張付モルタル（切石・玉石・野面ごろた石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 1.2 石材の使用量 (10m 当り)

名 称	規 格 ・ 形 状	単 位	数 量
野 面 ご ろ た 石	φ 100～φ 200mm	個	66.0
玉 石	φ 200～φ 300mm	〃	40.0
雑 割 石	控え 350mm 程度	〃	30.0
切 石	150×150×600mm ～300×300×900mm	〃	14.3

(注) 石材の使用量は、次表を標準とするが、特殊な形状、施工方法等の場合においては、別途考慮する。

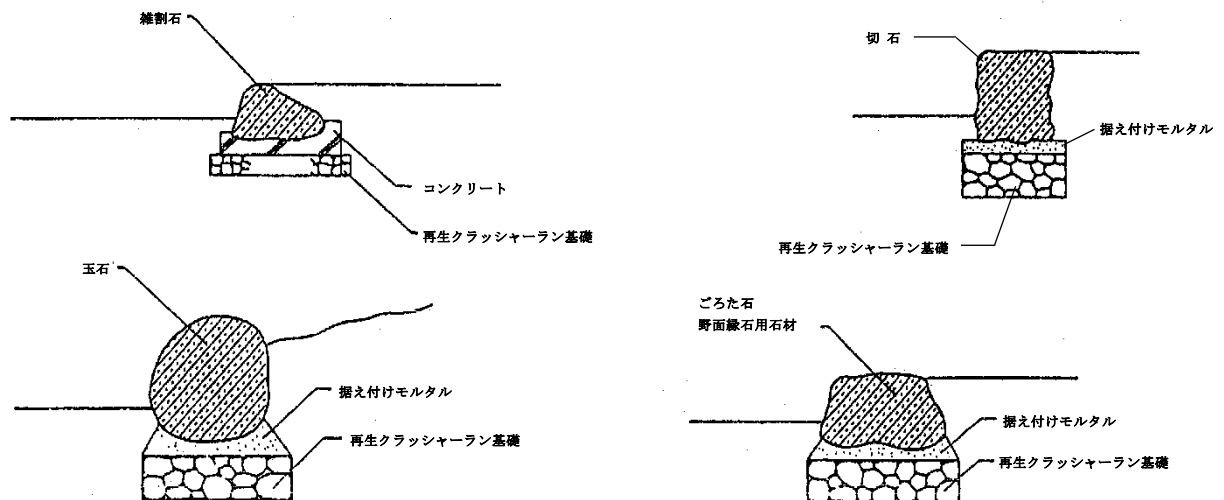
(4) 単価表

表 1.3 ○○石縁石工 10m 当りの単価表

SWC694300

名 称	規 格 ・ 形 状	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 1.1
石 工		〃		表 1.1
普通作業員		〃		表 1.1
石 材	○○石	個		表 1.2
諸 雑 費		式	1	表 1.1
計				

(5) 参考図



2. レンガ縁石

(1) 施工歩掛

レンガ縁石の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 レンガ縁石据付歩掛表

(100m 当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量					摘 要
			A	B	C	D	E	
普 通 レ ン ガ	JIS3 種 210×100×60	個	477	1500	1500	955	955	ロス 5%含む
目 地 モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	0.3	0.3	0.2	0.2	
ブ ロ ッ ク 工		人	1.8	6.0	6.0	3.8	3.8	据付け
普 通 作 業 員		〃	0.3	1.1	1.1	0.7	0.7	手伝い

(注) 1. 基礎は別途計上する。

2. レンガ等の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。

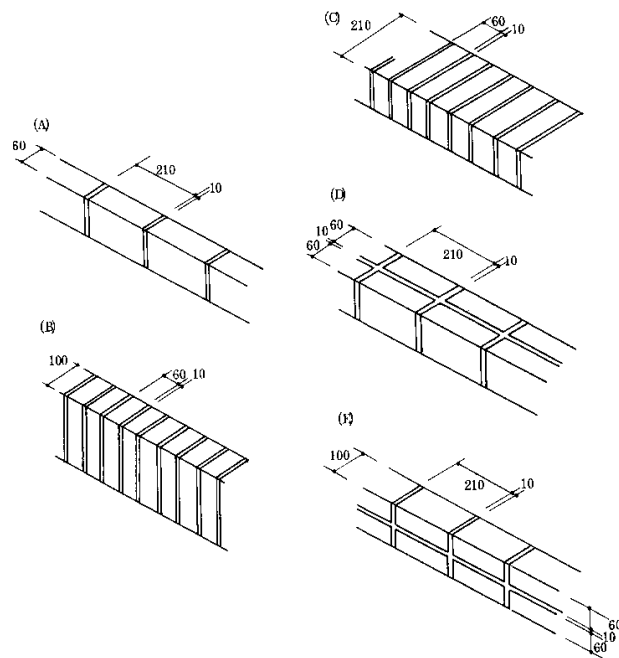
(2) 単価表

表 2.2 レンガ縁石 100m 当り単価表

SWB610360

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
普 通 レ ン ガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 2.1
目 地 モ ル タ ル	1 : 3	m ³		〃
ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) 参考図



目地は、化粧目地とし、幅 10mm、深さ 3～5mm とする。

◎給排水構造物工（建都—K）

1. 側溝工（建都—K）

1-1 プレキャストL型側溝及びV型側溝

(1) 施工歩掛

プレキャストL型側溝及びV型側溝の据付歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 プレキャストL型側溝及びV型側溝据付歩掛表 (10m 当り)

1 個当り長さ (m)		0.6m/個		備 考
名 称	規 格	単 位	数 量	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.3	
特 殊 作 業 員		〃	0.1	
普 通 作 業 員		〃	0.9	
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m ³ 2.9t 吊	h	1.2	
基 礎 砕 石 費		%	22	(注) 3
諸 雑 費		%	12	〃

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離 30m 程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
2. バックホウ（クレーン機能付）の規格は、排出ガス対策型（第2次基準値）・クローラ型山積 0.45m³ 2.9t 吊りとする。
3. 基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ（クレーン機能付）運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
- 〔基礎砕石費〕
敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費
- 〔諸雑費〕
コンクリートカット運転、目地モルタル、敷モルタル、プレキャストL型及びV型側溝損失分の費用、カットブレードの損耗費等
4. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。
5. 基礎砕石費は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6. 再使用する場合の撤去歩掛は、布設歩掛（基礎砕石費率は除く）の 50%とする。
7. コンクリートが必要な場合は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」による。

(2) 単価表

表 1.2 プレキャストL型側溝及びV型側溝据付 10m 当り単価表 SWC698500

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
○ 型 ブ ロ ッ ク		個	16.5	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m ³ 2.9t 吊	h		〃
基 礎 砕 石 費		式	1	〃 必要に応じて計上
諸 雑 費		〃	〃	〃
計				

2. マンホール工

(1) 施工歩掛

人孔用コンクリートブロック、蓋、足掛金物の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 人孔用コンクリートブロック等据付歩掛表 (1 個、1 組、1 本当り)

名 称	規 格	単位	斜 壁 等 直 壁 等 スラブ(各種) 据 付	蓋(受枠) 及び調整 コンクリートブロック 据 付	足 掛 金 物
土 木 一 般 世 話 役		人	0.10	0.13 (0.08)	—
特 殊 作 業 員		〃	0.10	0.13 (0.08)	0.07
普 通 作 業 員		〃	0.20	0.26 (0.16)	0.07
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	0.10	0.13 (0.08)	—
諸 雑 費		%	3	6 (5)	—

- (注) 1. 斜壁、直壁等、スラブ（各種）、蓋（受枠とも）、調整コンクリートブロック据付の諸雑費は、モルタル工（配合 1:3、敷厚 1cm）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 調整コンクリートブロックを使用しない場合には、（ ）内の値を計上する。
3. 高流動性無収縮超早強モルタル及び受枠変形防止調整金具を使用する場合は別途計上する。
4. 蓋・受枠を仮据付けする場合、及び仮据付けの箇所を本据付けにする場合は、労力及びトラッククレーン賃料は歩掛の 50%とし、その歩掛に対し諸雑費を計上する。
5. 足掛金物取付については、側壁に削孔して足掛金物を取付ける場合に適用する。

(2) 単価表

①斜壁据付 1 個当り単価表

SWC692100

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
斜 壁		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

②直壁据付 1 個当り単価表

SWC692100

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
直 壁		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

③スラブ（各種）据付 1 個当り単価表

SWC692100

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
ス ラ ブ （ 各 種 ）		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

④蓋（受枠とも）及び調整コンクリートブロック据付 1 組当り単価表

SWC692300

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
蓋及び調整コンクリートブロック		組	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

⑤足掛金物据付 1 本当り単価表

SWC692400

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
足 掛 金 物		本	1	
特 殊 作 業 員		人		表 2.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

3. 汚水排水設備工

(1) 適用範囲

汚水排水設備工については、構造・施工手順が雨水排水と同じであることから、雨水排水設備工によるものとする。

3-1 汚水樹・マンホール工

(1) 施工歩掛

インバート上塗りは次表を標準とする。

表 3.1 インバート上塗り 歩掛表 (1m²当り)

職 種	歩 掛 (人)
左 官 工	0.38
普 通 作 業 員	0.36

(注) 上塗モルタル厚は、10～30mm とする。

(2) 単価表

表 3.2 インバート上塗り 1m² 当り単価表

SWC692600

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
モ ル タ ル	1:3	m ³		
左 官 工		人		表 3.1
普 通 作 業 員		//		//
諸 雑 費		式	1	
計				

4. 地下排水工

4-1 透水コンクリート管

(1) 施工歩掛

透水コンクリート管の布設歩掛は次表を標準とする。

表 4.1 透水コンクリート管布設 歩掛 (100m 当り)

管 径 (mm)	職 種	普通作業員 (人)
50		2.0
100		3.0
150		5.0
200		6.0

(注) 1. 労務歩掛は、管布設材料及び小運搬作業 (20m 程度) 一式を含む。
2. ロスによる割増しは、行なわない。

(2) 単価表

表 4.2 透水コンクリート管布設 100m 当り単価表

SWB610380

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
透水コンクリート管		m	100	
普 通 作 業 員		人		表 4.1
諸 雑 費		式	1	
計				

5. 給水管路工

5-1 給水管

(1) 施工歩掛

給水用の鋼管及び硬質ポリ塩化ビニール管の布設歩掛は次表を標準とする。

① 水道用鋼管布設（人力吊込み布設）

表 5.1 水道用鋼管布設（人力吊込み布設）歩掛表（100m 当り）

内 径 (mm)	屋 外 配 管 配 管 工 (人)	屋内配管（給水・排水・通気） 配 管 工 (人)
1/2 インチ (15)	6.7	10.7
3/4 (20)	7.6	12.0
1 (25)	9.3	14.8
1・1/4 (32)	11.4	18.1
1・1/2 (40)	12.5	19.9
2 (50)	15.7	25.0
2・1/2 (65)	20.5	32.5
3 (80)	23.2	36.8
4 (100)	30.3	48.1
5 (125)	35.9	56.9
6 (150)	43.6	69.2

(注) 1. 本表の屋内工事の歩掛は、高架（高置）水そう等の配管に適用する。

2. 屋外配管

(1) ねじ立て接合、弁取付け（制水弁を除く）、小運搬及び水圧試験を含む。

(2) 床掘及び埋戻しは、含まない。

3. 屋内配管

(1) ねじ立て接合、支持金物取付け、弁取付け、小運搬及び水圧試験を含む。

4. 本表の小運搬の距離は、20m 程度とする。

5. 材料の割増率は屋外 5%、屋内 10%とする。

表 5.2 水道用鋼管継手材料

	屋 外	屋 内
塩 化 ビ ニ ル ラ イ ニ ン グ 鋼 管	材料費の 35%	材料費の 90%
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	材料費の 55%	材料費の 110%

② 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設（屋外給水用）

水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設（屋外給水用）歩掛は次表を標準とする。

表 5.3 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設（屋外給水用）歩掛
(1m 当り)

内 径 (mm)	配 管 工 (人)
15	0.032
20	0.043
25	0.052
30	0.055
40	0.071
50	0.090
65	0.114
75	0.133

- (注) 1. 本表は、接合、小運搬及び水圧試験を含むが、土工事は含まない。
2. 本表の小運搬の距離は、約 20m とする。
3. 材料の割増率は 5% とする。弁材料は別途計上する。

表 5.4 水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手材料

	屋 外	屋 内
硬質ポリ塩化ビニル管	材料費の 25%	材料費の 55%

(2) 単価表

表 5.5 水道用鋼管布設 100m 当り単価表

SWB610390

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
水道用鋼管		m		必要に応じ継手材料含む 表 5.1、表 5.2
配 管 工		人		表 5.1
諸 雑 費		式	1	
計				
1m 当り				

表 5.6 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設 1m 当り布設単価表

SWB610400

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
水道用硬質ポリ 塩化ビニル管		m		必要に応じ継手材料含む 表 5.3、表 5.4
配 管 工		人		表 5.3
諸 雑 費		式	1	
計				

5-2 水栓類取付工

(1) 施工歩掛

水栓類取付工の歩掛は次表を標準とする。

表 5.7 水栓類取付工歩掛表 (1 個当り)

名 称	単 位	口 径		
		15	20	25
各 種 水 栓	個	1.0		
配 管 工（各種水栓）	人	0.07	0.08	0.09
散 水 栓（箱 共）	個	1.0		
配 管 工（箱 共）	人	0.35	0.35	

- (注) 1. 新規散水栓（箱共）を設置する場合は、散水栓（箱共）と配管工（散水栓（箱共））を適用する。
 2. 既存の箱内に水栓を設置する場合は、各種水栓と配管工（各種水栓）を適用する。
 3. 箱内に 2 個以上の水栓を設置する場合は別途考慮すること。

(2) 単価表

表 5.8 水栓類取付工 1 個当り単価表 SWB610410

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
各 種 水 栓		個		表 5.7
配 管 工		人		〃
散水栓（箱共）		個		〃 必要により計上
配 管 工		人		〃 〃
諸 雑 費		式	1	
計				

第1章 公園緑地

◎サービス施設整備工（建都—K）

1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるベンチ・スツールの据付に適用する。

2. ベンチ・スツール据付工

(1) 施工歩掛

ベンチ・スツールの据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 ベンチ据付工歩掛表

(10 基当り)

名称	20kg 未満		20kg 以上～ 30kg 未満		30kg 以上～ 40kg 未満		40kg 以上～ 50kg 未満		50kg 以上		材 質
	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	
ス ツ ー ル	0.10	0.40	0.15	0.60	—	—	—	—	—	—	磁器製、木 製等
背 な し ベ ン チ	—	—	0.24	0.96	0.28	1.12	0.32	1.28	—	—	木製、FRP 製、硬質ポ リ塩化ビニ ル製、鋳鉄 製、パイプ 製等
背 付 き ベ ン チ	—	—	0.28	1.12	0.34	1.36	0.40	1.60	0.46	1.84	

(注) 石材、コンクリート製等については別途計上する。

(2) 単価表

表 2.2 ベンチ据付 10 基当り単価表

SWB610420

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ベ ン チ		基		
特 殊 作 業 員		人		表 2.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

◎フェンス工（県—K）

「国版：第Ⅳ編道路 第2章付属施設 ①-3 立入り防止柵工」に準ずる。

◎修景施設整備工（建都—K）

1. 適用範囲

本資料は、公園工事における石組工に適用する。

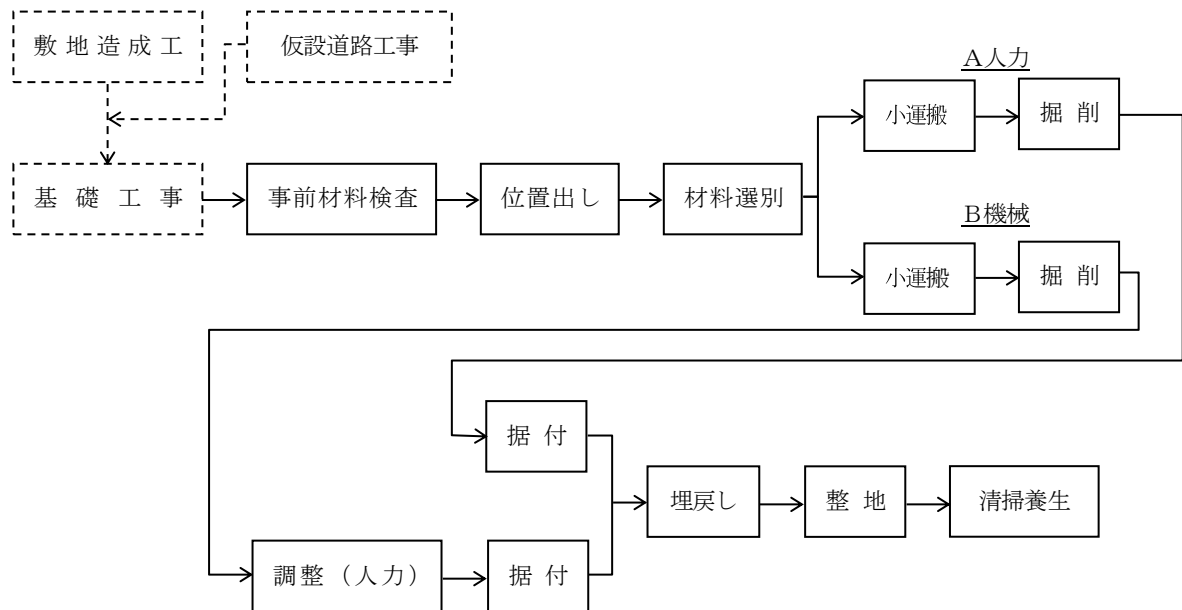
2. 石組工

2-1 石組・景石

(1) 施工フロー

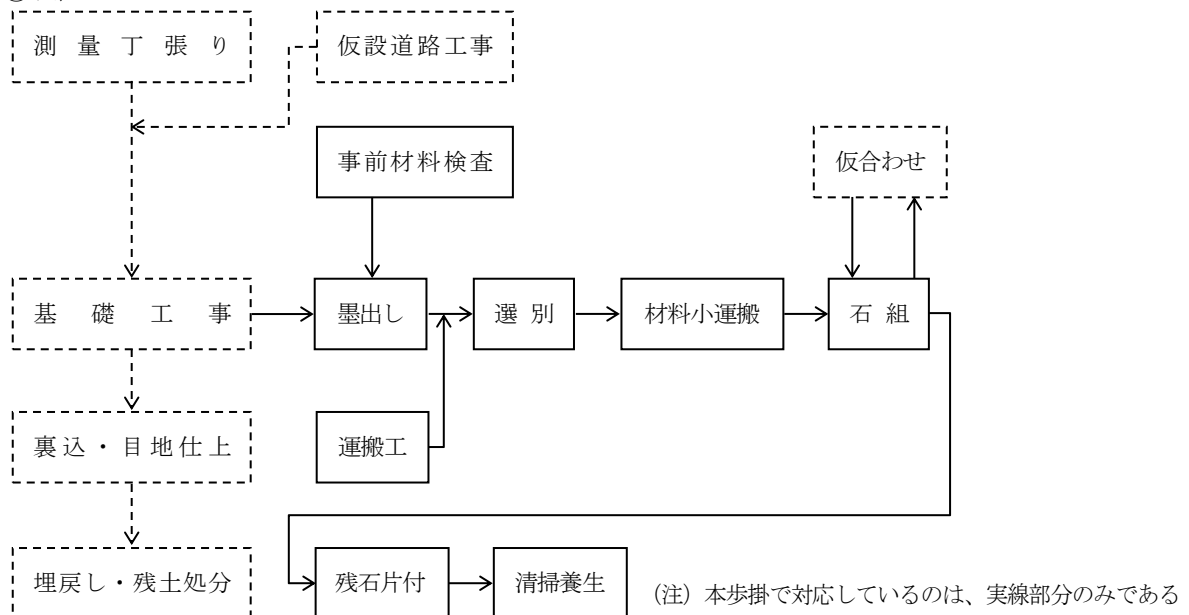
施工フローは、下図の通りとする。（下記は一例であり、現場条件により大きく変化する。）

①景石工



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

②石組工



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである

(2) 施工歩掛

人力及び機械施工による石組工の施工歩掛は次表を標準とする。

① 景石規格と実質量

石組工の積算に用いる景石の規格と実質量は次表を標準とする。

表 2.1 景石規格と実質量

景石規格 (t/個)	景石質量	景石規格 (t/個)	景石質量
0.5	～0.75t 以下	2.0	1.75t 超え～2.5 t 以下
1.0	0.75t 超え～1.25t 以下	3.0	2.5t 超え～3.5t 以下
1.5	1.25t 超え～1.75t 以下	4.0	3.5t 超え～4.5t 以下

② 機種の選定

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.2 機種の選定

機 械 名	規 格	景石規格 (t/個)					
		0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	○				—	
トラッククレーン	油圧式 4.9t 吊	—				○	

(注) 現場条件により、本表により難しい場合は現場条件に適した機種規格を計上することができる。

③ 石組・景石据付（捨石工）施工歩掛

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.3 石組・景石据付（捨石工）施工歩掛 (1t 当り)

名 称	単位	石 組 工		景 石 (捨石工)	
		機械施工	人力施工	機械施工	人力施工
土木一般世話役	人	0.03	0.14	0.02	0.07
造 園 工	〃	0.8	1.3	0.6	1.0
普 通 作 業 員	〃	0.26	1.1	0.17	0.9

(注) 1. 土ぎめ据付とする。

2. 石組工については標準的な石組に適用し、滝石組等、特殊な石組については別途考慮する。

④ 石組機械運転歩掛

石組に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.4 石組機械運転歩掛

(1t 当り)

機 械 名	規 格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運 転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 ／ 日	29.4	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

⑤ 景石据付（捨石工）機械運転歩掛

景石据付（捨石工）に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.5 景石据付（捨石工）機械運転歩掛

(1t 当り)

機 械 名	規 格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運 転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 ／ 日	29.0	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

(3) 単価表

① 石組 1t 当り単価表

SWC694800

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 2.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表 2.4
景 石	〇〇石	t		
諸 雑 費		式	1	
計				

② 景石（捨石工） 1t 当り単価表

SWC694900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 2.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表 2.5
景 石	〇〇石	t		
諸 雑 費		式	1	
計				